

千葉東南部ニュータウン36

—千葉市神明社裏遺跡1（旧石器時代）—

平成18年12月

独立行政法人都市再生機構
財団法人 千葉県教育振興財団

千葉東南部ニュータウン36

ちば しんめいしゃうら
—千葉市神明社裏遺跡1（旧石器時代）—



序 文

財団法人千葉県文化財教育振興財団（文化財センター）は、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され、以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県教育振興財団調査報告第560集として、独立行政法人都市再生機構の千葉東南部地区土地区画整理事業に伴って実施した千葉市神明社裏遺跡（旧石器時代）の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代の石器集中地点が37か所検出され、数多くの石器がまとまって出土し、この地域の旧石器時代の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行にあたり、この報告書が学術資料として、また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成18年12月

財団法人千葉県教育振興財団
理事長 岡野孝之

凡 例

- 1 本書は、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社による千葉東南部地区上地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 本書に収録しているのは、千葉市緑区おゆみ野南3丁目39番地他(旧千葉市小金沢町259他)に所在する神明社裏遺跡(遺跡コード 201-042・124)のうち、旧石器時代の資料である。縄文時代以降の資料については、平成19年度刊行の報告書に収録する。
- 3 発掘調査から報告書作成に至る業務は、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社の委託を受け、財団法人千葉県教育振興財団が実施した。
- 4 発掘調査及び整理作業の組織、担当者及び実施期間は、第1章に記載した。
- 5 本書の執筆・編集は、主席研究員 関口達彦が担当した。なお、石器及び石材の分類等については、五十嵐 修氏(東京大学大学院生)の協力を得た。
- 6 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、千葉県教育庁教育振興部文化財課、独立行政法人都市再生機構千葉地域支社、千葉市教育委員会ほか多くの方々から御指導、御協力を得た。
- 7 本書で使用した地形図(第1図)は、国土地理院発行 1:50,000 千葉 平成12年9月発行である。
- 8 本書で使用した周辺航空写真は、京葉測量株式会社が昭和47年に撮影したものを使用した。
- 9 本書で使用した図面の方位は、すべて座標北である。座標系は、日本測地系を使用した。
- 10 本書の遺構及び遺物の縮尺は、以下を基準とするが、作図の都合で統一されなかったものもある。
旧石器時代ブロック 1/40・1/80・1/100 石器 2/3・4/5

本文目次

第1章 はじめに	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 遺跡の位置と周辺の遺跡	2
第3節 調査の方法と経過	6
第2章 旧石器時代	9
第1節 調査の概要	9
第2節 基本土層	9
第3節 石器群の分布と出土遺物	11
1. 第1文化層 第1ブロックから第5ブロック	11
2. 第2文化層 第6ブロックから第30ブロック	39
3. 第3文化層 第31ブロック	154
4. 第4文化層 第32・33ブロック	156
5. 第5文化層 第34ブロックから第36ブロック	163
6. 第6文化層 第37ブロック	170
7. グリッド及び上層出土石器	171
第3章 まとめ	177
報告書抄録	

挿図目次

第1図 千葉東南部地区事業範囲位置図	3	第15図 第2ブロック母岩別分布図	23
第2図 千葉東南部地区遺跡分布図	5	第16図 第2ブロック出土石器(1)	24
第3図 調査区及び周辺地形図	7	第17図 第2ブロック出土石器(2)	25
第4図 旧石器時代調査概要図	10	第18図 第3ブロック遺物分布図	27
第5図 基本土層図	11	第19図 第3ブロック出土石器	28
第6図 第1文化層ブロック間接合集成図	12	第20図 第4ブロック石器別分布図	30
第7図 第1ブロック石器別分布図	13	第21図 第4ブロック母岩別分布図	31
第8図 第1ブロック母岩別分布図	14	第22図 第4ブロック出土石器(1)	33
第9図 第1ブロック出土石器(1)	16	第23図 第4ブロック出土石器(2)	34
第10図 第1ブロック出土石器(2)	17	第24図 第5ブロック遺物分布図	36
第11図 第1ブロック出土石器(3)	18	第25図 第5ブロック出土石器	37
第12図 第1ブロック出土石器(4)	19	第26図 第2文化層ブロック間接合集成図	38
第13図 第1ブロック出土石器(5)	20	第27図 第6ブロック出土石器	39
第14図 第2ブロック石器別分布図	22	第28図 第6ブロック遺物分布図	40

第29図	第7ブロック石器別分布図	42	第66図	第14ブロック出土石器(2)	93
第30図	第7ブロック母岩別分布図	43	第67図	第15ブロック石器別分布図	95
第31図	第7ブロック出土石器(1)	46	第68図	第15ブロック母岩別分布図	96
第32図	第7ブロック出土石器(2)	47	第69図	第15ブロック出土石器(1)	99
第33図	第7ブロック出土石器(3)	48	第70図	第15ブロック出土石器(2)	100
第34図	第7ブロック出土石器(4)	49	第71図	第15ブロック出土石器(3)	101
第35図	第8ブロック石器別分布図	51	第72図	第15ブロック出土石器(4)	102
第36図	第8ブロック母岩別分布図	53	第73図	第16ブロック石器別分布図	103
第37図	第8ブロック出土石器(1)	55	第74図	第16ブロック母岩別分布図	104
第38図	第8ブロック出土石器(2)	56	第75図	第16ブロック出土石器(1)	105
第39図	第8ブロック出土石器(3)	57	第76図	第16ブロック出土石器(2)	106
第40図	第8ブロック出土石器(4)	58	第77図	第17ブロック石器別分布図	108
第41図	第9ブロック石器別分布図	60	第78図	第17ブロック母岩別分布図	109
第42図	第9ブロック母岩別分布図	61	第79図	第17ブロック出土石器	110
第43図	第9ブロック出土石器(1)	62	第80図	第18ブロック遺物分布図	112
第44図	第9ブロック出土石器(2)	63	第81図	第18ブロック出土石器	113
第45図	第10ブロック遺物分布図	65	第82図	第19ブロック遺物分布図	115
第46図	第10ブロック出土石器(1)	66	第83図	第19ブロック出土石器	116
第47図	第10ブロック出土石器(2)	68	第84図	第20ブロック石器別分布図	118
第48図	第11ブロック石器別分布図	69	第85図	第20ブロック母岩別分布図	119
第49図	第11ブロック母岩別分布図	70	第86図	第20ブロック出土石器(1)	120
第50図	第11ブロック出土石器(1)	73	第87図	第20ブロック出土石器(2)	121
第51図	第11ブロック出土石器(2)	74	第88図	第21ブロック石器別分布図	123
第52図	第11ブロック出土石器(3)	75	第89図	第21ブロック母岩別分布図	125
第53図	第12ブロック石器別分布図	77	第90図	第21ブロック出土石器(1)	128
第54図	第12ブロック母岩別分布図	78	第91図	第21ブロック出土石器(2)	129
第55図	第12ブロック出土石器(1)	79	第92図	第22ブロック遺物分布図	131
第56図	第12ブロック出土石器(2)	80	第93図	第22ブロック出土石器	132
第57図	第13ブロック石器別分布図	82	第94図	第23ブロック遺物分布図・出土石器	134
第58図	第13ブロック母岩別分布図	83	第95図	第25ブロック遺物分布図・出土石器	135
第59図	第13ブロック出土石器(1)	86	第96図	第26ブロック石器別分布図	137
第60図	第13ブロック出土石器(2)	87	第97図	第26ブロック母岩別分布図	140
第61図	第13ブロック出土石器(3)	88	第98図	第26ブロック出土石器(1)	141
第62図	第13ブロック出土石器(4)	89	第99図	第26ブロック出土石器(2)	142
第63図	第14ブロック石器別分布図	90	第100図	第27ブロック石器別分布図	144
第64図	第14ブロック母岩別分布図	91	第101図	第27ブロック母岩別分布図	145
第65図	第14ブロック出土石器(1)	92	第102図	第27ブロック出土石器(1)	147

第103図	第27ブロック出土石器(2)	148	第116図	第34ブロック母岩別分布図	165
第104図	第28ブロック石器別分布図	150	第117図	第34ブロック出土石器	165
第105図	第28ブロック母岩別分布図	151	第118図	第35ブロック遺物分布図	166
第106図	第28ブロック出土石器	152	第119図	第35ブロック出土石器	167
第107図	第29ブロック遺物分布図・出土石器	153	第120図	第36ブロック石器別分布図	168
第108図	第31ブロック遺物分布図	155	第121図	第36ブロック母岩別分布図	169
第109図	第31ブロック出土石器	156	第122図	第36ブロック出土石器	170
第110図	第32ブロック石器別分布図	157	第123図	第37ブロック遺物分布図・出土石器	171
第111図	第32ブロック母岩別分布図	158	第124図	グリッド及び上層出土遺物分布図	172
第112図	第32ブロック出土石器(1)	160	第125図	グリッド及び上層出土石器(1)	173
第113図	第32ブロック出土石器(2)	161	第126図	グリッド及び上層出土石器(2)	174
第114図	第33ブロック遺物分布図・出土石器	162	第127図	グリッド及び上層出土石器(3)	175
第115図	第34ブロック石器別分布図	164			

表 目 次

第1表	第1文化層出土石器組成表(全体)	180	第21表	第19ブロック出土石器組成表	197
第2表	第1ブロック出土石器組成表	181	第22表	第20ブロック出土石器組成表	197
第3表	第2ブロック出土石器組成表	181	第23表	第21ブロック出土石器組成表	198
第4表	第3ブロック出土石器組成表	182	第24表	第22ブロック出土石器組成表	198
第5表	第4ブロック出土石器組成表	182	第25表	第23ブロック出土石器組成表	199
第6表	第5ブロック出土石器組成表	183	第26表	第24ブロック出土石器組成表	199
第7表	第2文化層出土石器組成表(全体)	183	第27表	第25ブロック出土石器組成表	199
第8表	第6ブロック出土石器組成表	189	第28表	第26ブロック出土石器組成表	199
第9表	第7ブロック出土石器組成表	190	第29表	第27ブロック出土石器組成表	200
第10表	第8ブロック出土石器組成表	191	第30表	第28ブロック出土石器組成表	201
第11表	第9ブロック出土石器組成表	192	第31表	第29ブロック出土石器組成表	201
第12表	第10ブロック出土石器組成表	192	第32表	第30ブロック出土石器組成表	201
第13表	第11ブロック出土石器組成表	192	第33表	第31ブロック出土石器組成表	201
第14表	第12ブロック出土石器組成表	193	第34表	第4文化層出土石器組成表(全体)	202
第15表	第13ブロック出土石器組成表	194	第35表	第32ブロック出土石器組成表	202
第16表	第14ブロック出土石器組成表	194	第36表	第33ブロック出土石器組成表	203
第17表	第15ブロック出土石器組成表	195	第37表	第5文化層出土石器組成表(全体)	203
第18表	第16ブロック出土石器組成表	196	第38表	第34ブロック出土石器組成表	203
第19表	第17ブロック出土石器組成表	196	第39表	第35ブロック出土石器組成表	204
第20表	第18ブロック出土石器組成表	196	第40表	第36ブロック出土石器組成表	204

第103図	第27ブロック出土石器(2)	148	第116図	第34ブロック母岩別分布図	165
第104図	第28ブロック石器別分布図	150	第117図	第34ブロック出土石器	165
第105図	第28ブロック母岩別分布図	151	第118図	第35ブロック遺物分布図	166
第106図	第28ブロック出土石器	152	第119図	第35ブロック出土石器	167
第107図	第29ブロック遺物分布図・出土石器	153	第120図	第36ブロック石器別分布図	168
第108図	第31ブロック遺物分布図	155	第121図	第36ブロック母岩別分布図	169
第109図	第31ブロック出土石器	156	第122図	第36ブロック出土石器	170
第110図	第32ブロック石器別分布図	157	第123図	第37ブロック遺物分布図・出土石器	171
第111図	第32ブロック母岩別分布図	158	第124図	グリッド及び上層出土遺物分布図	172
第112図	第32ブロック出土石器(1)	160	第125図	グリッド及び上層出土石器(1)	173
第113図	第32ブロック出土石器(2)	161	第126図	グリッド及び上層出土石器(2)	174
第114図	第33ブロック遺物分布図・出土石器	162	第127図	グリッド及び上層出土石器(3)	175
第115図	第34ブロック石器別分布図	164			

表 目 次

第1表	第1文化層出土石器組成表(全体)	180	第21表	第19ブロック出土石器組成表	197
第2表	第1ブロック出土石器組成表	181	第22表	第20ブロック出土石器組成表	197
第3表	第2ブロック出土石器組成表	181	第23表	第21ブロック出土石器組成表	198
第4表	第3ブロック出土石器組成表	182	第24表	第22ブロック出土石器組成表	198
第5表	第4ブロック出土石器組成表	182	第25表	第23ブロック出土石器組成表	199
第6表	第5ブロック出土石器組成表	183	第26表	第24ブロック出土石器組成表	199
第7表	第2文化層出土石器組成表(全体)	183	第27表	第25ブロック出土石器組成表	199
第8表	第6ブロック出土石器組成表	189	第28表	第26ブロック出土石器組成表	199
第9表	第7ブロック出土石器組成表	190	第29表	第27ブロック出土石器組成表	200
第10表	第8ブロック出土石器組成表	191	第30表	第28ブロック出土石器組成表	201
第11表	第9ブロック出土石器組成表	192	第31表	第29ブロック出土石器組成表	201
第12表	第10ブロック出土石器組成表	192	第32表	第30ブロック出土石器組成表	201
第13表	第11ブロック出土石器組成表	192	第33表	第31ブロック出土石器組成表	201
第14表	第12ブロック出土石器組成表	193	第34表	第4文化層出土石器組成表(全体)	202
第15表	第13ブロック出土石器組成表	194	第35表	第32ブロック出土石器組成表	202
第16表	第14ブロック出土石器組成表	194	第36表	第33ブロック出土石器組成表	203
第17表	第15ブロック出土石器組成表	195	第37表	第5文化層出土石器組成表(全体)	203
第18表	第16ブロック出土石器組成表	196	第38表	第34ブロック出土石器組成表	203
第19表	第17ブロック出土石器組成表	196	第39表	第35ブロック出土石器組成表	204
第20表	第18ブロック出土石器組成表	196	第40表	第36ブロック出土石器組成表	204

第41表	第37ブロック出土石器組成表	204	第61表	第20ブロック出土石器属性表	225
第42表	第1ブロック出土石器属性表	205	第62表	第21ブロック出土石器属性表	226
第43表	第2ブロック出土石器属性表	206	第63表	第22ブロック出土石器属性表	227
第44表	第3ブロック出土石器属性表	206	第64表	第23ブロック出土石器属性表	227
第45表	第4ブロック出土石器属性表	207	第65表	第24ブロック出土石器属性表	227
第46表	第5ブロック出土石器属性表	208	第66表	第25ブロック出土石器属性表	227
第47表	第6ブロック出土石器属性表	208	第67表	第26ブロック出土石器属性表	228
第48表	第7ブロック出土石器属性表	208	第68表	第27ブロック出土石器属性表	229
第49表	第8ブロック出土石器属性表	211	第69表	第28ブロック出土石器属性表	230
第50表	第9ブロック出土石器属性表	213	第70表	第29ブロック出土石器属性表	230
第51表	第10ブロック出土石器属性表	214	第71表	第30ブロック出土石器属性表	230
第52表	第11ブロック出土石器属性表	215	第72表	第31ブロック出土石器属性表	230
第53表	第12ブロック出土石器属性表	217	第73表	第32ブロック出土石器属性表	231
第54表	第13ブロック出土石器属性表	218	第74表	第33ブロック出土石器属性表	233
第55表	第14ブロック出土石器属性表	220	第75表	第34ブロック出土石器属性表	233
第56表	第15ブロック出土石器属性表	221	第76表	第35ブロック出土石器属性表	233
第57表	第16ブロック出土石器属性表	222	第77表	第36ブロック出土石器属性表	234
第58表	第17ブロック出土石器属性表	223	第78表	第37ブロック出土石器属性表	235
第59表	第18ブロック出土石器属性表	224	第79表	グリッド及び上層出土石器属性表	235
第60表	第19ブロック出土石器属性表	224			

図版目次

図版1	遺跡周辺航空写真		図版12	第2文化層第11ブロック出土石器	
図版2	旧石器時代遺物出土状況(1)		図版13	第2文化層第13ブロック出土石器	
図版3	旧石器時代遺物出土状況(2)		図版14	第2文化層第14・15ブロック出土石器	
図版4	旧石器時代遺物出土状況(3)		図版15	第2文化層第15～第17ブロック出土石器	
図版5	旧石器時代遺物出土状況(4)		図版16	第2文化層第18～第20ブロック出土石器	
図版6	第1文化層第1ブロック出土石器		図版17	第2文化層第21・22・23・25・26ブロック出土石器	
図版7	第1文化層第2～第5ブロック出土石器		図版18	第2文化層第27～第29ブロック出土石器	
図版8	第2文化層第6・7ブロック出土石器		図版19	第3～第6文化層第31～第37ブロック出土石器	
図版9	第2文化層第8ブロック出土石器		図版20	グリッド及び上層出土石器	
図版10	第2文化層第8・9ブロック出土石器				
図版11	第2文化層第10・12ブロック出土石器				

第 1 章 はじめに

第 1 節 調査に至る経緯

独立行政法人都市再生機構は、首都圏の人口増加に対応するため、千葉東南部地区土地区画整理事業として大規模な宅地造成を計画した。このため、千葉県教育委員会では昭和46年に実施した事業地内の遺跡分布調査の結果に基づき、所在する埋蔵文化財の取扱いについて関係諸機関と協議を重ねてきた。その結果、可能な限り公園や緑地として現状保存をはかる一方、やむを得ず現状保存が困難な遺跡については記録保存の措置を講ずることとなり、財団法人千葉県教育振興財団が独立行政法人都市再生機構から委託を受け、発掘調査を実施してきた。

今回報告する神明社裏遺跡(総面積36,000m²)は、記録保存の措置を講ずることで協議が整い、当財団が昭和58年度・59年度・60年度、平成9年度の4次にわたって発掘調査を実施した遺跡である。調査の結果、旧石器時代の石器集中地点37か所を初め、縄文時代から奈良・平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡や土坑、古墳10基など多くの遺構・遺物を検出した。

発掘調査の終了後、昭和61年度に水洗・注記の一部を行い、平成16年度からは本格的な整理作業が開始され、平成18年度をもって旧石器時代(下層)の報告書刊行の運びとなった。なお、縄文時代以降の資料については、平成19年度に報告を行う。旧石器時代(下層)の発掘調査及び整理作業の各年度の実施期間、組織及び作業内容は下記のとおりである。

発掘調査

昭和58年度

期 間	昭和58年 6 月 18 日から昭和59年 3 月 30 日
組 織	調査部長 白石竹雄 班 長 古内 茂 担当職員 調査研究員 西口 徹 海老原 充
内 容	下層対象面積7,200m ² 確認調査 下層144m ² 、本調査 下層950m ²

昭和59年度

期 間	昭和59年 4 月 2 日から昭和60年 3 月 30 日
組 織	調査部長 白石竹雄 班 長 清藤一順 担当職員 調査研究員 西口 徹
内 容	下層対象面積11,000m ² 確認調査 下層220m ² 、本調査 下層4,200m ²

昭和60年度

期 間	昭和60年 4 月 1 日から昭和60年12月10日
組 織	調査部長 鈴木道之助 班 長 阪田正一 担当職員 調査研究員 小高春雄 山田貴久
内 容	下層対象面積18,400m ² 確認調査 下層736m ²

平成9年度

期 間	平成9年12月17日から平成10年 1 月 30 日
組 織	調査部長 西山太郎

中央調査事務所長 藤崎芳樹 担当職員技師 吉野健

内 容 下層対象面積1,600㎡ 確認調査 下層32㎡, 本調査 下層110㎡
整理作業

昭和61年度

期 間 昭和61年4月1日から昭和62年3月31日

組 織 調査部長 鈴木道之助

班 長 阪田正一

内 容 水洗・注記の一部

平成16年度

(重点遺跡整理促進事業)

期 間 平成16年6月1日～平成16年6月30日

組 織 調査部長 矢戸三男

整理課長 及川淳一 担当職員 上席研究員 渡邊修一 整理技術員 山岡磨由子

内 容 素図作成から挿図・図版作成

平成18年度

期 間 平成18年4月3日から平成18年7月31日

組 織 調査研究部長 矢戸三男

中央調査事務所長 西川博孝 担当職員 主席研究員 関口達彦

内 容 原稿執筆から報告書刊行

第2節 遺跡の位置と周辺の遺跡

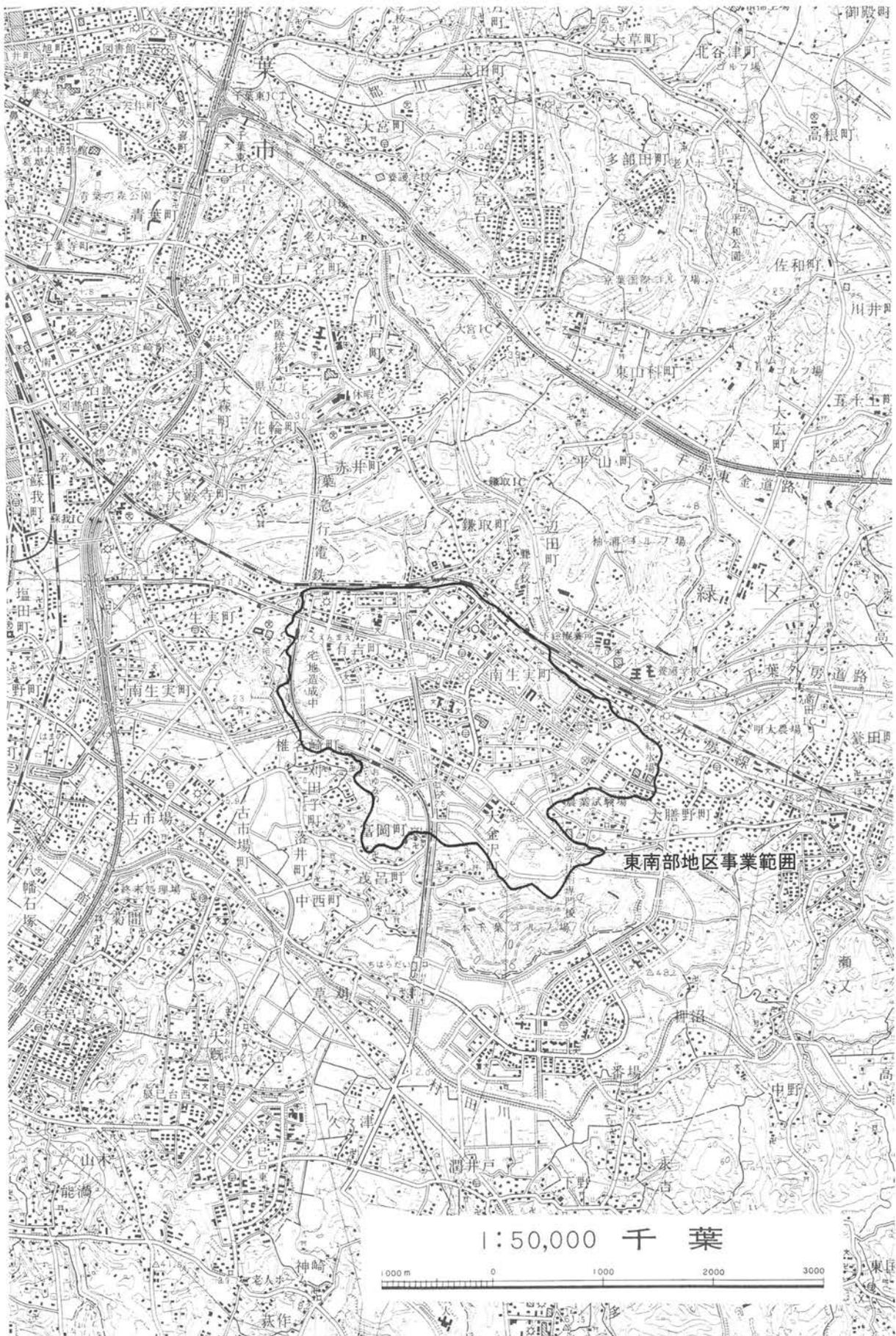
1 遺跡の位置(第1図)

神明社裏遺跡は、千葉市緑区おゆみ野南3丁目39番地他に所在する。

緑区は千葉市の東南部に位置し、南は村田川を境として市原市と接し、JR外房線や千葉東金道路、千葉外房有料道路などが通っている。本遺跡の所在する千葉東南部地区は、JR外房線鎌取駅の南側に広がり、現在も「おゆみ野」として新しい街づくりが展開されている地域である。

千葉市は千葉県の北東部に位置し、東京湾を西に臨み、内陸には房総半島の北部一帯を占める広大な下総台地が展開している。この台地は無数の小支谷によって開析され、東京湾岸には海岸平野、三角州などの沖積低地が形成されている。千葉東南部地区は、千葉市と市原市の境を流れ東京湾に流入する村田川の下流域右岸に位置し、台地はこの村田川に注ぎ込む支谷によって樹枝状に複雑に開析されている。

神明社裏遺跡は、このような支谷の一つである小金沢支谷と、泉支谷から分岐して複雑に入り込んだ小支谷の奥部で、北側を除く周囲を開析された台地上に位置している。この台地は、東側は小金沢支谷から北側に深く侵入した萩ノ作支谷に面し、南北両側は複雑に侵入した短い谷津に挟まれ、部分的に幅が狭くなっている。本来は、萩ノ作支谷に沿った南北に長い狭長な台地と、台地南側で西側の台地に連なるような形状であったが、台地北側の削平により南側台地と北西側台地に分岐するように延びた複雑な形態を呈している。現在の台地は、南北420m・東西100m～210mの広さである。南側と北西側との間には谷津が



第1図 千葉東南部地区事業範囲位置図

侵入しているため、幅が35mと急に狭くなっている。標高は、南側が40m前後とやや高く、北西側は37m前後と次第に低くなっている。谷部との比高は、南側で約24m、北東側では約19mである。東側の萩ノ支谷に面した台地は、急峻な崖を形成している。遺跡はこの台地全面に展開しているが、西側から侵入した小支谷で幅が狭くなった部分を境に、上層の遺構は北西側に古墳群、南側には集落跡と大きくわかれて存在している。下層は、北西側台地の東側縁辺部と南側台地の南西側を中心に遺物が出土している。

2 周辺の遺跡(第2図)

千葉東南部地区内の遺跡の多くは、旧石器時代から中・近世までの遺構・遺物を複合的に伴っており、特定の時期に限られた単純な遺跡はきわめて少ない。なかでも、縄文時代の大型貝塚や古墳時代後期の集落跡や古墳群、奈良・平安時代の集落跡などが密集しているのが特徴的である。

旧石器時代の遺物は、地区内で調査されたほとんどの遺跡から出土している。規模が比較的大きな遺跡として、有吉城跡、太田法師遺跡、椎名崎古墳群B支群、今回報告する神明社裏遺跡などがあげられる。

縄文時代には、中期から晩期の大型貝塚の他にも各時期にわたって各種の遺構や遺物が数多く検出されている。早期の炉穴は御塚台遺跡など、多数の遺跡から検出されている。前期では、地区内の北西に位置する南二重堀遺跡、鎌取遺跡、有吉城跡で竪穴住居跡が若干検出されている。中期には、ほとんどの遺跡に遺物の散布がみられ、特に上赤塚貝塚、有吉北貝塚、有吉南貝塚など大規模な貝塚が集中してみられ、多数の竪穴住居跡や土坑群を伴う大集落が形成されている。後期には、木戸作貝塚、小金沢貝塚、六通貝塚等、引き続き大規模貝塚が形成されているが、中期ほどの歴大な遺構を伴う大集落は形成されなくなる。晩期には遺跡数は激減するが、六通貝塚などで良好な遺物包含層等が検出されている。また、高沢遺跡では遺構は確認されなかったが、晩期終末の荒海式土器がまとめて検出されており注目される。

弥生時代は、地区内の遺跡が極端に少なくなる。有吉遺跡、城ノ台遺跡、バクチ穴遺跡などで遺構が検出されているにすぎず、遺物の出上も極めて少ない。市原市草刈遺跡などの大規模集落群に、周辺地域の小集落が集約されることもその原因の一つと考えられる。また、村田川下流域の海岸平野の低地一帯に集落が展開している可能性も考慮される。

古墳時代に入ると新たな集落跡が展開する。前期から中期の遺跡は、地区北西側に集中していることが特徴的である。なかでも、南二重堀遺跡、鎌取遺跡、馬ノ口遺跡、城ノ台遺跡などで竪穴住居跡が検出されている。後期では、有吉遺跡、高沢遺跡、有吉北貝塚で多くの竪穴住居跡が検出されるなど、大規模集落が展開するようになる。古墳は、地区内において約290基が確認されている。前・中期の古墳では、石枕などが出土した上赤塚1号墳をはじめとする上赤塚古墳群や馬ノ口遺跡の方墳などが検出されている。特に、上赤塚古墳群は城ノ台遺跡の集落と同時期に築造されており、墓域と集落の密接な関連性が注目される。後期になると、有吉遺跡、生浜古墳群、南二重堀遺跡などでは、有吉遺跡と高沢遺跡の大集落と重複せずに明らかな墓域として大規模古墳群が営まれる。さらに、椎名崎古墳群のように人形塚古墳をはじめとする、地区内で最も大規模な古墳群が造営されるようになる。

奈良・平安時代の遺跡は、古墳後期から連続する大規模な集落が多い。特に、地区北西部に位置する有吉遺跡、高沢遺跡、椎名崎遺跡では古墳時代より集落の規模は大きくなる。鉄製品の保有率も高く、それぞれの遺跡に特徴的な墨書土器なども出土している。また、大金沢支谷の太田法師遺跡では、砂鉄などの原料に恵まれた立地条件のため、鍛冶関連遺構が多数検出されている。有吉城跡、今台遺跡などでは、小

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1 大膳野南貝塚 | 15 木戸作 | 29 上赤塚古墳群 |
| 2 バク子穴 | 16 狐塚古墳群 | 30 有吉 |
| 3 大膳野北 | 17 椎名崎古墳群B支群 | 31 有古城跡 |
| 4 大田法師* | 18 神明社裏 | 32 有吉南 |
| 5 白鳥台 | 19 富岡古墳群B支群 | 33 高沢 |
| 6 六通神社南 | 20 富岡古墳群A支群 | 34 高沢古墳群 |
| 7 六通金山 | 21 春日作 | 35 南二重畑 |
| 8 六通貝塚 | 22 椎名崎古墳群C支群 | 36 生浜古墳群 |
| 9 ムコアラク | 23 今台 | 37 鎌取場台 |
| 10 六通 | 24 椎名神社 | 38 有吉北貝塚 |
| 11 小金沢古墳群 | 25 伯父名台 | 39 有吉南貝塚 |
| 12 御塚台 | 26 椎名崎 | 40 馬ノ口 |
| 13 小金沢貝塚 | 27 城ノ台 | 41 鎌取 |
| 14 椎名崎古墳群A支群 | 28 上赤塚貝塚 | 42 古城・小弓 |

太字は既報告、*は一部が既報告



第2図 千葉東南部地区遺跡分布図

0 (1/15,000) 500m
茂呂支谷

鍛冶遺構を伴う遺跡もわずかながら存在している。

中世以降では、伯父名台遺跡、城ノ台遺跡、有吉城、有吉北貝塚などから、台地整形区画・土坑墓・火葬墓・地下式坑などが検出されている。周辺には小弓城などもあり、中世では軍事、交通の上で要衝の地域であったことが窺える。

第3節 調査の方法と経過(第3図)

発掘調査に先行して、公共座標(第IX系)を基準に、調査対象範囲全域に20m×20mの方眼網を設定し基準点測量を行った。これを大グリッドとし、北西に起点を置いて、東西のY軸は西から順にA, B, ……L, 南北のX軸は北から順に1, 2, ……19と付した。昭和58年度から昭和60年度の調査では、この大グリッドを5m×5mの小グリッド16区画に分割し、北西隅を起点に00から03, 10から13と順に付し南東隅を33とした。従って小グリッドの呼称は、例えば15K-21などとなる。ただし、平成9年度の調査では大グリッドを2m×2mの100区画に分割し、J 19-55などと呼称している。

昭和58年度は、台地の東側から中央部にかけての範囲7,200㎡を対象に、確認調査を昭和58年6月18日から同年10月6日まで行った。調査区全域に2m×2mのグリッドを設定し、立川ローム層下部まで人力で掘削して石器の有無を確認した。その結果、台地東側縁辺部を中心としてⅢ層から1か所、Ⅵ層～Ⅶ層からは6か所で石器が出土した。そのため、周辺を十分に拡張して石器の広がり进行を明らかにし、本調査範囲を確定した。本調査は950㎡を対象に昭和58年12月1日から昭和59年3月30日まで行い、21か所のブロックから約800点の石器類が出土した。これらの石器類は、尖頭器・ナイフ形石器・礫群などである。

昭和59年度は、前年度より台地南側の範囲11,000㎡を対象に、昭和59年4月2日から同年5月30日まで、遺構の検出されていない箇所を前年度と同様の方法で確認調査を行った。その結果、Ⅳ層やⅥ層～Ⅶ層の18か所で石器が出土したため、周辺を十分に拡張して石器の広がり进行を明らかにし、本調査範囲を確定した。本調査は調査区南端を中心として4,200㎡を対象に行い、14か所でブロックを検出した。

昭和60年度は、台地中央部から北西側の範囲18,400㎡を対象に、昭和60年4月1日から同年12月10日まで確認調査を実施した。その結果、調査区西側でⅥ層中から剥片1点が出土した。出土地点周辺を拡張して精査したが、それ以上の遺物の出土はなかったため調査を終了した。

平成9年度は、台地南端の狭長な範囲1,600㎡を対象に平成9年12月17日から平成10年1月14日まで確認調査を行った。その結果、Ⅴ層～Ⅵ層の2か所で石器が出土したため、周辺を拡張して石器の広がり进行を明らかにし、本調査の範囲を確定した。本調査は狭長な範囲ではあるが、110㎡を対象に行い2か所のブロックを検出し、115点の石器が出土した。

参考文献

- (財)千葉県文化財センター1975『千葉東南部ニュータウン1－椎名崎古墳群(第1次)－』
- (財)千葉県文化財センター1975『千葉東南部ニュータウン2－木戸作遺跡(第1次)－』
- (財)千葉県文化財センター1975『千葉東南部ニュータウン3－有吉遺跡(第1次)－』
- (財)千葉県文化財センター1977『千葉東南部ニュータウン4－生浜古墳群－』
- (財)千葉県文化財センター1978『千葉東南部ニュータウン5－有吉遺跡(第2次)－』
- (財)千葉県文化財センター1979『千葉東南部ニュータウン6－椎名崎遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1979『千葉東南部ニュータウン7－木戸作遺跡(第2次)－』



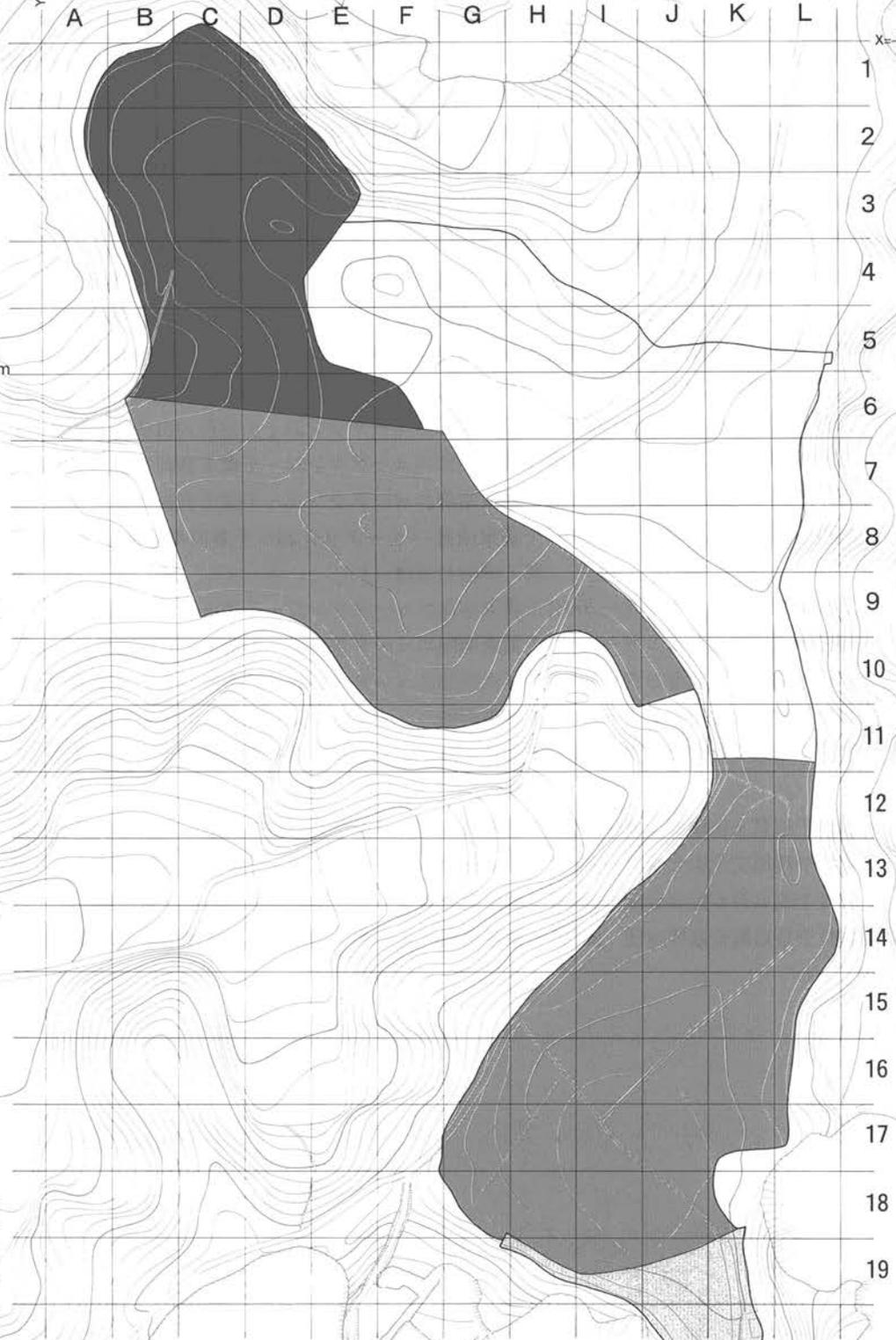
Y=+30.700

X=-50.500

小グリッド分割図

00	01	02	03
10	11	12	13
20	21	22	23
30	31	32	33

0 20m



小グリッド分割図(平成9年度)

00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11								
20		22							
30			33						
40				44					
50					55				
60						66			
70							77		
80								88	
90									99

0 20m

- 昭和58年度調査
- 昭和59年度調査
- 昭和60年度調査
- 平成9年度調査

0 (1/2,000) 100m

第3図 調査区及び周辺地形図

- (財)千葉県文化財センター1979『千葉東南部ニュータウン8－ムコアラク遺跡・小金沢古墳群－』
- (財)千葉県文化財センター1980『千葉東南部ニュータウン9－六通遺跡・御塚台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1982『千葉東南部ニュータウン10－小金沢貝塚－』
- (財)千葉県文化財センター1981『千葉東南部ニュータウン11－六通金山遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1983『千葉東南部ニュータウン12－南二重堀遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1982『千葉東南部ニュータウン13－上赤塚1号墳・狐塚古墳群－』
- (財)千葉県文化財センター1983『千葉東南部ニュータウン14－バクチ穴遺跡・有吉遺跡(第3次)・有吉南遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1984『千葉東南部ニュータウン15－馬ノ口遺跡・有吉城跡・白鳥台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1985『千葉東南部ニュータウン16－大膳野北遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1990『千葉東南部ニュータウン17－高沢遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1993『千葉東南部ニュータウン18－鎌取遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター1998『千葉東南部ニュータウン19－千葉市有吉北貝塚1－』
- (財)千葉県文化財センター1998『千葉東南部ニュータウン20－千葉市有吉北貝塚2－』
- (財)千葉県文化財センター1999『千葉東南部ニュータウン21－千葉市有吉遺跡(第4次)・高沢古墳群－』
- (財)千葉県文化財センター1999『千葉東南部ニュータウン22－鎌取場台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2001『千葉東南部ニュータウン23－千葉市太田法師遺跡2－』
- (財)千葉県文化財センター2002『千葉東南部ニュータウン24－千葉市富岡古墳群・富岡古墳群B支群－』
- (財)千葉県文化財センター2002『千葉東南部ニュータウン25－千葉市有吉城1－』
- (財)千葉県文化財センター2003『千葉東南部ニュータウン26－千葉市椎名神社遺跡・古城小弓遺跡・六通神社南遺跡・御塚台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2003『千葉東南部ニュータウン27－千葉市春日作遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2004『千葉東南部ニュータウン28－千葉市今台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2004『千葉東南部ニュータウン29－千葉市バクチ穴遺跡・大膳野南貝塚・有吉城2－』
- (財)千葉県文化財センター2004『千葉東南部ニュータウン30－千葉市伯父名台遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2005『千葉東南部ニュータウン31－千葉市ムコアラク遺跡2・ムコアラク10号墳・上赤塚遺跡－』
- (財)千葉県文化財センター2005『千葉東南部ニュータウン32－千葉市小金沢古墳群2－』
- (財)千葉県文化財センター2005『千葉東南部ニュータウン33－千葉市椎名崎古墳群C支群－』
- (財)千葉県教育振興財団 2006『千葉東南部ニュータウン34－千葉市城ノ台遺跡－』
- (財)千葉県教育振興財団 2006『千葉東南部ニュータウン35－千葉市椎名崎古墳群B支群－』

第2章 旧石器時代

第1節 調査の概要（第4図）

神明社裏遺跡の旧石器時代の調査は、昭和58年度・昭和59年度・昭和60年度・平成9年度に実施した。調査経過については第1章に記載したが、調査概要は以下のとおりである。

昭和58年度は、7,200㎡の調査範囲に対して、144㎡の確認調査を行った。その結果、Ⅲ層中で1か所、Ⅵ層からⅦ層にかけて6か所から遺物が出土した。出土の状況から数か所のブロックの存在が予測されたため、950㎡の本調査区を設定し調査を行った。整理作業を行い、調査時に確認した遺物出土地点について検討した結果、21か所のブロックとして認定できた。

昭和59年度は、確認調査範囲11,000㎡を対象に、220㎡の確認調査を行った。その結果、18か所の確認グリッドから遺物が出土したため、4,200㎡の本調査区を設定し調査を行った。整理作業の結果、14か所のブロックとして認定した。

昭和60年度は、確認調査範囲18,400㎡を対象に、736㎡の確認調査を行った。その結果、Ⅵ層中から1点の剥片が出土した。その周囲にグリッドを拡張して調査を行ったが、それ以上の遺物の出土はみられなかったため、調査を終了した。

平成9年度は、確認調査範囲1,600㎡を対象に、32㎡の確認調査を行った。その結果、Ⅴ層からⅥ層にかけて2か所で遺物が出土したため、110㎡の本調査区を設定し調査を行った。整理作業の結果、2か所のブロックとして認定できた。

本遺跡で検出されたブロックは、6つの文化層に区分されたが、これらは石器の形態・組成をその分類基準としている。そのため層位的出土と文化層の区分は厳密に一致していない。特に第1文化層と第2文化層は、出土層準において大きく重複しており、本来同一時期である可能性も考えられる。

第2節 基本土層（第5図、図版2）

本遺跡の調査のうち昭和58年度から昭和60年度のものは、当時一般的であった分層基準に従っており、現在の当財団の基準とは異なっている。よって現在の分層基準との厳密な対比は困難である。本遺跡では37か所のブロックが認識されたが、このうち昭和58年度から昭和60年度のものが35か所と大半を占める。よって昭和58年度から昭和60年度当時の基準による分層を基本土層とし、現在の分層基準との対比を補足することとする。

各ブロックの記載では、基本土層（現在の分層基準との対比）という形で、例えばⅦa層（Ⅸa層）といった表記とする。現在の分層基準とほぼ一致する層や特に対比が困難な層については（ ）を付けない。なお平成9年度に調査の行われた2か所のブロックは、現在の財団の基準に沿って分層されており、他のブロックとは分層の基準が異なる。

Ⅲ層 暗黄色粘質土からなる軟質ローム層である。厚さは25cm～40cmである。現在の分層基準のⅢ層と一致する。

Ⅳ・Ⅴ層 暗黄色粘質土層で、下部に立川ローム第1黒色帯を含む。本来硬質ロームであるがソフト化が著しい。厚さは10cm～25cmである。現在の分層基準のⅣ・Ⅴ層と一致する。



第4図 旧石器時代調査概要図

VI層 黄色粘質土層で、AT(始良丹沢)火山灰ブロックがまとまって包含されている。厚さは20cm～25cmである。現在の分層基準のVI層と一致する。

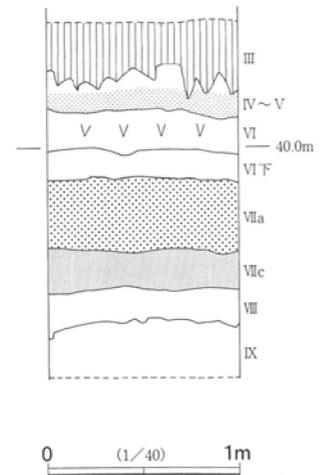
VI下層 暗黄色粘質土層で、AT火山灰をわずかに含むVII層との漸移層である。厚さは10cm～15cmである。現在の分層基準ではVII層(立川ローム第2黒色帯上半部)相当と考えられるが、本遺跡の分層では普遍的に確認されているわけでない。その理由として分層の際に、このVI下層を、その上下に位置するVI層やVII a層の一部として認識した可能性が考えられる。特に暗色帯であるVII a層に含めている可能性が高いと考えられる。よって現行の分層基準との対比を遺跡単位で一律に行うことができず、本層に関しては現行の分層基準との対比は特に記さないこととする。

VII a層 黄褐色粘質土層でスコリアを多量に含み、粘性・しまりが強い。厚さは35cm～40cmである。現在の分層基準ではIX a層(立川ローム第2黒色帯下半部の上層)相当と考えられる。ただしVI下層の説明で述べたように、VI下層が確認されていないセクションでは、本層準にVI下層を含めている可能性が高い。

VII c層 褐色粘質土層でスコリアはVII a層に比べ、やや少なめである。VII a層よりも黒味が強い。厚さは15cm～25cmである。現在の分層基準ではIX c層(立川ローム第2黒色帯下半部の下層)相当と考えられるが、スコリアの量が上層よりも少ないという点は一般的な傾向に反する。

VIII層 黄褐色粘質土層でスコリアはほとんどみられない。VII層に比べるとややしまりが弱い。厚さは15cm～25cmである。現在の分層基準のX層に相当すると考えられる。

IX層 青褐色粘質土で武蔵野ローム最上部に対比されている。粘性・しまりともに強い。



第5図 基本土層図

第3節 石器群の分布と出土遺物

1. 第1文化層(第6図, 第1表)

第1ブロック(第7・8図, 第2・42表)

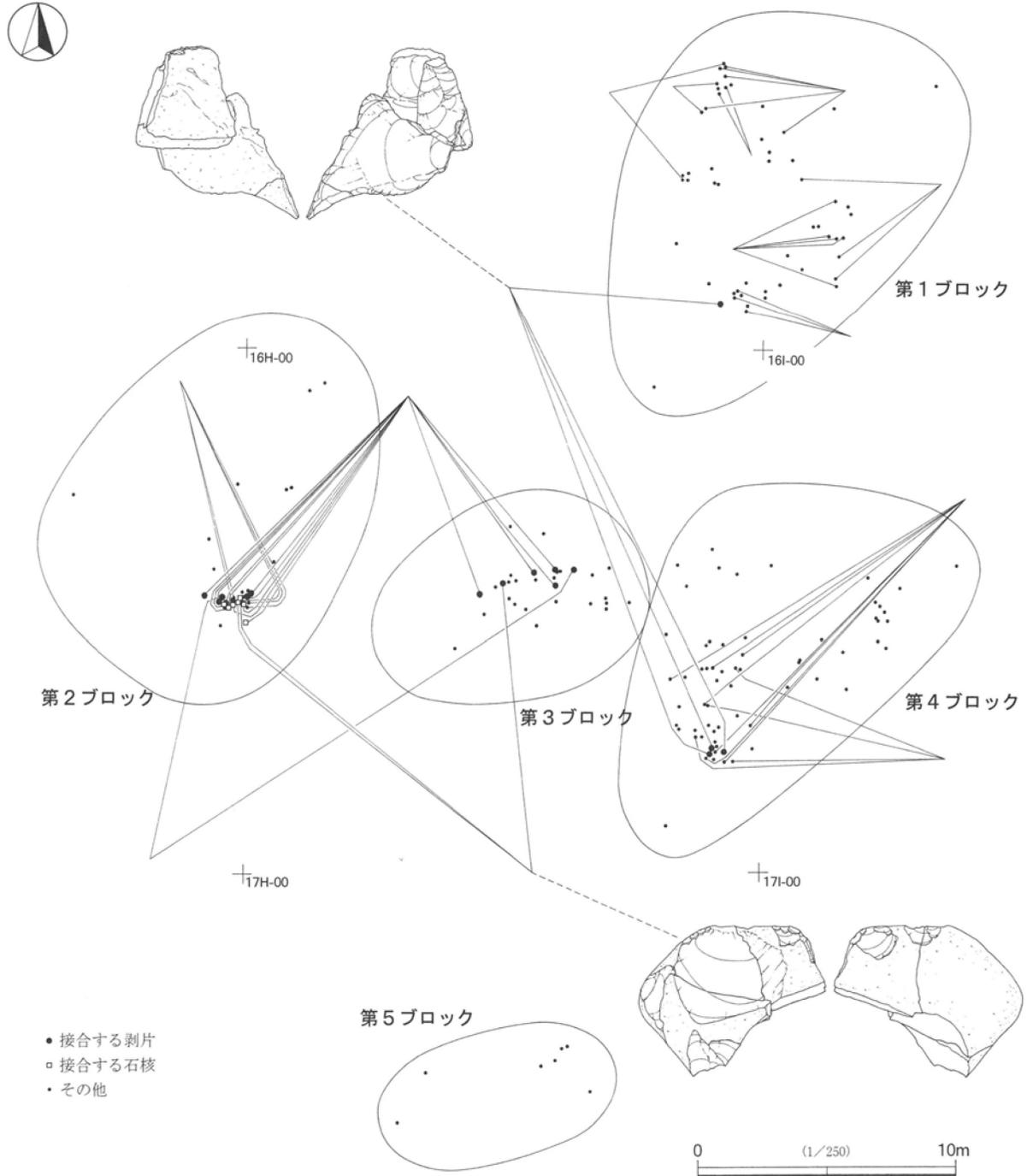
1) 概要

VI層からVII層(IX層)にかけて55点の遺物が出土し、VII a層(IX a層)に集中して分布する。

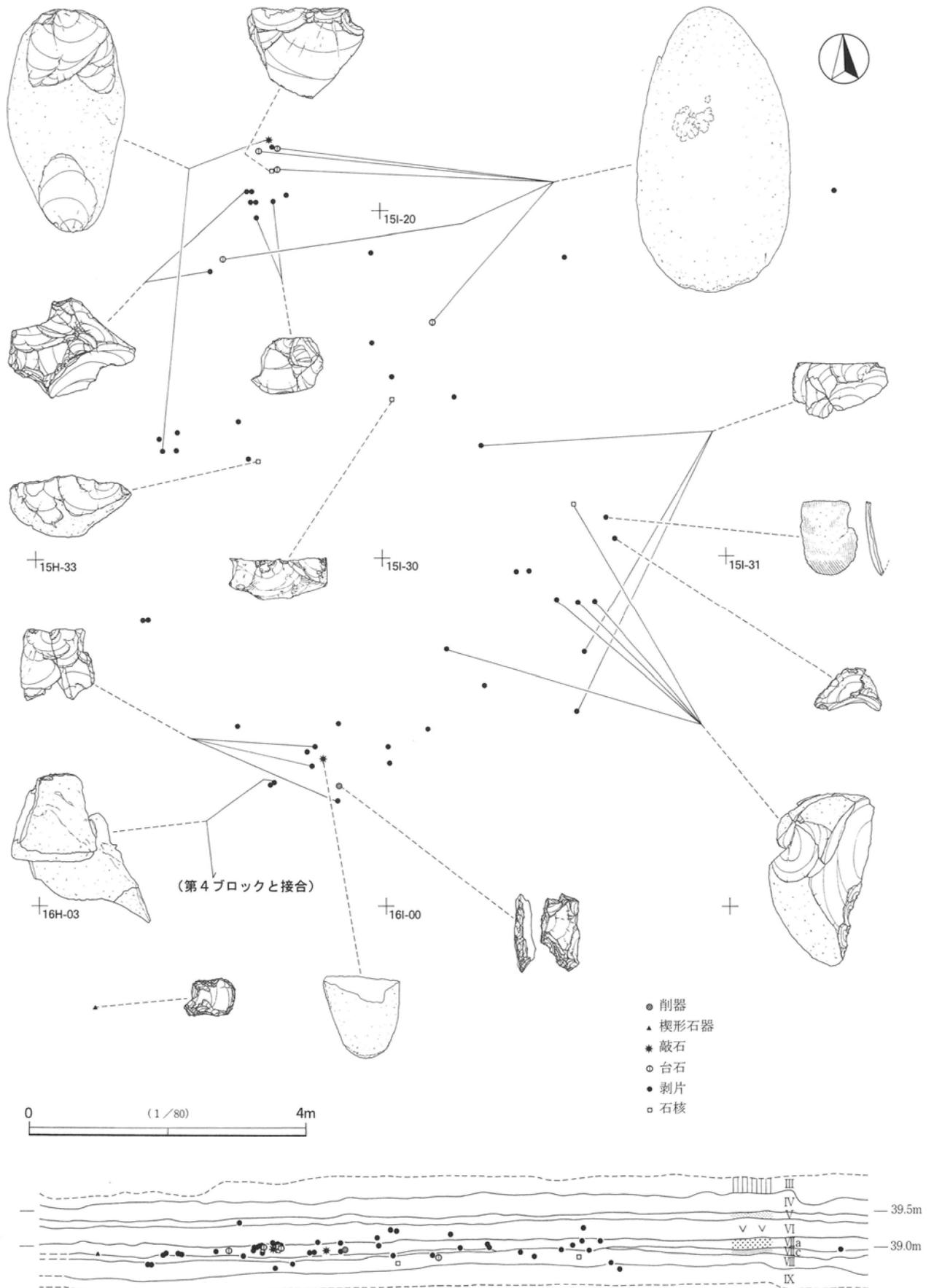
石器組成は、削器1点・楔形石器1点・剥片46点(局部磨製石斧の調整剥片1点含む)・石核4点・敲石2点・台石1点の計55点である。

石材組成は、黒色緻密質安山岩11点(安山岩A1・A2, ホルンフェルス3)・トロトロ石2点(安山岩B1)・流紋岩2点(流紋岩1)・黒曜石6点(黒曜石1・2)・頁岩12点(頁岩1, 珪質頁岩2)・珪質頁岩8点(頁岩2, チャート1)・黒色珪質頁岩1点(珪質頁岩1)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩1)・砂岩2点(砂岩1・2)・角閃石1点(砂岩3)・ホルンフェルス5点(ホルンフェルス1)・閃緑岩1点(ホルンフェルス2)・チャート1点(チャート2)・玉髓2点(玉髓1)の計55点である。

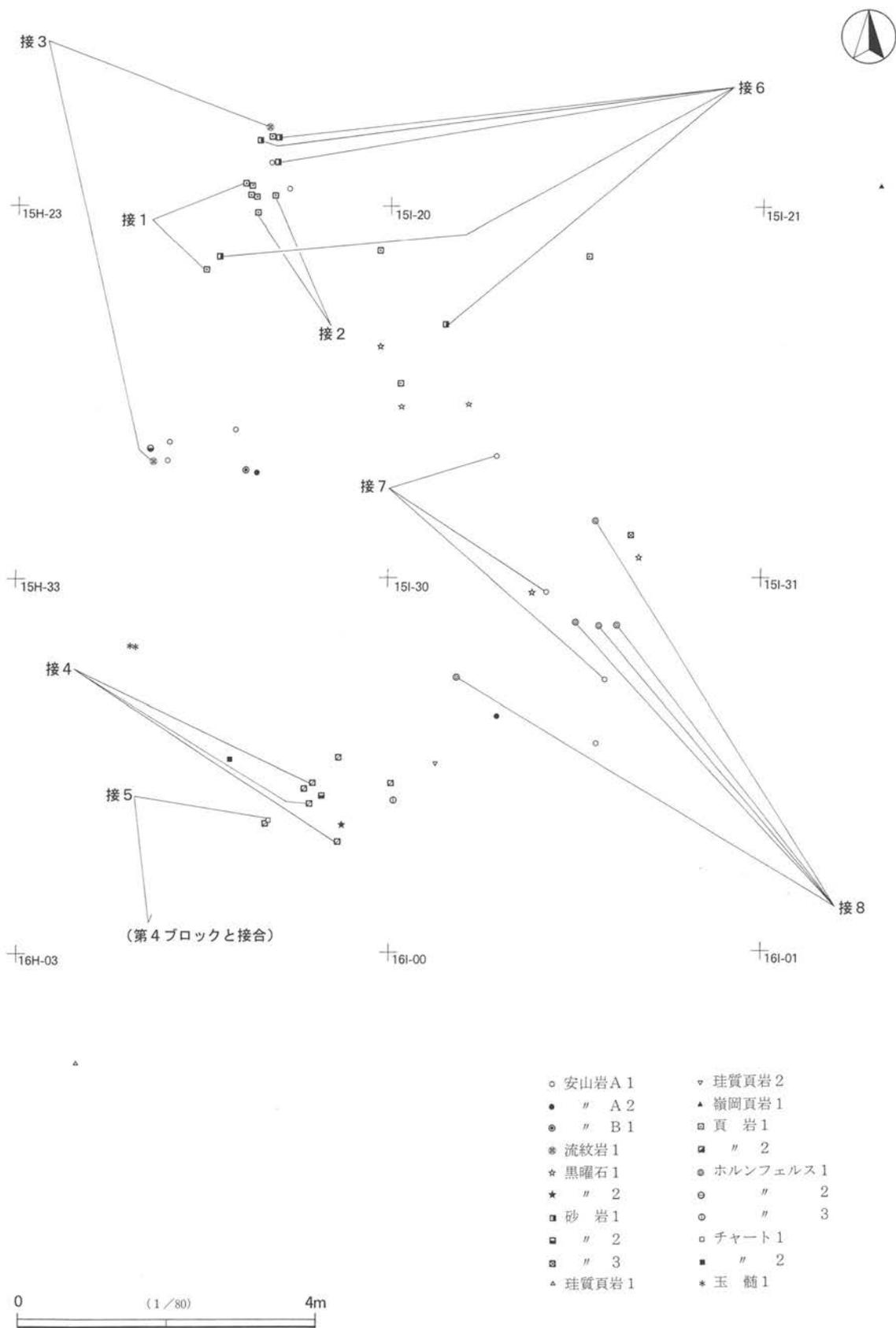
本ブロックから出土した石器で、二次加工のある石器は削器1点がみられるのみであった。ブロック内で行われた剥離作業は、大型の剥片を石核として一般剥片を生産するもので、生産された剥片に二次加工のあるものはみられなかった。またチャート1に関して、本ブロックと第4ブロックの間で接合関係が確



第6図 第1文化層ブロック間接集成図



第7図 第1ブロック石器別分布図



第8図 第1ブロック母岩別分布図

認された。

2) 母岩別資料

礫を除く石器について記載を行う。以下のブロックも同様である。なお本ブロックおよび本文化層の頁岩3は欠番とする。

・安山岩A1 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。原礫面は爪跡状のくぼみが若干みられる。径0.5mm~1.0mmのベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片8点・石核1点を含み、総重量は61.39gである。

・安山岩A2 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。原礫面はややざらついている。微細な孔が無数に入る。剥片1点を含み、総重量は16.89gである。

・安山岩B1 淡明灰色を呈する風化の進んだ安山岩で、トロトロ石と俗称される。原礫面は剥離面より黄色がかり、比較的硬質である。剥片1点・石核1点を含み、総重量は34.98gである。

・流紋岩1 淡緑灰色を呈する。原礫面は硬質でなめらかである。敲石1点・剥片1点を含み、総重量は954.02gである。

・黒曜石1 剥離面は黒色不透明で、光にかざすと灰色を呈する。また石英質の微細な斑晶が入る。原礫面はすりガラス状を呈する。剥片4点・石核1点を含み、総重量は24.31gである。

・黒曜石2 剥離面は黒色半透明で、光にかざすと淡茶色を呈する。径1.0mm~2.0mmの灰色で球形の斑晶が入る。削器1点を含み、総重量は8.93gである。

・頁岩1 剥離面は淡緑灰色を呈し、ガジリ面は青黒色を呈する。剥片11点を含み、総重量は107.40gである。

・頁岩2 緑灰色を呈し、やや珪化度が強い。剥片7点を含み、総重量は91.36gである。

・珪質頁岩1 青黒色を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は2.57gである。

・珪質頁岩2 青黒色の部分と淡明灰色の部分が、斑状に混じる。やや珪化度が低い。剥片1点を含み、総重量は0.91gである。

・嶺岡頁岩1 淡暗青灰色の地に、明灰色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は5.51gである。

・砂岩1 原礫面は青黒色を呈し、剥離面は青灰色・透明・ベージュ色の微細な粒子からなる。台石1点を含み、総重量は2,560.65gである。

・砂岩2 ベージュ色と青灰色の粒子からなる。敲石1点を含み、総重量131.97gである。

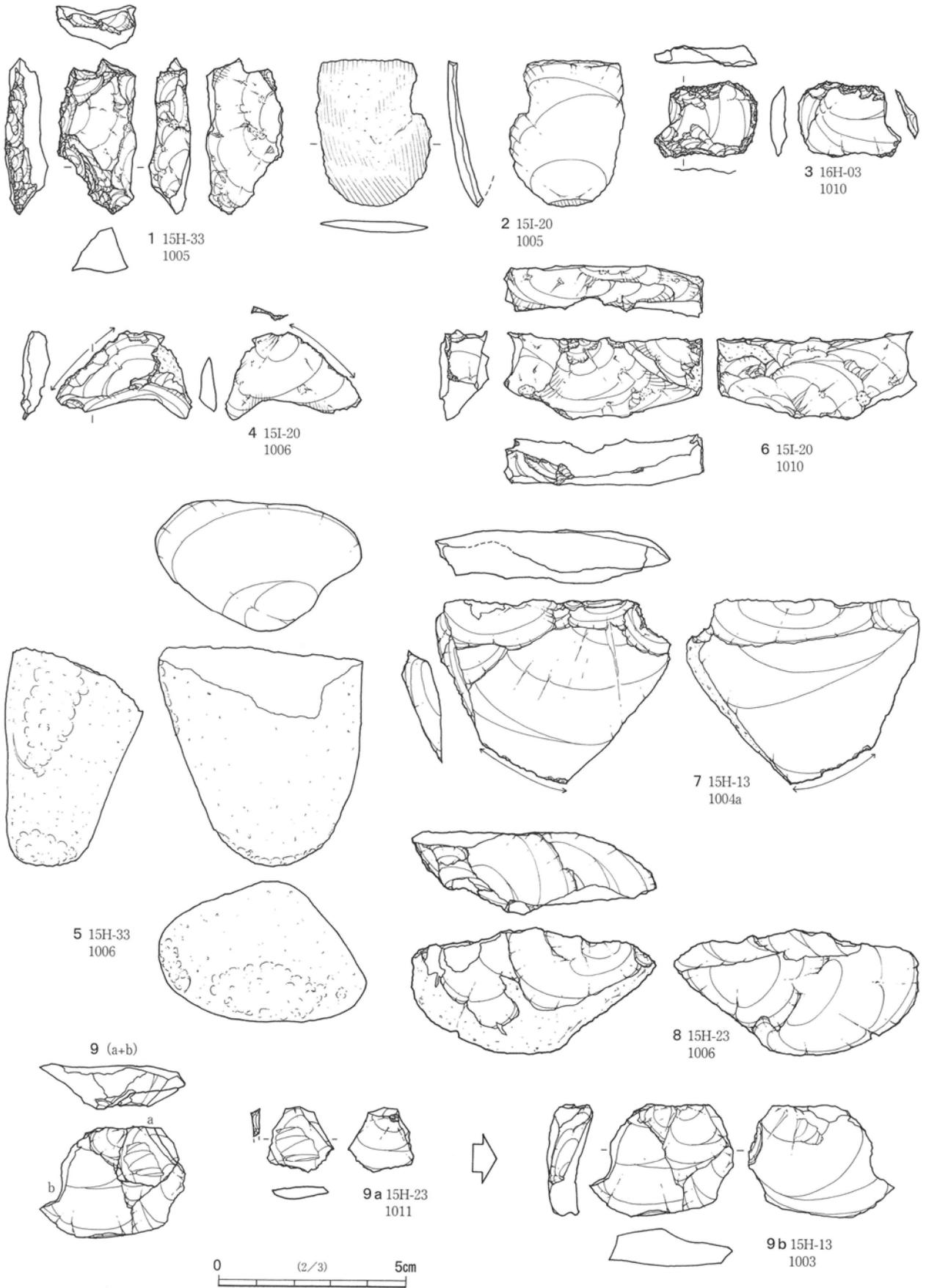
・砂岩3 暗緑色と淡緑灰色の部分が微細に入り混じる角閃石である。剥片(局部磨製石斧の調整剥片)1点を含み、総重量は5.90gである。

・ホルンフェルス1 青黒色を呈し、点紋は明確でない。剥片4点・石核1点を含み、総重量は88.10gである。

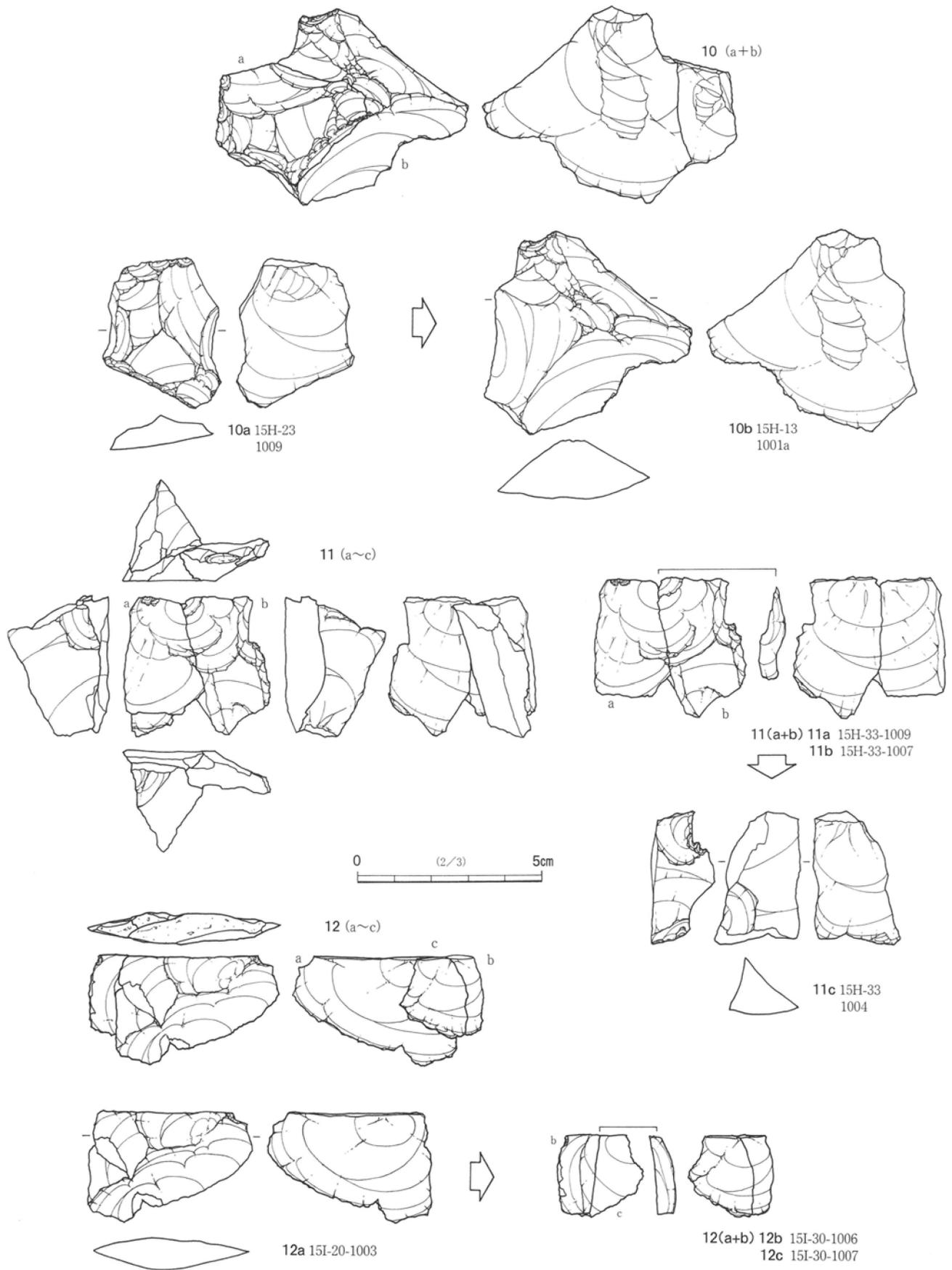
・ホルンフェルス2 剥離面は暗緑灰色と淡明灰色を呈する閃緑岩である。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は4.63gである。

・ホルンフェルス3 淡灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~2.0mm程度の斑晶を含む。剥片1点を含み、総重量は2.51gである。

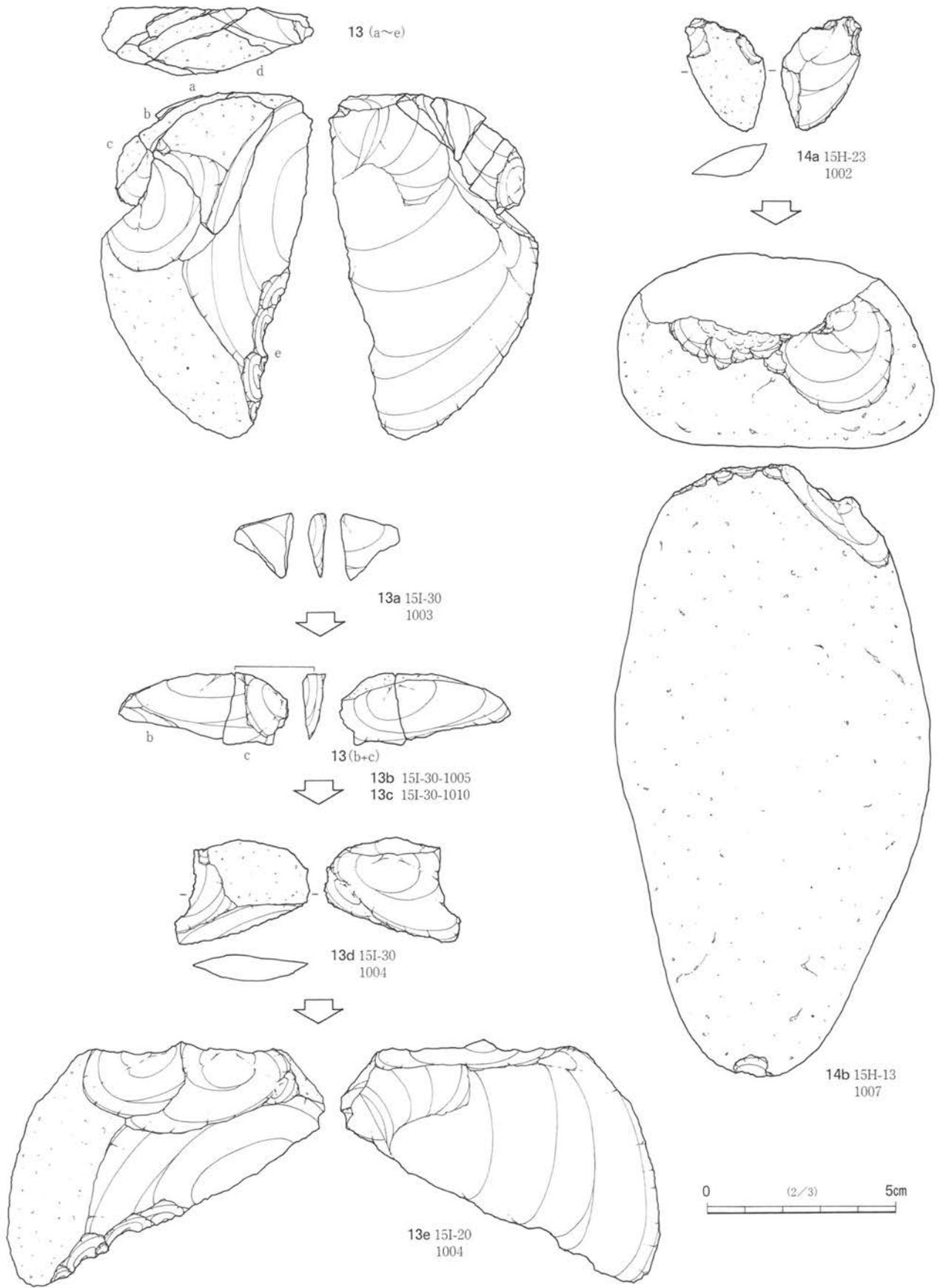
・チャート1 剥離面は茶緑色を呈し、青黒色の節理が入る珪質頁岩である。原礫面は珪化度が高く、剥離面よりも茶色がかかる。剥片1点を含み、総重量は23.29gである。



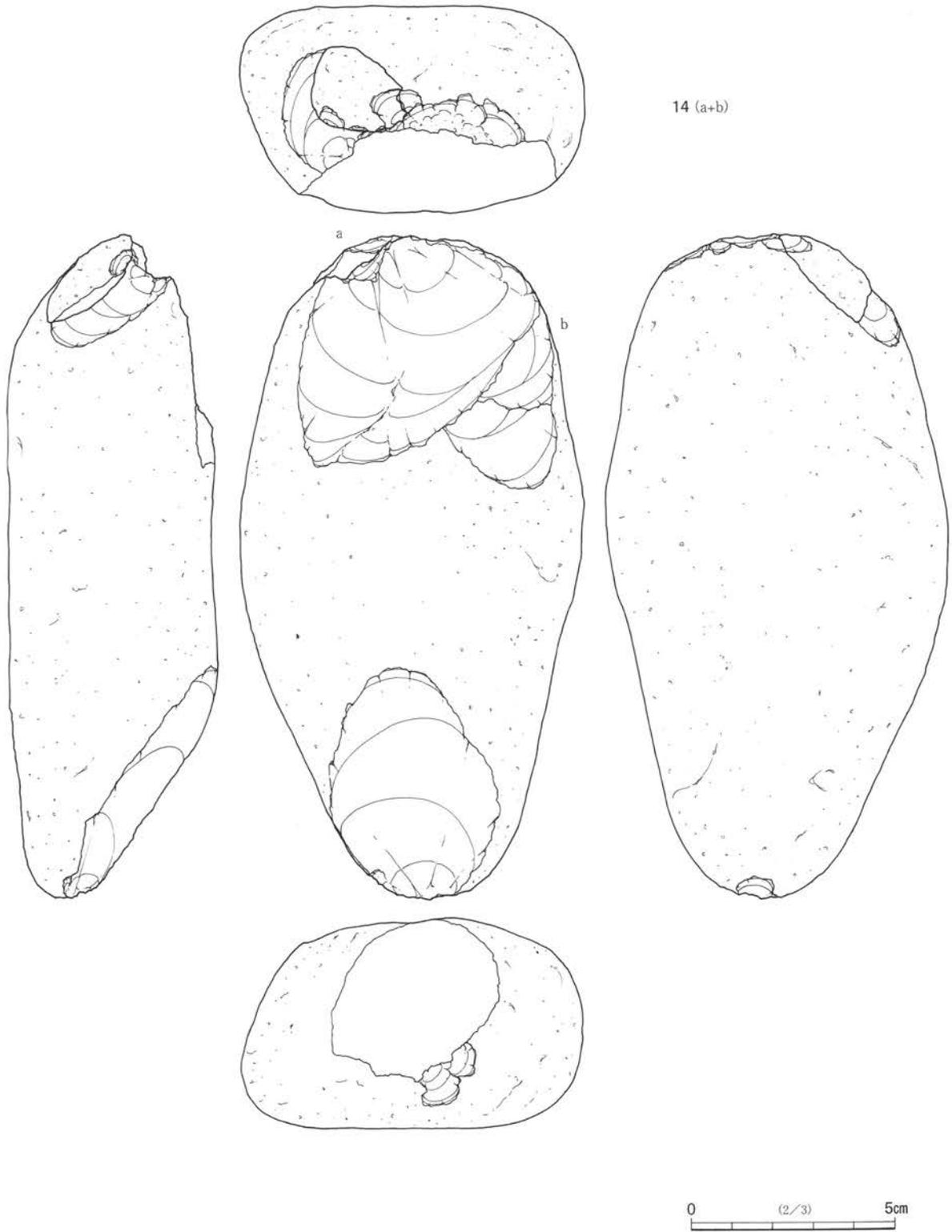
第9図 第1ブロック出土石器(1)



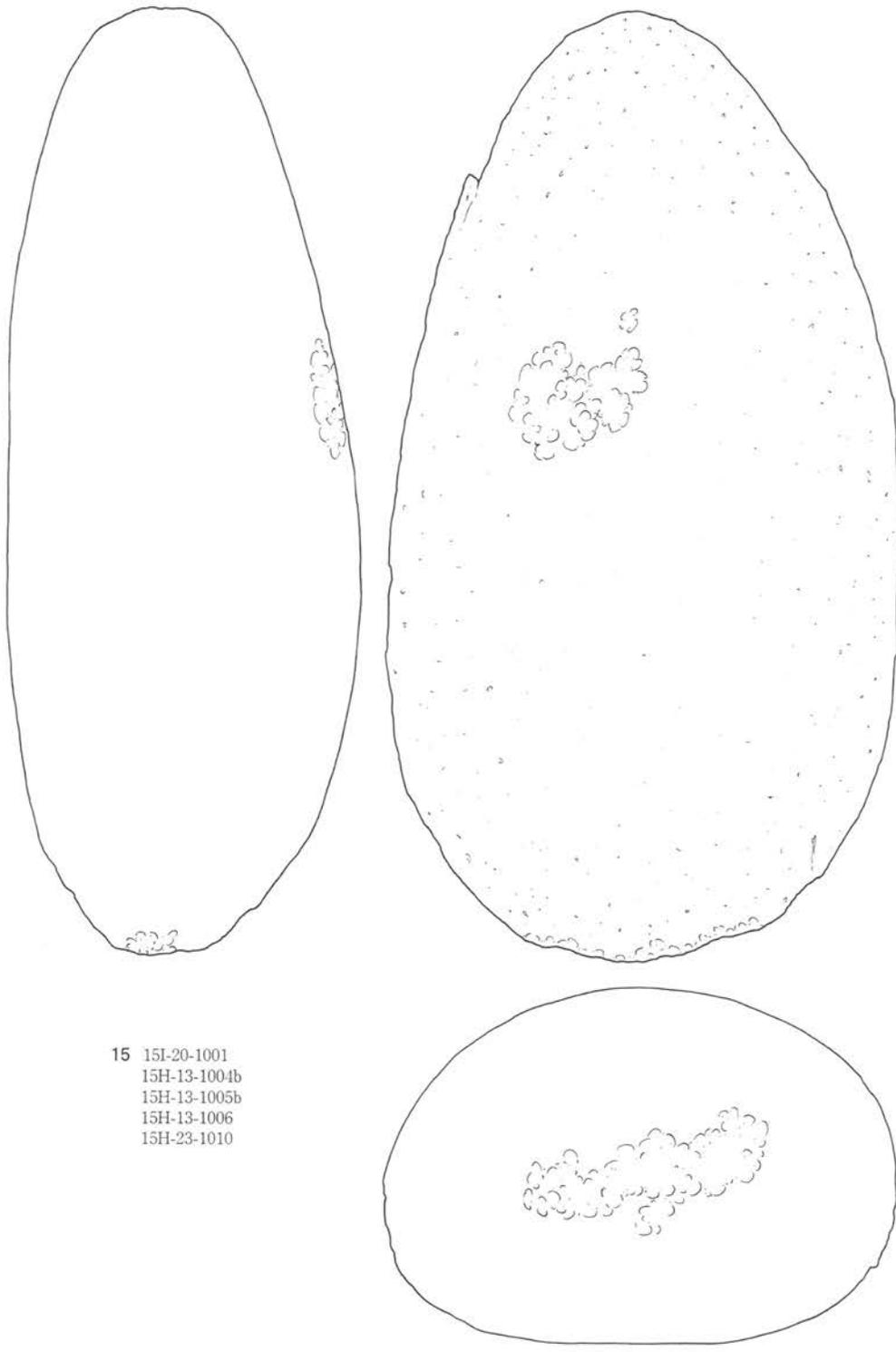
第10図 第1ブロック出土石器(2)



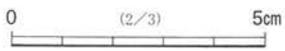
第11図 第1ブロック出土石器(3)



第12図 第1ブロック出土石器(4)



- 15 15I-20-1001
15H-13-1004b
15H-13-1005b
15H-13-1006
15H-23-1010



第13図 第1ブロック出土石器(5)

・チャート2 剥離面は淡茶褐色から淡赤褐色を呈する。原礫面は暗茶色で珪化度が高い。剥片1点を含み、総重量は6.06gである。

・玉髓1 淡黄白色で半透明である。剥片2点を含み、総重量は0.77gである。

3) 出土遺物(第9～13図, 図版6)

削器1点・楔形石器1点・剥片46点・石核4点・敲石2点・台石1点の計55点が出土した。

削器(1)の素材は、打面を頻繁に変えながら剥離した厚手の剥片である。素材剥片の頭部側を除去するように、腹面からのやや急斜な剥離によって鋸歯状の刃部を作出している。黒曜石2を用いており、肉眼観察では高原山産と思われる。

楔形石器(3)は珪質頁岩1製で、両極剥離による石材消費を示す資料である。

石核は4点(6～8・13e)が出土した。6は分厚い剥片の折損面から幅広の剥片を剥離している。黒曜石1を用いており、肉眼観察では高原山産と思われる。7は安山岩A1製の厚手の剥片を素材としている。剥片の縁辺から交互剥離によって幅広の剥片を生産している。8は安山岩B1製の厚手で礫面付きの剥片を素材としている。素材剥片の頭部を打面に、交互剥離によって貝殻状の剥片を生産している。13eはホルンフェルス1製の厚手で礫面付きの剥片を素材としている。剥片の縁辺から交互剥離によって幅広の剥片や矩形の剥片を生産している。

敲石は2点(5・14b)が出土した。5は砂岩2製で端部のみが遺存しており、端部と周縁につぶれがみられる。14bは流紋岩1製で楕円形の円礫の両端に敲打痕がみられる。敲打によって剥落した剥片が1点接合する。一方の端部はチョッピング・ツール状の形態であるが、両端ともつぶれが顕著にみられることから敲石とした。

台石(15)は砂岩1製で重量は2,560.65gである。平坦な面に敲打痕がみられる。一方で周縁に敲打痕がみられることから敲石として使用された可能性も考えられる。

本ブロックで行われた剥片剥離作業は、大型の剥片を石核として一般剥片を生産するものが主であった。このような剥離作業は、素材剥片の頭部を打点とするものと、素材剥片の縁辺を打点とするものがみられ、いずれも交互剥離によって剥片を生産している。

二次加工ある石器は少なく、局部磨製石斧の調整剥片と鋸歯縁状の削器がみられた。敲石2点と台石1点が出土しており、敲石と台石の分布は最も近いもの(15H-13グリッドと15I-20グリッド)でも4mほど離れている。

また本ブロックのチャート1製の剥片1点(39b)と第4ブロックの剥片3点(39a・39c・39d)が接合した(接合資料5)。その距離は約18mである。

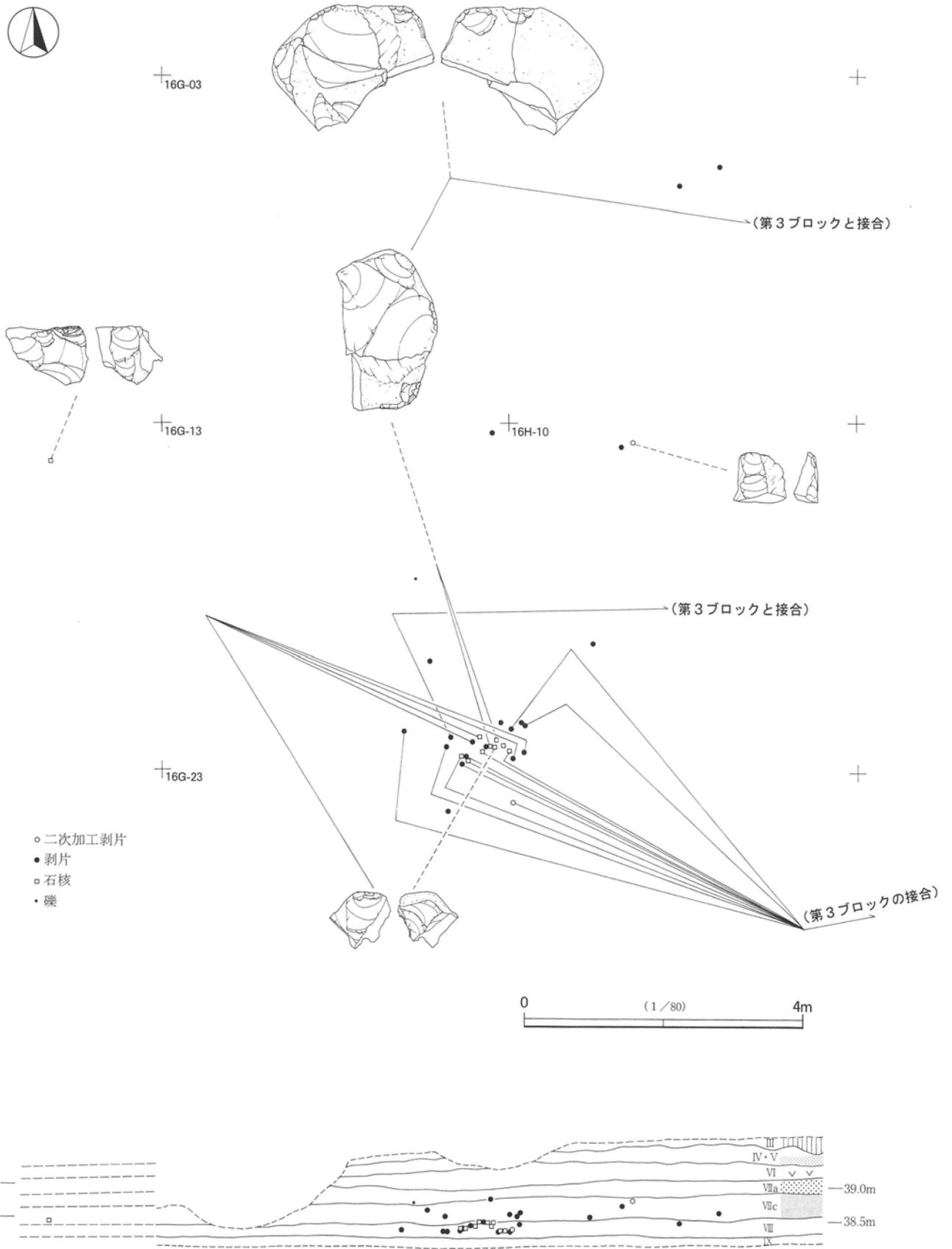
第2ブロック(第14・15図, 第3・43表)

1) 概要

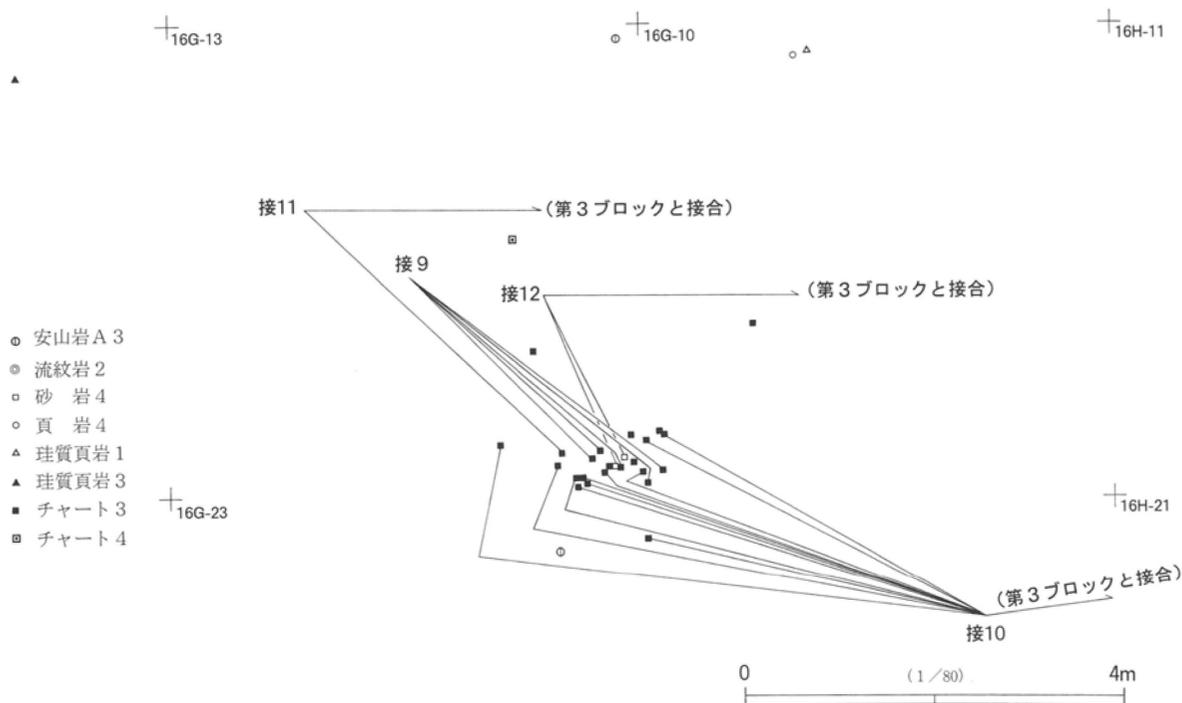
VIIa層(IXa層)からVIII層(X層)にかけて31点の遺物が出土し、VIII層(X層)に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片2点・剥片20点・石核8点・礫1点の計31点である。

礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩(安山岩A3)2点・流紋岩(流紋岩2)1点・黒色頁岩(頁岩4)1点・珪質頁岩(珪質頁岩1・3)2点・凝灰岩(砂岩4)1点・チャート(チャート3)23点の計30点である。

本ブロックでは、チャート3が剥片剥離作業のほとんどを占めており、円礫を分割し、分割された礫片を石核として一般剥片生産を行っている。二次加工のある石器は、珪質頁岩1の二次加工剥片1点のみで



第14図 第2ブロック石器別分布図



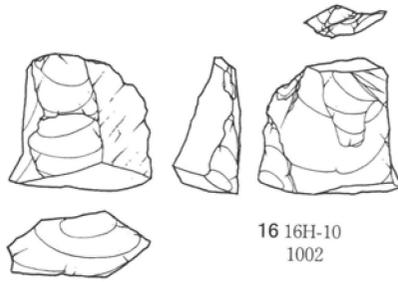
第15図 第2ブロック母岩別分布図

ある。また本ブロックと第3ブロックの間で、3組の接合資料が確認されている。

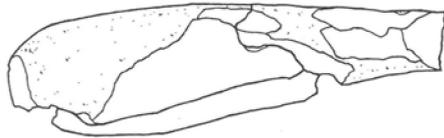
2) 母岩別資料

- ・安山岩A3 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~1.0mmのベージュ色の斑晶が疎らに入る。微細な孔が無数に入る。剥片2点を含み、総重量は9.20gである。
- ・流紋岩2 淡青緑色と淡茶褐色の部分が微細に入り混じる流紋岩である。径0.5mm程度の石英質の斑晶がみられる。剥片1点を含み、総重量は16.82gである。
- ・頁岩4 淡青灰色を呈する黒色頁岩である。剥片1点を含み、総重量は4.58gである。
- ・珩質頁岩1 青黒色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は10.45gである。
- ・珩質頁岩3 淡青緑色で珩化度が高い。石核1点を含み、総重量は43.60gである。
- ・砂岩4 淡青灰色と淡明灰色のごく微細な粒子からなる。ガジリ面が漆黒を呈することから凝灰岩であると思われる。石核1点を含み、総重量は122.80gである。
- ・チャート3 剥離面は淡青灰色を呈し、原礫面は淡緑茶褐色を呈する。節理がそれほど顕著でない。二次加工剥片1点・剥片16点・石核6点を含み、総重量は379.64gである。

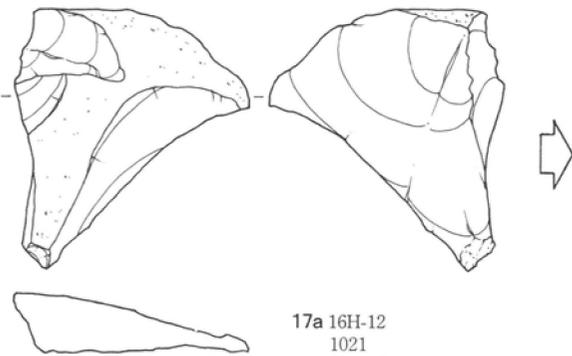
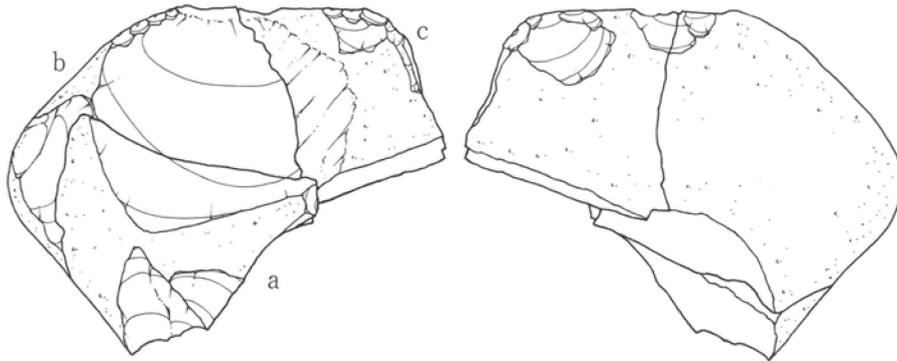
3) 出土遺物 (第16・17図, 図版7)



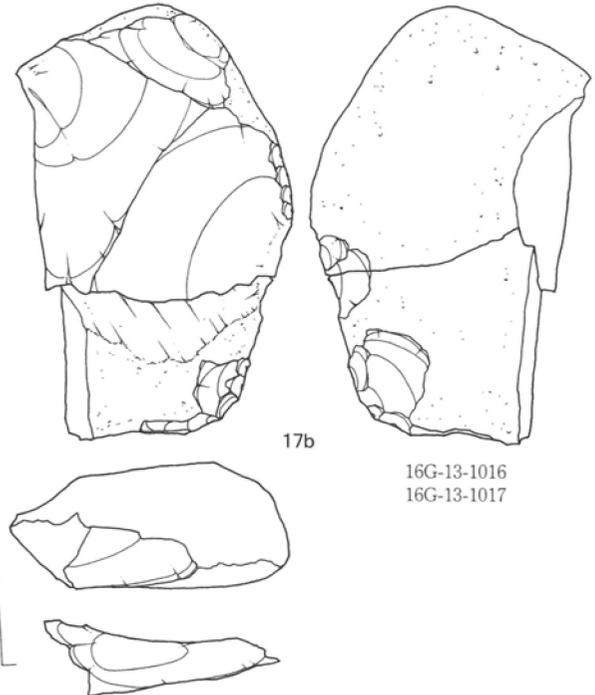
16 16H-10
1002



17(a+b) 第2ブロック+第3ブロック
ブロック間接合資料

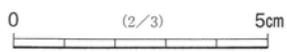


17a 16H-12
1021
第3ブロック出土

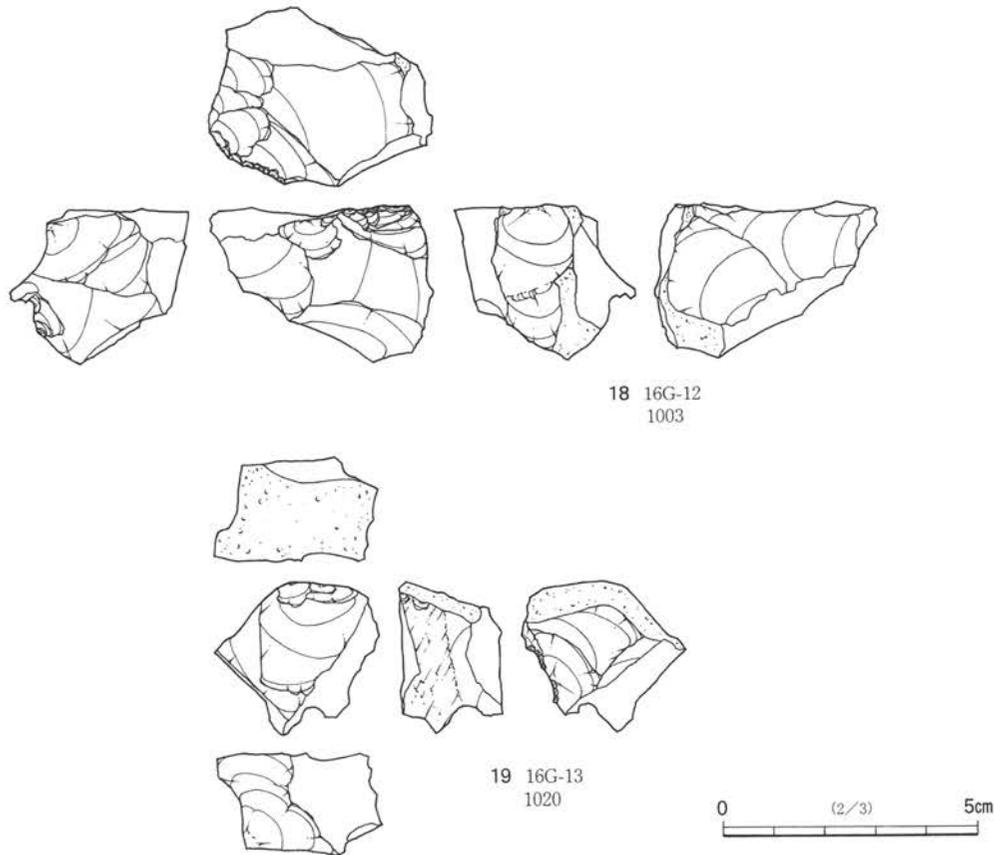


17b

16G-13-1016
16G-13-1017



第16図 第2ブロック出土石器(1)



第17図 第2ブロック出土石器(2)

二次加工剥片2点・剥片20点・石核8点・礫1点の計31点が出土した。

二次加工剥片は2点(16)が出土した。16は珪質頁岩1製で、腹面側の左側縁に平坦な二次加工がみられる。もう1点(16H-20-1002)はチャート3製で、腹面側からやや急斜な二次加工を加えている。削器の破片と思われる。

石核は8点(17b・18・19)が出土した。いずれも分割礫を素材とし、一般剥片生産に関するものである。交互剥離を行うもの(16G-13-1019)、同一作業面上で打点を回転させるもの(17b)、多方向からの剥片剥離が行われ、多面体状になるもの(18, 19ほか3点)、より大型の石核の破片と思われるもの(16G-13・21)がみられた。チャート3に含まれるものが6点みられ、最も顕著に消費されている。

本ブロックでは、チャート3の消費が剥片剥離作業のほとんどを占める。原礫面付きの資料が23点中12点と約半数を占めており、円礫を分割したものを石核として一般剥片生産を行っている。接合資料9・10・11がチャート3の接合資料で、円礫の分割をした後に、一般剥片剥離作業を行っていることを示す資料である。特に円礫の分割に関する資料が多くみられる。

また接合資料10・11(チャート3)、接合資料12(砂岩4)は第3ブロックと接合関係をもつ。接合資料10には、第2ブロックの石核3点・剥片6点・二次加工剥片1点と、第3ブロックの剥片4点が含まれ、約10mの距離を隔てて接合している。接合資料11には、第2ブロックの剥片3点と、第3ブロックの剥片1点が含まれ、約15mの距離を隔てて接合している。接合資料12には、第2ブロックの石核1点(17b)と、第3ブロックの剥片1点(17a)が含まれ、約11mの距離を隔てて接合している。

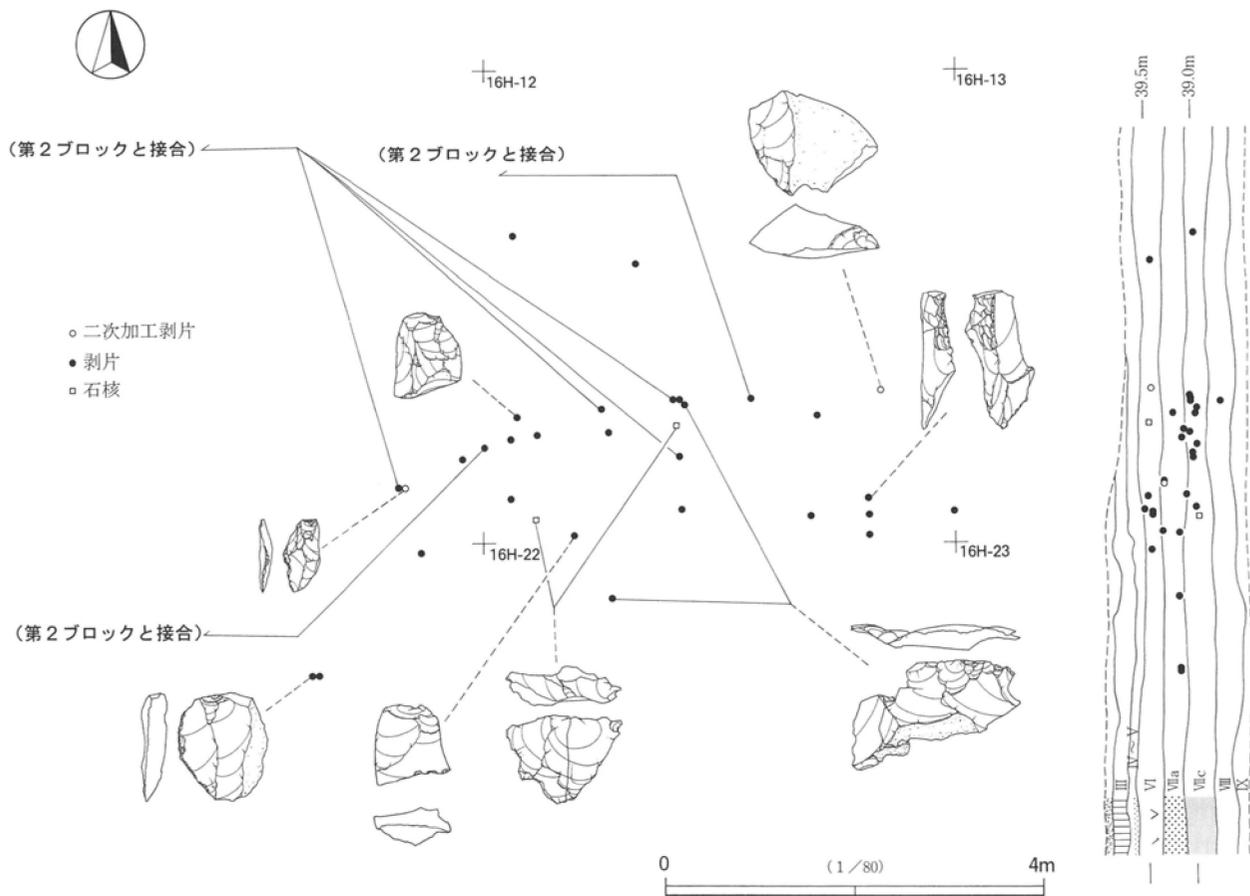
第3ブロック (第18図, 第4・44表)

1) 概要

VI層からVIII層(X層)にかけて31点の遺物が出土し, VIIc層(IXc層)に特に集中して分布する。石器組成は, 二次加工剥片2点・剥片28点・石核1点の計31点である。石材組成は, 黒色緻密質安山岩2点(安山岩A1)・黒曜石1点・頁岩4点・珩質頁岩5点・白滝頁岩2点(嶺岡頁岩1, チャート6)・黒色珩質頁岩1点(嶺岡頁岩2)・ホルンフェルス1点・チャート15点の計31点である。本ブロックでは, 剥片剥離作業が顕著でなく, 母岩の共通する第2ブロックからの搬入品と思われる資料が多い。また本ブロックと第2ブロックの間で3組の接合資料が確認されている。

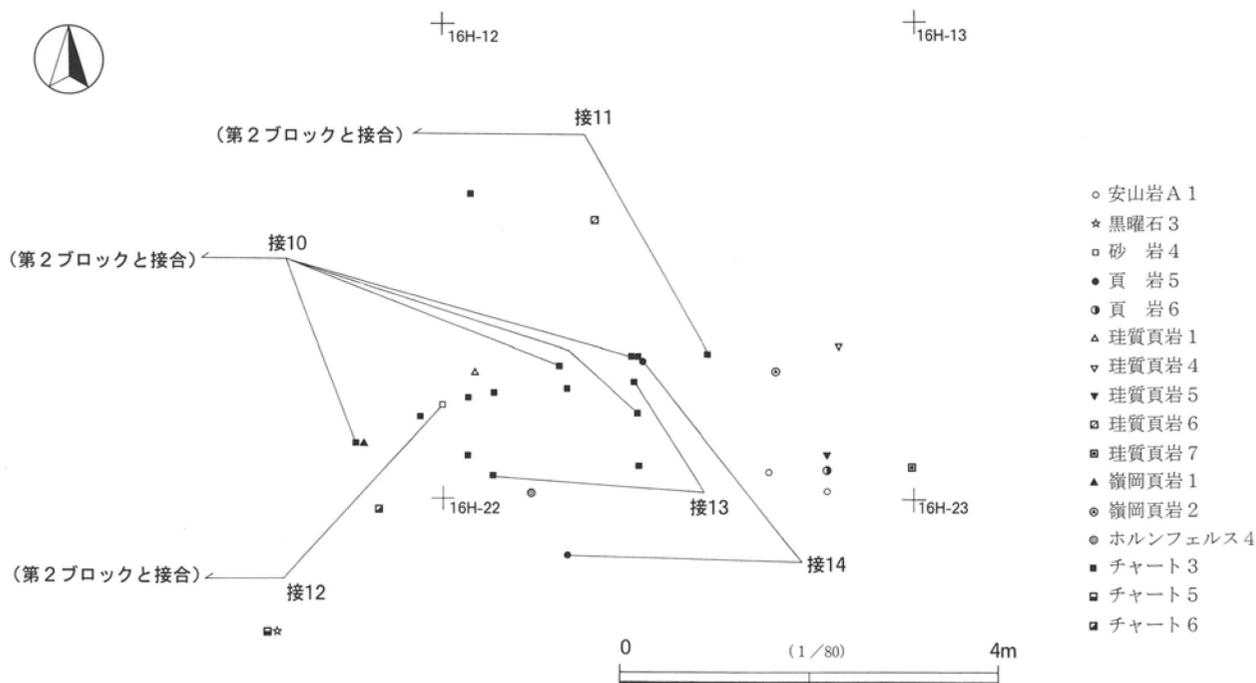
2) 母岩別資料

- ・安山岩A1 淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.5mm~1.0mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片2点を含み, 総重量は3.49gである。
- ・黒曜石3 無色透明である。肉眼観察では信州系と思われる。剥片1点を含み, 総重量は0.23gである。
- ・頁岩5 淡青灰色を呈し, 部分的に粒子の粗い部分が入る。ガジリ面は漆黒を呈する。剥片2点を含み, 総重量は18.25gである。
- ・頁岩6 淡黄褐色を呈し, 部分的に淡青灰色の部分が帯状に入る。剥片1点を含み, 総重量は8.23gである。
- ・珩質頁岩1 青黒色を呈する。剥片1点を含み, 総重量は8.10gである。
- ・珩質頁岩4 剥離面は淡青灰色を呈し, 原礫面に近い部分は淡茶褐色を呈する。原礫面はベージュ色から淡青緑色を呈する。二次加工剥片1点を含み, 総重量は30.41gである。
- ・珩質頁岩5 剥離面は淡青緑色を呈し, 原礫面は茶褐色を呈する。剥片1点を含み, 総重量は10.77gである。
- ・珩質頁岩6 焦茶色を呈し, 珩化度が高い。剥片1点を含み, 総重量は6.75gである。
- ・珩質頁岩7 淡緑灰色の地に, 赤褐色の斑点が入る部分と, 斑点が入らない部分からなる。剥片1点を含み, 総重量は5.55gである。
- ・嶺岡頁岩1 青灰色を呈し, 珩化度が高い。暗乳白色の微細な部分が斑状に入ることから, 白滝頁岩であると考えられる。若干の変異はあるが, 第1ブロックの嶺岡頁岩1に類似する。二次加工剥片1点を含み, 総重量は1.72gである。
- ・嶺岡頁岩2 剥離面は青灰色を呈し, 原礫面は焦茶色を呈する。珩化度の高い部分が斑状に入らないことから白滝頁岩ではなく, 色調・珩化度から黒色珩質頁岩であると思われる。剥片1点を含み, 総重量は1.65gである。
- ・砂岩4 淡青灰色と淡明灰色のごく微細な粒子からなる。ガジリ面が漆黒を呈することから頁岩であると思われる。剥片1点を含み, 総重量は21.03gである。
- ・ホルンフェルス4 剥離面は青黒色の地に, 淡明灰色の部分が斑状に入る。原礫面は色調に関しては剥離面と同じだが, やや光沢を帯び, 滑らかである。剥片1点を含み, 総重量は9.94gである。
- ・チャート3 剥離面は淡青灰色を呈し, 原礫面は淡緑茶褐色を呈する。節理がそれほど顕著でない。剥片13点・石核1点を含み, 総重量は153.24gである。
- ・チャート5 剥離面は淡青灰色から半透明乳白色を呈し, 青黒色の節理が入る。原礫面は河川による運

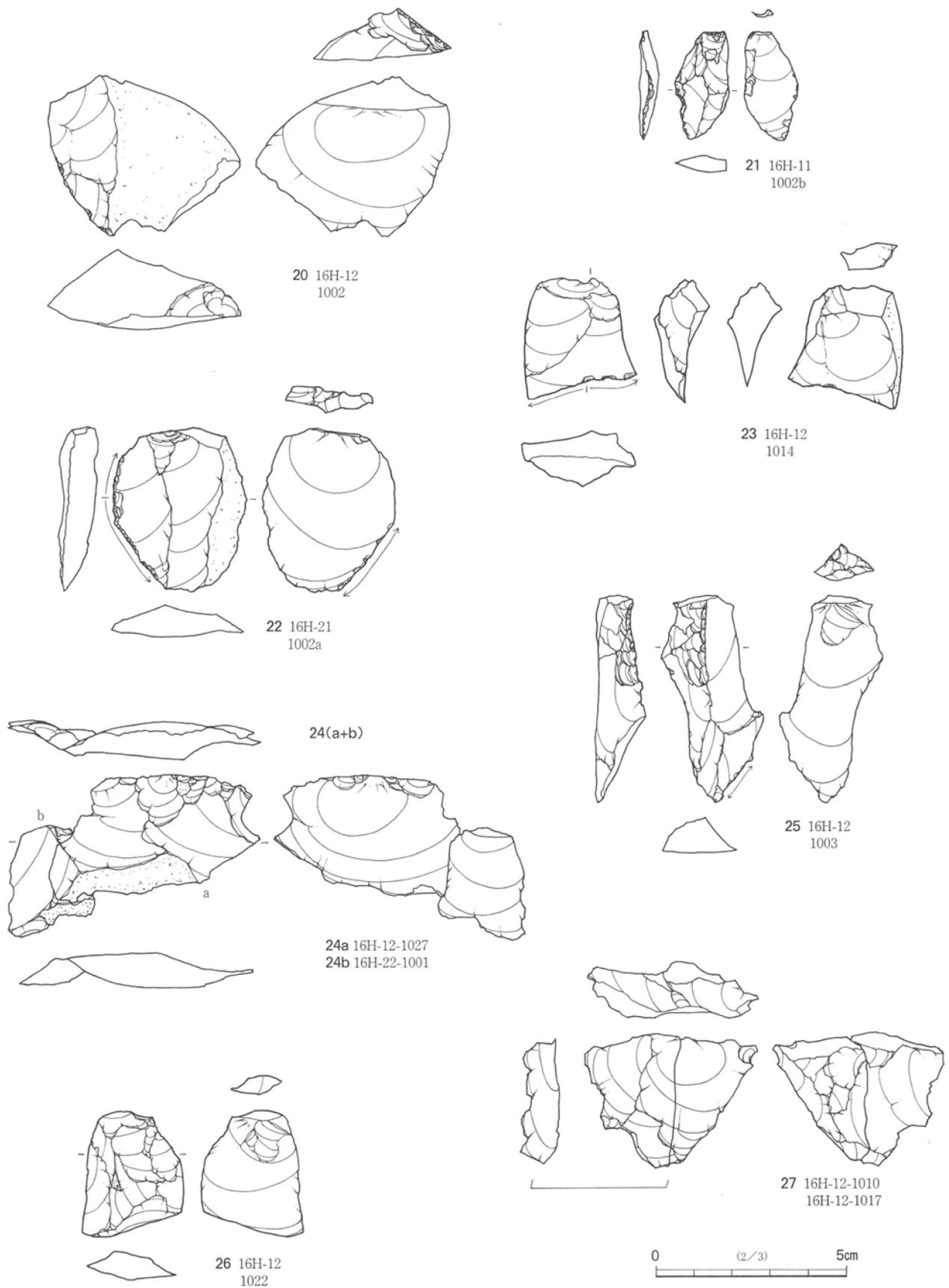


(石器別)

(母岩別)



第18図 第3ブロック遺物分布図



第19図 第3ブロック出土石器

搬でつぶれて乳白色となっている部分以外は、剥離面と同様の色調である。剥片1点を含み、総重量は14.86gである。

・チャート6 青灰色を呈する。小片だが、暗乳白色の珪化度の高い部分がみられることから、白滝頁岩であると思われる。剥片1点を含み、総重量は0.23gである。

3) 出土遺物 (第19図, 図版7)

二次加工剥片2点・剥片28点・石核1点の計31点が出土した。

二次加工剥片は2点(20・21)出土した。20は厚手で剥片の端部の折損面に剥離痕がみられる。剥離面は1面のみで意図的かどうかは不明である。また表面の左側縁に微細剥離痕がみられる。21は小型の縦長剥片を素材とする。表面の左側縁に微細な剥離痕がみられるが、二次加工であるかは不明である。

石核(27)は第2ブロックで多く消費されていたチャート3製である。原礫面は残っておらず、分割された礫片から一般剥片を生産する工程の資料と思われる。作業面は表面と裏面を主に用いている。

本ブロックから出土した遺物の石材は、第2ブロック出土と重複し、接合関係もみられる。しかし第2ブロックと比べると、ブロック内で剥離されたと思われる資料が少なく、第2ブロックで生産された資料が搬入されている可能性が考えられる。また第2ブロックにみられなかった要素として、稜付きの縦長剥片(25)がみられる。この資料は珪質頁岩5製で、調整打面を持つ。

他のブロックとの接合関係については、第2ブロックで述べたように、接合資料10・11・12について、本ブロックと第2ブロック間での接合関係が確認できた。

第4ブロック (第20・21図, 第5・45表)

1) 概要

Ⅲ層からⅧ層(X層)にかけて71点の遺物が出土している。断面図では、層位幅を持ってやや散漫に出土する部分と、Ⅶc層(Ⅸc層)から集中して出土する部分がみられるが、接合関係から1つのブロックとして認識できる。

石器組成は、削器1点・二次加工剥片4点・楔形石器1点・剥片60点・石核4点・礫1点の計71点である。

礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩6点(安山岩A1・A3)・トロトロ石1点(安山岩B2)・黒曜石4点(黒曜石1・2・4)・ホルンフェルス5点(頁岩7, ホルンフェルス5・6)・頁岩10点(頁岩8・9, チャート8・9・13)・流紋岩1点(珪質頁岩8)・珪質頁岩28点(硬質頁岩1, 嶺岡頁岩3のうち1点, ホルンフェルス4, チャート1・14)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩3のうち1点)・砂岩7点(砂岩5～7)・黒色珪質頁岩5点(チャート7・10)・チャート1点(チャート11)・玉髓1点(チャート12)の計70点である。

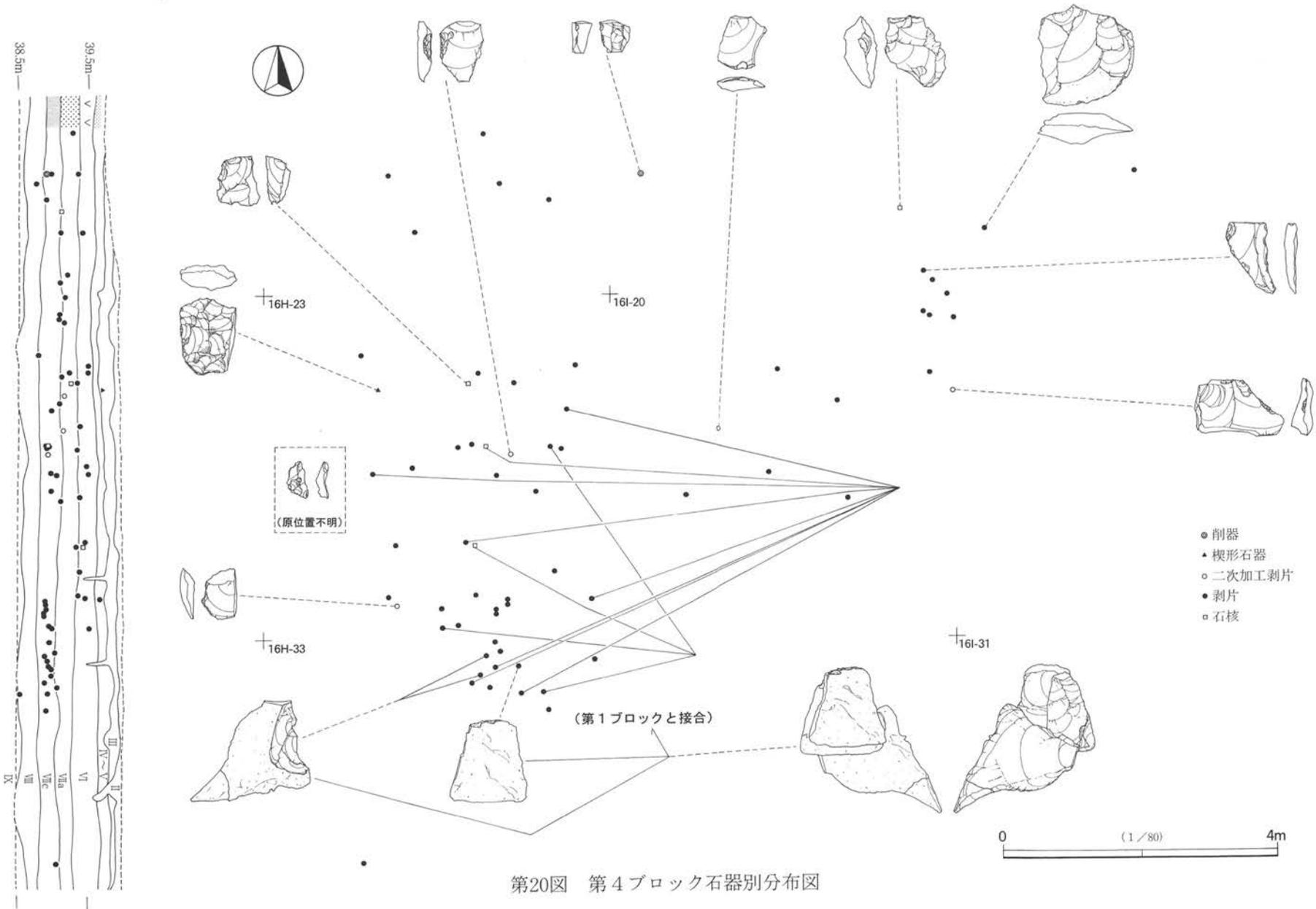
本ブロックでは、チャート1の円礫もしくは分割礫を分割して、一般剥片生産を行う作業が主体で、他の母岩に含まれる遺物数は少ない。このチャート1は第1ブロックと接合関係をもつ。

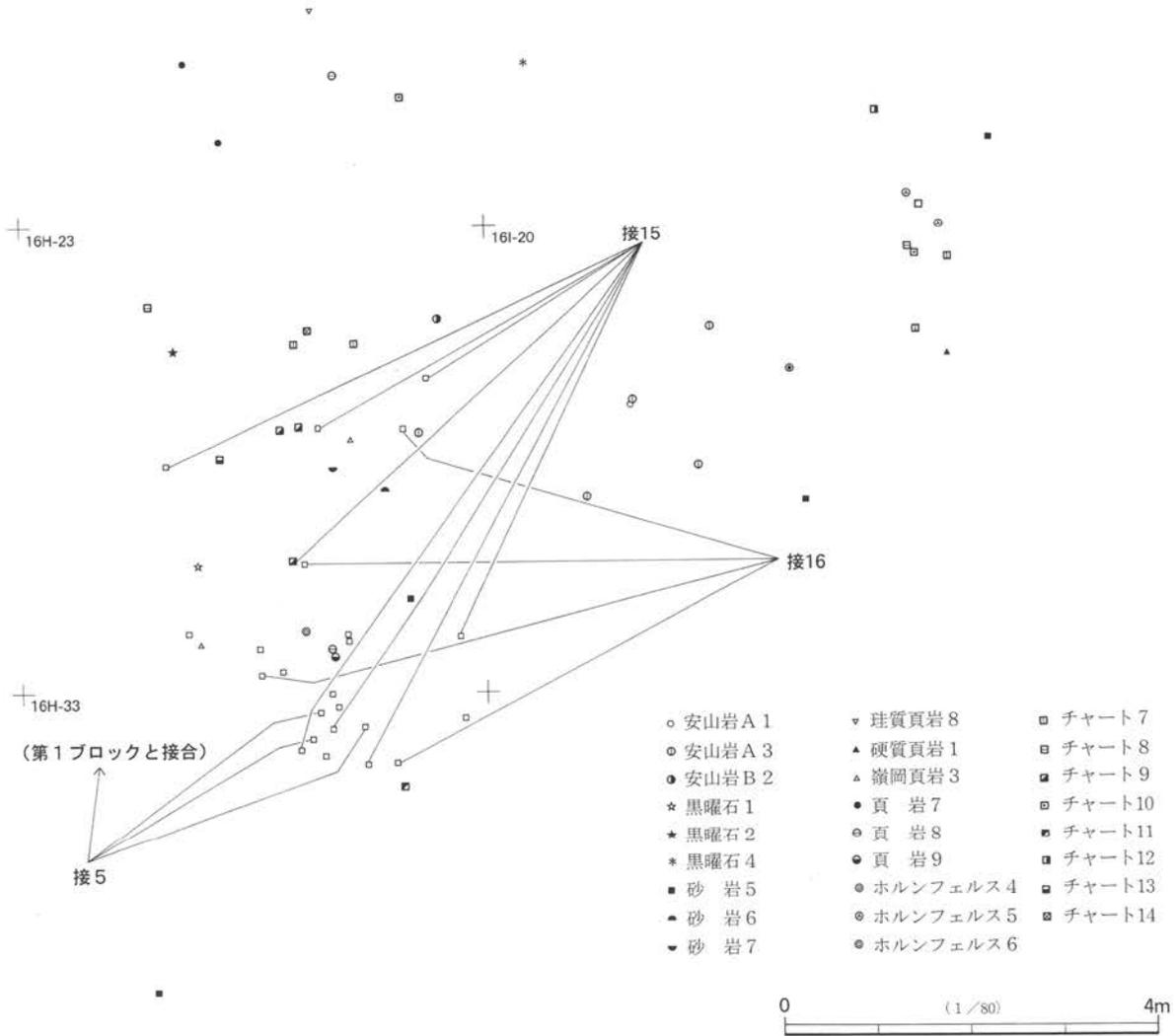
2) 母岩別資料

・安山岩A1 淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～1.0mmのベージュ色の斑晶が疎らに入る。二次加工剥片1点を含み、総重量は5.16gである。

・安山岩A3 淡灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～1.0mmのベージュ色の斑晶が疎らに入る。微細な孔が無数に入る。剥片5点を含み、総重量は43.95gである。

・安山岩B2 淡明灰色を呈する風化の進んだ安山岩で、トロトロ石と俗称される。径0.5mm～1.0mmの黒





第21図 第4ブロック母岩別分布図

色の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は3.98gである。

・黒曜石 1 灰色不透明で光をわずかに透過する。径0.5mm~1.0mmの石英質の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は2.07gである。

・黒曜石 2 やや赤みがかった灰色で透明である。径1.0mm~2.0mmの石英質の斑晶が疎らに入る。色調から第1ブロックの黒曜石2と異なる可能性がある。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は17.65gである。

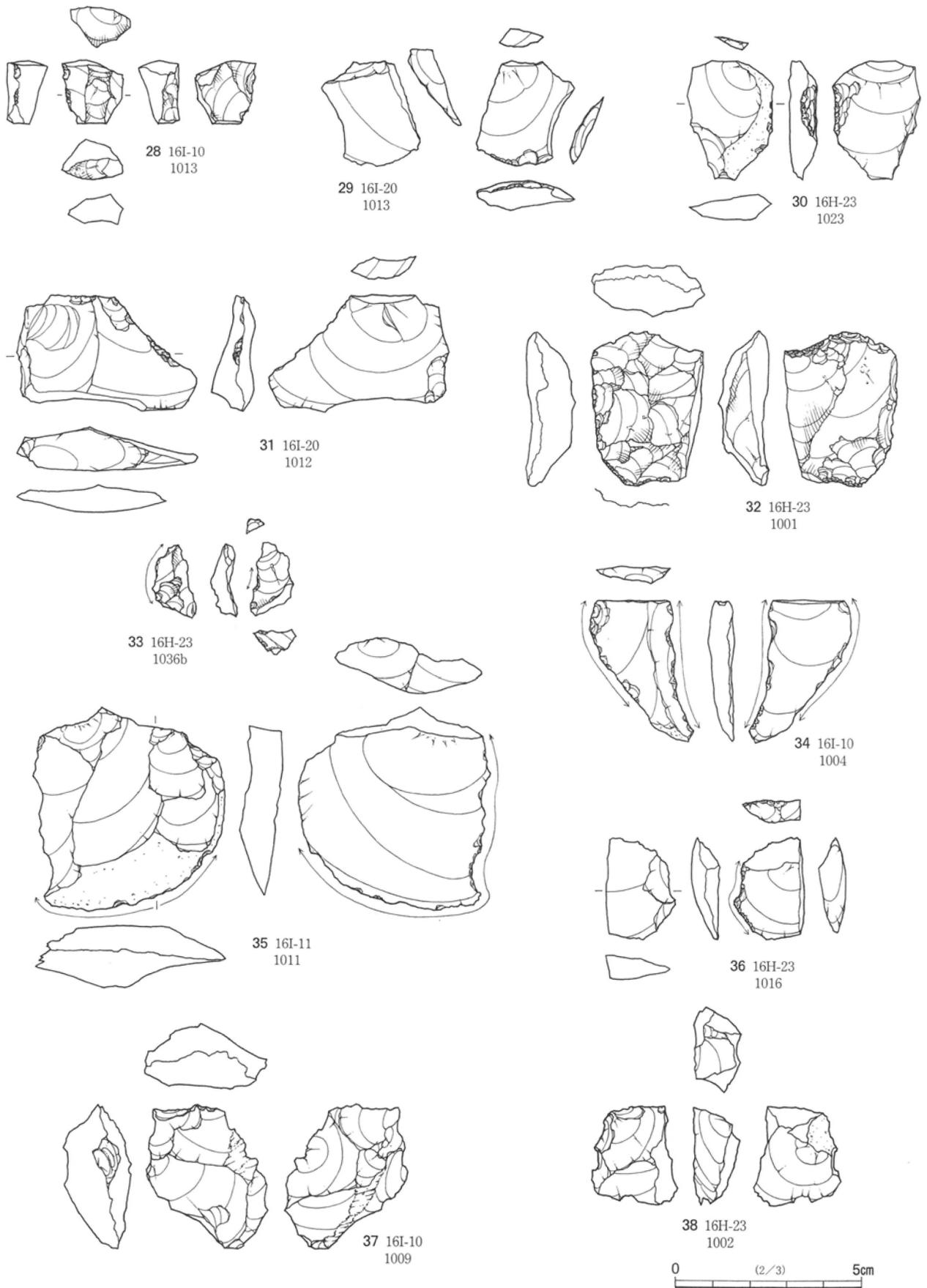
・黒曜石 4 やや青みがかった黒色で不透明である。径0.2mm~2.0mmの石英質の斑晶が無数に入る。削器1点を含み、総重量は2.91gである。

・頁岩 7 剥離面は淡緑色の地に、青灰色と淡黄色の部分が縞状に入る。原礫面は剥離面よりも淡い色調で淡緑黄色の点紋が無数に入る。これらの特徴からホルンフェルスであると思われる。剥片2点を含み、総重量は9.38gである。

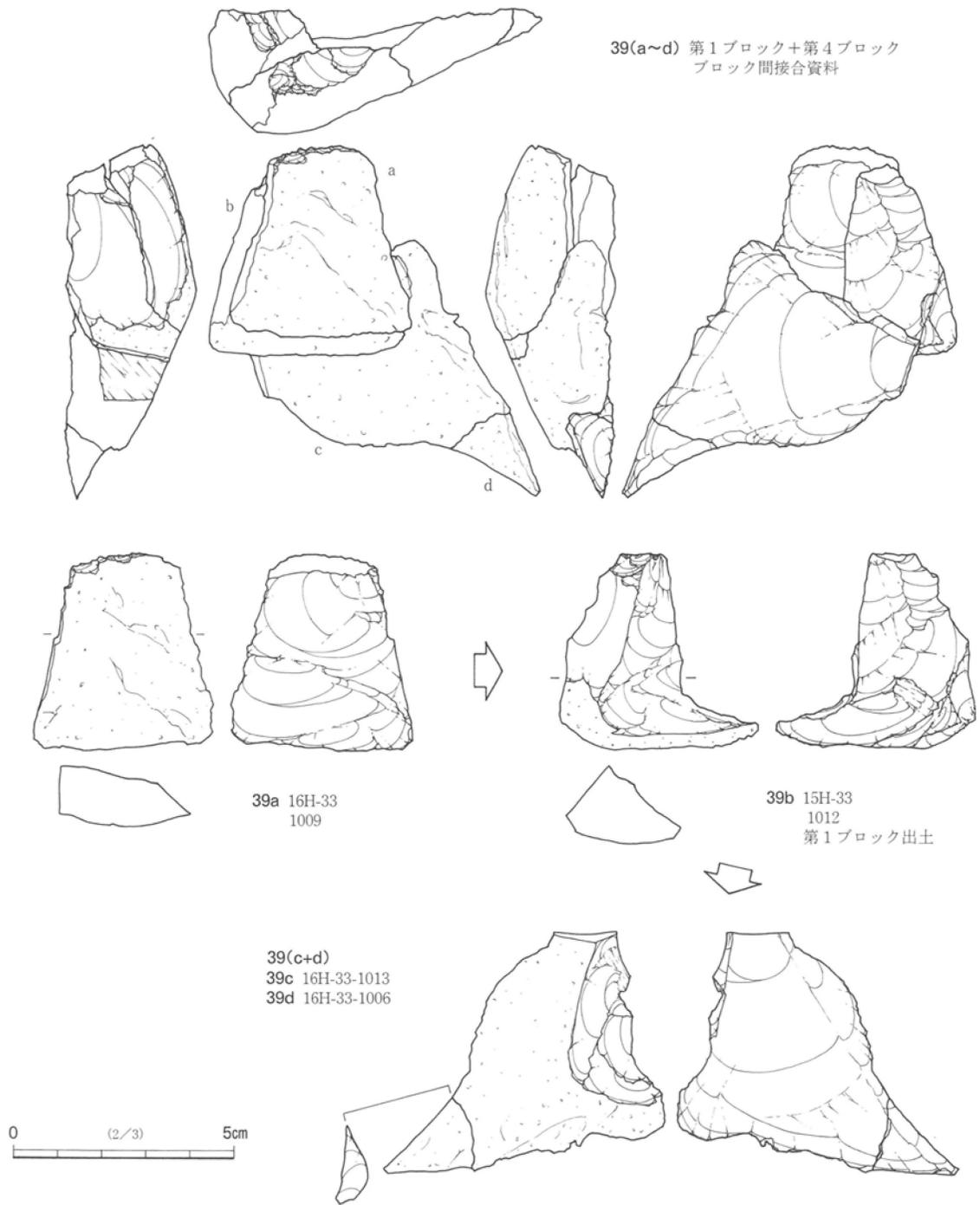
・頁岩 8 剥離面は淡明青灰色の地に、青灰色の節理が入る。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片2点を含み、総重量は2.54gである。

・頁岩 9 淡緑灰色の地に、青黒色の部分が縞状に入る。剥片1点を含み、総重量は0.17gである。

- ・珪質頁岩 8 剥離面は青灰色と淡青緑色の部分が互層を呈する。原礫面は淡紫灰色を呈する。径 0.5mm～1.5mmのベージュ色の斑晶が入る。斑晶がみられることから流紋岩と思われる。剥片 1 点を含み、総重量は 3.47 g である。
- ・硬質頁岩 1 淡茶色を呈し、珪化度はそれほど高くない珪質頁岩である。二次加工剥片 1 点を含み、総重量は 13.97 g である。
- ・嶺岡頁岩 3 淡緑灰色に珪化度の高い暗乳白色の部分が縞状に入るもの(二次加工剥片剥片 1 点を含む)と、剥離面が淡緑灰色で、原礫面が茶褐色を呈するもの(二次加工剥片 1 点を含む)がみられる。これらは別母岩である可能性がある。前者は白滝頁岩と思われるが、後者は白滝頁岩と断定できない珪質頁岩である。重量はそれぞれ 3.65 g, 6.65 g である。
- ・砂岩 5 青灰色・白色透明・黒色で光沢をもつ粒子からなる。剥片 5 点を含み、総重量は 97.8 g である。
- ・砂岩 6 青灰色・白色の微細な粒子からなる。凝灰岩質である。剥片 1 点を含み、総重量は 10.22 g である。
- ・砂岩 7 ベージュ色と青黒色の微細な粒子からなる。凝灰岩質である。剥片 1 点を含み、総重量は 0.41 g である。
- ・ホルンフェルス 4 青黒色を呈する珪質頁岩である。第 3 ブロックのホルンフェルス 4 とは異なる母岩である。剥片 1 点を含み、総重量は 0.95 g である。
- ・ホルンフェルス 5 暗青灰色を呈し、表面に小孔がみられる。剥片 2 点を含み、総重量は 7.71 g である。
- ・ホルンフェルス 6 青灰色の地に、淡緑灰色の点紋が無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は 19.12 g である。
- ・チャート 1 剥離面は茶緑色を呈し、青黒色の節理が入る珪質頁岩である。原礫面は珪化度が高く、剥離面よりも茶色がかかる。剥片 22 点・石核 2 点を含み、総重量は 258.77 g である。
- ・チャート 7 青黒色を呈する。節理がそれほど顕著でないことから黒色珪質頁岩と思われる。4 点の資料を含み、珪化度に変異がみられる。チャート 10 より黒味が強く、珪化度はやや低い。剥片 3 点・石核 1 点を含み、総重量は 54.74 g である。
- ・チャート 8 青黒色の地に乳白色の節理が入る頁岩である。剥片 4 点を含み、総重量は 12.52 g である。
- ・チャート 9 青灰色から淡青灰色の地に、ベージュ色の部分が線状・縞状に入る頁岩である。原礫面は同様な色調でやや硬質である。剥片 2 点を含み、総重量は 35.38 g である。
- ・チャート 10 剥離面は青灰色を呈し、節理がわずかにみられる。原礫面は剥離面に比べ、白く曇った色調を呈し、爪跡状のくぼみが無数にみられる。原礫面から転礫であったことが読み取れる。節理がほとんど入らないことから黒色珪質頁岩に分類される。剥片 1 点を含み、総重量は 17.22 g である。
- ・チャート 11 淡青灰色を呈し、青黒色やベージュ色の節理が無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は 18.21 g である。
- ・チャート 12 乳白色・淡黄褐色・暗黄緑色の部分が縞状に入り混じる玉髓(メノウ)である。石核 1 点を含み、総重量は 17.31 g である。
- ・チャート 13 剥離面は青黒色の地に、淡青灰色の部分が縞状に入る。原礫面は剥離面と同様な色調で、硬質で光沢を帯びる。剥離面の珪化度からは頁岩に分類される。剥片 1 点を含み、総重量は 7.78 g である。
- ・チャート 14 剥離面は緑灰色の地に青黒色の部分が入る。原礫面は剥離面よりもやや茶色がかかり、硬質



第22図 第4ブロック出土石器(1)



第23図 第4ブロック出土石器(2)

で珪化度が高い。節理が発達しないこと、珪化度がチャートほど高くないことから珪質頁岩に分類される。剥片1点を含み、総重量は9.13gである。

3) 出土遺物 (第22・23図, 図版7)

削器1点・二次加工剥片4点・楔形石器1点・剥片60点・石核4点・礫1点の計71点が出土した。

削器(28)は黒曜石4製である。打点を変えながら、不定形の剥片を生産した石核の破片の表面右側に微細な剥離痕がみられる。

二次加工剥片は4点(29~31・36)出土した。石材は安山岩A1が1点・珪質頁岩が2点(硬質頁岩1・

嶺岡頁岩3)・白滝頁岩が1点(嶺岡頁岩3)である。素材剥片の背面側に加工を施したものが1点(31)、素材剥片の腹面側に加工を施したものが3点(29・30・36)みられた。シレ氏彫器の剥片を素材とするものが2点(29・36)みられた。

楔形石器(32)は黒曜石2製である。厚手の剥片を素材としており、中央で器体が半割している。剥離痕は器体の周縁全体にみられる。

石核は4点(37・38)出土した。厚手の剥片を素材とするものが1点(38)、分割礫を素材に打点を入れ替えながら剥片剥離を行うものが1点、より大型の石器の破片が1点であった。分割礫を素材とするものには、求心状に剥片生産をする作業面を2つ持つものが1点(37)含まれる。石材は、珪質頁岩(チャート1)が2点、黒色珪質頁岩(チャート7)が1点(38)、玉髓(チャート12)が1点(37)である。

本ブロックでは母岩チャート1が24点と最も多く、他の母岩は多くても5点程度である。チャート1は原礫面付きの資料が多く、円礫もしくは分割礫の形態で搬入された資料を、分割して一般剥片生産のための石核としている。生産される剥片には、幅広剥片や断面三角で先細りの剥片などがみられる。

第1ブロックで述べたように、本ブロックのチャート1製の剥片1点(39b)と第1ブロックの剥片3点(39a・39c・39d)が接合する(接合資料5)。

第5ブロック(第24図、第6・46表)

1) 概要

セクション図が作成されていないため、出土層位と遺物の関係は不明である。石器組成は、削器1点・二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片4点・礫1点の計8点である。石材組成は、凝灰岩1点・頁岩5点・安山岩1点(礫)・ホルンフェルス1点の計8点である。母岩あたりの資料数は多くて2点と、ブロック内での剥片剥離作業の痕跡は乏しい。

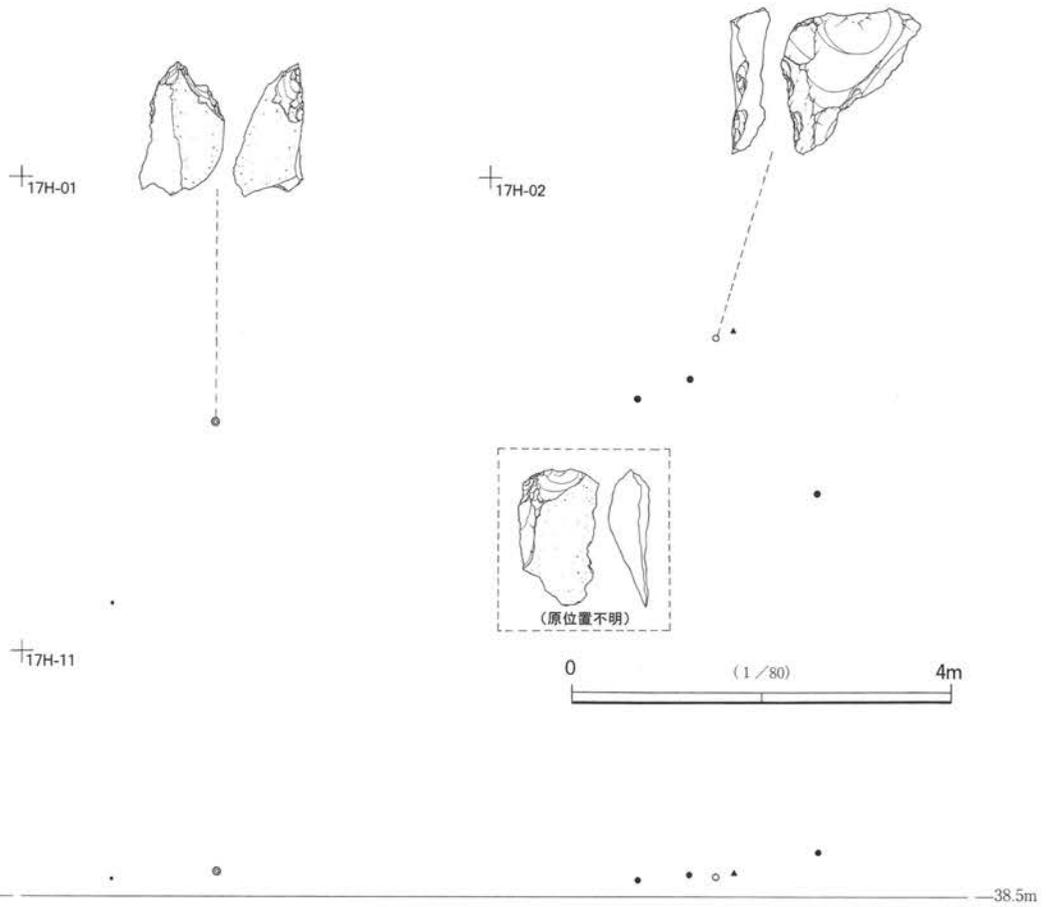
2) 母岩別資料

- ・頁岩10 剥離面は、青灰色と淡緑灰色の部分が縞状に互層を呈する。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は20.27gである。
- ・頁岩11 剥離面は青灰色を呈し、珪化度がやや高い。節理面は光沢を帯び、やや暗い色調である。二次加工剥片1点を含み、総重量は42.93gである。
- ・頁岩12 剥離面は淡緑灰色の地に、ベージュ色の節理が入る。原礫面は光沢を帯び、ベージュ色を呈する。剥片1点を含み、総重量は24.39gである。
- ・砂岩5 剥離面は緑灰色の粒子を主に、ベージュ色・青灰色の粒子がみられる。ガジリ面は漆黒である。ガジリ面から凝灰岩と思われる。剥片1点を含み、総重量は1.41gである。
- ・ホルンフェルス4 剥離面は、青黒色の部分と青灰色の部分が縞状に互層を呈する。原礫面は、滑らかで剥離面よりも曇った色調を呈する。剥片1点を含み、総重量は28.51gである。
- ・チャート8 剥離面は青黒色の地に、乳白色の節理が入る頁岩である。原礫面は滑らかで剥離面よりも曇った色調を呈する。削器1点を含み、総重量は37.69gである。

3) 出土遺物(第25図、図版7)

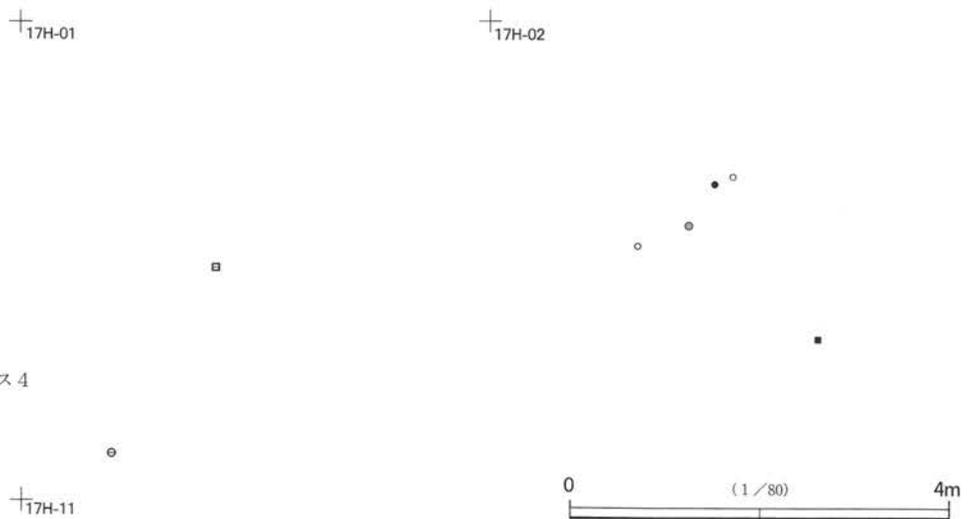
削器1点・二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片4点・礫1点が出土している。

削器(40)は、チャート8の礫を分割した素材の一端に収斂する刃部を作出している。刃縁の一方はやや鋸歯縁状を呈している。作出された刃部の断面形態は三角形を呈し、ベックともいえる。



(石器別)

(母岩別)

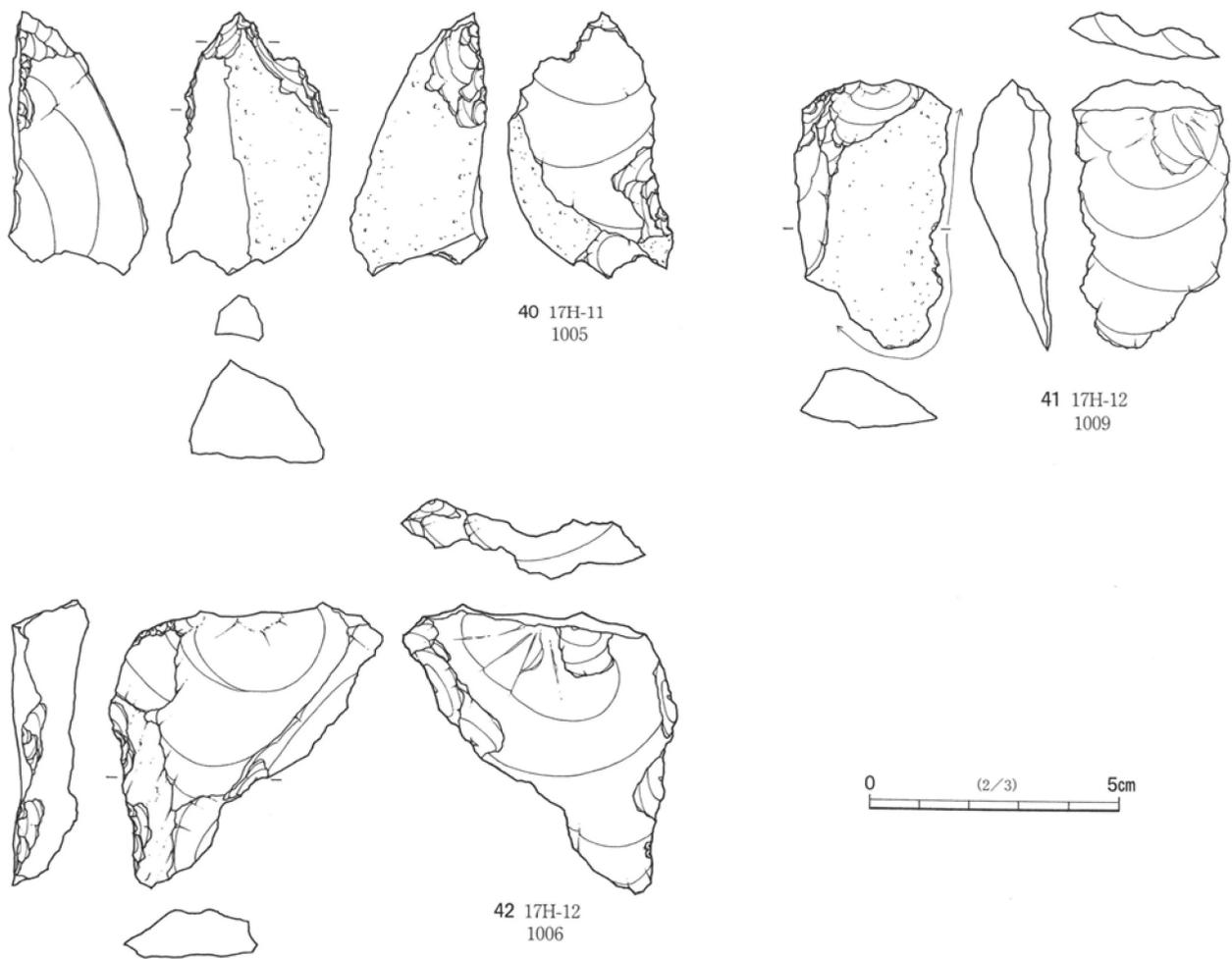


第24図 第5ブロック遺物分布図

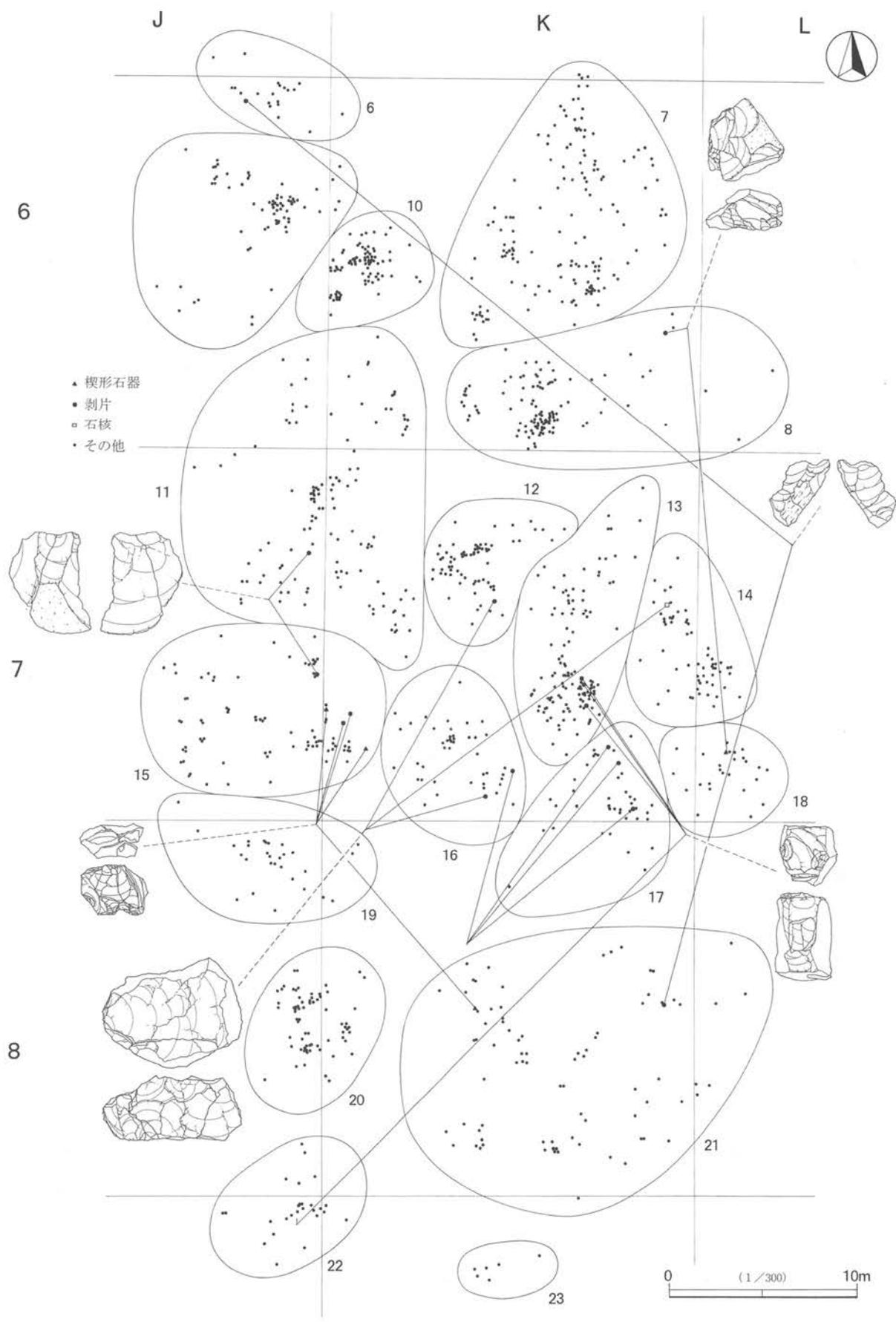
二次加工剥片(42)は、頁岩11の斜軸の厚手剥片を素材とする。左側縁と右側縁に二次加工がみられるが、両側縁とも錯向状に二次加工が施されている。

楔形石器(41)は、頁岩10製である。背面左側に原礫面を残す。

本ブロックから出土した石器は、母岩あたりの資料数が多くて2点と少なく、ブロック内で製作された痕跡に乏しい。第3ブロック(ホルンフェルス4)・第4ブロック(砂岩5・ホルンフェルス4・チャート8)と母岩を共有するが、接合はしない。



第25図 第5ブロック出土石器



第26図 第2文化層ブロック間接集成図

2. 第2文化層（第26図，第7表）

第6ブロック（第28図，第8・47表，図版2）

1) 概要

VI下層からVIIc層（IXc層）にかけて21点の遺物が出土し，VIIa層（IXa層）に特に集中して分布する。石器組成は，剥片19点・楔形石器1点・礫1点の計21点である。礫を除く石材組成は，黒色緻密質安山岩12点・流紋岩1点・珪質頁岩1点・ホルンフェルス4点・チャート2点の計20点である。本ブロックでは，剥片の点数が少ないものの，原礫面付きの資料が比較的多くみられるという特徴がある。本ブロック出土の流紋岩製の剥片1点が，第21ブロックの剥片1点と接合関係を持つ。

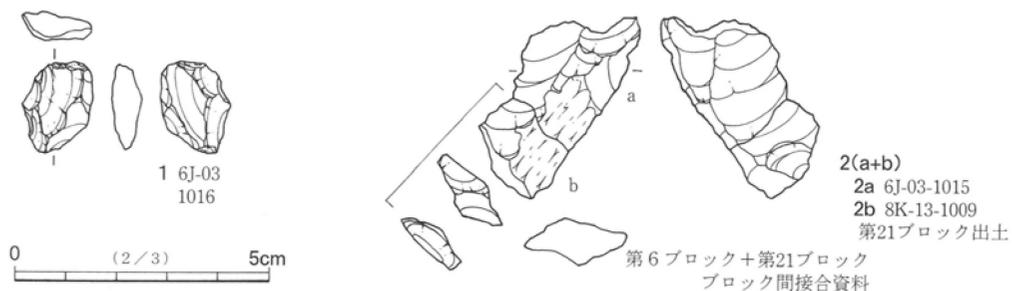
2) 母岩別資料

- ・安山岩A1 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片9点を含み，総重量は14.61gである。
- ・安山岩A2 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片2点・楔形石器1点を含み，総重量は15.46gである。
- ・流紋岩1 剥離面は石英質の部分が球状に並び，その間をベージュ色や青灰色の部分が充填する。節理面は同様の構造で黄褐色を呈する。剥片1点を含み，総重量は3.30gである。
- ・硬質頁岩1 剥離面は淡暗茶色を呈し，部分的に赤みがかかる。剥片1点を含み，総重量は7.05gである。
- ・ホルンフェルス1 剥離面は淡青灰色を呈し，やや粗い質感である。原礫面は淡青黒色を呈し，硬質である。剥片4点を含み，総重量は20.15gである。
- ・チャート1 剥離面は，青黒色から青灰色の地に淡黄褐色の部分が斑状に入る。原礫面は同様の色調で，爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片2点を含み，総重量は55.71gである。

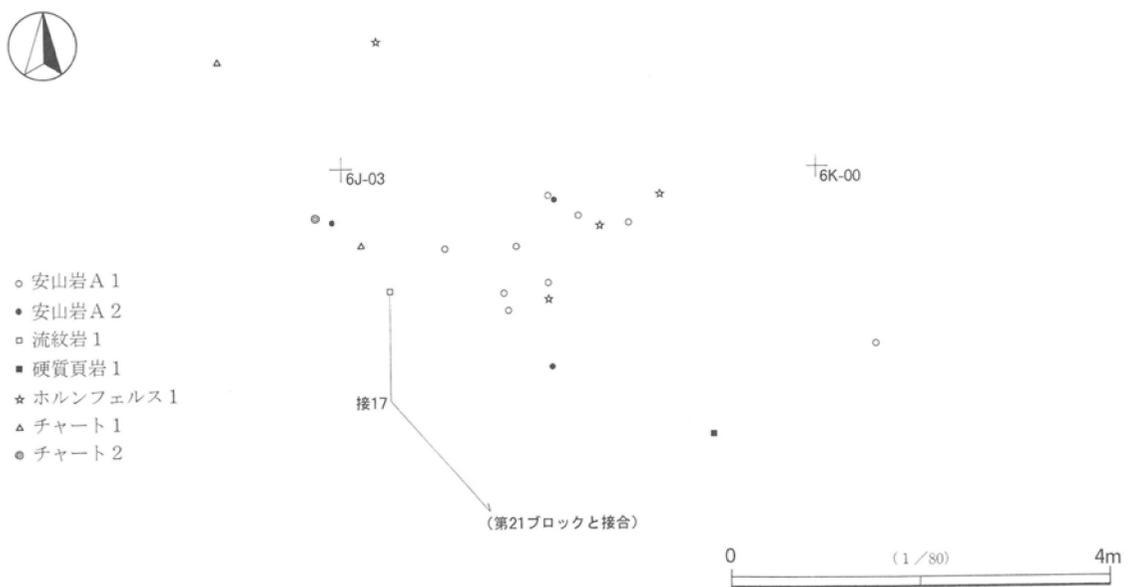
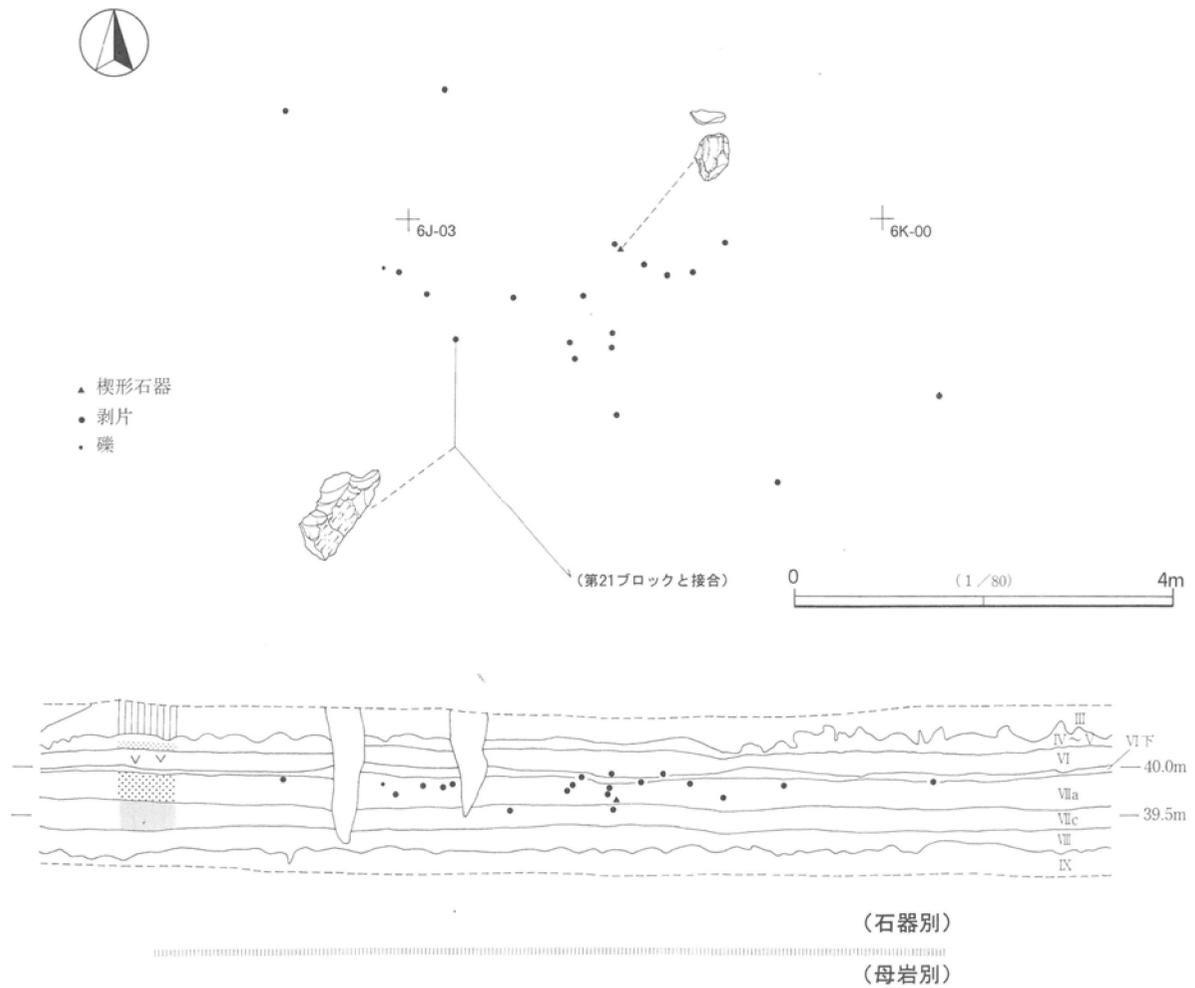
3) 出土遺物（第27図，図版8）

剥片19点・楔形石器1点・礫1点の計21点が出土した。

楔形石器(1)は，安山岩A2製で最大長が1.7cmと小型のものである。剥片は，いずれも一般剥片である。安山岩A2製の剥片は小型で占められるが，12点中7点に原礫面がみられる。チャート製の剥片は，最大長が4.7cmのものと3.7cmのものがみられ，黒色緻密質安山岩よりもかなり大型である。2点出土しているが，いずれも原礫面を打面とする。本ブロック出土の流紋岩1の剥片1点(2a)と，第21ブロックの剥片1点(2b)が，約54mの距離を隔てて接合している(接合資料17)。



第27図 第6ブロック出土石器



第28図 第6ブロック遺物分布図

第7ブロック (第29・30図, 第9・48表, 図版2)

1) 概要

Ⅲ層からⅧ層(X層)にかけて139点の遺物が出土し, VII a層(IX a層)に特に集中して分布する。

石器組成は, ナイフ形石器1点・楔形石器7点・剥片104点・石核6点・敲石1点・台石1点・礫16点の計139点である。

礫を除く石材組成は, 黒色緻密質安山岩49点(安山岩A1～A12)・トロトロ石3点(安山岩B1)・流紋岩7点(流紋岩2・7, 珪質頁岩3, 嶺岡頁岩2, 砂岩3)・黒曜石2点・貞岩4点(貞岩1, 貞岩3・4)・黒色頁岩1点(貞岩2)・珪質頁岩13点(珪質頁岩1, 硬質頁岩1～6)・緑色凝灰岩1点(珪質頁岩2)・白滝頁岩4点(嶺岡頁岩1)・砂岩4点(砂岩1～4)・ホルンフェルス11点(砂岩4, ホルンフェルス2～6)・チャート9点(チャート1・3・6)・黒色珪質頁岩2点(チャート4)・珪岩6点・玉髓7点(玉髓1～4)の計123点である。本ブロックでは, 一般剥片が主体となっているが, 珪質頁岩製の石刃が2点搬入されている。

2) 母岩別資料

・安山岩A1 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。楔形石器1点・剥片11点・石核1点を含み, 総重量は77.96gである。

・安山岩A2 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。楔形石器1点・剥片2点を含み, 総重量は16.09gである。

・安山岩A3 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。剥片1点を含み, 総重量は8.79gである。

・安山岩A4 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。原礫面には爪跡状のくぼみが無数にみられる。楔形石器1点・剥片8点・石核1点を含み, 総重量は48.67gである。

・安山岩A5 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片3点を含み, 総重量は11.51gである。

・安山岩A6 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。剥片6点を含み, 総重量は5.38gである。

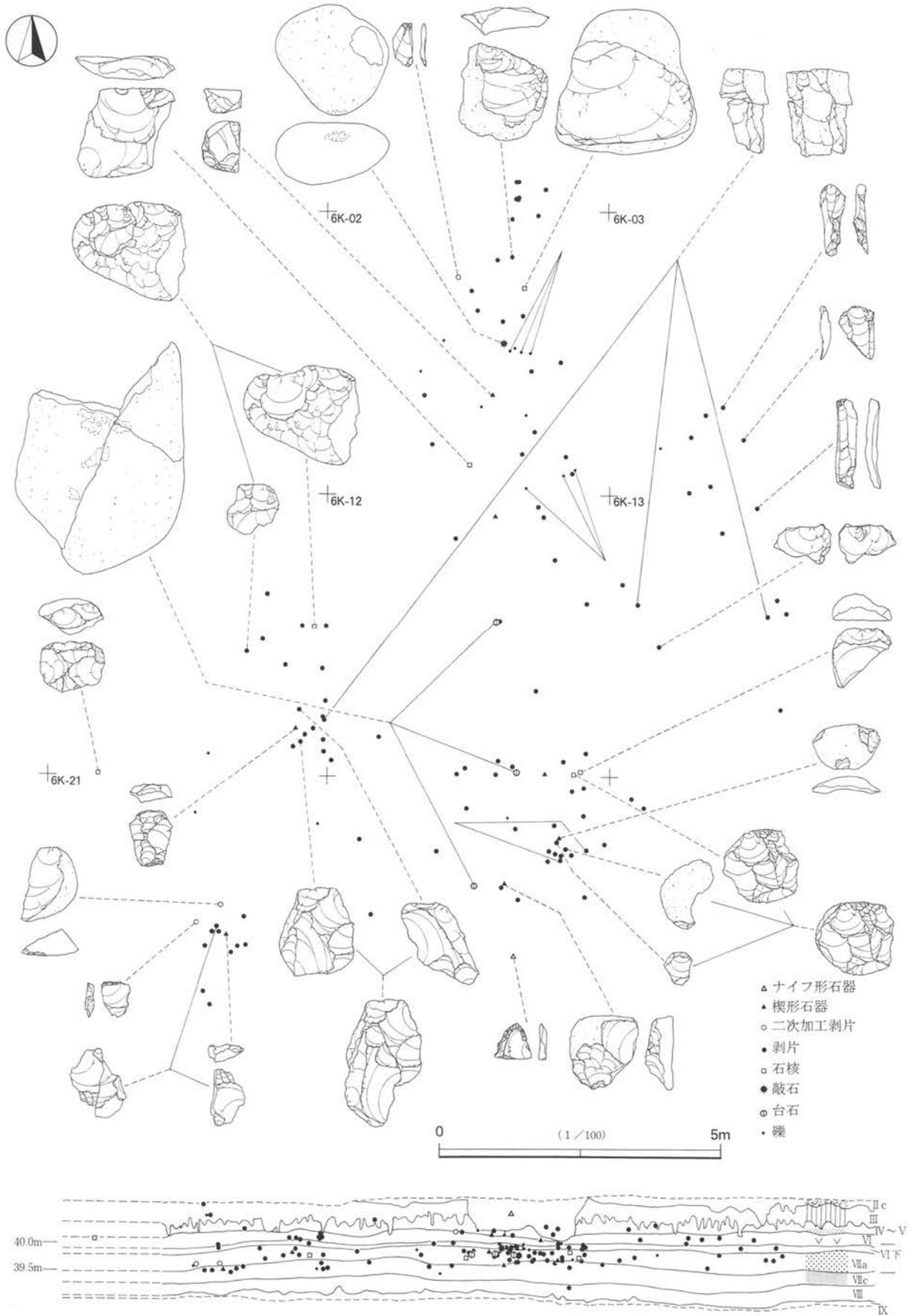
・安山岩A7 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～2.0mmのベージュ色や黒色の斑晶が無数に入る。黒色の微細な縞も入る。剥片4点を含み, 総重量は46.42gである。

・安山岩A8 やや青みがかかる淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～1.0mmのベージュ色の斑晶が入る。やや風化が進んでいる。原礫面は微細な爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片2点を含み, 総重量は9.97gである。

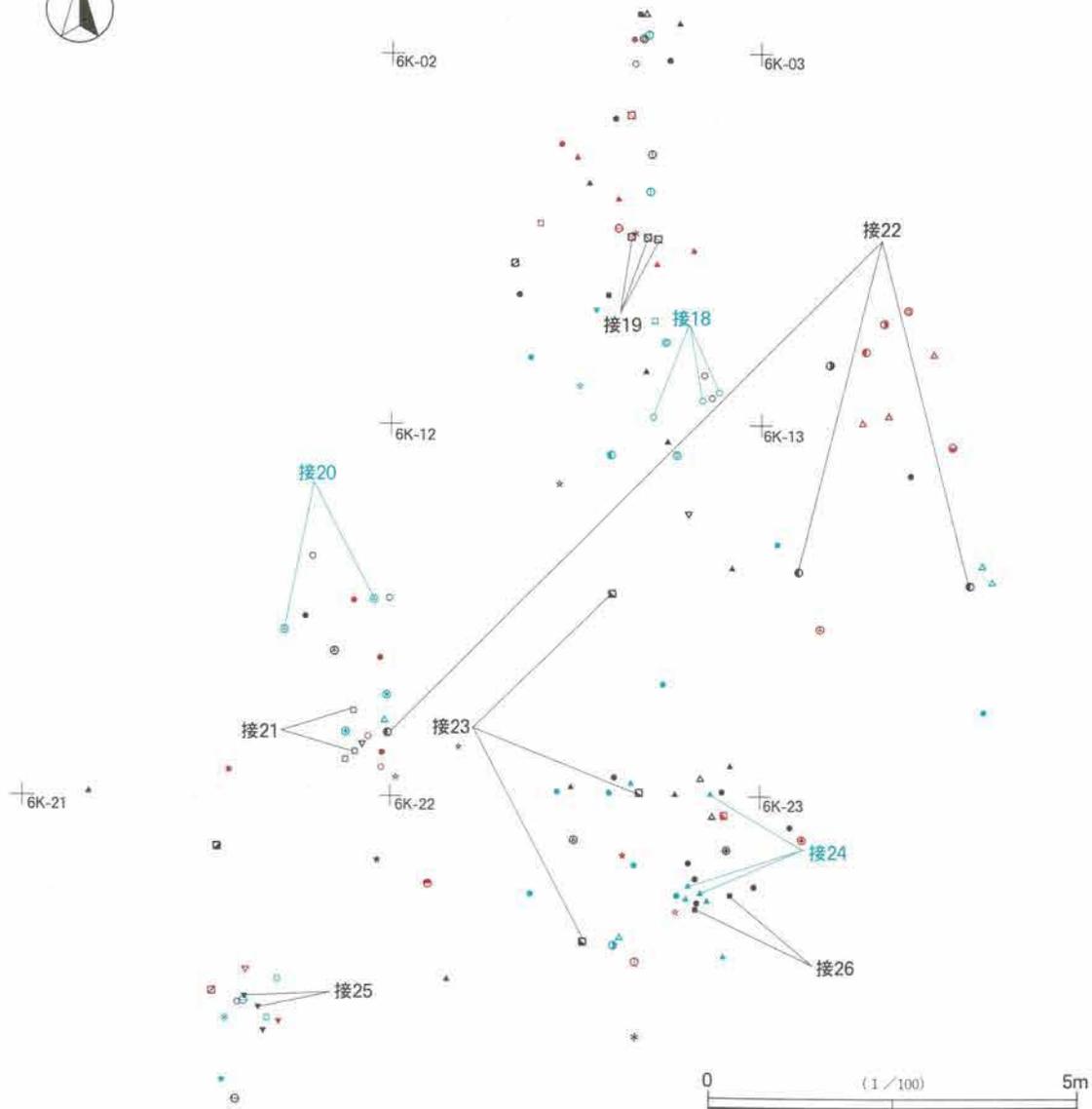
・安山岩A9 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。原礫面には爪跡状のくぼみが無数にみられる。剥片1点を含み, 総重量は1.21gである。

・安山岩A10 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～2.0mmのベージュ色や黒色の斑晶が無数に入る。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。石核1点を含み, 総重量は40.5mm.00gである。

・安山岩A11 黄色がかかった淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～2.0mmのベージュ色や黒色の斑晶が, 表面には淡明灰色の微細な点紋が無数に入る。剥片2点を含み, 総重量は4.29gである。



第29図 第7ブロック石器別分布図

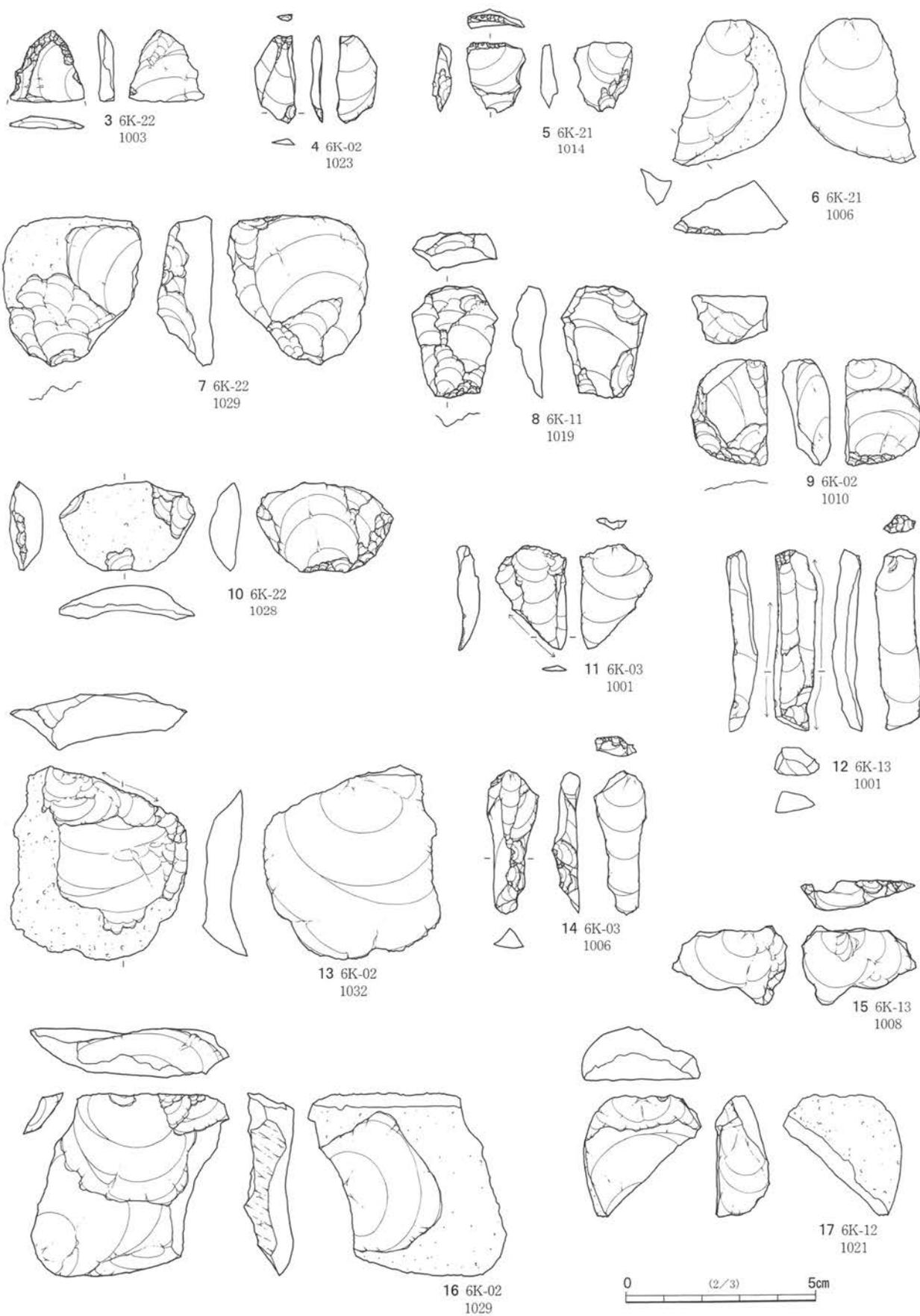


- | | | | | | |
|------------|-----------|----------|----------|-------------|--------|
| ● 安山岩 A 1 | ★ 安山岩 B 1 | ▽ 砂岩 1 | ◻ 珪質頁岩 2 | △ ホルンフェルス 2 | ● 珪岩 1 |
| ■ 安山岩 A 2 | ✦ 安山岩 C 1 | ○ 砂岩 2 | ○ 珪質頁岩 3 | ★ ホルンフェルス 3 | ● 玉髓 1 |
| ◎ 安山岩 A 3 | ■ 流紋岩 2 | ● 砂岩 3 | ✦ 珪質頁岩 4 | ■ ホルンフェルス 4 | ● 玉髓 2 |
| ▲ 安山岩 A 4 | □ 流紋岩 3 | ▽ 砂岩 4 | ● 硬質頁岩 1 | ✦ ホルンフェルス 5 | ● 玉髓 3 |
| ▲ 安山岩 A 5 | ● 流紋岩 4 | ● 砂岩 5 | ▲ 硬質頁岩 2 | ★ ホルンフェルス 6 | ● 玉髓 4 |
| ○ 安山岩 A 6 | ■ 流紋岩 5 | □ 砂岩 6 | ● 硬質頁岩 3 | ○ ホルンフェルス 7 | |
| □ 安山岩 A 7 | ● 流紋岩 6 | ○ 頁岩 1 | ● 硬質頁岩 4 | □ ホルンフェルス 8 | |
| ◎ 安山岩 A 8 | ● 流紋岩 7 | ★ 頁岩 2 | ● 硬質頁岩 5 | ○ チャート 1 | |
| ◎ 安山岩 A 9 | ★ 黒曜石 1 | ★ 頁岩 3 | ● 硬質頁岩 6 | ▲ チャート 3 | |
| ○ 安山岩 A 10 | ○ 黒曜石 2 | ● 頁岩 4 | ▲ 嶺岡頁岩 1 | ○ チャート 4 | |
| ▽ 安山岩 A 11 | | ★ 頁岩 5 | ■ 嶺岡頁岩 2 | ★ チャート 5 | |
| ▽ 安山岩 A 12 | | ◻ 珪質頁岩 1 | | ● チャート 6 | |

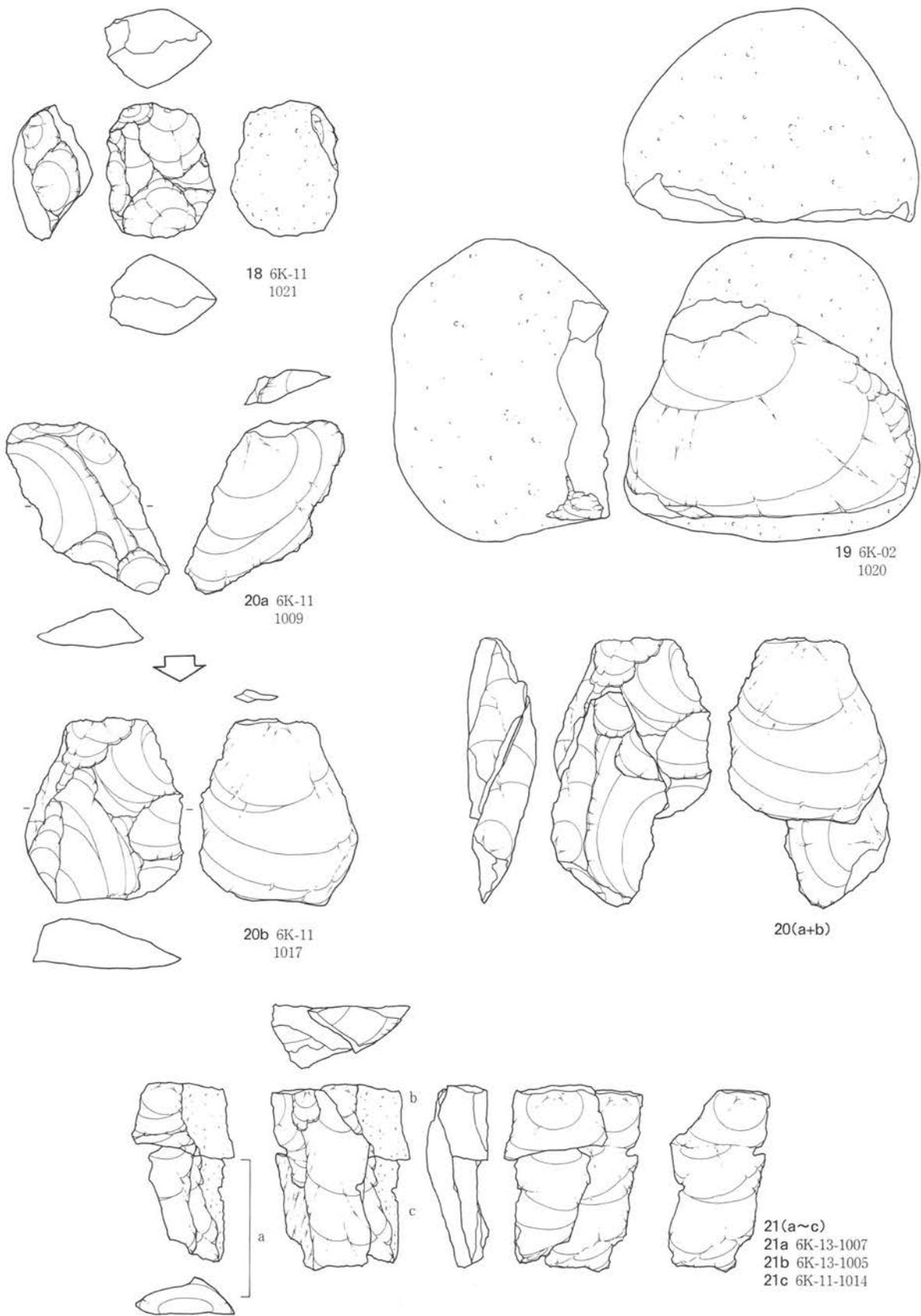
第30図 第7ブロック母岩別分布図

- ・安山岩 A12 暗灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm程度のベージュ色の斑晶が入る。楔形石器1点・剥片2点を含み、総重量は8.42gである。
- ・安山岩 B1 淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。うち1点(6K-12-8)は表面に小孔があくことと、小礫状であることから別母岩の可能性が高い。剥片3点を含み、総重量は0.74gである。
- ・流紋岩 2 淡緑灰色の地に、茶褐色透明やベージュ色の斑晶が無数に入る。台石1点を含み、総重量は850.0gである。
- ・流紋岩 7 ベージュ色と淡青灰色の部分が微細に入り混じる地に、青灰色の部分が粒状に入る。剥片3点を含み、総重量は20.20gである。
- ・黒曜石 1 淡灰色透明で、径0.5mmの球顆が無数に入る。肉眼観察では麦草峠産に類似する。ナイフ形石器1点を含み、総重量は1.27gである。
- ・黒曜石 2 青灰色と青黒色の部分が互層をなし、径0.5mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は1.47gである。
- ・頁岩 1 剥離面は青黒色を呈し、節理面は淡黄褐色を呈する。剥片2点を含み、総重量は0.99gである。
- ・頁岩 2 剥離面はベージュ色を呈し、ガジリ面が黒色を呈する黒色頁岩である。剥片1点を含み、総重量は2.94gである。
- ・頁岩 3 剥離面は淡青灰色の地に、青灰色の部分が粒状に入る。原礫面は剥離面よりやや暗い色調で滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は6.53gである。
- ・頁岩 4 剥離面は淡明灰色を呈し、ガジリ面が青黒色を呈する。一般的な黒色頁岩よりは風化の強い滑らかな剥離面を呈する。剥片1点を含み、総重量は1.05gである。
- ・珪質頁岩 1 剥離面は紫灰色と黄褐色の部分からなる。原礫面は焦茶色で光沢をおび、珪化度が高い。表面には爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片1点を含み、総重量は27.58gである。
- ・珪質頁岩 2 やや暗い青緑色を呈する。珪質な緑色凝灰岩であると思われる。二次加工剥片1点を含み、総重量は0.95gである。
- ・珪質頁岩 3 剥離面は赤褐色の地に、乳白色の斑晶が無数に入る。原礫面は剥離面より暗い色調を呈する。斑晶が入ることから流紋岩であると考えられる。敲石1点を含み、総重量は142.83gである。
- ・硬質頁岩 1 剥離面は焦茶色を呈し、ガジリ面は青灰色を呈する。二次加工剥片1点・剥片4点を含み、総重量は6.84gである。
- ・硬質頁岩 2 淡青灰色の地に、赤褐色の部分が一部にみられる。剥片3点を含み、総重量は4.64gである。
- ・硬質頁岩 3 淡茶灰色を呈し、珪化度はやや低い。剥片1点を含み、総重量は3.32gである。
- ・硬質頁岩 4 剥離面は淡茶灰色を呈し、ガジリ面は紫灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.80gである。
- ・硬質頁岩 5 淡青灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.25gである。
- ・硬質頁岩 6 剥離面は淡紫灰色の地に、暗茶色の節理が入る。ガジリ面は淡明茶灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は15.81gである。
- ・嶺岡頁岩 1 青灰色の地に、暗乳白色の部分が斑状に入る白滝頁岩である。剥片4点を含み、総重量は3.65gである。

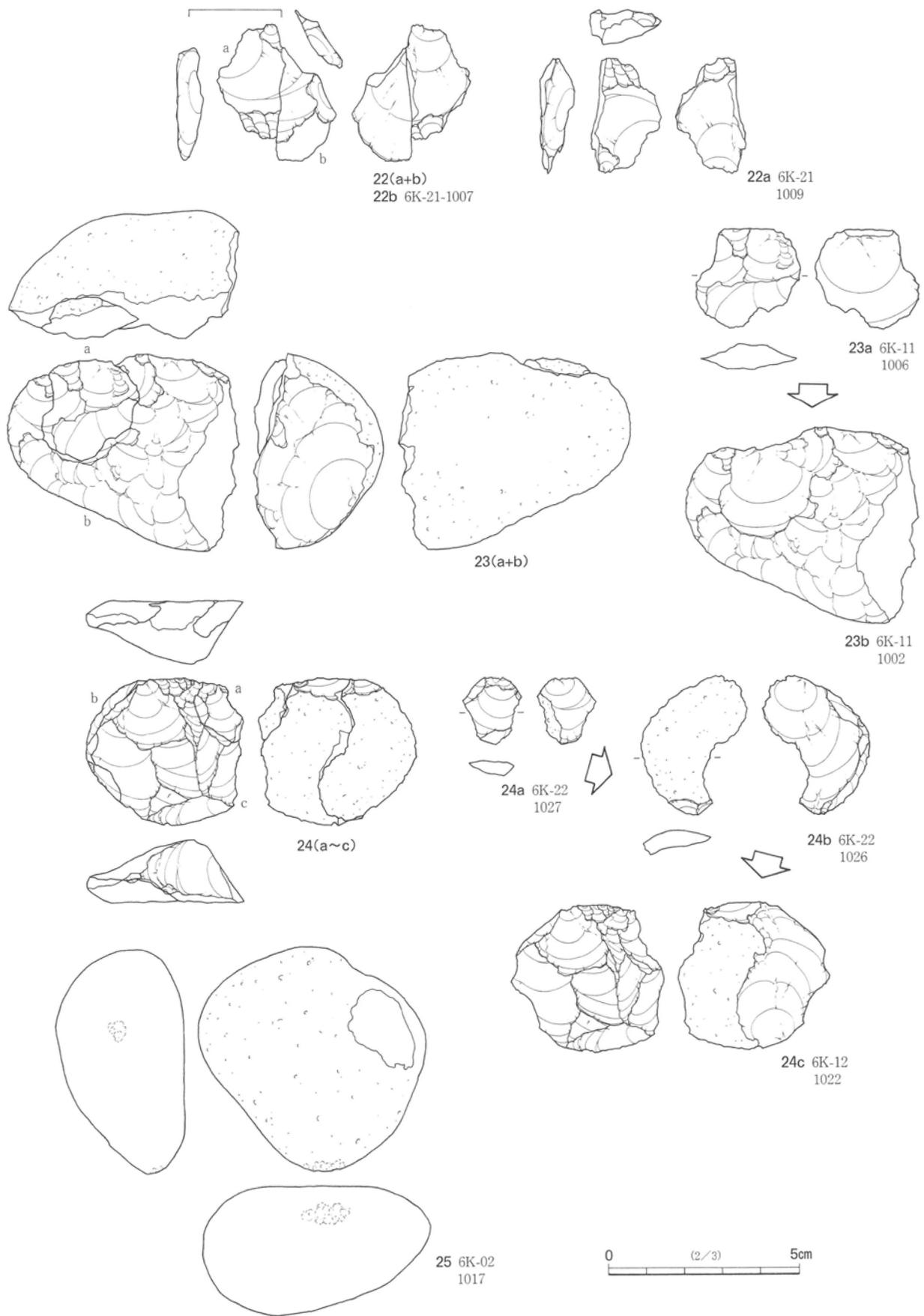
- ・嶺岡頁岩 2 剥離面は淡青灰色を呈する。原礫面は淡緑灰色を呈する。石英質の斑晶が入り、流紋岩である。剥片 1 点を含み、総重量は10.87 g である。
- ・砂岩 1 剥離面は淡青灰色の粒子がほとんどを占め、青灰色や石英質の粒子が疎らに入る。原礫面も剥離面と同様の色調で滑らかである。二次加工剥片 1 点を含み、総重量は12.01 g である。
- ・砂岩 2 剥離面は青灰色の粒子がほとんどを占め、光沢ある黒色の粒子や暗乳白色の粒子が疎らに入る。剥片 1 点を含み、総重量は16.96 g である。
- ・砂岩 3 剥離面は緑灰色の地に、ベージュ色の斑晶が無数に入る。原礫面は同様の色調で光沢をおびる。斑晶が入ることから流紋岩であると思われる。流紋岩 2 に酷似する。剥片 1 点を含み、総重量は2.74 g である。
- ・砂岩 4 青灰色の地に淡青灰色の点紋が無数に入る。この特徴からホルンフェルスであると思われる。剥片 1 点を含み、総重量は1.65 g である。
- ・ホルンフェルス 2 青灰色の地に淡黄褐色の点紋が無数に入る。楔形石器 1 点・剥片 3 点を含み、総重量は35.05 g である。
- ・ホルンフェルス 3 剥離面はベージュ色の地に淡黄褐色の点紋が無数に入る。風化の弱い部分は青灰色を呈し、ベージュ色の部分に網状に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は2.74 g である。
- ・ホルンフェルス 4 剥離面は淡青灰色を呈し、原礫面は青黒色を呈する。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片 3 点を含み、総重量は18.56 g である。
- ・ホルンフェルス 5 淡青灰色の地に淡灰色の微細な点紋が無数に入る。原礫面は同様な色調で硬質である。石核 1 点を含み、総重量は29.83 g である。
- ・ホルンフェルス 6 淡青灰色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は1.04 g である。
- ・ホルンフェルス 8 礫 6 K-2-9 はホルンフェルス 7 と同一石材である。その他の剥片は青灰色の地に、淡黄褐色の点紋が無数に入り、ガジリ面は青黒色を呈する。剥片 2 点・礫 1 点を含み、総重量は8.91 g である。
- ・チャート 1 剥離面は、青黒色から青灰色の地に淡黄褐色の部分が斑状に入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は31.08 g である。
- ・チャート 3 剥離面は青黒色の地に、乳白色半透明の部分が斑状に入る。原礫面は同様の色調で爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 6 点・石核 1 点を含み、総重量は31.08 g である。
- ・チャート 4 剥離面は緑灰色の地に、ベージュ色の節理が少量入る黒色珪質頁岩である。原礫面は暗緑灰色を呈し、爪跡状のくぼみが入る。剥片 2 点を含み、総重量は14.47 g である。
- ・チャート 6 青灰色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は0.67 g である。
- ・珪岩 1 乳白色不透明で珪化度の高い石材である。石英である可能性も考えられる。剥片 6 点を含み、総重量は21.58 g である。
- ・玉髓 1 剥離面は淡黄褐色不透明である。部分によっては赤みがかかる。玉髓 3 と同一母岩である可能性が高い。楔形石器 1 点を含み、総重量は3.45 g である。
- ・玉髓 2 淡黄褐色半透明の部分と、ベージュ色不透明の部分からなる。楔形石器 1 点・剥片 1 点を含み、総重量は7.64 g である。



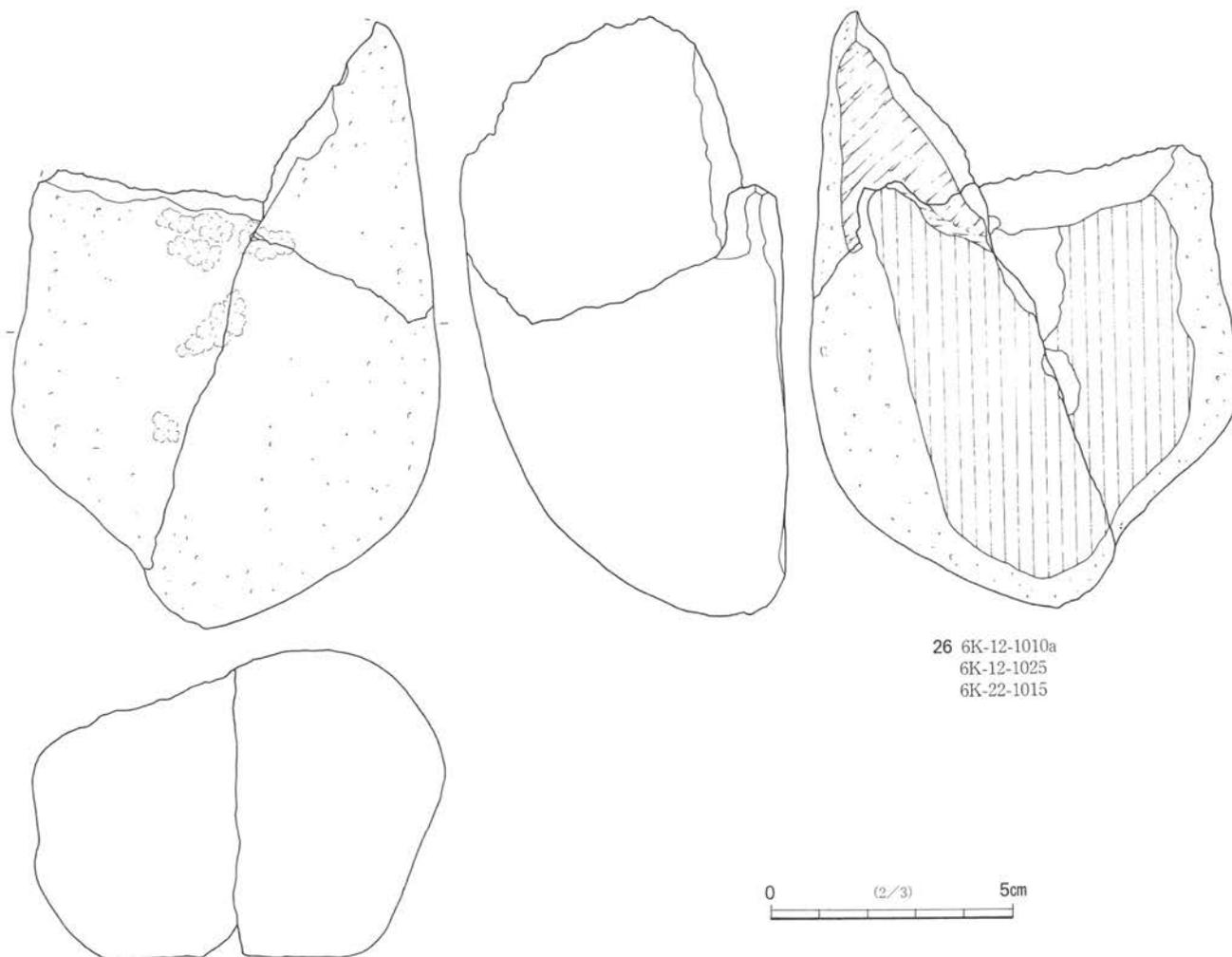
第31図 第7ブロック出土石器(1)



第32図 第7ブロック出土石器(2)



第33図 第7ブロック出土石器(3)



第34図 第7ブロック出土石器(4)

・玉髓3 剥離面は淡黄褐色不透明である。部分によっては赤みがかり、ベージュ色の節理が部分的に入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数にみられる。玉髓1と同一母岩である可能性が高い。剥片1点・石核1点を含み、総重量は109.73gである。

・玉髓4 乳白色を呈し、不透明である。剥片2点を含み、総重量が2.12gである。

3) 出土遺物(第31~34図, 図版8)

ナイフ形石器1点・楔形石器7点・剥片104点・石核6点・敲石1点・台石1点・礫16点の計139点が出土した。

ナイフ形石器(3)は、肉眼観察で麦草峠産と思われる黒曜石1製で、破片である。二次加工は腹面側から60度程度の角度で加えられている。周縁加工の尖頭器の破片である可能性もある。

楔形石器は7点(7~10・22a)出土している。石材は、安山岩A1が1点、安山岩A2が1点、安山岩A4が1点、安山岩A12が1点、玉髓1製が1点、玉髓2製が1点、ホルンフェルス2製が1点である。

剥片は珪質頁岩(硬質頁岩2・3)に石刃が2点(12・14)含まれるほかは、一般剥片で占められている。14は稜付きの石刃である。

石核は6点(16~19・23b・24c)が出土している。原石から剥片を1枚剥離したのみのもの(19), 剥片を素材とし腹面を作業面として剥片剥離を行っているもの(16), 礫を分割し分割面を作業面として剥片剥

離を行っているもの(17・23b・24c), 小円礫をはさみ割りによって消費しているもの(18), がみられた。石材は安山岩A 1が1点(17), 安山岩A 4が1点(18), 安山岩A10が1点(19), ホルンフェルス5が1点(16), チャート3が1点(24c), 玉髓3が1点(23b)である。

敲石(25)は流紋岩(珪質頁岩3)製で, 円礫の端部に敲打痕が残る。

台石(26)は流紋岩2製で, 一部を欠損している。

本ブロックでは, 楔形石器を含む一般剥片生産に関連する資料が主体であるが, 石刃が2点それぞれ単独母岩で出土している。ナイフ形石器の破片が1点出土しているが, III層からの出土でかつ単独母岩であるため, 本来, 本ブロックに帰属するものかは疑問である。

第8ブロック (第35・36図, 第10・49表, 図版3)

1) 概要

III層からVIIc層(IXc層)にかけて119点の遺物が出土し, VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。なおIII層から出土した遺物は1点のみで, それ以外はVI層からVIIc層(IXc層)の範囲におさまる。石器組成は, 削器1点・二次加工剥片7点・楔形石器5点・剥片82点・石核8点・礫16点の計119点である。礫を除く石材組成は, 黒色緻密質安山岩46点(安山岩A 1・A 3・A 4・A11・A13・A14)・安山岩6点(安山岩B 2・C 2)・流紋岩7点(流紋岩9, 珪質頁岩5)・黒曜石1点・珪質頁岩6点(珪質頁岩6~8・10)・白滝頁岩1点(珪質頁岩9)・玉髓3点(嶺岡頁岩3)・ホルンフェルス29点・黒色珪質頁岩3点(チャート7)・玉髓1点の計103点である。本ブロックでは, 各母岩に数点の剥片が含まれる例が多い。また本ブロック出土のチャート7製の剥片1点と, 第18ブロック出土の楔形石器1点が接合関係を持つ。

2) 母岩別資料

・安山岩A 1 剥離面がやや茶色がかかる淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm~1.0mmのベージュ色の斑晶が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片20点・石核1点を含み, 総重量は111.58gである。

・安山岩A 3 剥離面が淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。原礫面は同様の色調で, 爪跡状のくぼみが入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片3点を含み, 総重量は12.25gである。

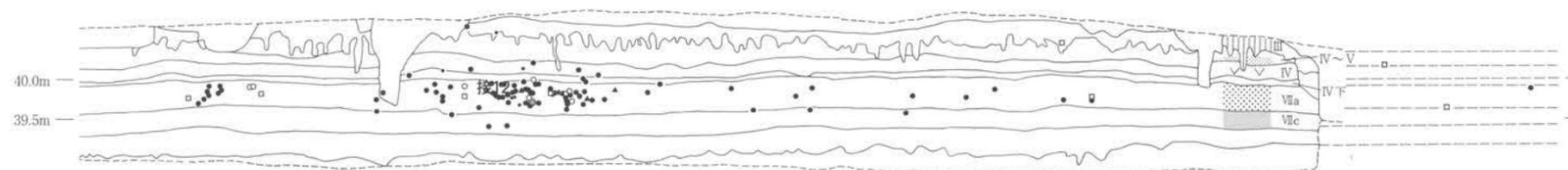
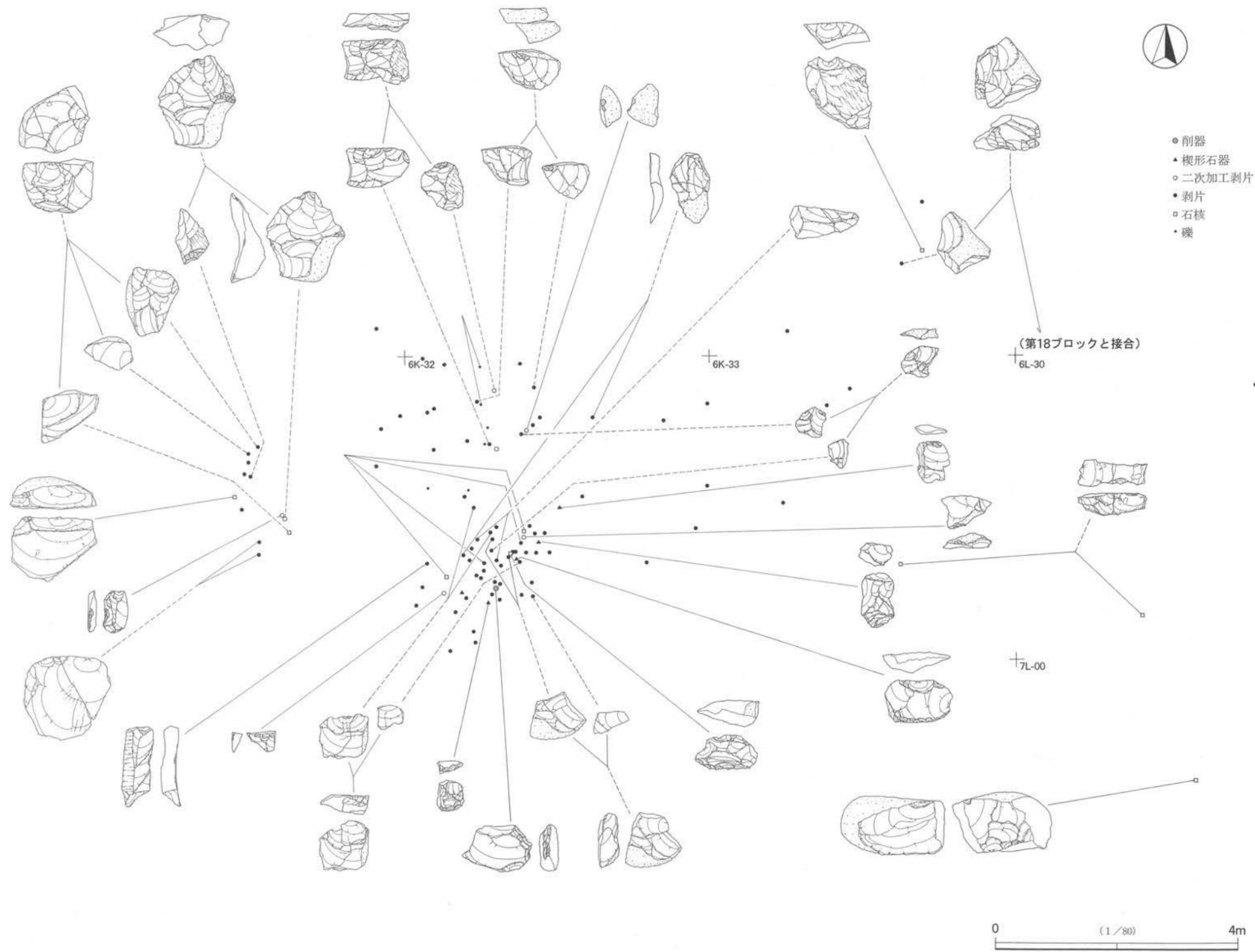
・安山岩A 4 剥離面が淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面は同様の色調で, 爪跡状の微細なくぼみが無数に入る。剥片10点を含み, 総重量は55.29gである。

・安山岩A11 剥離面がやや青みがかかる淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。原礫面は同様の色調で, 爪跡状のくぼみが無数に入る。楔形石器1点・剥片6点を含み, 総重量は14.50gである。

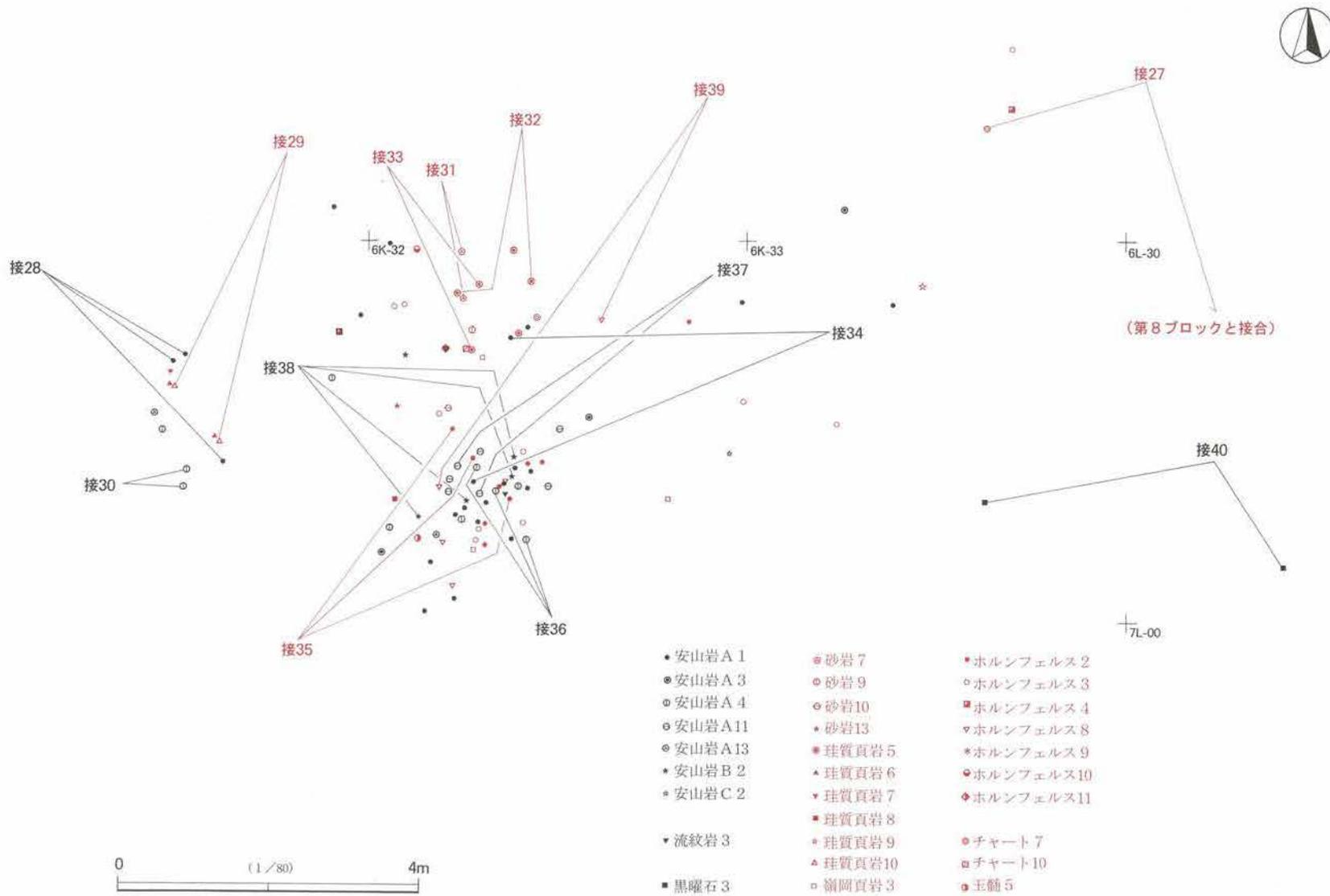
・安山岩A13 剥離面が淡灰色と淡青灰色の部分からなる黒色緻密質安山岩である。径0.3mm~1.0mmのベージュ色と黒色の斑晶が入る。原礫面は淡茶灰色で, 爪跡状の微細なくぼみが無数に入る。楔形石器1点・石核1点を含み, 総重量は50.97gである。

・安山岩A14 剥離面が淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面も同様の色調で, 爪跡状のくぼみが入る。剥片1点を含み, 総重量は3.54gである。

・安山岩B 2 剥離面が淡明灰色を呈する風化の進んだ安山岩である。径0.3mm~3.0mmの黒色の斑晶を含む。原礫面も同様の色調で, ザラザラした質感である。爪跡状のくぼみの痕跡がみられるようである。剥



第35図 第8ブロック石器別分布図



第36図 第8ブロック母岩別分布図

片3点・石核2点を含み、総重量は65.19gである。

・安山岩C2 淡青灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.32gである。

・流紋岩9 剥離面は淡明緑灰色の地に、灰色透明の斑品が入る。原礫面も同様の色調である。楔形石器1点を含み、総重量は13.96gである。

・黒曜石3 剥離面は黒色半透明で、光にかざすと茶色を呈する。径1.0mm～3.0mmの灰色の球類が入る。石核1点を含み、総重量は9.81gである。

・珪質頁岩5 暗青緑色から淡青灰色の地に、乳白色の石英質の斑品や、ベージュ色の点紋が入る流紋岩である。二次加工剥片2点・剥片4点を含み、総重量は52.38gである。

・珪質頁岩6 剥離面は淡緑灰色を呈し、原礫面は茶褐色を呈する。珪化度が高く、チャートに近い。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は7.79gである。

・珪質頁岩7 剥離面はベージュ色の地に、焦茶色の部分が縞状に入る流紋岩である。原礫面は淡黄褐色を呈し、凝灰岩質である。剥片1点を含み、総重量は12.04gである。

・珪質頁岩8 剥離面は青黒色を呈する。節理面は青黒色の地に、一部ベージュ色の部分がみられる。剥片1点を含み、総重量は8.66gである。

・珪質頁岩9 淡緑茶色の地に、暗乳白色の珪化度の高い部分が入る白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は4.12gである。

・珪質頁岩10 剥離面は淡青緑色を呈し、原礫面および原礫面近くの剥離面は黄褐色を呈する緑色凝灰岩である。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は38.59gである。

・嶺岡頁岩3 淡明茶褐色の地に、淡黄褐色の部分が縞状に入る玉髓(メノウ)である。二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は4.14gである。

・ホルンフェルス2 青灰色の地に、淡青灰色の微細な部分が斑状に入る。剥片8点・石核1点を含み、総重量は30.89gである。

・ホルンフェルス3 剥離面はベージュ色の地に、淡黄褐色の点紋が無数に入る。風化の弱い部分は青灰色を呈し、ベージュ色の部分に網状に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。削器1点・剥片9点・礫1点を含み、総重量は66.60gである。

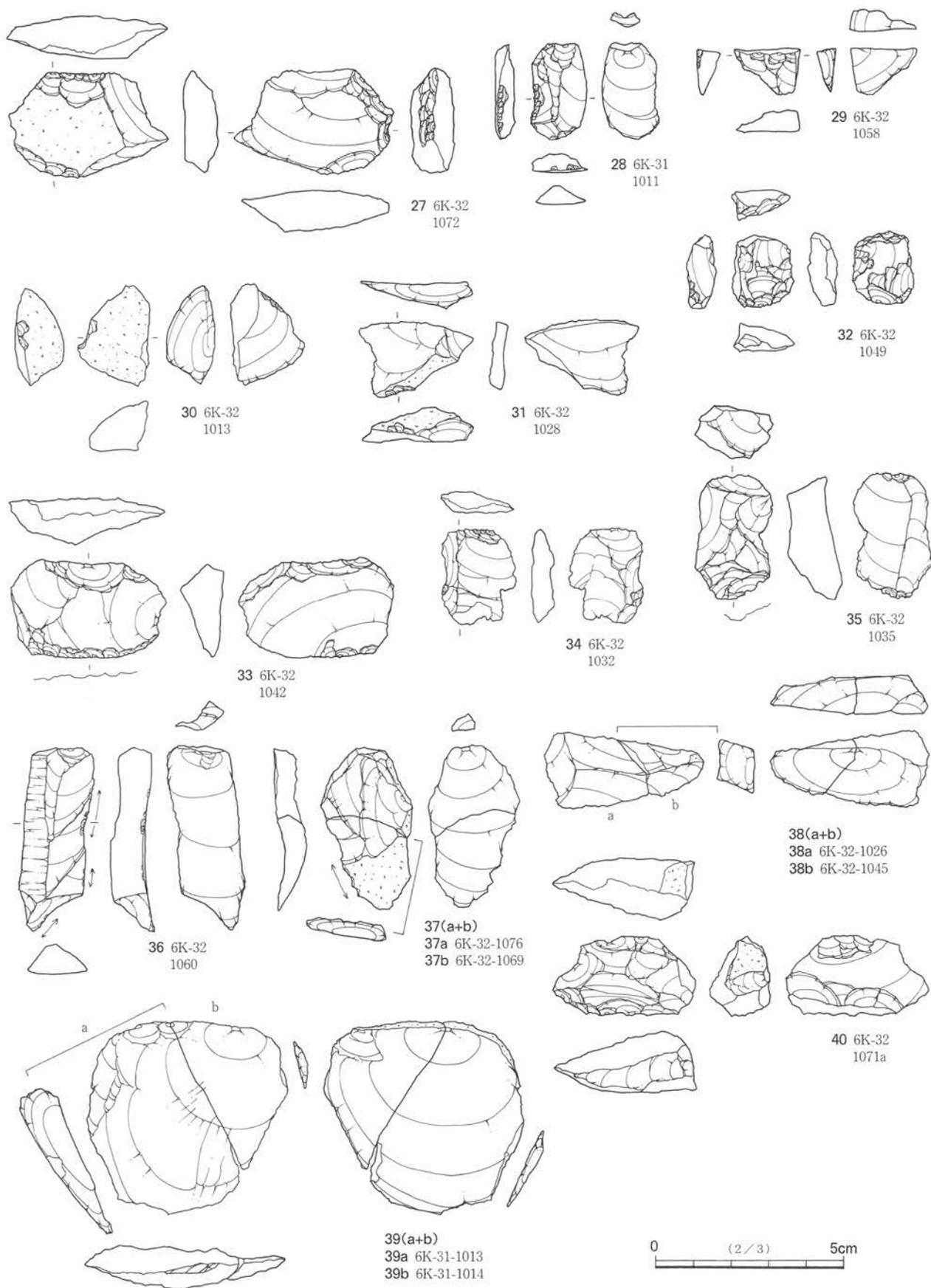
・ホルンフェルス4 剥離面は青灰色を呈し、節理面は茶褐色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で、表面に微細な小孔がみられる。剥片1点・石核1点を含み、総重量は51.99gである。

・ホルンフェルス8 剥離面は青灰色の地に、無数の小孔がみられる。原礫面は剥離面よりやや濃い色調で硬質である。第7ブロックのホルンフェルス8とは異なる母岩である。剥片5点を含み、総重量は14.32gである。

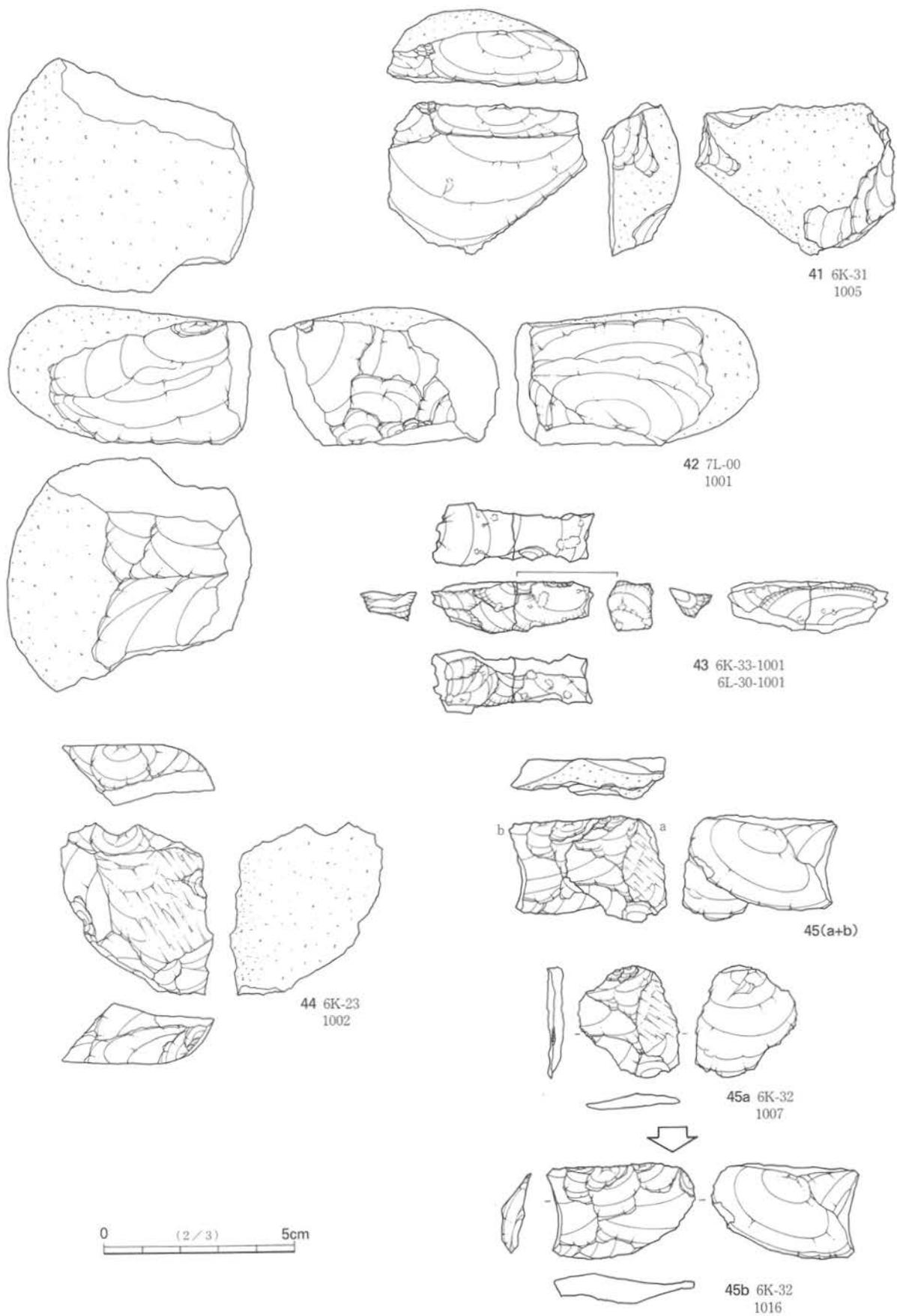
・ホルンフェルス9 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。一部に淡青灰色で塊状の部分が入る。原礫面は同様の色調で、全体に淡い色を呈すが、部分的に剥離面と同様の色調もみられる。石核1点を含み、総重量は195.21gである。

・ホルンフェルス10 剥離面は淡灰色の地に、淡赤褐色の微細な点紋が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は31.67gである。

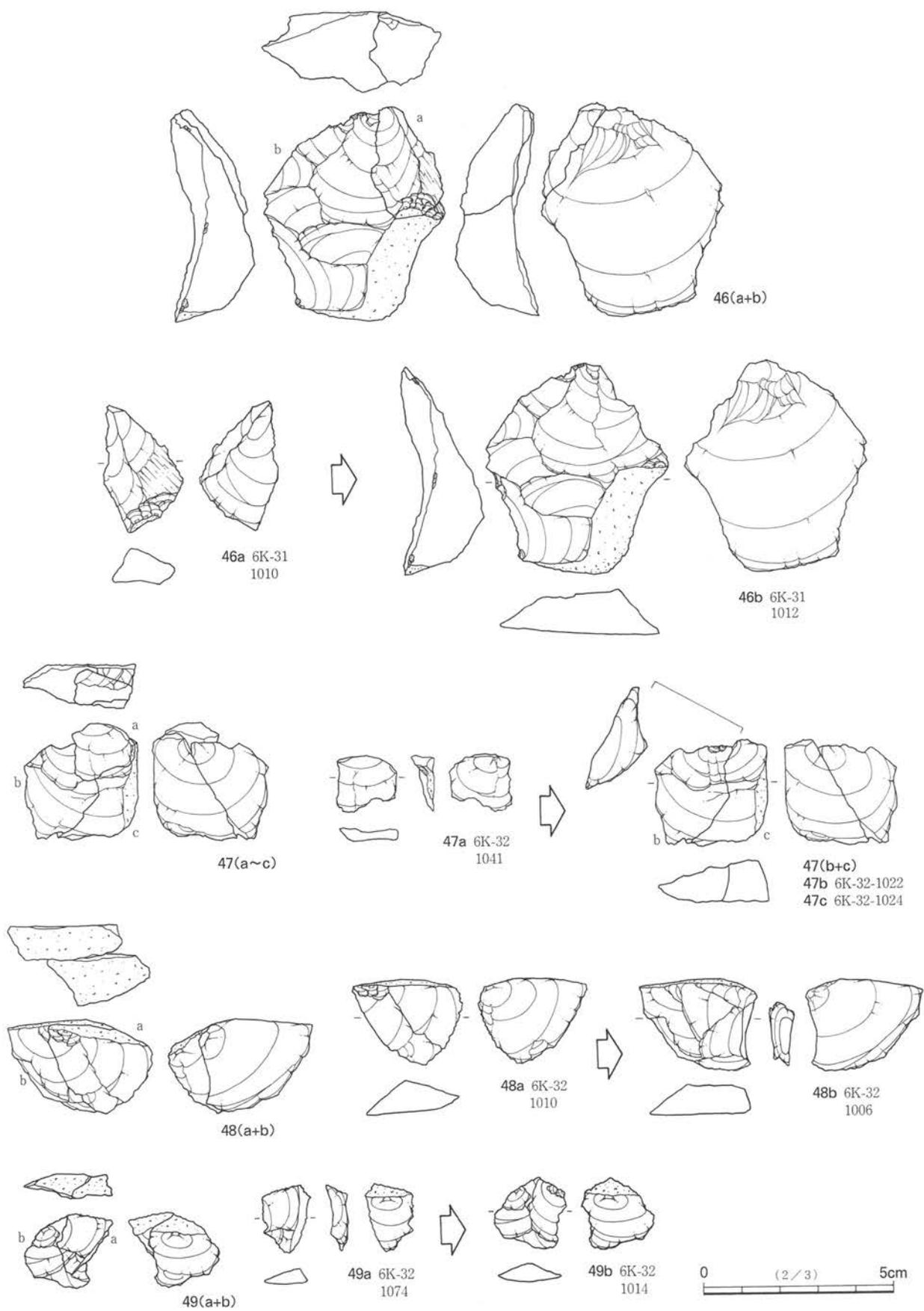
・ホルンフェルス11 淡青灰色から青灰色の地に、ベージュ色の部分が斑状にわずかに入る。剥片1点を含み、総重量は2.27gである。



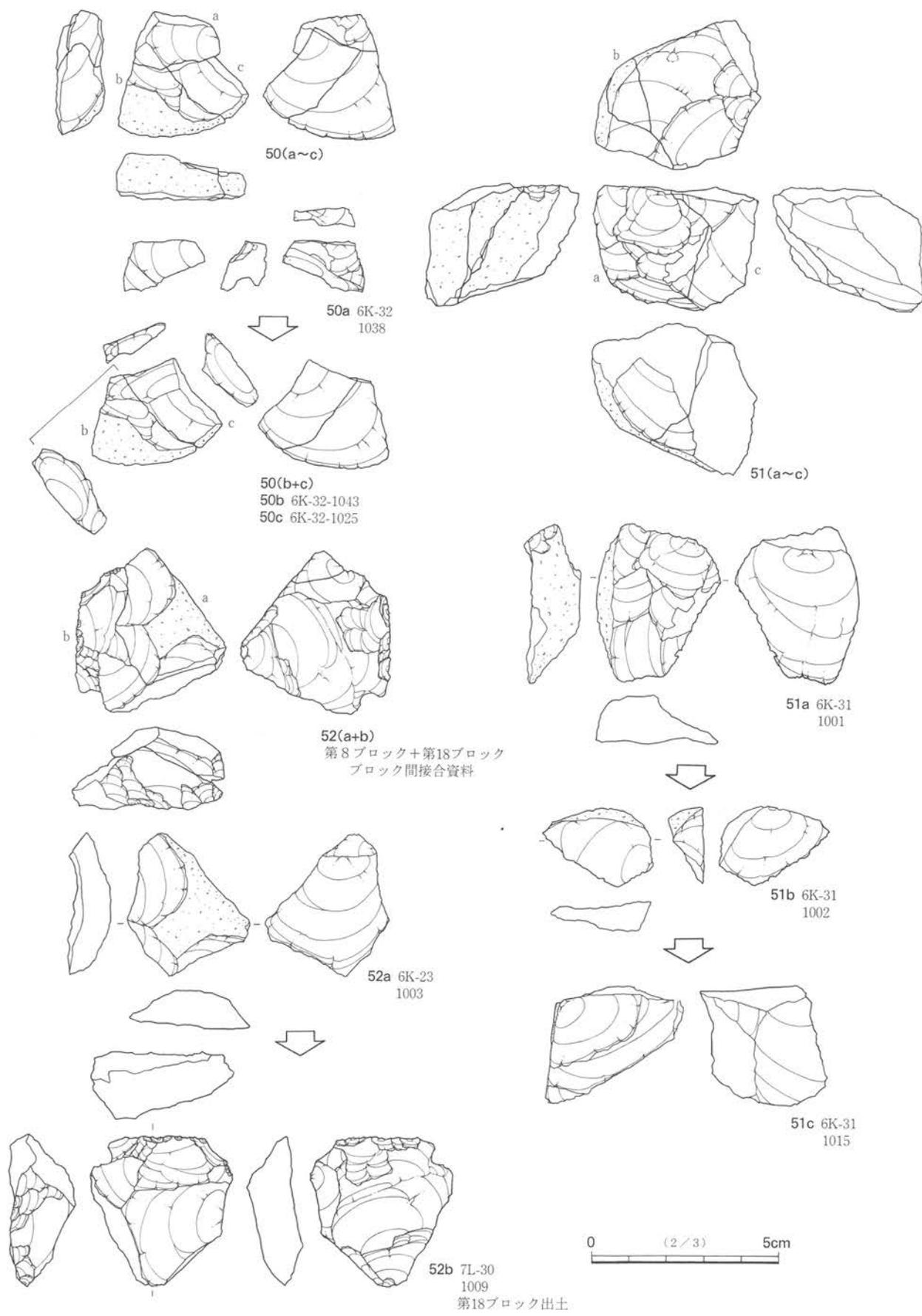
第37図 第8ブロック出土石器(1)



第38図 第8ブロック出土石器(2)



第39図 第8ブロック出土石器(3)



第40図 第8ブロック出土石器(4)

・チャート7 剥離面は青灰色を呈する黒色珪質頁岩である。原礫面は剥離面より赤みがかかる。剥片3点を含み、総重量は16.53gである。

・玉髓5 乳白色を呈し透明な部分が細く縞状に入る。二次加工剥片1点を含み、総重量は0.95gである。

3) 出土遺物 (第37～40図, 図版9・10)

削器1点・二次加工剥片7点・楔形石器5点・剥片82点・石核8点・礫16点の計119点が出土した。

削器(27)は、ホルンフェルス3製である。削器と器種認定が行われているが、対向する縁辺が組となるように剥離痕がみられること、剥離痕に打点がみられないことから、楔形石器であると考えられる。

二次加工剥片は7点(28～31・45a・46b)が出土した。いずれも素材剥片にわずかな剥離痕がみられるもので、使用痕ある剥片との区別は難しい。石材は流紋岩(珪質頁岩5)が2点(30・45a)・珪質頁岩6が1点(28)・緑色凝灰岩(珪質頁岩10)が1点(46b)・安山岩A1が1点(31)・玉髓(玉髓5・嶺岡頁岩3)が2点である。28は頭部調整がみられる寸詰まりの縦長剥片を素材としており、他の素材剥片よりも規格性をもって生産された可能性がある。

楔形石器は5点(32～35)が出土した。うち4点(33～35)が1組の両極剥離痕を持ち、残りの1点(32)は剥片を回転させて2度の両極剥離を行っている。石材は玉髓(嶺岡頁岩3)が1点・安山岩A1が1点・安山岩A11が1点・安山岩A13が1点・流紋岩9が1点である。

石核は8点が出土した。礫を分割して、その剥離面を剥片生産の作業面とするもの(41・42・44・51c)が6点、剥片を分割して、その分割面を剥片生産の作業面とするもの(43)が1点、厚手の剥片の縁辺から、剥片剥離をおこなったもの(40)が1点みられた。40は剥片剥離が施された縁辺が鋸歯縁状を呈しており、二次加工剥片とも考えられる。石材は、安山岩A1が1点(51c)、安山岩A13が1点(41)、安山岩B2が2点、黒曜石3が1点(43)、ホルンフェルス2が1点(40)、ホルンフェルス4が1点(44)、ホルンフェルス9が1点(42)である。

剥片は一般剥片で占められており、長さが2cm～3cmの範囲におさまるものが多い。1母岩あたりの資料数はそれほど多くなく、安山岩A1などやや多く資料が含まれる母岩は、厳密な母岩同定の困難な母岩が該当している。

また本ブロック出土のチャート7製の剥片1点(52a)と、第18ブロック出土の楔形石器1点(52b)が接合関係を持つ(接合資料27)。

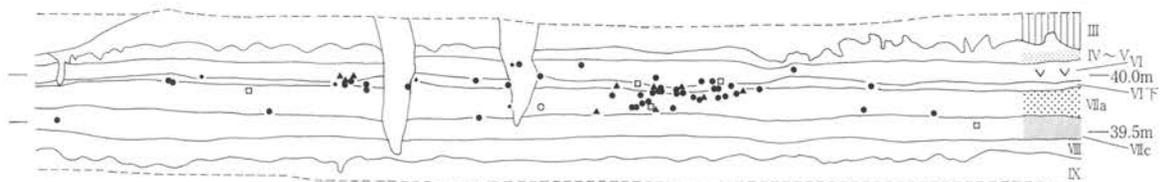
第9ブロック (第41・42図, 第11・50表)

1) 概要

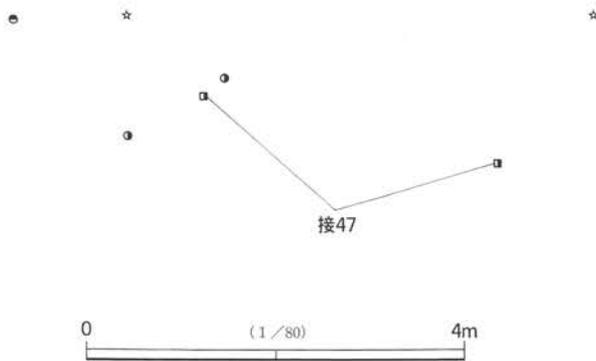
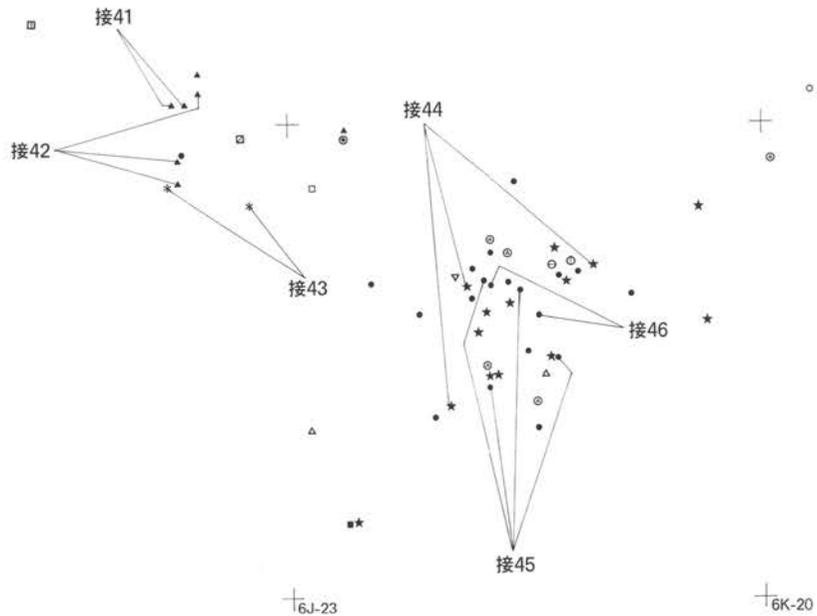
VI層からVIIc層(IXc層)にかけて64点の遺物が出土し、VI下層に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片1点・楔形石器8点・剥片45点・石核5点・礫5点の計64点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩26点(安山岩A1・A15・A16)・トロトロ石16点(安山岩B1・B3)・安山岩1点(安山岩C4)・黒曜石1点・頁岩2点・黒色珪質頁岩2点(珪質頁岩11)・珪質頁岩1点(硬質頁岩6)・鉄石英(赤)2点(硬質頁岩7)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩4)・チャート1点・玉髓5点・石英1点の計59点である。本ブロックの剥片は、母岩あたりの剥片数が少なく、一般剥片で占められる。

2) 母岩別資料

・安山岩A1 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。楔形石器5点・剥片14点を含み、総重量は58.05gである。



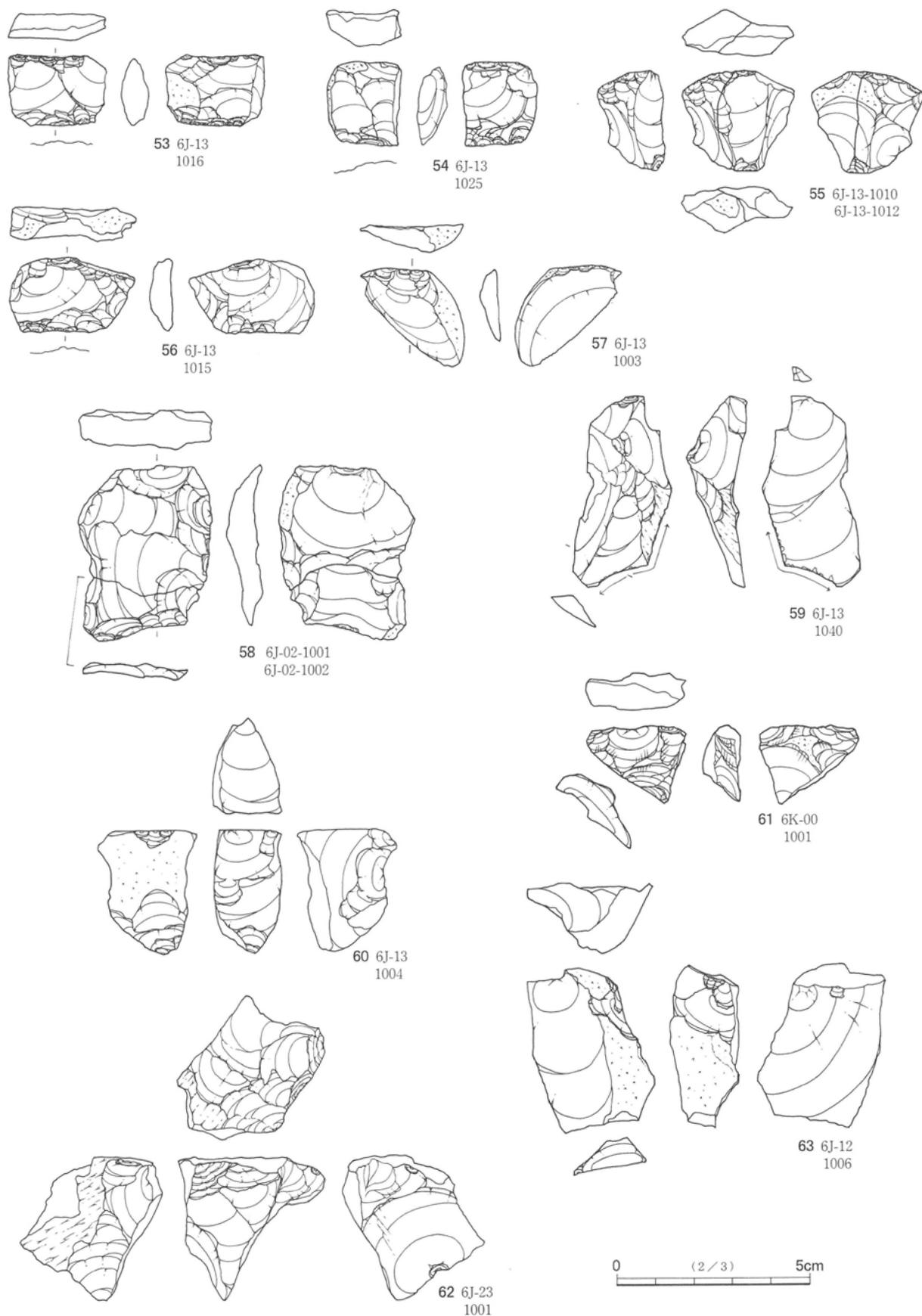
第41図 第9ブロック石器別分布図



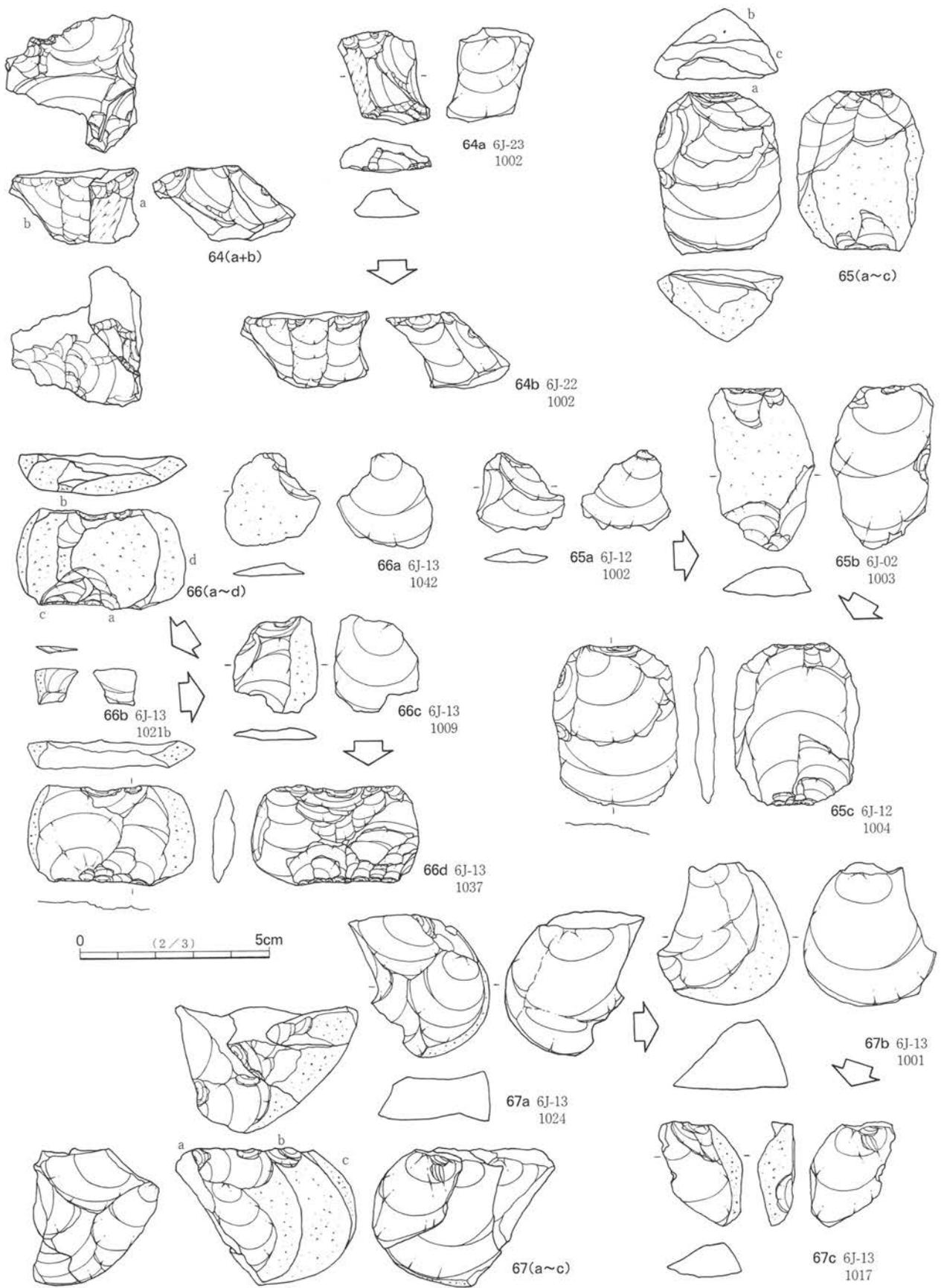
- | | |
|------------|-----------|
| ● 安山岩 A-1 | ○ 硬質頁岩 6 |
| ▲ 安山岩 A-15 | ■ 硬質頁岩 7 |
| ▼ 安山岩 A-16 | ▣ 嶺岡頁岩 4 |
| △ 安山岩 B-1 | □ チャート 11 |
| ★ 安山岩 B-3 | * チャート 12 |
| ● 安山岩 C-3 | ■ チャート 13 |
| ○ 安山岩 C-4 | ▣ チャート 14 |
| ○ 黒曜石 4 | ○ 玉髄 6 |
| ● 頁岩 6 | ● 石英 1 |
| * 珪質頁岩 11 | |

第42図 第9ブロック母岩別分布図

- ・ 安山岩 A 15 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。0.5mm~2.0mmの黒色で光沢のある斑晶が入る。楔形石器 2 点・剥片 4 点を含み、総重量は53.62g である。
- ・ 安山岩 A 16 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。0.5mm~2.0mmの黒色で光沢のある斑晶が入る。安山岩 A15と類似している。楔形石器 1 点を含み、総重量は6.39g である。
- ・ 安山岩 B 1 淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。剥片 2 点を含み、総重量は5.14g である。
- ・ 安山岩 B 3 剥離面は淡明灰色を呈し、原礫面は淡黄褐色を呈する。トロトロ石と俗称される。剥片 13 点・石核 1 点を含み、総重量は81.47g である。
- ・ 安山岩 C 4 淡明灰色を呈し、粗い質感である。剥片 1 点を含み、総重量は2.07g である。



第43図 第9ブロック出土石器(1)



第44図 第9ブロック出土石器(2)

・黒曜石4 灰色透明で、不透明灰色の部分が縞状に入る。肉眼観察では信州産と思われる。石核1点を含み、総重量は3.79gである。

・頁岩6 剥離面は淡青灰色を呈し、原礫面は茶褐色を呈する。剥片2点を含み、総重量は17.41gである。

・珪質頁岩11 剥離面が青黒色を呈し、原礫面が茶褐色を呈する黒色珪質頁岩である。剥片1点・石核1点を含み、総重量は32.86gである。

・硬質頁岩6 淡茶灰色を呈し、暗青灰色の部分が微細に網状に入る。東北地方日本海側に典型的な石材とは異なる。剥片1点を含み、総重量は10.19gである。

・硬質頁岩7 赤褐色の地に、淡青黒色の珪化度の高い節理が入る鉄石英(赤)である。二次加工剥片1点・石核1点を含み、総重量は19.34gである。

・嶺岡頁岩4 剥離面は青灰色がかった淡黄褐色を呈する。原礫面は、剥離面と同様の色調で滑らかである。珪化度の高い部分が斑状に入らず、またやや粗い質感だが、白滝頁岩の表皮に近い部分にこのような特徴を持つ例があり、白滝頁岩であると思われる。剥片1点を含み、総重量は18.67gである。

・チャート11 剥離面は青灰色の地に、青黒色の節理が入る。原礫面は同様の色調で、微細な爪跡状のくぼみが無数にみられる。剥片1点を含み、総重量は2.07gである。

・玉髓6 剥離面は淡黄褐色で半透明の地に、ベージュ色で不透明の部分が斑状に入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数にみられる。剥片4点・石核1点を含み、総重量は43.21gである。

・石英1 無色透明である。剥片1点を含み、総重量は0.13gである。

3) 出土遺物 (第43・44図, 図版10)

二次加工剥片1点・楔形石器8点・剥片45点・石核5点・礫5点の計64点が出土した。

二次加工剥片(64a)は硬質頁岩7製で、寸詰まりの剥片の端部に微細な剥離痕がみられる。二次加工によるものか断定することは難しい。

楔形石器は8点(53~58・65c・66d・71)が出土した。安山岩A1製が5点(53~55・57・66b)・安山岩A15製が2点(58・65c)・安山岩A16製が1点(56)で、いずれも黒色緻密質安山岩製である。両極剥離によって器体が中央で2つに割れた資料(55)や、同一作業面上で打点を回転させながら両極剥離を行ったことを示す資料(58)を含む。

石核は5点(60~62・64b)が出土した。いずれも礫を分割して一般剥片を生産するもの(60~62・64b)である。

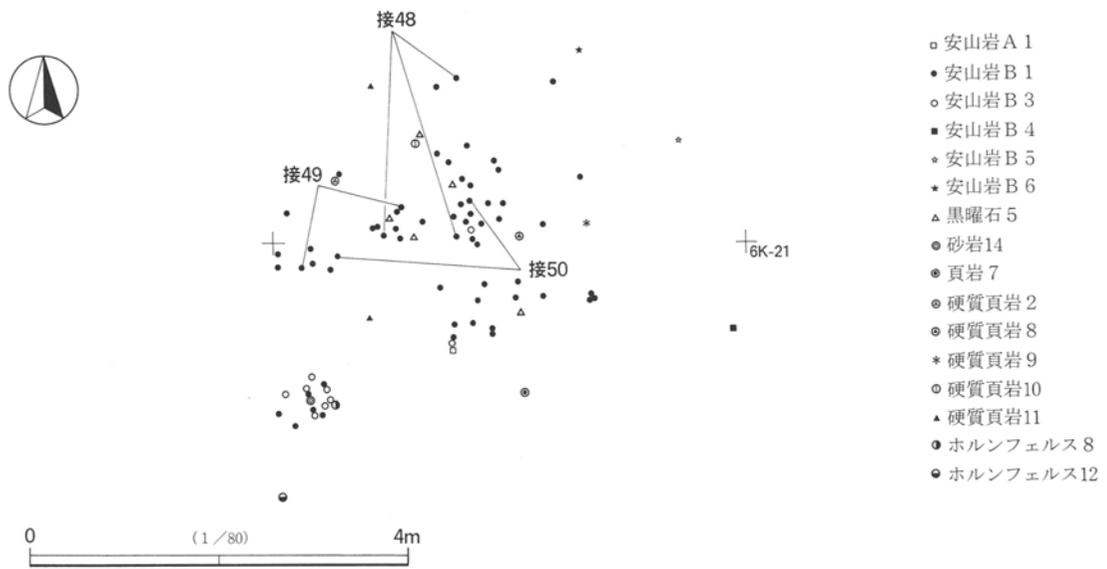
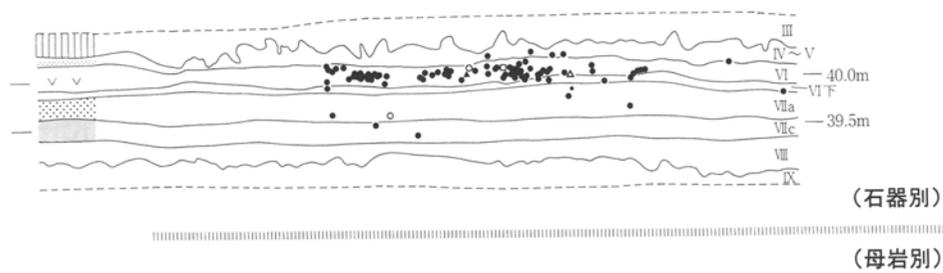
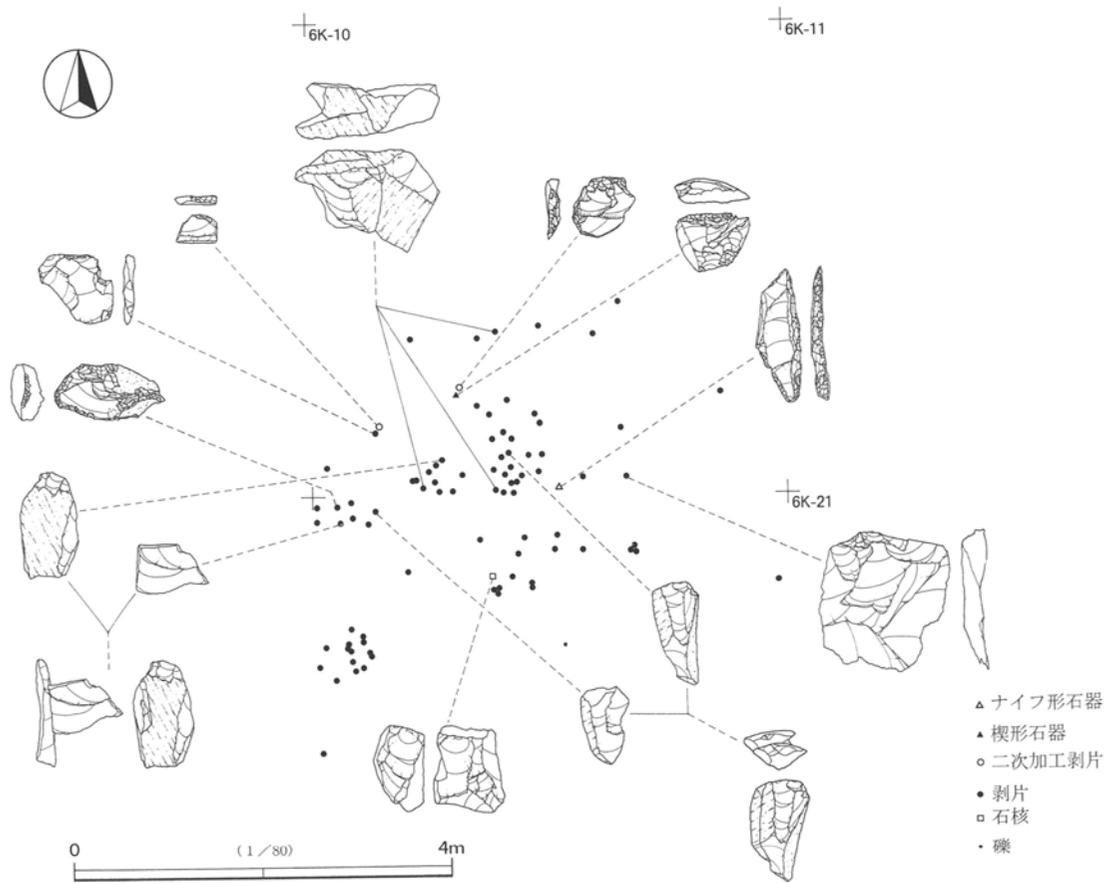
本ブロックでも、剥片生産は一般剥片で占められ、母岩あたりの剥片数は多くない。

第10ブロック (第45図, 第12・51表)

1) 概要

IV・V層からIXc層にかけて91点の遺物が出土し、VI層に特に集中して分布する。石器組成は、ナイフ形石器1点・二次加工剥片2点・楔形石器1点・石核1点・剥片85点・礫1点の計91点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩1点(安山岩A1)・トロトロ石75点(安山岩B1・B3~B6)・黒曜石5点・珪質頁岩6点(硬質頁岩2・硬質頁岩8~11)・砂岩1点・凝灰岩1点(ホルンフェルス8)・ホルンフェルス1点(ホルンフェルス12)の計90点である。

である。本ブロックでは、トロトロ石の消費が主体を占めており、寸詰まりの縦長剥片や幅広剥片を生産



第45図 第10ブロック遺物分布図



第46図 第10ブロック出土石器(1)

している。

2) 母岩別資料

- ・安山岩A 1 淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。剥片1点を含み、総重量は0.16gである。
- ・安山岩B 1 淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。二次加工剥片1点・石核1点・剥片61点を含み、総重量は267.11gである。
- ・安山岩B 3 淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。剥片9点を含み、総重量は17.15gである。
- ・安山岩B 4 青灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。剥片1点を含み、総重量は0.17gである。
- ・安山岩B 5 青灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。剥片1点を含み、総重量は0.23gである。
- ・安山岩B 6 青灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。剥片1点を含み、総重量は0.08gである。
- ・黒曜石 5 無色透明の地に、漆黒の部分が縞状に入る。肉眼観察では小深沢産のものに類似する。二次加工剥片1点・剥片4点を含み、総重量は14.07gである。
- ・硬質頁岩 2 淡灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は2.34gである。
- ・硬質頁岩 8 淡明青灰色を呈し、部分的に赤褐色がかかる。ナイフ形石器1点を含み、総重量は4.12gである。
- ・硬質頁岩 9 淡紫灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は16.70gである。
- ・硬質頁岩 10 淡紫灰色を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は6.45gである。
- ・硬質頁岩 11 淡灰色を呈する。剥片2点を含み、総重量は1.89gである。
- ・砂岩 14 剥離面は、青灰色とベージュ色の粒子の粒子からなる。原礫面はより暗い色調を呈している。剥片1点を含み、総重量は13.63gである。
- ・ホルンフェルス 8 淡青灰色とベージュ色の粒子からなる凝灰岩である。剥片1点を含み、総重量は0.09gである。
- ・ホルンフェルス 12 剥離面は青灰色の地に、黄褐色の点紋が入る。原礫面は同様の色調で、滑らかである。剥片1点を含み、総重量は1.04gである。

3) 出土遺物 (第46・47図, 図版11)

ナイフ形石器1点・二次加工剥片2点・楔形石器1点・石核1点・剥片85点・礫1点の計91点が出土した。

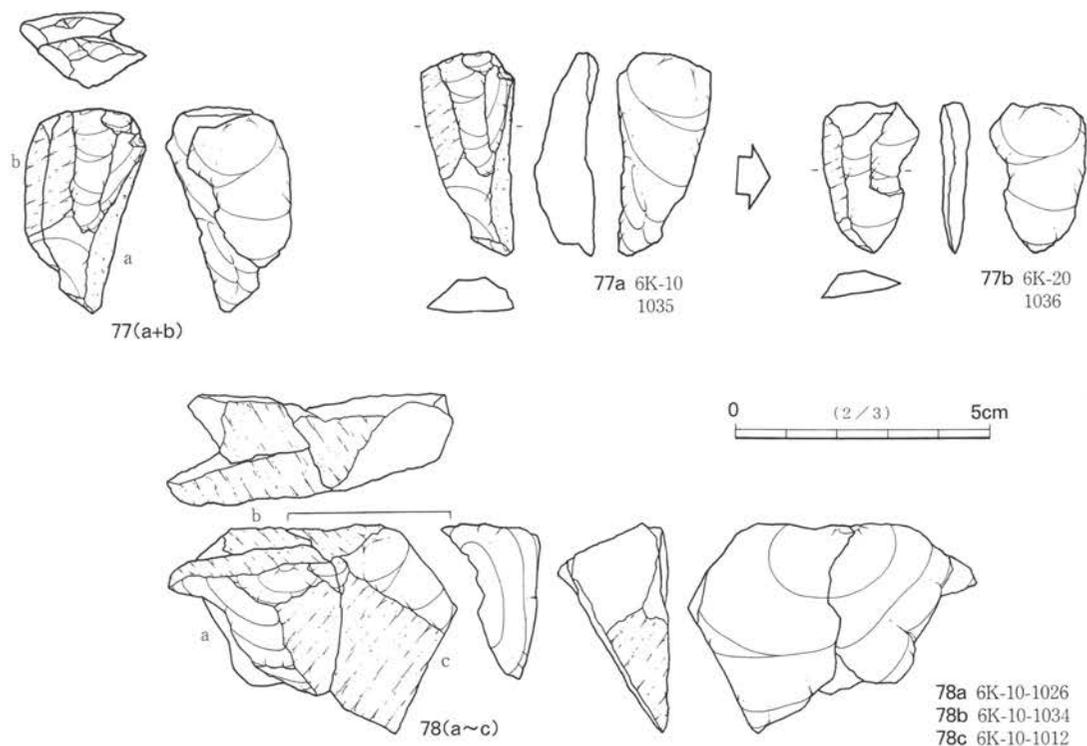
ナイフ形石器(68)は硬質頁岩8製で、二側縁加工のナイフ形石器である。両設打面の石核から剥離された石刃を素材とする。石刃の打点をナイフ形石器の基部に設定しており、右側縁は側縁全体にわたって、左側縁は基部と先端のみに、腹面側からの急斜度の二次加工がみられる。

二次加工剥片は2点(69・70)が出土した。いずれも一般剥片に二次加工を加えたもので、黒曜石製のもの(69)と、安山岩B 1製のもの(70)が出土した。

楔形石器(71)は硬質頁岩10製で、幅広の厚手の剥片が素材である。

石核(75)は安山岩B 1製で、不整の角柱状を呈する。剥離面から寸詰まりの縦長剥片を生産したことがうかがわれる。剥片では77a・77bなどが縦長剥片生産に関連する資料である。

本ブロックでの剥片生産は、トロトロ石を主体として行われており、複数の母岩に少量の剥片が含まれる先のブロックとは異なる。トロトロ石は母岩分類が困難で同一母岩かどうか不明であるが、縦長剥片生産に関連する資料と、一般剥片生産に関連する資料を含むようである。



第47図 第10ブロック出土石器(2)

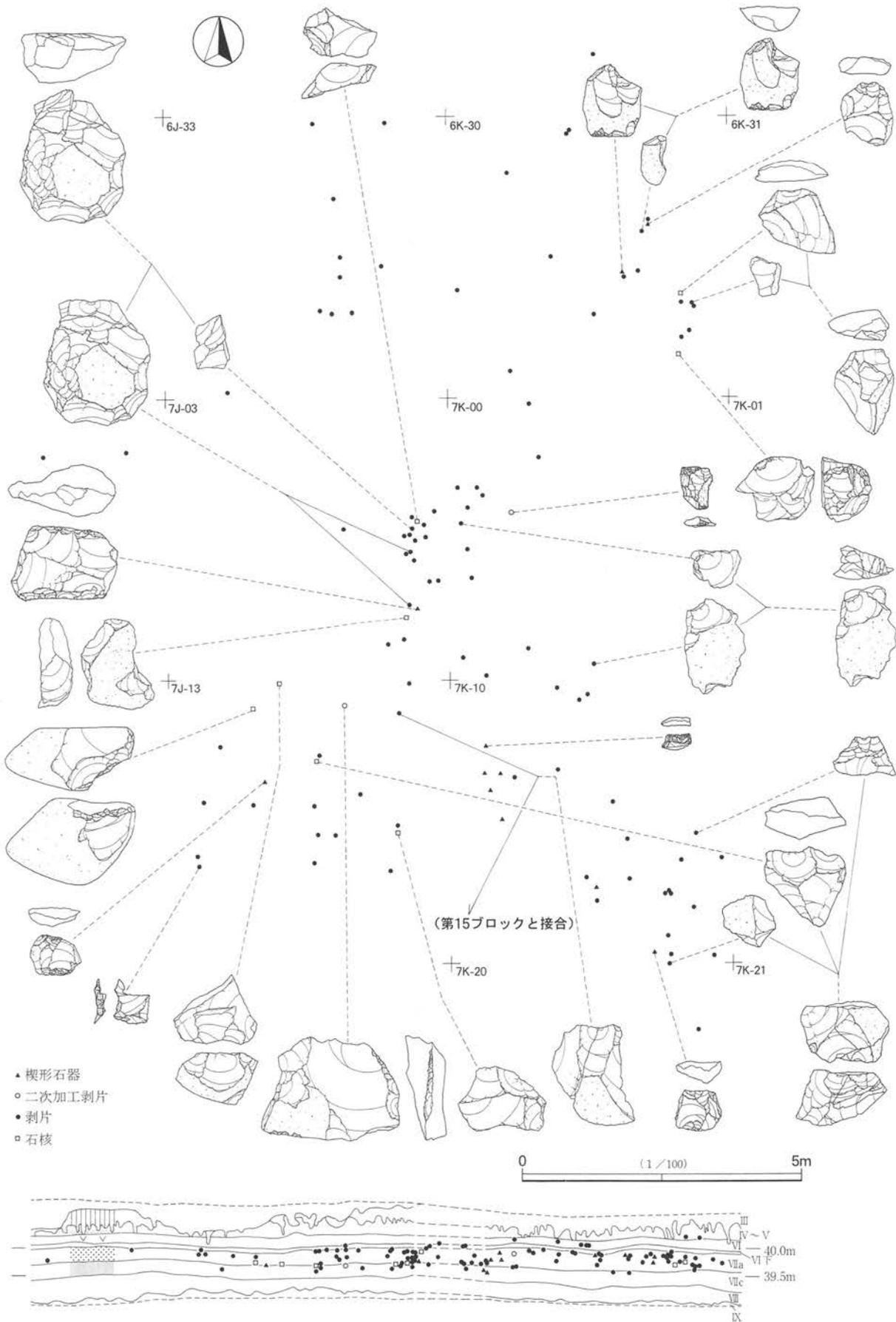
第11ブロック (第48・49図, 第13・52表, 図版3)

1) 概要

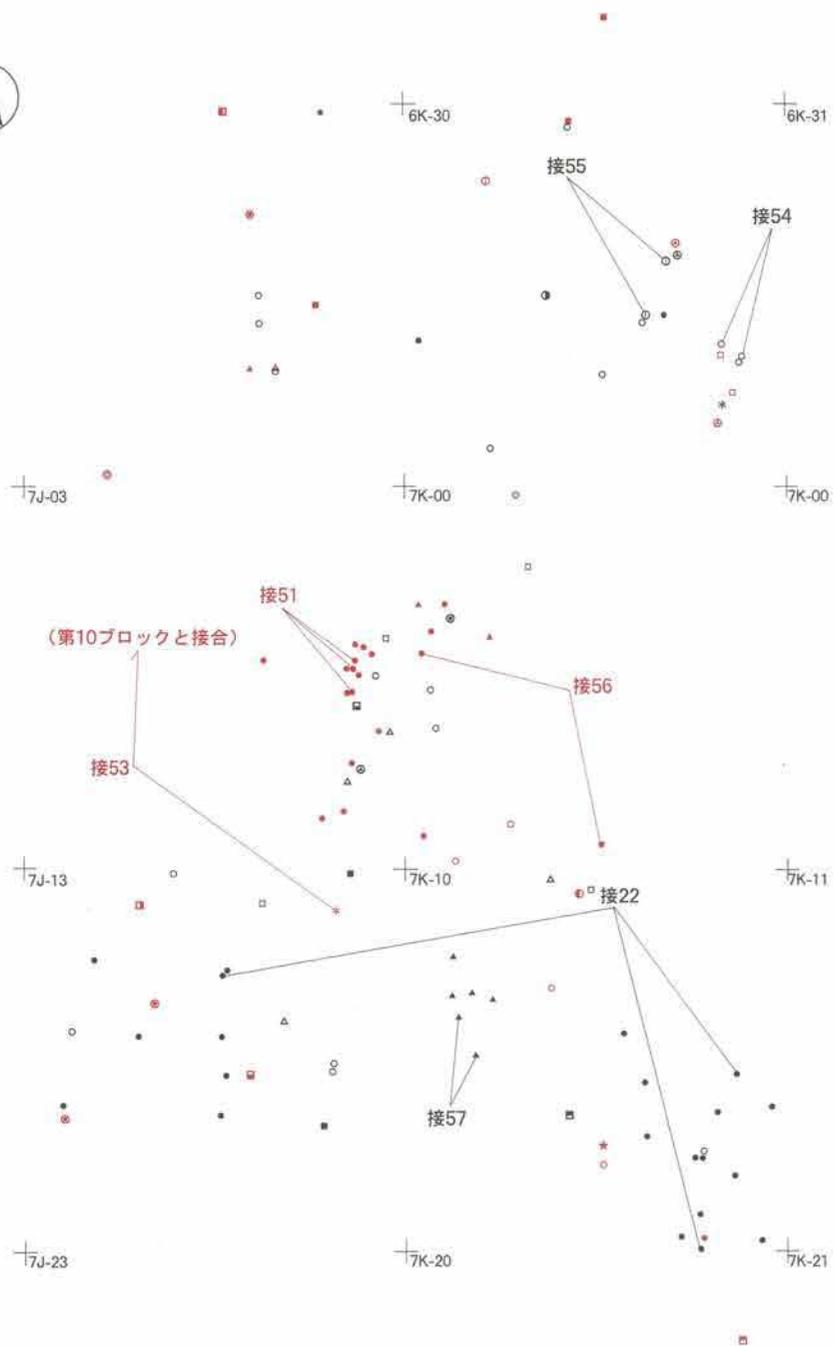
VI層からVII c (IX c)層にかけて117点の遺物が出土し、VII a層(IX a層)に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片2点・楔形石器11点・剥片96点・石核8点の計117点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩56点(安山岩A 1・A 3・A 7・A 8・A11・A17~A20, 安山岩B 7・B 8)・トロトロ石1点(安山岩B 3)・安山岩4点(安山岩B 2)・流紋岩3点(流紋岩9, 珪質頁岩16・17)・黒曜石6点・頁岩1点(頁岩8)・ホルンフェルス25点(頁岩9, ホルンフェルス2・4・8)・珪質頁岩11点(珪質頁岩12・14・15・18, 硬質頁岩1・12)・白滝頁岩3点(珪質頁岩13, 嶺岡頁岩5)・砂岩1点(砂岩15)・鉄石英(黄)1点(ホルンフェルス8)・チャート1点・玉髓4点の計117点である。本ブロックでは、一般剥片が主体で、母岩の数が比較的多いという特徴がある。また本ブロック出土の剥片1点と、第15ブロック出土の剥片1点が、折れ面で接合した。

2) 母岩別資料

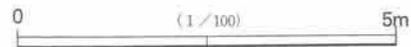
- ・安山岩A 1 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片16点・石核3点を含み、総重量は150.88gである。
- ・安山岩A 3 剥離面が淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。二次加工剥片1点・剥片3点を含み、総重量は92.97gである。
- ・安山岩A 7 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~2.0mm程度のベージュ色や黒色の斑晶が無数



第48図 第11ブロック石器別分布図



- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-------------|
| ○ 安山岩 A 1 | ● 安山岩 B 3 | ● 砂岩 15 | ● 硬質頁岩 1 |
| □ 安山岩 A 3 | ■ 安山岩 B 7 | ■ 頁岩 8 | ■ 硬質頁岩 12 |
| ● 安山岩 A 7 | ■ 安山岩 B 8 | ■ 頁岩 9 | ■ 崩岡頁岩 5 |
| ■ 安山岩 A 8 | ● 流紋岩 9 | ■ 珪質頁岩 12 | ✦ ホルンフェルス 2 |
| ● 安山岩 A 11 | ▲ 黒曜石 3 | □ 珪質頁岩 13 | ● ホルンフェルス 4 |
| ● 安山岩 A 17 | | ● 珪質頁岩 14 | ○ ホルンフェルス 8 |
| ✦ 安山岩 A 18 | | ● 珪質頁岩 15 | ✦ チャート 15 |
| * 安山岩 A 19 | | ● 珪質頁岩 16 | ▲ 玉髄 4 |
| ○ 安山岩 A 20 | | ○ 珪質頁岩 17 | ✦ 玉髄 7 |
| ▲ 安山岩 B 2 | | ● 珪質頁岩 18 | |



第49図 第11ブロック母岩別分布図

に入る。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。楔形石器 1 点・剥片 21 点・石核 1 点を含み、総重量は 109.76 g である。

・安山岩 A 8 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.5mm～1.0mm のベージュ色の斑晶が入る。原礫面は微細な爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 2 点を含み、総重量は 30.67 g である。

・安山岩 A 11 剥離面が淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.3mm 程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は 13.34 g である。

・安山岩 A 17 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.3mm～1.0mm のベージュ色や黒色の斑晶が入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は 17.77 g である。

・安山岩 A 18 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.3mm 程度のベージュ色や黒色の斑晶が入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片 1 点を含み、総重量は 17.40 g である。

・安山岩 A 19 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.3mm 程度のベージュ色や黒色の斑晶が疎らに入る。剥片 1 点を含み、総重量は 7.98 g である。

・安山岩 A 20 淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径 0.3mm 程度のベージュ色や黒色の斑晶が疎らに入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。楔形石器 1 点・剥片 1 点を含み、総重量は 16.89 g である。

・安山岩 B 2 剥離面が淡明灰色を呈する風化の進んだ安山岩である。径 0.3mm～3.0mm 程度の黒色の斑晶を含む。原礫面も同様の色調で、ザラザラした質感である。爪跡状のくぼみの痕跡がみられるようである。剥片 3 点・石核 1 点を含み、総重量は 64.37 g である。

・安山岩 B 3 剥離面は淡明灰色で、径 0.5mm～2.0mm のベージュ色の斑晶が入る。原礫面は淡茶褐色を呈する。トロトロ石と俗称される。楔形石器 1 点を含み、総重量は 9.71 g である。

・安山岩 B 7 剥離面は淡青灰色の地に、径 0.3mm～2.0mm の黒色とベージュ色の斑晶が多く入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。風化の程度がやや強いが黒色緻密質安山岩であると思われる。剥片 1 点を含み、総重量は 5.30 g である。

・安山岩 B 8 剥離面は淡青灰色の地に、径 0.3mm～2.0mm の黒色とベージュ色の斑晶が多く入る。風化の程度がやや強いが黒色緻密質安山岩であると思われる。剥片 1 点を含み、総重量は 11.68 g である。

・流紋岩 9 淡黄褐色がかかった淡青灰色の地に、黒色透明の斑晶が入る。楔形石器 1 点を含み、総重量は 57.55 g である。

・黒曜石 3 漆黒の地に、無色透明の部分がわずかに入る。肉眼観察では小深沢産に類似する。楔形石器 5 点・剥片 1 点を含み、総重量は 4.32 g である。

・頁岩 8 剥離面は淡青灰色から淡緑青色を呈する。原礫面は淡緑青色を呈し、滑らかな質感である。石核 1 点を含み、総重量は 115.13 g である。

・頁岩 9 原礫面・剥離面ともにベージュ色を呈する。粗い質感で頁岩というよりは、むしろホルンフェルスであると考えられる。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は 3.94 g である。

・珪質頁岩 12 剥離面は黄褐色を呈し、原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片 3 点を含み、総重量は 24.37 g である。

・珪質頁岩 13 剥離面は茶灰色を呈し、青黒色の珪化度の高い部分が縞状に入る。原礫面は黄褐色を呈する。剥離面の特徴から白滝頁岩であると思われる。剥片 2 点を含み、総重量は 22.64 g である。

・珪質頁岩14 剥片2点が含まれるが、それぞれ別母岩である。6J-33-1011は、剥離面が黄褐色がかかる灰色の地に、黄褐色と淡紫灰色の部分が縞状に入る。ガジリ面は淡青灰色を呈する。重量は1.67gである。7J-02-1002は、剥離面が淡黄褐色と淡緑灰色の部分の互層からなり、原礫面が淡黄褐色を呈する。ガジリ面は淡青緑色を呈する。珪化度が高く、チャートに近い。重量は1.99gである。

・珪質頁岩15 剥離面は黄色がかかる淡青緑色を呈し、原礫面は淡茶褐色から淡黄褐色を呈する。珪化度が高く、チャートに近い。石核1点を含み、総重量は31.15gである。

・珪質頁岩16 剥離面は淡黄褐色を呈し、部分的に青灰色を帯びる。石英質の微細な斑晶が入ることから流紋岩である。原礫面は青黒色と淡茶褐色の部分からなる。剥片1点を含み、総重量は12.08gである。

・珪質頁岩17 剥離面は黄色がかかる淡青緑色を呈し、黄色がかかる乳白色の部分や淡茶褐色の節理が入る。石英質の微細な斑晶が入ることから流紋岩である。剥片1点を含み、総重量は8.54gである。

・珪質頁岩18 剥離面は淡青灰色と淡黄褐色の部分からなる。原礫面は、剥離面と同様の色調で光沢を帯びる。珪化度が高くチャートに近い。剥片1点を含み、総重量は4.42gである。

・硬質頁岩1 剥離面は焦茶色を呈する。いわゆるチョコレート頁岩である。楔形石器1点・剥片2点を含み、総重量は19.26gである。

・硬質頁岩12 剥離面は淡茶灰色を呈し、粒状の茶灰色の部分が入る。このような特徴をもつ石材は、新潟県北部の天満層に類例がみられる。剥片1点を含み、総重量は1.35gである。

・嶺岡頁岩5 剥離面は淡明灰色を呈し、珪化度の高い乳白色の部分や青黒色の部分が入る。この特徴から白滝頁岩であると思われる。剥片1点を含み、総重量は1.71gである。

・砂岩15 青灰色、淡青灰色、ベージュ色の粒子からなる。剥片1点を含み、総重量は19.60gである。

・ホルンフェルス2 青黒色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は18.41gである。

・ホルンフェルス4 剥離面は淡青灰色で、部分的に淡明灰色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で光沢を帯びる。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片19点・石核1点を含み、総重量は209.87gである。

・ホルンフェルス8 剥離面は青黒色の地に、黄褐色から淡黄褐色の点紋が入る。原礫面は剥離面と同様の色調で光沢を帯びる。ガジリ面は青黒色を呈する。この特徴をもつ剥片が3点あり、総重量は10.45gである。また同一母岩に分類されている中で、黄褐色不透明の玉髓製の剥片が1点含まれ、その重量は0.39gである。

・チャート15 剥離面は青灰色を呈し、ベージュ色の節理が入る。楔形石器1点を含み、総重量は2.09gである。

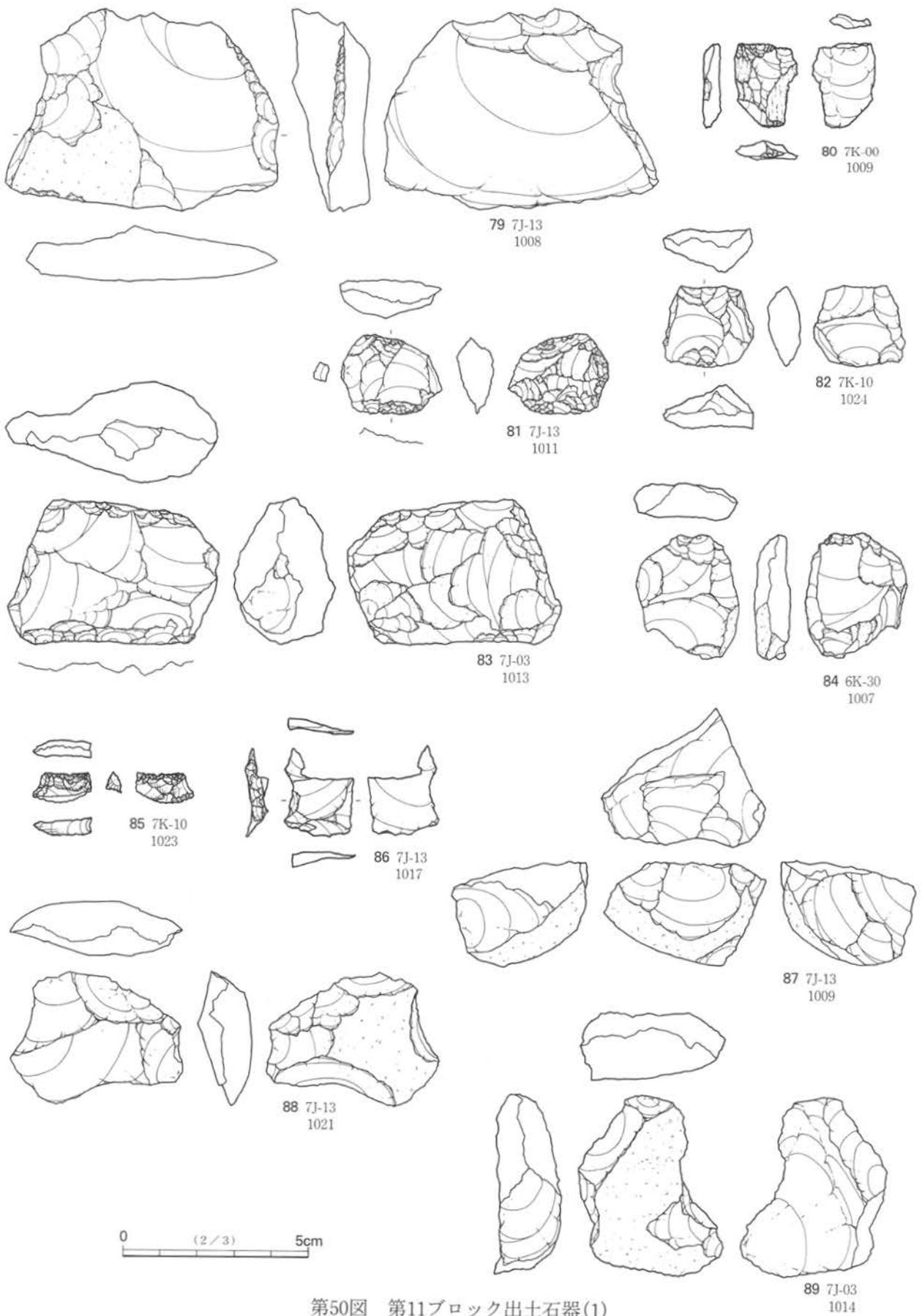
・玉髓4 剥離面は乳白色半透明で、互層状の構造である。部分的に淡青灰色を呈する。原礫面は淡い鼈甲色を呈する。二次加工剥片1点・剥片2点を含み、総重量は14.12gである。

・玉髓7 乳白色半透明の部分と、淡紫灰色不透明の部分が互層を呈する。剥片1点を含み、総重量は2.31gである。

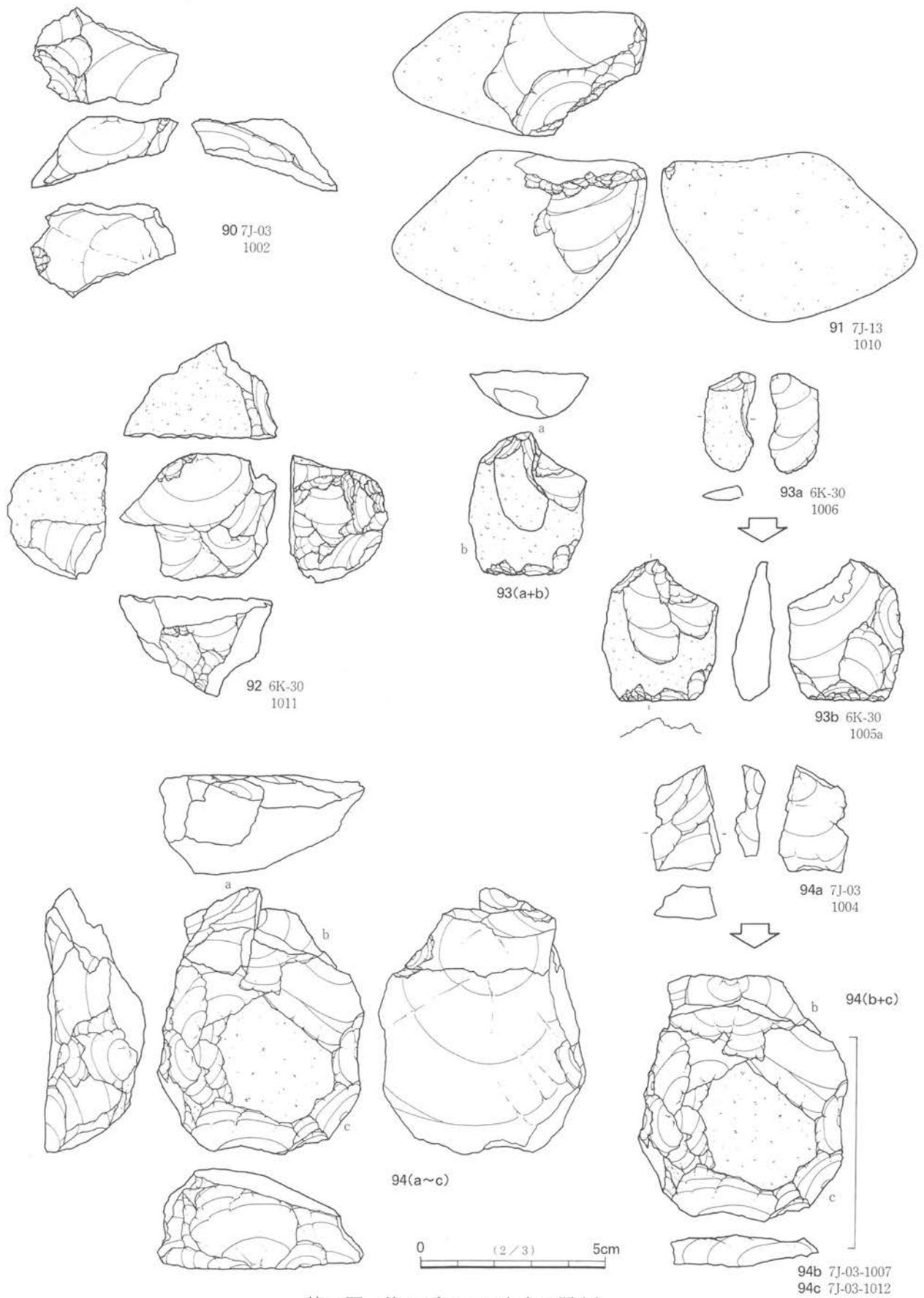
3) 出土遺物 (第50～52図, 図版12)

二次加工剥片2点・楔形石器11点・剥片96点・石核8点の計117点が出土した。

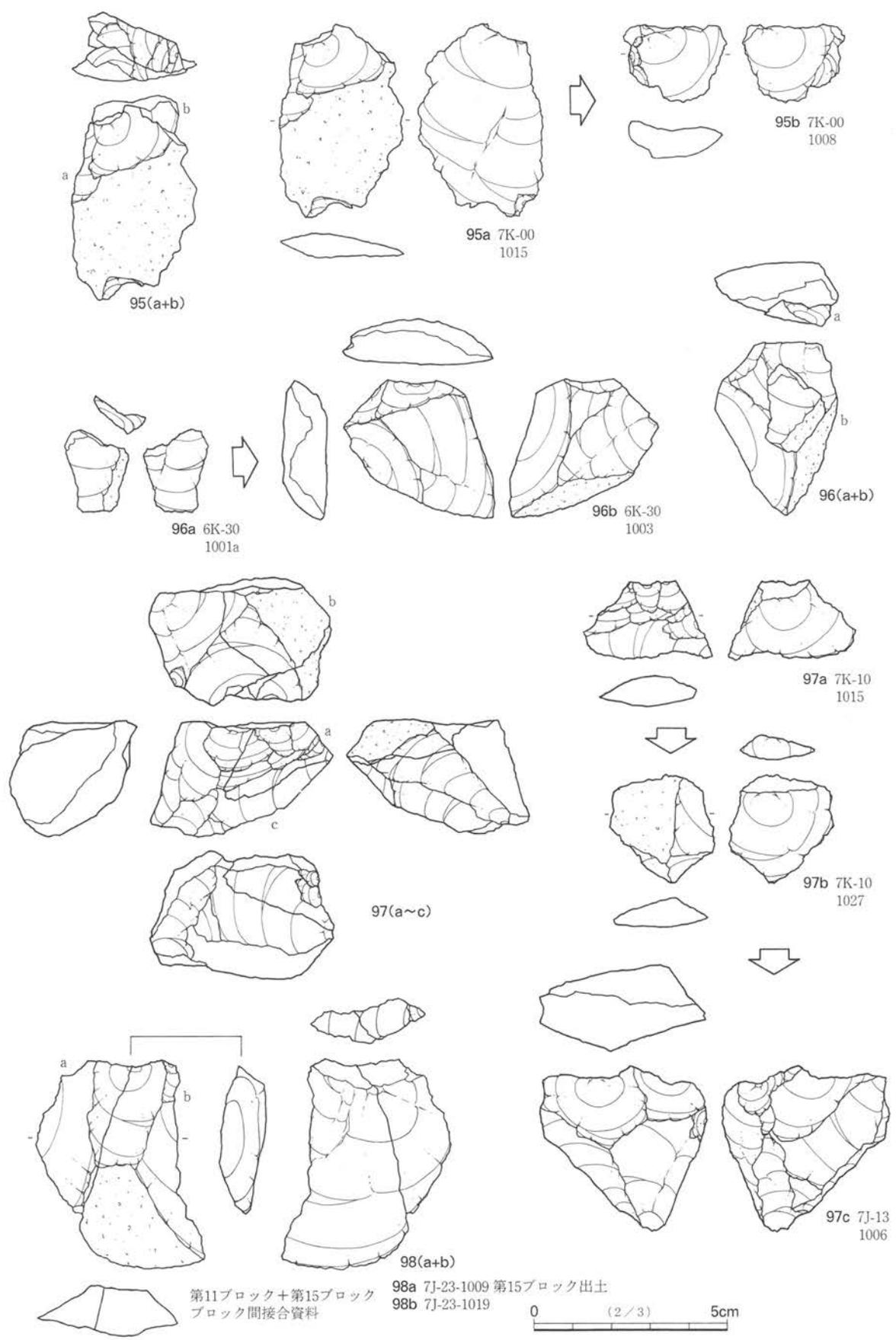
二次加工剥片は2点(79・80)が出土した。うち1点(80)は剥離痕が微細で二次加工によるものかどうか断定は難しい。残りの1点(79)は大型幅広剥片の側縁に二次加工を施したものである。



第50図 第11ブロック出土石器(1)



第51図 第11ブロック出土石器(2)



第52図 第11ブロック出土石器(3)

楔形石器は11点(81~85・93b)が出土した。石材は、安山岩A7が1点(82)、安山岩A20が1点(93b)、安山岩B3が1点(84)、流紋岩9が1点(83)、黒曜石3が5点(85)、硬質頁岩1が1点(81)、チャート15が1点である。流紋岩9製のものが、分厚い剥片を素材としているほかは、小形の剥片や小礫を素材とする。

石核は8点(87~92・96b・97c)が出土した。分割した礫を素材とするもの(87~90・92)が5点、礫に交互剥離を加えて剥片を生産するもの(91)が1点、剥片を素材とするもの(96b)が1点、分割礫もしくは厚手の剥片を素材として、交互剥離によって剥片を生産するもの(97c)が1点みられた。石材は、安山岩A1が3点(87・88・96b)、安山岩A7が1点(97c)、安山岩B2が1点(89)、頁岩8が1点(91)、珪質頁岩15が1点(92)、ホルンフェルス4が1点(90)である。

本ブロックから出土した剥片は、一般剥片が主体となる。縦長剥片は、形態の整ったものがなく、数量も少ない。本ブロックでは、安山岩A1・A7、ホルンフェルス4に含まれる剥片の数が多くなっているが、母岩識別が困難な石材で複数の母岩が含まれている可能性がある。そのように仮定すれば、本ブロックでは母岩の数は比較的多いものの、母岩ごとに含まれる剥片は少ないといえる。また本ブロックから出土した剥片1点(98b)と、第15ブロックから出土した剥片1点(98a)が、約7mの距離を隔てて、折れ面で接合している(接合資料53)。他のブロック間接合とは異なり、比較的近い距離で接合している。

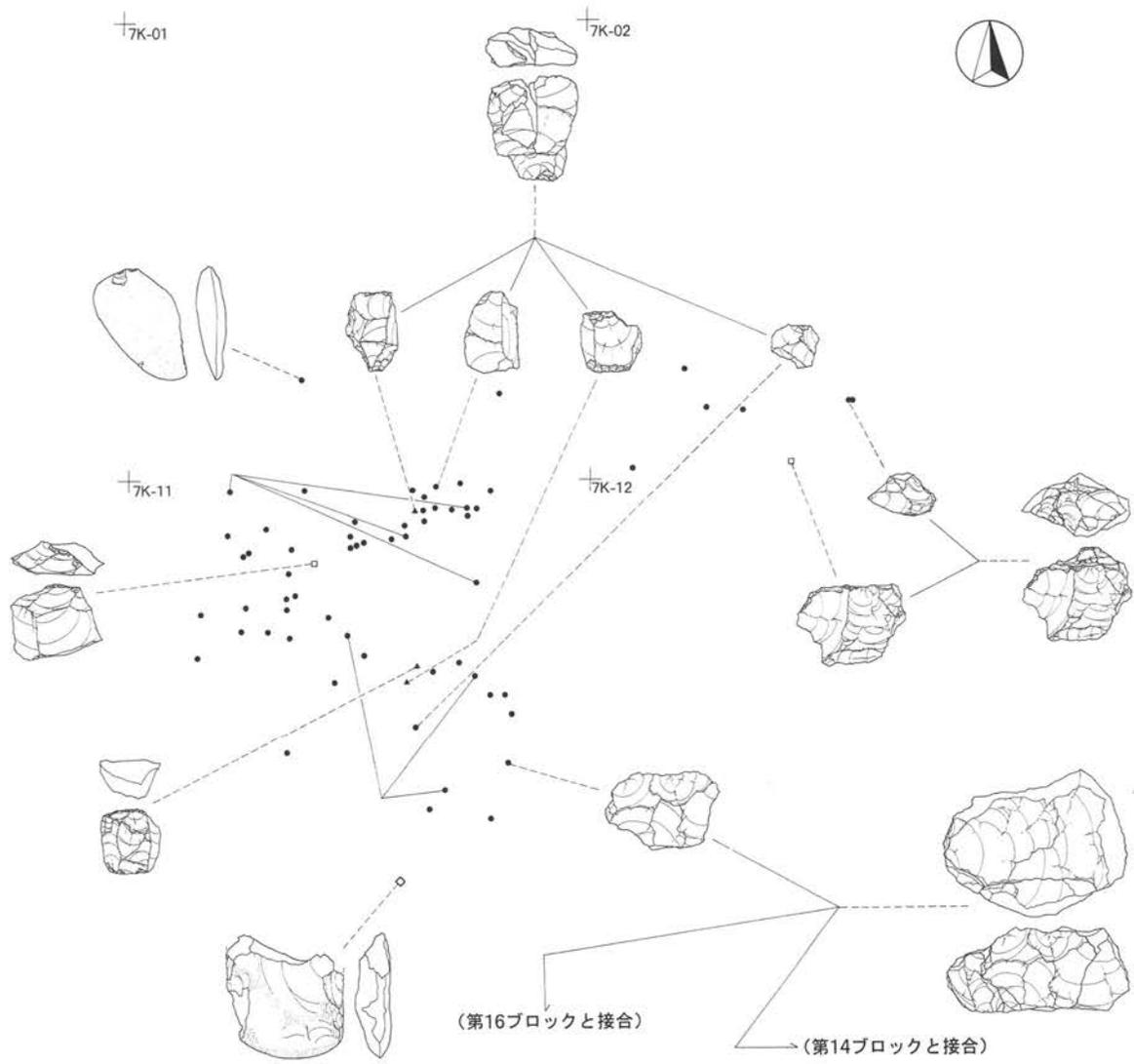
第12ブロック (第53・54図, 第14・53表)

1) 概要

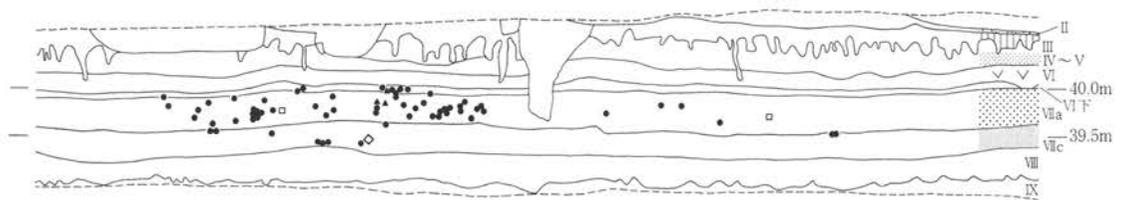
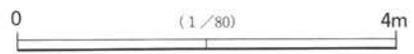
VI下層からVIIc層にかけて68点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、局部磨製石斧1点・楔形石器3点・石核2点・剥片62点の計68点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩45点・流紋岩1点・頁岩1点・白滝頁岩3点(珪質頁岩13・珪質頁岩19)・八丁層ノジュール1点(嶺岡頁岩6)・ホルンフェルス5点・蛇紋岩1点(結晶片岩1)・チャート8点・玉髄3点の計68点である。本ブロックでは、黒色緻密質安山岩を主体として、一般剥片生産が行われている。他のブロックとの関係では、本ブロック出土の剥片1点と、第14ブロック出土の石核1点と、第16ブロック出土の剥片1点が接合関係をもつ。

2) 母岩別資料

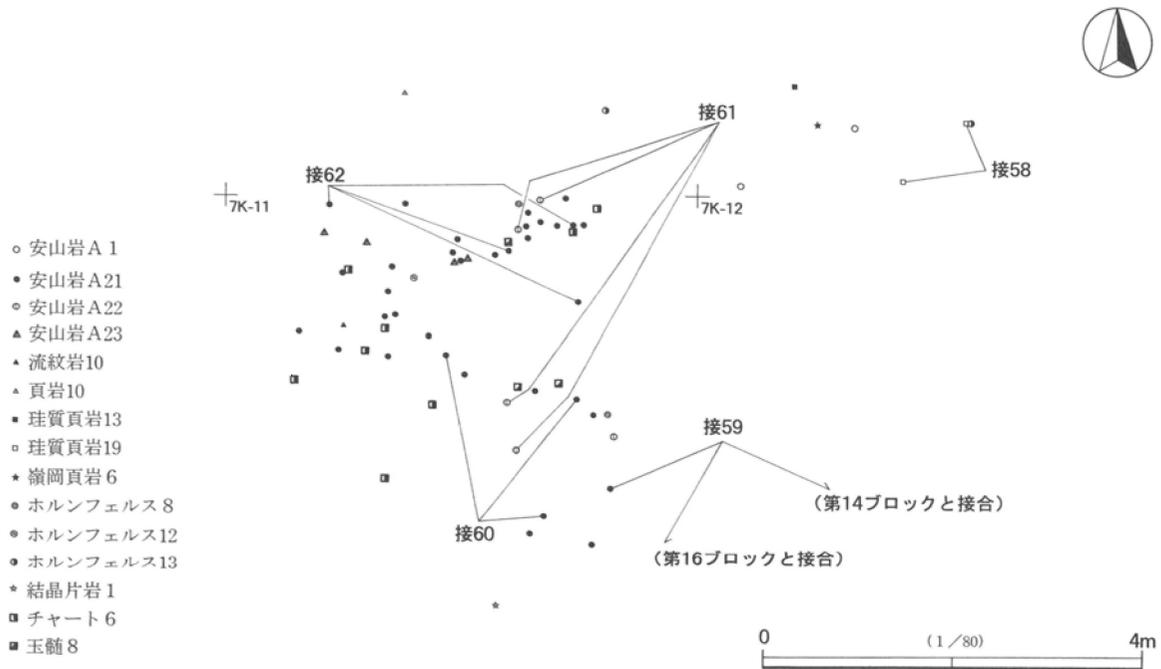
- ・安山岩A1 淡灰色の黒色緻密質安山岩で、原礫面には微細な爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。剥片2点を含み、総重量は18.91gである。
- ・安山岩A21 剥離面は淡灰色を呈し、青灰色の部分が一部にみられる黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~5.0mmほどの黒色とベージュ色、石英質の斑晶が入る。原礫面には、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片34点を含み、総重量は452.35gである。
- ・安山岩A22 剥離面は青灰色を呈し、径0.5mm~1.0mmのベージュ色と黒色の斑晶がみられる。原礫面には微細な爪跡状のくぼみがみられる。楔形石器2点・剥片3点を含み、総重量は31.42gである。
- ・安山岩A23 剥離面は淡灰色を呈し、径0.5mm~1.0mmのベージュ色と黒色の斑晶がみられる。表面には微細な淡黄褐色の点紋が入る。剥片4点を含み、総重量は13.89gである。
- ・流紋岩10 剥離面はベージュ色の地に、青灰色や暗赤褐色の斑晶が入る。剥片1点を含み、総重量は1.30gである。



- ◇ 局部磨製石斧
- ▲ 楔形石器
- 剥片
- 石核



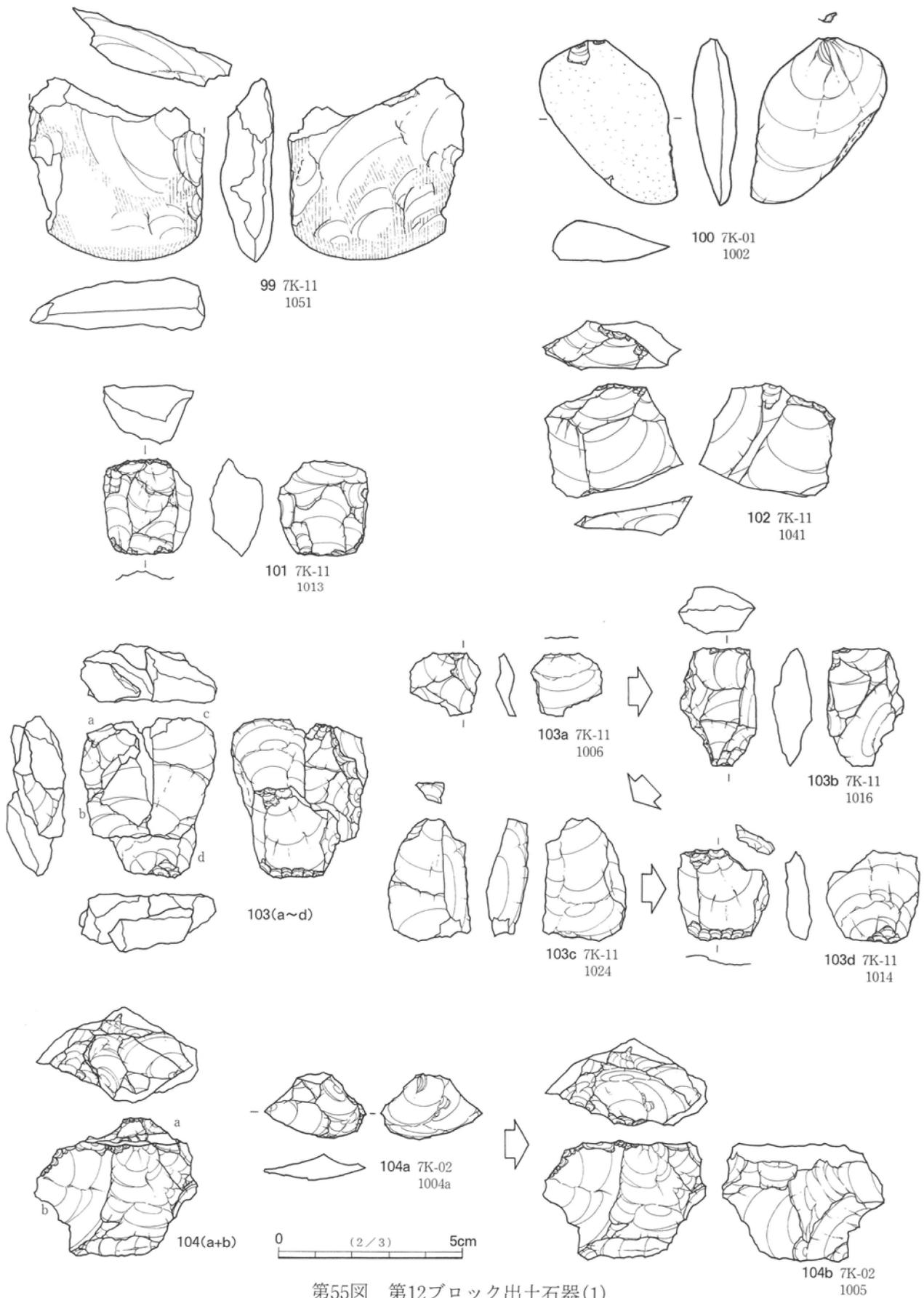
第53図 第12ブロック石器別分布図



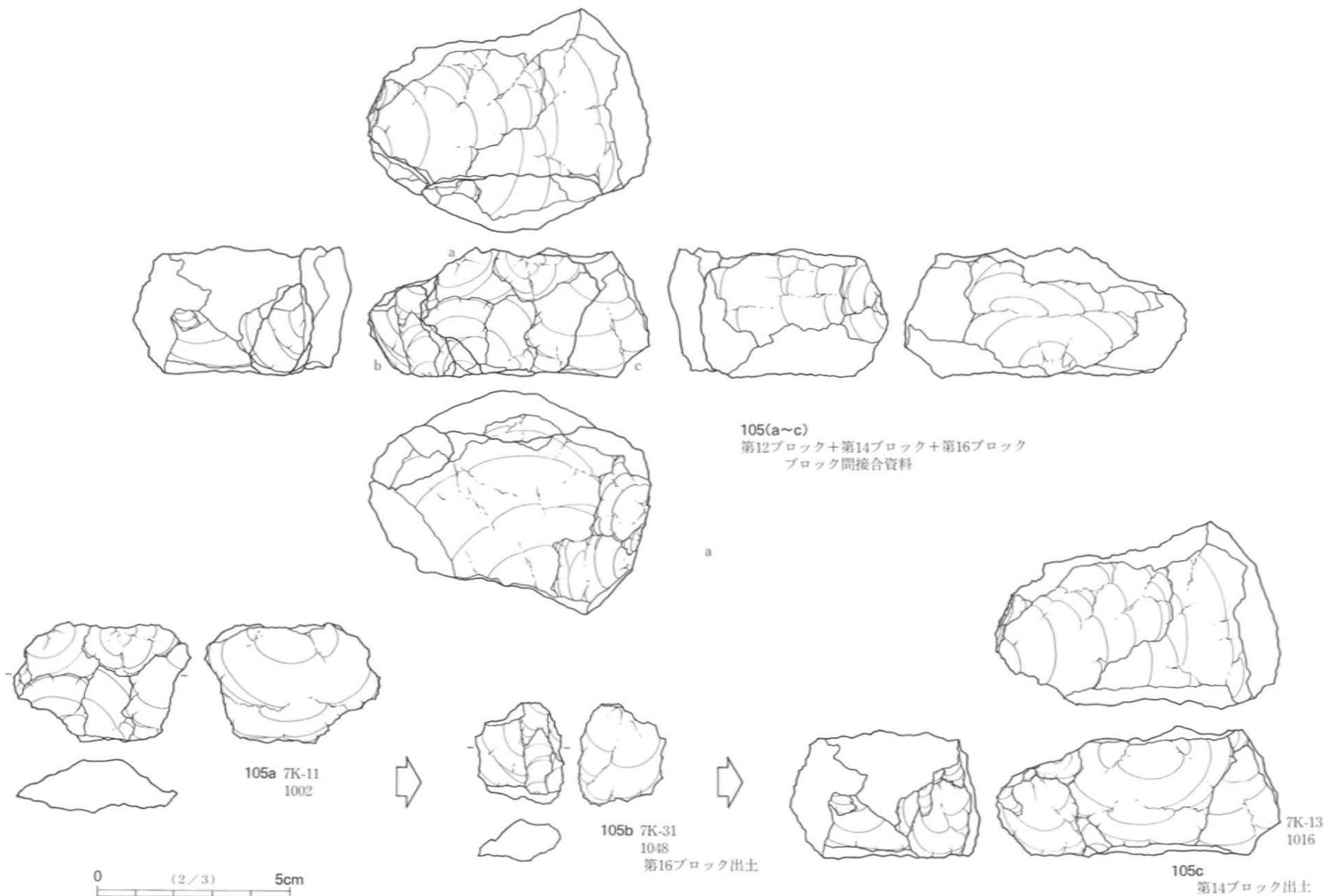
第54図 第12ブロック母岩別分布図

- ・頁岩10 剥離面は緑がかった淡いベージュ色を呈する。原礫面も同様の色調である。節理面は、茶褐色の地に青緑色の部分が入り混じる。剥片1点を含み、総重量は16.63gである。
- ・珪質頁岩13 剥離面は茶灰色を呈し、青黒色の珪化度の高い部分が縞状に入る。原礫面は黄褐色を呈する。剥離面の特徵から白滝頁岩であると思われる。剥片1点を含み、総重量は5.14gである。
- ・珪質頁岩19 剥離面は淡緑茶色から青灰色を呈し、淡青灰色半透明の珪化度の高い部分が縞状に入る白滝頁岩である。節理面は茶褐色を呈する。石核1点・剥片1点を含み、総重量は30.99gである。
- ・嶺岡頁岩6 淡青灰色と青灰色の部分が斑状に入り混じる八丁層ノジュールである。珪化度は低い。剥片1点を含み、総重量は1.49gである。
- ・ホルンフェルス8 剥離面は青黒色の地に、黄褐色から淡黄褐色の点紋が入る。原礫面は剥離面と同様の色調で光沢を帯びる。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は18.86gである。
- ・ホルンフェルス12 剥離面は青灰色の地に、黄褐色の点紋が入る。石核1点を含み、総重量は11.88gである。
- ・ホルンフェルス13 剥離面は青灰色を呈し、淡明灰色の部分が一部にみられる。原礫面は剥離面と同様の色調で、滑らかである。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は8.52gである。
- ・結晶片岩1 淡黄緑色の地に、黒色やベージュ色の部分が斑状に入る蛇紋岩である。局部磨製石斧1点を含み、総重量は31.69gである。
- ・チャート6 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色や赤褐色の節理が入る。原礫面は剥離面と同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数にみられる。剥片8点を含み、総重量は17.63gである。
- ・玉髓8 剥離面は乳白色を呈し、淡緑色と緑がかったベージュ色の部分からなる凝灰質の部分が一部にみられる。楔形石器1点・剥片2点を含み、総重量は13.86gである。

3) 出土遺物 (第55・56図, 図版11)



第55図 第12ブロック出土石器(1)



第56図 第12ブロック出土石器(2)

局部磨製石斧1点・楔形石器3点・石核2点・剥片62点の計68点が出土した。

局部磨製石斧(99)は、蛇紋岩(結晶片岩1)製である。表面は被熱したためか剥落が激しく、器体への調整の様子は不明確である。刃部は研磨によって両刃に整形されている。

楔形石器は3点(101・103b・103d)が出土している。石材は安山岩A22が2点(103b・103d)、玉髓8が1点(101)である。

石核は2点(102・104b)が出土している。分割礫を素材とするもの(104b)と、剥片を素材とするもの(102)がみられる。石材は白滝頁岩(珪質頁岩19:104b)と、ホルンフェルス12(102)である。

剥片は安山岩A21が34点と主体を占める。この母岩に複数の母岩が含まれているとしても、黒色緻密質安山岩が剥片全体に占める数は、62点中43点と主体を占める。また本ブロックにおける剥片生産は一般剥片生産で占められる。

他のブロックとの関係では、本ブロック出土の剥片1点(105a)と、第14ブロック出土の石核1点(105c)と、第16ブロック出土の剥片1点(105b)とが接合関係をもつ(接合資料59)。第14ブロックとは約9m、第16ブロックとは約11mの距離を隔てて接合している。

第13ブロック (第57・58図, 第15・54表, 図版3)

1) 概要

VI層からVIIb層(IXb層)にかけて111点の遺物が出土し、VI下層に特に集中して分布する。石器組成は、ナイフ形石器2点・二次加工剥片4点・楔形石器5点・剥片93点・石核5点・敲石1点・礫1点の計111点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩47点(安山岩A1・A11)・トロトロ石1点(安山岩B9)・安山岩3点(安山岩B10・B11, 安山岩C5)・流紋岩1点・黒曜石2点・黒色頁岩17点(頁岩9・頁岩11)・ホルンフェルス14点(頁岩12, ホルンフェルス8・12・14~16)・頁岩5点(頁岩13~17)・珪質頁岩7点(珪質頁岩1, 硬質頁岩13・14)・鉄石英(赤)1点(硬質頁岩7)・チャート7点(チャート6・16・17・19)・玉髓5点(チャート18, 玉髓1・9・10)の計110点である。本ブロックでは、黒色緻密質安山岩の剥片が39点と多く出土したが、二次加工のある石器は1点に過ぎなかった。また一般剥片を素材とするナイフ形石器が2点出土した。他のブロックとの関係では、本ブロックから出土した剥片3点と、第22ブロックから出土した石核1点が接合関係をもつ。

2) 母岩別資料

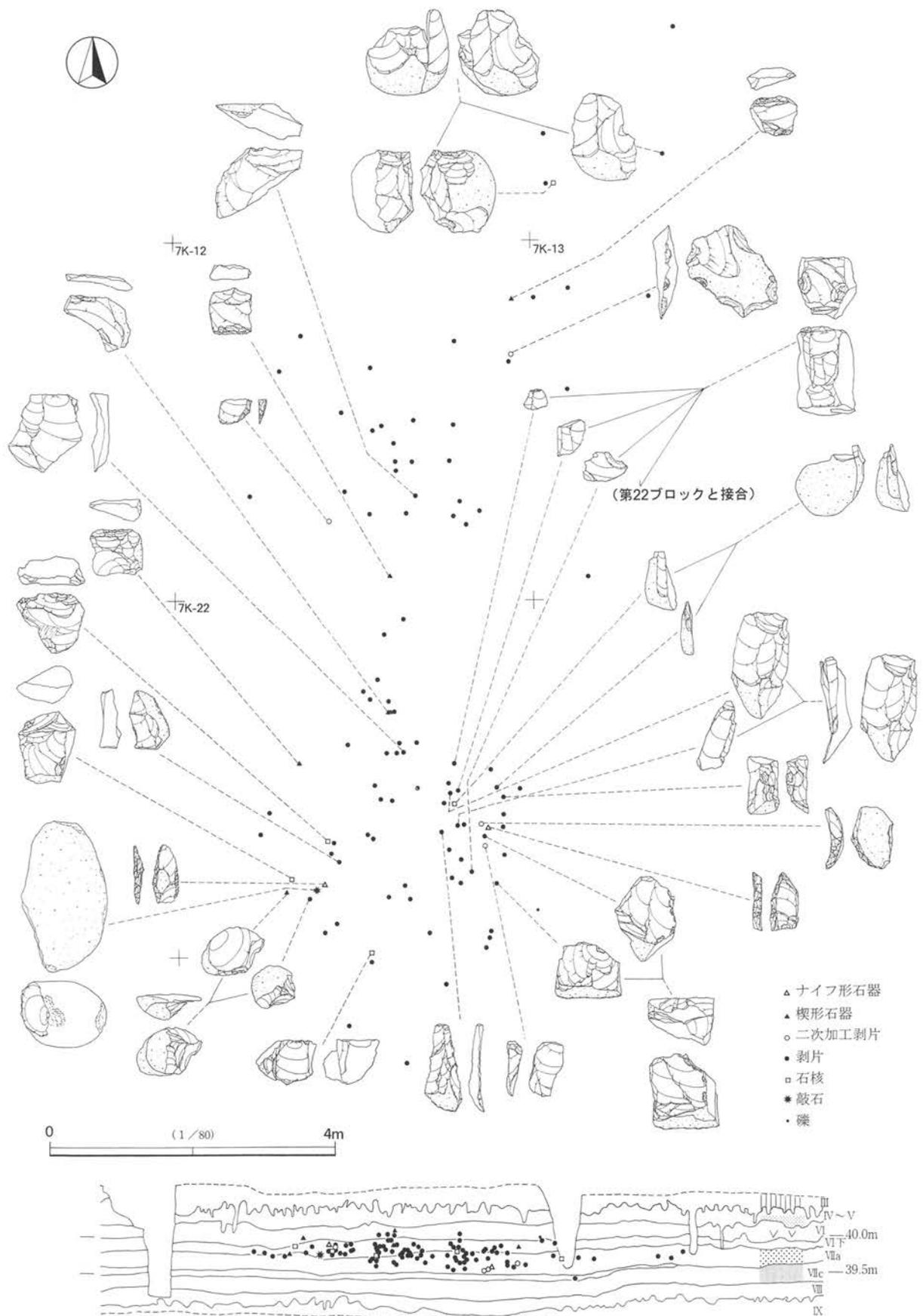
・安山岩A1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には微細な爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。二次加工剥片1点・楔形石器4点・剥片36点・石核3点を含み、総重量は270.05gである。

・安山岩A11 剥離面が淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。表面には微細な淡黄褐色の点紋が入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片3点を含み、総重量は16.22gである。

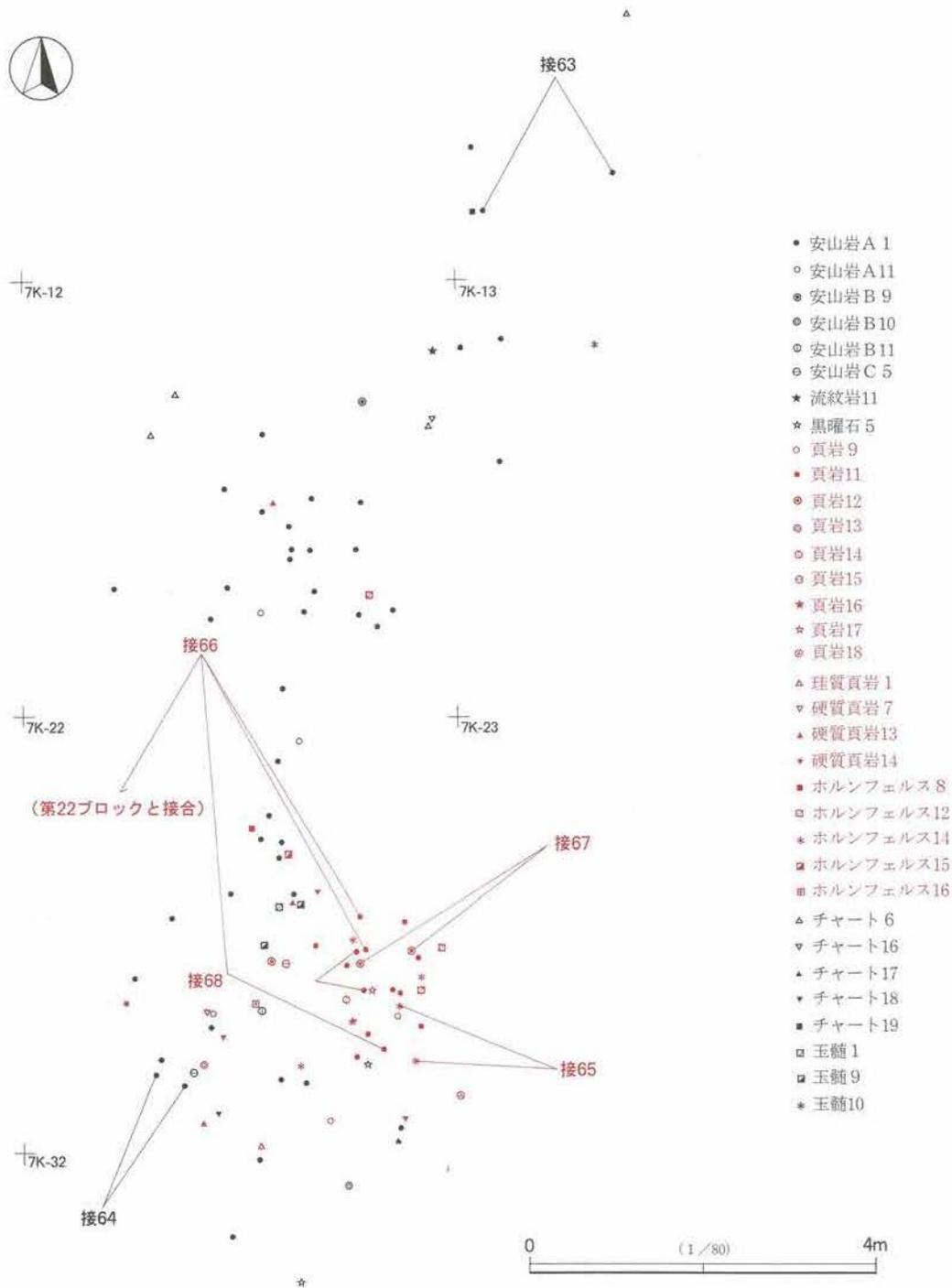
・安山岩B9 剥離面が淡明灰色を呈し、径0.5mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。トロトロ石と俗称される。剥片1点を含み、総重量は1.27gである。

・安山岩B10 青灰色から淡明灰色を呈し、表面に小孔がみられる。剥片1点を含み、総重量は0.20gである。

・安山岩B11 淡青灰色を呈し、径0.3mm~1.0mmのベージュ色の斑晶が入る。剥片1点を含み、総重量は



第57図 第13ブロック石器別分布図



第58図 第13ブロック母岩別分布図

0.06 gである。

・安山岩C 5 剥離面は青灰色を呈し、径0.3mm~1.0mmのベージュ色の斑晶が入る。原礫面は淡青灰色を呈し、表面に無数の孔がみられる。斑晶が安山岩B11と酷似しており、同一母岩である可能性がある。敲石1点を含み、総重量は160.67 gである。

・流紋岩11 剥離面はベージュ色の地に、淡紫灰色や淡青灰色の斑晶が無数に入る。楔形石器1点を含み、総重量は4.06 gである。

・黒曜石 5 無色透明の地に、灰色半透明の部分が縞状に入る。また径0.5mm程度の灰色の球顆がみられ

る。肉眼観察では信州産と思われる。剥片2点を含み、総重量は0.78gである。

・頁岩9 ベージュ色を呈し、部分的に淡青灰色がかかる黒色頁岩である。第11ブロックの頁岩9とは異なり、より滑らかな質感である。ガジリ面は青黒色を呈する。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は4.29gである。

・頁岩11 剥離面はベージュ色を呈し、部分的に淡青灰色がかかる黒色頁岩である。原礫面も剥離面と同様の色調である。ガジリ面は青黒色を呈する。頁岩9に酷似する。ナイフ形石器1点・二次加工剥片1点・剥片13点を含み、総重量は77.74gである。

・頁岩12 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入るホルンフェルスである。被熱したためか赤変している部分がみられる。原礫面は剥離面と同様の色調で滑らかである。剥片2点・石核1点を含み、総重量は20.21gである。

・頁岩13 剥離面は青灰色を呈する。原礫面は剥離面よりも、やや暗い色調で光沢を帯びる。ナイフ形石器1点を含み、総重量は1.92gである。

・頁岩14 剥離面は青黒色を呈し、一部に淡茶褐色の部分がみられる。原礫面は剥離面と同様の色調で、光沢を帯びる。剥片1点を含み、総重量は4.47gである。

・頁岩15 剥離面は淡青灰色の部分とベージュ色の部分が、互層を呈する。原礫面は黄色がかった淡青灰色で、粗い質感である。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は10.69gである。

・頁岩16 剥離面は青灰色を呈し、青黒色の節理が入る。原礫面は剥離面よりも淡い色調で光沢を帯びる。剥片1点を含み、総重量は8.52gである。

・頁岩17 剥離面は淡青緑色を呈し、淡青灰色やベージュ色の部分が斑状に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は3.05gである。

・珪質頁岩1 剥離面は淡緑灰色、青灰色それに淡茶褐色の部分がみられる。原礫面は茶褐色を呈する。石核1点を含み、総重量は14.35gである。この第2文化層から出土した珪質頁岩1は、第7ブロック、本ブロック、第14ブロックから各1点出土し、計3点が出土している。同一の石材である可能性は高いと思われるが、珪化の度合いや原礫面の色調が異なり、接合関係もないことから積極的に同一母岩と言うことは難しい。

・硬質頁岩7 剥離面は暗赤褐色の地に、暗乳白色の節理が入る鉄石英(赤)である。原礫面は多角柱状の微細な石英の結晶で覆われている。石核1点を含み、総重量は13.83gである。

・硬質頁岩13 剥離面は淡茶灰色を呈し、部分的に赤みを帯びる。原礫面はベージュ色を呈する。剥片3点を含み、総重量は9.16gである。

・硬質頁岩14 剥離面は淡茶灰色を呈する。それほど珪化度は高くない。また硬質頁岩13と類似している。剥片3点を含み、総重量は19.43gである。

・ホルンフェルス8 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色の点紋が無数に入る。剥片1点を含み、総重量は2.96gである。

・ホルンフェルス12 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入る。剥片3点を含み、総重量は4.50gである。

・ホルンフェルス14 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入る。原礫面は同様の色調で光沢を帯びる。頁岩12・ホルンフェルス12と区別することは困難である。剥片5点を含み、総重量は

38. 32 gである。

・ホルンフェルス15 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。小片であるがホルンフェルス12等との区別は難しい。剥片1点を含み、総重量は0.09 gである。

・ホルンフェルス16 剥離面は淡青灰色の地に、淡明灰色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は12.02 gである。

・チャート6 剥離面は淡青灰色の地に、青灰色の部分が斑状に入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数にみられ、剥離面よりもベージュがかかった色調である。剥片4点を含み、総重量は17.08 gである。

・チャート16 剥離面は青灰色の地に、暗青灰色の斑状の部分や乳白色の節理が入る。原礫面は同様の色調で光沢を帯びる。二次加工剥片1点を含み、総重量は22.33 gである。

・チャート17 剥離面は青灰色を呈し、乳白色の節理が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は6.75 gである。

・チャート18 剥離面は乳白色、淡青灰色、淡茶褐色の部分が微細に入り混じる玉髓である。原礫面は同様の色調で爪跡状のくぼみが疎らにみられる。剥片1点を含み、総重量は12.21 gである。

・チャート19 剥離面は淡青灰色の地に、青灰色や淡茶褐色、乳白色の部分が斑状に入る。剥片1点を含み、総重量は2.26 gである。

・玉髓1 剥離面は淡い鼈甲色を呈し、半透明で、原礫面は同様の色調で爪跡状のくぼみがみられる。剥片1点を含み、総重量は0.58 gである。

・玉髓9 剥離面は無色半透明の地に、淡黄褐色や鼈甲色、ベージュ色の部分が入る。原礫面は鼈甲色を呈する。剥片2点を含み、総重量は12.10 gである。

・玉髓10 剥離面は淡黄褐色半透明、鼈甲色半透明、黒色不透明の部分からなる。原礫面は剥離面と同様の色調で滑らかである。剥片1点を含み、総重量は6.16 gである。

3) 出土遺物(第59～62図, 図版13)

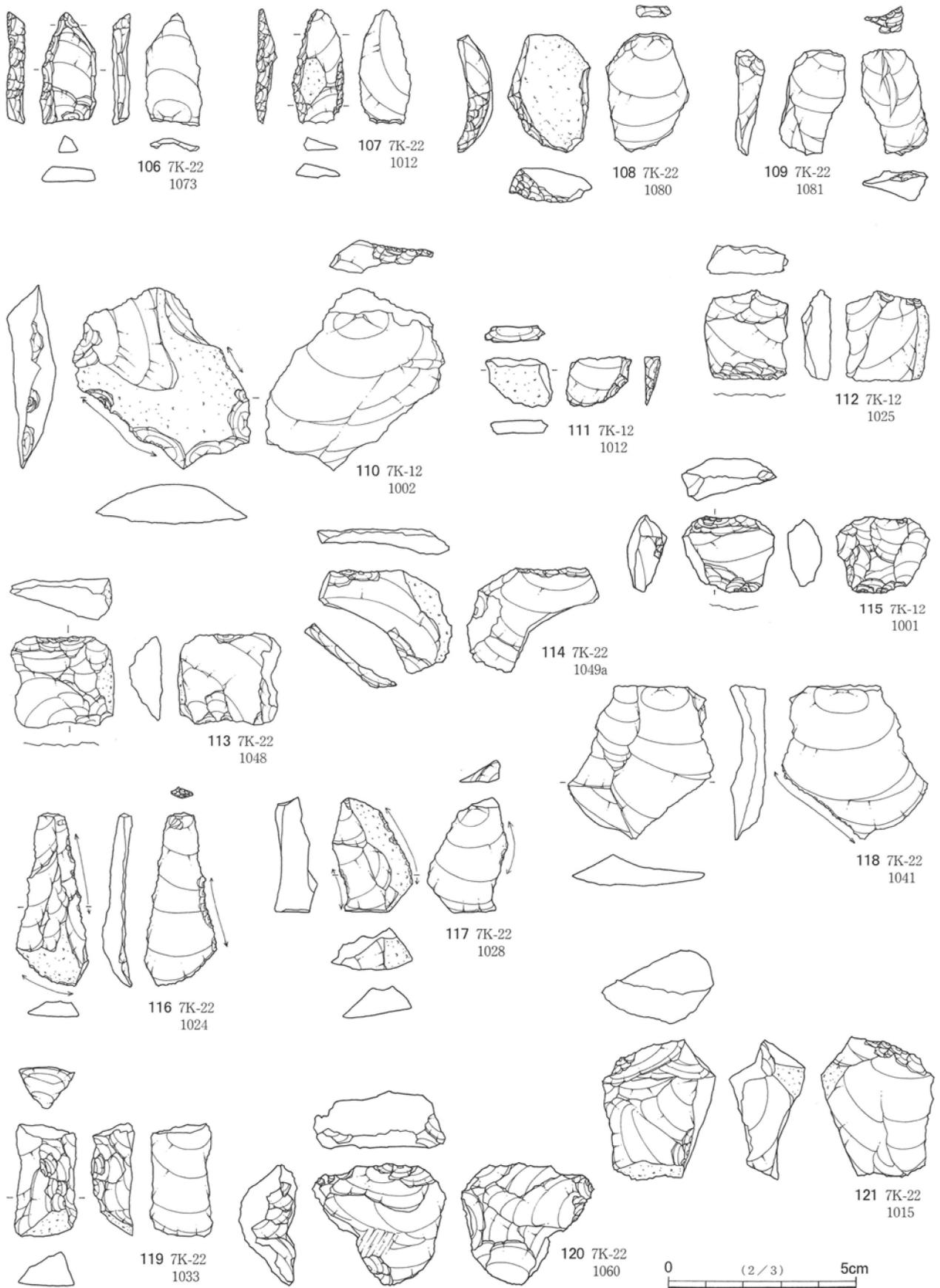
ナイフ形石器2点・二次加工剥片4点・楔形石器5点・剥片93点・石核5点・敲石1点・礫1点の計111点が出土した。

ナイフ形石器は2点(106・107)が出土している。106は黒色頁岩(頁岩11)製で、寸詰まりの縦長剥片を素材とする。素材剥片の打面を基部に設定し、左側縁の全体と右側縁の先端に腹面側からの急斜度の二次加工を加えている。107は頁岩13製で、幅広剥片を素材としている。素材剥片を横位に用いて、左側縁の全体と右側縁の一部に急斜度の二次加工を施している。二次加工によって素材剥片の頭部側は除去されている。

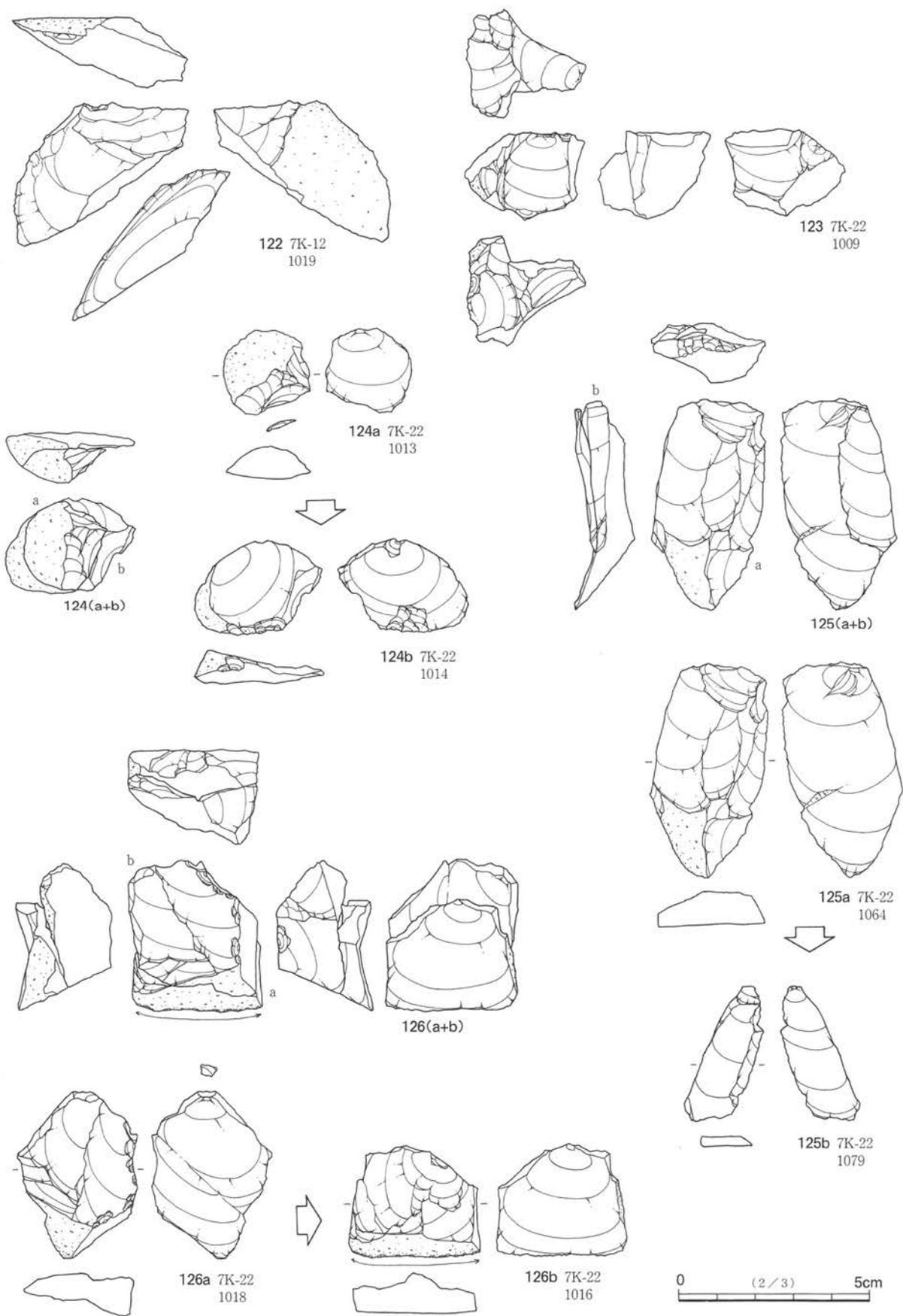
二次加工剥片は4点(108～111)が出土している。いずれも一般剥片を素材としている。石材は安山岩A1が1点(111)、黒色頁岩(頁岩9)が1点(109)、黒色頁岩(頁岩11)が1点(108)、チャート16が1点(110)である。

楔形石器は5点(112～115・124b)が出土している。石材は安山岩A1が4点(112～114・124b)、流紋岩11が1点(115)である。

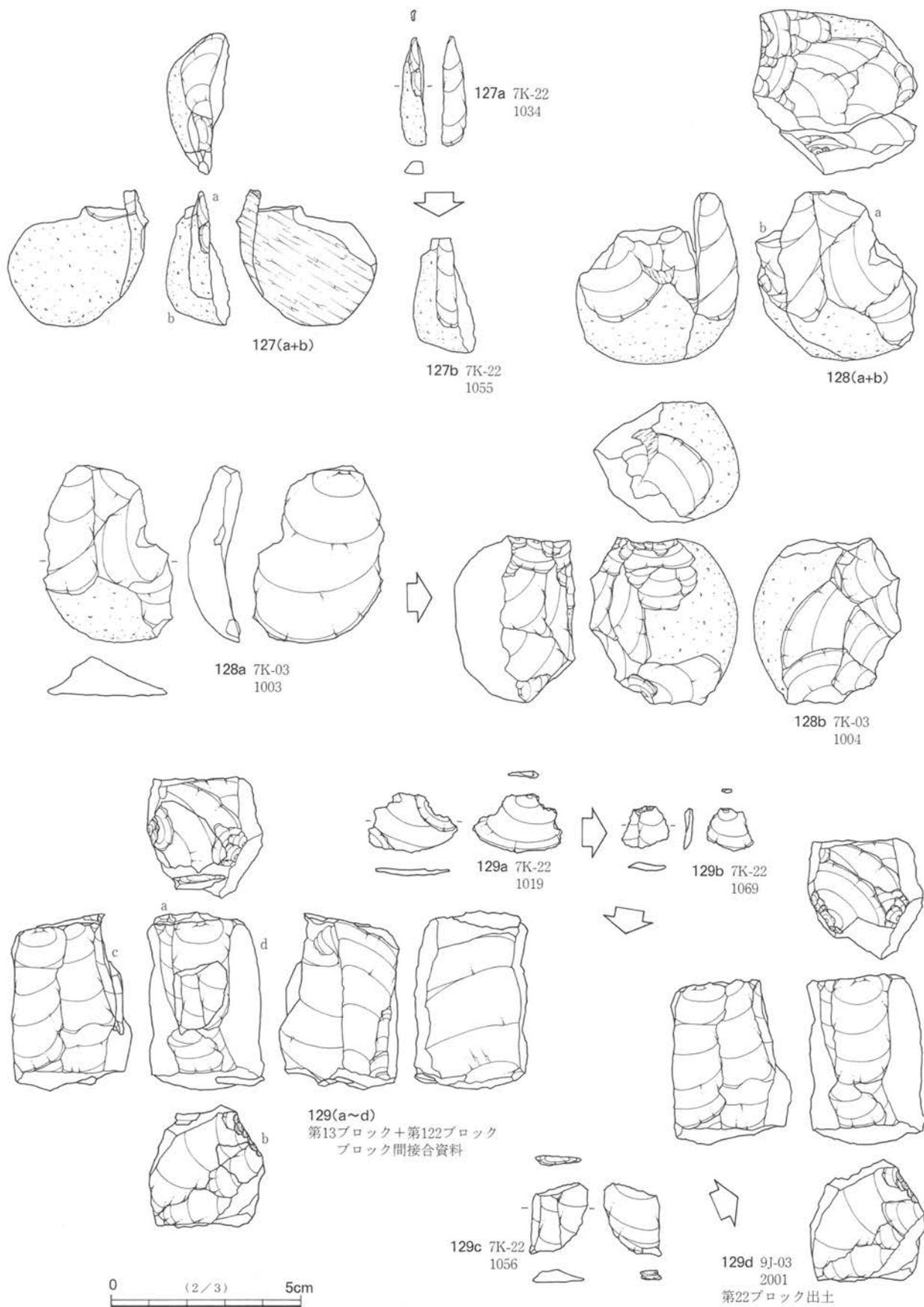
石核は5点(120・121・123・127b・128b)が出土している。分割礫を素材とするものは4点(120・121・123・127b)が出土している。残りの1点(128b)は礫から交互剥離によって剥片生産を行っており、チョッピング・ツール状の形態を呈する。石材は安山岩A1が3点(121・122・128b)、ホルンフェル



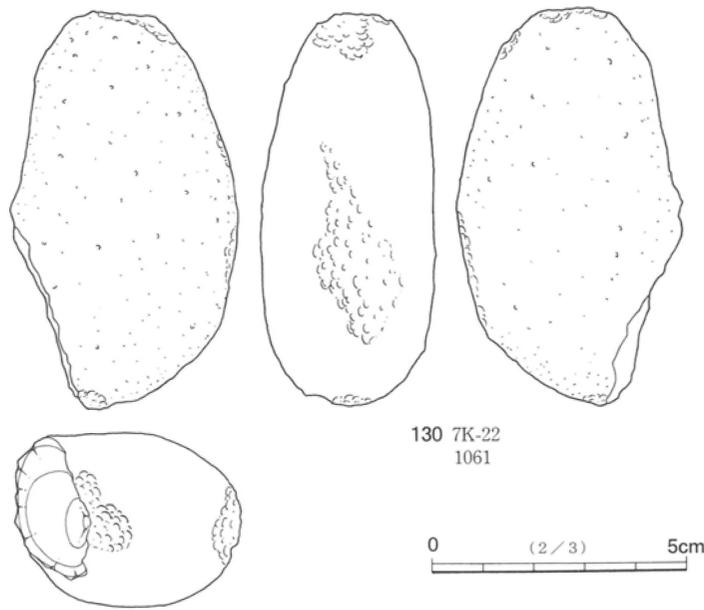
第59図 第13ブロック出土石器(1)



第60図 第13ブロック出土石器(2)



第61図 第13ブロック出土石器(3)



第62図 第13ブロック出土石器(4)

ス(頁岩12)が1点(127b), 珪質頁岩1が1点(123), 鉄石英(赤:硬質頁岩7)が1点(120)のである。

敲石(130)は安山岩C5製で, 礫の長軸の末端と, 周縁の一部に敲打痕がみられる。

本ブロックでは, 黒色緻密質安山岩の剥片が92点中39点と多くみられたが, 二次加工のある石器は1点と少ない。一方で黒色頁岩とホルンフェルス製のナイフ形石器が1点ずつ出土しており, いずれも一般剥片を素材としている。本ブロックから出土した頁岩11製の剥片3点と, 第22ブロックから出土した石核1点が接合している(接合資料66)。第22ブロックから出土した石核の出土位置が不明であるが, 少なくとも約28m以上の距離を隔てて接合している。

第14ブロック (第63・64図, 第16・55表, 図版4)

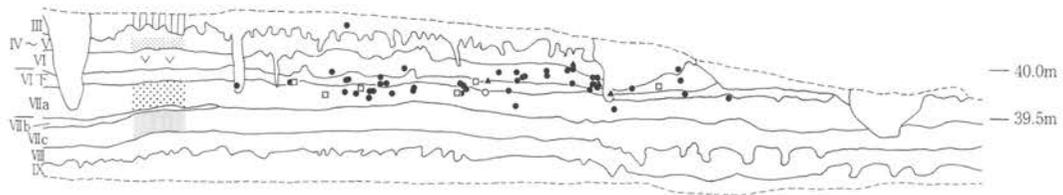
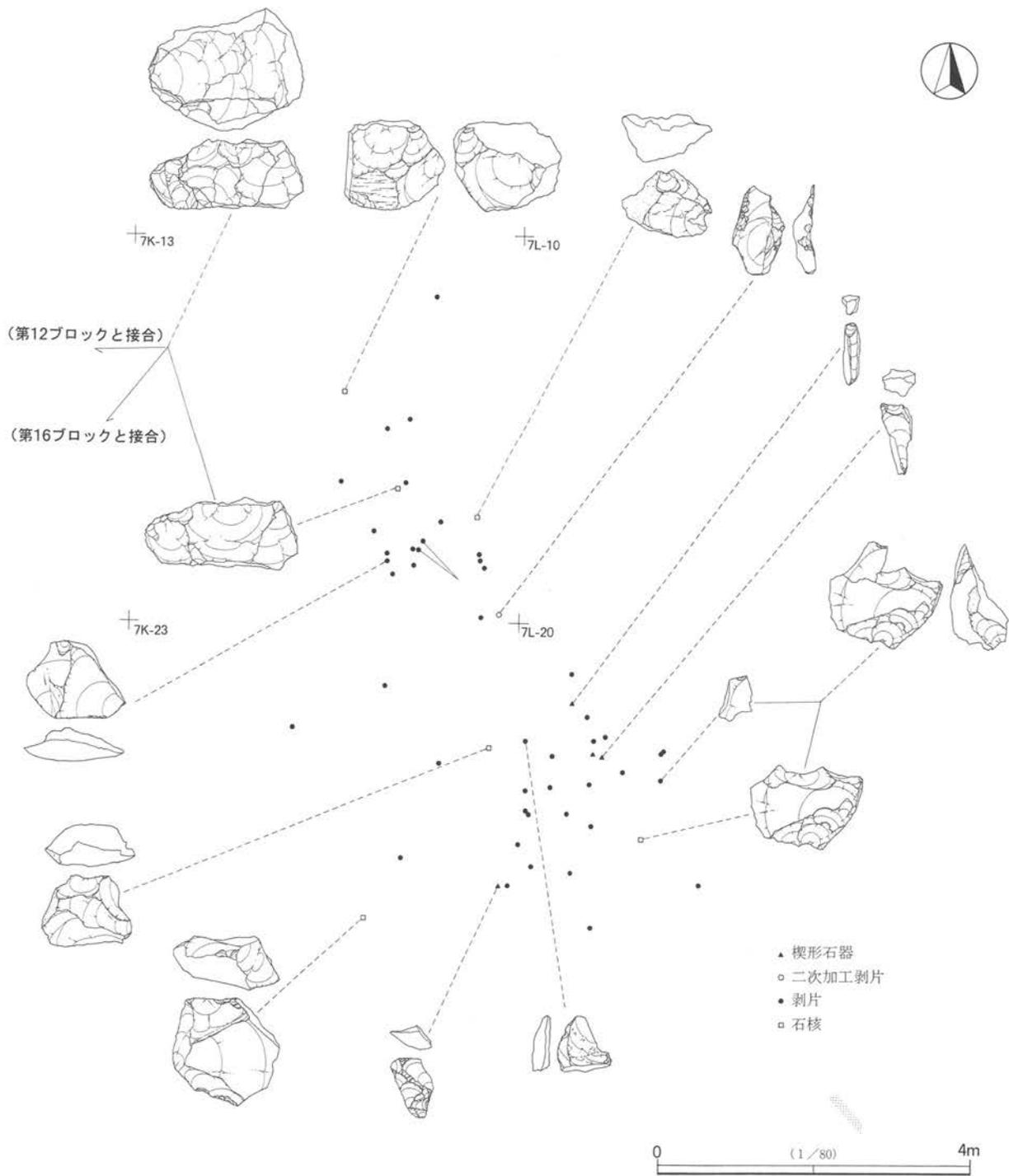
1) 概要

Ⅲ層からⅦa層(Ⅸa層)にかけて56点の遺物が出土し, Ⅵ層下部からⅦa層に特に集中して分布する。石器組成は, 二次加工剥片1点・楔形石器4点・剥片44点・石核6点・礫1点の計56点である。礫を除く石材組成は, 黒色緻密質安山岩25点(安山岩A16・A21・A24)・安山岩2点(安山岩B12)・黒曜石1点・珪質頁岩3点(珪質頁岩1・硬質頁岩7)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩6)・ホルンフェルス13点・チャート6点・玉髓4点の計55点である。本ブロックでは, 一般剥片生産が行われており, 母岩あたりの剥片数は少ない。他のブロックとの関係では, 第12ブロック出土の剥片1点と, 本ブロック出土の石核1点と, 第16ブロック出土の剥片1点が接合関係をもつ。

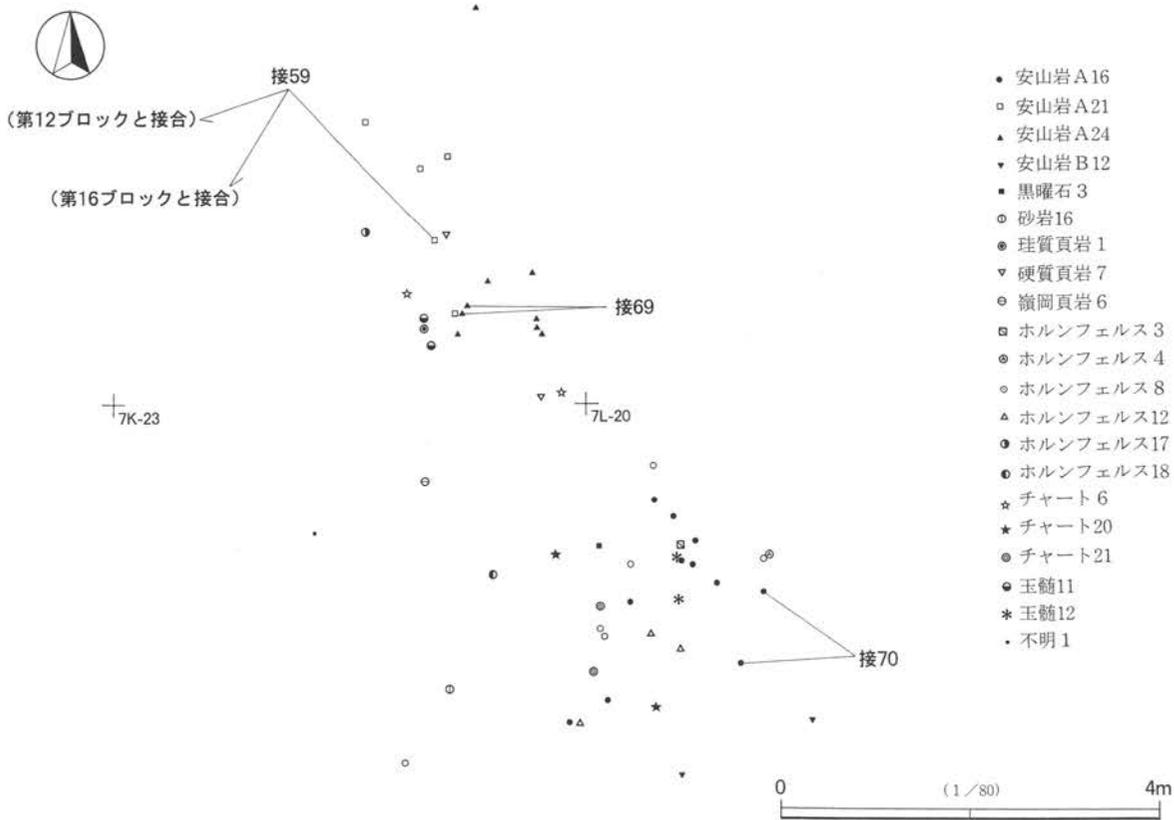
2) 母岩別資料

・安山岩A16 剥離面は淡灰色を呈し, 斑状に淡青灰色の部分が入る黒色緻密質安山岩である。また0.5mm~3.0mmの黒色とベージュ色の斑晶が入る。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。第9ブロックの安山岩A16とは入る斑晶が異なる。楔形石器4点・剥片6点・石核1点を含み, 総重量は63.70gである。

・安山岩A21 剥離面は淡灰色を呈し, 青灰色の部分が一部にみられる黒色緻密質安山岩である。径



第63図 第14ブロック石器別分布図



第64図 第14ブロック母岩別分布図

0.5mm～5.0mmの黒色とベージュ色の斑晶が入る。また色調の濃淡が互層状にみられる。原礫面には、爪跡状のくぼみが無数に入る。斑晶の種類が第12ブロックの安山岩A21とは異なる。剥片3点・石核2点を含み、総重量は282.41gである。

・安山岩A24 剥離面は淡灰色を呈し、径1.0mm～2.5mmのベージュ色の斑晶が入る黒色緻密質安山岩である。原礫面は爪跡状のくぼみがほとんどみられない。本母岩のうち斑晶が顕著なものと、そうでないもの(7K-13-3・7・20)がある。剥片8点・石核1点を含み、総重量は68.44gである。

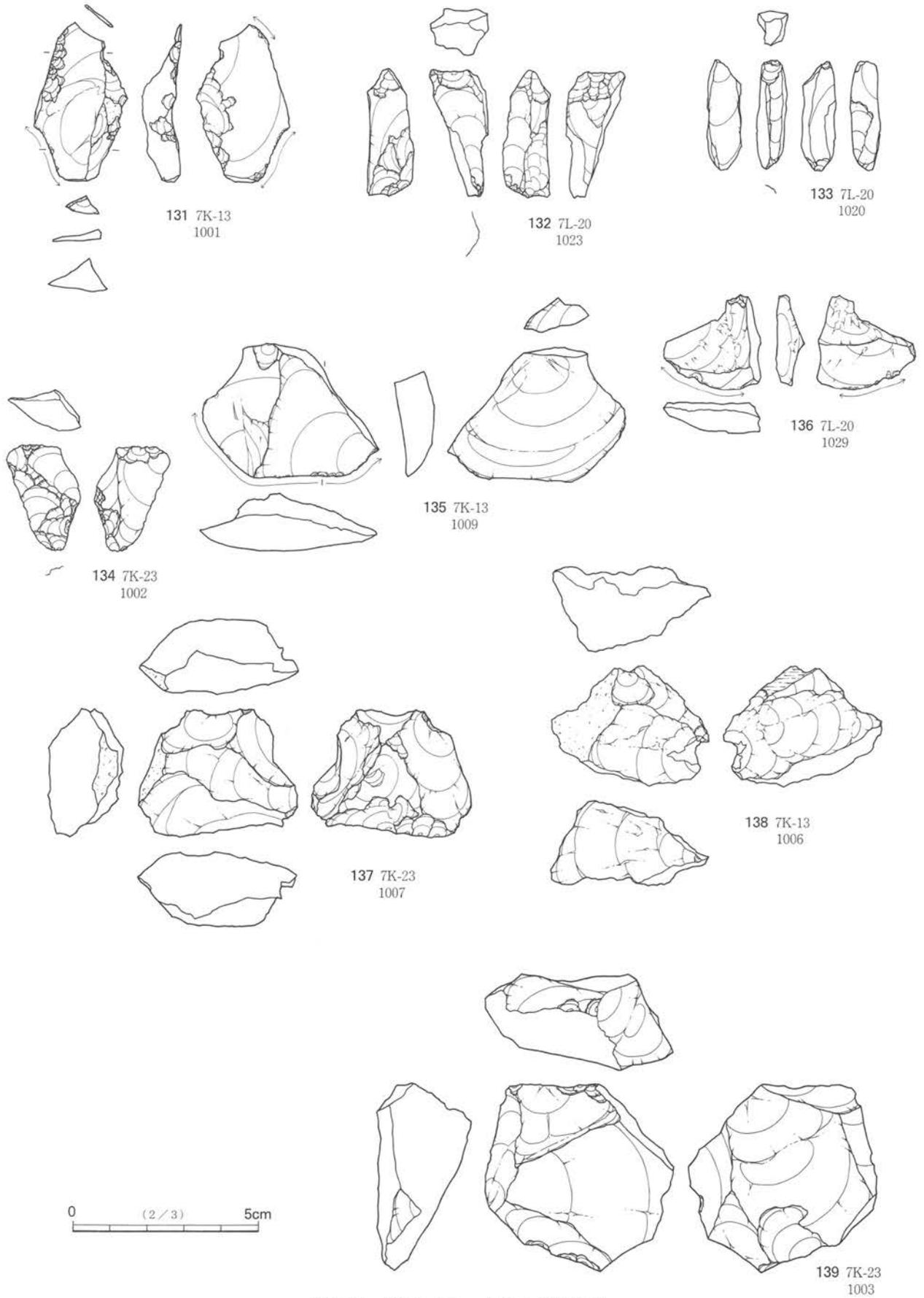
・安山岩B12 淡青灰色を呈し、径1.0mm程度のベージュ色の斑晶が入る。剥片2点を含み、総重量は0.34gである。いずれも小片で風化が進んでおり、積極的に石器と評価できるかは問題を残す。

・黒曜石3 灰色半透明で、径0.5mm～2.5mmの白色の斑晶を含む。剥片1点を含み、総重量は3.27gである。

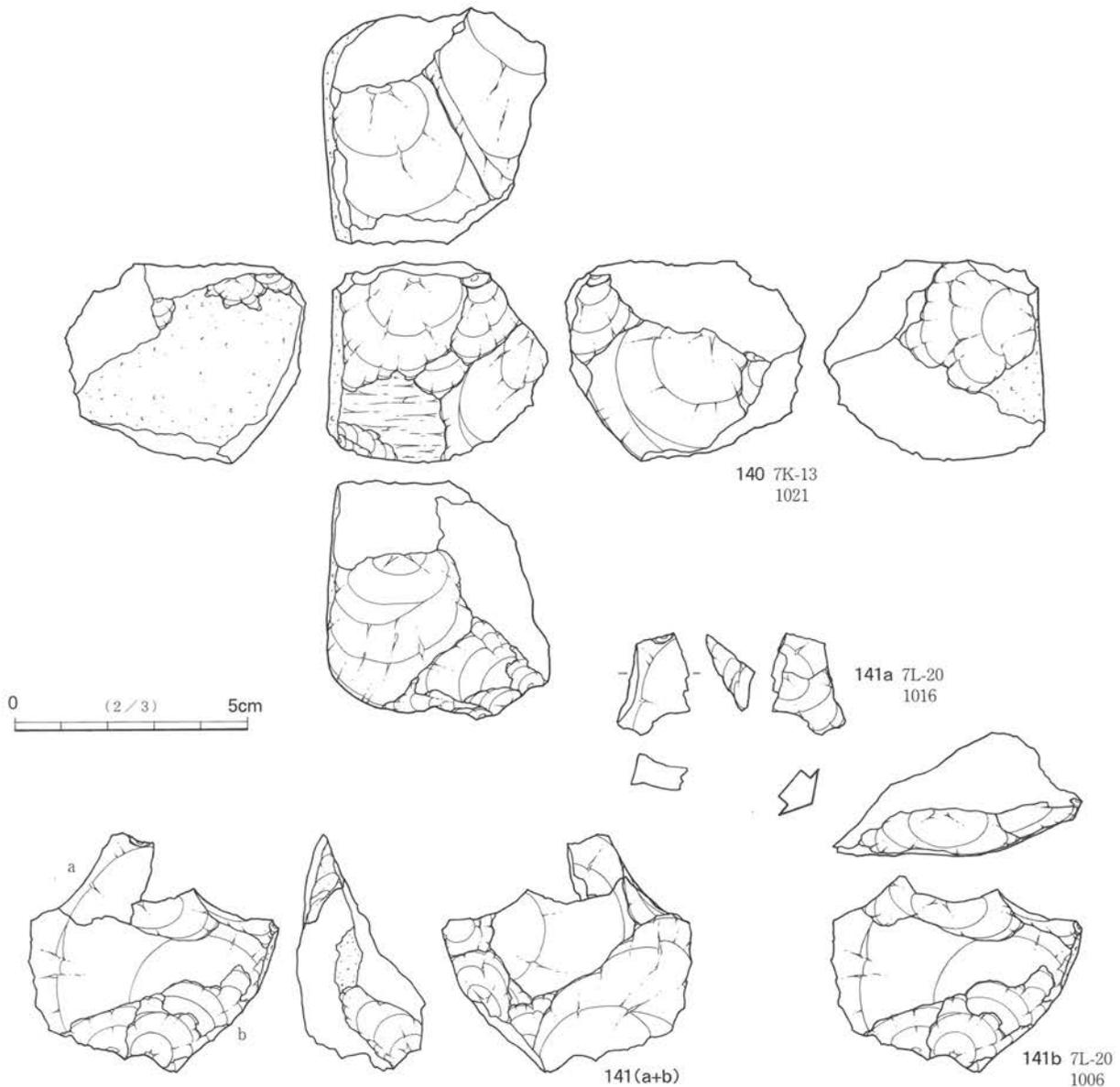
・珪質頁岩1 剥離面は原礫面に近いほうから、淡緑灰色・青灰色・淡灰茶色の部分が層をなす。原礫面は青灰色を呈し、爪跡状のくぼみがわずかにみられる。第7・第13ブロックの珪質頁岩1と近い石材であるが、厳密には一致しない。剥片1点を含み、総重量は19.52gである。

・硬質頁岩7 剥離面は焦茶色を呈し、青灰色の部分が縞状に入る。第9・第13ブロックの硬質頁岩7は鉄石英(赤)であり、石材が異なる。剥片2点を含み、総重量は8.16gである。

・嶺岡頁岩6 剥離面は淡青灰色を呈し、暗乳白色の珪化度の高い部分が粒状に入る白滝頁岩である。原礫面は黄褐色を呈する。第12ブロックの嶺岡頁岩6は、八丁層ノジュールで石材が異なる。剥片1点を含み、総重量は12.86gである。



第65図 第14ブロック出土石器(1)



第66図 第14ブロック出土石器(2)

- ・ホルンフェルス 3 剥離面はベージュ色の地に、淡黄褐色の点紋が無数に入る。風化の弱い部分は青灰色を呈し、ベージュ色の部分に網状に入る。剥片1点を含み、総重量は2.37gである。
- ・ホルンフェルス 4 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は3.33gである。
- ・ホルンフェルス 8 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色から淡黄褐色の点紋が無数に入る。剥片5点・石核1点を含み、総重量は61.57gである。
- ・ホルンフェルス12 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片3点を含み、総重量は4.33gである。
- ・ホルンフェルス17 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の部分が縞状に入る。原礫面は青灰色を呈し、光沢を帯びる。剥片1点を含み、総重量は56.53gである。
- ・ホルンフェルス18 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が入る。剥片1点を含み、総重量は2.63g

である。

・チャート6 剥離面は青灰色を呈し、暗青灰色の部分や茶褐色の節理が入る。原礫面は剥離面と同様の色調で、つぶれが疎らにみられる。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は10.24gである。

・チャート20 剥離面は青灰色の地に、乳白色で珩質の節理が入る。原礫面は剥離面よりも白みがかかった色調で、爪跡状のくぼみが疎らに入る。剥片1点・石核1点を含み、総重量は32.41gである。

・チャート21 剥離面は青灰色の地に、乳白色で珩質の節理が入る。チャート20に酷似する。剥片2点を含み、総重量は3.24gである。

・玉髓11 剥離面はベージュ色不透明の部分をもとして、無色半透明、乳白色の部分が入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみがみられる。剥片2点を含み、総重量は19.76gである。

・玉髓12 剥離面は淡黄褐色半透明を呈し、原礫面は剥離面と同様の色調でつぶれがみられる。剥片2点を含み、総重量は2.02gである。

3) 出土遺物 (第65・66図, 図版14)

二次加工剥片1点・楔形石器4点・剥片44点・石核6点・礫1点の計56点が出土している。

二次加工剥片(131)はチャート6製で、幅広剥片を素材としている。

楔形石器は4点(132~134)が出土している。石材は4点とも安山岩A16製である。

石核は6点(105c・137~140・141b)が出土している。分割礫から一般剥片を生産するもの(137・138・140・141b)、求心状に剥片生産を行うもの(139)、分厚い石核から打面を入れ替えながら一般剥片を生産するもの(105c)がみられる。

本ブロックでの剥片剥離作業は一般剥片を生産するもので、母岩あたりの剥片の数は多くない。また第12ブロックで述べたように、第12ブロック出土の剥片1点(105a)と、本ブロック出土の石核1点(105c)と、第16ブロック出土の剥片1点(105b)とが接合関係をもつ(接合資料59)。

第15ブロック (第67・68図, 第17・56表)

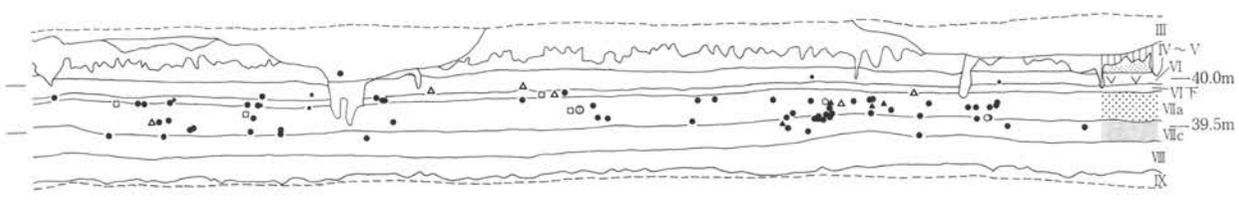
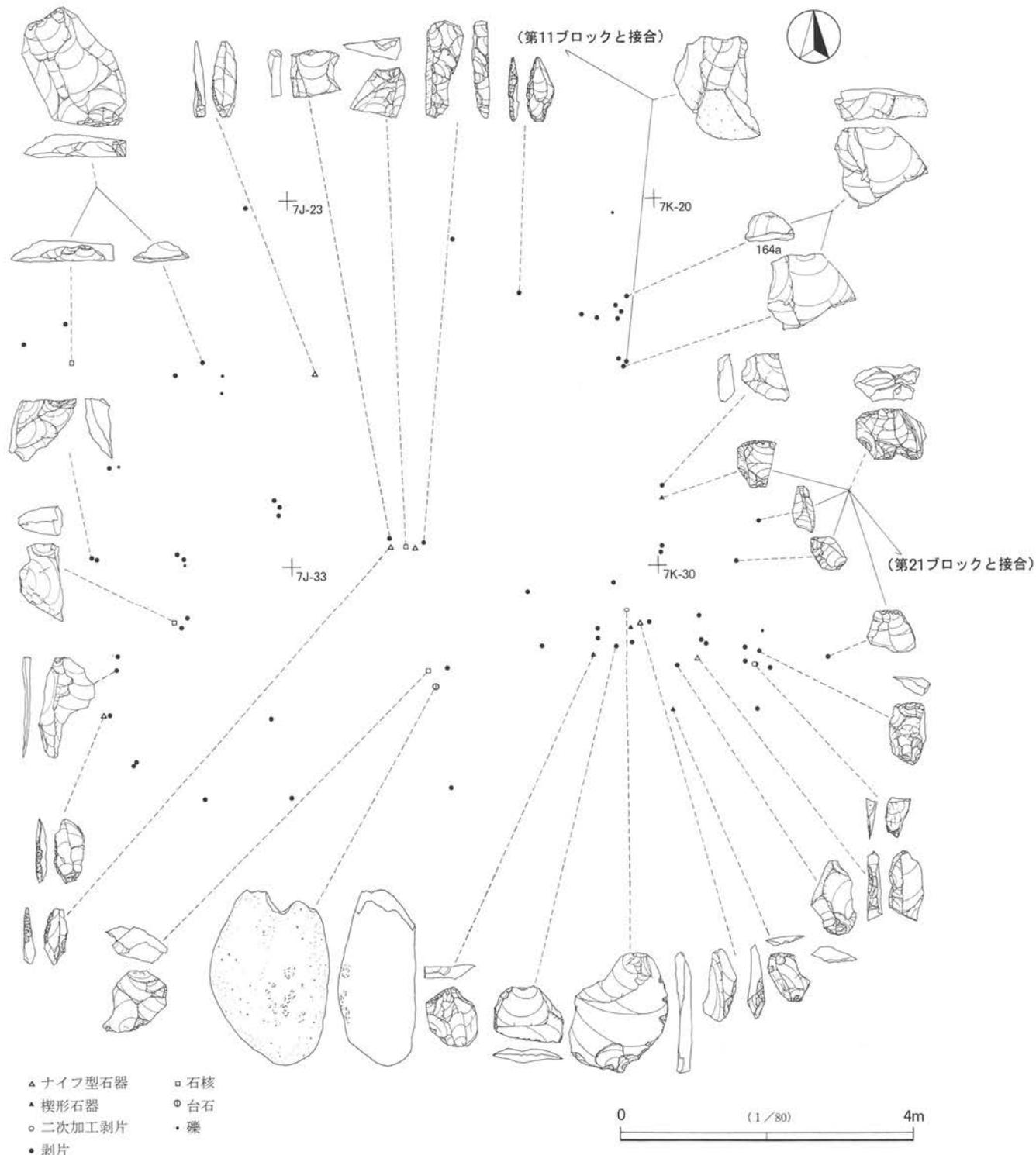
1) 概要

IV・V層からVIIc層(IXc層)にかけて85点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、ナイフ形石器6点・二次加工剥片2点・楔形石器7点・剥片58点・石核4点・台石1点・礫7点の計85点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩24点(安山岩A1・A3・A11・A20)・トロトロ石9点(安山岩B1)・流紋岩1点・黒曜石2点・黒色頁岩2点(頁岩19)・ホルンフェルス10点(頁岩20, ホルンフェルス2・8・19・20)・頁岩1点(頁岩21)・珩質頁岩20点(珩質頁岩11・21, 硬質頁岩3・8・15~18・20)・寺島累層上部ノジュール1点(硬質頁岩19)・チャート3点(珩質頁岩20, チャート6)・凝灰岩1点(チャート22)・鉄石英(黄)1点(嶺岡頁岩7)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩8)・玉髓2点(玉髓13)の計78点である。本ブロックでは、一般剥片が主体的に出土しているが、ナイフ形石器や稜付きの石刃が含まれる。また第12ブロック出土の剥片1点と、本ブロック出土の剥片1点が、折れ面で接合した。

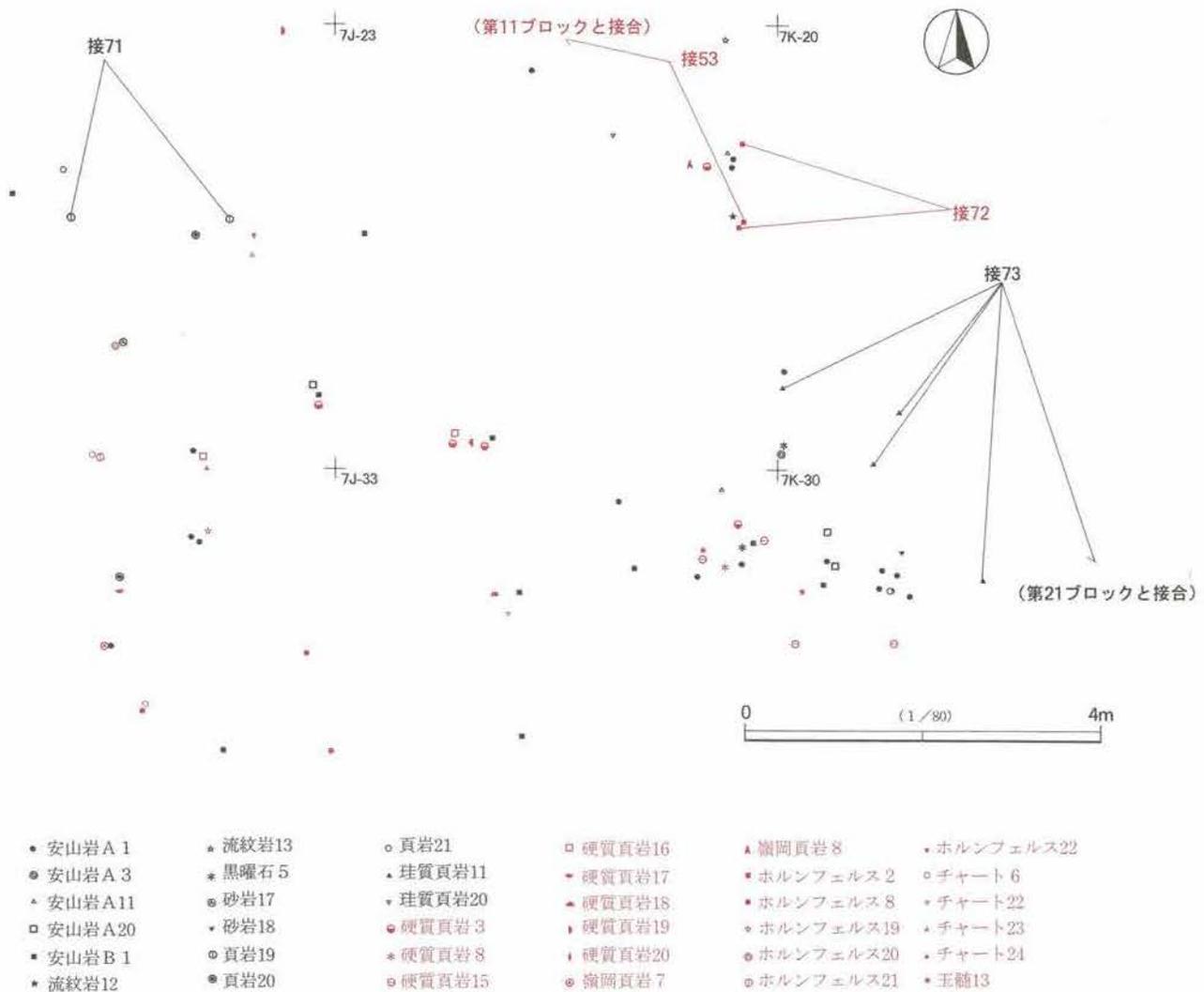
2) 母岩別資料

・安山岩A1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には微細な爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器2点・剥片15点・石核1点を含み、総重量は94.11gである。

・安山岩A3 剥離面が淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の



第67図 第15ブロック石器別分布図



第68図 第15ブロック母岩別分布図

斑晶が疎らに入る。原礫面には爪跡状のくぼみが疎らにみられる。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は9.22gである。

・安山岩A11 剥離面が淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。剥片2点を含み、総重量は3.18gである。

・安山岩A20 淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色や黒色の斑晶が疎らに入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片3点を含み、総重量は8.82gである。

・安山岩B1 剥離面は淡明灰色を呈し、原礫面は茶褐色を呈する。トロトロ石と俗称される。ナイフ形石器3点・剥片6点を含み、総重量は29.74gである。

・流紋岩12 剥離面は青灰色から青黒色を呈し、ベージュ色の斑晶が入る。剥片1点を含み、総重量は25.86gである。

・黒曜石5 剥離面は無色透明の地に、漆黒から明灰色の不透明の部分が縞状に入る。肉眼観察では小深沢産と思われる。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は1.41gである。

- ・頁岩19 剥離面はベージュ色を呈し、部分によっては青灰色となる黒色頁岩である。剥片1点・石核1点を含み、総重量は42.90gである。
- ・頁岩20 剥離面は淡青灰色を呈し、やや強く風化している。ホルンフェルス20に酷似しており、同一母岩であると思われる。剥片2点を含み、総重量は7.48gである。
- ・頁岩21 剥離面は淡緑灰色を呈し、ベージュ色の微細な粒子が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。風化してベージュ色や青灰色となる典型的な黒色頁岩とは若干異なるため、単に頁岩としておく。剥片1点を含み、総重量は8.09gである。
- ・珪質頁岩11 剥離面は青灰色を呈し、原礫面は緑茶色から淡茶褐色を呈する。第9ブロックの珪質頁岩11ほど珪化度が高くなく、黒色珪質頁岩ではない。楔形石器2点・剥片2点を含み、総重量は11.21gである。
- ・珪質頁岩20 剥離面は淡青灰色を呈し、原礫面は淡茶褐色を呈するチャートである。剥片1点を含み、総重量は1.39gである。
- ・珪質頁岩21 剥離面は青灰色を呈し、原礫面は暗黄土色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は0.93gである。
- ・硬質頁岩3 剥離面は淡茶灰色から淡緑灰色を呈し、複数の母岩が含まれる可能性がある。7J-33-1の原礫面は淡茶褐色を呈する。ナイフ形石器2点・二次加工剥片1点・剥片2点を含み、総重量は28.85gである。
- ・硬質頁岩8 剥離面は黄色がかった淡灰色を呈し、部分によって赤褐色がかかる。原礫面は赤褐色がかった淡灰色を呈する。ブロック10の硬質頁岩8とは別母岩であると思われる。剥片1点を含み、総重量は4.55gである。
- ・硬質頁岩15 剥離面は青灰色を呈し、原礫面に近い部分は淡青灰色を呈する。原礫面は黄褐色から青灰色を呈し、光沢を帯びる。また爪跡状のくぼみがみられる。楔形石器1点・剥片3点を含み、総重量は12.61gである。
- ・硬質頁岩16 剥片2点が含まれるが、色調が異なり接合関係もないことから、同一母岩とは断定できない。剥片7J-22-16は剥離面が淡茶灰色を呈し、原礫面に近い部分は淡黄褐色を呈する。原礫面は黄褐色から淡青緑色を呈する。重量は7.26gである。剥片7J-23-17は剥離面が緑がかった淡青灰色を呈する。重量は3.83gである。
- ・硬質頁岩17 剥離面は焦茶色を呈し、青灰色の節理と淡茶灰色の粒状の部分が入る。新潟県北部の天満層に類似した石材が含まれる。剥片1点を含み、総重量は2.87gである。
- ・硬質頁岩18 剥離面は焦茶色を呈し、青灰色の粒状の部分が入る。新潟県北部の天満層に類似した石材が含まれる。石核1点を含み、総重量は12.31gである。
- ・硬質頁岩19 剥離面は緑茶色を呈し、部分的に淡暗青緑色を呈する。また淡茶褐色の多角形状の部分が斑状に入ることから、栃木県で産出する寺島累層上部ノジュールと思われる。剥片1点を含み、総重量は7.62gである。
- ・硬質頁岩20 剥離面は黄褐色がかった淡灰色の部分と、茶褐色がかった淡青灰色の部分からなる。珪化度は低く、頁岩に分類される。石核1点を含み、総重量は6.08gである。
- ・嶺岡頁岩7 剥離面は黄褐色と暗黄褐色の部分が、互層を呈する鉄石英(黄)である。ナイフ形石器1点

を含み、総重量は2.74 gである。

・嶺岡頁岩8 剥離面は淡青灰色の地に、暗乳白色の珪化度の高い部分が入る白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は6.21 gである。

・ホルンフェルス2 青灰色の地に、淡青灰色の点紋が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片3点を含み、総重量は35.61 gである。

・ホルンフェルス8 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色から淡黄褐色の点紋が無数に入る。原礫面は剥離面と同様の色調で、滑らかな質感である。剥片3点を含み、総重量は9.02 gである。

・ホルンフェルス19 剥離面は青灰色を呈し、部分的に赤褐色を帯びる。原礫面は剥離面と同様の色調で光沢を帯びており、黄褐色の微細な点紋が無数に入る。剥片1点を含み、総重量は24.84 gである。

・ホルンフェルス20 剥離面は淡青灰色を呈し、やや強く風化している。ガジリ面は青黒色を呈する。頁岩20は本母岩と同一母岩のホルンフェルスであると思われる。剥片1点を含み、総重量は3.15 gである。

・チャート6 剥離面は青灰色を呈し、暗青灰色の部分や茶褐色の節理が入る。剥片2点を含み、総重量は10.83 gである。

・チャート22 剥離面は青灰色を呈する凝灰岩である。原礫面は青黒色を呈し、部分的に淡青灰色を呈する。また青黒色の節理が入る。台石1点を含み、総重量は262.92 gである。

・玉髓13 剥離面は黄褐色半透明の地に、ベージュ色半透明の部分が入る。原礫面は鼈甲色半透明で、黒色不透明の部分が入る。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は6.25 gである。

3) 出土遺物 (第69～72図, 図版14・15)

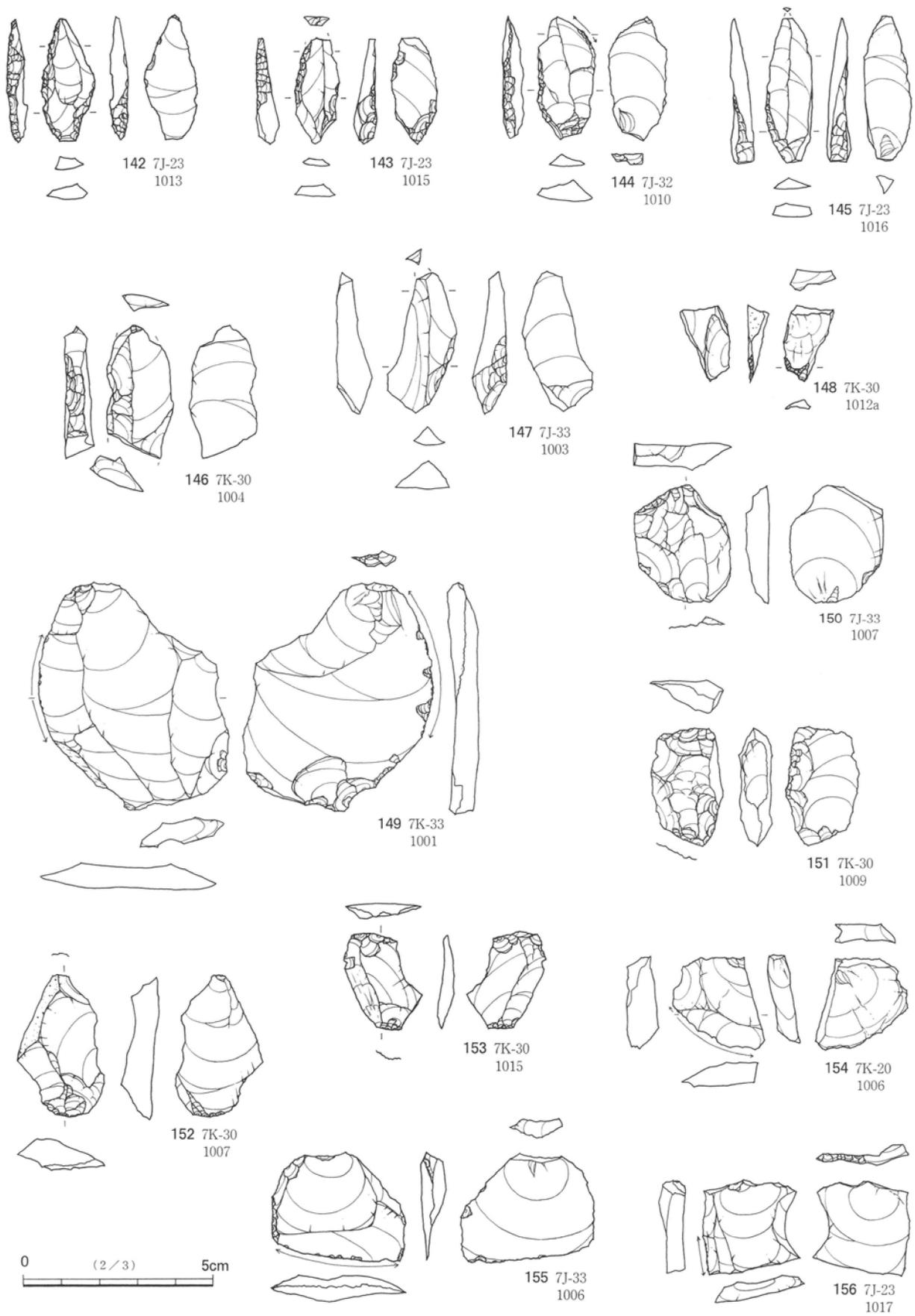
ナイフ形石器6点・二次加工剥片2点・楔形石器7点・剥片58点・石核4点・台石1点・礫7点の計85点が出土した。

ナイフ形石器は6点が出土した。二側縁加工のものが2点、一側縁加工のものが2点、基部加工のものが2点出土した。

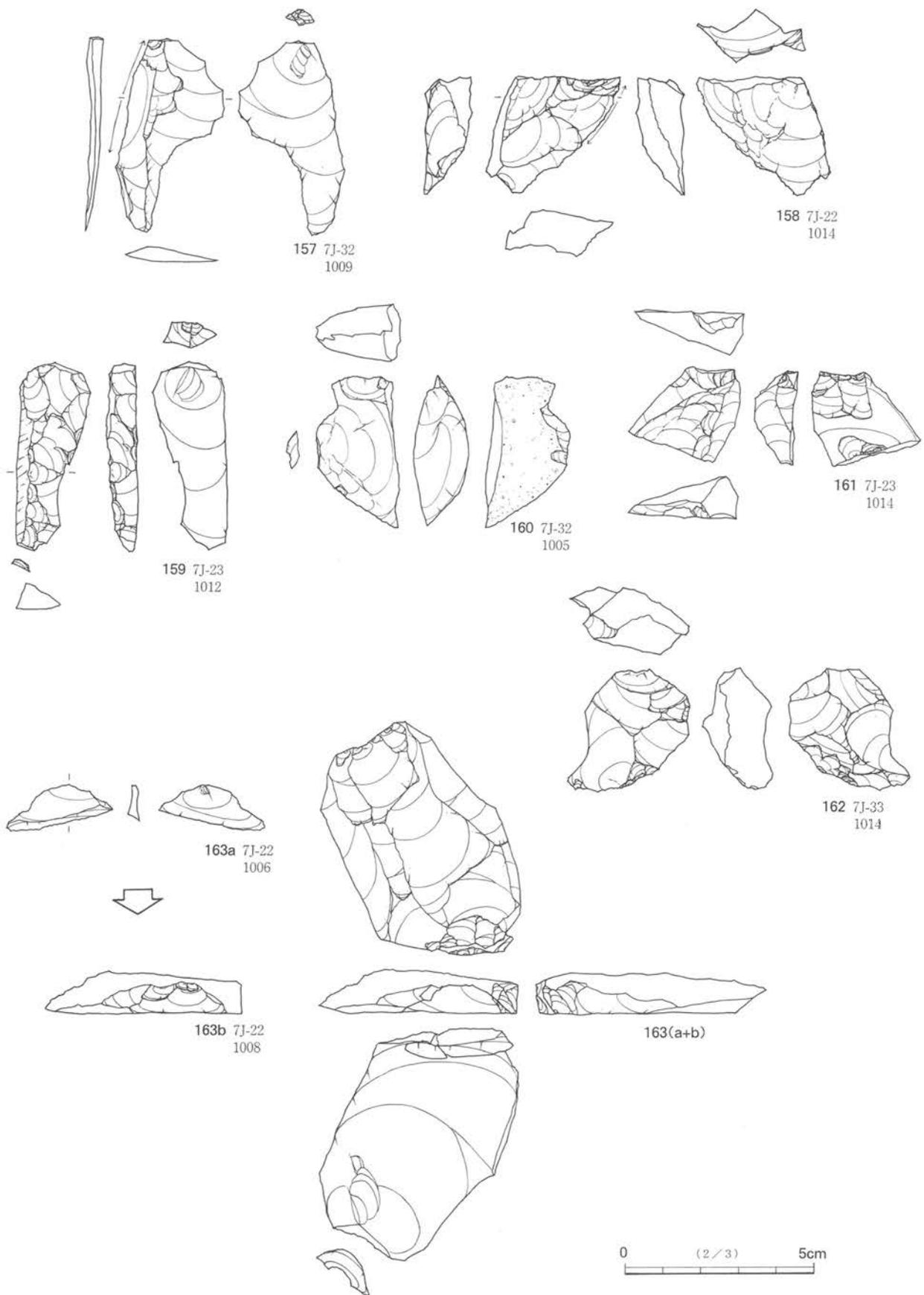
二側縁加工のうち142は硬質頁岩3製である。単設打面の縦長剥片を素材とし、素材剥片の末端を基部に設定している。左側縁は全体に、右側縁は基部に二次加工が施されている。未加工の部分の腹面側には微細剥離痕がみられる。143は硬質頁岩3製である。実測図では単設打面の縦長剥片が素材であると考えられているが、主要剥離面のリングは器体左下から器体右上に向かってしていると観察でき、両設打面の縦長剥片を素材としていていると考えられる。素材剥片の最大厚が器体の下部にあり、先端に向かって厚さを減じること、器体先端の欠損を考量しても、素材剥片の打面を除去するほどの大幅な二次加工がみられないことも傍証となる。左側縁は全体に、右側縁は基部のみに二次加工がみられる。右側縁は急斜度の二次加工のみを施しているのに対し、左側縁は基部のみが裏面平坦加工で、残りの側縁は急斜度加工となっている。

一側縁加工のものは安山岩B 1製のもの(146)と、鉄石英(黄:嶺岡頁岩7)製のもの(144)がみられる。146は、両設打面の縦長剥片を素材とし、両端を欠損している。左側縁に急斜度の二次加工を腹面側から加えているが、ノッチ状にくびれる部分がみられ、ノッチドスクレイパーである可能性もある。144は寸詰まりの縦長剥片を素材とし、素材剥片の打点側を基部に設定している。左側縁の全体に急斜度の腹面側からの二次加工が施されている。また右側縁の背面側に平坦加工が施されている。右側縁の先端には微細剥離痕がみられる。

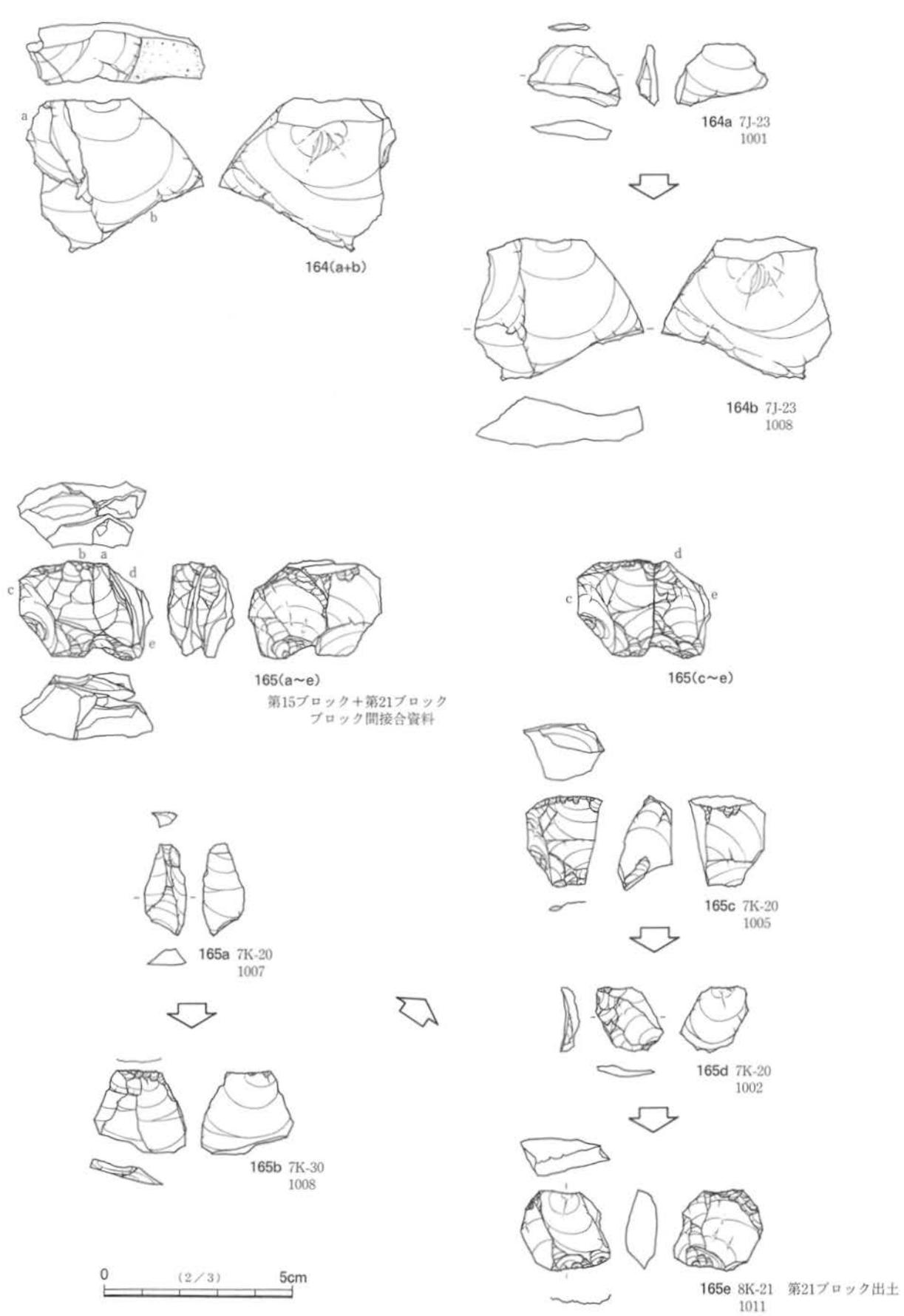
基部加工のものは2点(145・147)とも安山岩B 1製である。145は柳葉形の石刃の打点側を基部に設定



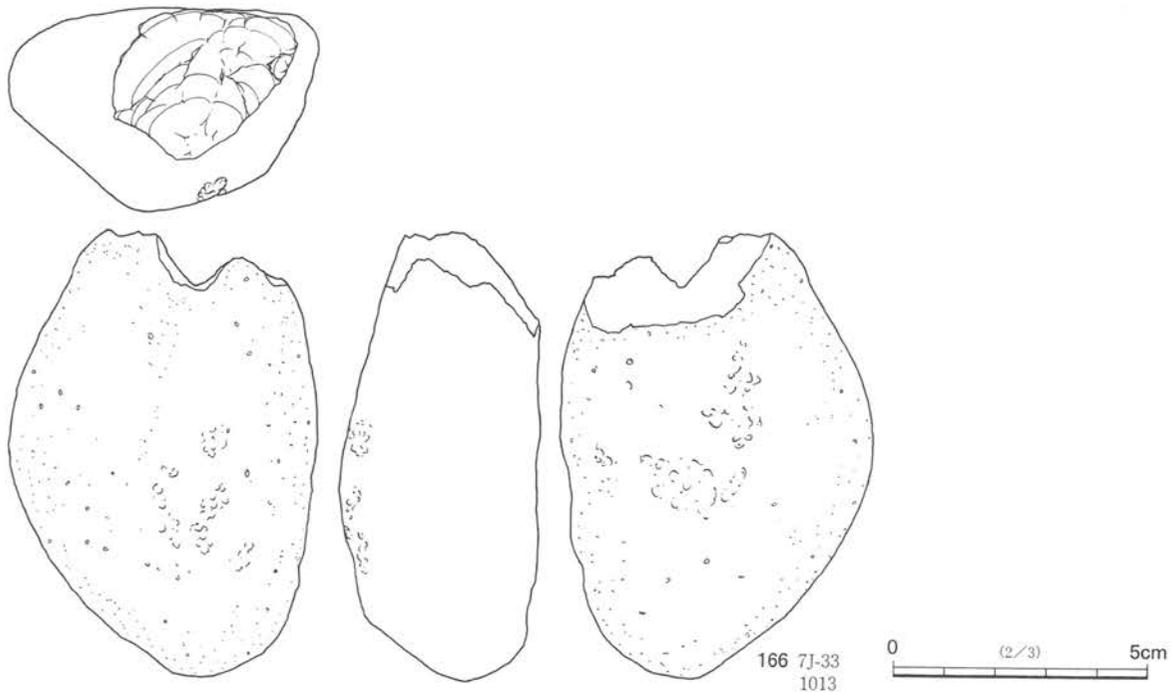
第69図 第15ブロック出土石器(1)



第70図 第15ブロック出土石器(2)



第71図 第15ブロック出土石器(3)



第72図 第15ブロック出土石器(4)

し、両側縁の基部のみに腹面側から急斜度の加工を加えている。風化の著しい石材で観察は困難だが、背面は器体の先端から基部に向けた剥離面構成をしているように思われ、その場合は両設打面から剥離された石刃を素材としているといえる。147は背面にポジ面のある剥片を素材としており、器体の右側縁の基部に腹面側からの急斜度の二次加工がみられる。

二次加工剥片は2点(148・149)が出土した。148は珪質頁岩21製である。器体が折損しており、本来の形状は不明である。素材の腹面側に平坦な二次加工が加えられている。器体末端の微細な剥離痕は二次加工であるかどうか断定はできない。149は硬質頁岩3製である。楕円形を呈する剥片の端部の裏面に、平坦な二次加工を施している。側縁にみられる剥離痕は微細で薄い剥離痕で占められる。

楔形石器は7点(150・151・152・153・165 b・165 c)が出土した。石材は、安山岩A 1が2点(150・151)、黒曜石5が1点、珪質頁岩11が2点(165 b・165 c)、硬質頁岩15(153)と玉髓13(152)が1点(152)である。

石核は4点が出土した。礫を分割し、一般剥片を生産するもの(160)、求心状に一般剥片を生産するもの(162)、剥片を素材として一般剥片を生産するもの(161・163 b)がみられる。石材は、安山岩A 1が1点(160)、黒色頁岩(頁岩19)が1点(163 b)、硬質頁岩18が1点(162)、頁岩(硬質頁岩20)が1点(161)である。

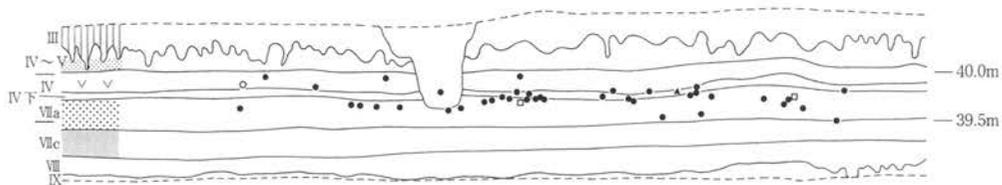
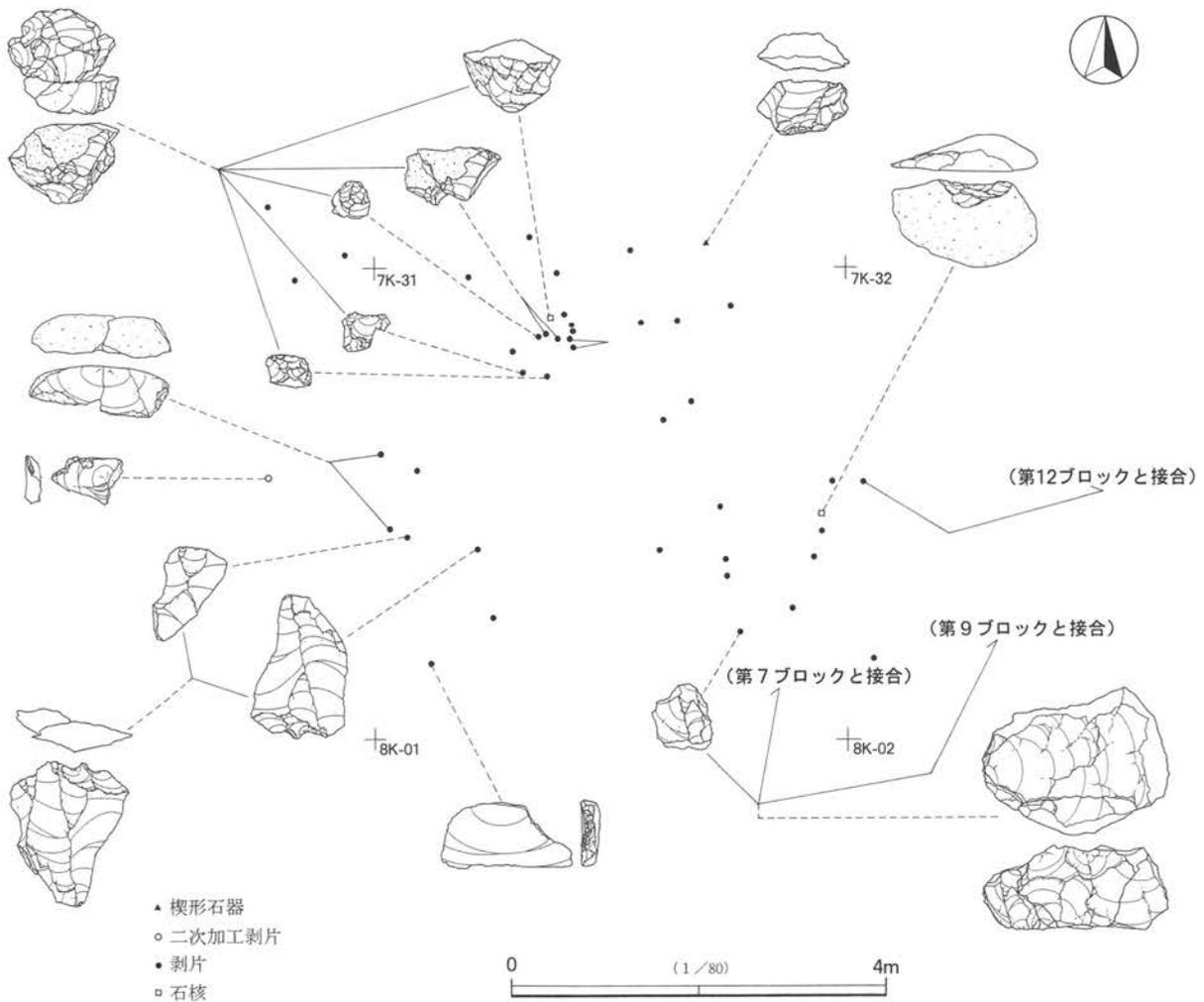
台石(166)は凝灰岩(チャート22)製で、被熱したためか全体に黒変している。器体の表面と裏面の中央につぶれがみられる。つぶれの部分の色調は淡青灰色を呈し、周辺の色調と異なることから被熱した後に、台石として使用されたものと思われる。

本ブロックから出土した石器は、一般剥片が多くを占めているが、ナイフ形石器の素材に加え、安山岩B 1製の稜付き石刃(159)が出土しており、石刃やナイフ形石器が搬入されたことがうかがえる。また第11ブロックで述べたように、第11ブロックから出土した剥片1点(98 b)と、本ブロックから出土した剥片1点(98 a)が、折れ面で接合している(接合資料53)。

第16ブロック (第73・74図, 第18・57表)

1) 概要

VI層からVII a層(IX a層)にかけて43点の遺物が出土し、VI下層からVII a層上部に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片39点・石核2点の計43点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩11点(安山岩A 1・A21)・トロトロ石1点(安山岩B 3)・珪質頁岩9点(頁岩22)・八丁層ノジュール4点(頁岩23, ホルンフェルス24)・緑色凝灰岩1点(珪質頁岩 2)・白滝頁岩5点(嶺岡頁岩 6・9, チャート26)・砂岩2点・ホルンフェルス3点(ホルンフェルス 3・23)・黒色珪質頁岩3点(チャート 17・27)・チャート2点(チャート25・28)・玉髓2点である。本ブロックでは、頁岩22の分割礫を用いた一般剥片生産が行われている。



第73図 第16ブロック石器別分布図

他のブロックとの関係では、第12ブロック出土の剥片1点と、第14ブロック出土の石核1点と、本ブロック出土の剥片1点を含む接合資料と、本ブロック出土のチャート25製の剥片1点と、第17ブロック出土の剥片3点を含む接合資料が確認された。

2) 母岩別資料

・安山岩 A 1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には微細な爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片10点を含み、総重量は44.09gである。

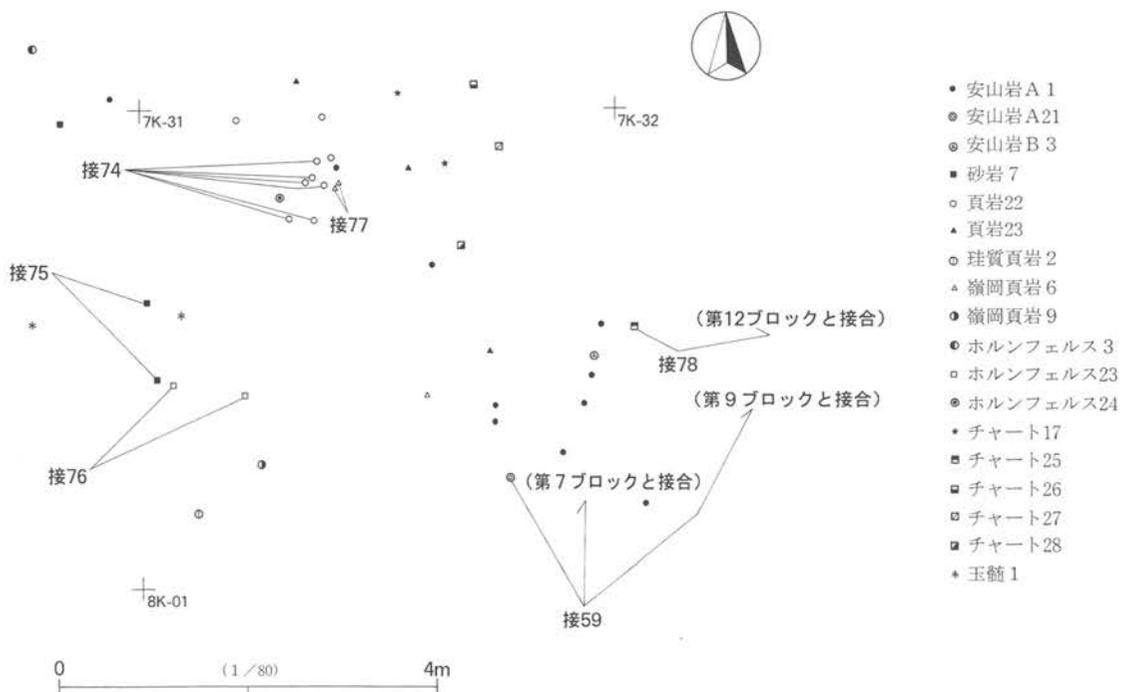
・安山岩 A21 剥離面は淡灰色を呈し、淡青灰色の部分が一部にみられる黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～5.0mmほどの黒色とベージュ色の斑晶が入り、色調の濃淡が互層状にみられる。第12ブロックの安山岩 A21とは入る斑晶が異なる。剥片1点を含み、総重量は6.32gである。

・安山岩 B 3 剥離面は淡明灰色で、径0.5mm～2.0mmのベージュ色の斑晶が入る。原礫面は黄褐色を呈する。トロトロ石と俗称される。石核1点を含み、総重量は28.42gである。

・頁岩22 剥離面は青灰色から淡青灰色を呈し、暗青灰色の粒状の部分が入る。被熱したためか表面は粗い質感となっている。表面の質感が粗く観察が困難であるが、粒状に色調の異なった部分が入ることを評価すれば、新潟県北部の天満層から産出する石材に類似するといえる。剥片8点・石核1点を含み、総重量は54.24gである。

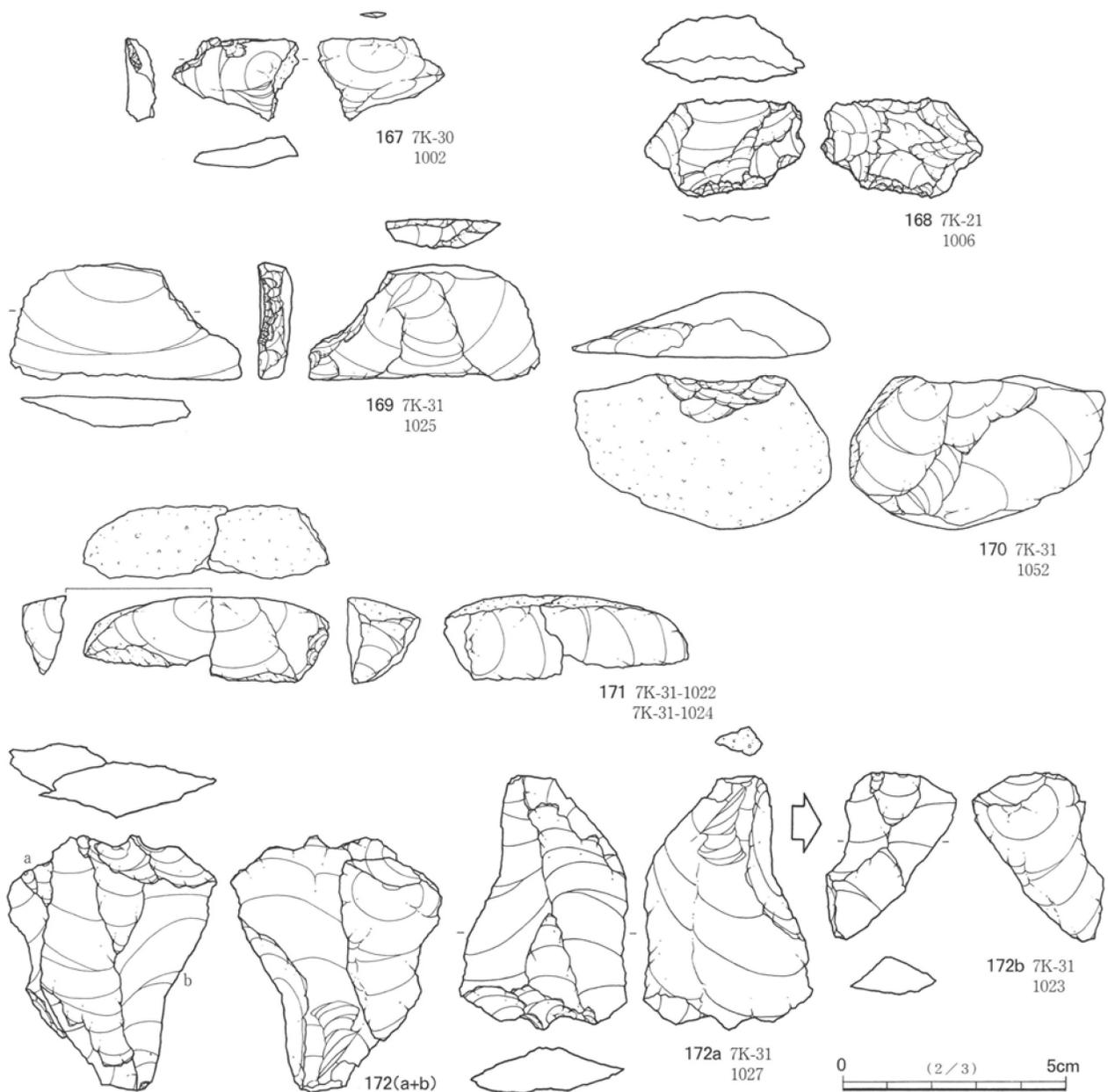
・頁岩23 剥離面はこげ灰色を呈する。原礫面も同様の色調である。ガジリ面は一般の石材のように新鮮な面が現れるのではなく、赤褐色に風化した部分が露出している。これらの特徴から房総半島南部の嶺岡産地に産出する八丁層ノジュールであるといえる。剥片3点を含み、総重量は7.04gである。

・珪質頁岩2 暗青緑色の地に、暗赤紫色の部分が斑状に入る緑色凝灰岩である。剥片1点を含み、総重量は9.41gである。



第74図 第16ブロック母岩別分布図

- ・嶺岡頁岩6 剥離面は緑灰色と淡青灰色の部分が入り混じった地に、暗乳白色の珪化度の高い部分が入る白滝頁岩である。剥片3点を含み、総重量は26.65gである。
- ・嶺岡頁岩9 剥離面は淡緑灰色と淡青灰色の部分からなり、暗乳白色の珪化度の高い部分が入る白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は2.77gである。
- ・砂岩7 淡青灰色、ベージュ色、石英質の粒子からなる。原礫面は光沢を帯び、滑らかな質感である。剥片2点を含み、総重量は18.32gである。
- ・ホルンフェルス3 剥離面はベージュ色の地に、淡黄褐色の点紋が無数に入る。風化の弱い部分は青灰色を呈し、ベージュ色の部分に網状に入る。剥片1点を含み、総重量は10.83gである。
- ・ホルンフェルス23 剥離面は青灰色を呈し、ベージュ色の部分が縞状に入る。またベージュ色から淡黄褐色を呈する点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は27.08gである。



第75図 第16ブロック出土石器(1)

・ホルンフェルス24 剥離面はベージュ色と青灰色の部分が入り混じる。ガジリ面は青黒色を呈し、光沢がなく風化した状態である。これらの特徴から房総半島南部の嶺岡産地に産出する八丁層ノジュールであるといえる。剥片1点を含み、総重量は0.34gである。

・チャート17 剥離面は青灰色を呈する黒色珪質頁岩である。第13ブロックのチャート17とは厳密に一致しない。剥片2点を含み、総重量は2.34gである。

・チャート25 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色の節理が入る。原礫面は剥離面よりも曇った色調で緑がかかる。光沢を帯びて、滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は18.26gである。

・チャート26 剥離面は青灰色を呈し、淡灰色の部分が入る。節理が発達している。原礫面は淡青灰色ですりガラス状を呈する。剥離面の特徴から白滝頁岩と考えられる。楔形石器1点を含み、総重量は10.26gである。

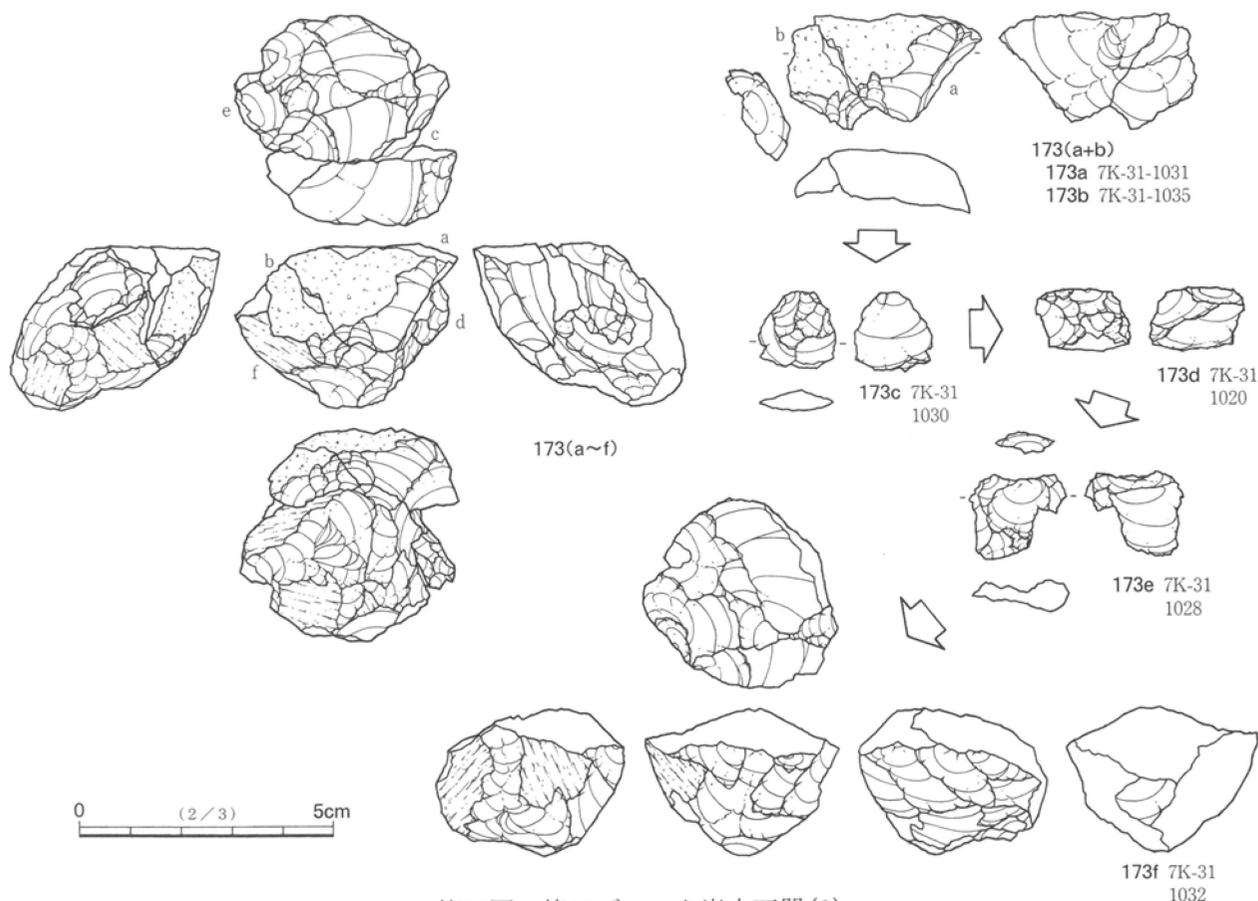
・チャート27 剥離面は青灰色を呈する黒色珪質頁岩である。チャート17に酷似する。剥片1点を含み、総重量は1.44gである。

・チャート28 剥離面は暗乳白色を呈し、青黒色の節理が入る。原礫面は同様の色調で、つぶれがみられる。剥片1点を含み、総重量は1.35gである。

・玉髓1 剥離面は淡黄褐色半透明で、部分によって亀甲色を呈する。原礫面は同様の色調で多孔質である。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は5.63gである。

3) 出土遺物 (第75・76図, 図版15)

二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片39点・石核2点の計43点が出土した。



第76図 第16ブロック出土石器(2)

二次加工剥片(167)は玉髓1製で、矩形の一般剥片の端部腹面側に、二次加工を施している。

楔形石器(168)はチャート26製で、器体の一部に節理面を残している。厚手の剥片が分割礫を素材としていると思われる。

石核は2点(170・173 f)が出土した。170は安山岩B 3製である。厚手の幅広剥片を素材とし、素材剥片端部の折損面を打面として、一般剥片の生産を行っている。表面には剥離痕が重なってノッチ状となる部分があり、石核を転用したものとも考えることもできる。173 fは頁岩22製で、分割礫を素材とする。分割面から求心上に剥片剥離をするとともに、分割面を打面として剥片剥離を行っている。

本ブロックから出上した剥片は一般剥片で占められる。安山岩A 1と頁岩22に含まれる数が多いほかは、母岩あたりの剥片の数は多くて3点にとどまる。安山岩A 1は石材の性質上、細かい分類が難しく、複数母岩が含まれている可能性は否定できない。出土した剥片の大きさにもばらつきがある。頁岩22は分割礫を素材とする石核からの一般剥片生産の過程を示す接合資料を含む。

本ブロックからは、接合資料59と接合資料78の2つのブロック間接合資料が得られている。

接合資料59は第12ブロックで述べたように、第12ブロック出土の剥片1点(105 a)と、第14ブロック出土の石核1点(105 c)と、本ブロック出土の剥片1点(105 b)を含む。接合資料78は、本ブロック出土のチャート25製の剥片1点と、第17ブロック出土の剥片3点を含み、約5 m～7 mの距離を隔てて接合している。

第17ブロック (第77・78図, 第19・58表, 図版4)

1) 概要

VI層からVII c層(IX c層)にかけて39点の遺物が出土し、VII a層(IX a)に特に集中して分布する。石器組成は、削器1点・二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片33点・石核3点の計39点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩1点(安山岩A 1)・トロトロ石1点(安山岩B 1)・黒曜石4点・ホルンフェルス3点(頁岩12, ホルンフェルス4)・黒色頁岩2点(頁岩24)・緑色凝灰岩1点(珪質頁岩2)・珪質頁岩19点(珪質頁岩22, 硬質頁岩14・21, チャート25)・砂岩2点・チャート3点(チャート29)・玉髓3点の計39点である。本ブロックから出土した石器は、玉髓製の縦長剥片が1点出土している他は、一般剥片で占められる。

2) 母岩別資料

・安山岩A 1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが微細にみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は6.51gである。

・安山岩B 1 剥離面は淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。原礫面は剥離面と同様の色調である。ガジリ面は青黒色を呈する。石核1点を含み、総重量は11.84gである。

・黒曜石6 剥離面は漆黒の部分と、無色透明の部分からなり、径1.0mm～1.5mmの石英質の斑晶が入る。楔形石器1点・剥片2点・石核1点を含み、総重量は2.34gである。

・頁岩12 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の微細な点紋が無数に入るホルンフェルスである。剥片1点を含み、総重量は1.38gである。

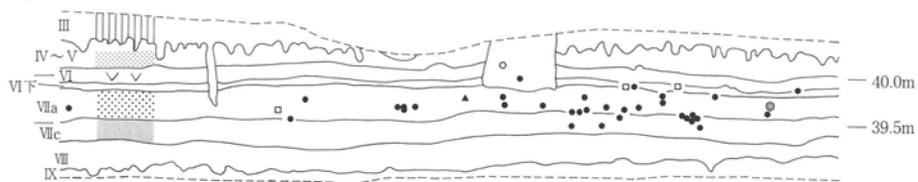
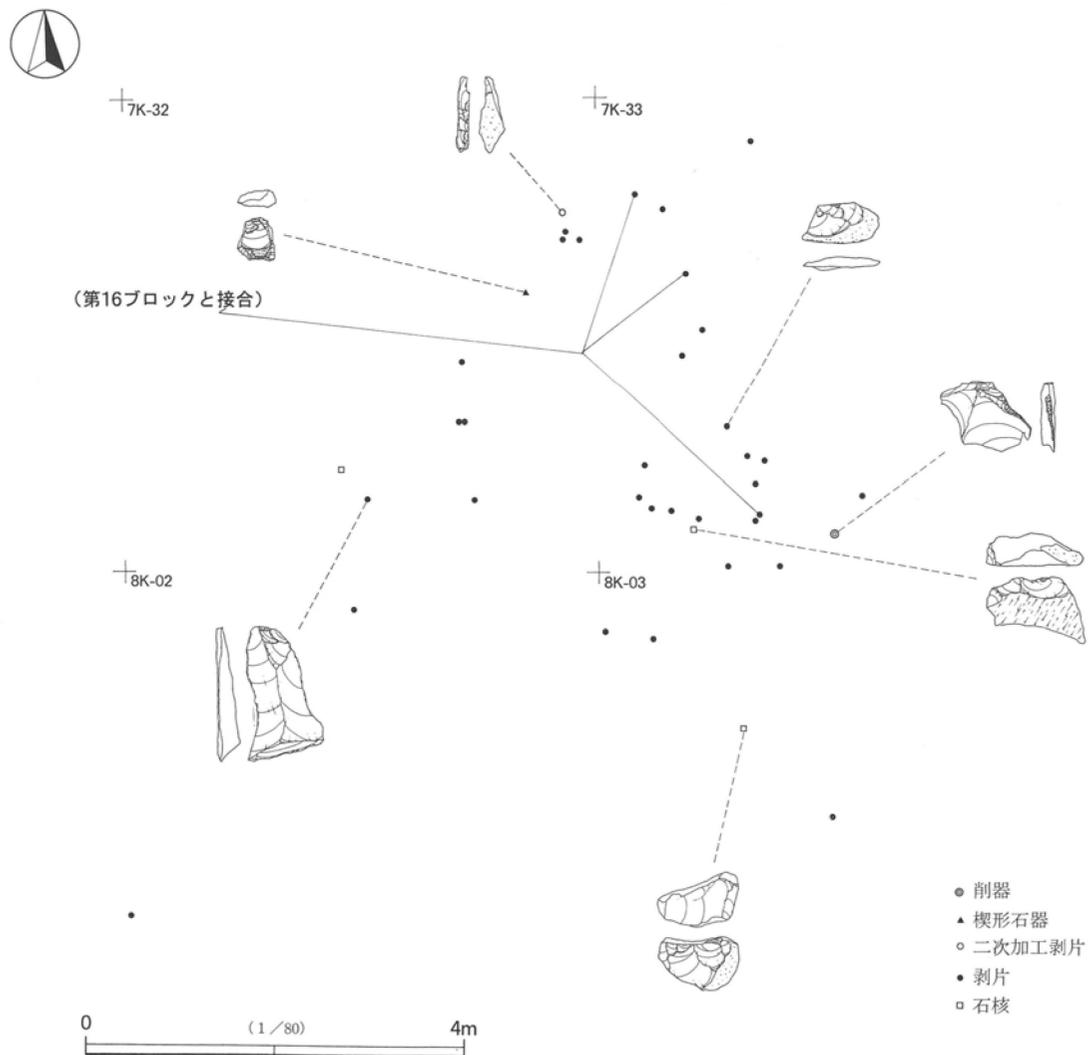
・頁岩24 二次加工剥片1点・剥片1点を含むが、それぞれ別母岩であると思われる。二次加工剥片は青灰色を呈し、部分的に淡茶褐色を帯びる。やや珪質である。重量は1.27gである。剥片は淡青灰色を呈する黒色頁岩である。重量は3.70gである。

・珪質頁岩2 暗青緑色の地に、暗赤紫色の部分が斑状に入る緑色凝灰岩である。剥片1点を含み、総重量は1.24gである。

・珪質頁岩22 剥離面は淡暗黄褐色を呈し、原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は4.25gである。

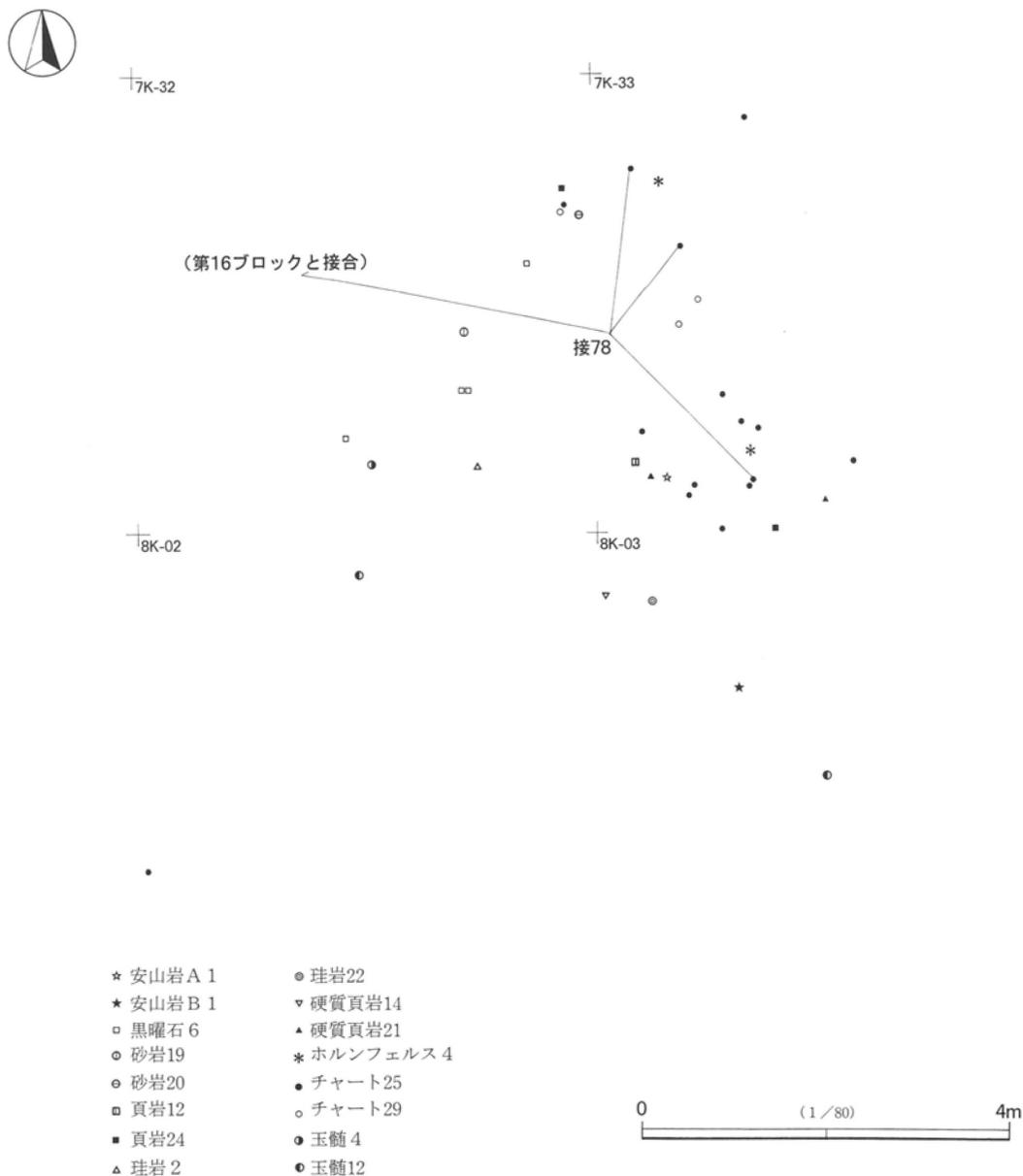
・硬質頁岩14 剥離面は焦茶色を呈し、原礫面は淡紫灰色の地に、部分的に淡黄褐色の部分が入る。剥片1点を含み、総重量は4.69gである。

・硬質頁岩21 剥離面は焦茶色を呈し、原礫面は淡茶褐色を呈する。削器1点・剥片1点を含み、総重量は9.26gである。



第77図 第17ブロック石器別分布図

- ・砂岩19 青灰色と淡黄褐色の粒子からなる。原礫面は滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は5.72gである。
- ・砂岩20 淡赤紫色の粒子からなる。原礫面は滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は1.54gである。
- ・ホルンフェルス4 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は11.75gである。
- ・チャート25 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色の節理が入る珪質頁岩である。原礫面は剥離面よりも曇った色調で緑がかかる。光沢を帯びて、滑らかな質感である。剥片14点・石核1点を含み、総重量は67.85gである。



第78図 第17ブロック母岩別分布図

・チャート29 剥片3点が含まれるが、2種類の母岩が含まれるように思われる。1種類目は、7K-32-3で重量は18.85gである。剥離面は青灰色の地に、青黒色を呈する斑状の部分や青黒色の節理が入る。原礫面は滑らかで、爪跡状のくぼみが疎らに入る。2種類目は7K-32-11・12の2点が該当し、総重量は11.45gである。剥離面は淡緑灰色を呈し、原礫面は同様の色調で爪跡状のくぼみが疎らに入る。

・玉髓4 剥離面は乳白色半透明を呈し、青灰色の部分が断続的に縞状に入る。原礫面は淡黄褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は7.69gである。

・玉髓12 剥離面は淡黄褐色半透明を呈し、部分的に濃い色調となる。剥片2点を含み、総重量は18.02gである。

3) 出土遺物 (第79図, 図版15)

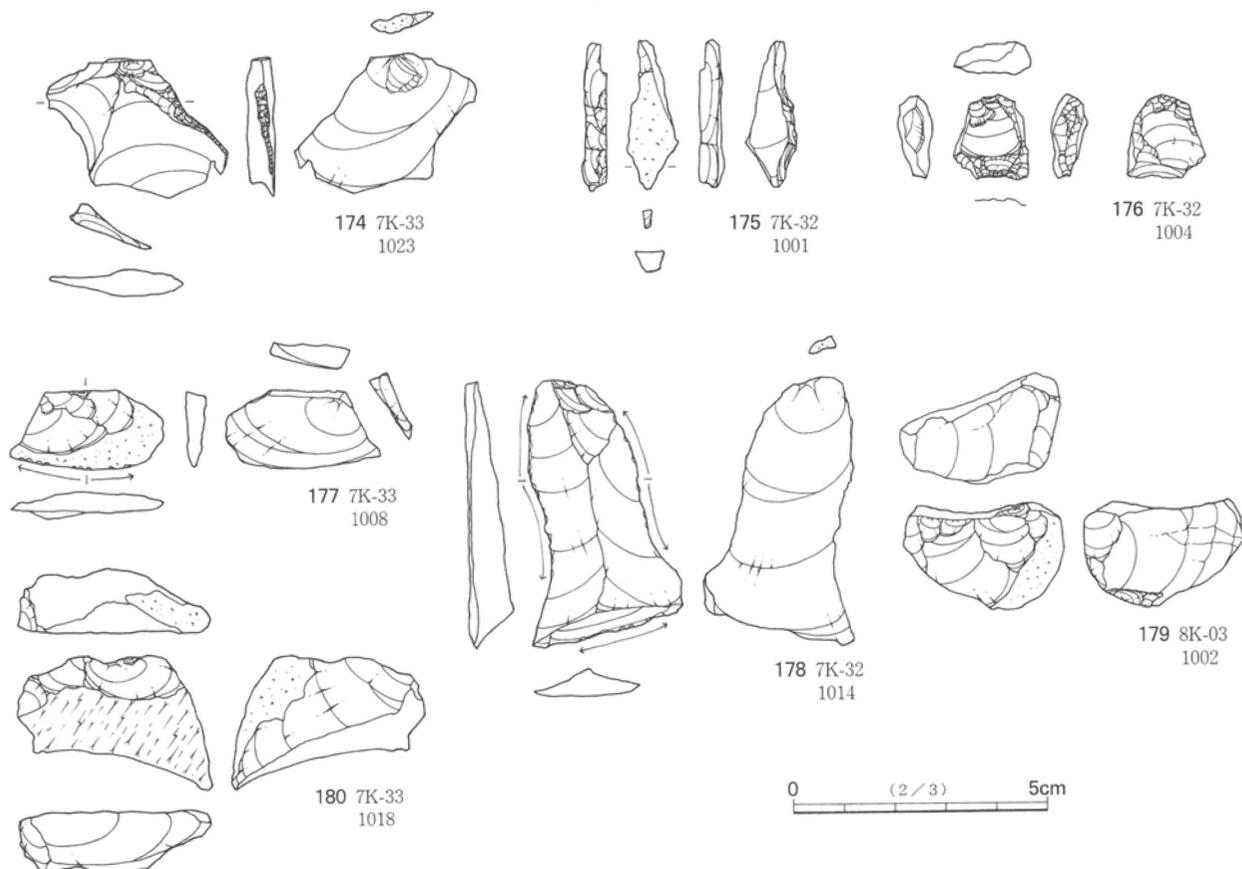
削器1点・二次加工剥片1点・楔形石器1点・剥片33点・石核3点の計39点が出土した。

削器(174)は硬質頁岩21製の剥片を素材として、素材剥片の側縁に腹面側から二次加工を加えている。

二次加工剥片(175)は頁岩24製で、破片の状態を呈している。急斜度加工が施されていることから、ナイフ形石器の破片もしくは鋸歯縁石器の破片と思われる。

楔形石器(176)は、黒曜石6製の剥片を素材とし、右側面に微細な槌状の剥離がみられる。

石核は3点(179・180)が出土した。礫を分割し、一般剥片を生産するもの(179・80)、両極剥離によって小型の剥片を生産しているものがみられる。石材は、トロトロ石が1点(安山岩B1)、黒曜石6が1点、チャート25が1点(珪質頁岩)である。



第79図 第17ブロック出土石器

本ブロックから出上した剥片は、剥離の際に石核の底面を取り込んだ縦長剥片(178)が、1点みられるほかは一般剥片で占められる。チャート25が14点の剥片を含み、比較的点数が多い。180など原礫面付きの資料も含む。

他のブロックとの関係では、第16ブロックで述べたように、第16ブロック出土のチャート25製の剥片1点と、本ブロック出土の剥片3点が接合している。

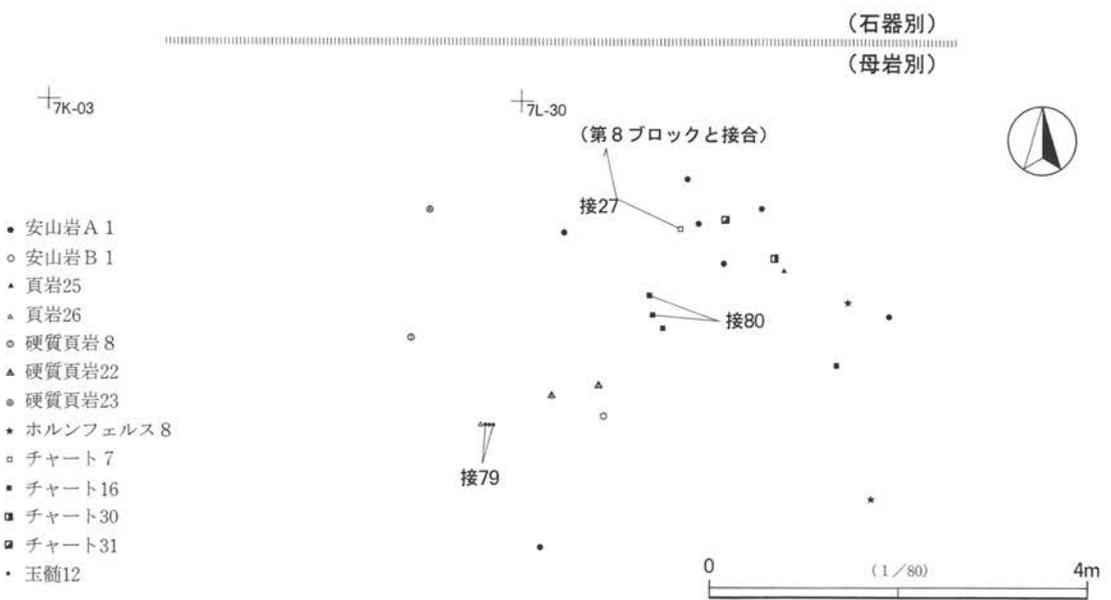
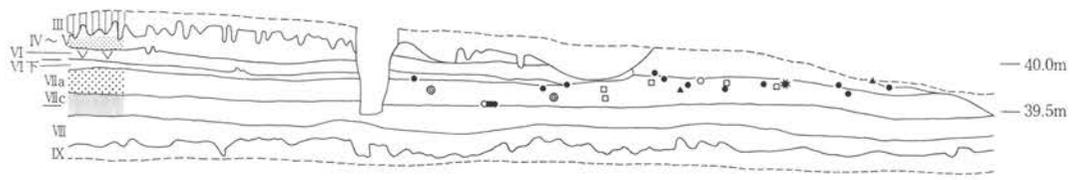
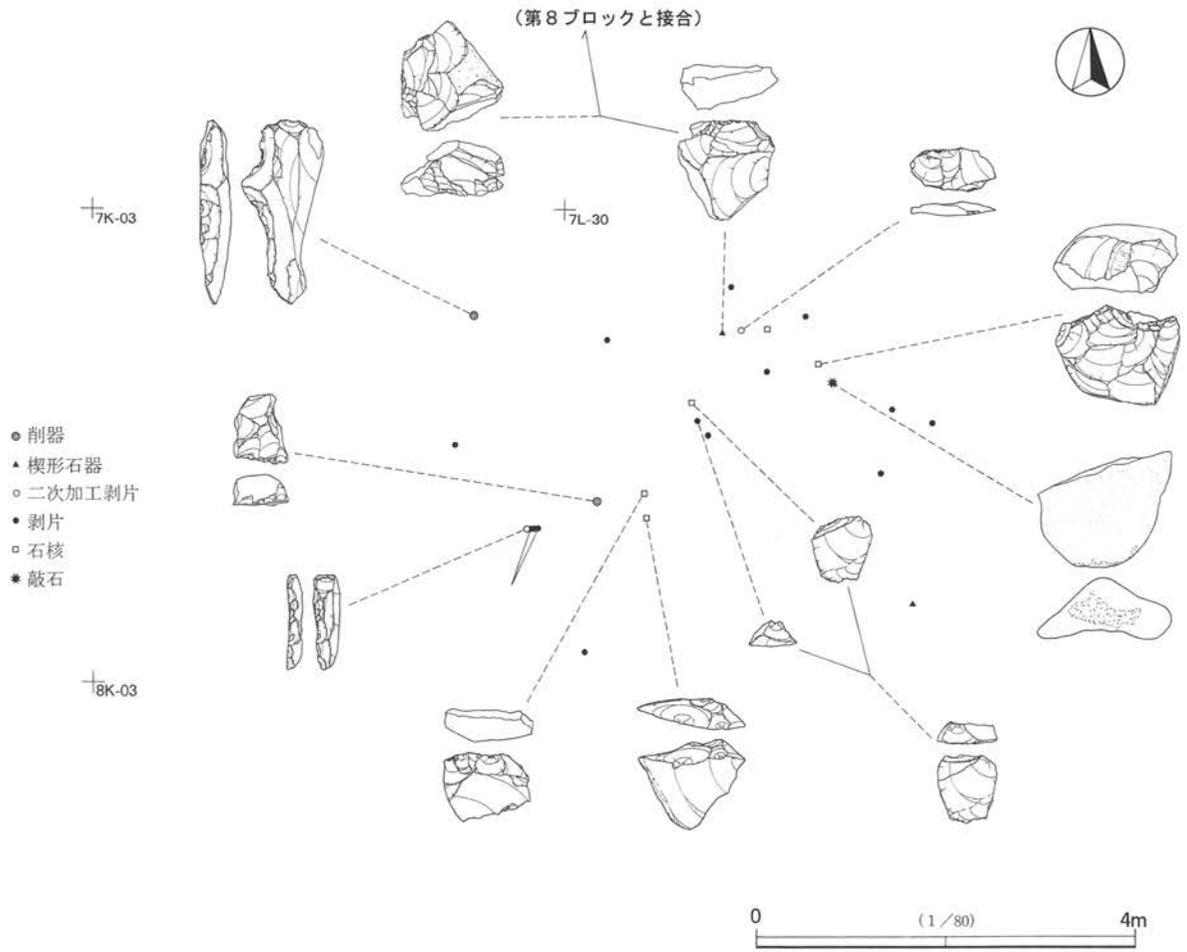
第18ブロック (第80図, 第20・59表, 図版4)

1) 概要

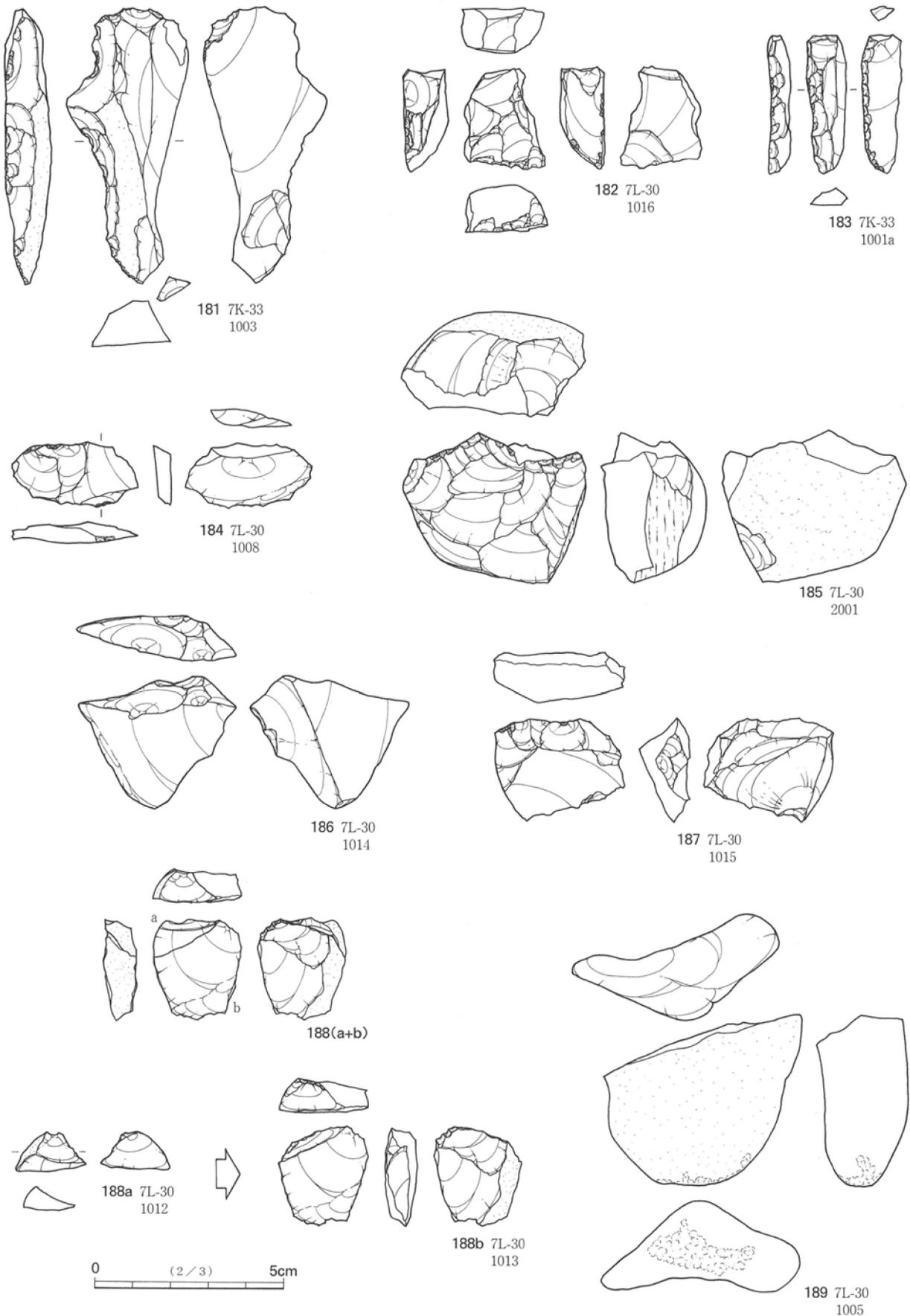
VI層からVII a層(IX a層)にかけて26点の遺物が出土し、VII a層(IX a層)に特に集中して分布する。石器組成は、削器2点・二次加工剥片2点・楔形石器2点・剥片14点・石核5点・敲石1点の計26点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩7点(安山岩A1)・トロトロ石1点(安山岩B1)・頁岩1点(頁岩25)・ホルンフェルス3点(頁岩26, ホルンフェルス8)・珪質頁岩4点(硬質頁岩8・22・23)・黒色珪質頁岩1点(チャート7)・チャート6点(チャート16・30・31)・玉髓3点である。本ブロック出土の剥片は、一般剥片で占められる。石核の容量の減少に伴って、ハンマーによる剥離から両極剥離へと、剥片生産の方法を変更している資料がみられた。

2) 母岩別資料

- ・安山岩A1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。二次加工剥片1点・剥片6点を含み、総重量は39.63gである。
- ・安山岩B1 剥離面は淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。径0.5mm~1.0mmの黒色の斑晶が入る。ガジリ面は青灰色を呈する。石核1点を含み、総重量は10.93gである。
- ・頁岩25 剥離面は淡青緑色を呈する。原礫面は剥離面よりも赤褐色がかり、滑らかな質感である。敲石1点を含み、総重量は60.15gである。
- ・頁岩26 剥離面はベージュ色で、風化の弱い部分は青灰色を呈し、ベージュ色の部分に網状に入るホルンフェルスである。ガジリ面は青灰色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は2.38gである。
- ・硬質頁岩8 剥離面は黄色がかった淡灰色を呈し、部分によって赤褐色がかかる。剥片1点を含み、総重量は16.20gである。
- ・硬質頁岩22 剥離面は淡茶灰色と淡赤褐色の部分からなる。ガジリ面は淡青灰色を呈する。削器1点・石核1点を含み、総重量は17.71gである。
- ・硬質頁岩23 剥離面は淡茶灰色を呈し、青灰色の粒状の部分が入る。原礫面は淡茶褐色を呈し、爪跡状のくぼみがみられる。削器1点を含み、総重量は20.84gである。
- ・ホルンフェルス8 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色から淡黄褐色の点紋が無数に入る。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は9.05gである。
- ・チャート7 剥離面は青灰色を呈する黒色珪質頁岩である。原礫面は暗赤褐色を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は21.48gである。
- ・チャート16 剥離面は青灰色の地に、暗青灰色の斑状の部分や乳白色の節理が入る。原礫面は同様の色調で光沢を帯びる。剥片3点・石核1点を含み、総重量は26.09gである。
- ・チャート30 剥離面は淡青灰色を呈し、青灰色の節理が入る。原礫面は淡茶褐色の地に、青灰色の節理



第80図 第18ブロック遺物分布図



第81図 第18ブロック出土石器

が入る。表面には爪跡状のくぼみが入る。石核1点を含み、総重量は64.40gである。

・チャート31 剥離面は暗乳白色の地に、青黒色の節理が無数に入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみがみられる。石核1点を含み、総重量は36.18gである。

・玉髓12 剥離面は乳白色半透明を呈し、部分的に淡黄褐色やベージュ色の部分が入る。原礫面は淡黄褐色から淡い鼈甲色を呈する。剥片3点を含み、総重量は58.23gである。

3) 出土遺物(第81図, 図版16)

削器2点・二次加工剥片2点・楔形石器2点・剥片14点・石核5点・敲石1点の計26点が出土した。

削器は2点(181・182)が出土した。181は厚手の剥片の側縁に、鋸歯状の刃部を腹面側からの二次加工によって作出している。素材剥片の背面に原礫面が残る。硬質頁岩23製である。182は厚手の素材に55度程度の角度で、器体の内側まで入る二次加工を加えている。刃部の形状はむしろ搔器に近い。硬質頁岩22製である。

二次加工剥片は2点(183・184)が出土した。183は原礫面付きの小型の縦長剥片を素材とする。

表面の左側縁と、裏面の左側縁に二次加工を施しており、2つの刃部の関係が錯向となる。ホルンフェルス(頁岩26)製である。184は頭部調整を二次加工と認識したもので、剥片である。

楔形石器は2点(52b)出土した。52bは、接合資料27に含まれる。一般剥片生産を行っていた石核の容量が減少したために、両極剥離によって剥片生産を継続した資料と考えられる。石材は、黒色珪質頁岩が1点(52b)、ホルンフェルス8が1点である。

石核は5点出土した。はさみ割りによるものが1点(188b)、礫から交互剥離によって一般剥片生産を行い、残核がチョッピング・ツール状を呈するものが1点(185)、剥片を素材とするものが1点(186)、搔器の破片と思われる資料が1点(187)、敲石が1点である。石材はチャートが3点(185・188b)、トロトロ石(安山岩B1)が1点(186)、硬質頁岩22が1点(187)である。

本ブロックから出土した剥片は、一般剥片で占められる。両極剥離によって一般剥片を生産している資料(52b)もみられるが、生産されたと思われる剥片は本ブロックから出土していない。

第19ブロック(第82図, 第21・60表, 図版5)

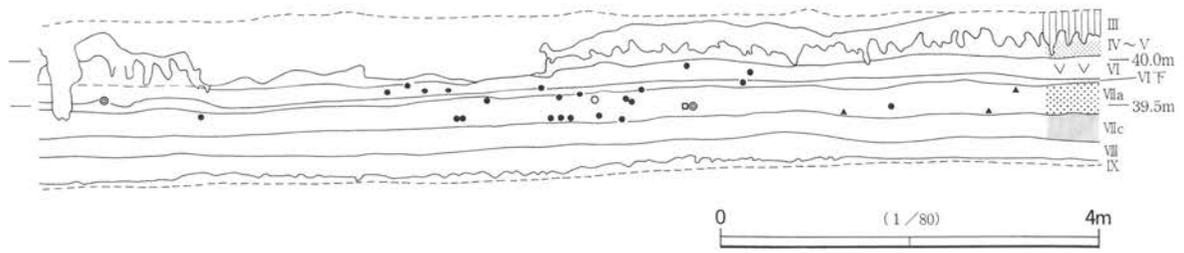
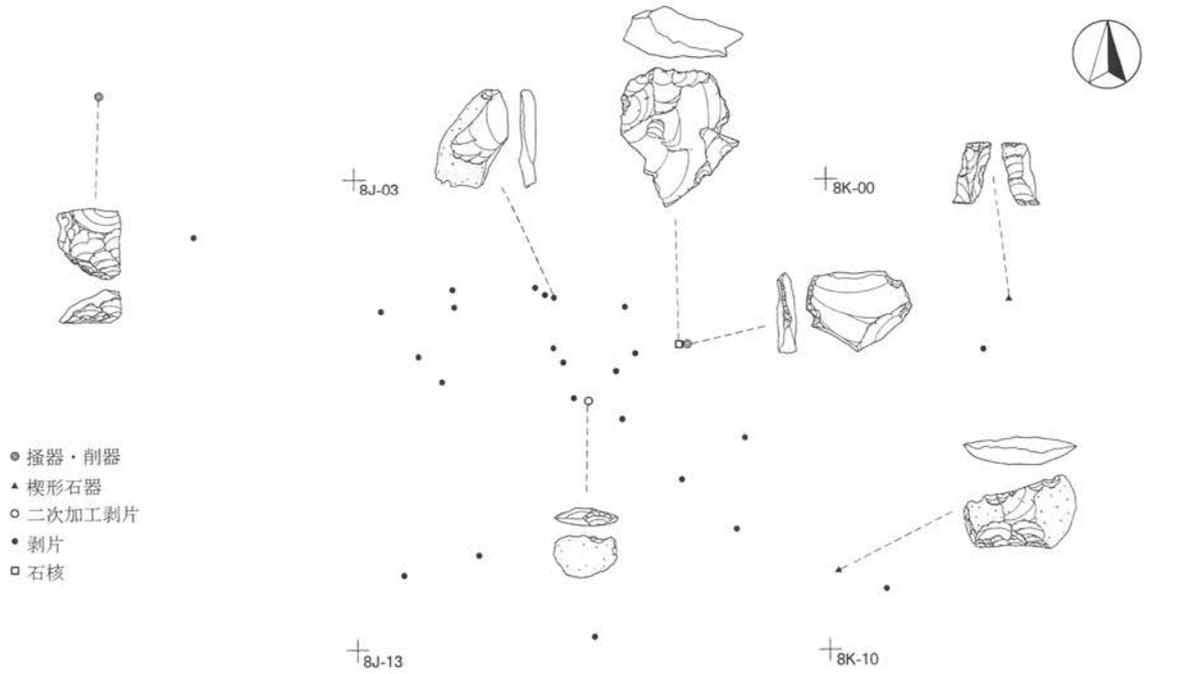
1) 概要

VI層からVIIa層(IXa層)にかけて30点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、削器1点・搔器1点・二次加工剥片1点・楔形石器2点・剥片24点・石核1点の計30点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩19点(安山岩A1・A7・A12)・トロトロ石2点(安山岩B1)・安山岩2点(安山岩B13・B14)・頁岩2点・珪質頁岩1点(嶺岡頁岩10)・チャート1点(嶺岡頁岩11)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩12)・流紋岩1点(嶺岡頁岩13)・ホルンフェルス1点の計30点である。本ブロックから出土した剥片は、一般剥片によって占められ、単独母岩が多いという特徴がある。

2) 母岩別資料

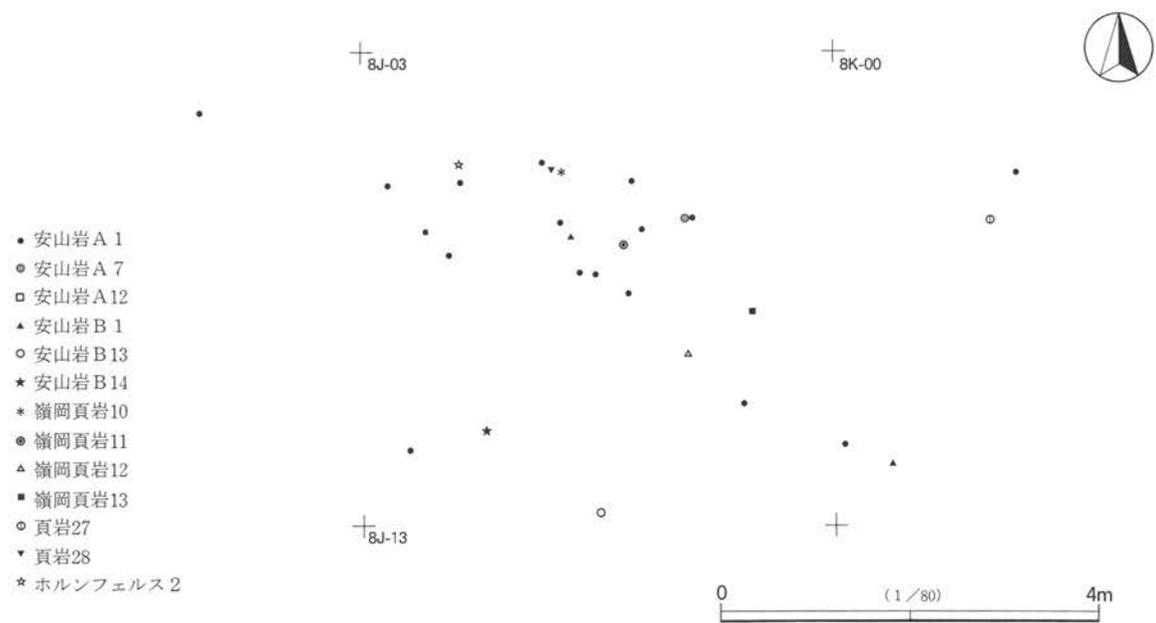
・安山岩A1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。削器1点・二次加工剥片1点・楔形石器2点・剥片13点を含み、総重量は59.62gである。

・安山岩A7 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~2.0mmのベージュ色や黒色の斑晶が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。石核1点を含み、総重量は37.10gである。



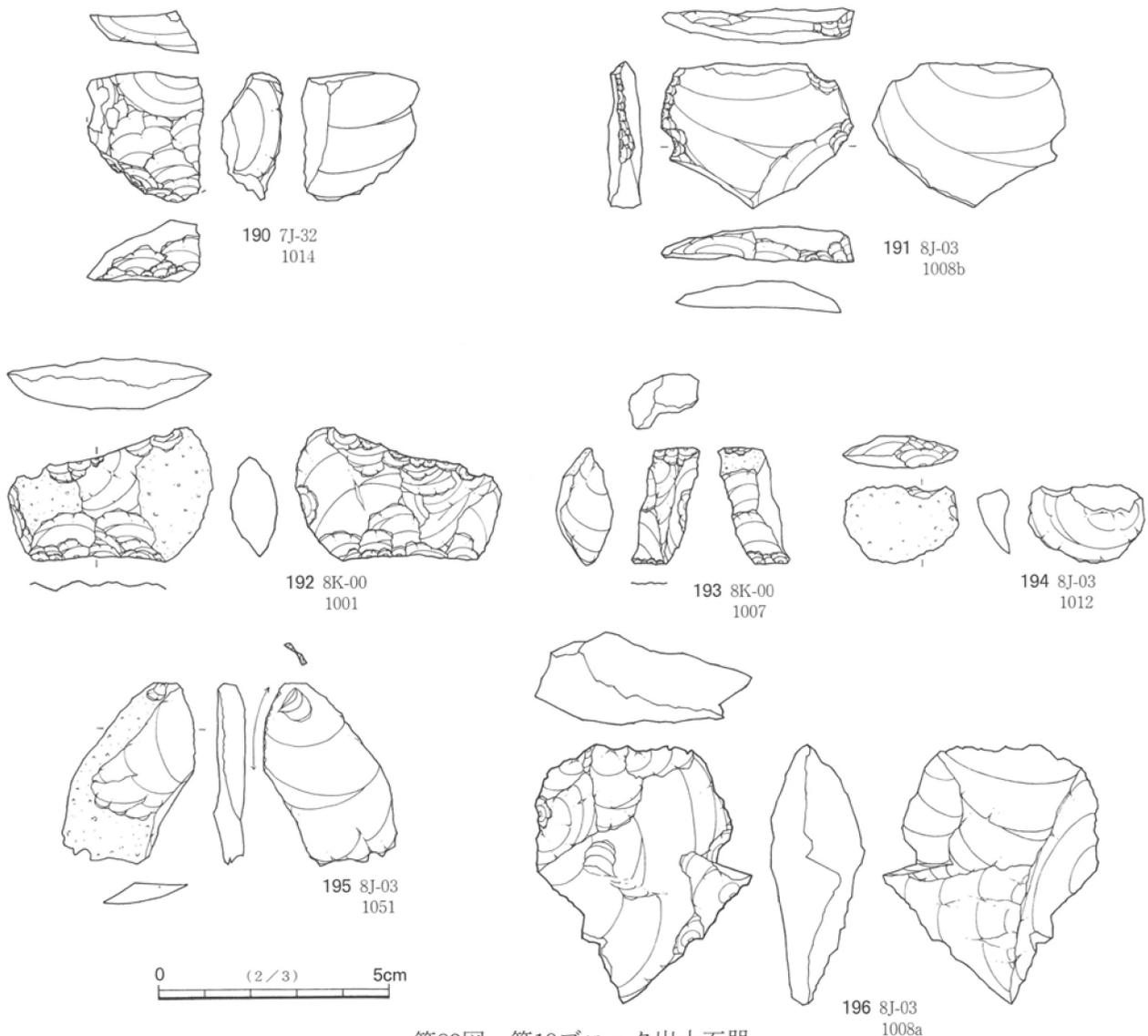
(石器別)

(母岩別)



第82図 第19ブロック遺物分布図

- ・安山岩A12 淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~4.5mmのベージュ色，黒色の斑晶が入る。搔器1点を含み，総重量は9.01gである。
- ・安山岩B1 剥離面は淡明灰色を呈し，トロトロ石と俗称される。径0.5mm~1.0mmのベージュ色，黒色の斑晶が入る。剥片2点を含み，総重量は2.63gである。
- ・安山岩B13 剥離面は青灰色を呈し，ベージュ色の斑晶が入る。風化が進んでおり，剥片か礫か判断することが難しい。剥片と分類されているが，むしろ小礫の可能性が高い。剥片1点を含み，総重量は0.37gである。
- ・安山岩B14 剥離面は青灰色を呈する。風化が進んでおり，剥片か礫か判断することが難しい。剥片と分類されているが，小礫の可能性が高い。剥片1点を含み，総重量は0.12gである。
- ・頁岩27 剥離面は淡青緑色を呈し，原礫面は淡い焦茶色を呈する。剥片1点を含み，総重量は36.42gである。



第83図 第19ブロック出土石器

・頁岩28 剥離面は淡く緑がかったベージュ色を呈する。ガジリ面は淡青灰色を呈する。剥片1点を含み、総重量は1.43gである。

・嶺岡頁岩10 剥離面は淡緑灰色と暗黄褐色の部分からなる。暗黄褐色の部分の方が、原礫面に近い部分である。原礫面は淡茶褐色を呈し、爪跡状のくぼみが部分的にみられる。珪化度の高い部分が入らず、白滝頁岩ではない。剥片1点を含み、総重量は4.95gである。

・嶺岡頁岩11 剥離面は青灰色を呈し、暗青灰色の節理が入るチャートである。原礫面は淡茶褐色と青灰色の部分からなる。剥片1点を含み、総重量は3.97gである。

・嶺岡頁岩12 剥離面は茶色がかった淡青灰色を呈し、珪化度の高い青灰色の部分が斑状に入る白滝頁岩である。原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.82gである。

・嶺岡頁岩13 剥離面は黄色がかった淡青灰色を呈する。石英質の斑晶が入る流紋岩である。剥片1点を含み、総重量は1.06gである。

・ホルンフェルス2 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が入る。原礫面は青灰色を呈し、点紋の入り方は剥離面と同様である。剥片1点を含み、総重量は8.57gである。

3) 出土遺物 (第83図, 図版16)

削器1点・搔器1点・二次加工剥片1点・楔形石器2点・剥片24点・石核1点の計30点が出土した。

削器(191)は安山岩A1製で、一般剥片の両側縁に二次加工を施している。素材剥片の頭部側はガジリによって欠損している。

搔器(190)は安山岩A12製で、厚手の剥片を素材とする。器体を欠損しており、全体の1/4程度が遺存している。

二次加工剥片(194)は先行剥離を二次加工と認識したもので、主要剥離面を切っていない。

楔形石器は2点(192・193)出土した。いずれも安山岩A1製である。192は原礫面付きの幅広剥片を素材としている。193は小型の礫もしくは分割した礫から、両極剥離によって小型の剥片生産を行っている資料と思われる。

石核(196)は安山岩7製で、厚手の剥片を素材とし、素材剥片の頭部側から剥片剥離を行っている。

本ブロックから出土した遺物は、一般剥片生産によるもので占められる。安山岩A1、安山岩B1以外の母岩は単独母岩である。ただし安山岩A、安山岩Bは母岩分類が困難なため、安山岩A1、安山岩B1に関しても複数の母岩を含んでいる可能性がある。

第20ブロック (第84・85図, 第22・61表)

1) 概要

IV・V層からVIIc層(IXc層)にかけて69点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、ナイフ形石器3点・二次加工剥片1点・楔形石器3点・剥片48点・石核3点・礫11点の計69点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩38点(安山岩A1・A3・A6・A25・A26・A27)・トロトロ石3点(安山岩B1・B15)・黒曜石1点・ホルンフェルス10点(頁岩29, ホルンフェルス25・26)・珪質頁岩3点(珪質頁岩23, 硬質頁岩1・24)・寺島累層上部ノジュール1点(頁岩30)・玉髓2点(珪質凝灰岩1・2)の計58点である。本ブロックから出土した石器は、一般剥片が主体となり、ナイフ形石器の一部に石刃素材の資料がみられる。石器を含む18母岩中の12母岩が単独母岩である。

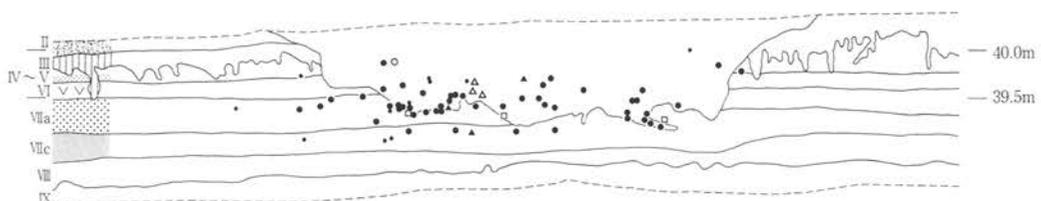
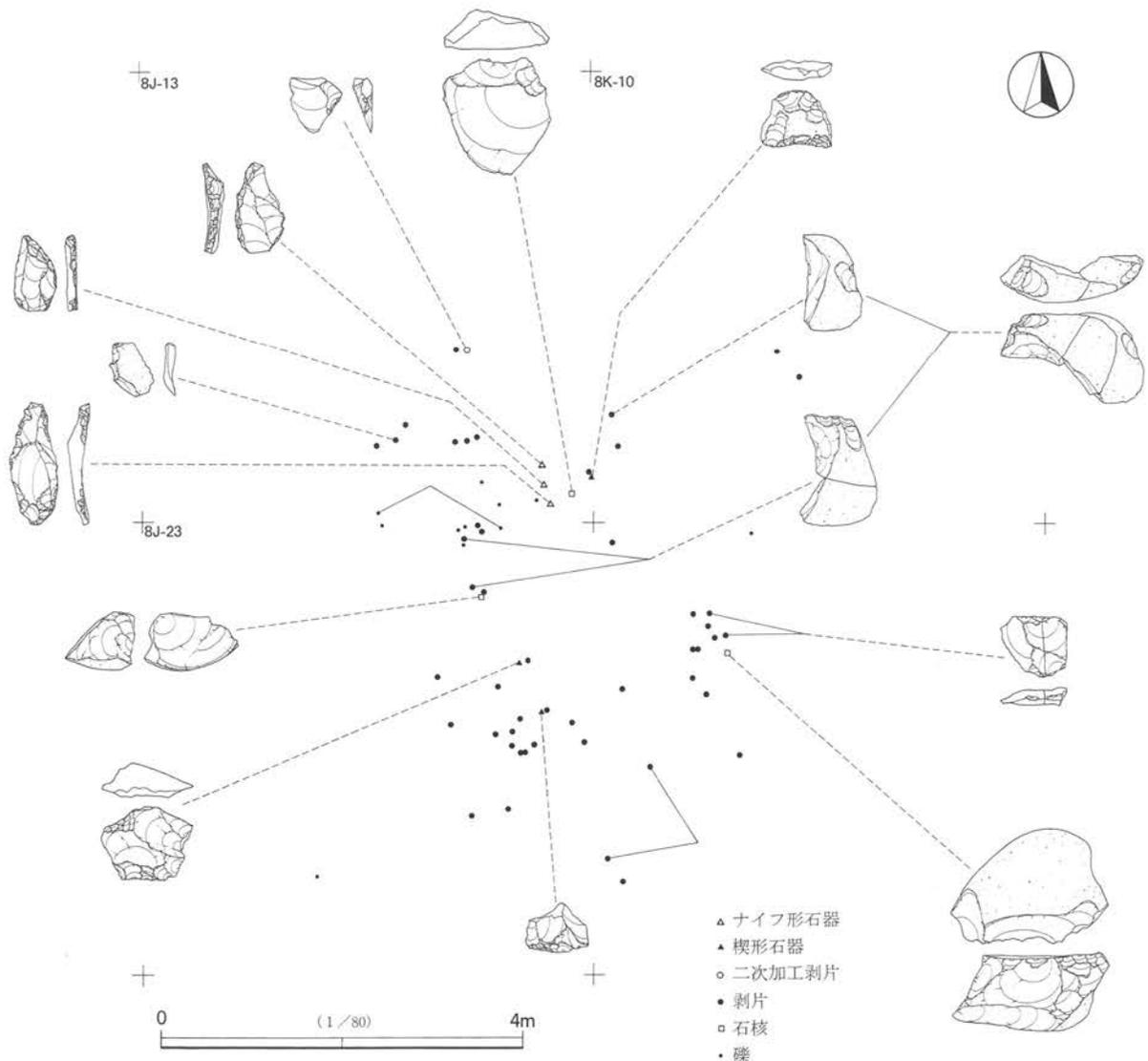
2) 母岩別資料

・安山岩A 1 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器1点・剥片21点・石核2点を含み、総重量は174.58gである。

・安山岩A 3 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は1.67gである。

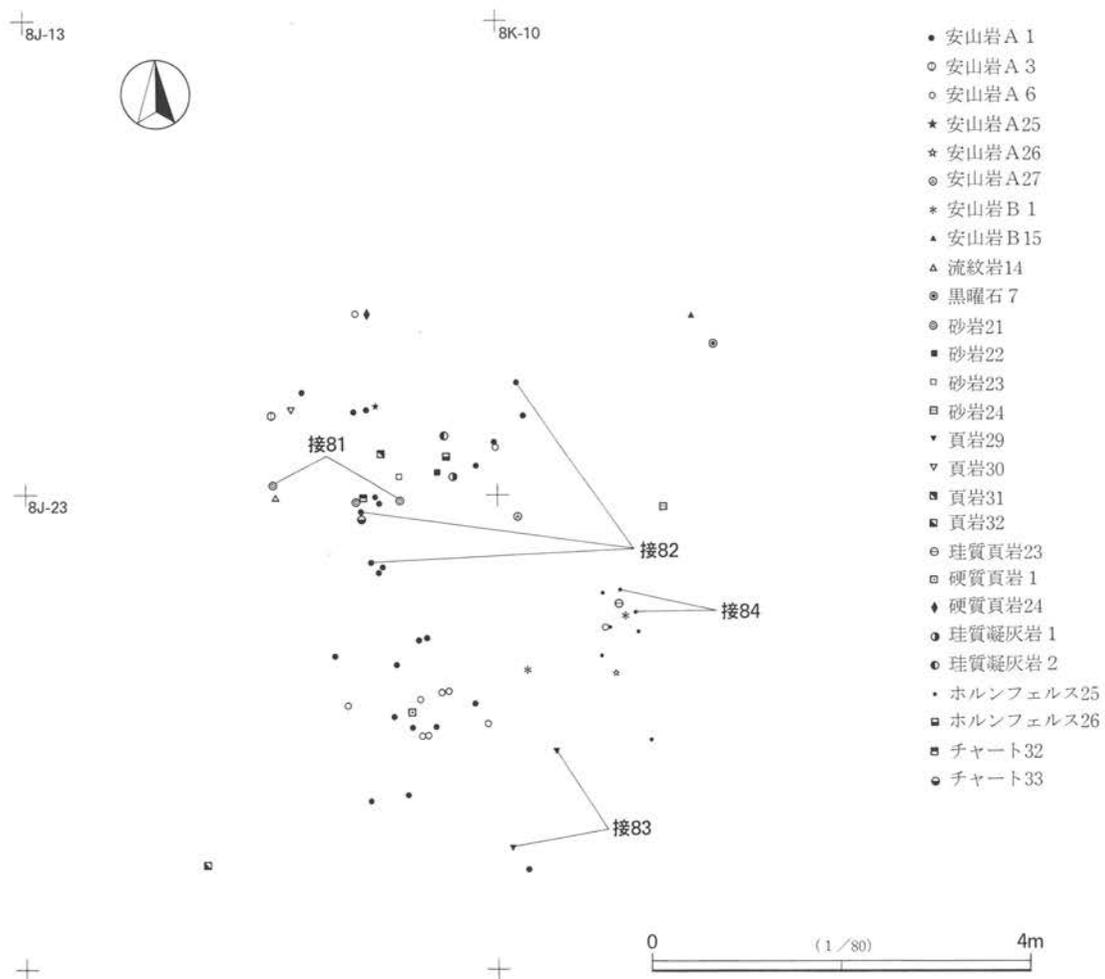
・安山岩A 6 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。約径0.3mmのベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器2点・剥片8点を含み、総重量は11.65gである。

・安山岩A 25 淡灰色から淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみが微細に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は9.89gである。

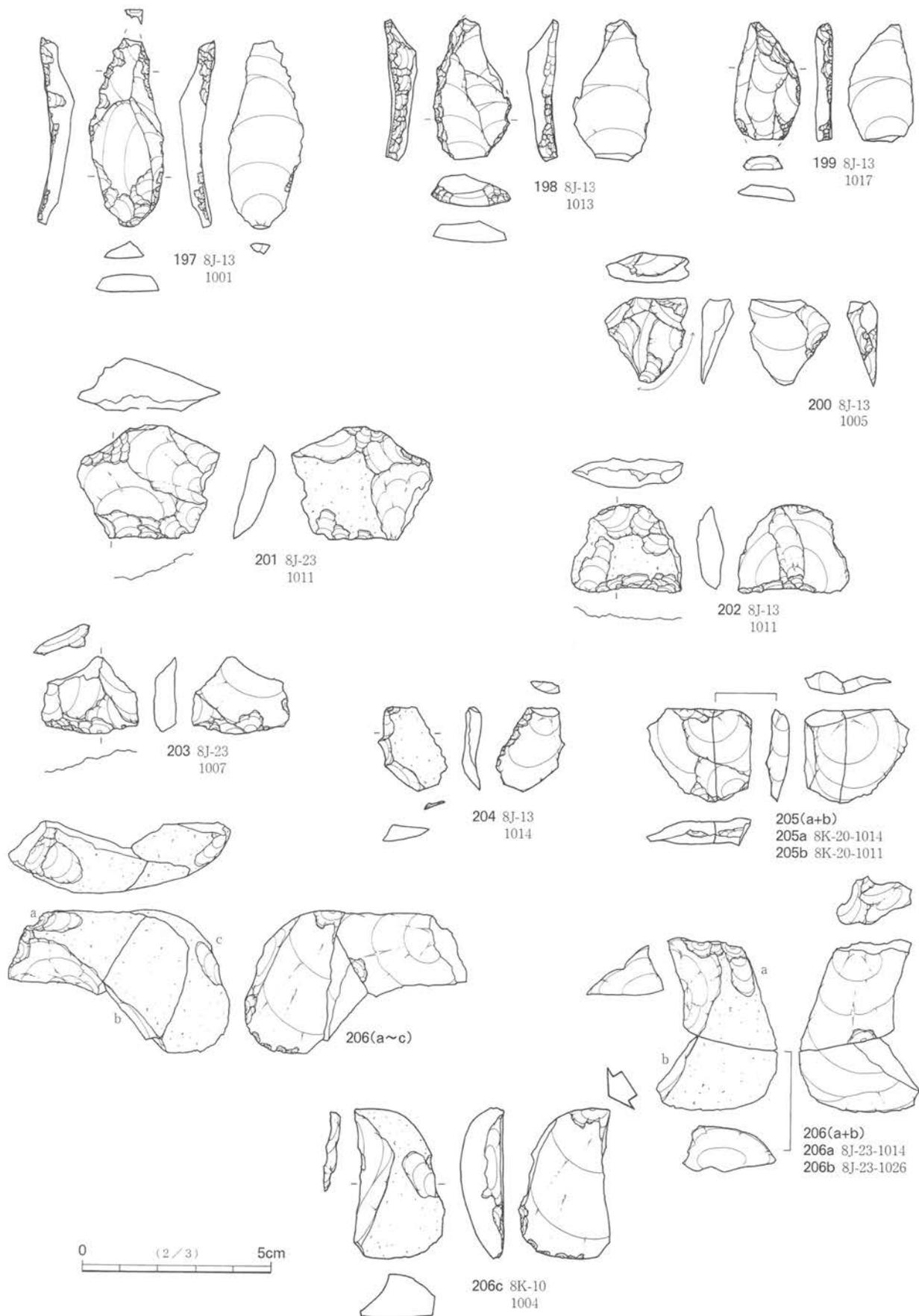


第84図 第20ブロック石器別分布図

- ・安山岩A26 淡灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は1.25gである。
- ・安山岩A27 淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。剥片1点を含み、総重量は0.43gである。
- ・安山岩B1 剥離面は淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。径0.3mm程度のベージュ色、黒色の斑晶が入る。原礫面は剥離面よりも黄褐色がかかる。剥片2点を含み、総重量は5.05gである。
- ・安山岩B15 剥離面は淡青灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。径0.3mm程度の黒色の斑晶が入る。剥片1点を含み、総重量は0.18gである。
- ・黒曜石7 無色透明の部分、黒色不透明の部分、淡暗赤褐色の部分が斑状に入り混じる。肉眼観察では小深沢産に類似する。剥片1点を含み、総重量は0.99gである。
- ・頁岩29 剥離面は青灰色を呈する。原礫面は青灰色の地に、ごく微細な黄褐色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。原礫面の特徴からホルンフェルスであると思われる。剥片2点を含み、総重量は1.90gである。
- ・頁岩30 剥離面は淡青灰色の地に、淡緑灰色の多角形状の部分が斑状に入る。原礫面は同様の構造で滑らかな質感である。剥離面の特徴から栃木県で産出する寺島累層上部ノジュールと思われる。剥片1点を含み、総重量は1.37gである。



第85図 第20ブロック母岩別分布図



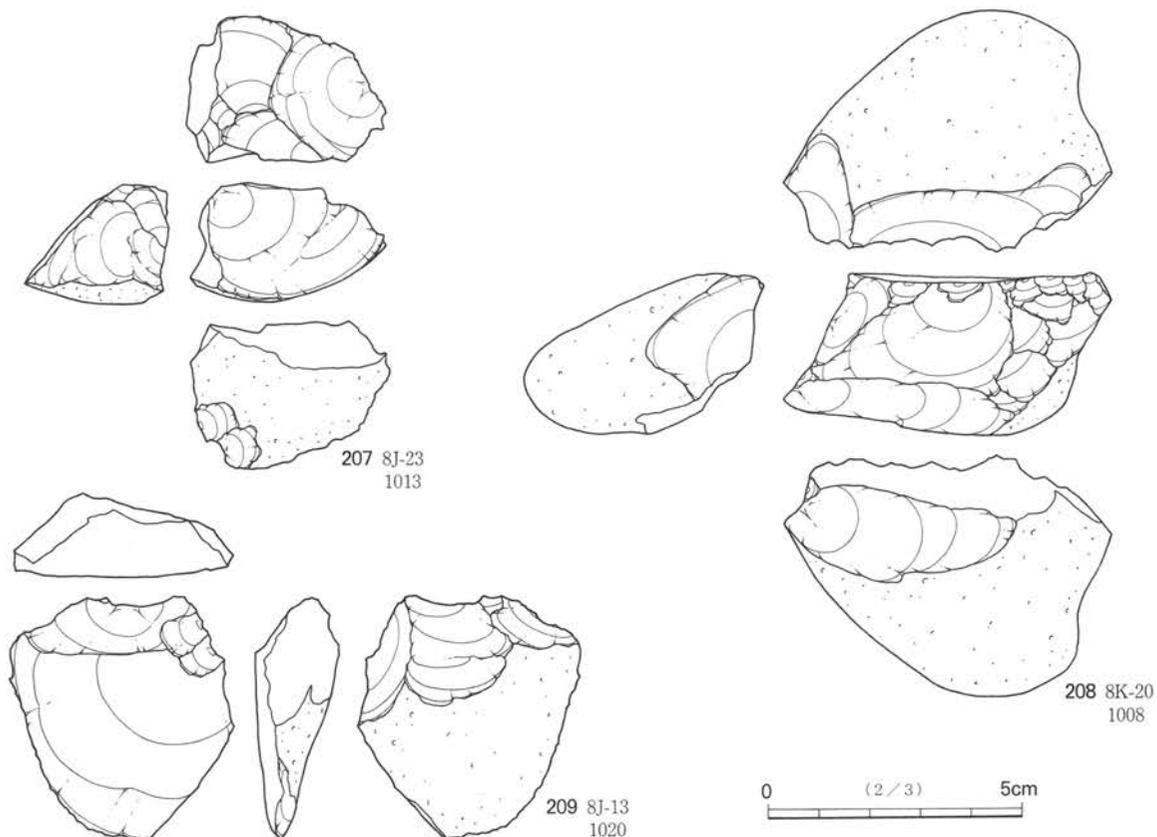
第86図 第20ブロック出土石器(1)

- ・珪質頁岩23 剥離面は黄色がかった淡灰色の部分と、黄褐色の部分からなる。原礫面は暗黄褐色を呈し、滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は21.82gである。
- ・硬質頁岩1 剥離面は焦茶色を呈し全体に色調の濃淡がある。剥片1点を含み、総重量は2.29gである。
- ・硬質頁岩24 剥離面は淡茶灰色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は2.62gである。
- ・珪質凝灰岩1 剥離面は青灰色の地に、茶褐色や焦茶色の部分が縞状に入り、またベージュ色の部分が斑状に入る玉髓(メノウ)である。ナイフ形石器1点を含み、総重量は5.71gである。
- ・珪質凝灰岩2 剥離面は青灰色の地に、ベージュ色の部分が入る玉髓(メノウ)である。ナイフ形石器1点を含み、総重量は5.20gである。
- ・ホルンフェルス25 剥離面は青灰色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で、微細な点紋が無数にみられる。爪跡状のくぼみは、疎らにみられる。頁岩31と酷似し、同一母岩である可能性が高い。その場合、頁岩31は礫と分類されていたが、剥片と評価できる。剥片6点・石核1点を含み、総重量は114.15gである。
- ・ホルンフェルス26 剥離面は淡青灰色を呈し、微細な点紋が無数にみられる。ナイフ形石器1点を含み、総重量は2.26gである。

3) 出土遺物 (第86・87図, 図版16)

ナイフ形石器3点・二次加工剥片1点・楔形石器3点・剥片48点・石核3点・礫11点の計69点が出土した。

ナイフ形石器は3点(197~199)が出土した。197は珪質凝灰岩1製で、縦長剥片を素材とする。基部の両側縁と右側縁の先端部に、急斜度の微細な二次加工がみられる。左側縁の上半には、鋸歯状に剥離痕が



第87図 第20ブロック出土石器(2)

みられる。198は珪質凝灰岩2製で、背面の剥離構成から石刃を素材とすると思われる。先端部には槌状の剥離がみられ、衝撃剥離であると思われる。基部も折損しており、先端の剥離と同時に生じた可能性が考えられる。折損しているため、全体の形状は不明であるが、左側縁の全体と、右側縁の下半に腹面側からの急斜度の二次加工がみられる。199はホルンフェルス26製で、寸詰まりの縦長剥片を素材とする。基部を欠損する。基部と右側縁の先端部に急斜度の二次加工がみられる。

二次加工剥片(200)は、硬質頁岩24製で剥片素材である。打点のみられない剥離痕が多いこと、剥離痕が対向して組になることから楔形石器と思われる。

楔形石器は3点(201~203)が出土した。いずれも剥片を素材としており、うち2点(201・202)が原礫面付きである。石材はいずれも黒色緻密質安山岩製である。

石核は3点(207~209)が出土した。207は礫を分割したものを素材とし、一般剥片を生産する。安山岩A1製である。208は礫を素材とし、一般剥片を生産している。ホルンフェルス25製である。209は原礫面付きの厚手の剥片を素材とし、交互剥離によって一般剥片を生産する。安山岩A1製である。

本ブロックから出土した剥片は、一般剥片が主体を占めている。石刃はナイフ形石器の素材となっている1点のみの出土である。母岩あたりの石器の数は少なく、礫を除く18母岩中12母岩が単独母岩である。黒色緻密質安山岩(安山岩A)で母岩あたりの点数が多くなっているが、分類の困難な石材で複数の母岩が含まれる可能性は否定できない。

第21ブロック(第88・89図, 第23・62表, 図版5)

1) 概要

VI層からVIII層(X層)にかけて66点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、削器1点・二次加工剥片2点・楔形石器7点・剥片44点・石核3点・台石1点・礫8点の計66点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩20点(安山岩A1・A20・A28, 安山岩B16)・安山岩1点(B17)・トロトロ石2点(安山岩B1)・流紋岩7点・黒曜石1点・ホルンフェルス6点(頁岩9, ホルンフェルス2)・頁岩3点(頁岩33・34)・珪質頁岩7点(珪質頁岩11・24・25, 硬質頁岩25・26)・玉髓9点(珪質頁岩16・26, 玉髓1・4・14・15)・砂岩3点の計59点である。本ブロックから出土した剥片は、石刃を2点含む以外は一般剥片で占められる。集中的に消費されている母岩はなく、複数の母岩が出土しているが、母岩あたりの点数は比較的少ない。

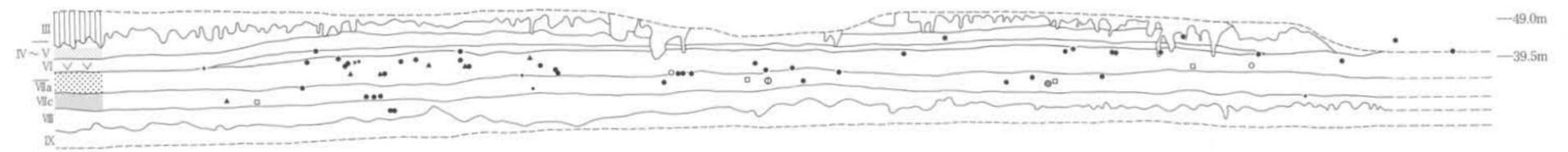
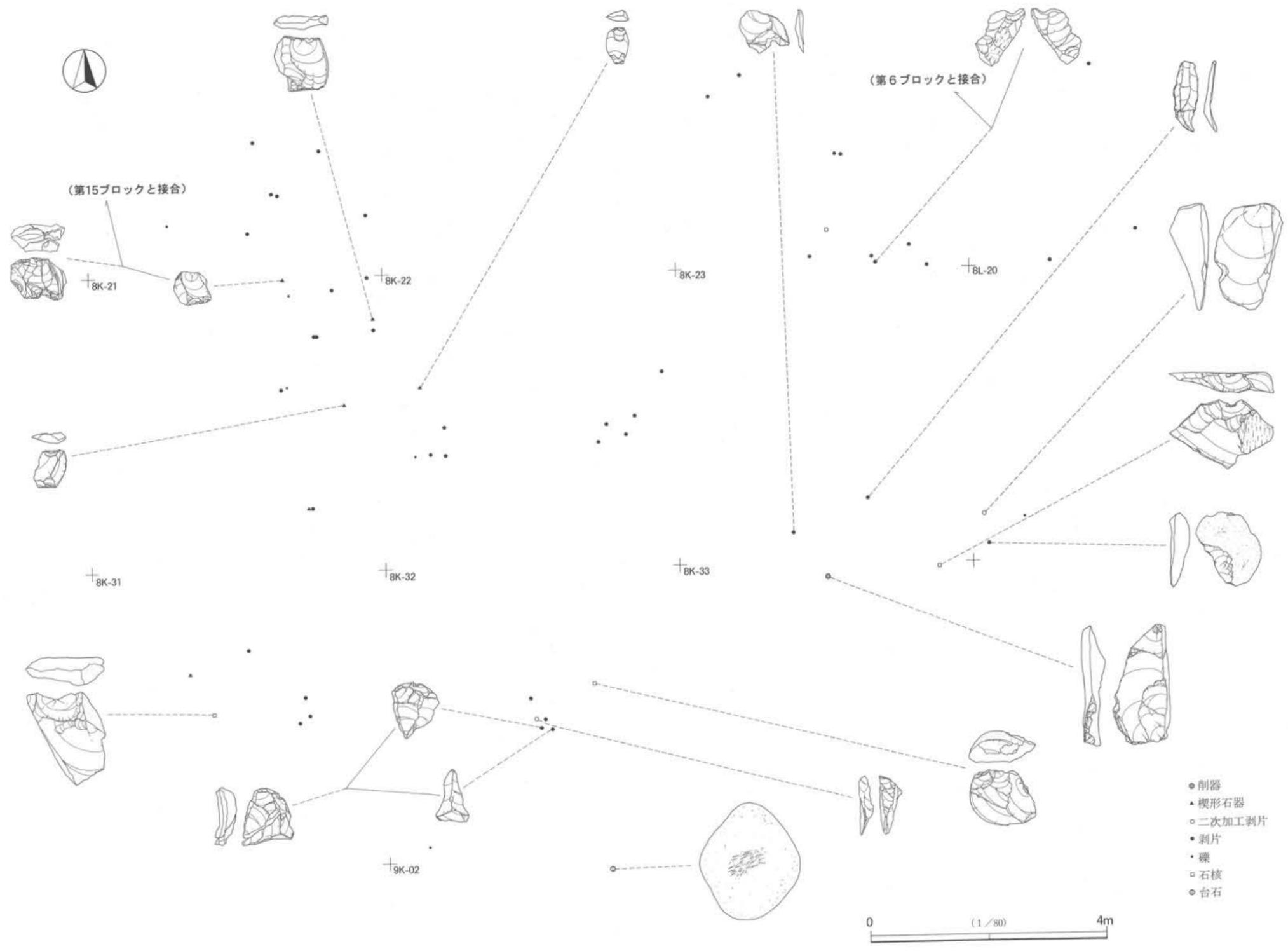
2) 母岩別資料

・安山岩A1 茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器2点・剥片9点を含み、総重量は42.77gである。

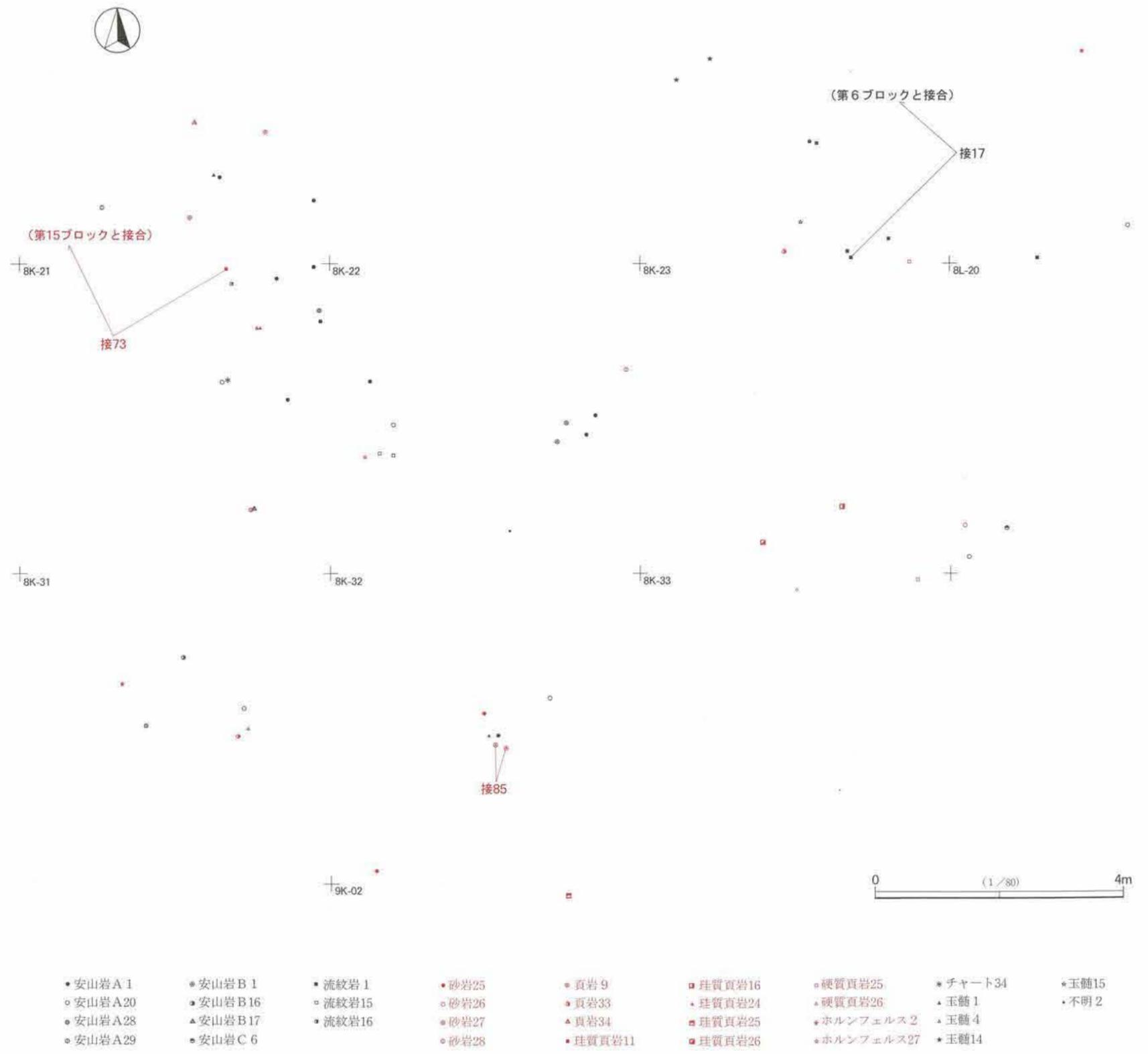
・安山岩A20 淡茶灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色や黒色の斑晶が疎らに入る。原礫面は同様の色調で、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片5点・石核1点を含み、総重量は77.65gである。

・安山岩A28 茶灰色の黒色緻密質安山岩である。原礫面には爪跡状のくぼみがみられる。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器1点・石核1点を含み、総重量は47.19gである。

・安山岩B1 剥離面は淡明灰色を呈し、トロトロ石と俗称される。径0.3mm程度の黒色の斑晶が入る。



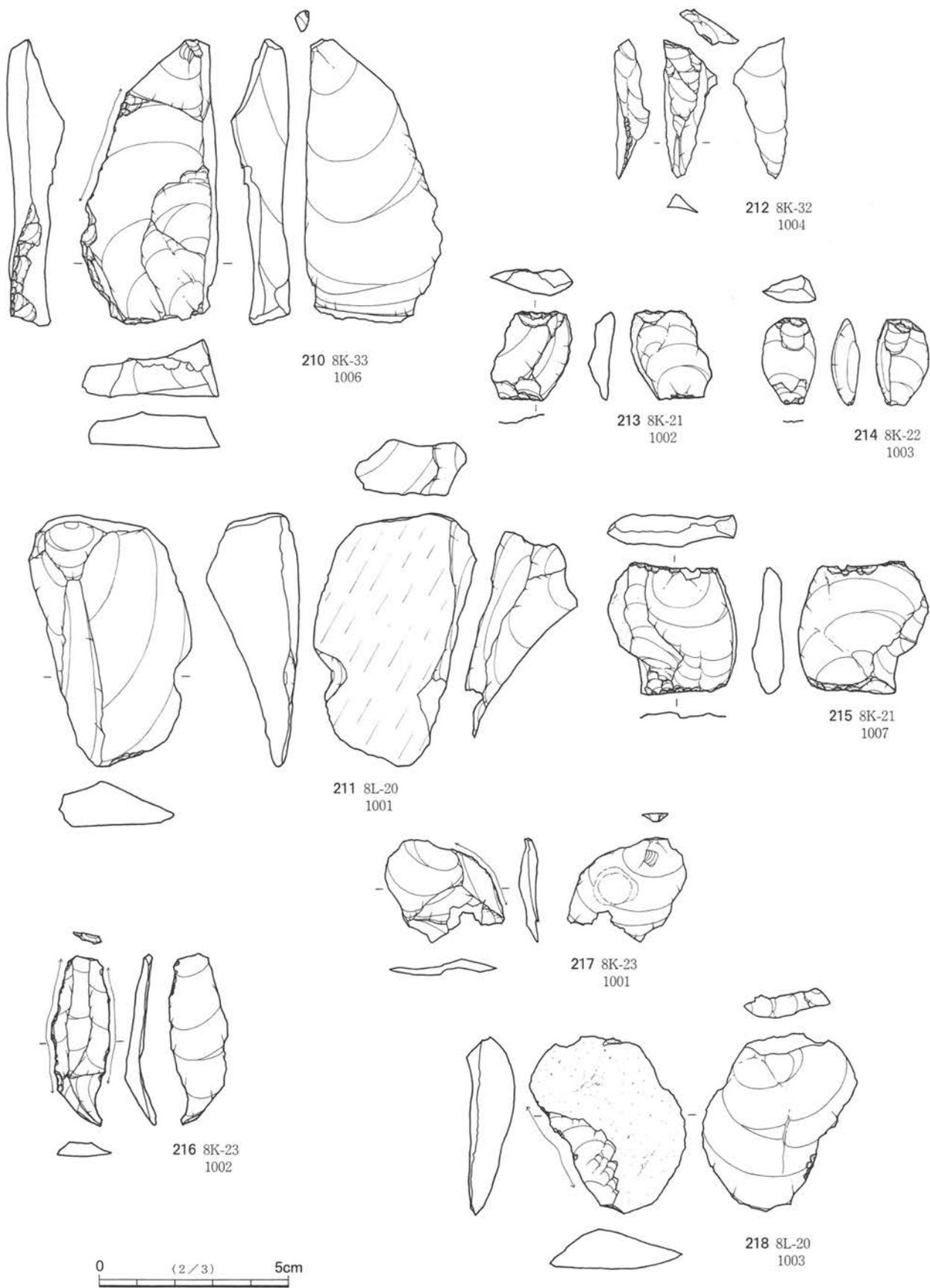
第88図 第21ブロック石器別分布図



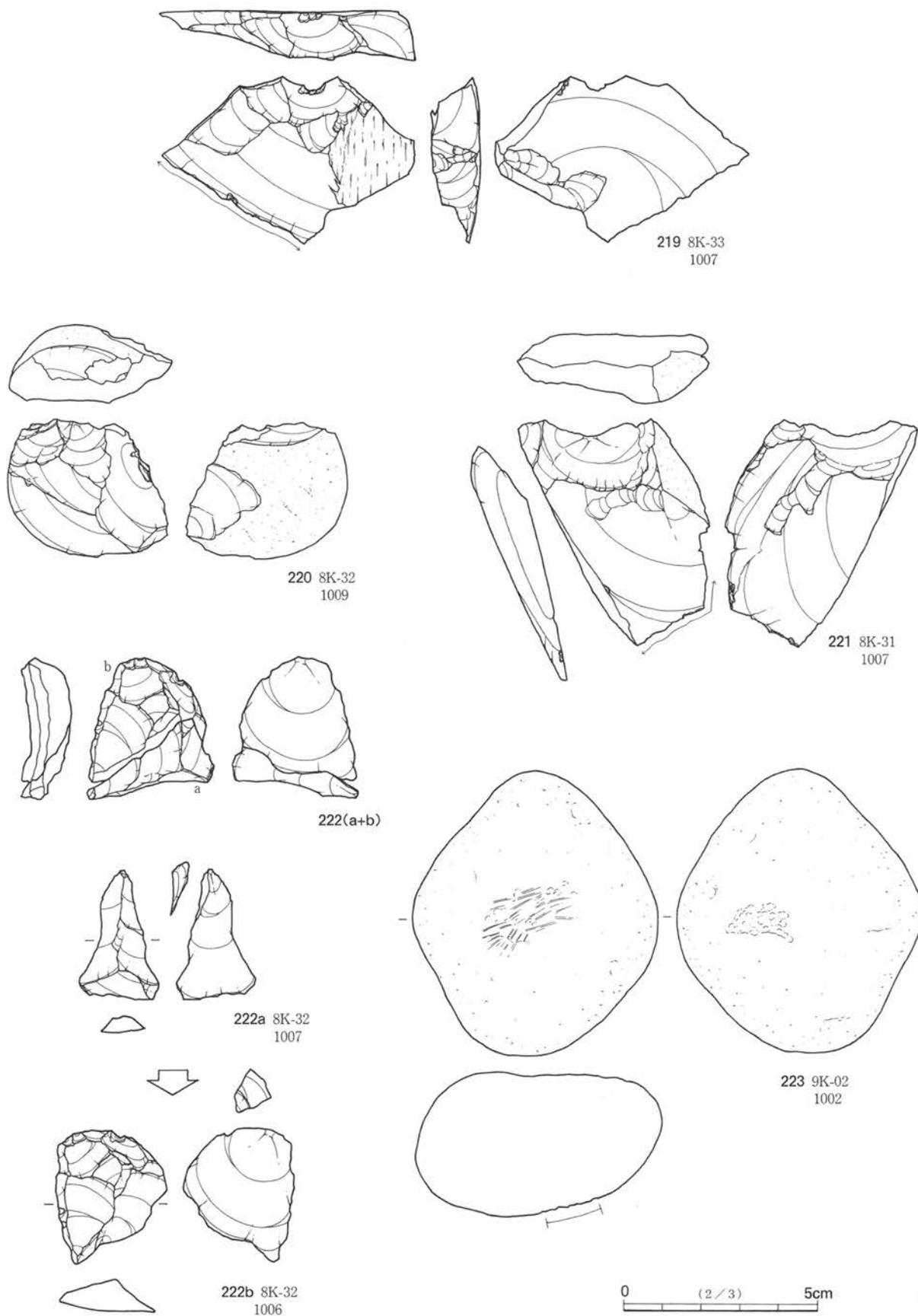
第89図 第21ブロック母岩別分布図

原礫面は剥離面と同様の色調である。剥片2点を含み、総重量は5.67gである。

- ・安山岩B16 淡灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は3.06gである。
- ・安山岩B17 青灰色を呈し、風化の度合いが強い。剥片1点を含み、総重量は0.25gである。
- ・流紋岩1 剥離面はベージュ色、石英質、淡青灰色、青黒色の部分が斑状に入り混じる。剥片5点を含み、総重量は16.14gである。
- ・流紋岩15 剥離面は淡黄褐色の地に、淡青灰色やベージュ色の部分が斑状に入る。また石英質の斑晶が入る。原礫面は淡黄褐色の地に、淡茶褐色の部分が縞状に入る。剥片2点が含まれるが、一方は黄褐色がかり、一方は青灰色がかり。剥片2点を含み、総重量は9.02gである。
- ・黒曜石5 剥離面は無色透明の地に、漆黒から明灰色の不透明の部分が縞状に入る。肉眼観察では小深沢産と思われる。楔形石器1点を含み、総重量は0.11gである。
- ・頁岩9 原礫面・剥離面ともにベージュ色を呈する。粗い質感で頁岩というよりは、むしろホルンフェルスであると考えられる。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片4点を含み、総重量は22.63gである。
- ・頁岩33 剥離面は青灰色を呈し、原礫面は剥離面と同様の色調で滑らかな質感である。2点の剥片が含まれるが、色調が異なり別母岩である可能性がある。総重量は1.10gである。
- ・頁岩34 剥離面は青灰色と淡黄褐色の部分からなり、青灰色の部分には多角形状の淡黄褐色の部分が斑状に入る。原礫面は黄色がかかった淡青灰色を呈する。滑らかな質感で、疎らに爪跡状のくぼみが入る。剥片1点を含み、総重量は12.45gである。
- ・珪質頁岩11 青灰色を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は4.34gである。
- ・珪質頁岩16 青灰色、淡黄褐色、暗乳白色の部分からなる玉髓(メノウ)である。剥片1点を含み、総重量は2.96gである。
- ・珪質頁岩24 剥離面は淡緑灰色の地に、暗青灰色や暗乳白色の珪化度の高い部分が入る。剥離面でも原礫面に近い部分は、黄褐色を呈する。原礫面は淡赤褐色を呈する。剥片2点を含み、総重量は17.51gである。
- ・珪質頁岩25 原礫面は黄褐色を呈し、滑らかな質感である。台石1点を含み、総重量は220.32gである。
- ・珪質頁岩26 剥離面は暗乳白色を呈する玉髓である。ガジリ面は乳白色を呈する。剥片2点を含み、総重量は2.06gである。
- ・硬質頁岩25 剥片1点と石核1点を含むが、別母岩であると思われる。剥片8K-13-11は、剥離面は淡茶灰色を呈し、部分によって赤褐色を帯びる。重量は1.72gである。石核8K-33-7は、淡茶灰色と青灰色の部分からなる地に、ベージュ色の部分が斑状に入る。重量は28.50gである。
- ・硬質頁岩26 剥離面は淡暗紫灰色を呈し、暗乳白色や焦茶色の節理が入る。削器1点を含み、総重量は32.80gである。
- ・砂岩26 ベージュ色、淡茶褐色、淡青灰色の粒子からなる。ベージュ色の部分が大半を占める。節理面は、青灰色、茶褐色、ベージュ色の部分からなる。二次加工剥片1点を含み、総重量は49.67gである。
- ・砂岩27 淡赤褐色とベージュ色の粒子からなる。原礫面は黒変している部分がある。楔形石器1点を含み、総重量は21.28gである。
- ・砂岩28 黄褐色と青灰色の粒子からなる。原礫面は剥離面よりも、暗い色調である。剥片1点を含み、



第90図 第21ブロック出土石器(1)



第91図 第21ブロック出土石器(2)

総重量は8.10 gである。

・ホルンフェルス2 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が入る。原礫面は同様の色調で、点紋の入り方は剥離面と同様である。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は22.62 gである。

・玉髓1 剥離面は淡黄褐色半透明で、部分によって龜甲色を呈する。原礫面は同様の色調で多孔質である。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は7.57 gである。

・玉髓4 剥離面は乳白色半透明を呈し、青灰色の部分が断続的に縞状に入る。剥片1点を含み、総重量は3.85 gである。

・玉髓14 剥離面は、黄色がかった乳白色半透明を呈する。剥片2点を含み、総重量は19.74 gである。

・玉髓15 淡青灰色半透明とベージュ色不透明の部分からなる。剥片1点を含み、総重量は0.34 gである。

3) 出土遺物 (第90・91図, 図版17)

削器1点・二次加工剥片2点・楔形石器7点・剥片44点・石核3点・台石1点・礫8点の計66点が出土した。

削器(210)は硬質頁岩26製で、厚手の剥片を素材とする。左側縁の下部に鋸歯縁状の刃部を作出している。また左側縁は使用によるためか縁辺が光沢を帯びている。

二次加工剥片は2点(211・212)が出土した。211は砂岩26製で節理面に沿って剥離されている分厚い剥片を素材とする。右側縁に、二次加工によるノッチ状の刃部がみられる。212は玉髓1製で、縦長剥片を素材とし、頭部を欠損している。左側縁の下半に二次加工がみられる。

楔形石器は7点(165e・213~215)が出土した。165eは珪質頁岩11製で、第15ブロックと接合関係を持つ資料である。第15ブロックで両極剥離によって消費され、器体が縦割れを起こしたものの片方が搬入されている。それ以外には、剥片を素材とするもの(215)、小礫を消費する過程を示しているもの(213・214)がみられる。石材は安山岩A1が2点(213・214)、安山岩A28が1点(215)、黒曜石5が1点、珪質頁岩11が1点(165e)、砂岩27が1点、ホルンフェルス2が1点である。

石核は3点(219~221)が出土した。礫から交互剥離によって一般剥片を生産し、残核がチョッピング・ツール状を呈するもの(220)、厚手の剥片を素材として一般剥片を生産するもの(219・221)がみられる。石材は安山岩A20が1点、安山岩A28が1点、硬質頁岩25が1点、玉髓15が1点である。

台石(223)は珪質頁岩25製で、円礫の表裏の平坦面に敲打痕がみられる。

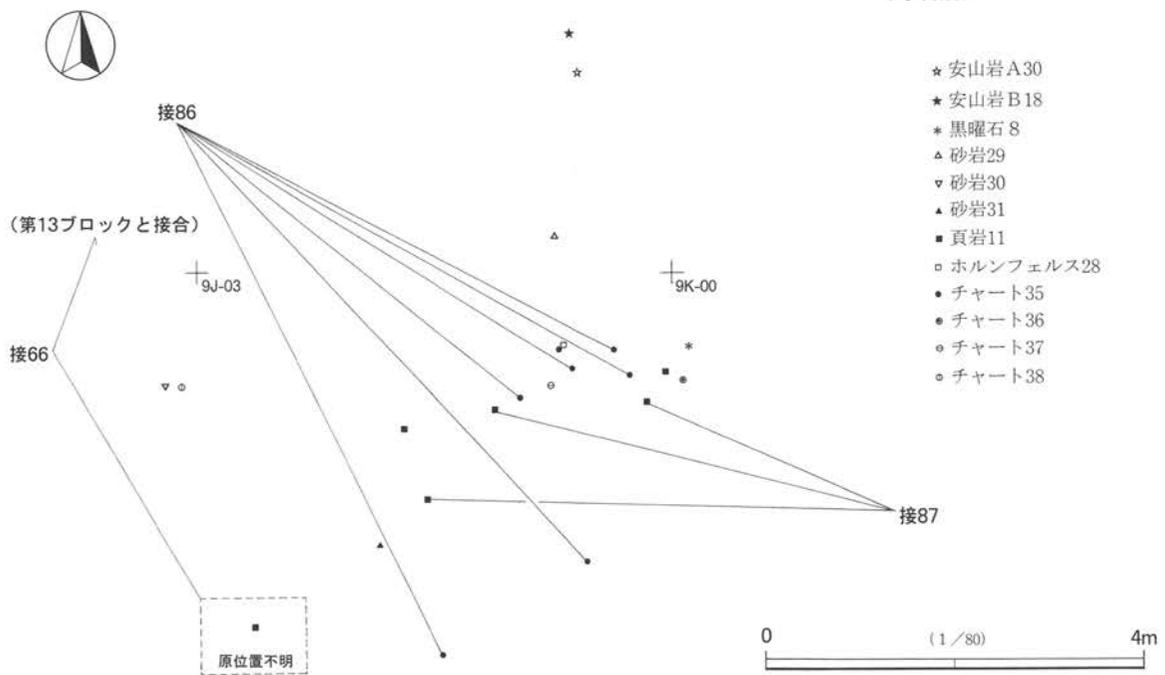
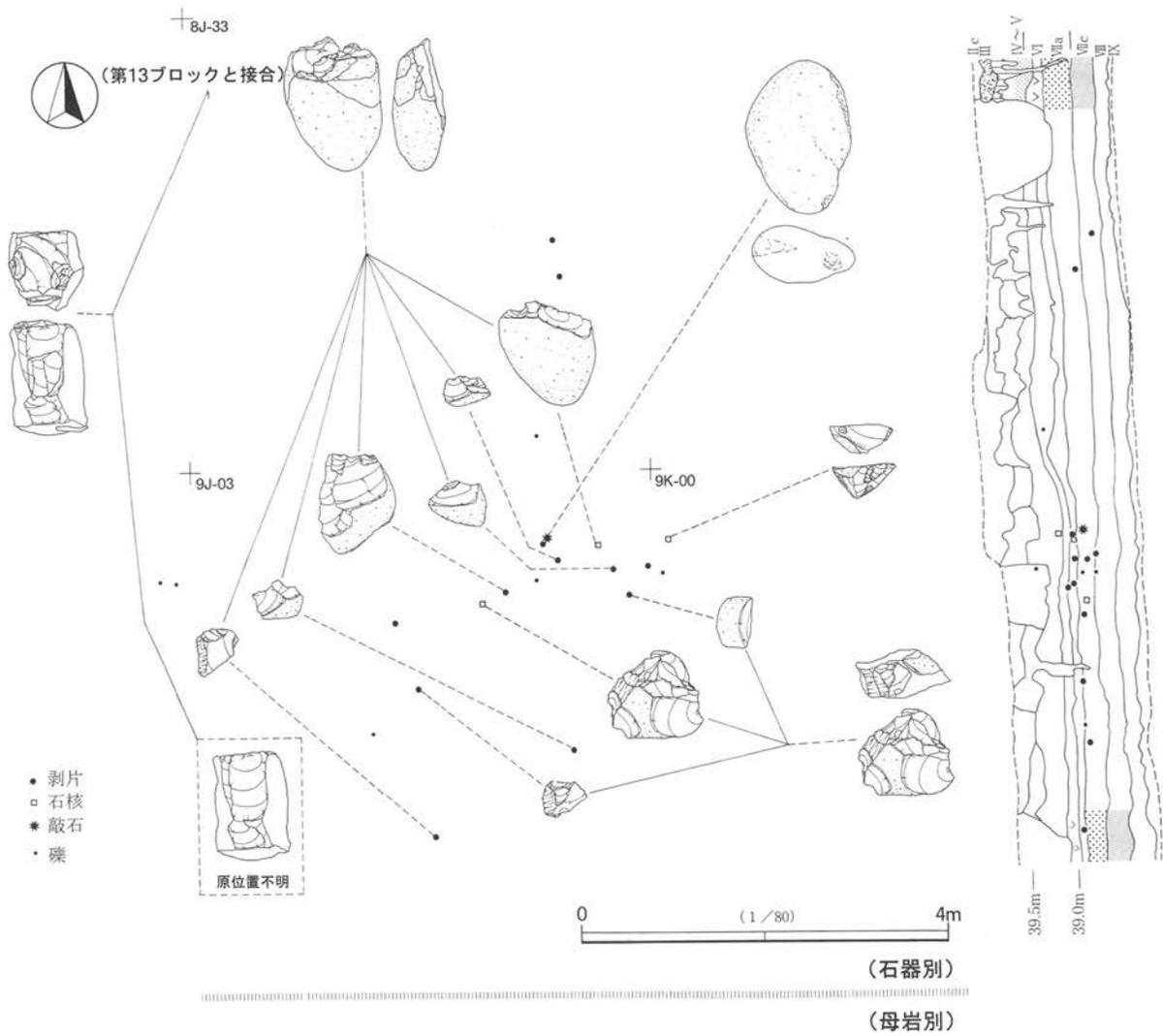
本ブロックから出土した剥片は、石刃が2点(216・8K-31-4)みられるほかは、一般剥片で占められる。母岩分類の困難な黒色緻密質安山岩を除くと、母岩あたりの剥片の数は多くて5母岩である。母岩数は比較的多いにもかかわらず、母岩あたりの点数は少ない。

第22ブロック (第92図, 第24・63表, 図版5)

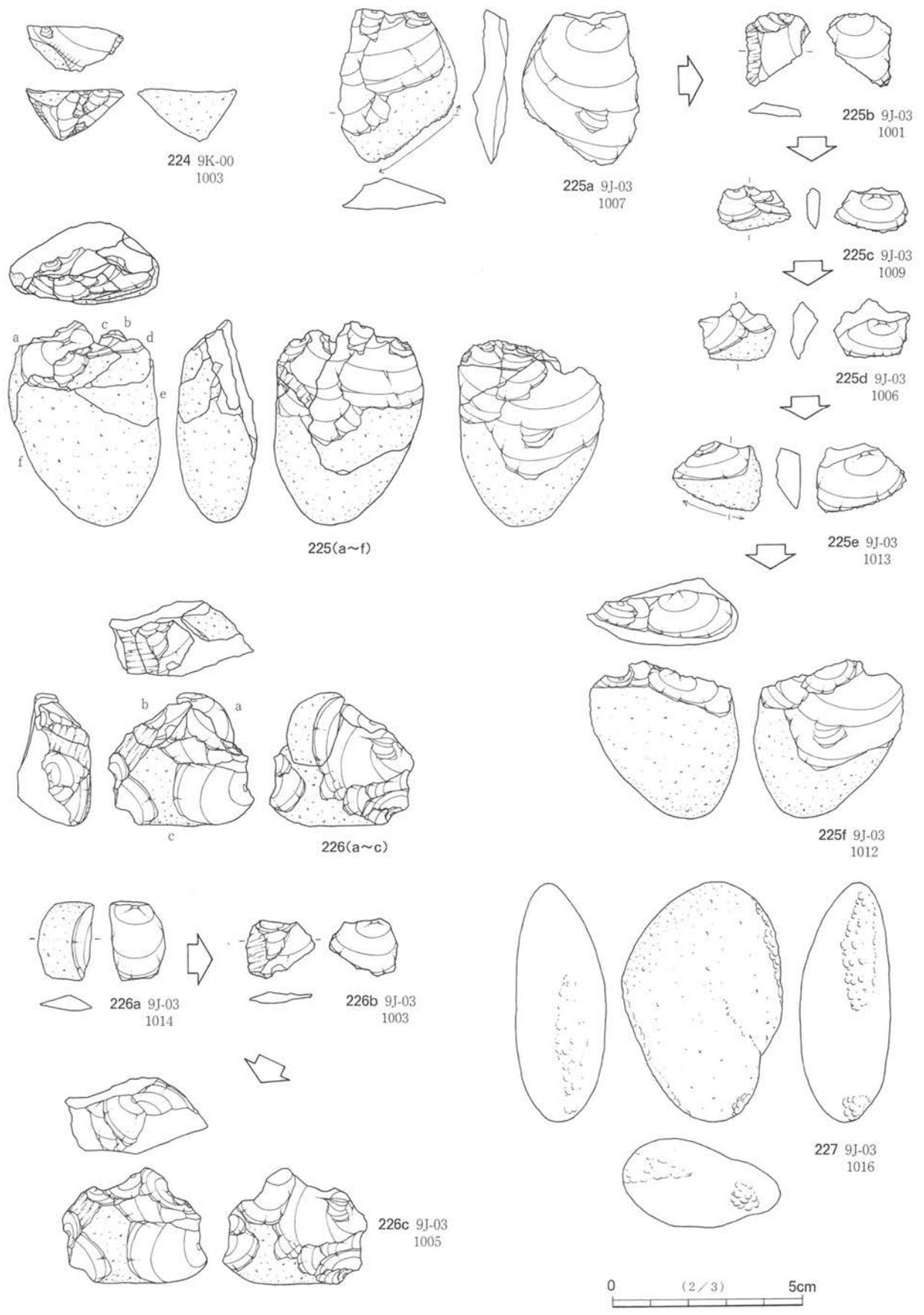
1) 概要

IV・V層からVIIc層(IXc層)にかけて23点の遺物が出土し、VI層からVIIa層(IXa層)上部に特に集中して分布する。石器組成は、剥片12点・石核4点・敲石1点・礫6点の計23点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩1点(安山岩A30)・安山岩1点(安山岩B18)・黒曜石1点・黒色頁岩6点(頁岩11)・ホルンフェルス1点・チャート7点の計17点である。本ブロックでは、一般剥片生産を行ったことを示す接合資料が2組みられた。また本ブロック出土の石刃核と、第13ブロック出土の剥片3点が接合している。

2) 母岩別資料



第92図 第22ブロック遺物分布図



第93図 第22ブロック出土石器

・安山岩A30 淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.3mm~1.0mmのベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は9.88gである。

・安山岩B18 淡青灰色の地に、径0.3mm~1.5mmのベージュ色の斑晶が入る。風化が強く進んでいる。剥片1点を含み、総重量は0.42gである。

・黒曜石8 無色透明の地に、黒色不透明の部分が縞状に入る。肉眼観察では小深沢産のものに類似する。石核1点を含み、総重量は2.61gである。

・頁岩11 剥離面はベージュ色を呈し、部分的に淡青灰色を呈する黒色頁岩である。原礫面は淡く緑がかったベージュ色を呈する。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片4点・石核2点を含み、総重量は96.59gである。

・ホルンフェルス28 原礫面は青灰色を呈し、淡黄褐色の点紋が入る。敲石1点を含み、総重量は84.00gである。

・チャート35 剥離面は青灰色を呈し、淡茶褐色の節理が入る。原礫面は同様の色調で、滑らかな質感である。爪跡状のくぼみが疎らにみられる。剥片6点・石核1点を含み、総重量は55.60gである。

3) 出土遺物 (第93図, 図版17)

剥片12点・石核4点・敲石1点・礫6点の計23点が出土した。

石核は4点(129 d・224・225 f・226 c)が出土した。129 dは単設打面から石刃生産を行う角柱状の石核である。打面調整は石刃生産の作業面に接する部分にのみみられる。石核の約半周を作業面として用いている。黒色頁岩(頁岩11)製である。13ブロック出土の剥片3点と接合する。224は黒曜石8製の角礫を分割し、分割面から剥片剥離を行っている。225 fは礫から交互剥離によって一般剥片生産を行い、残核がチョッピング・ツール状を呈する資料である。チャート25製で、5点の剥片が接合する(225 a~e)。226 cは礫を素材として、2つの作業面から求心状に一般剥片生産を行っている。129 dと同じ頁岩11に分類されているが、石核の表裏に原礫面が残っていること、全体の形状から判断して円礫を分割することなく使用しており、129 dと同一母岩ではない。剥片2点が接合する。

敲石(227)はホルンフェルス28製で、扁平礫の周縁に敲打痕がみられる。

本ブロック出土の剥片は、225 fと226 cの2つの石核から剥離された資料がほとんどで、それ以外には安山岩A30製の縦長剥片が1点出土している。また第13ブロックで述べたように、本ブロックから出土した頁岩11製の剥片3点と、第22ブロックから出土した石核1点が接合している。

第23ブロック (第94図, 第25・64表)

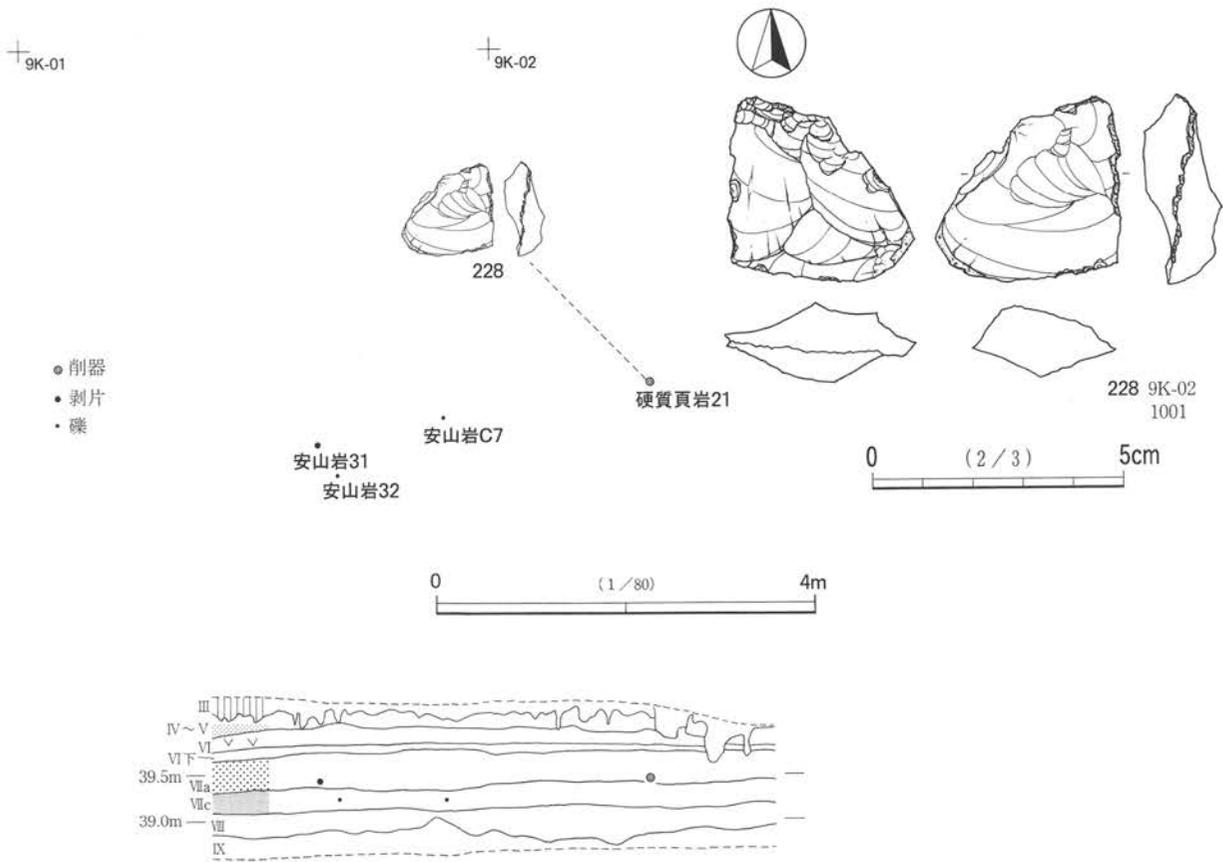
1) 概要

VII a層(IX a層)からVII c層(IX c層)にかけて4点の遺物が出土している。石器組成は、削器1点・剥片1点・礫2点の計4点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩1点・珪質頁岩1点(硬質頁岩27)・安山岩1点(礫)・砂岩1点(礫)である。本ブロックから出土した石器は、黒色緻密質安山岩製のものと珪質頁岩製のものが1点ずつみられる。

2) 母岩別資料

・安山岩A31 剥離面は淡青灰色を呈し、径1.0mm~2.0mmのベージュ色と黒色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数にみられる黒色緻密質安山岩である。剥片1点を含み、総重量は8.53gである。

・硬質頁岩27 剥離面は、淡紫灰色と淡青灰色の部分からなる。原礫面は黄褐色を呈する。削器1点を含



第94図 第23ブロック遺物分布図・出土石器

み、総重量は13.72 gである。

3) 出土遺物 (第94図, 図版17)

削器 1点・剥片 1点・礫 2点が出土した。

削器(228)は硬質頁岩27製で、一般剥片を素材とする。裏面の右側縁を中心に二次加工が施されている。背面側には、疎らに二次加工がみられるのみで、素材剥片の端部の右側に原礫面を残す。剥片は、安山岩A31製の矩形的剥片である。背面の左側に原礫面を残す。

第24ブロック (第26・65表)

1) 概要

6点の剥片が出土している。セクション図・平面図とも作成を行っていないが、遺物台帳にはV層からの出土が2点(15J-10-1001 a・15J-10-1001 b), VI層からの出土が2点(15J-21-1001・15J-21-1002), VII層からの出土が2点(15J-21-1003・15J-21-1004)と記録されている。石材組成は、ホルンフェルス 1点・玉髓 5点である。本ブロックでは、石器としての使用に不適当な部分を除去する作業で生じたと思われる玉髓の剥片が出土している。

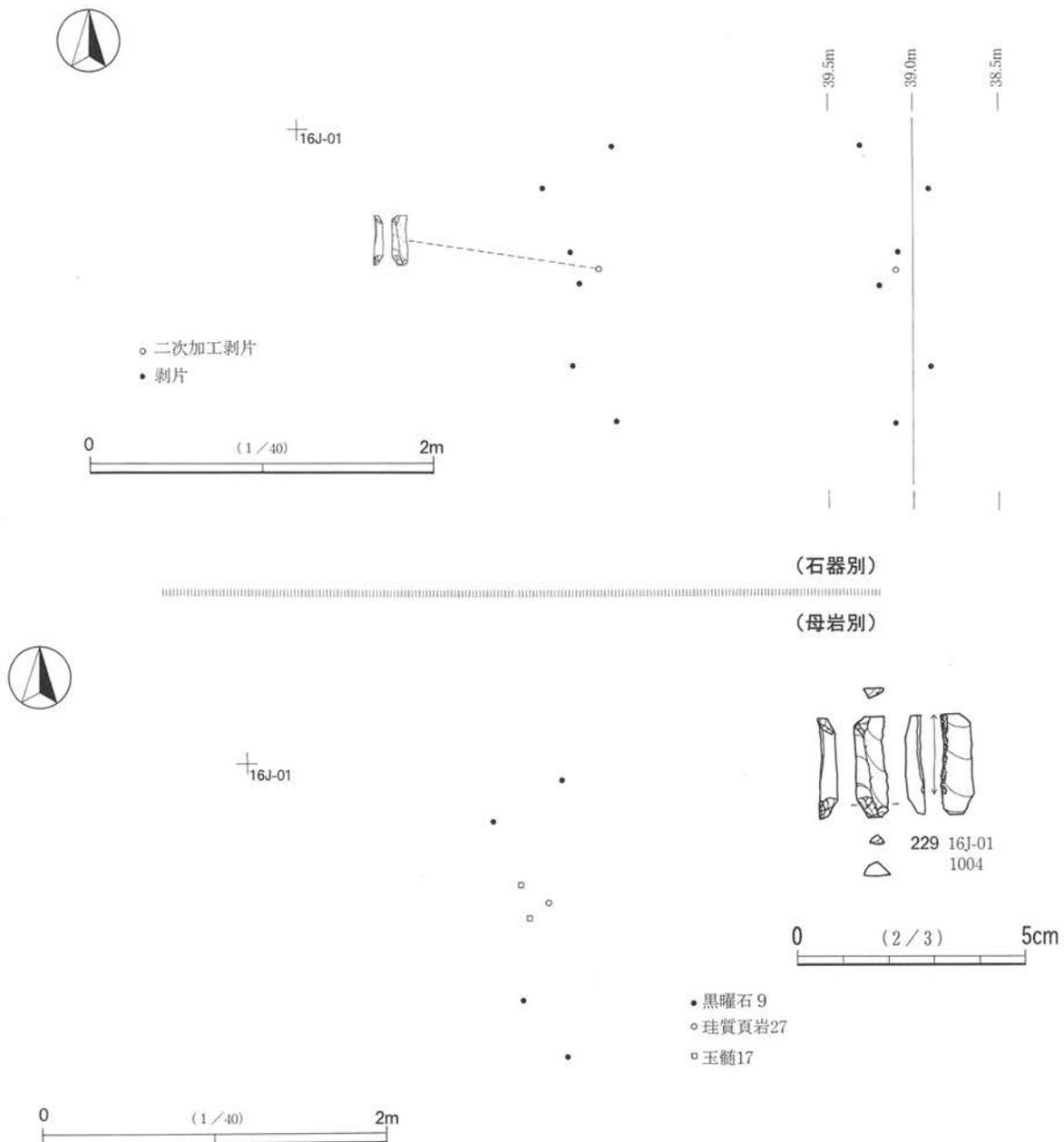
2) 母岩別資料

・ホルンフェルス29 剥離面は淡青灰色の地に、ベージュ色の部分が縞状に入る。原礫面は剥離面と同様の色調で、滑らかな質感である。剥片 1点を含み、総重量は46.18 gである。

・玉髄16 剥離面は、黄色がかったベージュ色不透明の部分と、焦茶色半透明で光にかざすと黄色の部分からなる。前述の部分の方が原礫面側である。原礫面は黄色がかったベージュ色で、凝灰岩質である。剥片5点を含み、総重量は23.65gである。

3) 出土遺物

6点の剥片が出土しており、石材はホルンフェルスが1点、玉髄が5点である。ホルンフェルス29製の剥片は、周縁に原礫面を残す板状の剥片である。玉髄16製の剥片は5点出土しており、うち2点が折損面で接合し1点となるため実数は4点である。これらの剥片は、凝灰岩質の柔らかい部分と珪化した半透明の部分からなるが、凝灰岩質の部分の割合が高い剥片が、5点中4点を占める。このことから石器としての利用に適さない部分を除去した資料と思われる。



第95図 第25ブロック遺物分布図・出土石器

第25ブロック（第95図，第27・66表）

1) 概要

8点の遺物が出土している。平面図のみ作成を行った。遺物台帳の記載では、16J-01-1008が表面採集品である以外は、すべてVI層からの出土である。石器組成は、二次加工剥片1点・剥片7点の計8点である。石材組成は、黒曜石4点・玉髄4点(珪質頁岩27，玉髄17・18)である。本ブロックから出土した石器は、いずれも一般剥片である。

2) 母岩別資料

・黒曜石9 黒色半透明の地に、径0.3mm～2.0mmの黒色やベージュ色の斑晶が入る。原礫面は曇っており、稜になっている部分はつぶれて淡灰色を呈している。肉眼観察では高原山産に類似する。剥片4点を含み、総重量は26.95gである。

・珪質頁岩27 剥離面は、焦茶色を呈し、淡黄褐色の部分が縞状に入る玉髄である。光にかざすと鱗甲色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は0.49gである。

・玉髄17 剥離面は淡黄色半透明を呈する。原礫面は黄色がかかるベージュ色を呈し、凝灰岩質である。剥片2点を含み、総重量は11.66gである。

・玉髄18 剥離面は淡黄色半透明の地に、茶色不透明の部分が縞状に入る。剥片1点を含み、総重量は1.03gである。

3) 出土遺物（第95図，図版17）

二次加工剥片1点・剥片7点の計8点が出土している。

二次加工剥片は玉髄(珪質頁岩27)製で、腹面側の左側縁に微細剥離痕のみられる細石刃様の小型の縦長剥片である。この微細剥離痕は二次加工であるかどうかは不明である。

剥片は黒曜石が4点、玉髄が3点である。いずれも一般剥片で、黒曜石9製のものには2点のシレ氏彫器が含まれ、玉髄17製の2点はいずれも原礫面付きの資料である。

第26ブロック（第96・97図，第28・67表）

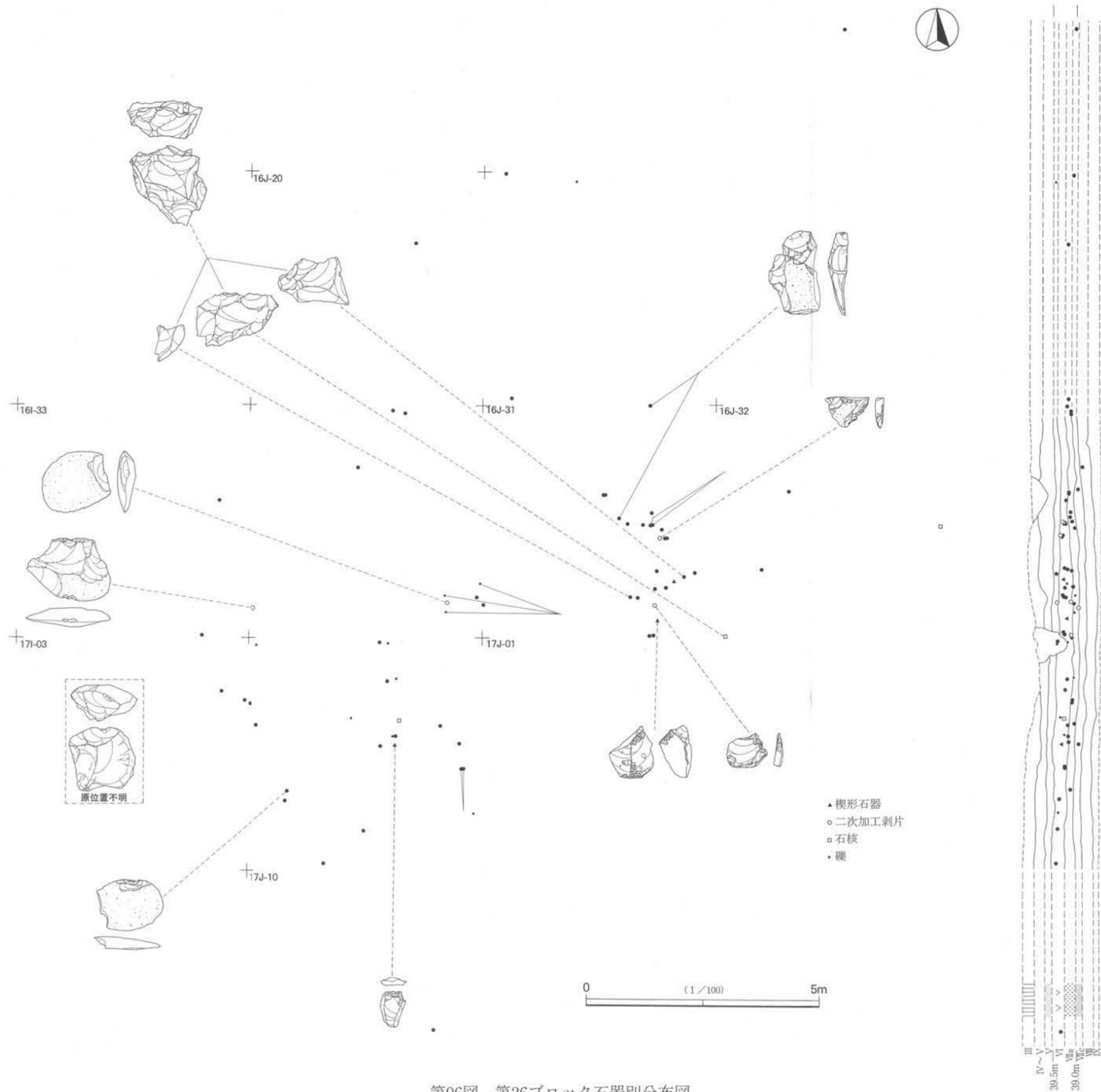
1) 概要

V層からVIII層(X層)にかけて72点の遺物が出土し、VI層に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片4点・楔形石器3点・剥片50点・石核5点・礫10点の計72点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩8点(安山岩A3・A32・A33，頁岩43)・トトロ石1点(安山岩B19)・流紋岩1点・黒曜石14点・頁岩13点(頁岩35～37・40・42，砂岩33)・黒色頁岩3点(頁岩38・39)・白滝頁岩5点(珪質頁岩28，嶺岡頁岩5・8)・玉髄2点(珪質頁岩29，玉髄16)・珪質頁岩6点(硬質頁岩28，チャート41)・ホルンフェルス6点・黒色珪質頁岩2点(チャート40)・チャート1点(チャート42)の計62点である。本ブロックから出土した石器は、一般剥片で占められており、母岩あたりの剥片数は多くて5点程度である。

2) 母岩別資料

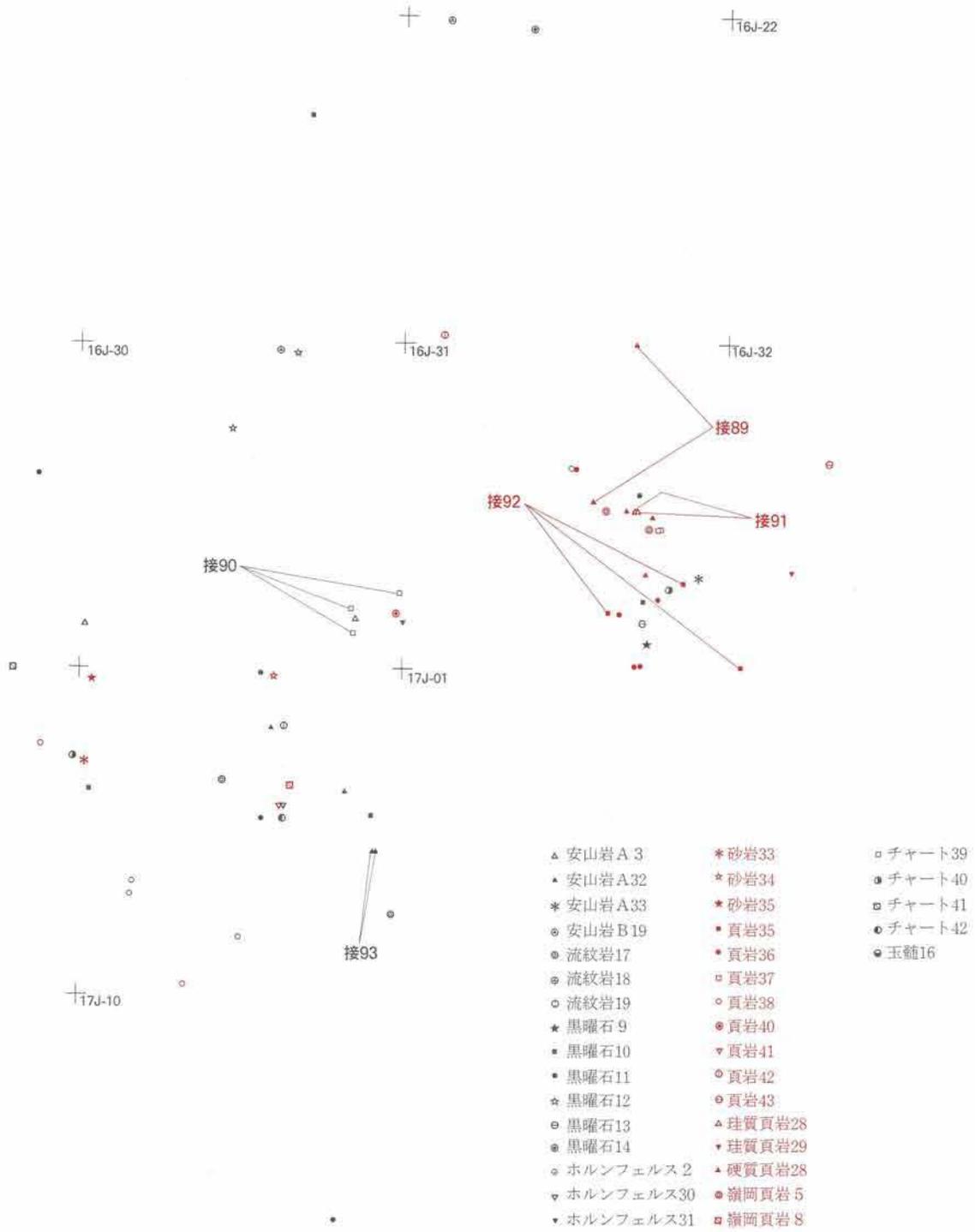
・安山岩A3 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。茶色がかかる部分が斑状に入る。径0.3mm～1.0mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。二次加工剥片2点を含み、総重量は42.64gである。

・安山岩A32 青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。茶色がかかる部分が斑状に入る。径0.3mm～1.0mm程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。原礫面は微細な孔が無数にみられる。剥片4点を含み、総重量は13.79gである。

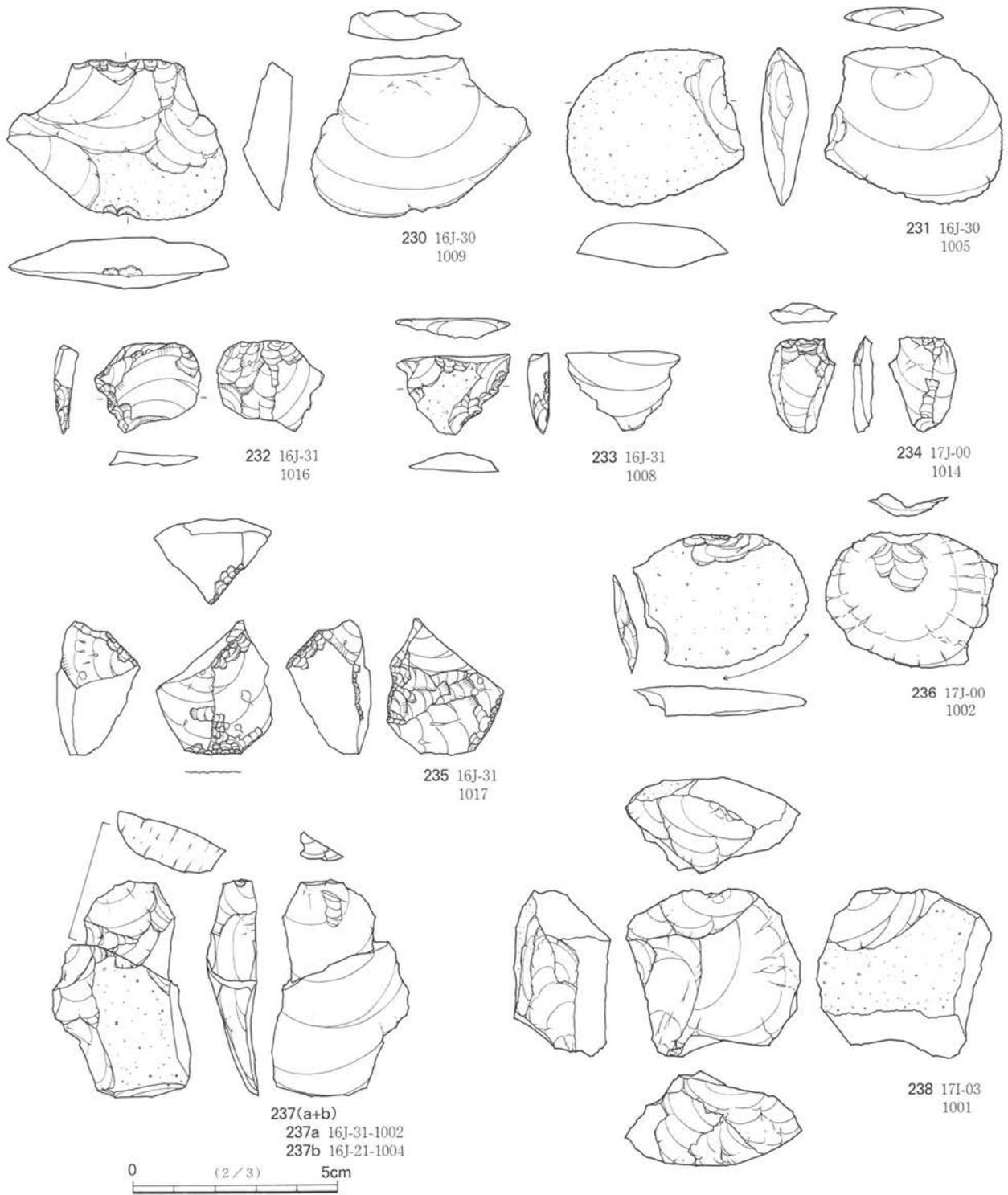


第96図 第26ブロック石器別分布図

- ・安山岩A33 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は6.58gである。
- ・安山岩B19 剥離面は茶色がかった淡灰色を呈する。トロトロ石と俗称される。剥片1点を含み、総重量は0.93gである。
- ・流紋岩18 剥離面は淡緑灰色の地に、石英質の斑晶が入る。原礫面は茶褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は1.65gである。
- ・黒曜石9 黒色半透明の地に、径0.3mm～2.0mm程度の黒色やベージュ色の斑晶が入る。肉眼観察では高山産に類似する。楔形石器1点・石核1点を含み、総重量は12.92gである。
- ・黒曜石10 無色透明の地に、黒色不透明の部分が縞状に入る。また径1.0mm程度の石英質の斑晶が入る。剥片4点を含み、総重量は3.72gである。
- ・黒曜石11 剥離面は灰色不透明の地に、径0.5mm～5.0mmの淡明灰色の球顆が入る。原礫面は、すりガラス状で爪跡状のくぼみが入る。原礫面の特徴や球顆に変異があり、複数の母岩が含まれている可能性がある。剥片5点を含み、総重量は22.25gである。
- ・黒曜石12 無色透明である。剥片1点・石核1点を含み、総重量は0.76gである。
- ・黒曜石13 黒色不透明の地に、灰色の部分が繊維状に入る。二次加工剥片1点を含み、総重量は2.13gである。
- ・頁岩35 剥離面は淡緑灰色を呈する。ガジリ面は青緑色から青灰色を呈する。剥片2点・石核1点を含み、総重量は51.23gである。
- ・頁岩36 剥離面は淡青灰色と淡黄褐色を呈するホルンフェルスである。剥片5点を含み、総重量は34.19gである。
- ・頁岩37 剥離面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は3.36gである。
- ・頁岩38 淡青灰色を呈する黒色頁岩である。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は3.08gである。
- ・頁岩39 剥離面は淡青灰色を呈し、部分的に黄褐色がかかる黒色頁岩である。ガジリ面は青黒色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で爪跡状のくぼみが入る。石核1点を含み、総重量は43.90gである。
- ・頁岩40 剥離面は青緑色の部分と、黄色がかったベージュ色の部分が互層になる。ガジリ面は青緑色を呈する。剥片1点を含み、総重量は8.63gである。
- ・頁岩42 剥離面は焦茶色を呈する。強く風化している部分はベージュ色がかかる。原礫面はベージュ色を呈し、粗い質感である。剥片1点を含み、総重量は20.51gである。
- ・頁岩43 淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。部分的に茶色がかかり、また白色の斑晶が入る。剥片1点を含み、総重量は0.23gである。
- ・珪質頁岩28 剥離面は淡青灰色の地に、乳白色や青黒色の珪化度が高い部分が入る白滝頁岩である。剥片2点を含み、総重量は4.51gである。
- ・珪質頁岩29 剥離面は青黒色、黄褐色、淡青灰色の部分が縞状に入る玉髓(メノウ)である。剥片1点を含み、総重量は14.47gである。
- ・硬質頁岩28 剥離面は茶灰色を呈する。原礫面は焦茶色を呈する。剥片5点を含み、総重量は37.19gである。



第97図 第26ブロック母岩別分布図

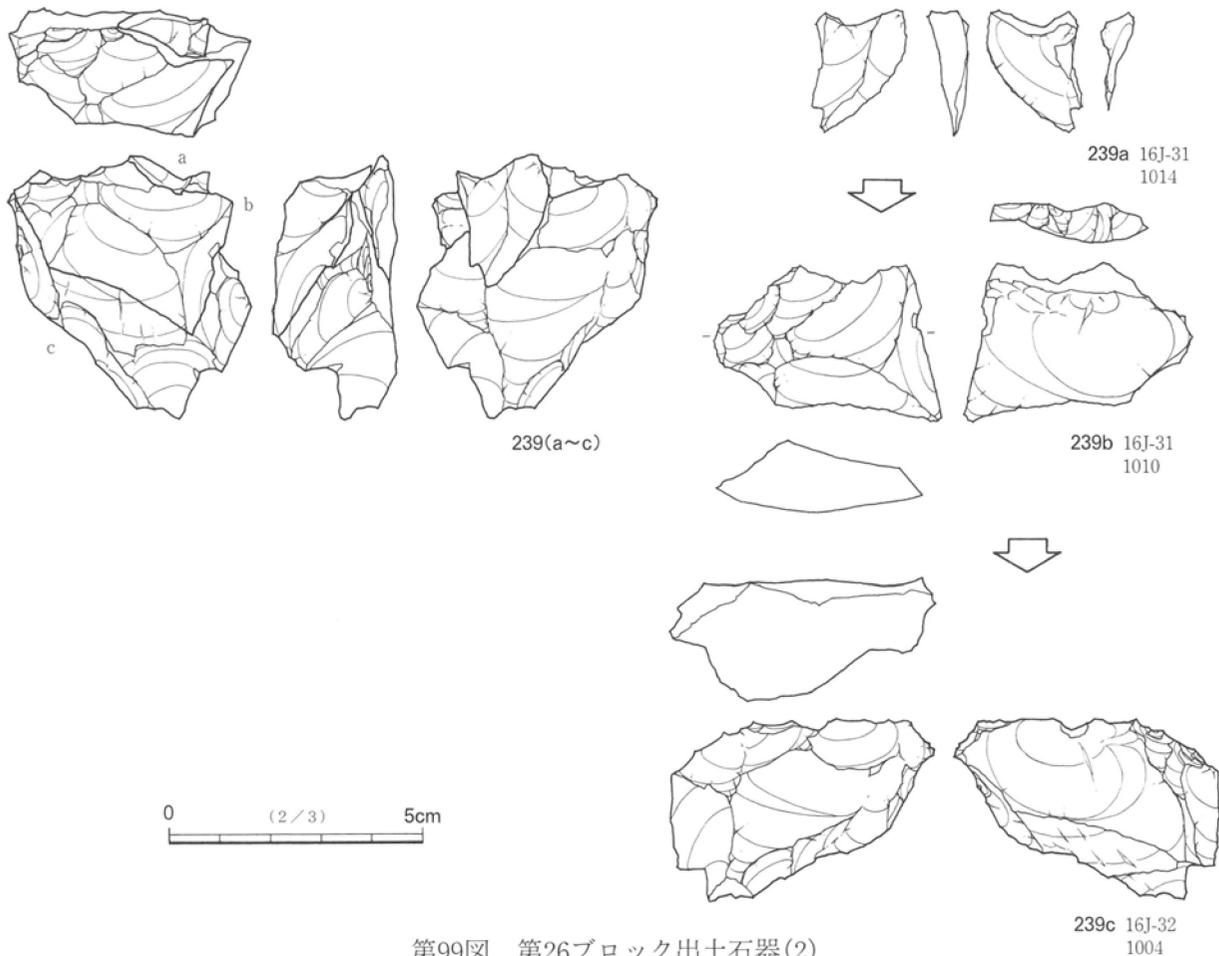


第98図 第26ブロック出土石器(1)

・嶺岡頁岩 5 剥離面は淡青灰色の地に、青黒色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。原礫面は淡茶褐色から、緑がかった淡黄褐色を呈する。爪跡状のくぼみが無数にみられる。二次加工剥片 1 点・剥片 1 点を含み、総重量は 3.57 g である。

・嶺岡頁岩 8 緑灰色の地に、青灰色の珪化度の高い部分の入る白滝頁岩である。石核 1 点を含み、総重量は 5.07 g である。

- ・砂岩33 剥離面は淡緑灰色を呈する頁岩である。ガジリ面は青黒色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で、滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は46.08gである。
- ・ホルンフェルス2 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が入る。原礫面は同様の色調で、点紋の入り方は剥離面と同様である。剥片4点を含み、総重量は27.13gである。
- ・ホルンフェルス30 剥離面は淡青灰色の地に、淡茶褐色の微細な点紋が無数に入る。剥片1点を含み、総重量は11.21gである。
- ・ホルンフェルス31 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の部分が縞状に入る。原礫面は剥離面と同様の色調で、表面に微細な孔が無数に入る。剥片1点を含み、総重量は7.56gである。
- ・チャート40 剥離面は青灰色を呈する黒色珪質頁岩である。青黒色の節理がわずかにみられる。原礫面は剥離面と同様の色調で、爪跡状のくぼみがみられる。楔形石器1点・剥片1点を含み、総重量は8.05gである。
- ・チャート41 剥離面は青黒色を呈する。節理面は黄褐色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で爪跡状のくぼみが入る。珪化度はチャートほどではなく、珪質頁岩である。剥片1点を含み、総重量は54.86gである。
- ・チャート42 剥離面は青灰色を呈する。節理面は赤褐色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は1.85gである。



第99図 第26ブロック出土石器(2)

・玉髓16 剥離面は黄色がかかったベージュ色で、凝灰岩質の部分が大部分を占める。黄褐色半透明の部分が一部に入る。原礫面は、剥離面のベージュ色の部分と同様の色調で、表面はやや粗い質感である。剥片1点を含み、総重量は5.90gである。

3) 出土遺物 (第98・99図, 図版17)

二次加工剥片4点・楔形石器3点・剥片50点・石核5点・礫10点の計72点が出土した。

二次加工剥片は4点(230~233)が出土した。いずれも背面側に二次加工を施している。石材は、安山岩A3が2点、黒曜石13が1点、白滝頁岩(嶺岡頁岩5)が1点である。

楔形石器は3点(234・235)が出土した。厚手の剥片を素材とするものが1点(235)、小礫を消費しているものが2点(234)みられる。石材は、黒曜石が1点、チャートが2点である。

石核は5点(238・239c)が出土した。分割礫から求心状に剥離を行って、一般剥片を生産するもの(238)が1点、厚手の素材から交互剥離によって一般剥片を生産するもの(239c)が1点、両極剥離によって消費されているもので、楔形石器ともいえるものが1点、求心状剥離によって消費されており、作業面を2つもつ石核の破片が1点出土した。石材は、黒曜石が2点、頁岩35が1点、黒色頁岩(頁岩39)が1点、白滝頁岩(嶺岡頁岩8)が1点である。

本ブロックから出土した剥片は、一般剥片で占められる。母岩あたりに含まれる剥片の数は、多くて5点と比較的少ない。

第27ブロック (第100・101図, 第29・68表)

1) 概要

IV層からVIII層(X層)にかけて55点の遺物が出土し、VIIa層(IXa層)に特に集中して分布する。石器組成は、削器1点・二次加工剥片3点・剥片45点・石核6点の計55点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩15点(安山岩A31・A34~A36)・トロトロ石11点(安山岩B2・B20)・黒曜石5点・頁岩1点・白滝頁岩7点(嶺岡頁岩5・14~16)・鉄石英(黄)1点(嶺岡頁岩17)・凝灰岩6点(砂岩36~38)・ホルンフェルス8点・チャート1点である。本ブロックから出土した石器は、一般剥片が主体となっており、母岩あたりに含まれる剥片の数が少ないという特徴がある。

2) 母岩別資料

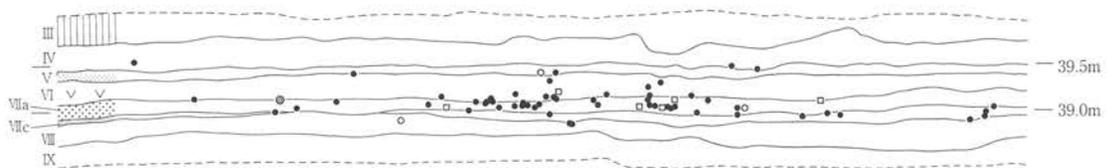
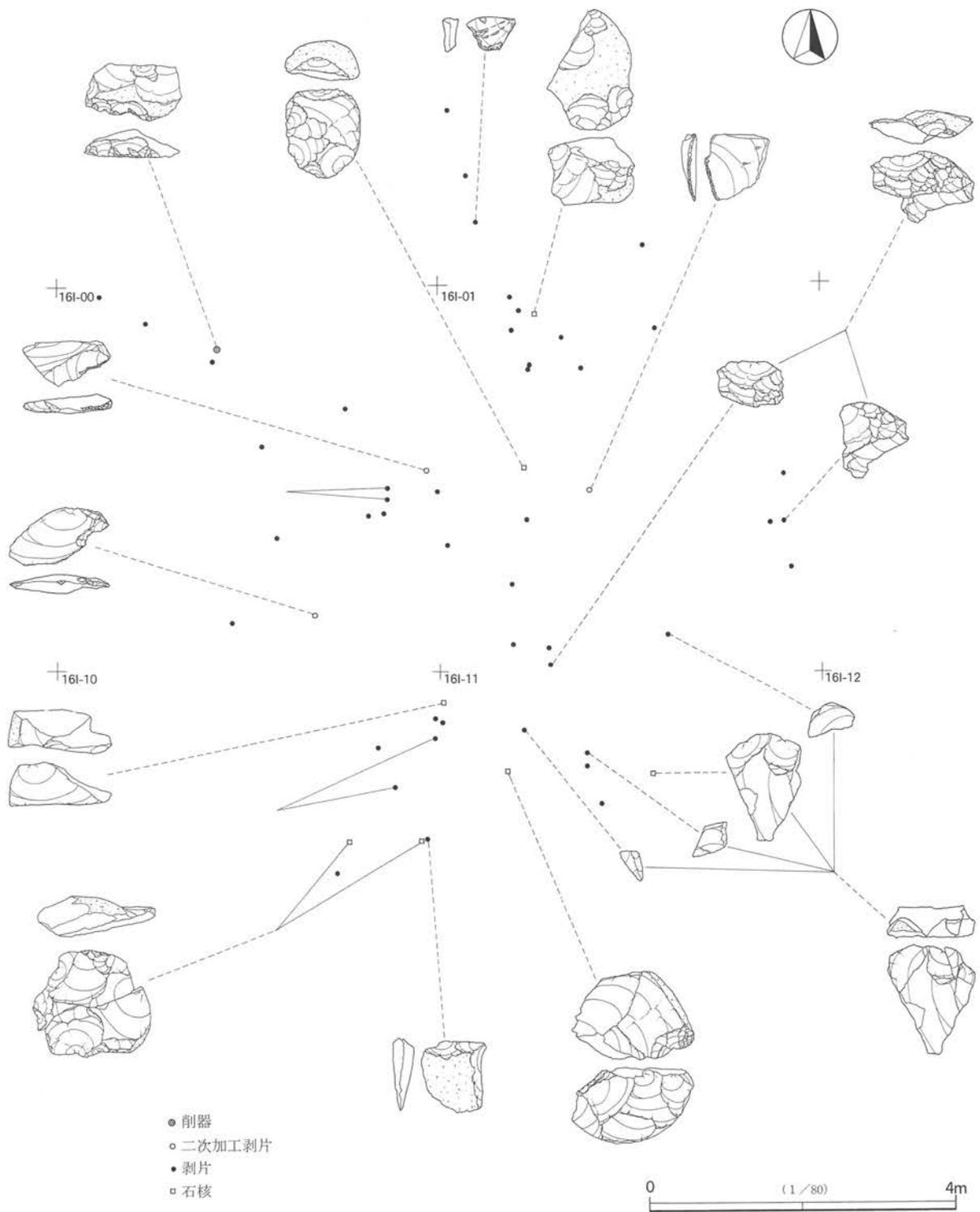
・安山岩A31 剥離面は淡青灰色を呈し、径0.3mm~1.0mmの黒色と明灰色の斑晶が入る黒色緻密質安山岩である。剥片2点を含み、総重量は1.02gである。

・安山岩A34 剥離面は淡茶灰色を呈し、径0.5mm~1.0mmの黒色とベージュ色の斑晶が入る黒色緻密質安山岩である。原礫面は黄褐色から茶褐色である。剥片5点・石核1点を含み、総重量は102.96gである。

・安山岩A35 剥離面は淡茶灰色と青灰色の部分が互層となる黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~2.0mmの黄色がかかったベージュ色と黒色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片4点・石核1点を含み、総重量は43.68gである。

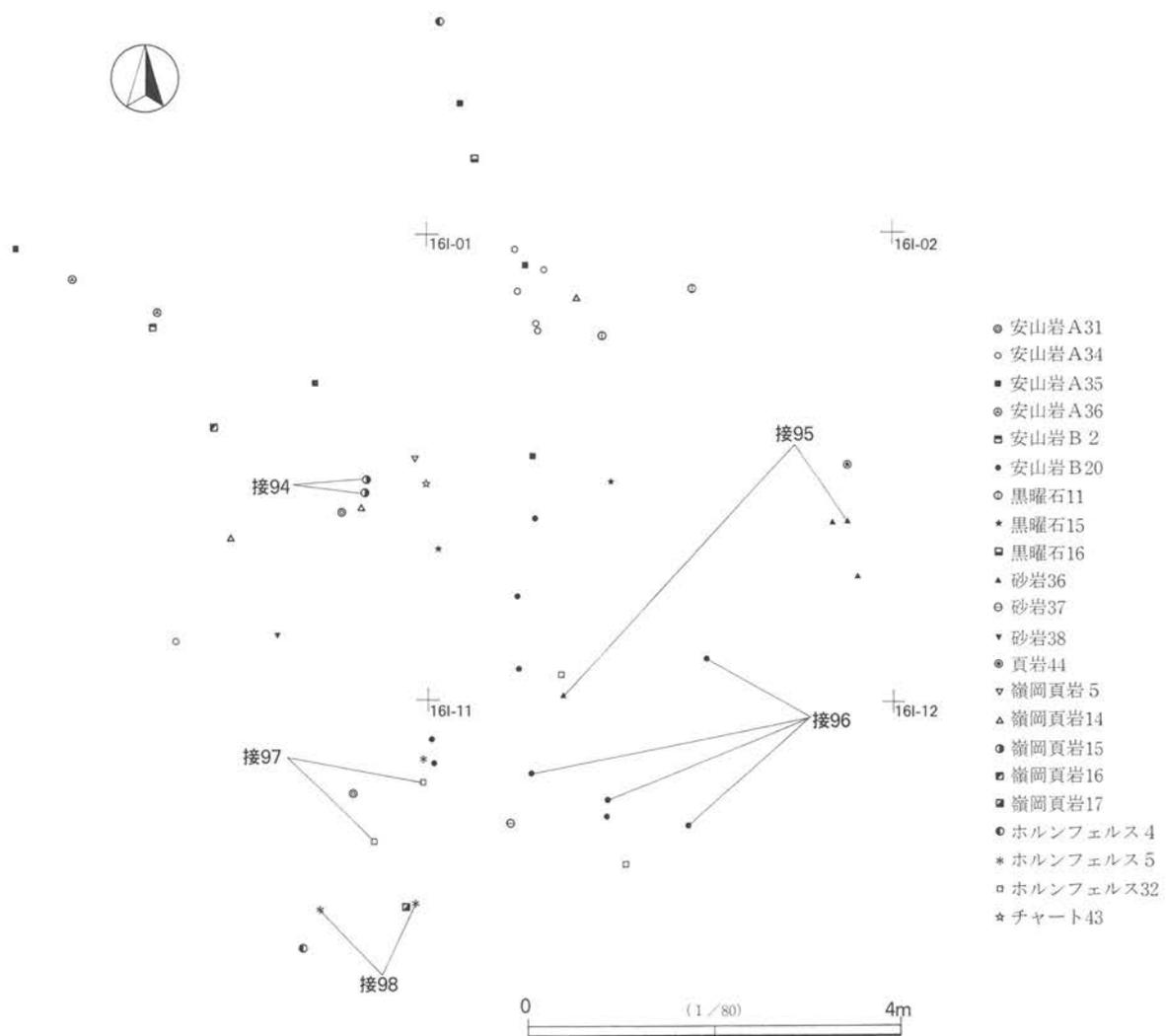
・安山岩A36 剥離面は青灰色の地に、径0.5mm~2.0mmの黒色、ベージュ色、石英質の斑晶が入る黒色緻密質安山岩である。原礫面は爪跡状のくぼみが無数に入る。削器1点・剥片1点を含み、総重量19.60gである。

・安山岩B2 剥離面は淡明青灰色を呈し、径0.5mm~2.0mmのベージュ色と黒色の斑晶が入る。トロトロ石と俗称される。また青灰色の部分が斑状に入る。剥片1点を含み、総重量は46.63gである。



第100図 第27ブロック石器別分布図

- ・安山岩B20 剥離面は淡明灰色を呈し、径0.3mm~1.5mmの黒色、石英質の斑晶が入る。トロトロ石と俗称される。剥片8点・石核2点を含み、総重量は74.78gである。
- ・黒曜石11 剥離面は黒色半透明で、光にかざすと灰色を呈する。原礫面はすりガラス状を呈する。剥片2点を含み、総重量は1.54gである。
- ・黒曜石15 剥離面は、無色透明の部分と灰色不透明の部分からなり、淡暗赤褐色の部分が縞状に入る。また径0.5mm~2.0mmの黒色と石英質の斑晶が入る。肉眼観察では、小深沢産に類似する。原礫面は、すりガラス状を呈する。二次加工剥片1点・剥片1点を含み、総重量は9.14gである。
- ・黒曜石16 剥離面は無色透明の地に、黒色不透明の部分が縞状に入る。肉眼観察では、小深沢産に類似する。原礫面はすりガラス状を呈する。剥片1点を含み、総重量は1.69gである。
- ・頁岩44 剥離面は淡青灰色を呈し、ベージュ色の部分が縞状に入る。ガジリ面は青灰色、原礫面は淡緑灰色を呈し、爪跡状のくぼみが入る。剥片1点を含み、総重量は4.0gである。
- ・嶺岡頁岩5 剥離面は淡青灰色から暗乳白色の地に、青灰色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。二次加工剥片1点を含み、総重量は6.74gである。



第101図 第27ブロック母岩別分布図

- ・嶺岡頁岩14 剥離面は淡緑灰色の地に、淡青灰色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片3点を含み、総重量は16.02gである。
- ・嶺岡頁岩15 剥離面は緑灰色の地に、青灰色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。部分的に茶褐色で、原礫面は茶褐色を呈する。剥片2点を含み、総重量は32.24gである。
- ・嶺岡頁岩16 剥離面は淡青灰色を呈し、色調の暗い部分が縞状に入る白滝頁岩である。原礫面は淡茶褐色から赤褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は27.47gである。
- ・嶺岡頁岩17 剥離面は黄褐色を呈し、淡黄褐色や赤褐色の部分が斑状に入る鉄石英(黄)である。原礫面は青灰色を呈し、爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片1点を含み、総重量は10.72gである。
- ・砂岩36 剥離面は淡青灰色、淡緑灰色、ベージュ色、青黒色の部分が微細な粒子状を呈する。ガジリ面は青黒色を呈する。原礫面は剥離面と同様の色調で、滑らかな質感である。ガジリ面の特徴から凝灰岩であると考えられる。剥片4点を含み、総重量は19.98gである。
- ・砂岩37 剥離面は青灰色の地に、淡明灰色の部分が縞状に入る。原礫面は剥離面よりも曇った色調で滑らかである。表面にはつぶれがみられる。砂岩ほど粒子が大きくなり、むしろ凝灰岩であると考えられる。石核1点を含み、総重量は106.13gである。
- ・砂岩38 剥離面は淡青灰色、青灰色の部分が微細な粒子状を呈する。ガジリ面は青黒色を呈する。ガジリ面の特徴から凝灰岩であると考えられる。二次加工剥片1点を含み、総重量は9.64gである。
- ・ホルンフェルス4 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含み、総重量は7.51gである。
- ・ホルンフェルス5 淡青灰色の地に淡灰色の微細な点紋が無数に入る。原礫面は同様な色調で硬質である。剥片1点・石核1点を含み、総重量は45.30gである。
- ・ホルンフェルス32 剥離面は淡灰色を呈し、風化の弱い部分が青黒色を呈する。原礫面は青黒色を呈し、滑らかな質感である。表面には無数の小孔がみられる。剥片4点を含み、総重量は48.95gである。
- ・チャート43 剥離面は黄色がかった乳白色を呈し、青灰色の節理が入る。原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.96gである。

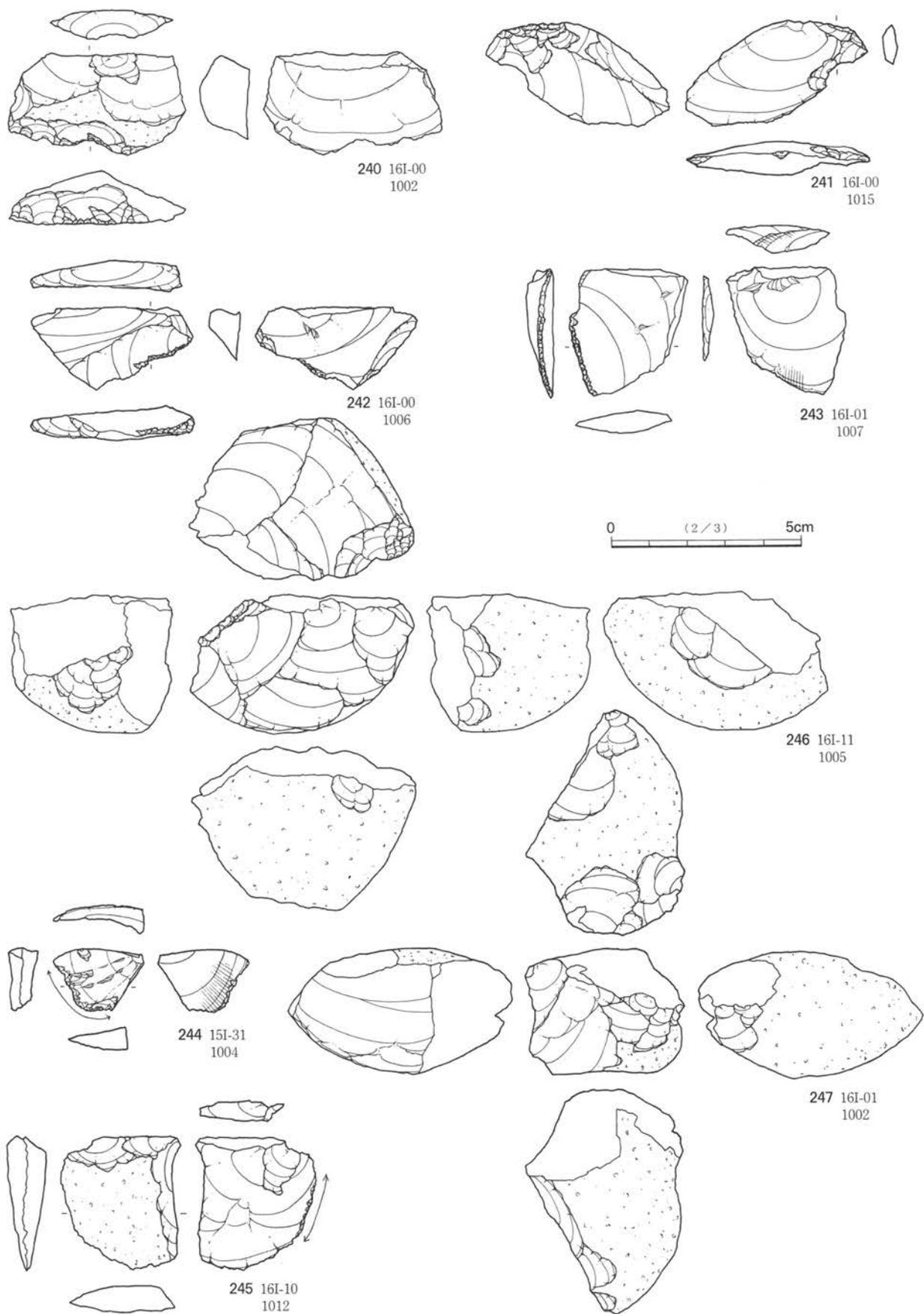
3) 出土遺物 (第102・103図, 図版18)

削器1点・二次加工剥片3点・剥片45点・石核6点の計55点が出土している。

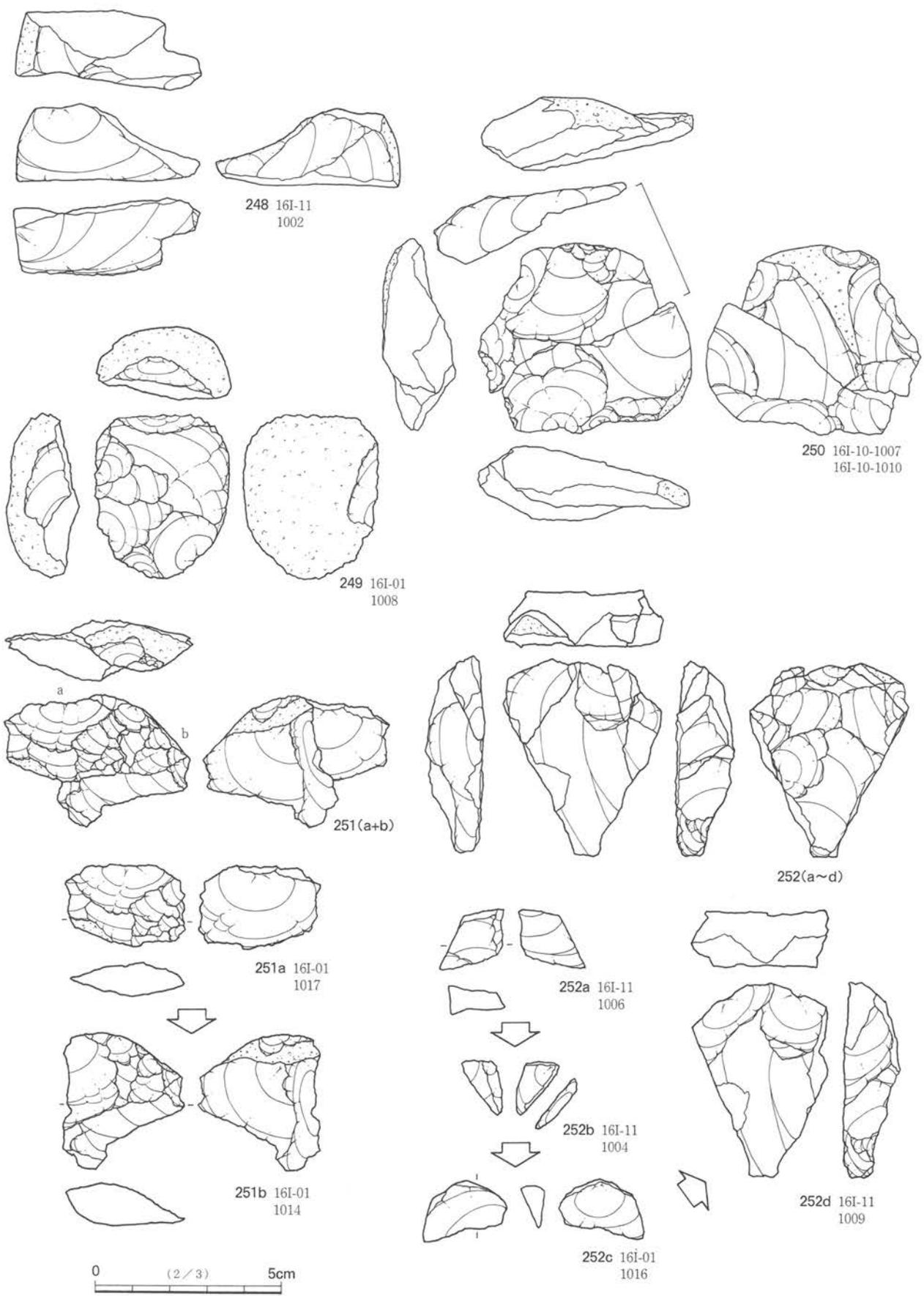
削器(240)は安山岩A36製で、原礫面付きの厚手の幅広剥片を素材としている。剥片の端部の背面側に二次加工を施している。

二次加工剥片(241~243)は3点が出土した。いずれも一般剥片を素材としている。素材剥片の裏側に二次加工を施したもの(241)、素材剥片に錯向状に二次加工を加えたもの(242)、素材剥片の背面に二次加工を施したもの(243)がみられる。石材は黒曜石15が1点、白滝頁岩(嶺岡頁岩5)が1点、凝灰岩(砂岩38)が1点である。

石核は6点(246~250・252d)が出土した。礫から交互剥離によって一般剥片生産を行い、残核がチョッピング・ツール状を呈するもの(246)、礫を分割したものを素材とし、一般剥片生産を行うもの(247・249)、扁平礫から求心状の剥離によって一般剥片生産を行うもの(250)、剥片を素材として一般剥片生産を行うもの(248・252d)がみられる。礫を分割したものを素材とする石核では、分割面を打面として剥片生産を行うもの(247)、分割面を作業面として求心状剥離によって剥片生産を行うもの(249)があ



第102図 第27ブロック出土石器(1)



第103図 第27ブロック出土石器(2)

る。剥片素材のものは、素材剥片を分割するような剥離痕がみられるもの(248)、素材剥片の縁辺から剥片剥離を行うもの(252 d)がある。石材は、安山岩A34が1点、安山岩A35が1点、安山岩B20が2点、凝灰岩(砂岩37)が1点、ホルンフェルス5が1点である。

本ブロックから出土した剥片は、一般剥片で占められる。安山岩B20に8点の剥片が含まれるが、252 dの石核と接合関係をもつ剥片は3点で、そのほかの剥片が同一母岩かどうかは石材の性質上、断定しがたい。安山岩B20以外の母岩でも、母岩あたりの剥片の数は多くて5点と顕著に剥片剥離を行っている資料はみられない。

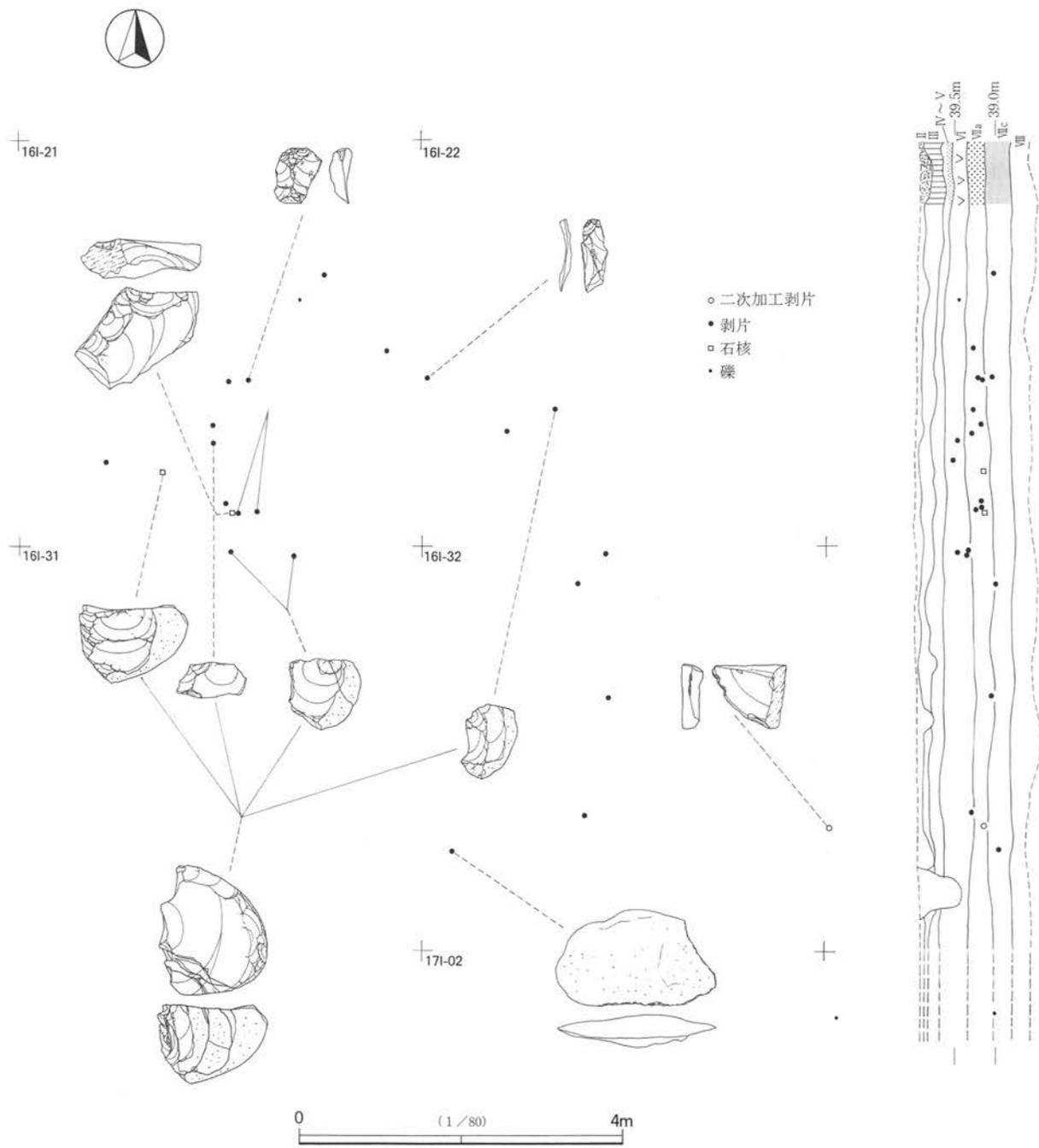
第28ブロック (第104・105図, 第30・69表)

1) 概要

VI層からVII c層(IX c層)にかけて25点の遺物が出土し、VII a層(IX a層)に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片1点・剥片20点・石核2点・礫2点の計25点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩6点・黒曜石2点・頁岩1点・緑色凝灰岩5点(珪質頁岩30)・白滝頁岩2点(嶺岡頁岩18・19)・ホルンフェルス3点・黒色珪質頁岩1点(チャート44)・チャート3点(チャート45~47)の計23点である。本ブロックの剥片は、一般剥片で占められており、母岩あたりの点数は多くて2点と少ない。

2) 母岩別資料

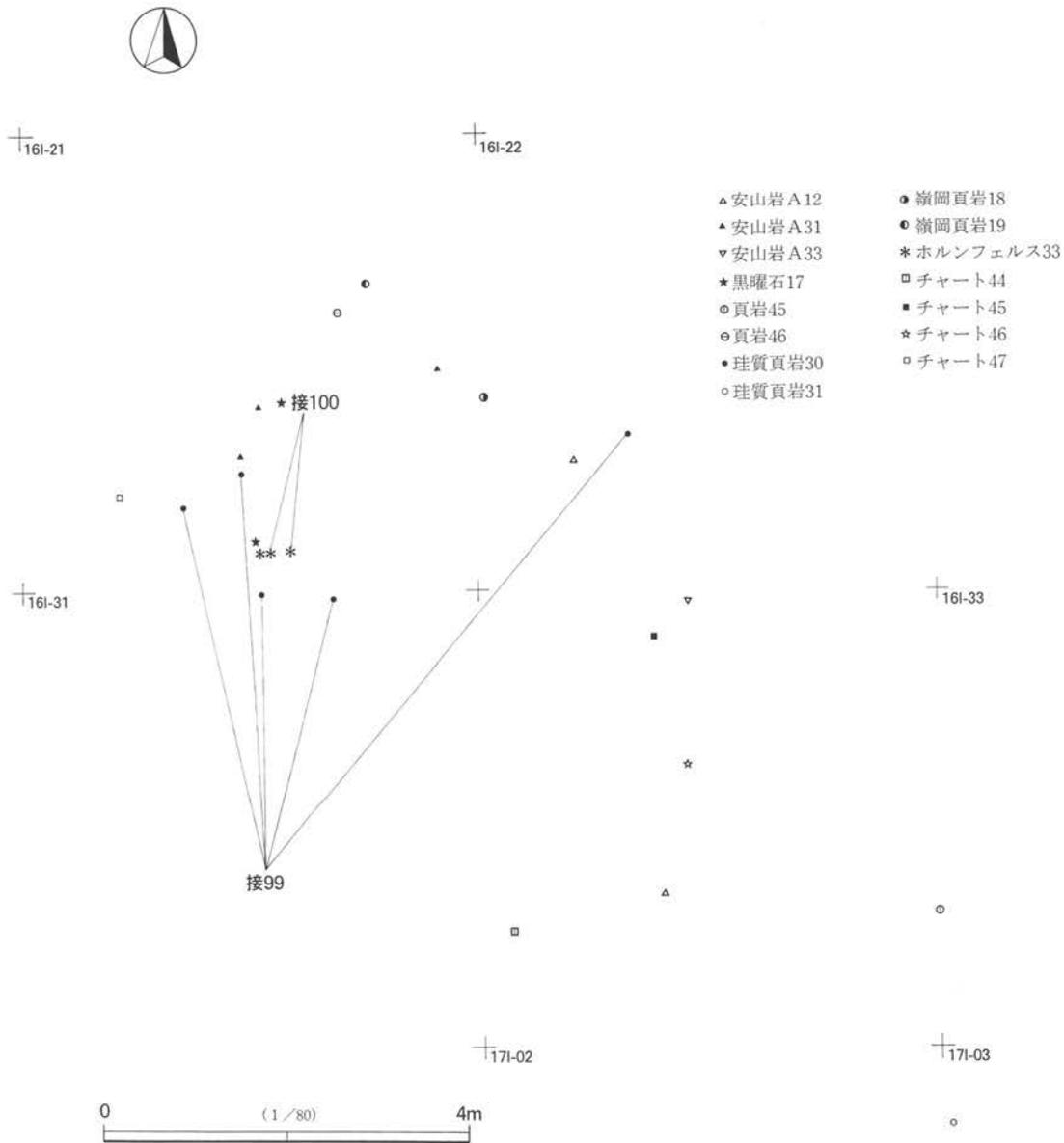
- ・安山岩A12 剥離面は淡青灰色の黒色緻密質安山岩である。径0.5mm~2.0mmのベージュ色、黒色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが入り、表面が多孔質である。剥片2点を含み、総重量は4.76gである。
- ・安山岩A31 剥離面は淡青灰色を呈し、径0.3mm~1.0mmの黒色と、黄色がかかったベージュ色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが疎らに入る。剥片3点を含み、総重量は9.33gである。
- ・安山岩A33 剥離面は淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度のベージュ色と黒色の斑晶が疎らに入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片1点を含み、総重量は10.20gである。
- ・黒曜石17 剥離面は青黒色を呈し、わずかに光を透過する。径0.3mm~1.0mmの石英質の斑晶が入る。原礫面はすりガラス状を呈する。剥片2点を含み、総重量は3.74gである。
- ・頁岩45 剥離面は淡緑灰色を呈する。ガジリ面は青灰色を呈する。二次加工剥片1点を含み、総重量は8.45gである。
- ・珪質頁岩30 剥離面は青緑色を呈する緑色凝灰岩である。原礫面は緑がかかった焦茶色を呈する。表面に爪跡状のくぼみが疎らにみられる。剥片4点・石核1点を含み、総重量は124.60gである。
- ・嶺岡頁岩18 剥離面は淡青灰色の地に、青灰色と淡茶褐色の部分が斑状に入る白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は1.02gである。
- ・嶺岡頁岩19 剥離面は淡青灰色、青灰色、淡緑灰色の部分からなる白滝頁岩である。剥片1点を含み、総重量は1.24gである。
- ・ホルンフェルス33 剥離面は青灰色の地に、淡青灰色の点紋が無数に入る。表面には微細な孔が無数にみられる。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点・石核1点を含み、総重量は56.72gである。
- ・チャート44 剥離面は青黒色を呈する黒色珪質頁岩である。原礫面は剥離面と同様の色調で滑らかな質感で、爪跡状のくぼみが入る。剥片1点を含み、総重量は45.43gである。
- ・チャート45 剥離面は青灰色を呈し、青黒色の節理が入る。原礫面は剥離面よりも茶色がかかった色調を呈する。剥片1点を含み、総重量は30.53gである。



第104図 第28ブロック石器別分布図

・チャート46 剥離面は淡青灰色と淡緑灰色の地に、青黒色の節理が入る。原礫面は剥離面よりも茶色がかかり、滑らかな質感である。剥片1点を含み、総重量は25.60gである。

・チャート47 剥離面は青灰色の地に、青黒色の節理が入る。剥片1点を含み、総重量は4.26gである。



第105図 第28ブロック母岩別分布図

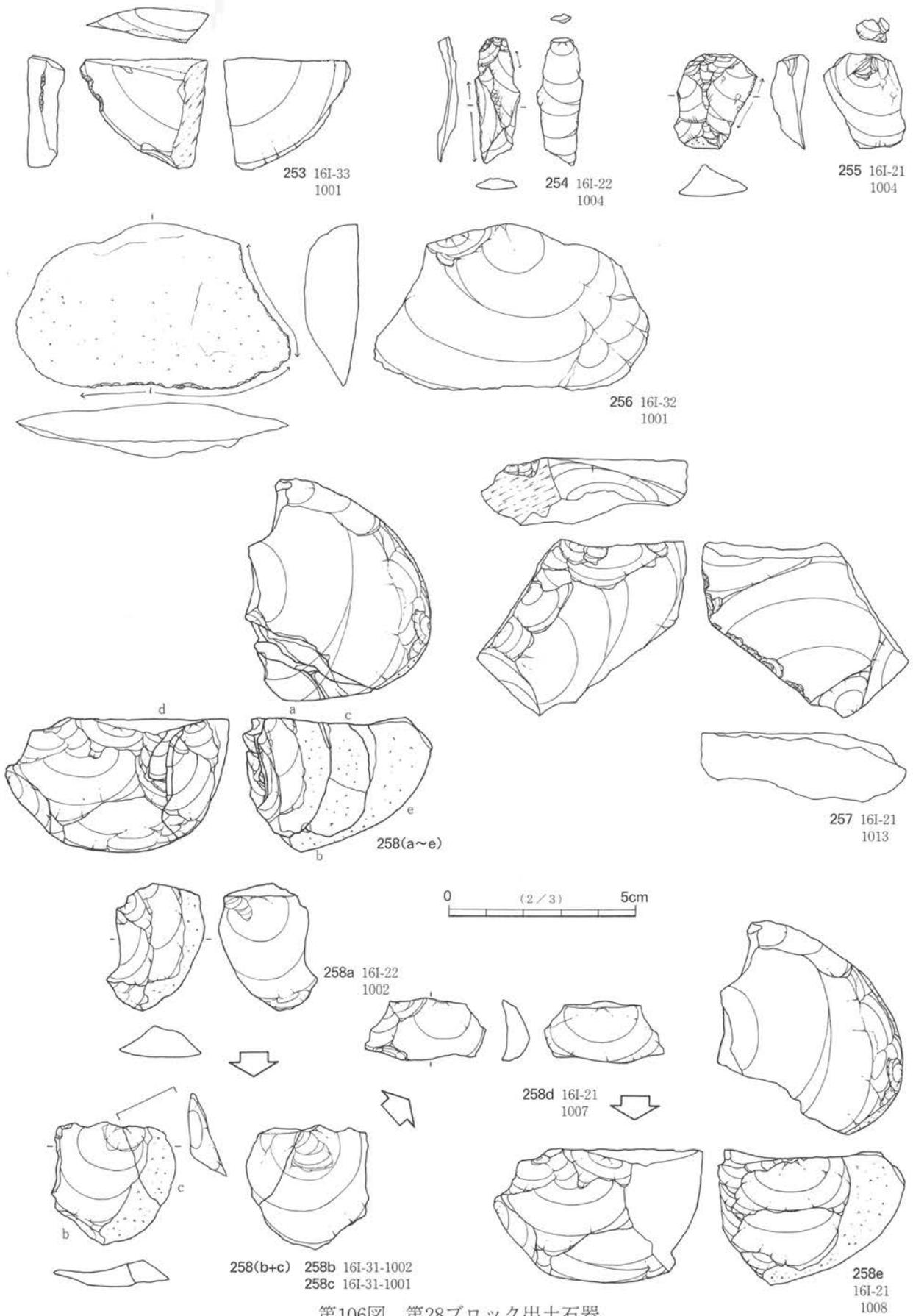
3) 出土遺物 (第106図, 図版18)

二次加工剥片 1点・剥片 20点・石核 2点・礫 2点の計 25点が出土している。

二次加工剥片(253)は頁岩 45製で、一般剥片の端部にノッチ状の二次加工がみられる。

石核は 2点(257・258e)が出土している。257はホルンフェルス 33製で、厚手の剥片を素材としている。素材剥片の腹面側を作業面として一般剥片を生産している。素材剥片の背面の右側縁には、微細な剥離痕がみられる。258eは珪質頁岩 30製で、円礫を素材としている。円礫に打面を作出し、打点を後退させるように剥片生産を行っている。石核 1点に 3点の剥片が接合する。

本ブロックから出土した剥片は、小型の縦長剥片(254)を除いて、一般剥片で占められる。珪質頁岩 30に一般剥片生産による剥片が 4点含まれる他は、母岩あたりの剥片の点数は多くて 2点と少量である。



第106図 第28ブロック出土石器

第29ブロック (第107図, 第31・70表)

1) 概要

VII a 層から黒色緻密質安山岩製の楔形石器 1 点と、緑色凝灰岩(珪質頁岩32)製の剥片 1 点の計 2 点が出土した。

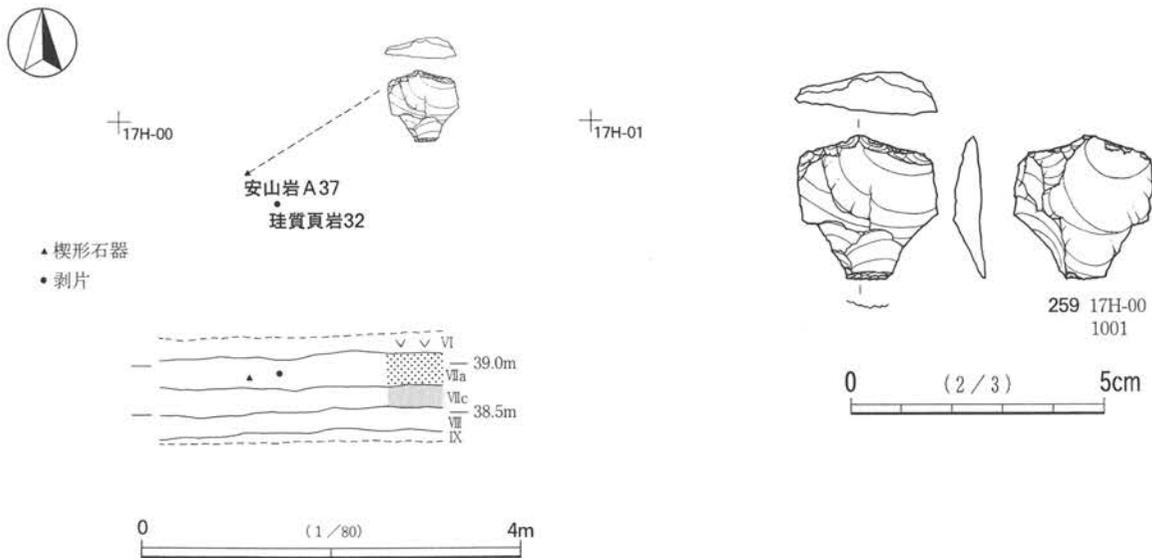
2) 母岩別資料

・安山岩 A37 剥離面は淡茶灰色を呈し、青黒色の部分が縞状に入る黒色緻密質安山岩である。径0.3mm 程度のベージュ色の斑晶が疎らに入る。楔形石器 1 点を含み、総重量は5.46 g である。

・珪質頁岩32 剥離面は淡青緑色と淡黄褐色の部分からなる緑色凝灰岩である。青黒色の部分が縞状に入る。剥片 1 点を含み、総重量は11.72 g である。

3) 出土遺物 (第107図, 図版18)

楔形石器 1 点と剥片 1 点の計 2 点が出土した。楔形石器(259)は安山岩 A37 製で剥片を素材としている。



第107図 第29ブロック遺物分布図・出土石器

第30ブロック (第32・71表)

1) 概要

3 点の剥片が出土している。平面図, セクション図とも作成を行わなかった。遺物台帳ではVIII層(X層) 出土が 2 点, VII b 層(VII c 層の誤りか。その場合IX c 層)出土が 1 点(17G-12-1002)と記載されている。石材組成は、黒色緻密質安山岩 1 点・黒曜石 2 点である。

2) 母岩別資料

・安山岩 A38 剥離面は淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm~2.0mmの黒色と、黄色がかかったベージュ色の斑晶が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は15.71 g である。

・黒曜石18 剥離面は黒色半透明で、光にかざすと黄褐色から茶色を呈する。径0.3mm~3.0mmの石英質の斑晶が入る。原礫面は剥離面と比べると光沢がみられない。剥片 2 点を含み、総重量は8.74 g である。

3) 出土遺物

剥片 3 点が出土しており、いずれも一般剥片である。黒曜石18製のものは 2 点とも、長さと同幅に近い値の寸詰まりの剥片で、原礫面を残す。安山岩 A38 製のものは下半を欠損する厚手の剥片である。

3. 第3文化層

第31ブロック (第108図, 第33・72表)

1) 概要

12点の遺物が出土している。平面図のみを作成した。遺物台帳では、II層出土が2点、VI層出土が1点、VII a層(IX a層)出土が9点と記載されている。石器組成は、楔形石器1点・剥片10点・礫1点の計12点である。石材組成は、黒色緻密質安山岩3点(安山岩A1・A2・A3, 安山岩B1)・黒曜石3点・凝灰岩2点(珪質頁岩1)・珪質頁岩1点(珪質頁岩2)・チャート1点である。本ブロックから出土した剥片は、一般剥片で占められる。

2) 母岩別資料

・安山岩A1 剥離面は淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm~2.5mmの黒色と、黄色がかかったベージュ色の斑品が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。楔形石器1点を含み、総重量は10.43gである。

・安山岩A2 剥離面は淡茶灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。ベージュ色の微細な斑晶が疎らに入る。原礫面は爪跡状のくぼみが無数に入る。剥片1点を含み、総重量は1.92gである。

・安山岩A3 剥離面は淡青灰色を呈し、青灰色の部分が縞状に入る黒色緻密質安山岩である。黒色と、ベージュ色の微細な斑晶が疎らに入る。原礫面は爪跡状のくぼみが入る。剥片1点を含み、総重量は4.40gである。

・安山岩B1 剥離面は淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm程度の黒色と、ベージュ色の斑品が入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片1点を含み、総重量は0.68gである。

・黒曜石1 剥離面は黒色不透明の部分に、無色透明の部分が入る。径0.3mm~1.5mmの石英質の斑晶が入る。剥片3点を含み、総重量は14.16gである。

・珪質頁岩1 剥離面は淡紫灰色を呈する。原礫面は淡黄褐色の凝灰質の地に、青灰色や石英質の粒子が入る。珪化度は珪質頁岩というほど高くなく、むしろ凝灰岩といえる。剥片2点を含み、総重量は6.11gである。

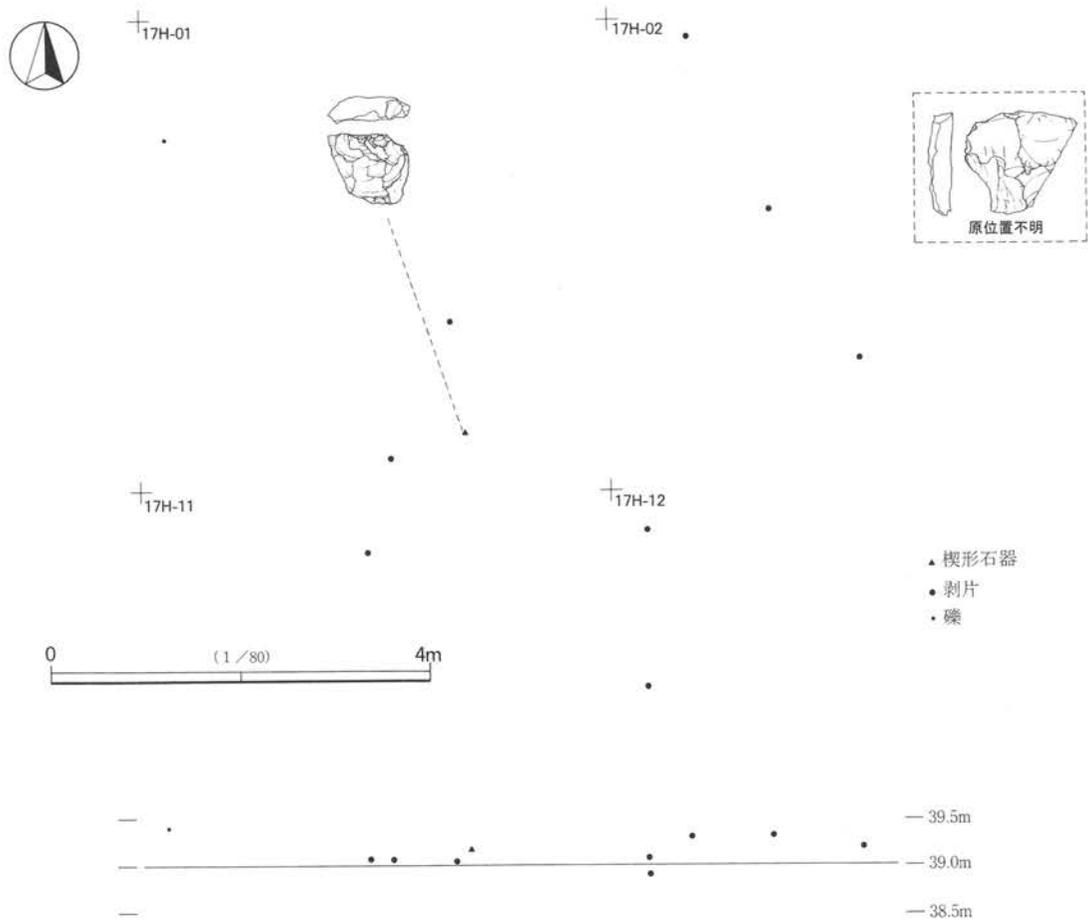
・珪質頁岩2 剥離面は青黒色を呈する。黄褐色の地に、黄色がかかったベージュ色の粒状の部分が入る。剥片1点を含み、総重量は1.87gである。

・チャート1 剥離面は青灰色を呈し、青黒色の部分や青黒色の節理が入る。原礫面は淡茶褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は18.46gである。

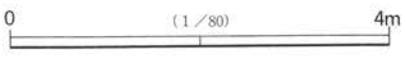
3) 出土遺物 (第109図, 図版19)

楔形石器1点・剥片10点・礫1点の計12点が出土している。

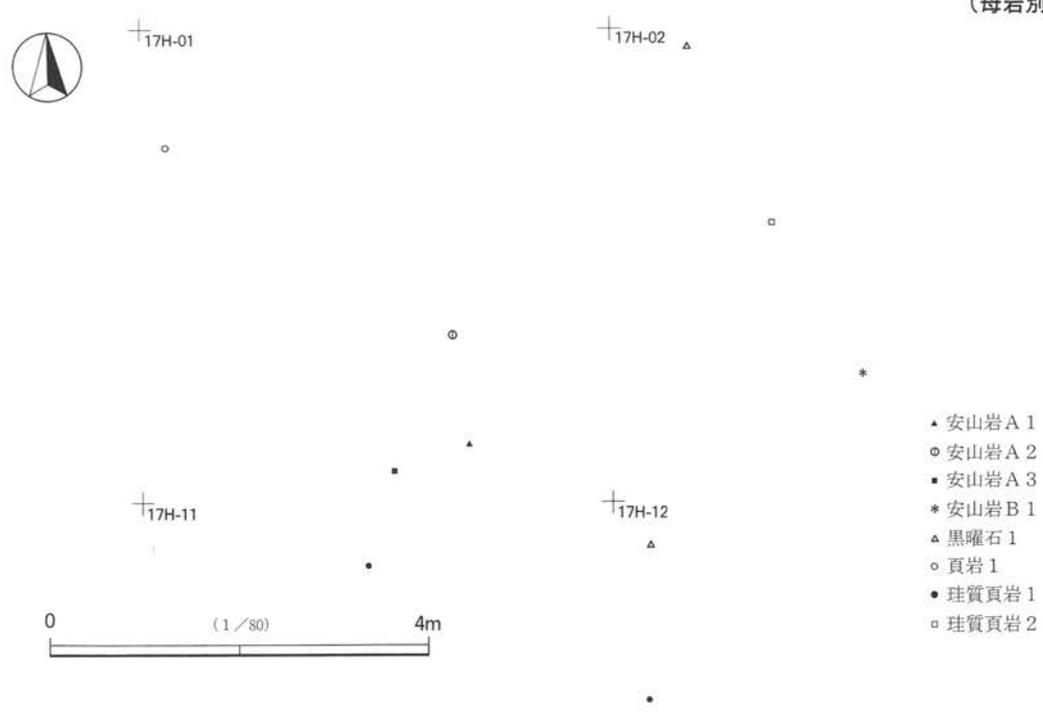
楔形石器(1)は安山岩1製で、原礫面付きの剥片を素材とする。剥片は一般剥片で占められており、二次加工や微細剥離痕を有するものは1点(2)にとどまる。



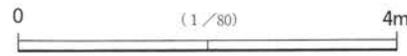
- ▲ 楔形石器
- 剥片
- ◻ 礫



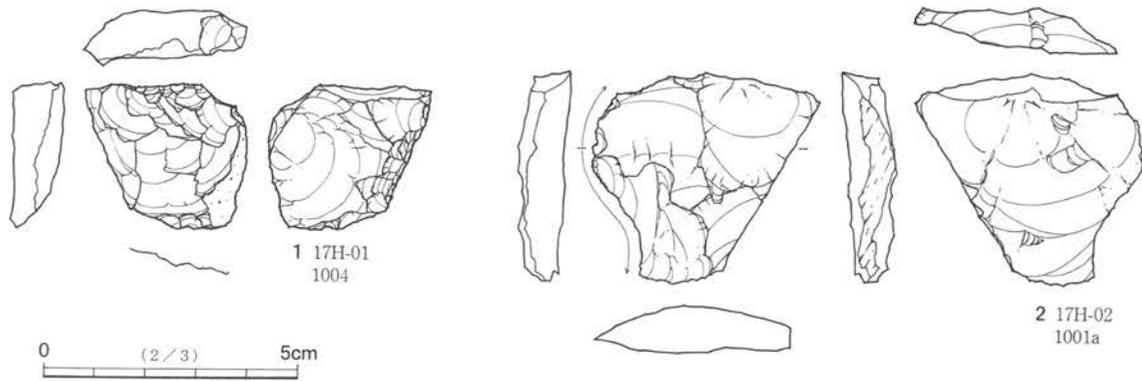
(石器別)
(母岩別)



- ▲ 安山岩 A 1
- 安山岩 A 2
- 安山岩 A 3
- * 安山岩 B 1
- ▲ 黒曜石 1
- 頁岩 1
- 珪質頁岩 1
- ◻ 珪質頁岩 2



第108図 第31ブロック遺物分布図



第109図 第31ブロック出土石器

4. 第4文化層（第34表）

第32ブロック（第110・111図，第35・73表）

1) 概要

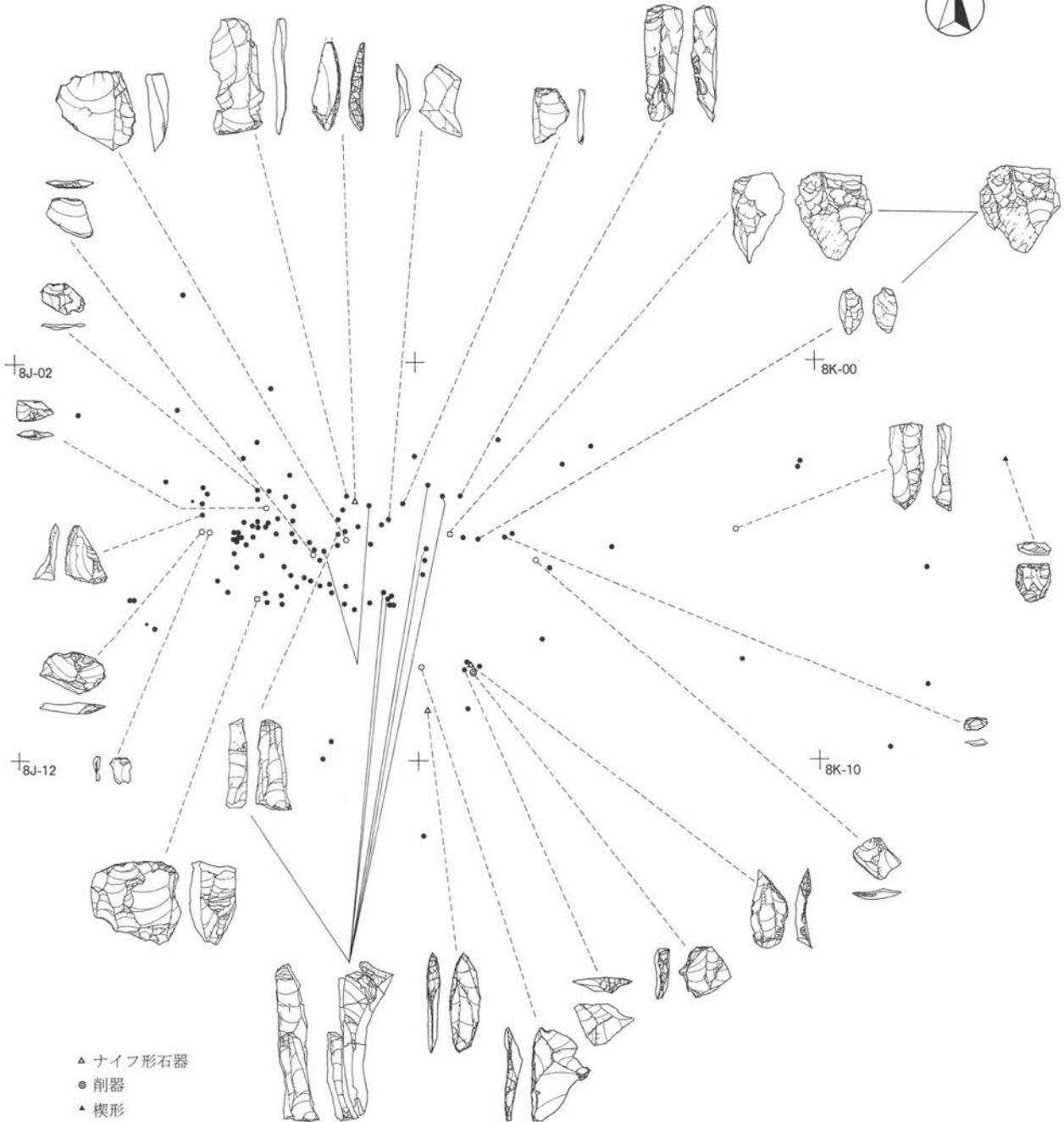
IV・V層からVII c層（IX c層）にかけて128点の遺物が出土し，VI層・VI下層に特に集中して分布する。石器組成は，ナイフ形石器3点・削器1点・二次加工剥片8点・楔形石器1点・剥片111点・石核2点・礫2点の計128点である。石材組成は，黒色緻密質安山岩2点（安山岩A 1）・トロトロ石3点（安山岩B 1）・安山岩1点（安山岩B 2）・黒曜石13点・黒色頁岩5点（頁岩1・2）・八丁層ノジュール1点（頁岩3）・流紋岩2点（頁岩4・5）・頁岩1点（頁岩6）・珪質頁岩92点（珪質頁岩1，硬質頁岩1～6）・砂岩1点・チャート2点・玉髓4点（玉髓1・2）である。本ブロックでは，硬質頁岩1の消費が他の母岩に比べて突出している。硬質頁岩1には，石刃・ナイフ形石器・一般剥片が含まれる。

2) 母岩別資料

- ・安山岩A 1 剥離面は淡青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.5mm～3.0mmの黒色と，ベージュ色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみが非常に微細に入る。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片2点を含むが，一方は入る斑晶がベージュ色のもののみからなる。剥片2点を含み，総重量は6.10gである。
- ・安山岩B 1 剥離面は淡明灰色を呈し，径0.5mm～1.0mmの黒色の斑晶が入る。トロトロ石と俗称される。原礫面は淡黄褐色を呈する。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片3点を含み，総重量は15.73gである。
- ・安山岩B 2 剥離面は明青灰色を呈し，径0.3mm～1.5mmの黒色と，ベージュ色の斑晶が入る。ガジリ面は青灰色を呈する。剥片1点を含み，総重量は2.31gである。
- ・黒曜石1 剥離面は灰色半透明を呈し，径0.3mm～3.0mmの石英質の斑晶が入る。原礫面はすりガラス状を呈し，表面につぶれがみられる。剥片10点を含み，総重量は49.60gである。
- ・黒曜石2 剥離面は黒色不透明を呈する。ナイフ形石器1点・剥片2点を含み，総重量は3.10gである。
- ・頁岩1 剥離面は淡青灰色を呈する黒色頁岩である。ガジリ面は青黒色を呈する。剥片3点を含み，総重量は3.63gである。
- ・頁岩2 剥離面は淡青灰色を呈する黒色頁岩である。原礫面は剥離面よりも黄褐色がかかる。剥片2点を含み，総重量は3.55gである。
- ・頁岩3 剥離面は青黒色を呈する八丁層ノジュールである。原礫面は剥離面よりも光沢を帯びる。剥片

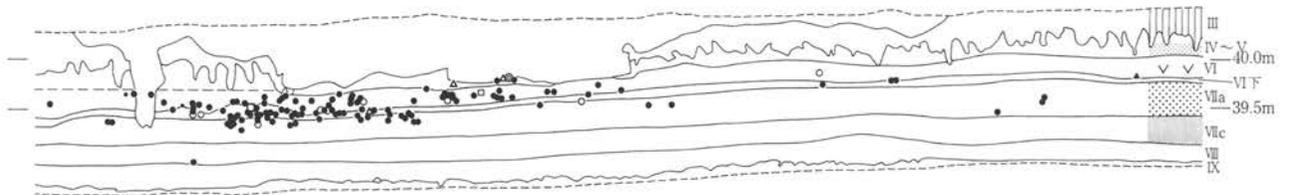
+7J-32

+7J-33



- ▲ ナイフ形石器
- 削器
- ▲ 楔形
- 二次加工剥片
- 剥片
- 石核
- ・ 礫

0 (1/80) 4m



第110図 第32ブロック石器別分布図

1点を含み、総重量は10.89gである。

・頁岩4 剥離面は黄色がかった淡青緑色を呈する。径0.3mm～1.0mmのベージュ色の斑晶が入ることから流紋岩である。二次加工剥片1点を含み、総重量は4.85gである。

・頁岩5 剥離面は淡青灰色を呈し、石英質の微細な斑晶が入る流紋岩である。原礫面は淡黄褐色を呈する。剥片1点を含み、総重量は3.78gである。

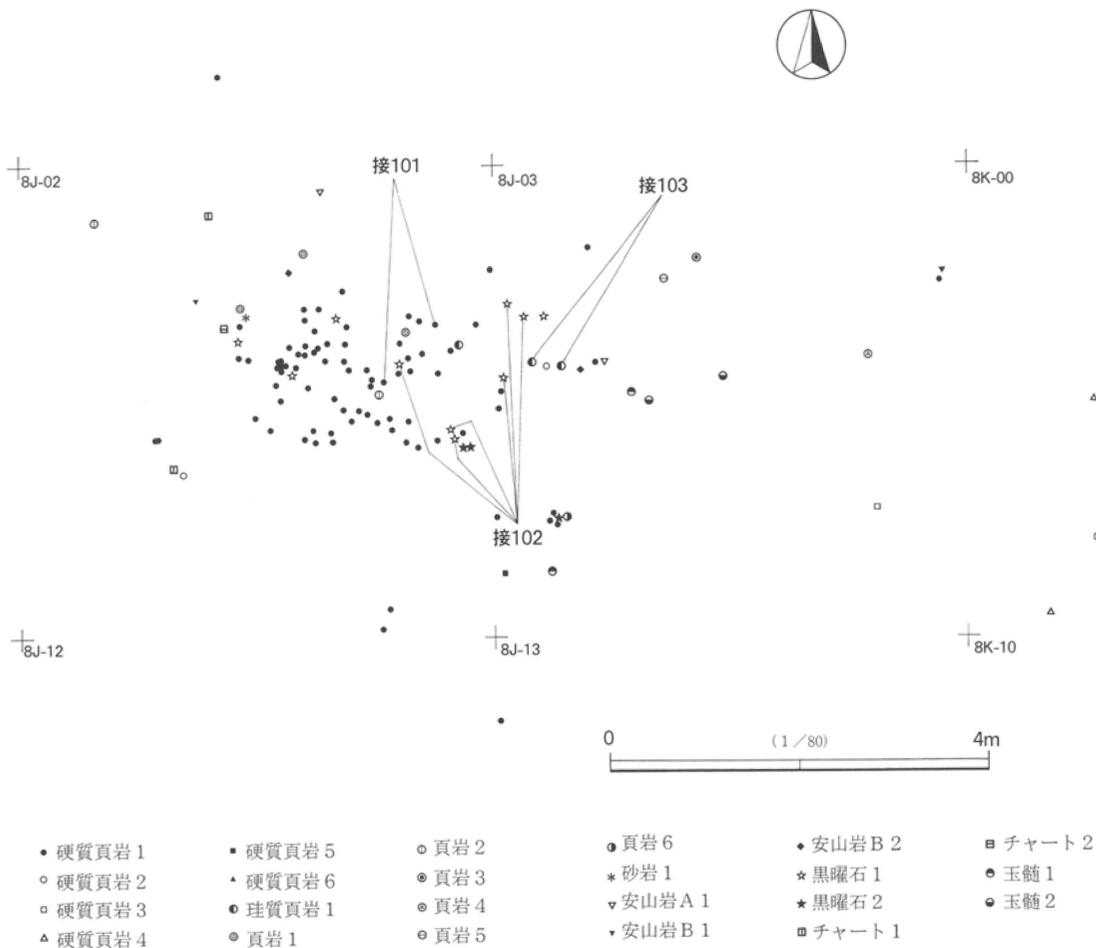
・頁岩6 剥離面は淡緑灰色を呈し、緑がかった淡いベージュ色の部分が入る。剥片1点を含み、総重量は0.87gである。

・珪質頁岩1 剥離面は青黒色を呈する。剥片2点・石核1点を含み、総重量は33.26gである。

・硬質頁岩1 剥離面は淡暗紫灰色を呈し、青灰色の部分が粒状に無数に入る。原礫面は淡茶色である。ナイフ形石器1点・削器1点・二次加工剥片6点・剥片72点・石核1点を含み、総重量は181.09gである。

・硬質頁岩2 剥離面は緑がかった茶灰色を呈し、青灰色の部分が粒状に入る。剥片2点を含み、総重量は10.08gである。

・硬質頁岩3 剥離面は黄色がかった淡青灰色を呈する。珪化度はそれほど高くなく、石材としては頁岩の範囲に入る。剥片2点を含み、総重量は1.70gである。



第111図 第32ブロック母岩別分布図

- ・硬質頁岩 4 剥離面は淡茶灰色を呈する。珪化度はそれほど高くなく、石材としては頁岩の範囲に入る。剥片 2 点を含み、総重量は 1.06 g である。
- ・硬質頁岩 5 剥離面は茶灰色を呈する。ナイフ形石器 1 点を含み、総重量は 3.38 g である。
- ・硬質頁岩 6 剥離面は淡紫灰色から淡い焦茶色を呈する。楔形石器 1 点を含み、総重量は 2.07 g である。
- ・砂岩 1 剥離面は淡青緑色の粒子を主体に、ベージュ色の粒子を含む。粒子の径が細かく、砂岩というよりは凝灰岩に分類される。原礫面も同様の色調で、剥離面よりも光沢を帯びる。剥片 1 点を含み、総重量は 2.47 g である。
- ・チャート 1 剥離面は青黒色の地に、暗乳白色の部分が縞状に入る。剥片 1 点・礫(石核) 1 点を含み、総重量は 17.08 g である。
- ・玉髓 1 剥離面は乳白色不透明の部分と、鼈甲色半透明の部分と、無色半透明の部分からなる。二次加工剥片 1 点・剥片 1 点を含み、総重量は 2.31 g である。
- ・玉髓 2 剥離面は淡黄褐色半透明の地に、鼈甲色の部分が疎らに斑状に入る。剥片 2 点を含み、総重量は 2.29 g である。

3) 出土遺物 (第112・113図, 図版19)

ナイフ形石器 3 点・削器 1 点・二次加工剥片 8 点・楔形石器 1 点・剥片 111 点・石核 2 点・礫 2 点の計 128 点が出土している。

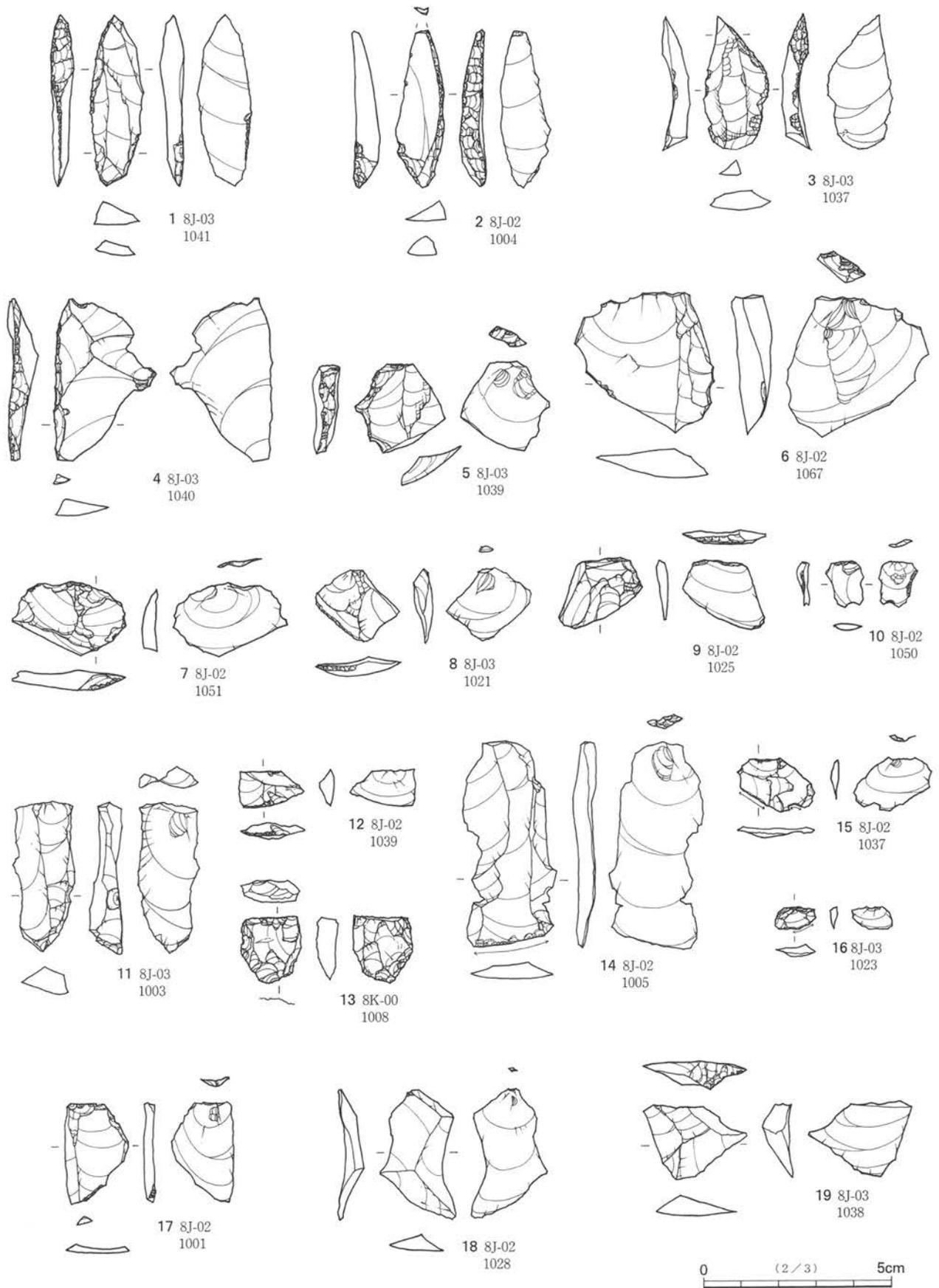
ナイフ形石器は 3 点(1～3)が出土した。1 は硬質頁岩 5 製で、単設打面の石刃を素材としている。基部に腹面側からの急斜度の二次加工、左側縁中央やや下の腹面側に平坦な二次加工、左側縁上半に腹面側からの急斜度の二次加工を施している。左側縁の先端部は、腹面側からの二次加工の後に、背面側からの二次加工を施している。素材剥片の頭部は先端側に設定されており、急斜度の二次加工によって除去されている。2 は硬質頁岩 1 製で、幅広の縦長剥片を素材としている。左側縁は、基部に腹面側からの急斜度の二次加工が施されている。右側縁は、側縁全体に腹面側からの急斜度の二次加工が施されている。さらに側縁の上半には腹面側からの二次加工を切るように、背面側からの急斜度の二次加工が施されている。素材剥片の頭部は先端側に設定されており、右側縁の二次加工によって、素材剥片の形状は大きく変形している。3 は黒曜石製で石刃を素材とする。右側縁は下半部に微細な急斜度の二次加工がみられ、先端部に腹面側からの急斜度の二次加工がみられる。左側縁は側縁の中ほどにノッチ状の剥離痕がみられる。素材剥片の頭部は先端側に設定されており、右側縁の二次加工によって除去されている。

削器(5)は硬質頁岩 1 製で、下半部を折損するため全体の形状は不明である。左側縁に腹面側からの急斜度の二次加工で、鋸歯状の刃部を作出している。

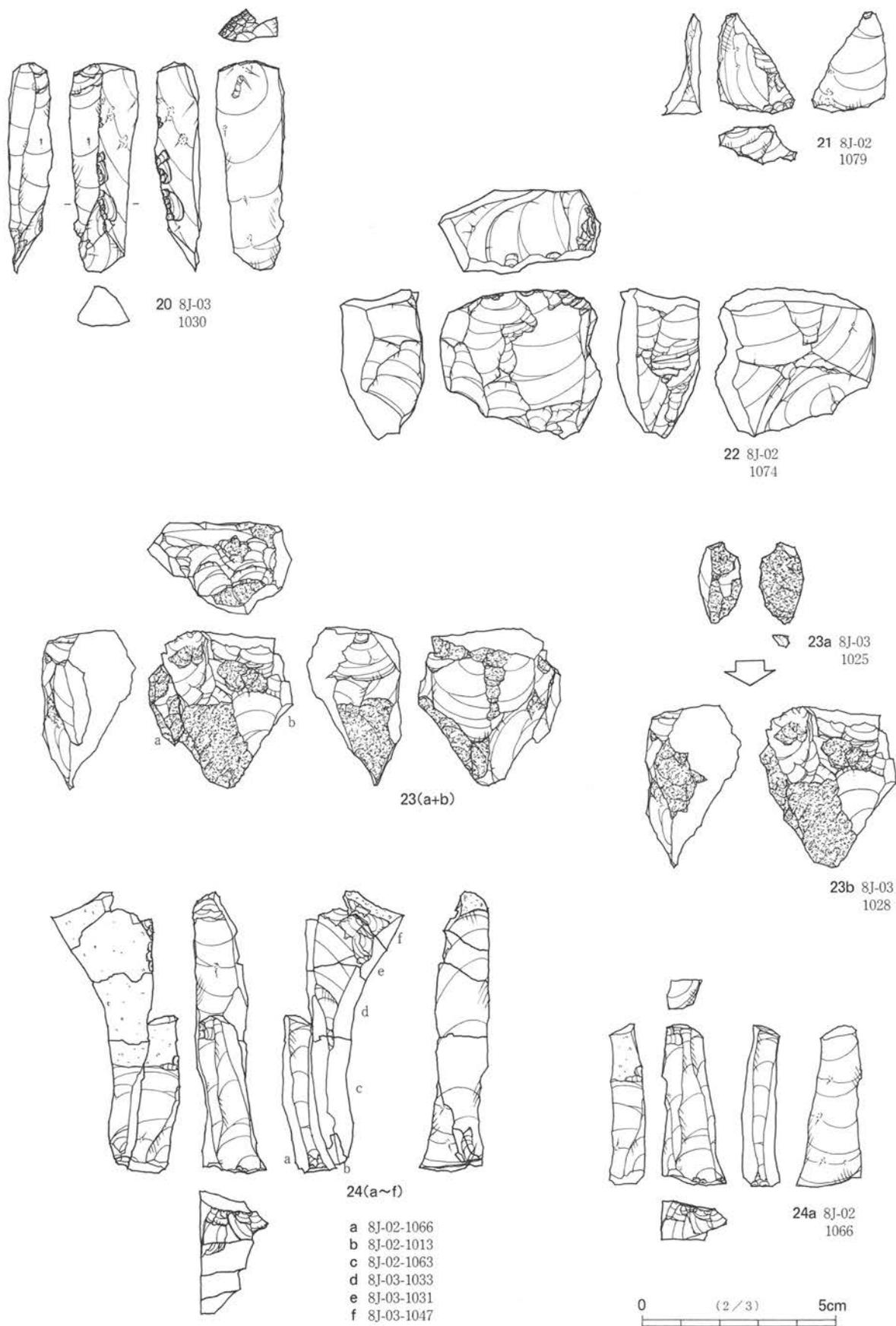
二次加工剥片(4・6～12)は 8 点が出土した。このうち 9 はガジリを二次加工と認識したものである。11 が縦長剥片を素材とする以外は、一般剥片を素材としている。このうち 10 は背面もポジ面となっている。石材は頁岩 4 が 1 点、硬質頁岩 1 が 6 点、玉髓 1 が 1 点である。

楔形石器(13)は硬質頁岩 6 製で、剥片を素材とする。

石核は 2 点(22・23b)が出土した。22 は硬質頁岩 1 製で、厚手の素材を用いている。石核の上側は剥離によって生じた平坦な面を打面として剥片剥離を行い、石核の下側は交互剥離によって剥片剥離を行っている。表面・裏面とも剥片剥離の作業面として用いられている。23b は珪質頁岩 1 製で、求心状の剥離によって一般剥片を生産している。スクリーントーンの部分は、被熱によって器体表面に剥落が生じている



第112図 第32ブロック出土石器(1)



第113図 第32ブロック出土石器(2)

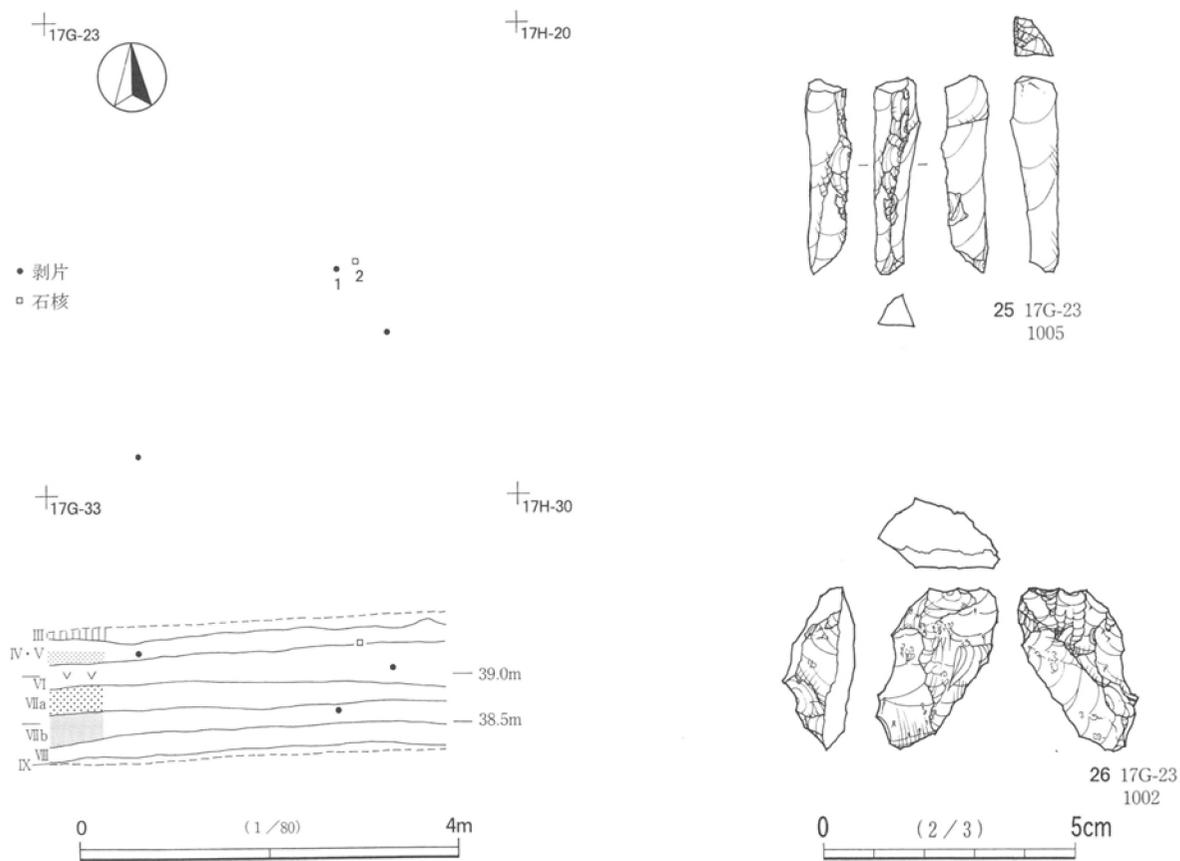
部分である。器体全体に鈍い光沢が生じており、表面には、ひび割れもみられる。石核1点(23b)に、剥片1点(23a)が接合しているが、これは剥片剥離によって生じたものではなく、被熱によって石核の表面から剥落したものである。

本ブロックから出土した剥片は、硬質頁岩1に属する資料が111点中72点と突出している。石刃と一般剥片の両者を含むが、石刃は7点のみである。接合資料が得られていないことから全てが連続した工程に属するかどうかは不明である。2のナイフ形石器が典型的な石刃を素材としていないことから、石刃生産とナイフ形石器の製作が厳密に対応するのではなく、生産された剥片の中で、ナイフ形石器の素材として適当なものを選別して使用していたと考えられる。硬質頁岩1以外の資料では、黒曜石1に石刃が含まれており、接合資料102は2点の石刃が接合している。両設打面から石刃の剥離を行っている。石刃の側面には原礫面が残っており、角礫を使用したことを示している。硬質頁岩1と黒曜石1以外の母岩に含まれる剥片の数は、多くて3点と少なく、硬質頁岩1の消費が際立っている。

第33ブロック (第114図, 第36・74表)

1) 概要

IV・V層からVIIc層(IXc層)にかけて4点の遺物が散漫に出土した。石器組成は、剥片3点・石核1点の計4点である。石材組成は、黒曜石2点・珪質頁岩1点(硬質頁岩1)・白滝頁岩1点(嶺岡頁岩1)である。本ブロックから出土した石器は、いずれも別母岩であった。



第114図 第33ブロック遺物分布図・出土石器

2) 母岩別資料

- ・黒曜石 3 剥離面は黒色不透明の地に、無色透明の部分が斑状に入る。径0.3mm～3.0mmの黒色と、淡青灰色の斑晶が入る。石核 1 点を含み、総重量は5.97 g である。
- ・黒曜石 4 剥離面は無色透明の地に、黒色不透明の部分が縞状に入る。径0.3mm～1.5mmの石英質の斑晶が入る。剥片 1 点を含み、総重量は2.62 g である。
- ・硬質頁岩 1 剥離面は灰茶色を呈する。剥片 1 点を含み、総重量は3.13 g である。
- ・嶺岡頁岩 1 剥離面は淡緑灰色から淡青灰色を呈し、暗乳白色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。剥片 1 点を含み、総重量は6.14 g である。

3) 出土遺物 (第114図, 図版19)

剥片 3 点・石核 1 点の計 4 点が出土した。

石核(26)は黒曜石 3 製で、厚手の剥片を素材としている。表面にみられる 1 面の剥離面のみが、素材剥片の剥離後に剥離されたもので、裏面の剥離面は前述の剥離面に切られる関係にある。

剥片は 3 点出土しており、稜付きの断面三角形の縦長剥片(25)以外は一般剥片である。

5. 第 5 文化層 (第37表)

第34ブロック (第115・116図, 第38・75表)

1) 概要

IV・V層からVI層にかけて19点の遺物が出土し、VI層に特に集中して分布する。石器組成は、白滝頁岩(嶺岡頁岩 1)製の剥片 1 点・砂岩製の敲石 1 点・礫17点の計19点である。

2) 母岩別資料

- ・嶺岡頁岩 1 剥離面は緑灰色を呈し、暗乳白色の珪化度の高い部分が斑状に入る白滝頁岩である。剥片 1 点を含み、総重量は9.01 g である。
- ・砂岩 1 淡青灰色、青灰色、ベージュ色の粒子からなる細粒の砂岩である。敲石 1 点を含み、総重量は161.37 g である。

3) 出土遺物 (第117図, 図版19)

剥片 1 点・敲石 1 点・礫17点の計19点が出土した。

剥片は白滝頁岩(嶺岡頁岩 1)製で、シレ氏彫器となっており、また剥片の端部も折損している。

敲石(1)は砂岩 1 製で、円礫の端部に敲打痕がみられる。

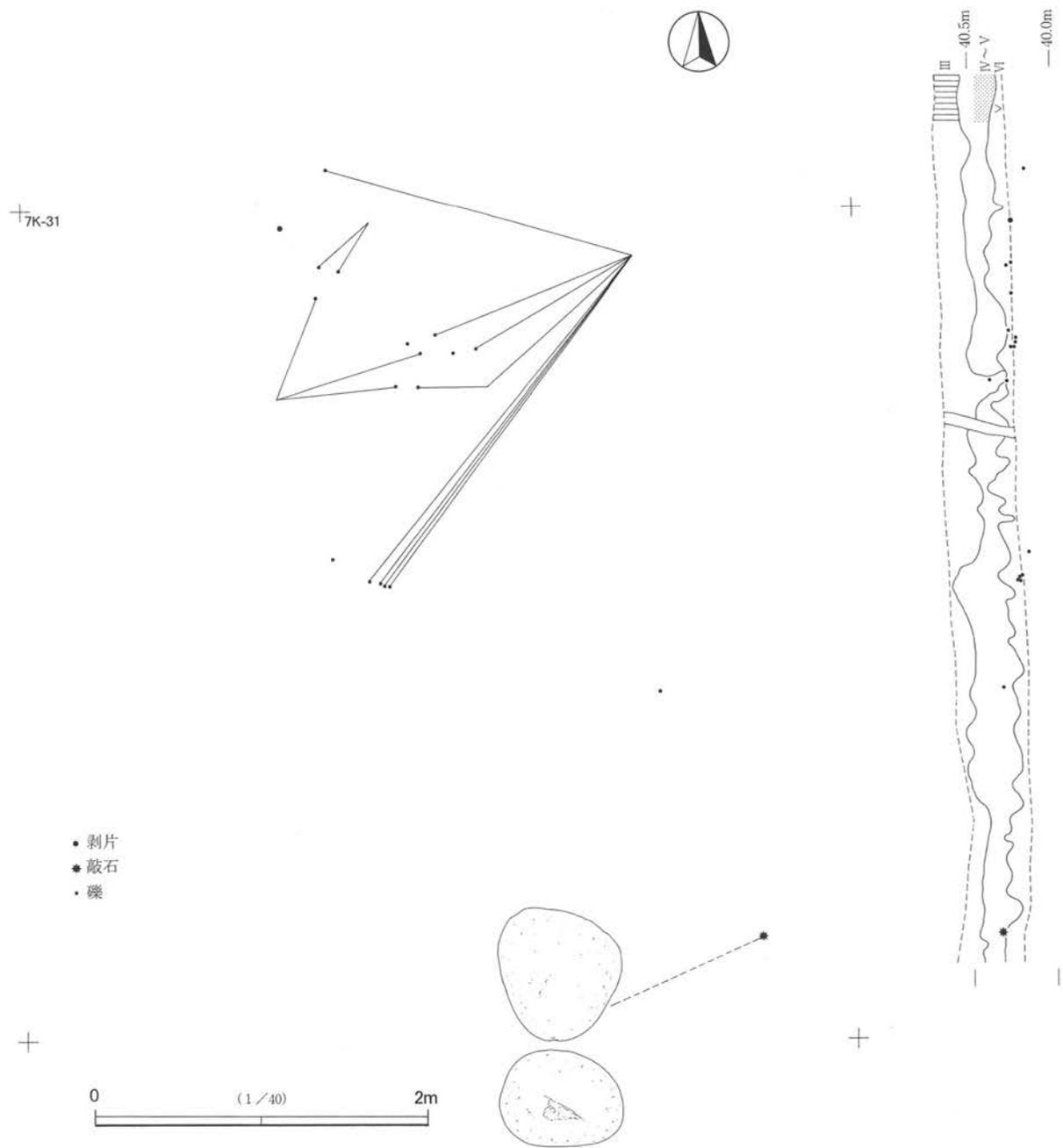
第35ブロック (第118図, 第39・76表)

1) 概要

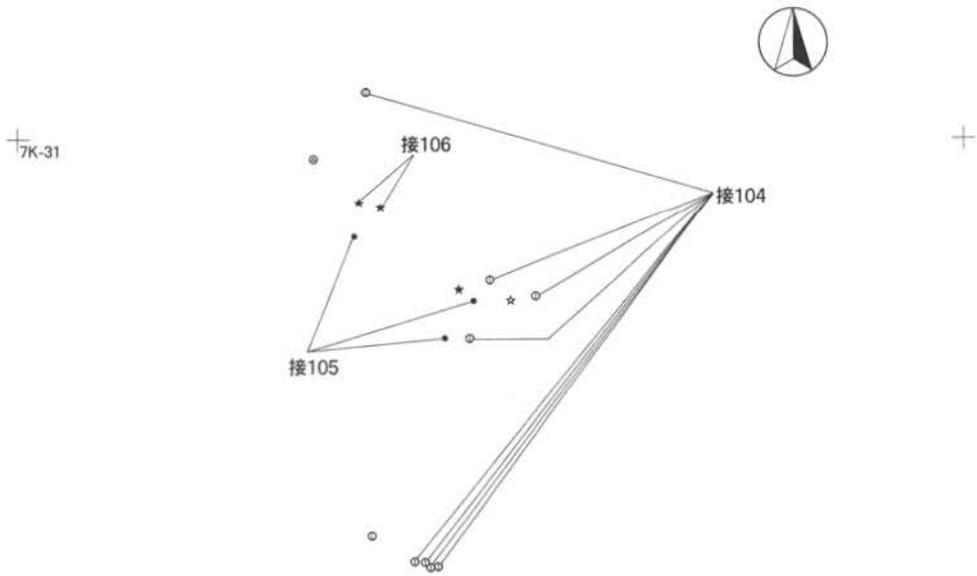
V層からVI層にかけて67点の遺物が出土し、V層に特に集中して分布する。石器組成は、黒曜石製の剥片 4 点・礫63点の計67点である。

2) 母岩別資料

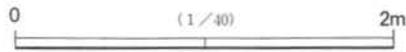
- ・黒曜石 1 剥離面は黒色を呈し、光にかざすと灰色で不透明である。径0.3mm～1.0mmの石英質の斑晶が入る。剥片 3 点を含み、総重量は15.12 g である。
- ・黒曜石 2 剥離面は黒色を呈し、光にかざすと灰色で不透明である。径0.3mm～1.0mmの石英質の斑晶が入る。剥片 1 点を含み、総重量は2.54 g である。



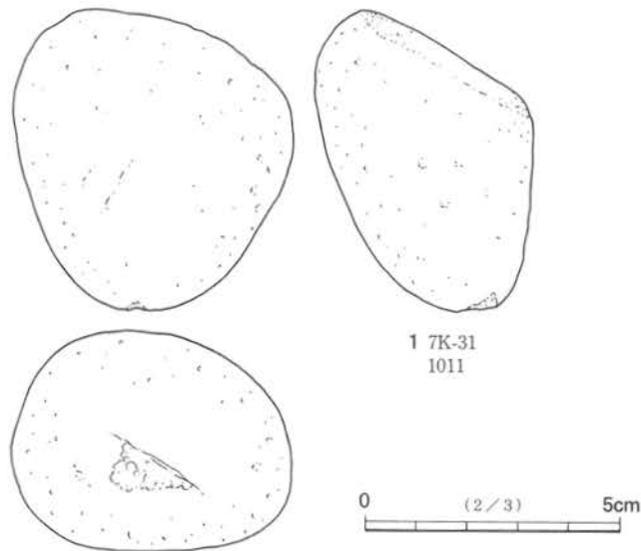
第115図 第34ブロック石器別分布図



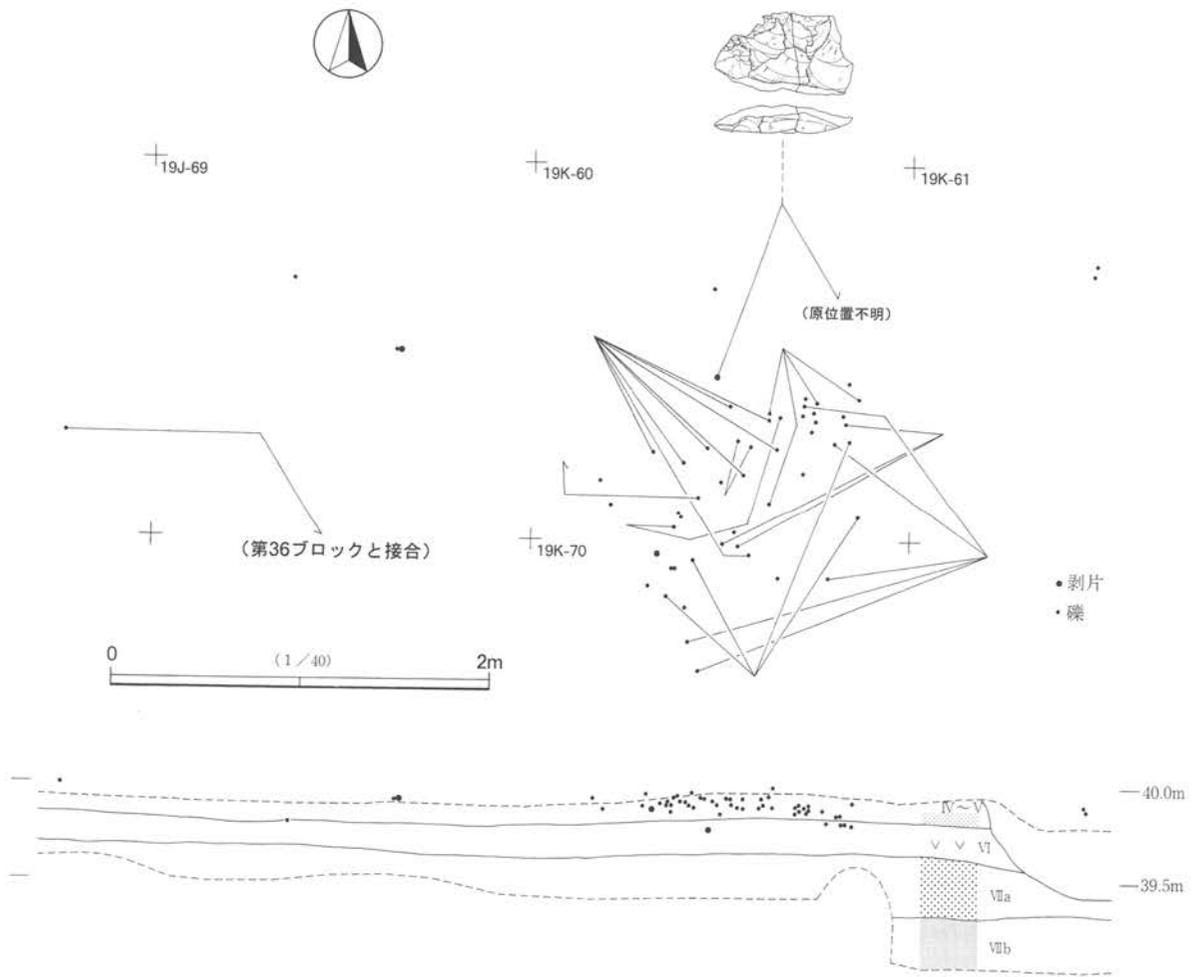
- 砂岩 1
- ◎ 嶺岡頁岩 1
- 流紋岩
- 頁岩
- ★ ホルンフェルス
- ☆ チャート



第116図 第34ブロック母岩別分布図

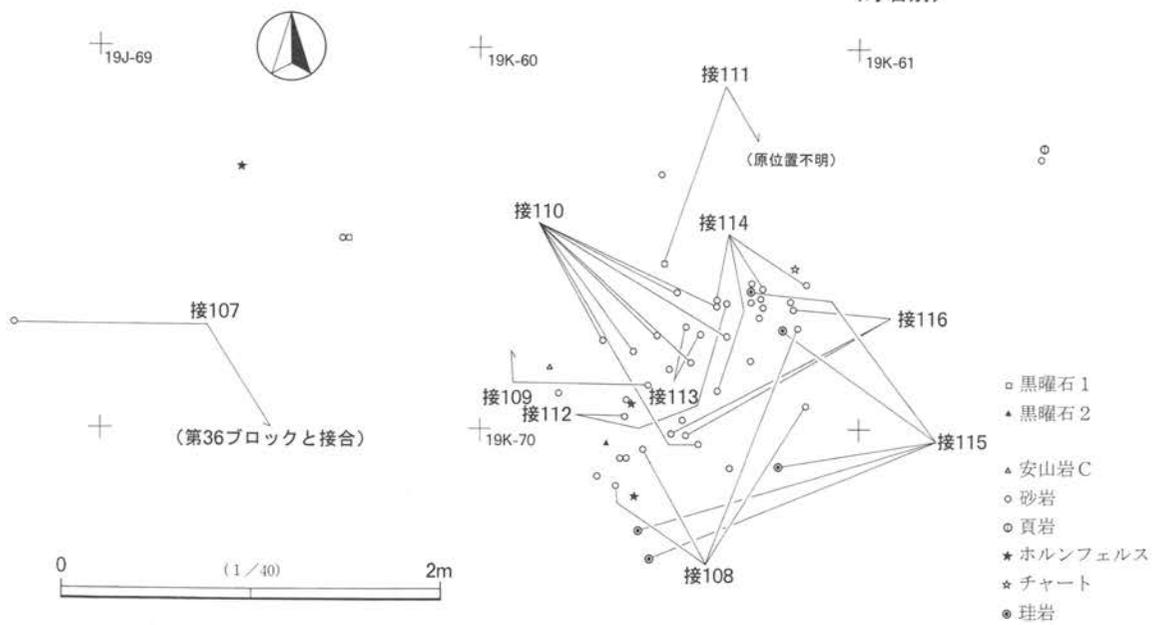


第117図 第34ブロック出土石器



(石器別)

(母岩別)

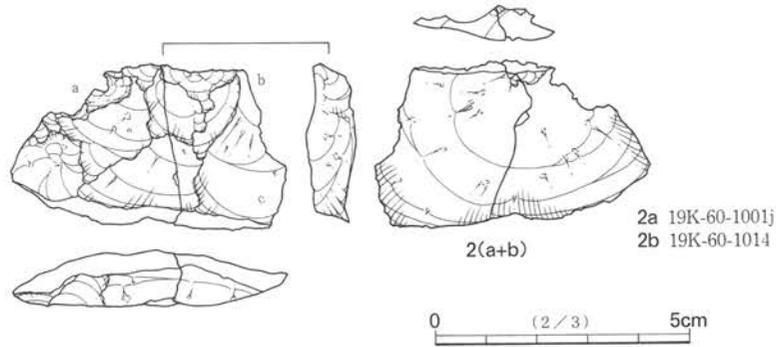


第118図 第35ブロック遺物分布図

3) 出土遺物 (第119図, 図版19)

剥片4点・礫63点の計67点が出土した。

剥片は4点が出土したが、うち2点が折れ面で接合して1点となるため、実数は3点である。いずれも一般剥片である。



第119図 第35ブロック出土石器

第36ブロック (第120・121図, 第40・77表)

1) 概要

IV・V層からVI層にかけて38点の遺物が出土し、VI層に特に集中して分布する。石器組成は、二次加工剥片1点・剥片2点・石核3点・礫32点の計38点である。礫を除く石材組成は、黒色緻密質安山岩1点(安山岩B1)・黒曜石5点の計6点である。

2) 母岩別資料

- ・安山岩B1 剥離面は青灰色を呈する黒色緻密質安山岩である。径0.3mm～1.0mmの黒色やベージュ色の斑晶が入る。原礫面は微細な爪跡状のくぼみが無数に入る。石核1点を含み、総重量は98.19gである。
- ・黒曜石1 剥離面は黒色を呈し、光にかざすと灰色で不透明である。径0.3mm～1.0mmの石英質の斑晶が入る。二次加工剥片1点・剥片2点・石核1点を含み、総重量は43.11gである。
- ・黒曜石2 剥離面は黒色を呈の地に、灰色の部分が縞状に入る。光にかざすと灰色で不透明である。径0.3mm～2.0mmの明灰色の球顆が入る。第35ブロックの黒曜石2とは異なる母岩である。石核1点を含み、総重量は11.47gである。

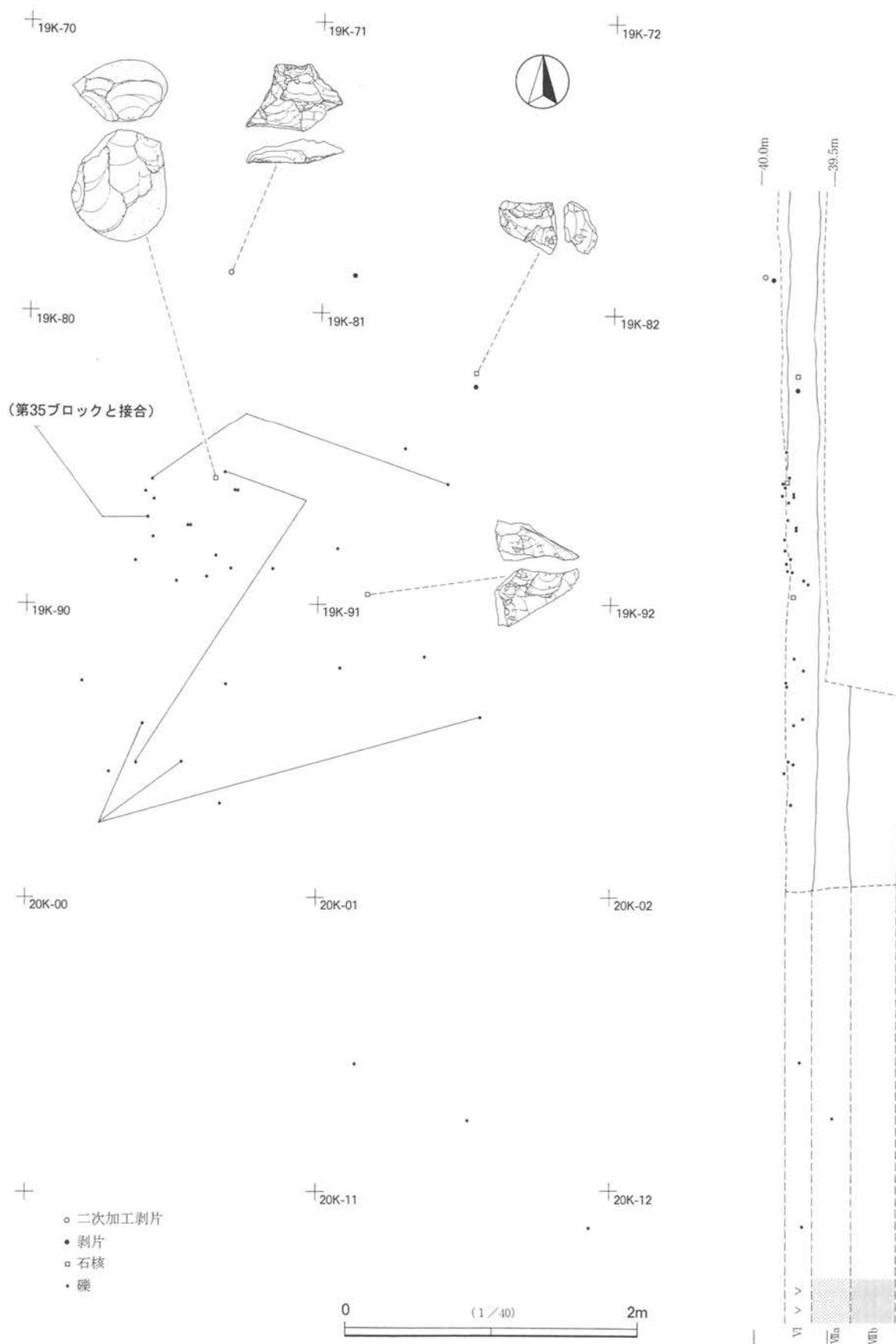
3) 出土遺物 (第122図, 図版19)

二次加工剥片1点・剥片2点・石核3点・礫32点の計38点が出土した。

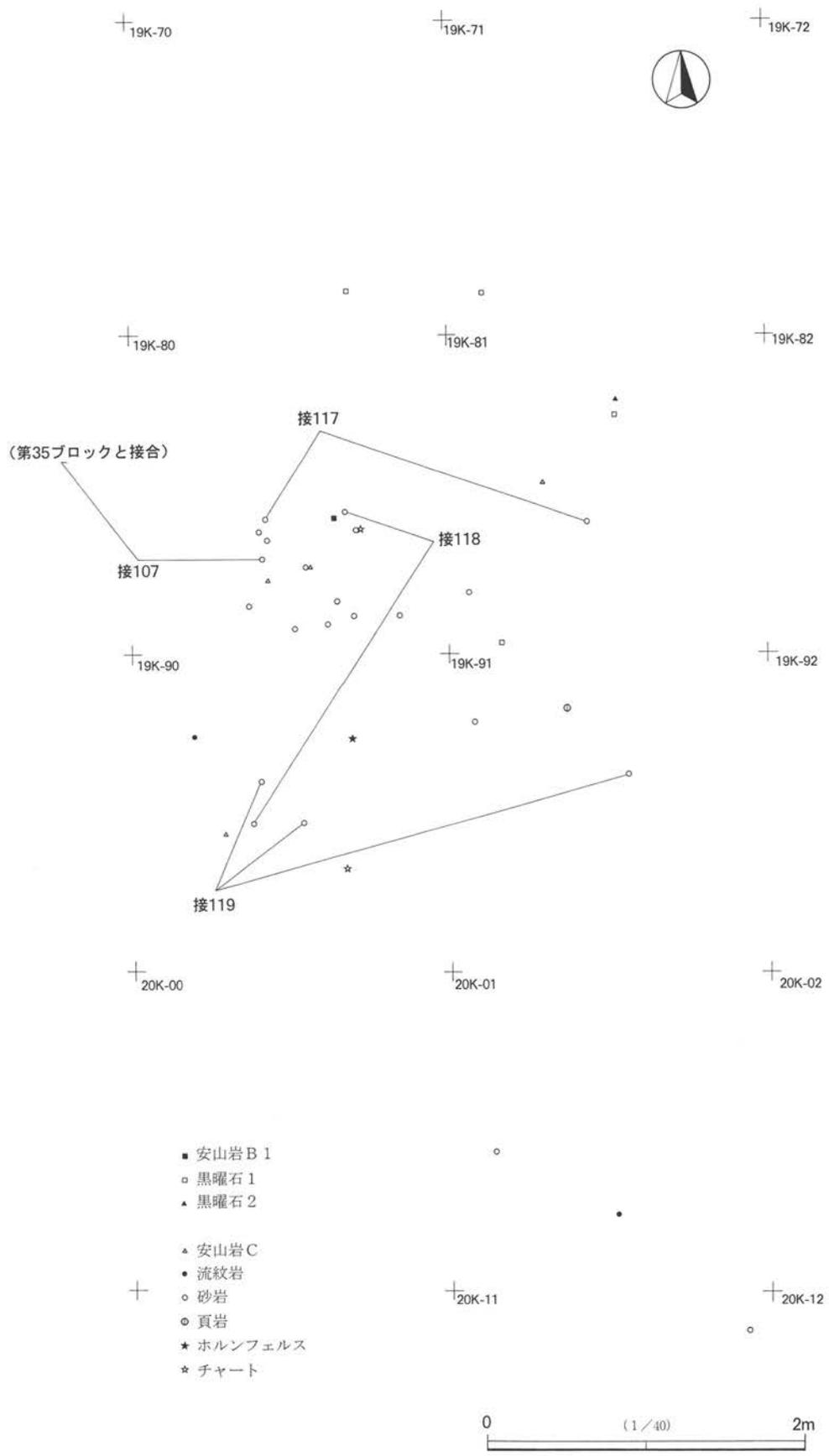
二次加工剥片(3)は、黒曜石1製で縁辺に微細な剥離痕がみられる。二次加工によるものかは断定できない。

石核は3点(4～6)が出土した。厚手の剥片から一般剥片を生産するもの(4・5)、円礫に打面を作出して一般剥片を生産するもの(6)がみられた。石材は黒色緻密質安山岩(安山岩B1)が1点、黒曜石1が1点、黒曜石2が1点である。

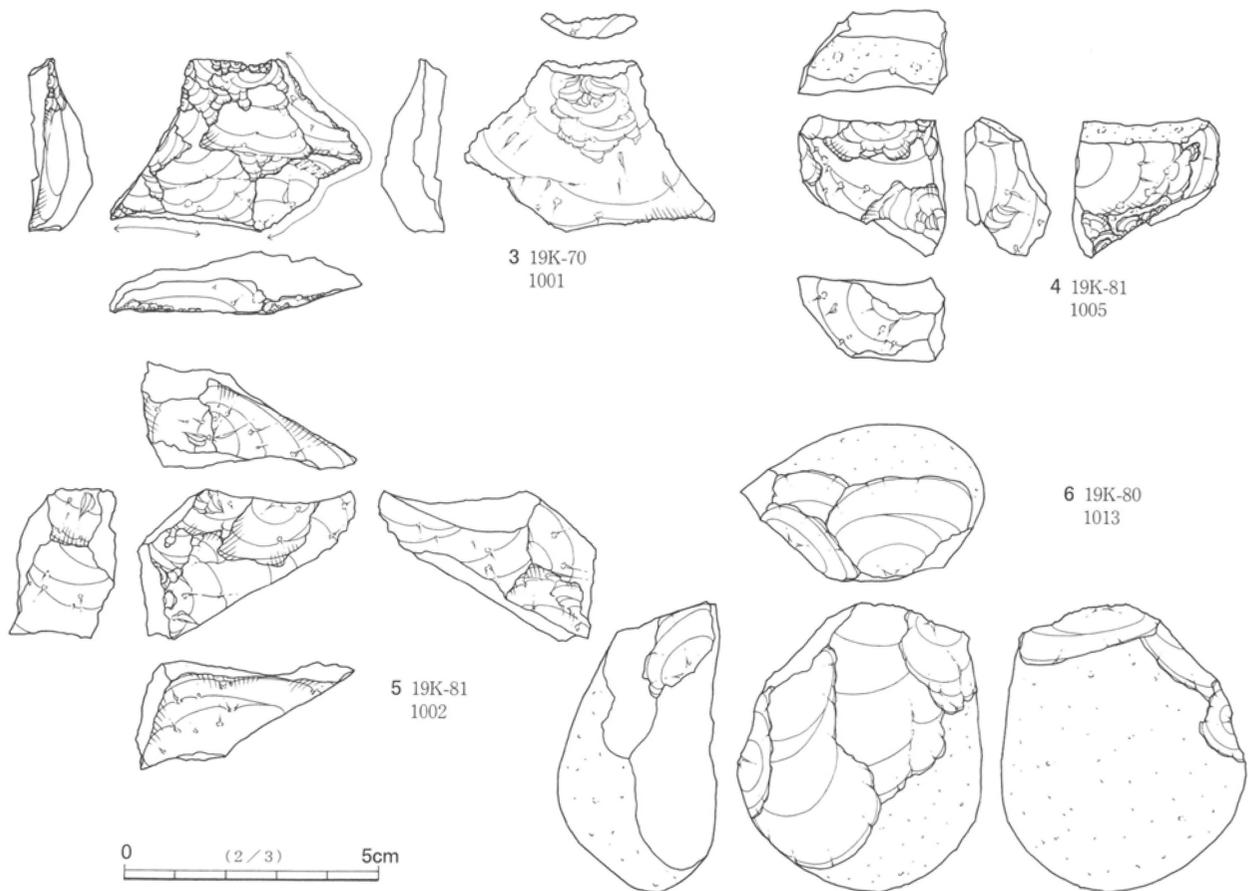
剥片は、チップ1点と一般剥片1点を含む。



第120図 第36ブロック石器別分布図



第121図 第36ブロック母岩別分布図



第122図 第36ブロック出土石器

6. 第6文化層

第37ブロック (第123図, 第41・78表)

1) 概要

Ⅲ層から尖頭器1点・二次加工剥片1点の計2点が出土した。石材はいずれも黒色緻密質安山岩である。

2) 母岩別資料

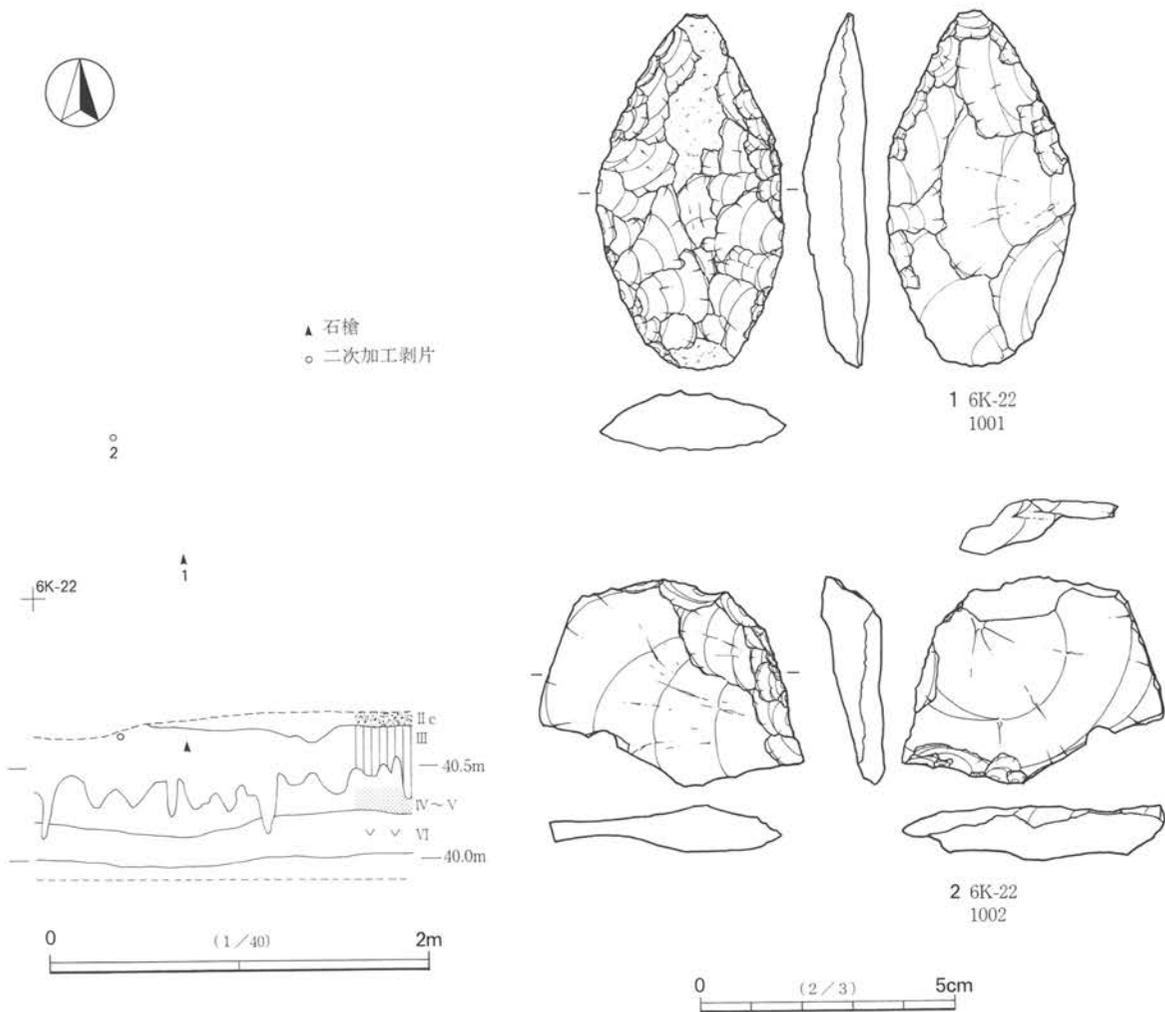
・安山岩A1 剥離面は灰茶色を呈し、径0.3mm～2.0mmの黒色と、ベージュ色の斑晶が入る。原礫面は爪跡状のくぼみがみられる。尖頭器1点・二次加工剥片1点を含み、総重量は49.77gである。

3) 出土遺物 (第123図, 図版19)

尖頭器1点・二次加工剥片の2点が出土した。

尖頭器は安山岩A1製で、厚手の剥片を素材とする。両面を平坦剥離によって加工しており、表面には原礫面を残す。

二次加工剥片は安山岩A1製で、幅広の剥片を素材とする。2つの刃部が収斂する形態だが、二次加工の施されている部位は錯向の関係となる。



第123図 第37ブロック遺物分布図・出土石器

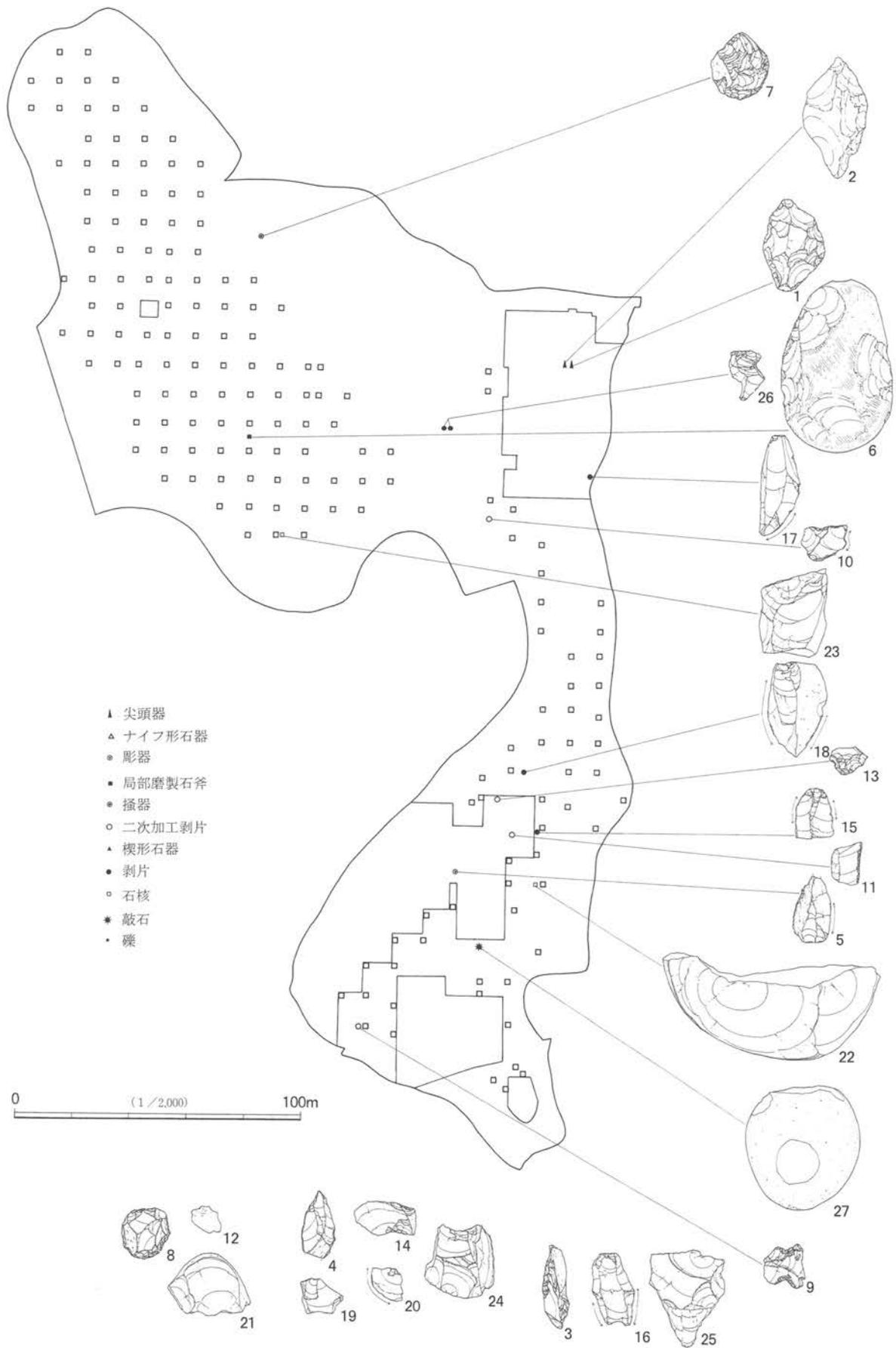
7. グリッド及び上層出土石器 (第124~127図, 第79表, 図版20)

グリッド及び上層遺構の調査中に出土した石器を抽出した。

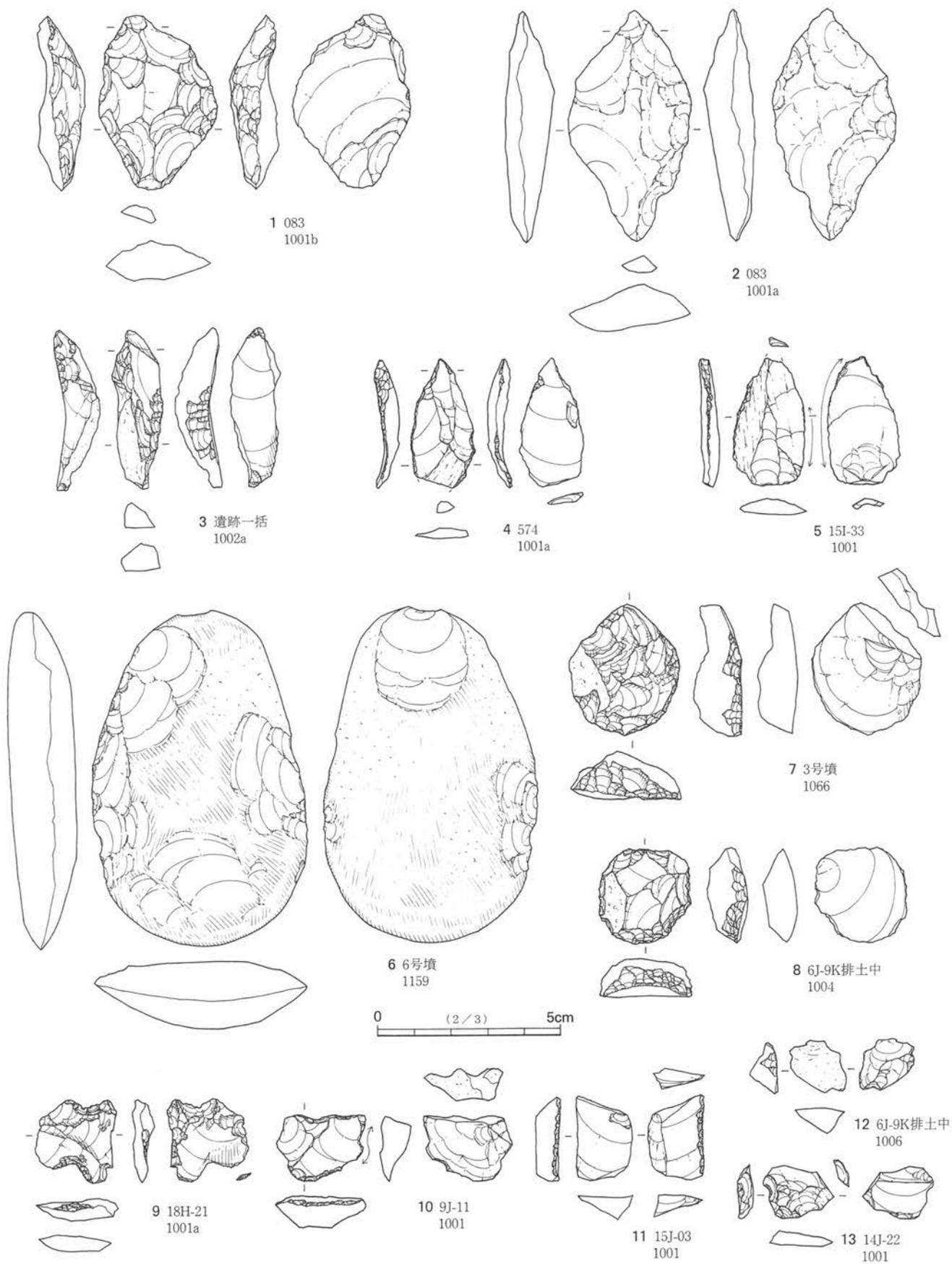
上層から出土している石器の内訳は、尖頭器2点・ナイフ形石器2点・彫器1点・局部磨製石斧1点・搔器2点・楔形石器1点・石核5点・敲石1点・二次加工剥片5点・剥片33点・礫9点の計62点である。そのうち28点を図化した。

尖頭器は2点(1・2)出土した。1は安山岩A製で、比較的厚手の剥片を素材とする。片面を平坦剥離によって加工している。2はホルンフェルス製で、薄手の剥片を素材とする。表面の器体中央部右側と裏面の器体中央部左側を平坦剥離によって加工している。

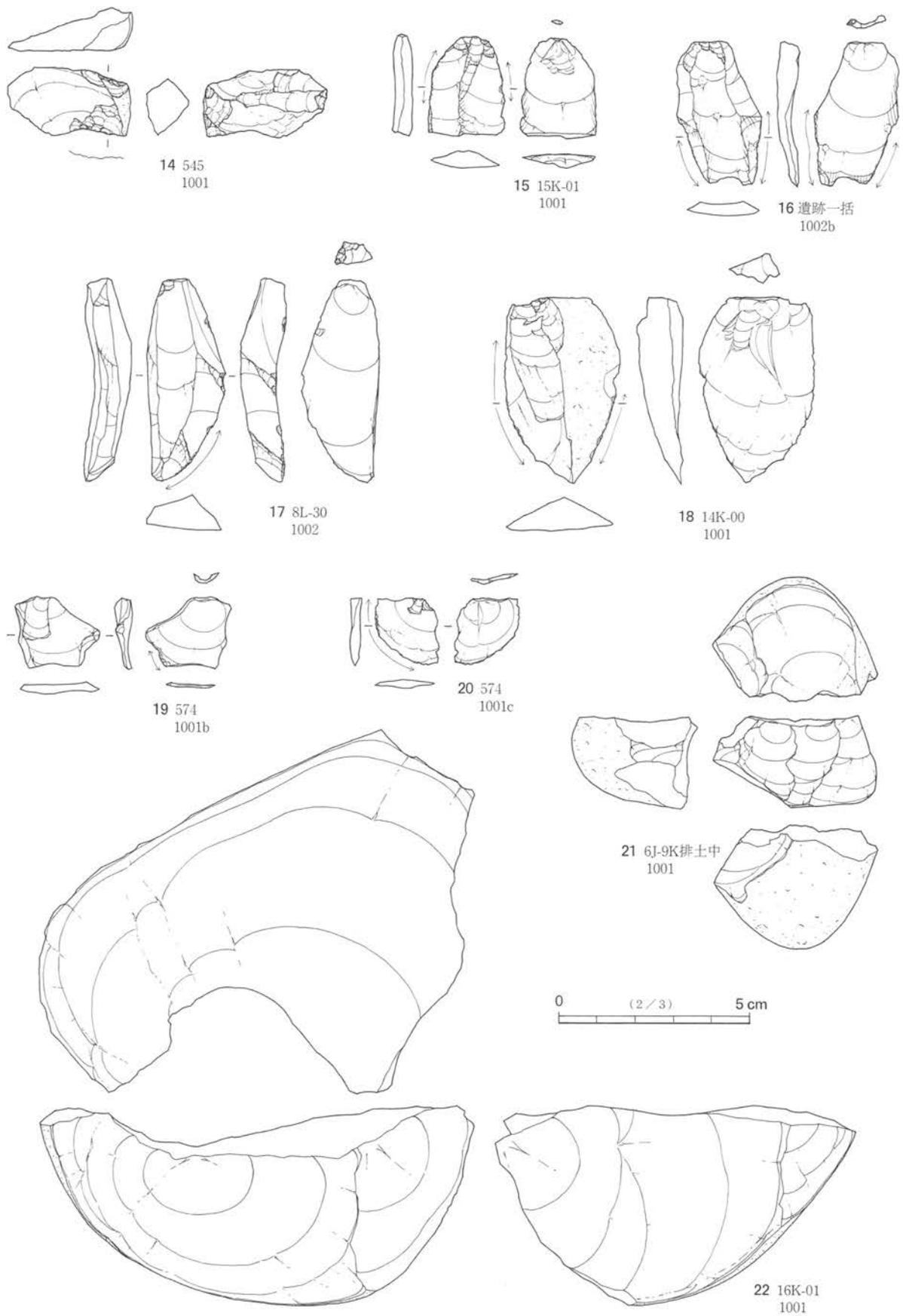
ナイフ形石器は2点(3・4)出土した。3は良質な黒曜石製で、石刃状の縦長剥片の末端側を基部として、左側縁の上部と右側縁下半部に腹面側から急斜度の二次加工を施している。4は硬質頁岩製で、縦長剥片の打面側を基部として、左側縁の上半部と右側縁の下半部に腹面側から急斜度の二次加工を施している。



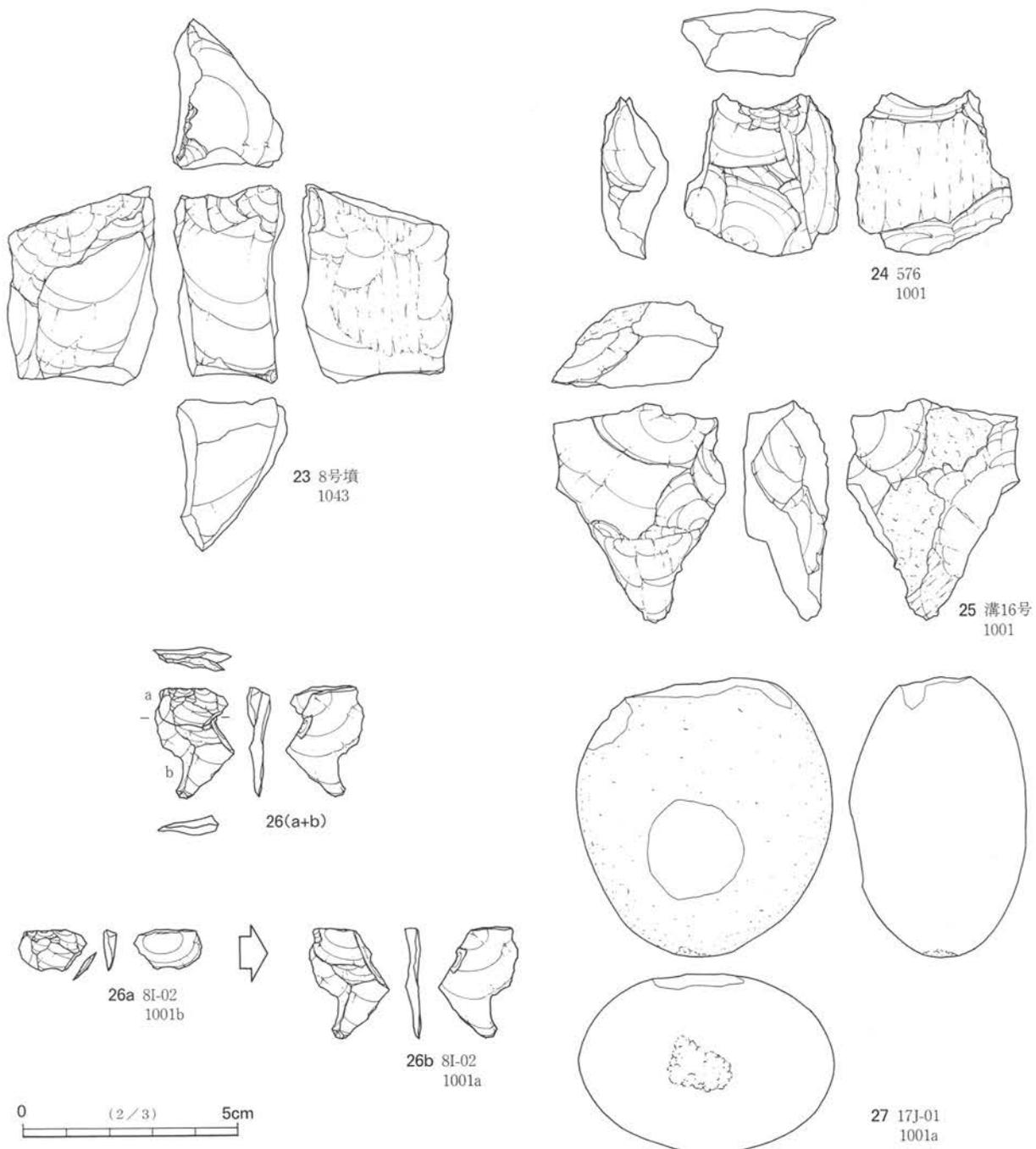
第124図 グリッド及び上層出土遺物分布図



第125図 グリッド及び上層出土石器(1)



第126図 グリッド及び上層出土石器(2)



第127図 グリッド及び上層出土石器(3)

5は嶺岡頁岩製の彫器で、左側縁先端部に槌状剥離による調整加工を施している。先端部を折損していることから、同時に生じた衝撃剥離の可能性もある。また、右側縁の両面に微細な剥離痕がみられる。

6は蛇灰岩製の局部磨製石斧で、両面の周辺を平坦剥離によって加工しており、ほぼ全面を研磨している。

搔器は2点(7・8)出土した。7は黒曜石製で、不定型な剥片の右側縁から末端にかけて急斜度の二次加工を施している。8は玉髓製で、不定型な剥片のほぼ全周に急斜度の二次加工を施している。両者とも円形搔器と思われる。

二次加工剥片は5点(9～13)出土した。9は黒曜石製で、表面の上下両端にノッチ状の対向する剥離痕、また、裏面の両側縁の一部にも対向する剥離痕がみられる。あるいは両極剥片を素材としたのかもし

れない。10は凝灰岩製で、末端に二次加工を施している。また、右側縁の一部には微細な剥離痕がみられる。11, 12は硬質頁岩製で、11は裏面側の右側縁に二次加工を施している。12は左側縁に背面側から急斜度の二次加工を施している。13は嶺岡頁岩製で、左側縁に二次加工を施している。

14は楔形石器で、珪質頁岩の剥片を素材とする。上下両端の一部に対向する剥離痕がみられる。

15～20, 26は剥片である。15, 16は黒曜石製、17, 26 a・bは硬質頁岩製、18～20は嶺岡頁岩製である。15～18は石刃状の縦長剥片である。15は両側縁の一部、16は両面の両側縁の下半部、17は右側縁の下部、18は両側縁に微細な剥離痕がみられる。なお、19・20にみられる微細な剥離痕は、周辺の剥離痕と比べて光沢が異なることから、ガジリと思われる。26は剥片2点(26 a・b)の接合資料である。自然面を打面として、26 a→26 bの順に剥離している。

21～25は石核である。21は安山岩A製で、分割した礫の平坦面を打面として、剥片剥離を行っている。22は砂岩製で、大型の礫の分割面を打面として、剥片剥離を行っている。23は頁岩製で、厚手の剥片を素材とする。上部の平坦な剥離面を打面として、剥片剥離を行っている。24は嶺岡頁岩製、25は玉髓製で比較的厚手の剥片を素材とする。求心状の剥離によって横長の剥片を生産している。

27は砂岩製の敲石で、比較的厚手の垂円礫の末端に浅い敲打痕がみられる。

参考文献

田村 隆 2005 「この石はどこから来たか」『考古学Ⅲ』

属性表註

打面	数字：打面上に残る剥離面数。打撃方向が判断できない節理面であっても、面数に含める。そのうちネガティブバルブをもつ剥離面数を()内に示す。 P：点状打面。 L：線状打面。 C：自然面打面
打角・剥離角	打角：剥片の打面とポジティブバルブがつくる角度。 剥離角：石核の打面とネガティブバルブがつくる角度。
背面構成	I：主要剥離面と同一方向の剥離面が存在する場合。 II：主要剥離面と逆方向の剥離面が存在する場合。 III：主要剥離面と直交または斜行する剥離面が存在する場合。 I～IIIの場合、剥片剥離後の調整痕は除く。 IV：剥離方向が不明な節理面。 V：原礫面
末端形状	F：直線状 Feather end H：蝶番状 Hinge fracture S：階段状 Step fracture O：逆反りまたは石核底面に達する Outrepasse
調整角	搔削器の刃部、ナイフ形石器の刃潰し、彫刻刀面の形成などにおける調整剥離角。 両面調整石器の場合は剥離角を示さない。
使用痕	N：刃こぼれ Nicked edge C：いわゆるコーングロス。植物との接触面に生じるポリッシュ。Corn gross S：敲打 Striking(Struck) marks G：すりつぶし P：磨り H：被熱痕
折れ	記号は折れによって残存している部位を示す。 H：頭部 Head

第3章 まとめ

神明社裏遺跡の旧石器時代では、5,260m²の本調査を実施した。その結果、Ⅲ層からⅧ(X)層にかけての層位から、37か所のブロックで計1,808点の石器が出土した。検出した37か所のブロックは、石器の形態・組成を分類基準として6つの文化層に区分されているが、層位的出土と文化層の区分は必ずしも一致していない。ここでは、各文化層の概要と代表的なブロックを説明し、全体のまとめとしたい。なお、層序については、第2章第2節で述べたように、昭和58年度から昭和60年度当時の分層基準を基本土層とし、括弧内には対比される現在の分層基準を記載している。

第1文化層：第1ブロックから第5ブロックの5か所が該当し、197点の石器が出土した。いずれも南側台地の南西側で、西側から侵入する小支谷に面した台地縁辺部に分布している。径5m～18mの範囲に広がり、多くは散漫な分布であるが、第2ブロックのように集中度の高いブロックもみられる。石器は立川ローム層Ⅲ層～Ⅷ(X)層まで出土しているが、出土層準は各ブロック間で異なっている。第2ブロックがⅧ(X)層、第3ブロックがⅧc(Ⅸc)層、第1ブロックはⅦ(Ⅸ)層に集中する傾向をみせている。第4ブロックでは層位に幅をもって出土しているが、Ⅷc(Ⅸc)層に集中する石器群も存在する。石器は出土層準に不規則に分布しているが、概ねⅦ(Ⅸ)層～Ⅷ(X)層の立川ローム層第2黒色帯下半部を中心に出土した石器群で構成されている。石器組成は、削器・楔形石器・二次加工剥片・石核・敲石・台石・剥片と礫である。第1ブロックでは砂岩製の局部磨製石斧の調整剥片と敲石・台石が、削器と楔形石器は第1・第4・第5ブロックから、それぞれ出土している。第1・第4ブロック出土の削器は黒曜石製で、ともに打面を変えながら厚手の剥片や石核の破片を素材にしている。第5ブロックの削器はチャートの礫を分割した素材を用いて、やや鋸歯状を呈する刃部を作り出している。

石器石材は、出土点数の多い順から、チャート・頁岩・安山岩・ホルンフェルス・砂岩・珪質頁岩・黒曜石・嶺岡頁岩・流紋岩・玉随・硬質頁岩である。チャートは剥片を中心に82点と最も多く出土している。削器が黒曜石・チャート、楔形石器は珪質頁岩・頁岩・黒曜石である。第1ブロック出土の削器に使用された黒曜石の産地は、栃木県高原山と推定される。

剥片剥離作業は、第1ブロックでは大型の剥片を石核として一般的な剥片を生産している。第2・第4ブロックにおいては、持ち込んだチャートの円礫などを分割して剥片生産を行っている。

すべてのブロックで安山岩やチャートなどの母岩を共有しており、第3ブロックでは第2ブロックからの搬入品と考えられる石器が多く出土している。また、接合関係は第1ブロックと第4ブロック間(チャート)、第2ブロックと第3ブロック間(砂岩・チャート)で、それぞれ確認されている。

第2文化層：第6ブロックから第30ブロックの25か所が該当し、1,344点の石器が出土した。本遺跡では、最も規模の大きな石器群である。第6ブロックから第23ブロックまでは、北側台地の東側に分布し、南側から大きく入り込んだ萩ノ作支谷に面した台地縁辺部にまとまっている。第24ブロックから第30ブロックは、南側台地中央部から南西側縁辺部にかけての範囲に、小規模なブロックでやや散漫に分布する。石器はⅢ層～Ⅷ(X)層まで幅をもって出土しているが、分布の中心はⅦ層～Ⅷc(Ⅸc)層で、特にⅧa(Ⅸa)層に集中して出土しているブロックが多い。概ね立川ローム層第2黒色帯下半部の上層を中心に

土する石器群で構成されているといえよう。第1文化層と出土層準で重複する石器群もあり、特に南西側台地に分布する第24～第30ブロックは第1文化層と同 時期の可能性も考えられる。石器組成は、ナイフ形石器・局部磨製石斧・削器・楔形石器・搔器・二次加工剥片・石核・敲石・台石・剥片と礫である。

石器石材は、安山岩・ホルンフェルス・チャート・頁岩がそれぞれ100点を超える点数が出土している。なかでも安山岩は611点も出土しており、第2文化層内での構成比は点数比で45.5%。重量比でも32%を占めている。そのほかの石材は、硬質頁岩・珪質頁岩・黒曜石・玉随・砂岩・嶺岡頁岩・流紋岩などである。また、接合関係は第6ブロックと第21ブロック間(流紋岩)、第8ブロックと第18ブロック間(チャート)、第11ブロックと第15ブロック間(ホルンフェルス)、第14ブロックの石核と第12・16ブロックの剥片(安山岩)、第22ブロックの石核と第13ブロックの剥片(頁岩)、第16ブロックと第17ブロック間(チャート)と、離れたブロック間での接合も多く確認されている。

第2文化層における各ブロックの出土層準と石器組成・石材は多様であり、時期的にはさらに細分できると思われる。ここでは中心的な出土層準から、1) VIIa(IXa)層～VIIc(IXc)層、2) VIIa(IXa)層中心、3) VI層中心、の3グループに大別する。

1)第23ブロックは北側台地側に集中するブロックのうち南端に分布する小規模な石器群で、VIIa(IXa)層～VIIc(IXc)層から硬質頁岩製の削器と安山岩製の剥片で構成されている。削器は一般的な剥片を素材とし、背面側に原礫面の一部を残す。剥片は、南西側の第27・28ブロックと母岩の共有が認められる。

2)第2文化層の中心はVIIa(IXa)層から出土した石器群で構成されており、北側台地では第6～8・11・12・14～22ブロック、南側台地では第27～29ブロックが該当する。石器組成も豊富で、ナイフ形石器10点・局部磨製石斧1点・削器6点・楔形石器54点・搔器1点や敲石・台石などが出土している。ナイフ形石器は縦長剥片を素材とした二側縁加工と一側縁加工、石刃を素材とした基部加工がみられ、石材はトロトロ石と俗称される安山岩、硬質頁岩、嶺岡頁岩、珪質凝灰岩、ホルンフェルスといった石材が用いられている。第15ブロックでは、ナイフ形石器の素材である安山岩製の一般的な剥片の出土はわずかで、ナイフ形石器は搬入された可能性が高い。第20ブロックの珪質凝灰岩製ナイフ形石器も、石刃を素材として持ち込まれたものであろう。第12ブロックから出土した局部磨製石斧は結晶片岩(蛇紋岩)製で、刃部は研磨による両刃に作出されている。第7・8・14・15・19～21ブロックでは、安山岩製の楔形石器とともに剥片も出土しており、一般的な剥片生産を主に行っている。母岩の共有は、第6～第8ブロックを中心に、第11・12・15ブロックなどの間で、黒色緻密質安山岩やトロトロ石と俗称される淡明灰色を呈する安山岩、ホルンフェルスで接合関係が多くなっている。

3)VI層を中心出土の石器群は、北側台地の第9・10・13ブロック、南側台地の第26ブロックが該当する。石器組成は、ナイフ形石器3点・楔形石器9点・敲石1点や石核・剥片と礫である。ナイフ形石器は頁岩系の石材を用いて、石刃を素材とした二側縁加工や、縦長剥片・幅広剥片を素材に左側縁全体と右側縁に二次加工を加えている。石器石材は、北側では黒色緻密質やトロトロ石と俗称される安山岩と頁岩が主体となっているが、第26ブロックは中心となる石材はなく安山岩・黒曜石・頁岩・ホルンフェルスなど11種類の母岩が混在している。母岩の共有は、黒色緻密質安山岩やトロトロ石、黒曜石、硬質頁岩などでみられる。

第3文化層：南側台地の南西斜面寄りに位置する第31ブロックが該当する。第1文化層の第5ブロックの北西に隣接し、径1.8mの範囲に散漫に11点の石器と礫が分布している。このうち9点がVIIa(IXa)層か

らの出土である。石器組成は、黒色緻密質安山岩製の楔形石器1点と剥片、礫で構成されている。楔形石器は原礫面が残る剥片を素材としている。剥片は一般的な剥片剥離が多く、石材は黒曜石・珉質頁岩・安山岩・チャートである。

第4文化層：北側台地の第32ブロックと南側台地の第33ブロックが該当し、130点の石器と2点の礫が出土している。このうち第33ブロックからは、剥片3点と石核1点がわずかに出上しているにすぎないので、第4文化層の中心は第32ブロックである。石器はIV・V層からVIIc(IXc)層まで出土しているが、集中するのは立川ローム層VI層・VI下層のAT層を中心とした層位である。第32ブロックは層位的には差があるが、第2文化層の第19ブロックと平面的には重複している。石器組成は、ナイフ形石器3点・削器1点・楔形石器1点・石核・剥片と礫である。ナイフ形石器のうち硬質頁岩製の2点は、石刃と縦長剥片を素材とし、基部に腹面側からの急斜度の二次加工を施している。同一母岩による硬質頁岩の剥片も点数比で63%を占めているが、典型的な石刃ではなく縦長剥片を素材としている。石刃生産とナイフ形石器の製作工程の一致は認められず、生産された剥片のなかから素材になるものを選別して使用している。石器石材は、硬質頁岩以外では黒曜石・安山岩・玉随などである。

第5文化層：北側台地の第34ブロック、南側台地の第35・36ブロックが該当し、12点の石器と112点の礫が出土した。砂岩製の礫の出土量が圧倒的に多いのが、本文化層の特徴である。第35ブロックでは径2mの範囲内に63点の礫が集中して出上っている。第34ブロックは第2文化層第16ブロックと平面的には重複している。第35・36ブロックは南側台地の南側先端付近で、萩ノ作支谷に面した縁辺部に小規模な石器群を形成している。石器の出上層準はIV層～VI層であるが、中心となるのは立川ローム層V層・VI層の硬質ローム層からAT層である。礫以外の石器組成は、敲石1点と石核・剥片である。石核は黒曜石2点・黒色緻密質安山岩1点で、厚手の剥片や円礫から一般的な剥片を生産している。敲石は砂岩製で、端部に敲打痕が認められる。石器石材は黒曜石を中心に、砂岩・安山岩・嶺岡頁岩である。

第6文化層：北側台地の第37ブロックが該当し、黒色緻密質安山岩製の尖頭器1点と二次加工剥片1点が出土した。平面的には第2文化層の第8ブロックと重複する。いずれも立川ローム層のソフトローム層中からの出土である。尖頭器は、平坦剥離により両面を調整し、表面に原礫面の一部を残す。単独母岩を使用した搬入品であろう。

第1表 第1文化層出土石器組成表 (全体)

母岩名/器種	削器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	敲石	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	1	0	10	1	0	0	0	12	70.04	6.09%	1.19%
安山岩A2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16.89	0.51%	0.29%
安山岩A3	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	53.15	3.55%	0.90%
安山岩B1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	34.98	1.02%	0.59%
安山岩B2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.98	0.51%	0.07%
安山岩C1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6.37	0.51%	0.11%
流紋岩1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	954.02	1.02%	16.22%
流紋岩2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	16.82	1.02%	0.29%
黒曜石1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	26.38	2.54%	0.45%
黒曜石2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	3	26.58	1.52%	0.45%
黒曜石3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.23	0.51%	0.00%
黒曜石4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.91	0.51%	0.05%
頁岩1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	11	107.40	5.58%	1.83%
頁岩2	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	91.36	3.55%	1.55%
頁岩3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.38	0.51%	0.01%
頁岩4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.58	0.51%	0.08%
頁岩5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	18.25	1.02%	0.31%
頁岩6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.23	0.51%	0.14%
頁岩7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	9.38	1.02%	0.16%
頁岩8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2.54	1.02%	0.04%
頁岩9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.17	0.51%	0.00%
頁岩10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	20.27	1.02%	0.34%
頁岩11	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	42.93	0.51%	0.73%
頁岩12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	24.39	0.51%	0.41%
珪質頁岩1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	21.12	1.52%	0.36%
珪質頁岩2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.91	0.51%	0.02%
珪質頁岩3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	43.60	0.51%	0.74%
珪質頁岩4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	30.41	0.51%	0.52%
珪質頁岩5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.77	0.51%	0.18%
珪質頁岩6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6.75	0.51%	0.11%
珪質頁岩7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5.55	0.51%	0.09%
珪質頁岩8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.47	0.51%	0.06%
硬質頁岩1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	13.97	0.51%	0.24%
嶺岡頁岩1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	7.23	1.02%	0.12%
嶺岡頁岩2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.65	0.51%	0.03%
嶺岡頁岩3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	10.30	1.02%	0.18%
砂岩1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2,560.65	0.51%	43.55%
砂岩2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	131.97	0.51%	2.24%
砂岩3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5.90	0.51%	0.10%
砂岩4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	143.83	1.02%	2.45%
砂岩5	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	99.21	3.05%	1.69%
砂岩6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.22	0.51%	0.17%
砂岩7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.41	0.51%	0.01%
ホルンフェルス1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5	88.10	2.54%	1.50%
ホルンフェルス2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.63	0.51%	0.08%
ホルンフェルス3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.51	0.51%	0.04%
ホルンフェルス4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	39.40	1.52%	0.67%
ホルンフェルス5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	7.71	1.02%	0.13%
ホルンフェルス6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	19.12	0.51%	0.33%
ホルンフェルス7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10.22	0.51%	0.17%
チャート1	0	0	0	0	23	2	0	0	0	25	282.06	12.69%	4.80%
チャート2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6.06	0.51%	0.10%
チャート3	0	0	0	0	29	8	0	0	0	37	532.88	18.78%	9.06%
チャート4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	11.77	0.51%	0.20%
チャート5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	14.86	0.51%	0.25%
チャート6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.23	0.51%	0.00%

母岩名/器種	削器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	敲石	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート7	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4	54.74	2.03%	0.93%
チャート8	1	0	0	0	4	0	0	0	0	5	50.21	2.54%	0.85%
チャート9	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	35.38	1.02%	0.60%
チャート10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	17.22	0.51%	0.29%
チャート11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	18.21	0.51%	0.31%
チャート12	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	17.31	0.51%	0.29%
チャート13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7.78	0.51%	0.13%
チャート14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	9.13	0.51%	0.16%
玉髓1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.77	1.02%	0.01%
合計	3	1	7	3	159	18	2	1	3	197	5,880.45	100.00%	100.00%

第2表 第1ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	楔形石器	剥片	石核	敲石	台石	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	8	1	0	0	9	61.39	16.36%	1.49%
安山岩A2	0	0	1	0	0	0	1	16.89	1.82%	0.41%
安山岩B1	0	0	1	1	0	0	2	34.98	3.64%	0.85%
流紋岩1	0	0	1	0	1	0	2	954.02	3.64%	23.09%
黒曜石1	0	0	4	1	0	0	5	24.31	9.09%	0.59%
黒曜石2	1	0	0	0	0	0	1	8.93	1.82%	0.22%
頁岩1	0	0	11	0	0	0	11	107.40	20.00%	2.60%
頁岩2	0	0	7	0	0	0	7	91.36	12.73%	2.21%
珪質頁岩1	0	1	0	0	0	0	1	2.57	1.82%	0.06%
珪質頁岩2	0	0	1	0	0	0	1	0.91	1.82%	0.02%
嶺岡頁岩1	0	0	1	0	0	0	1	5.51	1.82%	0.13%
砂岩1	0	0	0	0	0	1	1	2,560.65	1.82%	61.97%
砂岩2	0	0	0	0	1	0	1	131.97	1.82%	3.19%
砂岩3	0	0	1	0	0	0	1	5.90	1.82%	0.14%
ホルンフェルス1	0	0	4	1	0	0	5	88.10	9.09%	2.13%
ホルンフェルス2	0	0	1	0	0	0	1	4.63	1.82%	0.11%
ホルンフェルス3	0	0	1	0	0	0	1	2.51	1.82%	0.06%
チャート1	0	0	1	0	0	0	1	23.29	1.82%	0.56%
チャート2	0	0	1	0	0	0	1	6.06	1.82%	0.15%
玉髓1	0	0	2	0	0	0	2	0.77	3.64%	0.02%
合計	1	1	46	4	2	1	55	4,132.15	100.00%	100.00%

第3表 第2ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A3	0	2	0	0	2	9.20	6.45%	1.54%
流紋岩2	0	1	0	0	1	16.82	3.23%	2.81%
頁岩4	0	1	0	0	1	4.58	3.23%	0.76%
珪質頁岩1	1	0	0	0	1	10.45	3.23%	1.74%
珪質頁岩3	0	0	1	0	1	43.60	3.23%	7.28%
砂岩4	0	0	1	0	1	122.80	3.23%	20.51%
チャート3	1	16	6	0	23	379.64	74.19%	63.39%
チャート4	0	0	0	1	1	11.77	3.23%	1.97%
合計	2	20	8	1	31	598.86	100.00%	100.00%

第4表 第3ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	2	0	2	3.49	6.45%	1.19%
黒曜石3	0	1	0	1	0.23	3.23%	0.08%
頁岩5	0	2	0	2	18.25	6.45%	6.20%
頁岩6	0	1	0	1	8.23	3.23%	2.80%
珩質頁岩1	0	1	0	1	8.10	3.23%	2.75%
珩質頁岩4	1	0	0	1	30.41	3.23%	10.33%
珩質頁岩5	0	1	0	1	10.77	3.23%	3.66%
珩質頁岩6	0	1	0	1	6.75	3.23%	2.29%
珩質頁岩7	0	1	0	1	5.55	3.23%	1.88%
嶺岡頁岩1	1	0	0	1	1.72	3.23%	0.58%
嶺岡頁岩2	0	1	0	1	1.65	3.23%	0.56%
砂岩4	0	1	0	1	21.03	3.23%	7.14%
ホルンフェルス4	0	1	0	1	9.94	3.23%	3.38%
チャート3	0	13	1	14	153.24	45.16%	52.04%
チャート5	0	1	0	1	14.86	3.23%	5.05%
チャート6	0	1	0	1	0.23	3.23%	0.08%
合計	2	28	1	31	294.45	100.00%	100.00%

第5表 第4ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	1	0	0	0	0	1	5.16	1.41%	0.74%
安山岩A3	0	0	0	5	0	0	5	43.95	7.04%	6.34%
安山岩B2	0	0	0	1	0	0	1	3.98	1.41%	0.57%
黒曜石1	0	0	0	1	0	0	1	2.07	1.41%	0.30%
黒曜石2	0	0	1	1	0	0	2	17.65	2.82%	2.55%
黒曜石4	1	0	0	0	0	0	1	2.91	1.41%	0.42%
頁岩7	0	0	0	2	0	0	2	9.38	2.82%	1.35%
頁岩8	0	0	0	2	0	0	2	2.54	2.82%	0.37%
頁岩9	0	0	0	1	0	0	1	0.17	1.41%	0.02%
珩質頁岩8	0	0	0	1	0	0	1	3.47	1.41%	0.50%
硬質頁岩1	0	1	0	0	0	0	1	13.97	1.41%	2.02%
嶺岡頁岩3	0	2	0	0	0	0	2	10.30	2.82%	1.49%
砂岩5	0	0	0	5	0	0	5	97.80	7.04%	14.11%
砂岩6	0	0	0	1	0	0	1	10.22	1.41%	1.47%
砂岩7	0	0	0	1	0	0	1	0.41	1.41%	0.06%
ホルンフェルス4	0	0	0	1	0	0	1	0.95	1.41%	0.14%
ホルンフェルス5	0	0	0	2	0	0	2	7.71	2.82%	1.11%
ホルンフェルス6	0	0	0	1	0	0	1	19.12	1.41%	2.76%
ホルンフェルス7	0	0	0	0	0	1	1	10.22	1.41%	1.47%
チャート1	0	0	0	22	2	0	24	258.77	33.80%	37.34%
チャート7	0	0	0	3	1	0	4	54.74	5.63%	7.90%
チャート8	0	0	0	4	0	0	4	12.52	5.63%	1.81%
チャート9	0	0	0	2	0	0	2	35.38	2.82%	5.11%
チャート10	0	0	0	1	0	0	1	17.22	1.41%	2.48%
チャート11	0	0	0	1	0	0	1	18.21	1.41%	2.63%
チャート12	0	0	0	0	1	0	1	17.31	1.41%	2.50%
チャート13	0	0	0	1	0	0	1	7.78	1.41%	1.12%
チャート14	0	0	0	1	0	0	1	9.13	1.41%	1.32%
合計	1	4	1	60	4	1	71	693.04	100.00%	100.00%

第6表 第5ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩C1	0	0	0	0	1	1	6.37	12.50%	3.94%
頁岩10	0	0	1	1	0	2	20.27	25.00%	12.55%
頁岩11	0	1	0	0	0	1	42.93	12.50%	26.57%
頁岩12	0	0	0	1	0	1	24.39	12.50%	15.10%
砂岩5	0	0	0	1	0	1	1.41	12.50%	0.87%
ホルンフェルス4	0	0	0	1	0	1	28.51	12.50%	17.65%
チャート8	1	0	0	0	0	1	37.69	12.50%	23.33%
合計	1	1	1	4	1	8	161.57	100.00%	100.00%

第7表 第2文化層出土石器組成表 (全体)

母岩名/器種	ナイフ形石器	削器	搔器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	1	0	0	4	18	184	11	0	0	0	218	1,163.51	16.22%	7.29%
安山岩A2	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	6	31.55	0.45%	0.20%
安山岩A3	0	0	0	0	3	0	9	0	0	0	0	12	167.54	0.89%	1.05%
安山岩A4	0	0	0	0	0	1	18	1	0	0	0	20	103.96	1.49%	0.65%
安山岩A5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	11.51	0.22%	0.07%
安山岩A6	0	0	0	0	0	2	14	0	0	0	0	16	17.03	1.19%	0.11%
安山岩A7	0	0	0	0	0	1	25	2	0	0	0	28	193.28	2.08%	1.21%
安山岩A8	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	40.64	0.30%	0.25%
安山岩A9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.21	0.07%	0.01%
安山岩A10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	405.00	0.07%	2.54%
安山岩A11	0	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	15	51.53	1.12%	0.32%
安山岩A12	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	6	22.19	0.45%	0.14%
安山岩A13	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	50.97	0.15%	0.32%
安山岩A14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.54	0.07%	0.02%
安山岩A15	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	6	53.62	0.45%	0.34%
安山岩A16	0	0	0	0	0	5	6	1	0	0	0	12	70.09	0.89%	0.44%
安山岩A17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	17.77	0.07%	0.11%
安山岩A18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	17.40	0.07%	0.11%
安山岩A19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7.98	0.07%	0.05%
安山岩A20	0	0	0	0	0	1	9	1	0	0	0	11	103.36	0.82%	0.65%
安山岩A21	0	0	0	0	0	0	38	2	0	0	0	40	741.08	2.98%	4.64%
安山岩A22	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5	31.42	0.37%	0.20%
安山岩A23	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	13.89	0.30%	0.09%
安山岩A24	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	9	68.44	0.67%	0.43%
安山岩A25	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	9.89	0.07%	0.06%
安山岩A26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.25	0.07%	0.01%
安山岩A27	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.43	0.07%	0.00%
安山岩A28	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	47.19	0.15%	0.30%
安山岩A29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	122.05	0.07%	0.76%
安山岩A30	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	9.88	0.07%	0.06%
安山岩A31	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	18.88	0.45%	0.12%
安山岩A32	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	13.79	0.30%	0.09%
安山岩A33	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	16.78	0.15%	0.11%
安山岩A34	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	6	102.96	0.45%	0.65%
安山岩A35	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5	43.68	0.37%	0.27%
安山岩A36	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	19.60	0.15%	0.12%
安山岩A37	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5.46	0.07%	0.03%
安山岩A38	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15.71	0.07%	0.10%
安山岩B1	3	0	0	0	1	0	78	3	0	0	0	85	338.85	6.32%	2.12%
安山岩B2	0	0	0	0	0	0	7	3	0	0	0	10	176.19	0.74%	1.10%
安山岩B3	0	0	0	0	0	1	22	2	0	0	0	25	136.75	1.86%	0.86%
安山岩B4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.17	0.07%	0.00%
安山岩B5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.23	0.07%	0.00%

母岩名/器種	ナイフ 形石器	削器	搔器	局部磨 製石斧	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩B6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.08	0.07%	0.00%
安山岩B7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5.30	0.07%	0.03%
安山岩B8	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	11.68	0.07%	0.07%
安山岩B9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.27	0.07%	0.01%
安山岩B10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.20	0.07%	0.00%
安山岩B11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.06	0.07%	0.00%
安山岩B12	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.34	0.15%	0.00%
安山岩B13	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.37	0.07%	0.00%
安山岩B14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.12	0.07%	0.00%
安山岩B15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.18	0.07%	0.00%
安山岩B16	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.06	0.07%	0.02%
安山岩B17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.25	0.07%	0.00%
安山岩B18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.42	0.07%	0.00%
安山岩B19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.93	0.07%	0.01%
安山岩B20	0	0	0	0	0	0	8	2	0	0	0	10	74.78	0.74%	0.47%
安山岩C1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	9.54	0.07%	0.06%
安山岩C2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.32	0.07%	0.00%
安山岩C3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7.79	0.07%	0.05%
安山岩C4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.07	0.07%	0.01%
安山岩C5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	160.67	0.07%	1.01%
安山岩C6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	345.00	0.07%	2.16%
安山岩C7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	24.86	0.07%	0.16%
流紋岩1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	19.44	0.45%	0.12%
流紋岩2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	850.00	0.07%	5.33%
流紋岩3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	113.29	0.22%	0.71%
流紋岩4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	60.48	0.07%	0.38%
流紋岩5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	81.45	0.07%	0.51%
流紋岩6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	36.92	0.07%	0.23%
流紋岩7	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	20.20	0.22%	0.13%
流紋岩8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	151.56	0.07%	0.95%
流紋岩9	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	71.51	0.15%	0.45%
流紋岩10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.30	0.07%	0.01%
流紋岩11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4.06	0.07%	0.03%
流紋岩12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	25.86	0.07%	0.16%
流紋岩13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	16.43	0.07%	0.10%
流紋岩14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	24.41	0.07%	0.15%
流紋岩15	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	9.02	0.15%	0.06%
流紋岩16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	640.00	0.07%	4.01%
流紋岩17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1.93	0.15%	0.01%
流紋岩18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.65	0.07%	0.01%
流紋岩19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5.37	0.07%	0.03%
石英斑岩1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	21.87	0.15%	0.14%
黒曜石1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.27	0.07%	0.01%
黒曜石2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.47	0.07%	0.01%
黒曜石3	0	0	0	0	0	5	2	1	0	0	0	8	17.40	0.60%	0.11%
黒曜石4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3.79	0.07%	0.02%
黒曜石5	0	0	0	0	1	2	7	0	0	0	0	10	16.37	0.74%	0.10%
黒曜石6	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4	2.34	0.30%	0.01%
黒曜石7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.99	0.07%	0.01%
黒曜石8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2.61	0.07%	0.02%
黒曜石9	0	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	6	39.87	0.45%	0.25%
黒曜石10	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	3.72	0.30%	0.02%
黒曜石11	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	23.79	0.52%	0.15%
黒曜石12	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0.76	0.15%	0.00%
黒曜石13	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2.13	0.07%	0.01%
黒曜石14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4.49	0.07%	0.03%
黒曜石15	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	9.14	0.15%	0.06%

母岩名/器種	ナイフ形石器	削器	搔器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
黒曜石16	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.69	0.07%	0.01%
黒曜石17	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3.74	0.15%	0.02%
黒曜石18	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	8.74	0.15%	0.05%
頁岩1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.99	0.15%	0.01%
頁岩2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.94	0.07%	0.02%
頁岩3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6.53	0.07%	0.04%
頁岩4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.05	0.07%	0.01%
頁岩5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.00	0.07%	0.02%
頁岩6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	17.41	0.15%	0.11%
頁岩7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.39	0.07%	0.00%
頁岩8	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	115.13	0.07%	0.72%
頁岩9	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	7	30.86	0.52%	0.19%
頁岩10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16.63	0.07%	0.10%
頁岩11	1	0	0	0	1	0	17	2	0	0	0	21	174.33	1.56%	1.09%
頁岩12	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	4	21.59	0.30%	0.14%
頁岩13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1.92	0.07%	0.01%
頁岩14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.47	0.07%	0.03%
頁岩15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.69	0.07%	0.07%
頁岩16	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.52	0.07%	0.05%
頁岩17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.05	0.07%	0.02%
頁岩18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	14.92	0.07%	0.09%
頁岩19	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	42.90	0.15%	0.27%
頁岩20	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	7.48	0.15%	0.05%
頁岩21	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.09	0.07%	0.05%
頁岩22	0	0	0	0	0	0	8	1	0	0	0	9	54.24	0.67%	0.34%
頁岩23	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	7.04	0.22%	0.04%
頁岩24	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	3.70	0.15%	0.02%
頁岩25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	60.15	0.07%	0.38%
頁岩26	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2.38	0.07%	0.01%
頁岩27	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	36.42	0.07%	0.23%
頁岩28	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.43	0.07%	0.01%
頁岩29	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1.90	0.15%	0.01%
頁岩30	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.37	0.07%	0.01%
頁岩31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	43.60	0.07%	0.27%
頁岩32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8.29	0.07%	0.05%
頁岩33	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1.10	0.15%	0.01%
頁岩34	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	12.45	0.07%	0.08%
頁岩35	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	51.23	0.22%	0.32%
頁岩36	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	5	34.19	0.37%	0.21%
頁岩37	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3.36	0.15%	0.02%
頁岩38	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3.08	0.15%	0.02%
頁岩39	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	43.90	0.07%	0.28%
頁岩40	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.63	0.07%	0.05%
頁岩41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	41.88	0.07%	0.26%
頁岩42	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	20.51	0.07%	0.13%
頁岩43	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.23	0.07%	0.00%
頁岩44	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.00	0.07%	0.03%
頁岩45	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	8.45	0.07%	0.05%
頁岩46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.15	0.07%	0.01%
珪質頁岩1	0	0	0	0	0	珪	2	1	0	0	0	3	61.45	0.22%	0.38%
珪質頁岩2	0	0	0	0	1	珪	2	0	0	0	0	3	11.60	0.22%	0.07%
珪質頁岩3	0	0	0	0	0	珪	0	0	0	1	0	1	142.83	0.07%	0.89%
珪質頁岩4	0	0	0	0	0	珪	0	0	0	0	1	1	42.21	0.07%	0.26%
珪質頁岩5	0	0	0	0	2	珪	4	0	0	0	0	6	52.38	0.45%	0.33%
珪質頁岩6	0	0	0	0	1	珪	1	0	0	0	0	2	7.79	0.15%	0.05%
珪質頁岩7	0	0	0	0	0	珪	1	0	0	0	0	1	12.04	0.07%	0.08%
珪質頁岩8	0	0	0	0	0	珪	1	0	0	0	0	1	8.66	0.07%	0.05%

母岩名/器種	ナイフ形石器	削器	搔器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
珪質頁岩9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.12	0.07%	0.03%
珪質頁岩10	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	38.59	0.15%	0.24%
珪質頁岩11	0	0	0	0	0	3	3	1	0	0	0	7	48.41	0.52%	0.30%
珪質頁岩12	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	24.37	0.22%	0.15%
珪質頁岩13	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	27.78	0.22%	0.17%
珪質頁岩14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3.66	0.15%	0.02%
珪質頁岩15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	31.15	0.07%	0.20%
珪質頁岩16	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	15.04	0.15%	0.09%
珪質頁岩17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.54	0.07%	0.05%
珪質頁岩18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.42	0.07%	0.03%
珪質頁岩19	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	30.99	0.15%	0.19%
珪質頁岩20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.39	0.07%	0.01%
珪質頁岩21	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.93	0.07%	0.01%
珪質頁岩22	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.25	0.07%	0.03%
珪質頁岩23	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	21.82	0.07%	0.14%
珪質頁岩24	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	17.51	0.15%	0.11%
珪質頁岩25	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	220.32	0.07%	1.38%
珪質頁岩26	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.06	0.07%	0.01%
珪質頁岩27	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.49	0.07%	0.00%
珪質頁岩28	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4.51	0.15%	0.03%
珪質頁岩29	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	14.47	0.07%	0.09%
珪質頁岩30	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5	124.60	0.37%	0.78%
珪質頁岩31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.61	0.07%	0.02%
珪質頁岩32	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	11.72	0.07%	0.07%
硬質頁岩1	0	0	0	0	1	1	8	0	0	0	0	10	35.44	0.74%	0.22%
硬質頁岩2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	6.98	0.30%	0.04%
硬質頁岩3	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	6	32.17	0.45%	0.20%
硬質頁岩4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.80	0.07%	0.01%
硬質頁岩5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.25	0.07%	0.00%
硬質頁岩6	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	26.00	0.15%	0.16%
硬質頁岩7	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	5	41.33	0.37%	0.26%
硬質頁岩8	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	24.87	0.22%	0.16%
硬質頁岩9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16.70	0.07%	0.10%
硬質頁岩10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	6.45	0.07%	0.04%
硬質頁岩11	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1.89	0.15%	0.01%
硬質頁岩12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.35	0.07%	0.01%
硬質頁岩13	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	9.16	0.22%	0.06%
硬質頁岩14	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	24.12	0.30%	0.15%
硬質頁岩15	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	12.61	0.30%	0.08%
硬質頁岩16	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	11.09	0.15%	0.07%
硬質頁岩17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.87	0.07%	0.02%
硬質頁岩18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	12.31	0.07%	0.08%
硬質頁岩19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7.62	0.07%	0.05%
硬質頁岩20	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6.08	0.07%	0.04%
硬質頁岩21	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	9.26	0.15%	0.06%
硬質頁岩22	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	17.71	0.15%	0.11%
硬質頁岩23	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	20.84	0.07%	0.13%
硬質頁岩24	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2.62	0.07%	0.02%
硬質頁岩25	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	30.22	0.15%	0.19%
硬質頁岩26	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32.80	0.07%	0.21%
硬質頁岩27	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13.72	0.07%	0.09%
硬質頁岩28	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	37.19	0.37%	0.23%
嶺岡頁岩1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	3.65	0.30%	0.02%
嶺岡頁岩2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.87	0.07%	0.07%
嶺岡頁岩3	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	4.14	0.22%	0.03%
嶺岡頁岩4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	18.67	0.07%	0.12%
嶺岡頁岩5	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4	12.02	0.30%	0.08%

母岩名/器種	ナイフ形石器	削器	搔器	局部磨製石斧	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
嶺岡頁岩6	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	41.00	0.37%	0.26%
嶺岡頁岩7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.74	0.07%	0.02%
嶺岡頁岩8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	11.28	0.15%	0.07%
嶺岡頁岩9	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.77	0.07%	0.02%
嶺岡頁岩10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.95	0.07%	0.03%
嶺岡頁岩11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.97	0.07%	0.02%
嶺岡頁岩12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.82	0.07%	0.01%
嶺岡頁岩13	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.06	0.07%	0.01%
嶺岡頁岩14	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	16.02	0.22%	0.10%
嶺岡頁岩15	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	32.24	0.15%	0.20%
嶺岡頁岩16	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	27.47	0.07%	0.17%
嶺岡頁岩17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.72	0.07%	0.07%
嶺岡頁岩18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.02	0.07%	0.01%
嶺岡頁岩19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.24	0.07%	0.01%
砂岩1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	12.01	0.07%	0.08%
砂岩2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16.96	0.07%	0.11%
砂岩3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.74	0.07%	0.02%
砂岩4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.65	0.07%	0.01%
砂岩5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	210.98	0.07%	1.32%
砂岩6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	26.16	0.07%	0.16%
砂岩7	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	4	120.31	0.30%	0.75%
砂岩8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	38.04	0.15%	0.24%
砂岩9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	24.12	0.15%	0.15%
砂岩10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	28.00	0.07%	0.18%
砂岩11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8.97	0.07%	0.06%
砂岩12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5.32	0.07%	0.03%
砂岩13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.81	0.07%	0.02%
砂岩14	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	13.63	0.07%	0.09%
砂岩15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	19.60	0.07%	0.12%
砂岩16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	84.23	0.07%	0.53%
砂岩17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	62.22	0.07%	0.39%
砂岩18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.42	0.07%	0.01%
砂岩19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5.72	0.07%	0.04%
砂岩20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.54	0.07%	0.01%
砂岩21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	47.58	0.22%	0.30%
砂岩22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	34.90	0.07%	0.22%
砂岩23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8.15	0.07%	0.05%
砂岩24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6.27	0.07%	0.04%
砂岩25	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	26.63	0.15%	0.17%
砂岩26	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	49.67	0.07%	0.31%
砂岩27	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	21.28	0.07%	0.13%
砂岩28	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.10	0.07%	0.05%
砂岩29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	35.76	0.07%	0.22%
砂岩30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	14.39	0.07%	0.09%
砂岩31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.87	0.07%	0.01%
砂岩32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	575.00	0.07%	3.60%
砂岩33	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	46.08	0.07%	0.29%
砂岩34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	50.80	0.07%	0.32%
砂岩35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	40.37	0.07%	0.25%
砂岩36	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	19.98	0.30%	0.13%
砂岩37	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	106.13	0.07%	0.66%
砂岩38	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	9.64	0.07%	0.06%
珪質凝灰岩1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.71	0.07%	0.04%
珪質凝灰岩2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5.20	0.07%	0.03%
ホルンフェルス1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	20.15	0.30%	0.13%
ホルンフェルス2	0	0	0	0	0	2	21	1	0	0	0	24	178.28	1.79%	1.12%
ホルンフェルス3	0	1	0	0	0	0	12	0	0	0	1	14	82.54	1.04%	0.52%

母岩名/器種	ナイフ 形石器	削器	搔器	局部磨 製石斧	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
ホルンフェルス4	0	0	0	0	0	0	28	2	0	0	0	30	303.01	2.23%	1.90%
ホルンフェルス5	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3	75.13	0.22%	0.47%
ホルンフェルス6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.04	0.07%	0.01%
ホルンフェルス7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	68.05	0.22%	0.43%
ホルンフェルス8	0	0	0	0	0	1	24	1	0	0	1	27	135.62	2.01%	0.85%
ホルンフェルス9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	195.21	0.07%	1.22%
ホルンフェルス10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	31.67	0.07%	0.20%
ホルンフェルス11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.27	0.07%	0.01%
ホルンフェルス12	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	8	21.75	0.60%	0.14%
ホルンフェルス13	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	8.52	0.15%	0.05%
ホルンフェルス14	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	38.32	0.37%	0.24%
ホルンフェルス15	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.09	0.07%	0.00%
ホルンフェルス16	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	12.02	0.07%	0.08%
ホルンフェルス17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	56.53	0.07%	0.35%
ホルンフェルス18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.63	0.07%	0.02%
ホルンフェルス19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	24.84	0.07%	0.16%
ホルンフェルス20	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.15	0.07%	0.02%
ホルンフェルス21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	50.09	0.07%	0.31%
ホルンフェルス22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	31.23	0.07%	0.20%
ホルンフェルス23	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	27.08	0.15%	0.17%
ホルンフェルス24	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.34	0.07%	0.00%
ホルンフェルス25	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	7	114.15	0.52%	0.72%
ホルンフェルス26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2.26	0.07%	0.01%
ホルンフェルス27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.93	0.07%	0.01%
ホルンフェルス28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	84.00	0.07%	0.53%
ホルンフェルス29	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	46.18	0.07%	0.29%
ホルンフェルス30	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	11.21	0.07%	0.07%
ホルンフェルス31	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7.56	0.07%	0.05%
ホルンフェルス32	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4	48.95	0.30%	0.31%
ホルンフェルス33	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3	56.72	0.22%	0.36%
結晶片岩1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	31.69	0.07%	0.20%
チャート1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	86.79	0.22%	0.54%
チャート2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	14.08	0.07%	0.09%
チャート3	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	7	31.08	0.52%	0.19%
チャート4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	14.47	0.15%	0.09%
チャート5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.84	0.07%	0.01%
チャート6	0	0	0	0	1	0	16	0	0	0	0	17	56.45	1.26%	0.35%
チャート7	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	38.01	0.30%	0.24%
チャート8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	14.26	0.07%	0.09%
チャート9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	6.07	0.07%	0.04%
チャート10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1.70	0.07%	0.01%
チャート11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.07	0.07%	0.01%
チャート12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	46.61	0.15%	0.29%
チャート13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	82.38	0.07%	0.52%
チャート14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	20.75	0.07%	0.13%
チャート15	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2.09	0.07%	0.01%
チャート16	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	5	48.42	0.37%	0.30%
チャート17	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	9.09	0.22%	0.06%
チャート18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	12.21	0.07%	0.08%
チャート19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.26	0.07%	0.01%
チャート20	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	32.41	0.15%	0.20%
チャート21	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	3.24	0.15%	0.02%
チャート22	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	262.92	0.07%	1.65%
チャート23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	42.39	0.07%	0.27%
チャート24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4.93	0.07%	0.03%
チャート25	0	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	16	86.11	1.19%	0.54%
チャート26	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	10.26	0.07%	0.06%

母岩名/器種	ナイフ 形石器	削器	搔器	局部磨 製石斧	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	台石	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート27	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.44	0.07%	0.01%
チャート28	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.35	0.07%	0.01%
チャート29	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	30.30	0.22%	0.19%
チャート30	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	64.40	0.07%	0.40%
チャート31	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	36.18	0.07%	0.23%
チャート32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	27.26	0.07%	0.17%
チャート33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7.70	0.07%	0.05%
チャート34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4.53	0.07%	0.03%
チャート35	0	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	7	55.60	0.52%	0.35%
チャート36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	36.71	0.07%	0.23%
チャート37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8.22	0.07%	0.05%
チャート38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5.63	0.07%	0.04%
チャート39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	542.65	0.22%	3.40%
チャート40	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	8.05	0.15%	0.05%
チャート41	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	54.86	0.07%	0.34%
チャート42	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.85	0.07%	0.01%
チャート43	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.96	0.07%	0.01%
チャート44	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	45.43	0.07%	0.28%
チャート45	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	30.53	0.07%	0.19%
チャート46	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	25.60	0.07%	0.16%
チャート47	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4.26	0.07%	0.03%
珪岩1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	21.58	0.45%	0.14%
玉髓1	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	6	17.23	0.45%	0.11%
玉髓2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	7.64	0.15%	0.05%
玉髓3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	109.73	0.15%	0.69%
玉髓4	0	0	0	0	1	0	6	0	0	0	0	7	27.78	0.52%	0.17%
玉髓5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.95	0.07%	0.01%
玉髓6	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	5	43.21	0.37%	0.27%
玉髓7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.31	0.07%	0.01%
玉髓8	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3	13.86	0.22%	0.09%
玉髓9	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	12.10	0.15%	0.08%
玉髓10	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6.16	0.07%	0.04%
玉髓11	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	19.76	0.15%	0.12%
玉髓12	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	78.27	0.52%	0.49%
玉髓13	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	6.25	0.15%	0.04%
玉髓14	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	19.74	0.15%	0.12%
玉髓15	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.34	0.07%	0.00%
玉髓16	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6	29.55	0.45%	0.19%
玉髓17	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	11.66	0.15%	0.07%
玉髓18	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.03	0.07%	0.01%
石英1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.13	0.07%	0.00%
不明1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8.62	0.07%	0.05%
不明2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4.00	0.07%	0.03%
合計	13	8	1	1	39	72	1,028	83	3	4	92	1,344	15,962.43	100.00%	100.00%

第8表 第6ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	剥片	楔形 石器	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	9	0	0	9	14.61	42.86%	11.21%
安山岩A2	2	1	0	3	15.46	14.29%	11.86%
流紋岩1	1	0	0	1	3.30	4.76%	2.53%
硬質頁岩1	1	0	0	1	7.05	4.76%	5.41%
ホルンフェルス1	4	0	0	4	20.15	19.05%	15.46%
チャート1	2	0	0	2	55.71	9.52%	42.74%
チャート2	0	0	1	1	14.08	4.76%	10.80%
合計	19	1	1	21	130.36	100.00%	100.00%

第9表 第7ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ 形石器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	敲石	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	1	11	1	0	0	0	13	77.96	9.35%	2.83%
安山岩A2	0	0	1	2	0	0	0	0	3	16.09	2.16%	0.58%
安山岩A3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8.79	0.72%	0.32%
安山岩A4	0	0	1	8	1	0	0	0	10	48.67	7.19%	1.77%
安山岩A5	0	0	0	3	0	0	0	0	3	11.51	2.16%	0.42%
安山岩A6	0	0	0	6	0	0	0	0	6	5.38	4.32%	0.20%
安山岩A7	0	0	0	4	0	0	0	0	4	46.42	2.88%	1.69%
安山岩A8	0	0	0	2	0	0	0	0	2	9.97	1.44%	0.36%
安山岩A9	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.21	0.72%	0.04%
安山岩A10	0	0	0	0	1	0	0	0	1	405.00	0.72%	14.72%
安山岩A11	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4.29	1.44%	0.16%
安山岩A12	0	0	1	2	0	0	0	0	3	8.42	2.16%	0.31%
安山岩B1	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0.74	2.16%	0.03%
安山岩C1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	9.54	0.72%	0.35%
流紋岩2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	850.00	0.72%	30.90%
流紋岩3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	113.29	2.16%	4.12%
流紋岩4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	60.48	0.72%	2.20%
流紋岩5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	81.45	0.72%	2.96%
流紋岩6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	36.92	0.72%	1.34%
流紋岩7	0	0	0	3	0	0	0	0	3	20.20	2.16%	0.73%
黒曜石1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1.27	0.72%	0.05%
黒曜石2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.47	0.72%	0.05%
頁岩1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.99	1.44%	0.04%
頁岩2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.94	0.72%	0.11%
頁岩3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	6.53	0.72%	0.24%
頁岩4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.05	0.72%	0.04%
頁岩5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.00	0.72%	0.11%
珪質頁岩1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	27.58	0.72%	1.00%
珪質頁岩2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0.95	0.72%	0.03%
珪質頁岩3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	142.83	0.72%	5.19%
珪質頁岩4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	42.21	0.72%	1.53%
硬質頁岩1	0	1	0	4	0	0	0	0	5	6.84	3.60%	0.25%
硬質頁岩2	0	0	0	3	0	0	0	0	3	4.64	2.16%	0.17%
硬質頁岩3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.32	0.72%	0.12%
硬質頁岩4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.80	0.72%	0.03%
硬質頁岩5	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.25	0.72%	0.01%
硬質頁岩6	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15.81	0.72%	0.57%
嶺岡頁岩1	0	0	0	4	0	0	0	0	4	3.65	2.88%	0.13%
嶺岡頁岩2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10.87	0.72%	0.40%
砂岩1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	12.01	0.72%	0.44%
砂岩2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	16.96	0.72%	0.62%
砂岩3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.74	0.72%	0.10%
砂岩4	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.65	0.72%	0.06%
砂岩5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	210.98	0.72%	7.67%
砂岩6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	26.16	0.72%	0.95%
ホルンフェルス2	0	0	1	3	0	0	0	0	4	35.05	2.88%	1.27%
ホルンフェルス3	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2.74	0.72%	0.10%
ホルンフェルス4	0	0	0	3	0	0	0	0	3	18.56	2.16%	0.67%
ホルンフェルス5	0	0	0	0	1	0	0	0	1	29.83	0.72%	1.08%
ホルンフェルス6	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.04	0.72%	0.04%
ホルンフェルス7	0	0	0	0	0	0	0	3	3	68.05	2.16%	2.47%
ホルンフェルス8	0	0	0	2	0	0	0	1	3	8.91	2.16%	0.32%
チャート1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	31.08	0.72%	1.13%
チャート3	0	0	0	6	1	0	0	0	7	31.08	5.04%	1.13%
チャート4	0	0	0	2	0	0	0	0	2	14.47	1.44%	0.53%
チャート5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.84	0.72%	0.03%

母岩名/器種	ナイフ 形石器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	敲石	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート6	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.67	0.72%	0.02%
珪岩1	0	0	0	6	0	0	0	0	6	21.58	4.32%	0.78%
玉髓1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.45	0.72%	0.13%
玉髓2	0	0	1	1	0	0	0	0	2	7.64	1.44%	0.28%
玉髓3	0	0	0	1	1	0	0	0	2	109.73	1.44%	3.99%
玉髓4	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2.12	1.44%	0.08%
合計	1	0	7	104	6	1	1	16	139	2,750.67	100.00%	100.00%

第10表 第8ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	1	1	20	1	0	23	111.58	19.33%	8.72%
安山岩A3	0	0	0	3	0	0	3	12.25	2.52%	0.96%
安山岩A4	0	0	0	10	0	0	10	55.29	8.40%	4.32%
安山岩A11	0	0	1	6	0	0	7	14.50	5.88%	1.13%
安山岩A13	0	0	1	0	1	0	2	50.97	1.68%	3.98%
安山岩A14	0	0	0	1	0	0	1	3.54	0.84%	0.28%
安山岩B2	0	0	0	3	2	0	5	65.19	4.20%	5.09%
安山岩C2	0	0	0	1	0	0	1	0.32	0.84%	0.03%
流紋岩8	0	0	0	0	0	1	1	151.56	0.84%	11.84%
流紋岩9	0	0	1	0	0	0	1	13.96	0.84%	1.09%
石英斑岩1	0	0	0	0	0	2	2	21.87	1.68%	1.71%
黒曜石3	0	0	0	0	1	0	1	9.81	0.84%	0.77%
珪質頁岩5	0	2	0	4	0	0	6	52.38	5.04%	4.09%
珪質頁岩6	0	1	0	1	0	0	2	7.79	1.68%	0.61%
珪質頁岩7	0	0	0	1	0	0	1	12.04	0.84%	0.94%
珪質頁岩8	0	0	0	1	0	0	1	8.66	0.84%	0.68%
珪質頁岩9	0	0	0	1	0	0	1	4.12	0.84%	0.32%
珪質頁岩10	0	1	0	1	0	0	2	38.59	1.68%	3.02%
嶺岡頁岩3	0	1	1	1	0	0	3	4.14	2.52%	0.32%
砂岩7	0	0	0	0	0	2	2	101.99	1.68%	7.97%
砂岩8	0	0	0	0	0	2	2	38.04	1.68%	2.97%
砂岩9	0	0	0	0	0	2	2	24.12	1.68%	1.89%
砂岩10	0	0	0	0	0	1	1	28.00	0.84%	2.19%
砂岩11	0	0	0	0	0	1	1	8.97	0.84%	0.70%
砂岩12	0	0	0	0	0	1	1	5.32	0.84%	0.42%
砂岩13	0	0	0	0	0	1	1	3.81	0.84%	0.30%
ホルンフェルス2	0	0	0	8	1	0	9	30.89	7.56%	2.41%
ホルンフェルス3	1	0	0	9	0	1	11	66.60	9.24%	5.20%
ホルンフェルス4	0	0	0	1	1	0	2	51.99	1.68%	4.06%
ホルンフェルス8	0	0	0	5	0	0	5	14.32	4.20%	1.12%
ホルンフェルス9	0	0	0	0	1	0	1	195.21	0.84%	15.26%
ホルンフェルス10	0	0	0	1	0	0	1	31.67	0.84%	2.48%
ホルンフェルス11	0	0	0	1	0	0	1	2.27	0.84%	0.18%
チャート7	0	0	0	3	0	0	3	16.53	2.52%	1.29%
チャート8	0	0	0	0	0	1	1	14.26	0.84%	1.11%
チャート9	0	0	0	0	0	1	1	6.07	0.84%	0.47%
玉髓5	0	1	0	0	0	0	1	0.95	0.84%	0.07%
合計	1	7	5	82	8	16	119	1,279.57	100.00%	100.00%

第11表 第9ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	5	14	0	0	19	58.05	29.69%	11.34%
安山岩A15	0	2	4	0	0	6	53.62	9.38%	10.47%
安山岩A16	0	1	0	0	0	1	6.39	1.56%	1.25%
安山岩B1	0	0	2	0	0	2	5.14	3.13%	1.00%
安山岩B3	0	0	13	1	0	14	81.47	21.88%	15.91%
安山岩C3	0	0	0	0	1	1	7.79	1.56%	1.52%
安山岩C4	0	0	1	0	0	1	2.07	1.56%	0.40%
黒曜石4	0	0	0	1	0	1	3.79	1.56%	0.74%
頁岩6	0	0	2	0	0	2	17.41	3.13%	3.40%
珪質頁岩11	0	0	1	1	0	2	32.86	3.13%	6.42%
硬質頁岩6	0	0	1	0	0	1	10.19	1.56%	1.99%
硬質頁岩7	1	0	0	1	0	2	19.34	3.13%	3.78%
嶺岡頁岩4	0	0	1	0	0	1	18.67	1.56%	3.65%
チャート11	0	0	1	0	0	1	2.07	1.56%	0.40%
チャート12	0	0	0	0	2	2	46.61	3.13%	9.10%
チャート13	0	0	0	0	1	1	82.38	1.56%	16.09%
チャート14	0	0	0	0	1	1	20.75	1.56%	4.05%
玉髄6	0	0	4	1	0	5	43.21	7.81%	8.44%
石英1	0	0	1	0	0	1	0.13	1.56%	0.03%
合計	1	8	45	5	5	64	511.94	100.00%	100.00%

第12表 第10ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ形石器	二次加工剥片	楔形石器	石核	剥片	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	0	0	1	0	1	0.16	1.10%	0.05%
安山岩B1	0	1	0	1	61	0	63	267.11	69.23%	77.28%
安山岩B3	0	0	0	0	9	0	9	17.15	9.89%	4.96%
安山岩B4	0	0	0	0	1	0	1	0.17	1.10%	0.05%
安山岩B5	0	0	0	0	1	0	1	0.23	1.10%	0.07%
安山岩B6	0	0	0	0	1	0	1	0.08	1.10%	0.02%
黒曜石5	0	1	0	0	4	0	5	14.07	5.49%	4.07%
頁岩7	0	0	0	0	0	1	1	0.39	1.10%	0.11%
硬質頁岩2	0	0	0	0	1	0	1	2.34	1.10%	0.68%
硬質頁岩8	1	0	0	0	0	0	1	4.12	1.10%	1.19%
硬質頁岩9	0	0	0	0	1	0	1	16.70	1.10%	4.83%
硬質頁岩10	0	0	1	0	0	0	1	6.45	1.10%	1.87%
硬質頁岩11	0	0	0	0	2	0	2	1.89	2.20%	0.55%
砂岩14	0	0	0	0	1	0	1	13.63	1.10%	3.94%
ホルンフェルス8	0	0	0	0	1	0	1	0.09	1.10%	0.03%
ホルンフェルス12	0	0	0	0	1	0	1	1.04	1.10%	0.30%
合計	1	2	1	1	85	1	91	345.62	100.00%	100.00%

第13表 第11ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	16	3	19	150.88	16.24%	13.28%
安山岩A3	1	0	3	0	4	92.97	3.42%	8.18%
安山岩A7	0	1	21	1	23	109.76	19.66%	9.66%
安山岩A8	0	0	2	0	2	30.67	1.71%	2.70%
安山岩A11	0	0	1	0	1	13.34	0.85%	1.17%
安山岩A17	0	0	1	0	1	17.77	0.85%	1.56%
安山岩A18	0	0	1	0	1	17.40	0.85%	1.53%

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A19	0	0	1	0	1	7.98	0.85%	0.70%
安山岩A20	0	1	1	0	2	16.89	1.71%	1.49%
安山岩B2	0	0	3	1	4	64.37	3.42%	5.67%
安山岩B3	0	1	0	0	1	9.71	0.85%	0.85%
安山岩B7	0	0	1	0	1	5.30	0.85%	0.47%
安山岩B8	0	0	1	0	1	11.68	0.85%	1.03%
流紋岩9	0	1	0	0	1	57.55	0.85%	5.07%
黒曜石3	0	5	1	0	6	4.32	5.13%	0.38%
頁岩8	0	0	0	1	1	115.13	0.85%	10.13%
頁岩9	0	0	1	0	1	3.94	0.85%	0.35%
珪質頁岩12	0	0	3	0	3	24.37	2.56%	2.15%
珪質頁岩13	0	0	2	0	2	22.64	1.71%	1.99%
珪質頁岩14	0	0	2	0	2	3.66	1.71%	0.32%
珪質頁岩15	0	0	0	1	1	31.15	0.85%	2.74%
珪質頁岩16	0	0	1	0	1	12.08	0.85%	1.06%
珪質頁岩17	0	0	1	0	1	8.54	0.85%	0.75%
珪質頁岩18	0	0	1	0	1	4.42	0.85%	0.39%
硬質頁岩1	0	1	2	0	3	19.26	2.56%	1.70%
硬質頁岩12	0	0	1	0	1	1.35	0.85%	0.12%
嶺岡頁岩5	0	0	1	0	1	1.71	0.85%	0.15%
砂岩15	0	0	1	0	1	19.60	0.85%	1.73%
ホルンフェルス2	0	0	1	0	1	18.41	0.85%	1.62%
ホルンフェルス4	0	0	19	1	20	209.87	17.09%	18.47%
ホルンフェルス8	0	0	4	0	4	10.84	3.42%	0.95%
チャート15	0	1	0	0	1	2.09	0.85%	0.18%
玉髓4	1	0	2	0	3	14.12	2.56%	1.24%
玉髓7	0	0	1	0	1	2.31	0.85%	0.20%
合計	2	11	96	8	117	1,136.08	100.00%	100.00%

第14表 第12ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	局部磨製石斧	楔形石器	石核	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	0	2	2	18.91	2.94%	2.80%
安山岩A21	0	0	0	34	34	452.35	50.00%	67.06%
安山岩A22	0	2	0	3	5	31.42	7.35%	4.66%
安山岩A23	0	0	0	4	4	13.89	5.88%	2.06%
流紋岩10	0	0	0	1	1	1.30	1.47%	0.19%
頁岩10	0	0	0	1	1	16.63	1.47%	2.47%
珪質頁岩13	0	0	0	1	1	5.14	1.47%	0.76%
珪質頁岩19	0	0	1	1	2	30.99	2.94%	4.59%
嶺岡頁岩6	0	0	0	1	1	1.49	1.47%	0.22%
ホルンフェルス8	0	0	0	2	2	18.86	2.94%	2.80%
ホルンフェルス12	0	0	1	0	1	11.88	1.47%	1.76%
ホルンフェルス13	0	0	0	2	2	8.52	2.94%	1.26%
結晶片岩1	1	0	0	0	1	31.69	1.47%	4.70%
チャート6	0	0	0	8	8	17.63	11.76%	2.61%
玉髓8	0	1	0	2	3	13.86	4.41%	2.05%
合計	1	3	2	62	68	674.56	100.00%	100.00%

第15表 第13ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ 形石器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	1	4	37	2	0	0	44	270.05	39.64%	34.04%
安山岩A11	0	0	0	3	0	0	0	3	16.22	2.70%	2.04%
安山岩B9	0	0	0	1	0	0	0	1	1.27	0.90%	0.16%
安山岩B10	0	0	0	1	0	0	0	1	0.20	0.90%	0.03%
安山岩B11	0	0	0	1	0	0	0	1	0.06	0.90%	0.01%
安山岩C5	0	0	0	0	0	1	0	1	160.67	0.90%	20.25%
流紋岩11	0	0	1	0	0	0	0	1	4.06	0.90%	0.51%
黒曜石5	0	0	0	2	0	0	0	2	0.78	1.80%	0.10%
頁岩9	0	1	0	1	0	0	0	2	4.29	1.80%	0.54%
頁岩11	1	1	0	13	0	0	0	15	77.74	13.51%	9.80%
頁岩12	0	0	0	2	1	0	0	3	20.21	2.70%	2.55%
頁岩13	1	0	0	0	0	0	0	1	1.92	0.90%	0.24%
頁岩14	0	0	0	1	0	0	0	1	4.47	0.90%	0.56%
頁岩15	0	0	0	1	0	0	0	1	10.69	0.90%	1.35%
頁岩16	0	0	0	1	0	0	0	1	8.52	0.90%	1.07%
頁岩17	0	0	0	1	0	0	0	1	3.05	0.90%	0.38%
頁岩18	0	0	0	0	0	0	1	1	14.92	0.90%	1.88%
珪質頁岩1	0	0	0	0	1	0	0	1	14.35	0.90%	1.81%
硬質頁岩7	0	0	0	0	1	0	0	1	13.83	0.90%	1.74%
硬質頁岩13	0	0	0	3	0	0	0	3	9.16	2.70%	1.15%
硬質頁岩14	0	0	0	3	0	0	0	3	19.43	2.70%	2.45%
ホルンフェルス8	0	0	0	1	0	0	0	1	2.96	0.90%	0.37%
ホルンフェルス12	0	0	0	3	0	0	0	3	4.50	2.70%	0.57%
ホルンフェルス14	0	0	0	5	0	0	0	5	38.32	4.50%	4.83%
ホルンフェルス15	0	0	0	1	0	0	0	1	0.09	0.90%	0.01%
ホルンフェルス16	0	0	0	1	0	0	0	1	12.02	0.90%	1.52%
チャート6	0	0	0	4	0	0	0	4	17.08	3.60%	2.15%
チャート16	0	1	0	0	0	0	0	1	22.33	0.90%	2.82%
チャート17	0	0	0	1	0	0	0	1	6.75	0.90%	0.85%
チャート18	0	0	0	1	0	0	0	1	12.21	0.90%	1.54%
チャート19	0	0	0	1	0	0	0	1	2.26	0.90%	0.28%
玉髓1	0	0	0	1	0	0	0	1	0.58	0.90%	0.07%
玉髓9	0	0	0	2	0	0	0	2	12.10	1.80%	1.53%
玉髓10	0	0	0	1	0	0	0	1	6.16	0.90%	0.78%
合計	2	4	5	93	5	1	1	111	793.25	100.00%	100.00%

第16表 第14ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A16	0	4	6	1	0	11	63.70	19.64%	8.59%
安山岩A21	0	0	3	2	0	5	282.41	8.93%	38.09%
安山岩A24	0	0	8	1	0	9	68.44	16.07%	9.23%
安山岩B12	0	0	2	0	0	2	0.34	3.57%	0.05%
黒曜石3	0	0	1	0	0	1	3.27	1.79%	0.44%
珪質頁岩1	0	0	1	0	0	1	19.52	1.79%	2.63%
硬質頁岩7	0	0	2	0	0	2	8.16	3.57%	1.10%
嶺岡頁岩6	0	0	1	0	0	1	12.86	1.79%	1.73%
砂岩16	0	0	0	0	1	1	84.23	1.79%	11.36%
ホルンフェルス3	0	0	1	0	0	1	2.37	1.79%	0.32%
ホルンフェルス4	0	0	1	0	0	1	3.33	1.79%	0.45%
ホルンフェルス8	0	0	5	1	0	6	61.57	10.71%	8.31%
ホルンフェルス12	0	0	3	0	0	3	4.33	5.36%	0.58%
ホルンフェルス17	0	0	1	0	0	1	56.53	1.79%	7.63%
ホルンフェルス18	0	0	1	0	0	1	2.63	1.79%	0.35%

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート6	1	0	1	0	0	2	10.24	3.57%	1.38%
チャート20	0	0	1	1	0	2	32.41	3.57%	4.37%
チャート21	0	0	2	0	0	2	3.24	3.57%	0.44%
玉髓11	0	0	2	0	0	2	19.76	3.57%	2.67%
玉髓12	0	0	2	0	0	2	2.02	3.57%	0.27%
合計	1	4	44	6	1	56	741.36	100.00%	100.00%

第17表 第15ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ形石器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	2	15	1	0	0	18	94.11	21.18%	10.45%
安山岩A3	0	0	0	1	0	0	0	1	9.22	1.18%	1.02%
安山岩A11	0	0	0	2	0	0	0	2	3.18	2.35%	0.35%
安山岩A20	0	0	0	3	0	0	0	3	8.82	3.53%	0.98%
安山岩B1	3	0	0	6	0	0	0	9	29.74	10.59%	3.30%
流紋岩12	0	0	0	1	0	0	0	1	25.86	1.18%	2.87%
流紋岩13	0	0	0	0	0	0	1	1	16.43	1.18%	1.82%
黒曜石5	0	0	1	1	0	0	0	2	1.41	2.35%	0.16%
頁岩19	0	0	0	1	1	0	0	2	42.90	2.35%	4.76%
頁岩20	0	0	0	2	0	0	0	2	7.48	2.35%	0.83%
頁岩21	0	0	0	1	0	0	0	1	8.09	1.18%	0.90%
珪質頁岩11	0	0	2	2	0	0	0	4	11.21	4.71%	1.24%
珪質頁岩20	0	0	0	1	0	0	0	1	1.39	1.18%	0.15%
珪質頁岩21	0	1	0	0	0	0	0	1	0.93	1.18%	0.10%
硬質頁岩3	2	1	0	2	0	0	0	5	28.85	5.88%	3.20%
硬質頁岩8	0	0	0	1	0	0	0	1	4.55	1.18%	0.51%
硬質頁岩15	0	0	1	3	0	0	0	4	12.61	4.71%	1.40%
硬質頁岩16	0	0	0	2	0	0	0	2	11.09	2.35%	1.23%
硬質頁岩17	0	0	0	1	0	0	0	1	2.87	1.18%	0.32%
硬質頁岩18	0	0	0	0	1	0	0	1	12.31	1.18%	1.37%
硬質頁岩19	0	0	0	1	0	0	0	1	7.62	1.18%	0.85%
硬質頁岩20	0	0	0	0	1	0	0	1	6.08	1.18%	0.68%
嶺岡頁岩7	1	0	0	0	0	0	0	1	2.74	1.18%	0.30%
嶺岡頁岩8	0	0	0	1	0	0	0	1	6.21	1.18%	0.69%
砂岩17	0	0	0	0	0	0	1	1	62.22	1.18%	6.91%
砂岩18	0	0	0	0	0	0	1	1	1.42	1.18%	0.16%
ホルンフェルス2	0	0	0	3	0	0	0	3	35.61	3.53%	3.95%
ホルンフェルス8	0	0	0	3	0	0	0	3	9.02	3.53%	1.00%
ホルンフェルス19	0	0	0	1	0	0	0	1	24.84	1.18%	2.76%
ホルンフェルス20	0	0	0	1	0	0	0	1	3.15	1.18%	0.35%
ホルンフェルス21	0	0	0	0	0	0	1	1	50.09	1.18%	5.56%
ホルンフェルス22	0	0	0	0	0	0	1	1	31.23	1.18%	3.47%
チャート6	0	0	0	2	0	0	0	2	10.83	2.35%	1.20%
チャート22	0	0	0	0	0	1	0	1	262.92	1.18%	29.19%
チャート23	0	0	0	0	0	0	1	1	42.39	1.18%	4.71%
チャート24	0	0	0	0	0	0	1	1	4.93	1.18%	0.55%
玉髓13	0	0	1	1	0	0	0	2	6.25	2.35%	0.69%
合計	6	2	7	58	4	1	7	85	900.60	100.00%	100.00%

第18表 第16ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	10	0	10	44.09	23.26%	16.04%
安山岩A21	0	0	1	0	1	6.32	2.33%	2.30%
安山岩B3	0	0	0	1	1	28.42	2.33%	10.34%
頁岩22	0	0	8	1	9	54.24	20.93%	19.74%
頁岩23	0	0	3	0	3	7.04	6.98%	2.56%
珪質頁岩2	0	0	1	0	1	9.41	2.33%	3.42%
嶺岡頁岩6	0	0	3	0	3	26.65	6.98%	9.70%
嶺岡頁岩9	0	0	1	0	1	2.77	2.33%	1.01%
砂岩7	0	0	2	0	2	18.32	4.65%	6.67%
ホルンフェルス3	0	0	1	0	1	10.83	2.33%	3.94%
ホルンフェルス23	0	0	2	0	2	27.08	4.65%	9.85%
ホルンフェルス24	0	0	1	0	1	0.34	2.33%	0.12%
チャート17	0	0	2	0	2	2.34	4.65%	0.85%
チャート25	0	0	1	0	1	18.26	2.33%	6.65%
チャート26	0	1	0	0	1	10.26	2.33%	3.73%
チャート27	0	0	1	0	1	1.44	2.33%	0.52%
チャート28	0	0	1	0	1	1.35	2.33%	0.49%
玉髓1	1	0	1	0	2	5.63	4.65%	2.05%
合計	1	1	39	2	43	274.79	100.00%	100.00%

第19表 第17ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	0	1	0	1	6.51	2.56%	3.46%
安山岩B1	0	0	0	0	1	1	11.84	2.56%	6.30%
黒曜石6	0	0	1	2	1	4	2.34	10.26%	1.24%
頁岩12	0	0	0	1	0	1	1.38	2.56%	0.73%
頁岩24	0	1	0	1	0	2	3.70	5.13%	1.97%
珪質頁岩2	0	0	0	1	0	1	1.24	2.56%	0.66%
珪質頁岩22	0	0	0	1	0	1	4.25	2.56%	2.26%
硬質頁岩14	0	0	0	1	0	1	4.69	2.56%	2.49%
硬質頁岩21	1	0	0	1	0	2	9.26	5.13%	4.92%
砂岩19	0	0	0	1	0	1	5.72	2.56%	3.04%
砂岩20	0	0	0	1	0	1	1.54	2.56%	0.82%
ホルンフェルス4	0	0	0	2	0	2	11.75	5.13%	6.25%
チャート25	0	0	0	14	1	15	67.85	38.46%	36.08%
チャート29	0	0	0	3	0	3	30.30	7.69%	16.11%
玉髓4	0	0	0	1	0	1	7.69	2.56%	4.09%
玉髓12	0	0	0	2	0	2	18.02	5.13%	9.58%
合計	1	1	1	33	3	39	188.08	100.00%	100.00%

第20表 第18ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	蔽石	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	1	0	6	0	0	7	39.63	26.92%	10.34%
安山岩B1	0	0	0	0	1	0	1	10.93	3.85%	2.85%
頁岩25	0	0	0	0	0	1	1	60.15	3.85%	15.69%
頁岩26	0	1	0	0	0	0	1	2.38	3.85%	0.62%
硬質頁岩8	0	0	0	1	0	0	1	16.20	3.85%	4.23%
硬質頁岩22	1	0	0	0	1	0	2	17.71	7.69%	4.62%
硬質頁岩23	1	0	0	0	0	0	1	20.84	3.85%	5.44%
ホルンフェルス8	0	0	1	1	0	0	2	9.05	7.69%	2.36%

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	敲石	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート7	0	0	1	0	0	0	1	21.48	3.85%	5.60%
チャート16	0	0	0	3	1	0	4	26.09	15.38%	6.81%
チャート30	0	0	0	0	1	0	1	64.40	3.85%	16.80%
チャート31	0	0	0	0	1	0	1	36.18	3.85%	9.44%
玉髓12	0	0	0	3	0	0	3	58.23	11.54%	15.19%
合計	2	2	2	14	5	1	26	383.27	100.00%	100.00%

第21表 第19ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	搔器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	1	0	1	2	13	0	17	59.62	56.67%	35.90%
安山岩A7	0	0	0	0	0	1	1	37.10	3.33%	22.34%
安山岩A12	0	1	0	0	0	0	1	9.01	3.33%	5.43%
安山岩B1	0	0	0	0	2	0	2	2.63	6.67%	1.58%
安山岩B13	0	0	0	0	1	0	1	0.37	3.33%	0.22%
安山岩B14	0	0	0	0	1	0	1	0.12	3.33%	0.07%
頁岩27	0	0	0	0	1	0	1	36.42	3.33%	21.93%
頁岩28	0	0	0	0	1	0	1	1.43	3.33%	0.86%
嶺岡頁岩10	0	0	0	0	1	0	1	4.95	3.33%	2.98%
嶺岡頁岩11	0	0	0	0	1	0	1	3.97	3.33%	2.39%
嶺岡頁岩12	0	0	0	0	1	0	1	0.82	3.33%	0.49%
嶺岡頁岩13	0	0	0	0	1	0	1	1.06	3.33%	0.64%
ホルンフェルス2	0	0	0	0	1	0	1	8.57	3.33%	5.16%
合計	1	1	1	2	24	1	30	166.07	100.00%	100.00%

第22表 第20ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ形石器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	1	21	2	0	24	174.58	34.78%	30.57%
安山岩A3	0	0	0	1	0	0	1	1.67	1.45%	0.29%
安山岩A6	0	0	2	8	0	0	10	11.65	14.49%	2.04%
安山岩A25	0	0	0	1	0	0	1	9.89	1.45%	1.73%
安山岩A26	0	0	0	1	0	0	1	1.25	1.45%	0.22%
安山岩A27	0	0	0	1	0	0	1	0.43	1.45%	0.08%
安山岩B1	0	0	0	2	0	0	2	5.05	2.90%	0.88%
安山岩B15	0	0	0	1	0	0	1	0.18	1.45%	0.03%
流紋岩14	0	0	0	0	0	1	1	24.41	1.45%	4.27%
黒曜石7	0	0	0	1	0	0	1	0.99	1.45%	0.17%
頁岩29	0	0	0	2	0	0	2	1.90	2.90%	0.33%
頁岩30	0	0	0	1	0	0	1	1.37	1.45%	0.24%
頁岩31	0	0	0	0	0	1	1	43.60	1.45%	7.63%
頁岩32	0	0	0	0	0	1	1	8.29	1.45%	1.45%
珪質頁岩23	0	0	0	1	0	0	1	21.82	1.45%	3.82%
硬質頁岩1	0	0	0	1	0	0	1	2.29	1.45%	0.40%
硬質頁岩24	0	1	0	0	0	0	1	2.62	1.45%	0.46%
砂岩21	0	0	0	0	0	3	3	47.58	4.35%	8.33%
砂岩22	0	0	0	0	0	1	1	34.90	1.45%	6.11%
砂岩23	0	0	0	0	0	1	1	8.15	1.45%	1.43%
砂岩24	0	0	0	0	0	1	1	6.27	1.45%	1.10%
珪質凝灰岩1	1	0	0	0	0	0	1	5.71	1.45%	1.00%
珪質凝灰岩2	1	0	0	0	0	0	1	5.20	1.45%	0.91%
ホルンフェルス25	0	0	0	6	1	0	7	114.15	10.14%	19.99%
ホルンフェルス26	1	0	0	0	0	0	1	2.26	1.45%	0.40%

母岩名/器種	ナイフ形石器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
チャート32	0	0	0	0	0	1	1	27.26	1.45%	4.77%
チャート33	0	0	0	0	0	1	1	7.70	1.45%	1.35%
合計	3	1	3	48	3	11	69	571.17	100.00%	100.00%

第23表 第21ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	台石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	2	9	0	0	0	11	42.77	16.67%	2.34%
安山岩A20	0	0	0	5	1	0	0	6	77.65	9.09%	4.26%
安山岩A28	0	0	1	0	1	0	0	2	47.19	3.03%	2.59%
安山岩A29	0	0	0	0	0	0	1	1	122.05	1.52%	6.69%
安山岩B1	0	0	0	2	0	0	0	2	5.67	3.03%	0.31%
安山岩B16	0	0	0	1	0	0	0	1	3.06	1.52%	0.17%
安山岩B17	0	0	0	1	0	0	0	1	0.25	1.52%	0.01%
安山岩C6	0	0	0	0	0	0	1	1	345.00	1.52%	18.91%
流紋岩1	0	0	0	5	0	0	0	5	16.14	7.58%	0.88%
流紋岩15	0	0	0	2	0	0	0	2	9.02	3.03%	0.49%
流紋岩16	0	0	0	0	0	0	1	1	640.00	1.52%	35.08%
黒曜石5	0	0	1	0	0	0	0	1	0.11	1.52%	0.01%
頁岩9	0	0	0	4	0	0	0	4	22.63	6.06%	1.24%
頁岩33	0	0	0	2	0	0	0	2	1.10	3.03%	0.06%
頁岩34	0	0	0	1	0	0	0	1	12.45	1.52%	0.68%
珪質頁岩11	0	0	1	0	0	0	0	1	4.34	1.52%	0.24%
珪質頁岩16	0	0	0	1	0	0	0	1	2.96	1.52%	0.16%
珪質頁岩24	0	0	0	2	0	0	0	2	17.51	3.03%	0.96%
珪質頁岩25	0	0	0	0	0	1	0	1	220.32	1.52%	12.08%
珪質頁岩26	0	0	0	1	0	0	0	1	2.06	1.52%	0.11%
硬質頁岩25	0	0	0	1	1	0	0	2	30.22	3.03%	1.66%
硬質頁岩26	1	0	0	0	0	0	0	1	32.80	1.52%	1.80%
砂岩25	0	0	0	0	0	0	2	2	26.63	3.03%	1.46%
砂岩26	0	1	0	0	0	0	0	1	49.67	1.52%	2.72%
砂岩27	0	0	1	0	0	0	0	1	21.28	1.52%	1.17%
砂岩28	0	0	0	1	0	0	0	1	8.10	1.52%	0.44%
ホルンフェルス2	0	0	1	1	0	0	0	2	22.62	3.03%	1.24%
ホルンフェルス27	0	0	0	0	0	0	1	1	0.93	1.52%	0.05%
チャート34	0	0	0	0	0	0	1	1	4.53	1.52%	0.25%
玉髓1	0	1	0	1	0	0	0	2	7.57	3.03%	0.41%
玉髓4	0	0	0	1	0	0	0	1	3.85	1.52%	0.21%
玉髓14	0	0	0	2	0	0	0	2	19.74	3.03%	1.08%
玉髓15	0	0	0	1	0	0	0	1	0.34	1.52%	0.02%
不明2	0	0	0	0	0	0	1	1	4.00	1.52%	0.22%
合計	1	2	7	44	3	1	8	66	1,824.56	100.00%	100.00%

第24表 第22ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	剥片	石核	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A30	1	0	0	0	1	9.88	4.35%	2.81%
安山岩B18	1	0	0	0	1	0.42	4.35%	0.12%
黒曜石8	0	1	0	0	1	2.61	4.35%	0.74%
頁岩11	4	2	0	0	6	96.59	26.09%	27.47%
砂岩29	0	0	0	1	1	35.76	4.35%	10.17%
砂岩30	0	0	0	1	1	14.39	4.35%	4.09%
砂岩31	0	0	0	1	1	1.87	4.35%	0.53%

母岩名/器種	剥片	石核	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
ホルンフェルス28	0	0	1	0	1	84.00	4.35%	23.89%
チャート35	6	1	0	0	7	55.60	30.43%	15.81%
チャート36	0	0	0	1	1	36.71	4.35%	10.44%
チャート37	0	0	0	1	1	8.22	4.35%	2.34%
チャート38	0	0	0	1	1	5.63	4.35%	1.60%
合計	12	4	1	6	23	351.68	100.00%	100.00%

第25表 第23ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	剥片	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A31	0	1	0	1	8.53	25.00%	1.37%
安山岩C7	0	0	1	1	24.86	25.00%	4.00%
硬質頁岩27	1	0	0	1	13.72	25.00%	2.21%
砂岩32	0	0	1	1	575.00	25.00%	92.43%
合計	1	1	2	4	622.11	100.00%	100.00%

第26表 第24ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
ホルンフェルス29	1	1	46.18	16.67%	66.13%
玉髓16	5	5	23.65	83.33%	33.87%
合計	6	6	69.83	100.00%	100.00%

第27表 第25ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
黒曜石9	0	4	4	26.95	50.00%	67.16%
珪質頁岩27	1	0	1	0.49	12.50%	1.22%
玉髓17	0	2	2	11.66	25.00%	29.06%
玉髓18	0	1	1	1.03	12.50%	2.57%
合計	1	7	8	40.13	100.00%	100.00%

第28表 第26ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A3	2	0	0	0	0	2	42.64	2.78%	3.59%
安山岩A32	0	0	4	0	0	4	13.79	5.56%	1.16%
安山岩A33	0	0	1	0	0	1	6.58	1.39%	0.55%
安山岩B19	0	0	1	0	0	1	0.93	1.39%	0.08%
流紋岩17	0	0	0	0	2	2	1.93	2.78%	0.16%
流紋岩18	0	0	1	0	0	1	1.65	1.39%	0.14%
流紋岩19	0	0	0	0	1	1	5.37	1.39%	0.45%
黒曜石9	0	1	0	1	0	2	12.92	2.78%	1.09%
黒曜石10	0	0	4	0	0	4	3.72	5.56%	0.31%
黒曜石11	0	0	5	0	0	5	22.25	6.94%	1.87%
黒曜石12	0	0	1	1	0	2	0.76	2.78%	0.06%
黒曜石13	1	0	0	0	0	1	2.13	1.39%	0.18%
黒曜石14	0	0	0	0	1	1	4.49	1.39%	0.38%
頁岩35	0	0	2	1	0	3	51.23	4.17%	4.31%

母岩名/器種	二次加工剥片	楔形石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
頁岩36	0	0	5	0	0	5	34.19	6.94%	2.88%
頁岩37	0	0	2	0	0	2	3.36	2.78%	0.28%
頁岩38	0	0	2	0	0	2	3.08	2.78%	0.26%
頁岩39	0	0	0	1	0	1	43.90	1.39%	3.70%
頁岩40	0	0	1	0	0	1	8.63	1.39%	0.73%
頁岩41	0	0	0	0	1	1	41.88	1.39%	3.53%
頁岩42	0	0	1	0	0	1	20.51	1.39%	1.73%
頁岩43	0	0	1	0	0	1	0.23	1.39%	0.02%
珪質頁岩28	0	0	2	0	0	2	4.51	2.78%	0.38%
珪質頁岩29	0	0	1	0	0	1	14.47	1.39%	1.22%
硬質頁岩28	0	0	5	0	0	5	37.19	6.94%	3.13%
嶺岡頁岩5	1	0	1	0	0	2	3.57	2.78%	0.30%
嶺岡頁岩8	0	0	0	1	0	1	5.07	1.39%	0.43%
砂岩33	0	0	1	0	0	1	46.08	1.39%	3.88%
砂岩34	0	0	0	0	1	1	50.80	1.39%	4.28%
砂岩35	0	0	0	0	1	1	40.37	1.39%	3.40%
ホルンフェルス2	0	0	4	0	0	4	27.13	5.56%	2.28%
ホルンフェルス30	0	0	1	0	0	1	11.21	1.39%	0.94%
ホルンフェルス31	0	0	1	0	0	1	7.56	1.39%	0.64%
チャート39	0	0	0	0	3	3	542.65	4.17%	45.70%
チャート40	0	1	1	0	0	2	8.05	2.78%	0.68%
チャート41	0	0	1	0	0	1	54.86	1.39%	4.62%
チャート42	0	1	0	0	0	1	1.85	1.39%	0.16%
玉髓16	0	0	1	0	0	1	5.90	1.39%	0.50%
合計	4	3	50	5	10	72	1,187.44	100.00%	100.00%

第29表 第27ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	削器	二次加工剥片	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A31	0	0	2	0	2	1.02	3.64%	0.16%
安山岩A34	0	0	5	1	6	102.96	10.91%	16.17%
安山岩A35	0	0	4	1	5	43.68	9.09%	6.86%
安山岩A36	1	0	1	0	2	19.60	3.64%	3.08%
安山岩B2	0	0	1	0	1	46.63	1.82%	7.32%
安山岩B20	0	0	8	2	10	74.78	18.18%	11.74%
黒曜石11	0	0	2	0	2	1.54	3.64%	0.24%
黒曜石15	0	1	1	0	2	9.14	3.64%	1.44%
黒曜石16	0	0	1	0	1	1.69	1.82%	0.27%
頁岩44	0	0	1	0	1	4.00	1.82%	0.63%
嶺岡頁岩5	0	1	0	0	1	6.74	1.82%	1.06%
嶺岡頁岩14	0	0	3	0	3	16.02	5.45%	2.52%
嶺岡頁岩15	0	0	2	0	2	32.24	3.64%	5.06%
嶺岡頁岩16	0	0	1	0	1	27.47	1.82%	4.31%
嶺岡頁岩17	0	0	1	0	1	10.72	1.82%	1.68%
砂岩36	0	0	4	0	4	19.98	7.27%	3.14%
砂岩37	0	0	0	1	1	106.13	1.82%	16.67%
砂岩38	0	1	0	0	1	9.64	1.82%	1.51%
ホルンフェルス4	0	0	2	0	2	7.51	3.64%	1.18%
ホルンフェルス5	0	0	1	1	2	45.30	3.64%	7.11%
ホルンフェルス32	0	0	4	0	4	48.95	7.27%	7.69%
チャート43	0	0	1	0	1	0.96	1.82%	0.15%
合計	1	3	45	6	55	636.70	100.00%	100.00%

第30表 第28ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A12	0	2	0	0	2	4.76	8.00%	1.44%
安山岩A31	0	3	0	0	3	9.33	12.00%	2.82%
安山岩A33	0	1	0	0	1	10.20	4.00%	3.08%
黒曜石17	0	2	0	0	2	3.74	8.00%	1.13%
頁岩45	1	0	0	0	1	8.45	4.00%	2.56%
頁岩46	0	0	0	1	1	1.15	4.00%	0.35%
珪質頁岩30	0	4	1	0	5	124.60	20.00%	37.68%
珪質頁岩31	0	0	0	1	1	3.61	4.00%	1.09%
嶺岡頁岩18	0	1	0	0	1	1.02	4.00%	0.31%
嶺岡頁岩19	0	1	0	0	1	1.24	4.00%	0.38%
ホルンフェルス33	0	2	1	0	3	56.72	12.00%	17.15%
チャート44	0	1	0	0	1	45.43	4.00%	13.74%
チャート45	0	1	0	0	1	30.53	4.00%	9.23%
チャート46	0	1	0	0	1	25.60	4.00%	7.74%
チャート47	0	1	0	0	1	4.26	4.00%	1.29%
合計	1	20	2	2	25	330.64	100.00%	100.00%

第31表 第29ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	楔形石器	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A37	1	0	1	5.46	50.00%	31.78%
珪質頁岩32	0	1	1	11.72	50.00%	68.22%
合計	1	1	2	17.18	100.00%	100.00%

第32表 第30ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A38	1	1	15.71	33.33%	64.25%
黒曜石18	2	2	8.74	66.67%	35.75%
合計	3	3	24.45	100.00%	100.00%

第33表 第31ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	楔形石器	剥片	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	1	0	0	1	10.43	8.33%	12.57%
安山岩A2	0	1	0	1	1.92	8.33%	2.31%
安山岩A3	0	1	0	1	4.40	8.33%	5.30%
安山岩B1	0	1	0	1	0.68	8.33%	0.82%
黒曜石1	0	3	0	3	14.16	25.00%	17.06%
頁岩1	0	0	1	1	24.97	8.33%	30.08%
珪質頁岩1	0	2	0	2	6.11	16.67%	7.36%
珪質頁岩2	0	1	0	1	1.87	8.33%	2.25%
チャート1	0	1	0	1	18.46	8.33%	22.24%
合計	1	10	1	12	83.00	100.00%	100.00%

第34表 第4文化層出土石器組成表 (全体)

母岩名/器種	ナイフ 形石器	削器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	0	0	2	0	0	2	6.10	1.52%	1.49%
安山岩B1	0	0	0	0	3	0	0	3	15.73	2.27%	3.83%
安山岩B2	0	0	0	0	1	0	0	1	2.31	0.76%	0.56%
黒曜石1	0	0	0	0	10	0	0	10	49.60	7.58%	12.08%
黒曜石2	1	0	0	0	2	0	0	3	3.10	2.27%	0.76%
黒曜石3	0	0	0	0	0	1	0	1	5.97	0.76%	1.45%
黒曜石4	0	0	0	0	1	0	0	1	2.62	0.76%	0.64%
頁岩1	0	0	0	0	3	0	0	3	3.63	2.27%	0.88%
頁岩2	0	0	0	0	2	0	0	2	3.55	1.52%	0.86%
頁岩3	0	0	0	0	1	0	0	1	10.89	0.76%	2.65%
頁岩4	0	0	1	0	0	0	0	1	4.85	0.76%	1.18%
頁岩5	0	0	0	0	1	0	0	1	3.78	0.76%	0.92%
頁岩6	0	0	0	0	1	0	0	1	0.87	0.76%	0.21%
珧質頁岩1	0	0	0	0	2	1	0	3	33.26	2.27%	8.10%
硬質頁岩1	2	1	5	0	73	1	0	82	184.22	62.12%	44.88%
硬質頁岩2	0	0	0	0	2	0	0	2	10.08	1.52%	2.46%
硬質頁岩3	0	0	0	0	2	0	0	2	1.70	1.52%	0.41%
硬質頁岩4	0	0	0	0	2	0	0	2	1.06	1.52%	0.26%
硬質頁岩5	1	0	0	0	0	0	0	1	3.38	0.76%	0.82%
硬質頁岩6	0	0	0	1	0	0	0	1	2.07	0.76%	0.50%
嶺岡頁岩1	0	0	0	0	1	0	0	1	6.14	0.76%	1.50%
砂岩1	0	0	0	0	1	0	0	1	2.47	0.76%	0.60%
チャート1	0	0	0	0	1	0	1	2	17.08	1.52%	4.16%
チャート2	0	0	0	0	0	0	1	1	31.44	0.76%	7.66%
玉髓1	0	0	1	0	1	0	0	2	2.31	1.52%	0.56%
玉髓2	0	0	0	0	2	0	0	2	2.29	1.52%	0.56%
合計	4	1	7	1	114	3	2	132	410.50	100.00%	100.00%

第35表 第32ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	ナイフ 形石器	削器	二次加 工剥片	楔形 石器	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	0	0	0	0	2	0	0	2	6.10	1.56%	1.55%
安山岩B1	0	0	0	0	3	0	0	3	15.73	2.34%	4.01%
安山岩B2	0	0	0	0	1	0	0	1	2.31	0.78%	0.59%
黒曜石1	0	0	0	0	10	0	0	10	49.60	7.81%	12.63%
黒曜石2	1	0	0	0	2	0	0	3	3.10	2.34%	0.79%
頁岩1	0	0	0	0	3	0	0	3	3.63	2.34%	0.92%
頁岩2	0	0	0	0	2	0	0	2	3.55	1.56%	0.90%
頁岩3	0	0	0	0	1	0	0	1	10.89	0.78%	2.77%
頁岩4	0	0	1	0	0	0	0	1	4.85	0.78%	1.24%
頁岩5	0	0	0	0	1	0	0	1	3.78	0.78%	0.96%
頁岩6	0	0	0	0	1	0	0	1	0.87	0.78%	0.22%
珧質頁岩1	0	0	0	0	2	1	0	3	33.26	2.34%	8.47%
硬質頁岩1	1	1	6	0	72	1	0	81	181.09	63.28%	46.12%
硬質頁岩2	0	0	0	0	2	0	0	2	10.08	1.56%	2.57%
硬質頁岩3	0	0	0	0	2	0	0	2	1.70	1.56%	0.43%
硬質頁岩4	0	0	0	0	2	0	0	2	1.06	1.56%	0.27%
硬質頁岩5	1	0	0	0	0	0	0	1	3.38	0.78%	0.86%
硬質頁岩6	0	0	0	1	0	0	0	1	2.07	0.78%	0.53%
砂岩1	0	0	0	0	1	0	0	1	2.47	0.78%	0.63%
チャート1	0	0	0	0	1	0	1	2	17.08	1.56%	4.35%
チャート2	0	0	0	0	0	0	1	1	31.44	0.78%	8.01%
玉髓1	0	0	1	0	1	0	0	2	2.31	1.56%	0.59%
玉髓2	0	0	0	0	2	0	0	2	2.29	1.56%	0.58%
合計	3	1	8	1	111	2	2	128	392.64	100.00%	100.00%

第36表 第33ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	剥片	石核	点数	重量(g)	点数比	重量比
黒曜石3	0	1	1	5.97	25.00%	33.43%
黒曜石4	1	0	1	2.62	25.00%	14.67%
硬質頁岩1	1	0	1	3.13	25.00%	17.53%
嶺岡頁岩1	1	0	1	6.14	25.00%	34.38%
合計	3	1	4	17.86	100.00%	100.00%

第37表 第5文化層出土石器組成表(全体)

礫を含む

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	敲石	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩B1	0	0	1	0	0	1	98.19	0.81%	2.09%
安山岩C	0	0	0	0	5	5	180.33	4.03%	3.84%
流紋岩	0	0	0	0	6	6	247.59	4.84%	5.27%
黒曜石1	1	5	1	0	0	7	58.23	5.65%	1.24%
黒曜石2	0	1	1	0	0	2	14.01	1.61%	0.30%
頁岩	0	0	0	0	11	11	355.49	8.87%	7.57%
嶺岡頁岩1	0	1	0	0	0	1	9.01	0.81%	0.19%
砂岩1	0	0	0	1	0	1	161.37	0.81%	3.43%
砂岩	0	0	0	0	70	70	2,607.11	56.45%	55.49%
礫岩	0	0	0	0	1	1	12.43	0.81%	0.26%
ホルンフェルス	0	0	0	0	7	7	562.66	5.65%	11.98%
チャート	0	0	0	0	7	7	265.01	5.65%	5.64%
珪岩	0	0	0	0	5	5	127.19	4.03%	2.71%
合計	1	7	3	1	112	124	4,698.62	100.00%	100.00%

礫を除く

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	敲石		点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩B1	0	0	1	0		1	98.19	8.33%	28.81%
黒曜石1	1	5	1	0		7	58.23	58.33%	17.09%
黒曜石2	0	1	1	0		2	14.01	16.67%	4.11%
嶺岡頁岩1	0	1	0	0		1	9.01	8.33%	2.64%
砂岩1	0	0	0	1		1	161.37	8.33%	47.35%
合計	1	7	3	1		12	340.81	100.00%	100.00%

第38表 第34ブロック出土石器組成表

礫を含む

母岩名/器種	剥片	敲石	礫	点数	重量	点数比	重量比
流紋岩	0	0	3	3	155.07	15.79%	14.28%
頁岩	0	0	9	9	324.87	47.37%	29.92%
嶺岡頁岩1	1	0	0	1	9.01	5.26%	0.83%
砂岩1	0	1	0	1	161.37	5.26%	14.86%
ホルンフェルス	0	0	3	3	305.16	15.79%	28.10%
チャート	0	0	2	2	130.45	10.53%	12.01%
合計	1	1	17	19	1,085.93	100.00%	100.00%

礫を除く

母岩名/器種	剥片	敲石		点数	重量	点数比	重量比
嶺岡頁岩1	1	0		1	9.01	50.00%	5.29%
砂岩1	0	1		1	161.37	50.00%	94.71%
合計	1	1		2	170.38	100.00%	100.00%

第39表 第35ブロック出土石器組成表

礫を含む

母岩名/器種	剥片	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩C	0	1	1	112.32	1.49%	4.66%
流紋岩	0	1	1	53.03	1.49%	2.20%
黒曜石1	3	0	3	15.12	4.48%	0.63%
黒曜石2	1	0	1	2.54	1.49%	0.11%
頁岩	0	1	1	14.90	1.49%	0.62%
砂岩	0	48	48	1,750.64	71.64%	72.65%
礫岩	0	1	1	12.43	1.49%	0.52%
ホルンフェルス	0	3	3	209.94	4.48%	8.71%
チャート	0	3	3	111.70	4.48%	4.64%
珪岩	0	5	5	127.19	7.46%	5.28%
合計	4	63	67	2,409.81	100.00%	100.00%

礫を除く

母岩名/器種	剥片		点数	重量(g)	点数比	重量比
黒曜石1	3		3	15.12	75.00%	85.62%
黒曜石2	1		1	2.54	25.00%	14.38%
合計	4		4	17.66	100.00%	100.00%

第40表 第36ブロック出土石器組成表

礫を含む

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核	礫	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩B1	0	0	1	0	1	98.19	2.63%	8.16%
安山岩C	0	0	0	4	4	68.01	10.53%	5.65%
流紋岩	0	0	0	2	2	39.49	5.26%	3.28%
黒曜石1	1	2	1	0	4	43.11	10.53%	3.58%
黒曜石2	0	0	1	0	1	11.47	2.63%	0.95%
頁岩	0	0	0	1	1	15.72	2.63%	1.31%
砂岩	0	0	0	22	22	856.47	57.89%	71.20%
ホルンフェルス	0	0	0	1	1	47.56	2.63%	3.95%
チャート	0	0	0	2	2	22.86	5.26%	1.90%
	1	2	3	32	38	1,202.88	100.00%	100.00%

礫を除く

母岩名/器種	二次加工剥片	剥片	石核		点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩B1	0	0	1		1	98.19	16.67%	64.27%
黒曜石1	1	2	1		4	43.11	66.67%	28.22%
黒曜石2	0	0	1		1	11.47	16.67%	7.51%
合計	1	2	3		6	152.77	100.00%	100.00%

第41表 第37ブロック出土石器組成表

母岩名/器種	尖頭器	二次加工剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
安山岩A1	1	1	2	49.77	100.00%	100.00%
合計	1	1	2	49.77	100.00%	100.00%

第42表 第1ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	欠損	接合	備考	
第10図10b	15H-13-1001a	剥片	頁岩	1 55.07	56.45	17.60	36.68	1	120	I + II + III	H	-	-	-	1		
	15H-13-1001b	剥片	頁岩	1 27.40	29.82	6.98	4.04	C	108	I + III	F	-	-	-			
	15H-13-1002a	剥片	頁岩	1 58.22	20.83	12.64	11.09	P	-	I + II + III	S	-	-	-			
第9図9b	15H-13-1002b	剥片	頁岩	1 22.30	16.36	6.88	2.26	2	126	I + V	S	-	-	-			
	15H-13-1003	剥片	頁岩	1 30.16	39.91	11.31	13.22	1	-	I + III	H	-	-	-	2		
第9図7	15H-13-1004a	石核	安山岩A	1 49.65	62.59	14.19	38.58	-	50	-	-	N	-	-			
	15H-13-1005a	剥片	頁岩	1 29.16	24.19	6.25	4.46	-	-	V	H	-	LB	-			
第11図14b	15H-13-1007	敲石	流紋岩	1 163.70	85.10	54.20	950.00	-	-	-	-	S, H	-	-	3		
	15H-13-1008	剥片	安山岩A	1 6.45	7.75	4.49	0.19	-	-	I	F	-	B	-			
第11図14a	15H-23-1001	剥片	ホルンフェルス	2 26.21	32.42	5.75	4.63	L	-	III	-	-	-	-			
	15H-23-1002	剥片	流紋岩	1 30.68	21.66	7.67	4.02	2(2)	-	I + V	H	-	-	-	3		
	15H-23-1003	剥片	安山岩A	1 19.76	24.85	6.24	2.42	1	122	I + III	H	-	-	-			
	15H-23-1004	剥片	安山岩A	1 16.09	16.82	4.32	1.29	1	-	I + V	-	-	H	-			
第9図8	15H-23-1005	剥片	安山岩B	1 17.23	9.80	3.47	0.46	-	-	I + V	S	-	B	-			
	15H-23-1006	石核	安山岩B	1 38.74	65.87	20.71	34.52	-	78	-	-	-	-	-			
第10図10a	15H-23-1007	剥片	安山岩A	1 16.18	9.52	8.47	1.32	1	90	I + III	S	-	-	-			
	15H-23-1009	剥片	頁岩	1 40.98	32.04	10.36	11.55	1	106	I + II + III	F	-	-	-	1		
第9図9a	15H-23-1011	剥片	頁岩	1 16.70	17.03	4.22	1.05	1	92	I + III	F	-	R	-	2		
	15H-23-1013	剥片	黒曜石	1 17.89	33.42	5.28	3.12	-	-	III + V	H	-	B	-			
第10図11c	15H-23-1014	剥片	頁岩	1 22.52	12.67	5.86	1.20	2(1)	110	III	H	-	R	-			
	15H-33-1001a	剥片	玉髓	1 14.61	10.94	5.03	0.59	7(4)	114	I + III	O	-	-	-			
	15H-33-1001b	剥片	玉髓	1 12.03	7.07	3.66	0.18	-	-	I + III	S	-	B	-			
	15H-33-1002	剥片	チャート	2 27.71	22.00	11.54	6.06	-	-	I + III + V	O	-	B	-			
	15H-33-1003	剥片	頁岩	2 39.61	22.74	13.93	11.17	1	126	I + II + III	S	-	-	-			
	15H-33-1004	剥片	頁岩	2 36.45	23.03	17.60	10.70	1	120	I + II + III	O	-	-	-	4		
	15H-33-1005	削器	黒曜石	2 41.89	20.73	12.04	8.93	-	-	I + III	O	-	-	-	+	調整角62~84	
	15H-33-1006	敲石	砂岩	2 60.90	56.31	36.93	131.97	-	-	-	-	S, H	-	-	-		
	15H-33-1007	剥片	頁岩	2 37.35	23.64	9.41	7.08	2(1)	112	I + III	H	-	R	-	4		
	15H-33-1008	剥片	頁岩	2 17.32	14.33	4.61	0.90	2	116	I	S	-	R	-			
第10図11a	15H-33-1009	剥片	頁岩	2 31.95	21.06	7.93	4.48	2(1)	112	I	H	-	L	-	4		
	15H-33-1010	剥片	頁岩	2 49.67	51.38	25.13	52.90	1	128	I + II + III	F	-	-	-			
第23図39b	15H-33-1012	剥片	チャート	1 46.10	45.11	17.79	23.29	1	94	I + IV + V	O	H	-	-	5	ブロック間接合	
第9図3	16H-03-1001	楔形石器	珪質頁岩	1 20.91	27.11	4.53	2.57	-	-	-	-	-	-	-			
	15I-11-1002	剥片	嶺岡頁岩	1 36.90	36.92	7.80	5.51	3	124	I	H	-	-	-			
第13図15	15I-20-1001			13.90	15.77	4.20	0.87										
	15H-13-1004b			26.82	19.65	4.98	2.46										
	15H-13-1005b	台石	砂岩	1 72.94	33.38	9.25	11.25	-	-	-	-	S, H	-	-	6		
第10図12a	15H-13-1006			22.34	14.52	3.71	1.07										
	15H-23-1010			209.10	112.20	78.30	2,545.00										
第10図12a	15I-20-1001	剥片	黒曜石	1 16.24	26.95	7.11	1.59	C	126	I + II + III	-	-	H	-			
	15I-20-1003	剥片	安山岩A	1 30.58	44.12	8.57	10.50	C	90	II + III	F	-	-	-	7		
第11図13e	15I-20-1004	石核	ホルンフェルス	1 65.62	85.90	19.28	74.44	-	54~62	-	-	-	-	-	8		
第9図2	15I-20-1005	剥片	砂岩	3 40.64	31.05	4.68	5.90	1	110	V	S	P	-	-		局部磨製石斧の調整剥片	
	15I-20-1006	剥片	黒曜石	1 22.95	36.79	7.25	3.55	2	120	I + II + III	H	N	-	-			
第9図4	15I-20-1007	剥片	頁岩	1 29.52	27.36	20.88	11.92	C	108	I + IV + V	S	-	-	-			
	15I-20-1009	剥片	頁岩	1 32.98	39.93	9.01	9.93	2	140	I + II + III + V	H	-	-	-			
第9図6	15I-20-1010	石核	黒曜石	1 22.68	52.41	13.41	15.45	-	68	-	-	-	-	-			
	15I-30-1001	剥片	黒曜石	1 17.76	10.81	5.65	0.60	2	94	I	S	-	L	-			
第11図13a	15I-30-1002	剥片	安山岩A	1 28.54	35.04	7.78	4.74	1	138	I + III	H	-	L	-			
	15I-30-1003	剥片	ホルンフェルス	1 16.64	16.37	5.33	1.02	C	104	III	S	-	R	-	8		
第11図13d	15I-30-1004	剥片	ホルンフェルス	1 28.66	35.51	7.67	7.23	1	126	I + III + V	F	-	-	-	8		
第11図13b	15I-30-1005	剥片	ホルンフェルス	1 17.54	30.19	6.56	3.28	C	106	I + III	F	-	L	-	8		
第10図12b	15I-30-1006	剥片	安山岩A	1 21.87	18.09	4.05	1.29	C	92	I	S	-	R	-	7		
第10図12c	15I-30-1007	剥片	安山岩A	1 21.97	11.50	4.36	1.06	C	92	I	S	-	L	-	7		
	15I-30-1009	剥片	安山岩A	2 34.78	42.21	14.81	16.89	2	116	III + V	S	-	-	-			
第11図13c	15I-30-1010	剥片	ホルンフェルス	1 18.98	15.62	7.95	2.13	C	106	I	F	-	R	-	8		
	15I-30-1011	剥片	珪質頁岩	2 22.39	16.09	4.78	0.91	1	120	I	H	-	R	-			
第11図13c	15I-30-1012	剥片	頁岩	2 25.73	29.66	6.43	4.13	1	118	I + II + III	S	-	-	-			
	15I-30-1013	剥片	ホルンフェルス	3 20.32	25.86	4.87	2.51	3	118	I + IV + V	S	-	-	-			

第43表 第2ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第17図18	16G-12-1003	石核	珪質頁岩	3	33.02	46.54	33.52	43.60	-	60~88	-	-	-		
	16G-13-1001	礫	チャート	4	29.16	25.41	17.63	11.77	-	-	-	H	-		
	16G-13-1002	剥片	チャート	3	18.24	26.40	9.82	3.59	-	-	Ⅲ+Ⅳ	-	-	VM	
	16G-13-1003	石核	チャート	3	33.20	34.83	30.11	29.89	-	48	-	-	-	-	9
	16G-13-1004	剥片	チャート	3	41.32	46.53	11.91	18.16	-	-	I+Ⅲ+Ⅴ	S	-	B	9
	16G-13-1005	石核	チャート	3	30.92	56.92	68.88	116.96	-	86	-	-	-	-	10
	1010b														
	16G-13-1006	剥片	チャート	3	18.76	24.96	8.26	3.45	-	-	I+Ⅱ+Ⅳ	F	-	B	10
	16G-13-1007	剥片	チャート	3	25.60	20.43	11.00	4.27	-	-	I+Ⅳ	-	-	VM	11
	16G-13-1008	剥片	チャート	3	51.12	28.16	23.52	26.85	-	-	I+Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ	O	-	B	10
	16G-13-1009	剥片	チャート	3	20.14	17.79	6.89	2.71	2	106	I+Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ	H	-	-	10
	16G-13-1010a	剥片	チャート	3	41.60	25.59	10.37	7.61	1	96	I+Ⅲ+Ⅳ	H	-	-	10
	16G-13-1011	剥片	チャート	3	28.74	58.34	14.35	20.87	2	144	I+Ⅲ+Ⅳ	-	-	H	
	16G-13-1013	剥片	チャート	3	40.06	29.13	14.95	13.89	C	76	I+Ⅱ+Ⅳ	F	-	-	
	16G-13-1015	剥片	安山岩A	3	36.02	30.03	12.30	9.20	1	104	I+Ⅲ	F	-	-	
第16図17b	16G-13-1016	石核	砂岩	4	61.53	87.26	24.19	122.80	-	60~78	-	-	-	-	12
	1017														
	16G-13-1018	石核	チャート	3	19.76	52.99	31.33	19.28	-	60	-	-	-	-	10
	16G-13-1019	石核	チャート	3	40.42	37.35	25.65	38.77	-	98	-	-	-	-	10
第17図19	16G-13-1020	石核	チャート	3	29.09	32.18	19.13	15.10	-	50	-	-	-	-	9
	16G-13-1021	石核	チャート	3	12.96	17.20	11.00	2.01	-	78~88	-	-	-	-	
	16G-23-1001	剥片	安山岩A	3	38.76	30.17	9.88	9.70	-	-	I+Ⅲ+Ⅴ	F	-	B	
	16H-00-1003	剥片	チャート	3	21.89	30.91	13.37	6.32	1	112	I+Ⅳ	-	-	H	
	16H-00-1004	剥片	流紋岩	2	49.72	36.54	11.96	16.82	1	98	I+Ⅴ	F	-	-	
	16H-10-1001	剥片	頁岩	4	23.19	29.29	7.23	4.58	1	126	I+Ⅲ	-	-	H	
第16図16	16H-10-1002	二次加工剥片	珪質頁岩	1	26.62	27.96	13.87	10.45	5(1)	124	I+Ⅱ+Ⅲ+Ⅳ	-	-	H	調整角68
	16H-10-1004	剥片	チャート	3	36.04	24.02	15.54	12.57	1	128	I+Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ	S	-	-	
	16H-10-1006	剥片	チャート	3	16.80	9.14	7.06	1.12	L	-	I+Ⅱ+Ⅲ	O	-	L	
	16H-10-1007	剥片	チャート	3	24.63	25.70	12.92	5.84	-	-	I+Ⅲ+Ⅳ	S	-	B	10
	16H-10-1008	剥片	チャート	3	29.02	31.36	11.99	7.82	C	108	I+Ⅱ+Ⅴ	S	-	-	9
	16H-10-1012	剥片	チャート	3	18.92	35.78	10.96	6.88	C	110	I	S	-	-	10
	16H-10-1014	剥片	チャート	3	39.48	28.68	16.19	13.66	2	102	Ⅱ+Ⅲ+Ⅴ	F	-	-	9
	16H-20-1002	二次加工剥片	チャート	3	7.14	17.93	13.07	2.02	-	64	-	-	-	-	10

第44表 第3ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第19図21	16H-11-1001	剥片	チャート	3	22.50	20.86	9.05	2.75	-	-	I+Ⅴ	-	-	-	打面部末端部ガジリ	
	16H-11-1002a	剥片	チャート	3	45.92	25.44	9.60	8.15	1	90	I+Ⅳ	H	-	-	10	
	16H-11-1002b	二次加工剥片	嶺岡頁岩	1	28.37	14.37	5.17	1.72	1	114	I+Ⅱ+Ⅴ	F	-	-	調整角66	
第19図20	16H-12-1001	剥片	珪質頁岩	7	33.25	27.20	8.11	5.55	2	102	I+Ⅱ+Ⅲ	O	-	-		
	16H-12-1002	二次加工剥片	珪質頁岩	4	43.51	51.07	21.66	30.41	13(8)	140	I+Ⅲ+Ⅴ	F	N	-	調整角72	
第19図25	16H-12-1003	剥片	珪質頁岩	5	54.22	27.12	13.49	10.77	5(3)	122	I+Ⅱ+Ⅲ	F	N	-		
	16H-12-1004	剥片	頁岩	6	36.63	33.68	8.05	8.23	C	116	I+Ⅱ+Ⅳ	-	-	-	末端部ガジリ	
	16H-12-1005	剥片	安山岩A	1	17.18	13.86	2.75	0.51	1	120	I+Ⅴ	F	-	-		
	16H-12-1006	剥片	安山岩A	1	38.48	13.88	6.69	2.98	1	100	I+Ⅴ	H	-	R		
	16H-12-1007	剥片	嶺岡頁岩	2	23.56	13.21	4.44	1.65	-	-	I+Ⅴ	-	-	VM		
	16H-12-1008	剥片	チャート	3	24.25	34.28	12.91	7.27	1	114	I+Ⅳ	-	-	H	11	
	16H-12-1009a	剥片	チャート	3	34.99	39.10	18.34	18.82	C	122	I+Ⅱ+Ⅳ	S	-	-	10	
	16H-12-1009b	剥片	チャート	3	25.14	22.28	10.65	3.48	1	136	I+Ⅳ	H	-	-		
	第19図27	16H-12-1010	石核	チャート	3	34.86	46.27	15.57	17.19	-	66	-	-	-	-	13
		1017														
第19図23	16H-12-1011	剥片	チャート	3	38.04	42.35	15.27	18.04	C	100	I+Ⅲ+Ⅳ	S	-	-	10	
	16H-12-1012	剥片	チャート	3	30.19	21.93	7.80	4.72	C	98	Ⅲ	-	-	LH		
	16H-12-1014	剥片	ホルンフェルス	4	34.01	30.91	13.06	9.94	2	104	I+Ⅴ	H	N	-		
	16H-12-1015	剥片	チャート	3	38.94	23.86	7.71	5.89	C	142	Ⅲ+Ⅳ	O	-	-		
	16H-12-1016	剥片	チャート	3	55.56	46.22	23.35	60.60	C	124	I+Ⅲ+Ⅴ	S	-	R	10	
	16H-12-1018	剥片	チャート	3	15.37	33.10	7.43	2.25	1	106	I+Ⅲ	O	-	-		
第16図17a	16H-12-1019	剥片	チャート	3	11.57	23.83	2.31	0.48	-	-	Ⅴ	H	-	-	打面部ガジリ	
	16H-12-1020	剥片	チャート	3	9.72	21.05	7.23	0.93	-	-	I+Ⅲ+Ⅳ	H	-	B		
	16H-12-1021	剥片	砂岩	4	51.26	47.08	12.03	21.03	C	98	I+Ⅱ+Ⅴ	H	-	R	12	
	16H-12-1022	剥片	珪質頁岩	1	34.06	26.22	9.41	8.10	1	132	I+Ⅲ	H	-	-	ブロック間接合	
	16H-12-1024	剥片	チャート	3	32.69	11.41	7.90	2.67	-	-	I+Ⅳ	S	-	B		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第19図24a	16H-12-1026	剥片	珪質頁岩	6	36.17	21.72	13.94	6.75	L	-	I + II	S	-	L	14
	16H-12-1027	剥片	頁岩	5	33.22	55.62	9.94	15.42	L	-	I + V	H	-	-	
	16H-21-1001	剥片	チャート	6	9.62	13.96	2.82	0.23	L	-	I	F	-	-	
第19図22	16H-21-1002a	剥片	チャート	5	43.33	35.28	9.57	14.86	3	122	I + V	F	N	-	14
	16H-21-1002b	剥片	黒曜石	3	12.77	11.00	2.16	0.23	2	90	I + II	H	-	-	
第19図24b	16H-22-1001	剥片	頁岩	5	27.33	29.23	8.66	10.27	-	-	I + III	F	-	B	14

第45表 第4ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第22図32 第22図38	16H-13-1001	剥片	頁岩	7	34.40	36.77	9.75	9.02	1	112	I + V	F	-	-	調整角64
	16H-13-1002	剥片	頁岩	7	6.44	18.49	3.23	0.36	C	104	I + IV	H	-	-	
	16H-13-1003	剥片	珪質頁岩	8	30.04	24.76	6.71	3.47	C	106	I	H	-	L	
	16H-13-1006	剥片	頁岩	8	16.42	22.99	6.48	1.74	2	112	I + III + IV	F	-	-	
	16H-13-1007	剥片	チャート	10	39.69	43.04	12.22	17.22	1	106	I	S	-	-	
	16H-23-1001	楔形石器	黒曜石	2	41.13	32.23	13.55	16.75	-	-	-	-	-	-	
	16H-23-1002	石核	チャート	7	27.65	12.11	23.30	7.98	-	80	-	-	-	-	
	16H-23-1003	剥片	チャート	14	31.18	26.84	13.17	9.13	3	124	I + III + V	O	-	-	
	16H-23-1004	剥片	チャート	7	24.05	21.38	9.59	2.79	1	92	I	H	-	-	
	16H-23-1005	剥片	安山岩B	2	22.53	25.01	7.48	3.98	1	90	II + III	H	-	-	
第22図36	16H-23-1006	剥片	安山岩A	3	28.06	22.91	7.76	3.46	-	-	I + II + III	F	-	B	15
	16H-23-1007	剥片	チャート	13	24.91	35.35	12.72	7.78	-	-	II + III + IV	S	-	B	
	16H-23-1008	剥片	黒曜石	1	15.48	25.87	6.91	2.07	L	-	I + III	S	-	-	
	16H-23-1009	剥片	チャート	1	18.10	17.80	5.76	1.64	-	-	I + III + IV	S	-	B	
	16H-23-1010	石核	チャート	1	14.86	14.32	6.59	1.33	-	-	-	-	-	-	
	16H-23-1012	剥片	砂岩	5	39.07	21.57	5.87	3.70	1	104	I + V	F	-	-	
	16H-23-1013	剥片	チャート	1	21.11	26.73	7.43	2.45	1	100	I + III + IV	F	-	-	
	16H-23-1014	剥片	ホルンフェルス	4	14.28	15.35	3.78	0.95	-	-	I	H	-	B	
	16H-23-1015	剥片	チャート	1	21.61	16.80	6.93	2.48	-	-	I + IV	F	-	B	
	16H-23-1016	二次加工剥片	嶺岡頁岩	3	27.00	19.20	7.36	3.65	3(3)	140	I + II + III	H	N	R	
第22図30	16H-23-1017	剥片	チャート	1	26.32	27.51	13.85	7.04	4	104	I + IV	O	-	-	15
	16H-23-1018	剥片	チャート	1	36.20	31.69	11.97	10.47	2	106	I + III + IV + V	O	H	-	
	16H-23-1019	剥片	チャート	1	38.46	45.06	14.14	22.41	1	138	I + III + IV	S	-	-	
	16H-23-1020	剥片	チャート	1	10.80	24.51	8.52	1.80	C	102	II + III	O	H	-	
	16H-23-1021a	剥片	チャート	1	17.47	12.86	6.06	1.22	L	-	II + IV	O	-	-	
	16H-23-1021b	剥片	チャート	1	8.69	7.96	4.63	0.22	C	82	I	H	-	-	
	16H-23-1022	剥片	砂岩	6	38.61	33.63	11.21	10.22	-	-	II + III	H	-	B	
	16H-23-1023	二次加工剥片	嶺岡頁岩	3	32.59	22.88	8.13	6.65	-	-	II + III + V	H	-	-	
	16H-23-1024	剥片	チャート	1	49.65	48.27	27.72	45.47	1	132	I + III + IV + V	O	H	-	
	16H-23-1025	剥片	チャート	1	37.94	29.73	17.31	12.75	1	142	I + II + III + IV	O	-	-	
第22図33	16H-23-1026	剥片	砂岩	7	11.52	14.66	2.37	0.41	L	-	I + V	S	-	-	15
	16H-23-1027	石核	チャート	1	42.46	40.92	38.19	48.56	-	74~82	-	-	H	-	
	16H-23-1028	剥片	チャート	9	43.74	62.18	13.89	23.29	L	-	II + III + V	F	H	-	
	16H-23-1029	剥片	チャート	9	20.10	32.72	26.64	12.09	2+C	98	I + II + III	O	H	-	
	16H-23-1034	剥片	チャート	8	18.25	13.99	4.85	1.01	2(1)	108	I + II + IV	H	-	-	
	16H-23-1035a	剥片	頁岩	8	12.91	16.26	6.76	0.80	1	92	I + III	S	-	L	
	16H-23-1035b	剥片	頁岩	9	6.08	15.01	2.22	0.17	1	118	I + III	H	-	-	
	16H-23-1036a	礫	ホルンフェルス	7	27.49	20.55	14.59	10.22	-	-	-	-	H	-	
	16H-23-1036b	剥片	黒曜石	2	19.79	10.85	6.59	0.90	-	-	I + II + III	O	N	B	
	16H-33-1001	剥片	チャート	1	11.33	21.18	13.36	2.44	1	72	II + III	H	-	-	
第23図39d	16H-33-1002	剥片	チャート	1	9.85	16.68	5.68	0.34	1	98	II + III + IV	H	-	-	15
	16H-33-1003	剥片	チャート	1	18.11	16.38	5.35	2.34	1	118	I + IV	O	-	L	
	16H-33-1004	剥片	チャート	1	11.93	12.04	1.78	0.18	-	-	I + IV	F	-	B	
	16H-33-1005	剥片	砂岩	5	46.83	64.39	10.39	32.48	L	-	V	H	-	-	
	16H-33-1006	剥片	チャート	1	19.06	19.53	7.63	1.65	-	-	IV + V	O	H	LB	
	16H-33-1007	剥片	チャート	11	37.37	40.42	11.13	18.21	1+C	116	I + IV	-	-	H	
	16H-33-1008	剥片	チャート	1	21.51	23.81	6.30	2.08	L	-	I + III + IV + V	H	H	-	
	16H-33-1009	剥片	チャート	1	43.93	41.27	15.51	31.00	3	106	IV + V	S	H	-	
	16H-33-1010	剥片	チャート	1	40.76	26.84	11.20	9.67	1	96	I + V	S	H	-	
	16H-33-1011	剥片	チャート	1	33.44	17.93	10.57	4.59	1	90	I + III + IV	S	-	-	
第23図39c	16H-33-1012	剥片	チャート	1	32.33	26.31	14.93	13.00	-	-	I + III + IV + V	O	H	B	5
	16H-33-1013	剥片	チャート	1	55.73	48.38	15.92	33.64	-	-	I + V	F	H	RB	
第22図34	16I-10-1002	剥片	チャート	8	28.90	21.62	5.16	2.81	5	108	I + III	S	-	-	15
	16I-10-1004	剥片	ホルンフェルス	5	38.18	26.86	7.05	5.41	-	-	I + III	F	N	B	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第22図37	161-10-1009	石核	チャート	12	38.42	33.02	18.54	17.31	-	50	-	-	-		
第22図28	161-10-1013	削器	黒曜石	4	17.20	16.90	10.68	2.91	-	-	-	-	-		調整角78~100
第22図35	161-11-1010	剥片	砂岩	5	18.71	17.04	4.78	1.10	1	100	I	F	-	R	
	161-11-1011	剥片	砂岩	5	54.02	54.44	13.93	33.17	2	102	I+V	F	N	-	
	161-20-1001	剥片	安山岩A	3	31.70	36.36	10.48	8.64	-	-	I+II	H	-	-	
	161-20-1002	剥片	安山岩A	3	16.64	11.63	3.01	0.48	1	108	I	S	-	-	
	161-20-1003	剥片	安山岩A	3	57.42	51.03	13.24	29.93	6(3)	114	I+V	S	-	-	
	161-20-1004	剥片	安山岩A	3	16.80	14.08	5.29	1.44	-	-	III	S	-	LB	
	161-20-1005	剥片	ホルンフェルス	5	19.70	21.00	6.35	2.30	-	-	I+III	F	-	B	
	161-20-1006	剥片	チャート	7	28.25	28.44	10.96	5.38	2	110	I+III	S	-	-	
	161-20-1007	剥片	チャート	7	55.92	53.62	16.39	38.59	1	140	I+III	H	-	-	
	161-20-1008	剥片	砂岩	5	56.62	53.26	11.81	27.35	1	110	I+V	F	-	-	
	161-20-1009	剥片	チャート	8	28.45	32.52	9.62	5.34	1	92	I+II+III+V	F	-	-	
161-20-1010	剥片	チャート	8	23.18	24.28	8.57	3.36	-	-	I+III+V	O	-	B		
161-20-1011	剥片	ホルンフェルス	6	39.86	42.51	11.97	19.12	6(3)	106	I+V	F	-	-		
第22図31	161-20-1012	二次加工剥片	硬質頁岩	1	30.78	47.81	12.01	13.97	1	120	I+II+III	O	N	-	調整角54~76
第22図29	161-20-1013	二次加工剥片	安山岩A	1	29.18	25.88	7.67	5.16	1	104	I+III	-	-	-	調整角62

第46表 第5ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
第25図40	17H-11-1003	礫	安山岩C	1	37.51	26.46	17.37	6.37	-	-	-	H	-	
	17H-11-1005	削器	チャート	8	53.26	33.00	27.93	37.69	-	-	III+V	O	-	調整角50~78
	17H-12-1003	剥片	ホルンフェルス	4	51.56	45.88	17.17	28.51	C	82	I+III	-	-	H
第25図42	17H-12-1004	剥片	砂岩	5	18.30	13.64	6.71	1.41	1	98	I	F	-	L
	17H-12-1005	剥片	頁岩	10	29.94	46.99	12.65	13.57	2	118	I+II+III	O	-	-
	17H-12-1006	二次加工剥片	頁岩	11	54.70	57.47	15.49	42.93	4(1)	94	I+III+IV	-	-	-
第25図41	17H-12-1007	楔形石器	頁岩	10	34.19	26.27	8.28	6.70	-	-	-	-	-	-
	17H-12-1009	剥片	頁岩	12	54.42	32.60	16.29	24.39	1	130	I+V	F	N	-

第47表 第6ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考	
第27図2a	5J-32-1001	剥片	チャート	1	47.36	55.59	16.17	30.31	C	106	I+III	O	-	-	
	5J-33-1001	剥片	ホルンフェルス	1	35.61	45.04	8.94	13.26	1	118	III+V	S	-	-	
	6J-02-1005	礫	チャート	2	38.56	27.96	13.53	14.08	-	-	-	-	H	-	
	6J-02-1006	剥片	安山岩A	2	29.53	31.75	9.05	7.84	7(1)	104	I+II	F	-	-	
	6J-03-1001	剥片	硬質頁岩	1	29.34	31.55	9.96	7.05	1	136	I+II+III	H	-	-	
	6J-03-1002	剥片	安山岩A	2	25.31	22.73	10.11	6.14	-	-	III+V	S	-	B	
	6J-03-1003	剥片	安山岩A	1	20.05	17.02	4.18	1.19	C	-	III+V	F	-	L	
	6J-03-1004	剥片	ホルンフェルス	1	26.98	31.89	8.57	6.29	2(2)	94	III	F	-	-	
	6J-03-1005	剥片	安山岩A	1	12.52	12.25	2.60	0.36	1	110	I	-	-	-	
	6J-03-1006	剥片	安山岩A	1	13.56	17.44	6.24	0.95	2	98	V	F	-	L	
	6J-03-1007	剥片	ホルンフェルス	1	10.70	11.81	2.81	0.33	1	146	III+V	O	-	H	
	6J-03-1008	剥片	安山岩A	1	27.22	31.51	5.02	3.90	L	-	I+III+V	F	-	-	
	6J-03-1009	剥片	ホルンフェルス	1	9.56	10.09	3.20	0.27	1	96	I+III	S	-	L	
	6J-03-1010	剥片	安山岩A	1	15.34	11.19	9.45	1.40	-	-	I	S	-	B	
	6J-03-1011	剥片	安山岩A	1	11.51	12.49	3.31	0.53	L	-	I	S	-	-	
	6J-03-1012	剥片	安山岩A	1	21.76	17.88	6.31	1.41	L	-	II+III	S	-	-	
	6J-03-1013	剥片	安山岩A	1	15.55	15.62	4.82	1.19	-	-	I+II+III	H	-	B	
	6J-03-1014	剥片	チャート	1	37.97	38.07	15.48	25.40	-	-	III+V	O	-	B	
	6J-03-1015	剥片	流紋岩	1	25.23	26.07	9.16	3.30	-	-	I+III	-	-	VM	接合17
	第27図1	6J-03-1016	楔形石器	安山岩A	2	17.68	13.18	5.69	1.48	-	-	-	-	-	-
	6K-00-1003	剥片	安山岩A	1	43.22	16.75	5.71	3.68	L	-	I+V	F	-	-	

第48表 第7ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	5K-32-1001a	剥片	安山岩A	9	21.71	10.43	6.00	1.21	L	-	II+III+V	O	-	R		
	5K-32-1001b	剥片	硬質頁岩	1	5.11	8.64	0.97	0.04	-	-	I	F	-	B		
	5K-32-1001c	剥片	チャート	4	6.77	5.23	2.38	0.08	1	120	I+III	H	-	L		
	5K-32-1002a	剥片	安山岩A	5	19.66	21.68	5.27	1.64	1	116	I	S	-	R		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	5K-32-1002b	剥片	安山岩A	1	6.41	18.45	2.53	0.29	-	-	-	V	H	-	B	
	5K-32-1003	剥片	安山岩A	4	22.12	22.55	7.44	3.41	-	-	-	I+V	F	-	B	
	6K-02-1001	礫	ホルンフェルス	7	35.95	29.20	21.04	20.72	-	-	-	-	-	H	-	18
	6K-02-1002	礫	ホルンフェルス	7	28.17	25.11	20.21	12.00	-	-	-	-	-	H	-	18
	6K-02-1003	剥片	安山岩A	6	10.48	18.17	3.86	0.59	L	-	-	I+III	S	-	-	
	6K-02-1005	剥片	嶺岡頁岩	1	20.55	23.98	5.74	1.64	L	-	-	I+III	S	-	-	
	6K-02-1006	礫	ホルンフェルス	7	43.35	39.09	18.95	35.33	-	-	-	-	-	H	-	18
	6K-02-1007	剥片	安山岩A	4	9.92	10.58	2.88	0.27	-	-	-	I+III	F	-	B	
	6K-02-1008	剥片	玉髓	4	19.46	13.78	3.72	0.80	-	-	-	I+IV	S	-	B	
	6K-02-1009	礫	ホルンフェルス	8	12.81	12.24	7.85	0.91	-	-	-	-	-	H	-	
第31図9	6K-02-1010	楔形石器	安山岩A	2	27.52	20.71	11.59	8.20	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-02-1011	礫	チャート	5	22.14	11.83	3.68	0.84	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-02-1012	剥片	嶺岡頁岩	1	9.41	13.55	4.11	0.34	-	-	-	II+III	F	-	B	
	6K-02-1013	礫	流紋岩	3	61.13	40.37	12.11	40.80	-	-	-	-	-	H	-	19
	6K-02-1014	礫	珪質頁岩	4	46.24	34.58	19.35	42.21	-	-	-	-	-	H	-	
	6K-02-1015	礫	流紋岩	3	58.61	38.60	18.41	46.68	-	-	-	-	-	H	-	19
第33図25	6K-02-1016	礫	流紋岩	3	48.35	31.02	14.89	25.81	-	-	-	-	-	H	-	19
	6K-02-1017	敲石	珪質頁岩	3	58.88	58.03	33.75	142.83	-	-	-	-	-	S, H	-	
	6K-02-1018	剥片	嶺岡頁岩	1	13.24	19.12	3.97	0.77	2	104	-	I	S	-	-	
	6K-02-1019	剥片	チャート	4	45.46	31.02	10.13	14.39	1	120	-	I+V	F	-	-	
第32図19	6K-02-1020	石核	安山岩A	10	68.20	76.38	76.78	405.00	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-02-1021	剥片	安山岩A	4	15.00	19.61	2.83	0.73	L	-	-	I	F	-	-	
	6K-02-1022	剥片	嶺岡頁岩	1	11.94	29.01	4.44	0.90	L	-	-	I+III	S	-	-	
第31図4	6K-02-1023	二次加工剥片	硬質頁岩	1	23.00	10.29	3.13	0.68	-	-	-	I	F	-	B	調整角52
	6K-02-1025	剥片	安山岩A	1	35.89	33.10	9.27	7.26	1	102	-	I+II	F	-	-	
	6K-02-1026	剥片	安山岩A	1	13.61	13.04	2.84	0.44	-	-	-	I	F	-	-	
	6K-02-1027	礫	流紋岩	6	36.07	34.86	23.04	36.92	-	-	-	-	-	H	-	
	6K-02-1028	剥片	ホルンフェルス	4	30.69	33.00	12.27	9.62	1	88	-	I+III+V	S	-	-	
第31図16	6K-02-1029	石核	ホルンフェルス	5	49.35	52.45	13.01	29.83	-	58	-	-	-	-	-	
	6K-02-1030	剥片	安山岩A	1	19.97	22.02	10.07	3.93	-	-	-	V	F	-	B	
	6K-02-1031	剥片	安山岩A	6	28.71	14.46	7.06	3.31	-	-	-	I+V	O	-	LB	
第31図13	6K-02-1032	剥片	珪質頁岩	1	50.00	46.09	13.65	27.58	1	118	-	I+V	F	N	-	
	6K-02-1033	礫	砂岩	6	48.42	28.44	17.48	26.16	-	-	-	-	-	H	-	
	6K-02-1034	剥片	安山岩A	6	17.39	10.97	2.61	0.41	-	-	-	I	F	-	-	
第31図11	6K-03-1001	剥片	硬質頁岩	2	25.90	20.05	4.68	1.47	1	92	-	I+III	F	N	-	
	6K-03-1003	剥片	頁岩	4	24.81	13.46	4.60	1.05	7(3)	118	+	I+II	F	-	-	
	6K-03-1004	剥片	硬質頁岩	4	20.97	10.45	6.96	0.80	1	98	-	I+II+IV	F	-	-	
	6K-03-1005	剥片	硬質頁岩	5	18.10	7.78	2.17	0.25	-	-	-	I	-	-	VM	
第31図14	6K-03-1006	剥片	硬質頁岩	2	36.72	22.94	6.54	2.22	14(1)	114	+	I+III	F	-	-	
	6K-03-1007	礫	流紋岩	4	86.85	33.12	20.04	60.48	-	-	-	-	-	H	-	
	6K-03-1008	剥片	硬質頁岩	2	18.84	16.61	3.61	0.95	1	106	-	I+III	F	-	-	
	6K-11-1001	剥片	安山岩A	6	13.41	7.80	3.16	0.38	-	-	-	I+III	S	-	B	
第33図23b	6K-11-1002	石核	玉髓	3	46.63	60.79	41.70	105.40	-	82	-	-	-	-	-	20
	6K-11-1003	剥片	硬質頁岩	1	28.05	17.91	8.73	3.21	1	122	-	I+II+III	S	-	-	
	6K-11-1004	剥片	安山岩A	6	9.88	12.00	3.55	0.48	1	108	-	I+V	F	-	-	
	6K-11-1005	剥片	安山岩A	1	43.69	23.74	10.34	10.56	1	110	-	I+V	F	-	-	
第33図23a	6K-11-1006	剥片	玉髓	3	26.71	27.24	7.56	4.33	C	98	-	I	H	-	-	20
	6K-11-1007	剥片	安山岩A	8	20.93	27.78	4.55	2.72	L	-	-	I+II+V	F	-	-	
	6K-11-1008	剥片	硬質頁岩	1	9.02	11.34	7.08	0.39	-	-	-	I+III	O	-	B	
第32図20a	6K-11-1009	剥片	安山岩A	7	41.33	46.33	11.21	13.51	2	116	-	I+II+III	S	-	-	21
	6K-11-1010	剥片	玉髓	2	13.72	30.19	7.90	1.95	9(3)	100	-	I	H	-	-	
	6K-11-1011	剥片	硬質頁岩	1	24.85	24.00	6.14	2.52	1	128	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-11-1012	剥片	頁岩	1	18.38	13.52	4.06	0.80	1	110	-	I+IV	H	-	-	
	6K-11-1013	剥片	ホルンフェルス	2	45.19	31.71	14.34	11.88	L	-	-	I+II	F	-	-	
第32図21c	6K-11-1014	剥片	流紋岩	7	27.01	22.54	6.39	3.14	-	-	-	II+V	S	H	B	22
	6K-11-1015	剥片	頁岩	1	16.65	6.28	2.33	0.19	L	-	-	I+III	S	-	-	
	6K-11-1016	剥片	安山岩A	11	15.73	22.24	4.21	1.04	L	-	-	I	F	-	-	
第32図20b	6K-11-1017	剥片	安山岩A	7	47.28	39.74	13.93	24.96	1	108	-	I+III	S	-	-	21
	6K-11-1018	剥片	安山岩A	7	34.09	29.19	11.02	6.07	2	98	-	III+V	S	-	-	
第31図8	6K-11-1019	楔形石器	玉髓	2	29.25	22.56	9.63	5.69	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-11-1020	礫	砂岩	5	107.46	47.77	24.47	210.98	-	-	-	-	-	H	-	
第32図18	6K-11-1021	石核	安山岩A	4	33.96	28.59	19.36	17.14	-	84	-	-	-	-	-	
	6K-12-1003	剥片	安山岩A	4	19.85	13.61	7.59	1.89	C	94	-	I+II+III	S	-	-	
	6K-12-1004	剥片	玉髓	4	21.66	18.74	5.00	1.32	1	100	-	I+II	-	-	H	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第34図26	6K-12-10005	楔形石器	玉髓	1	36.33	17.12	7.12	3.45	-	-	-	-	-	-	-	欠損+
	6K-12-1008	剥片	安山岩B	1	7.85	8.80	3.14	0.17	1	102	-	I	S	-	-	
	6K-12-1010a															
	6K-12-1025	台石	流紋岩	2	131.02	92.30	66.08	850.00	-	-	-	-	S	-	23	
	6K-22-1015															
	6K-12-1010a	剥片	安山岩A	7	24.94	21.17	6.42	1.88	L	-	-	I+III	F	-	-	
	6K-12-1011	剥片	珪岩	1	19.67	20.98	5.20	1.80	C	112	-	I	F	-	-	
	6K-12-1012	剥片	チャート	3	11.15	7.28	7.29	0.29	2	94	-	I+III	F	-	-	
	6K-12-1013	剥片	安山岩A	1	19.01	18.28	4.13	1.06	C	120	-	I	H	-	L	
	6K-12-1014	剥片	安山岩A	4	17.62	18.68	5.04	1.45	L	-	-	V	F	-	-	
6K-12-1015	剥片	珪岩	1	38.21	20.58	9.41	6.50	L	-	-	I	S	-	L		
6K-12-1016	剥片	珪岩	1	24.59	19.85	10.17	4.74	2	92	-	I+V	S	-	-		
6K-12-1017	剥片	安山岩A	11	22.57	23.83	9.53	3.25	-	-	-	III+V	F	-	B		
6K-12-1018	剥片	安山岩A	4	18.53	47.91	12.74	7.14	1	126	-	II+V	H	-	-		
6K-12-1019	剥片	安山岩A	4	16.71	8.23	2.78	0.30	-	-	-	III	H	-	B		
6K-12-1020	剥片	安山岩A	5	31.97	28.15	6.67	4.86	1	104	-	I+III+V	H	-	-		
第31図17	6K-12-1021	石核	安山岩A	1	31.51	30.63	12.93	11.65	-	58	-	-	-	-	-	
第33図24c	6K-12-1022	石核	チャート	3	39.20	39.67	16.92	22.21	-	56~80	-	-	-	-	24	
第31図12	6K-12-1023	楔形石器	安山岩A	4	37.90	27.06	11.34	11.38	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-12-1027	剥片	安山岩B	1	16.37	15.84	3.08	0.49	L	-	-	I	H	-	-	
	6K-12-1028	剥片	安山岩B	1	5.83	9.69	1.56	0.08	-	-	-	I	F	-	B	
	6K-13-1001	剥片	硬質頁岩	3	47.85	14.96	7.62	3.32	12(7)	114	-	I+II+III	O	N	-	
第32図21b	6K-13-1002	剥片	安山岩A	1	63.53	34.04	12.77	23.91	-	-	-	I+V	F	-	B	
	6K-13-1003	剥片	ホルンフェルス	2	8.16	13.82	4.02	0.39	1	96	-	III	-	-	H	
第32図21a	6K-13-1004	剥片	ホルンフェルス	2	35.68	27.41	5.41	4.35	C	94	-	I+II+IV	F	-	-	
	6K-13-1005	剥片	流紋岩	7	17.19	25.53	12.31	5.29	1	94	-	I+II+V	-	H	H	
第31図15	6K-13-1006	剥片	ホルンフェルス	4	30.32	30.99	10.50	5.76	-	-	-	I+II+IV	F	-	B	
	6K-13-1007	剥片	流紋岩	7	46.37	24.96	13.88	11.77	1	106	-	I+IV+V	S	H	-	
第31図6	6K-13-1008	剥片	頁岩	2	20.11	30.14	7.45	2.94	12(8)	72	-	I	H	-	-	
	6K-13-1011	剥片	ホルンフェルス	4	18.06	24.08	8.32	3.18	1	106	-	I+III	S	-	-	
	6K-21-1001	剥片	ホルンフェルス	6	19.45	19.54	3.14	1.04	L	-	-	I+III	-	-	H	
	6K-21-1002	剥片	黒曜石	2	16.99	17.97	4.69	1.47	L	-	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-21-1003	礫	安山岩C	1	30.17	24.76	14.86	9.54	-	-	-	-	-	-	-	
	6K-21-1004	礫	流紋岩	5	47.90	37.90	30.29	81.45	-	-	-	-	H	-	-	
	6K-21-1005	剥片	ホルンフェルス	8	27.79	23.40	8.99	4.72	-	-	-	I+II+III	F	-	B	
	6K-21-1006	二次加工剥片	砂岩	1	40.67	28.39	13.11	12.01	C	104	-	I+V	F	-	-	
	6K-21-1007	剥片	安山岩A	12	29.44	15.61	6.96	2.88	-	-	-	I+V	F	-	RB	
	6K-21-1008	剥片	チャート	1	58.16	48.63	13.09	31.08	L	-	-	I+V	S	-	R	
第33図22a	6K-21-1009	楔形石器	安山岩A	12	30.17	17.93	7.32	3.15	-	-	-	-	-	-	25	
	6K-21-1010	剥片	ホルンフェルス	8	14.84	23.35	10.69	3.28	4	90	-	II+III	H	-	-	
第31図5	6K-21-1011	剥片	砂岩	4	20.33	17.54	5.52	1.65	C	96	-	I+V	F	-	R	
	6K-21-1012	剥片	安山岩A	12	14.14	25.58	9.73	2.39	1	142	-	I+III	O	-	-	
	6K-21-1013	剥片	ホルンフェルス	3	20.09	38.60	3.97	2.74	L	-	-	I+III	S	-	-	
	6K-21-1014	二次加工剥片	珪質頁岩	2	18.19	15.21	4.45	0.95	-	-	-	I+II	H	-	-	
	6K-21-1016	剥片	安山岩A	6	8.30	10.42	3.32	0.21	1	118	-	I+V	F	-	-	
	6K-22-1003	ナイフ形石器	黒曜石	1	18.79	19.66	3.76	1.27	-	-	-	III	-	-	-	
	6K-22-1004	剥片	珪岩	1	11.45	18.37	5.42	0.68	1	74	-	I+III	S	-	-	
	6K-22-1005	剥片	チャート	3	18.45	21.70	3.51	1.23	L	-	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-22-1006	剥片	頁岩	3	31.84	28.86	8.05	6.53	3(1)	108	-	I+III+V	F	-	-	
	6K-22-1007	剥片	チャート	6	12.33	15.55	5.26	0.67	1	102	-	I+II+III	O	-	-	
第31図3	6K-22-1008	剥片	珪岩	1	18.26	32.19	7.89	4.49	3	92	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-22-1009	礫	頁岩	5	22.65	15.23	8.30	3.00	-	-	-	-	H	-	-	
	6K-22-1010	剥片	安山岩A	1	23.70	11.99	7.04	1.20	P	-	-	I+II+III	F	-	R	
	6K-22-1011	剥片	チャート	3	10.28	18.03	6.79	0.85	3(2)	140	-	II+III	S	-	-	
	6K-22-1012	剥片	安山岩A	2	21.95	17.49	8.68	2.36	-	-	-	I+II+III	O	-	MB	
	6K-22-1013	剥片	安山岩A	1	35.06	18.27	10.56	5.39	L	-	-	I+II+V	H	-	L	
	6K-22-1014	剥片	安山岩A	3	40.58	22.76	10.71	8.79	1	112	-	I+V	O	-	R	
	6K-22-1016	剥片	珪岩	1	33.76	20.15	5.86	3.37	1	90	-	I+V	F	-	L	
	6K-22-1017	剥片	安山岩A	8	32.25	25.67	15.09	7.25	2	130	-	I+III	H	-	-	
	6K-22-1020	剥片	硬質頁岩	6	33.82	41.32	13.35	15.81	L	-	-	I+IV	S	-	-	
第33図24b	6K-22-1021	剥片	安山岩A	4	29.87	16.40	12.70	4.96	1	112	-	I+II	S	-	-	
	6K-22-1022	剥片	砂岩	2	44.51	41.47	9.58	16.96	1	110	-	I+III+V	F	-	-	
	6K-22-1023	剥片	チャート	3	16.73	20.77	2.43	0.82	L	-	-	I	H	-	-	
	6K-22-1024	剥片	安山岩A	2	23.20	30.84	7.25	5.53	-	-	-	II+III	O	-	RB	
	6K-22-1025	剥片	安山岩A	1	21.97	21.96	5.86	2.51	L	-	-	I+II	-	-	H	
	6K-22-1026	剥片	チャート	3	37.21	24.28	7.78	4.71	L	-	-	II+V	S	-	-	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第33図24a	6K-22-1027	剥片	チャート	3	16.13	14.91	4.17	0.97	L	-	I + V	H	-	-	24	
第31図10	6K-22-1028	楔形石器	安山岩A	1	23.29	35.56	8.90	7.93	-	-	-	-	-	-		
第31図7	6K-22-1029	楔形石器	ホルンフェルス	2	37.65	41.47	13.94	18.43	-	-	-	-	-	-		
	6K-22-1030	剥片	安山岩A	5	26.35	26.57	8.98	5.01	L	-	I + II + V	F	-	-		
	6K-22-1031	剥片	嶺岡頁岩	2	32.64	36.83	11.71	10.87	C	94	I + II	H	-	-		
	6K-23-2001	剥片	安山岩A	1	18.23	17.08	7.00	1.83	1	60	I	H	-	-		
	6K-23-2002	剥片	砂岩	3	14.35	26.17	10.17	2.74	L	-	I + V	O	H	-		

第49表 第8ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
	6K-21-1015	剥片	安山岩A	1	16.03	12.07	3.84	0.58	1	138	I + III	S	-	-		
第38図44	6K-23-1001	剥片	ホルンフェルス	3	27.06	38.28	9.44	7.32	1	136	II + III + V	S	-	-		
第40図52a	6K-23-1002	石核	ホルンフェルス	4	45.54	41.54	16.32	31.89	-	60	-	-	-	-		
	6K-23-1003	剥片	チャート	7	37.90	32.45	11.92	10.38	1	106	I + II + III + V	F	-	-	27	
	6K-23-1004	剥片	安山岩A	3	29.57	30.02	10.36	7.34	1	112	I + II + III	H	-	-		
第40図51a	6K-31-1001	剥片	安山岩A	1	42.82	33.41	14.69	16.32	1	92	I + III + V	H	-	-	28	
第40図51b	6K-31-1002	剥片	安山岩A	1	23.73	23.72	11.60	4.51	1	128	I + V	H	-	-	28	
	6K-31-1003	剥片	珪質頁岩	7	50.01	26.29	14.44	12.04	1	-	I + V	F	-	L		
	6K-31-1004	剥片	珪質頁岩	6	32.26	21.51	12.07	5.62	1	136	I + III + V	H	-	-		
第38図41	6K-31-1005	石核	安山岩A	13	29.55	52.20	30.84	44.81	-	86	-	-	-	-		
	6K-31-1007	剥片	安山岩A	4	15.89	26.13	6.27	1.98	1	112	I + III	H	-	-		
	6K-31-1008	剥片	ホルンフェルス	4	29.72	38.82	23.57	20.10	1	98	I + III	S	-	-		
	6K-31-1009	剥片	安山岩A	1	9.95	17.97	3.13	0.40	C	90	II	F	-	-		
第39図46a	6K-31-1010	剥片	珪質頁岩	10	32.48	21.21	11.26	5.18	1	-	I + II + IV + V	O	-	R	29	
第37図28	6K-31-1011	二次加工剥片	珪質頁岩	6	25.97	14.65	5.57	2.17	1	112	I + III	H	-	-		調整角80
第39図46b	6K-31-1012	二次加工剥片	珪質頁岩	10	54.84	48.40	21.75	33.41	1	-	I + II + III + IV + V	O	-	-	29	調整角80
第37図39a	6K-31-1013	剥片	安山岩A	4	51.50	38.25	10.66	20.75	C	104	I + III	H	-	L	30	
第37図39b	6K-31-1014	剥片	安山岩A	4	38.45	34.27	10.59	9.03	C	104	I	H	-	R	30	
第40図51c	6K-31-1015	石核	安山岩A	1	28.41	37.35	31.08	37.66	-	52	-	-	-	-	28	
	6K-31-1016	剥片	安山岩A	4	16.97	27.05	4.61	1.18	2	-	I + V	F	-	-		
	6K-32-1001	剥片	ホルンフェルス	10	35.54	60.32	19.38	31.67	1	98	III	H	-	-		
	6K-32-1002	礫	砂岩	10	43.12	25.85	24.65	28.00	-	-	-	-	H	-		
	6K-32-1003	剥片	安山岩A	1	27.47	31.84	5.17	4.30	-	-	I + II	F	-	-		打面部ガジリ
	6K-32-1004	剥片	ホルンフェルス	3	49.10	22.80	7.23	8.26	-	-	V	H	-	RB		
	6K-32-1005	礫	砂岩	7	57.97	24.86	16.21	26.88	-	-	-	-	-	-	31	
第39図48b	6K-32-1006	剥片	珪質頁岩	5	23.82	33.02	9.53	7.89	C	94	I + III	S	-	L	32	
第38図45a	6K-32-1007	二次加工剥片	珪質頁岩	5	29.11	27.08	4.54	2.85	C	114	I + II + III	S	-	-	33	調整角64~76
	6K-32-1008	礫	砂岩	7	84.60	41.59	22.72	75.11	-	-	-	-	-	-	31	
	6K-32-1009	剥片	珪質頁岩	5	28.24	57.63	15.04	21.48	-	-	I + V	H	-	B		
第39図48a	6K-32-1010	剥片	珪質頁岩	5	22.61	29.26	13.26	6.30	C	108	I	S	-	-	32	
	6K-32-1011	剥片	チャート	7	28.55	18.06	10.48	4.85	L	-	I	-	-	-		末端部ガジリ
	6K-32-1012	剥片	安山岩A	1	16.86	19.85	4.59	0.76	L	-	II + V	F	-	-		
第37図30	6K-32-1013	二次加工剥片	珪質頁岩	5	26.72	19.29	13.59	5.71	L	-	V	F	-	L		調整角86
第39図49b	6K-32-1014	剥片	安山岩A	1	19.06	19.00	5.93	1.60	C	124	I	H	-	-	34	
	6K-32-1015	礫	砂岩	9	20.65	12.93	9.91	2.28	-	-	-	-	H	-		
第38図45b	6K-32-1016	剥片	珪質頁岩	5	25.30	39.03	8.95	8.15	C	96	I + III	H	-	-	33	
	6K-32-1017	二次加工剥片	嶺岡頁岩	3	13.25	13.77	6.62	0.80	L	-	I + II + III	O	-	-		調整角68
	6K-32-1018	剥片	ホルンフェルス	11	21.33	22.71	5.15	2.27	L	-	V	-	-	H		
	6K-32-1019	剥片	安山岩B	2	28.98	18.48	11.10	5.16	1+C	96	I + III + V	F	-	-		
	6K-32-1020	礫	砂岩	13	28.02	18.89	9.73	3.81	-	-	-	-	H	-		
	6K-32-1021	剥片	ホルンフェルス	3	12.23	17.02	3.68	0.50	-	-	III + V	F	-	B		
第39図47b	6K-32-1022	剥片	ホルンフェルス	2	25.04	21.57	11.71	4.57	2	-	I	S	-	L	35	
	6K-32-1023	剥片	安山岩A	11	13.60	15.16	3.89	0.84	-	-	III	-	-	VM		
第39図47c	6K-32-1024	剥片	ホルンフェルス	2	30.09	20.06	12.01	6.30	2	108	I + V	S	-	R	35	
第40図50c	6K-32-1025	剥片	安山岩A	4	14.07	28.15	11.01	5.83	-	-	I + V	-	-	VM	36	
第37図38a	6K-32-1026	剥片	安山岩A	11	20.62	26.52	10.92	5.43	2	116	I + II	H	-	L	37	
	6K-32-1027	石核	安山岩B	2	21.96	36.22	27.55	27.02	-	76~84	-	-	-	-	38	
第37図31	6K-32-1028	二次加工剥片	安山岩A	1	20.84	30.47	9.63	3.99	-	-	I + V	F	-	B		調整角74
	6K-32-1029	剥片	ホルンフェルス	3	24.90	17.84	8.67	3.01	-	-	III	H	-	RB		
	6K-32-1030	剥片	ホルンフェルス	2	17.93	16.09	4.76	0.97	3	120	I	H	-	-		
	6K-32-1031	剥片	ホルンフェルス	2	17.81	15.29	5.65	1.20	3	124	I + II + III + V	O	-	-		
第37図34	6K-32-1032	楔形石器	安山岩A	11	25.45	19.87	6.80	3.26	-	-	-	-	-	-		
	6K-32-1033	剥片	安山岩A	3	12.81	21.38	8.92	2.25	1	92	I + V	F	-	-		
	6K-32-1034	剥片	安山岩A	11	12.09	15.17	3.83	0.65	1	118	I + III	F	-	-		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第37図35	6K-32-1035	楔形石器	安山岩A	1	33.35	22.26	14.17	9.54	-	-	-	-	-		
	6K-32-1036	剥片	安山岩A	1	17.09	25.02	5.69	2.01	5	106	I	H	-		
第40図50a	6K-32-1037	剥片	ホルンフェルス	3	13.66	26.37	4.62	1.57	1	122	I	F	-		
	6K-32-1038	剥片	安山岩A	4	14.25	21.63	10.28	2.40	1	110	I+III	-	H	36	
	6K-32-1039	剥片	安山岩A	4	10.02	11.53	3.06	0.29	C	104	I	F	-		
	6K-32-1040	剥片	安山岩B	2	19.82	14.34	9.58	2.29	1	66	I+III	S	-		38
第39図47a	6K-32-1041	剥片	ホルンフェルス	2	15.21	16.38	6.23	0.94	2	86	I+V	F	-		35
第37図33	6K-32-1042	楔形石器	流紋岩	9	27.22	41.67	12.67	13.96	-	-	-	-	-		
第40図50b	6K-32-1043	剥片	安山岩A	4	21.53	30.27	13.12	7.50	-	-	I+III+V	O	-	B	36
	6K-32-1044	剥片	安山岩A	1	17.87	11.05	5.63	1.23	L	-	I+III+V	-	-	H	
第37図38b	6K-32-1045	剥片	安山岩A	11	15.73	23.46	10.80	3.24	1	116	I+II+V	H	-	R	37
	6K-32-1046	剥片	ホルンフェルス	2	22.21	24.59	7.02	2.59	1	122	I+III	S	-	-	
第37図32	6K-32-1047	剥片	ホルンフェルス	3	19.60	29.26	7.64	3.72	C	108	I+III	S	-	-	
	6K-32-1048	剥片	ホルンフェルス	2	21.69	13.00	5.27	1.19	1	102	I+III	H	-	R	
第37図32	6K-32-1049	楔形石器	嶺岡頁岩	3	19.18	16.85	7.10	2.57	-	-	-	-	-		
	6K-32-1050	剥片	安山岩A	4	17.28	15.73	10.81	2.40	-	-	V	S	-	MB	
第37図32	6K-32-1051	剥片	安山岩A	1	6.04	4.49	5.74	0.13	L	-	III+V	S	-	-	
	6K-32-1052	剥片	安山岩B	2	25.47	22.80	10.56	4.62	2	86	I+III	O	-	-	38
第37図29	6K-32-1053	剥片	安山岩A	11	13.82	12.42	3.00	0.46	L	-	I	S	-	-	
	6K-32-1054	剥片	安山岩A	11	8.34	14.04	6.31	0.62	1	104	I+III+V	O	-	-	
第37図29	6K-32-1055	剥片	安山岩A	1	27.62	17.54	10.50	4.79	L	-	I+III+V	F	-	-	
	6K-32-1056	剥片	ホルンフェルス	8	34.75	24.63	11.03	6.59	1	92	I+III	S	-	-	
第37図29	6K-32-1057	楔形石器	安山岩A	13	29.23	27.42	9.24	6.16	-	-	-	-	-		
	6K-32-1058	二次加工剥片	玉髓	5	12.01	17.55	6.16	0.95	1	74	I	F	-	L	調整角56
第37図36	6K-32-1059	石核	安山岩B	2	28.34	30.09	25.78	26.10	-	62~88	-	-	-	-	38
	6K-32-1060	剥片	珪質頁岩	8	49.22	21.65	11.40	8.66	2	104	I+III+IV	F	N	-	
第37図36	6K-32-1061	剥片	安山岩A	4	26.38	27.44	5.34	3.93	2	110	I+III+V	-	-	H	
	6K-32-1062	剥片	安山岩A	3	17.51	26.54	5.69	2.66	1	128	I+V	S	-	-	
第37図36	6K-32-1064	剥片	嶺岡頁岩	3	19.07	9.77	4.95	0.77	-	-	I+II+III	O	-	B	
	6K-32-1065	剥片	安山岩C	2	10.68	7.81	3.42	0.32	1	90	I	S	-	-	
第37図37b	6K-32-1066	剥片	ホルンフェルス	3	33.45	29.41	10.49	8.07	1	128	V	S	-	-	
	6K-32-1067	剥片	安山岩A	1	35.27	37.58	10.12	11.13	-	-	I+III+V	H	-	B	
第37図37b	6K-32-1068	剥片	ホルンフェルス	2	14.35	10.93	2.78	0.42	L	-	I	-	-	H	
	6K-32-1069	剥片	ホルンフェルス	8	23.68	23.40	7.37	3.02	-	-	III+V	F	N	B	39
第37図40	6K-32-1070	剥片	安山岩A	1	17.99	14.90	2.59	0.53	-	-	III	F	-	-	ボジ面, 打面部ガジリ
	6K-32-1071a	石核	ホルンフェルス	2	20.08	36.89	16.31	12.71	-	72~94	-	-	-	-	
第37図27	6K-32-1071b	剥片	ホルンフェルス	8	12.09	10.47	3.07	0.32	1	96	I+II	F	-	-	
	6K-32-1071c	剥片	安山岩A	1	9.34	11.57	3.22	0.32	1	104	I+III	H	-	-	
第39図49a	6K-32-1072	削器	ホルンフェルス	3	29.05	43.04	11.62	16.17	-	-	I+V	-	-	-	調整角64~88
	6K-32-1073	剥片	安山岩A	1	6.20	14.52	6.56	0.54	2	76	I	F	-	-	
第37図37a	6K-32-1074	剥片	安山岩A	1	17.79	12.47	5.57	0.99	C	114	I+III	H	-	L	34
	6K-32-1075	剥片	安山岩A	1	13.69	8.66	3.32	0.30	-	-	I+III	S	-	B	
第37図37a	6K-32-1076	剥片	ホルンフェルス	8	23.26	24.61	6.76	3.58	1	86	I+III	-	-	H	39
	6K-32-1078	剥片	ホルンフェルス	3	30.66	20.93	8.60	4.77	-	-	III+V	S	-	B	
第38図43	6K-32-1079	剥片	安山岩A	1	29.79	37.40	14.10	9.16	C	94	I+III+V	S	-	-	
	6K-32-1080	剥片	安山岩A	1	10.30	14.23	4.20	0.48	L	-	I	S	-	-	
第38図43	6K-32-1081	剥片	ホルンフェルス	8	14.59	18.75	3.62	0.81	1	120	I+IV	S	-	-	ボジ面
	6K-32-1082a	剥片	安山岩A	14	28.95	29.31	4.94	3.54	1	118	I+II+V	S	-	-	
第38図43	6K-32-1082b	礫	流紋岩	8	74.58	48.21	35.54	151.56	-	-	-	-	H	-	
	6K-32-1082c	礫	砂岩	9	37.07	32.93	24.78	21.84	-	-	-	-	H	-	
第38図43	6K-32-1082d	礫	砂岩	8	36.26	26.81	19.31	19.82	-	-	-	-	H	-	
	6K-32-1082e	礫	砂岩	11	39.86	16.98	11.34	8.97	-	-	-	-	H	-	
第38図43	6K-32-1082f	礫	砂岩	8	31.97	24.57	19.36	18.22	-	-	-	-	H	-	
	6K-32-1082g	礫	石英斑岩	1	28.34	26.01	21.76	14.25	-	-	-	-	H	-	
第38図43	6K-32-1082h	礫	石英斑岩	1	26.24	23.36	16.73	7.62	-	-	-	-	H	-	
	6K-32-1082i	礫	砂岩	12	23.64	18.81	12.91	5.32	-	-	-	-	H	-	
第38図43	6K-32-1082j	礫	チャート	8	34.16	30.08	22.93	14.26	-	-	-	-	H	-	
	6K-32-1082k	礫	チャート	9	26.42	20.13	11.30	6.07	-	-	-	-	H	-	
第38図43	6K-32-1082l	礫	ホルンフェルス	3	23.99	19.48	15.75	4.82	-	-	-	-	H	-	
	6L-30-1001	石核	黒曜石	3	14.07	43.36	17.11	9.81	-	70~92	-	-	-	-	40
第38図42	6K-33-1001	剥片	安山岩A	1	14.29	9.58	2.57	0.31	C	114	I	-	-	H	
	6K-33-1002	剥片	珪質頁岩	9	25.93	28.54	6.88	4.12	1	124	I+II+III	-	-	H	
第38図42	6K-33-1003	剥片	ホルンフェルス	3	33.92	26.65	9.13	8.39	-	-	I	-	-	VM	
	6L-30-1003	剥片	チャート	7	25.62	13.30	9.54	1.30	C	122	I	F	-	R	
第38図42	7L-00-1001	石核	ホルンフェルス	9	36.51	67.95	54.93	195.21	-	82	-	-	H	-	

第50表 第9ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第43図58	6J-02-1001	楔形石器	安山岩A	15	44.36	34.77	10.18	14.61	-	-	-	-	-	41	
	6J-02-1002														
第44図65b	6J-02-1003	剥片	安山岩A	15	42.38	27.91	10.83	9.97	L	-	I + II + V	F	-	42	
	6J-02-1004	剥片	安山岩A	15	22.96	20.45	11.18	3.61	1	110	I + III	F	-	L	
	6J-02-1007	礫	チャート	14	37.12	30.92	19.39	20.75	-	-	-	H	-		
第44図65a	6J-12-1001	礫	チャート	12	30.92	23.39	23.19	20.04	-	-	-	H	-	43	
	6J-12-1002	剥片	安山岩A	15	20.91	22.68	4.93	1.53	L	-	I + III	-	-	H	42
	6J-12-1003	礫	チャート	12	38.38	26.23	19.75	26.57	-	-	-	H	-	43	
第44図65c	6J-12-1004	楔形石器	安山岩A	15	42.25	33.06	9.77	13.48	-	-	-	-	-	42	
	6J-12-1005	剥片	安山岩A	1	13.42	6.61	2.40	0.16	L	-	I + III	F	-	R	
第43図63	6J-12-1006	剥片	嶺岡頁岩	4	41.91	31.91	18.69	18.67	-	58~86	-	-	-		
第44図67b	6J-13-1001	剥片	安山岩B	3	38.64	34.55	19.52	22.33	4(1)	136	I + V	0	-	44	
	6J-13-1002	剥片	安山岩C	4	27.75	18.48	4.45	2.07	C	116	I + III	H	-	R	
第43図57	6J-13-1003	楔形石器	安山岩A	1	25.61	26.59	7.34	3.38	-	-	-	-	-		
第43図60	6J-13-1004	石核	安山岩B	3	32.98	17.94	25.80	13.82	-	66~68	-	-	-		
	6J-13-1005	剥片	安山岩B	3	7.74	5.87	4.16	0.12	-	-	-	-	-		
	6J-13-1006	剥片	玉髓	6	27.44	24.79	12.00	4.51	1+C	136	I + II + III	F	-		
	6J-13-1007	剥片	安山岩A	1	10.39	12.02	2.47	0.28	L	-	I + III	F	-		
	6J-13-1008	剥片	玉髓	6	29.97	18.05	7.82	3.64	L	-	I + II + III	0	-		
第44図66c	6J-13-1009	剥片	安山岩A	1	25.36	22.35	3.45	1.93	L	-	I + II + V	F	-	45	
第43図55	6J-13-1010	楔形石器	安山岩A	1	26.33	28.69	11.52	8.55	-	-	-	-	-	46	
	6J-13-1012														
	6J-13-1011	剥片	安山岩B	3	7.93	17.17	6.21	0.57	1	120	I + II + III	F	-		調整角82~84
	6J-13-1013	剥片	安山岩B	3	13.29	9.69	4.20	0.43	L	-	-	-	-		
	6J-13-1014	剥片	安山岩A	1	16.73	24.02	4.04	0.70	-	-	I + III	F	-	B	
第43図56	6J-13-1015	楔形石器	安山岩A	16	19.39	32.95	8.51	6.39	-	-	-	-	-		
第43図53	6J-13-1016	楔形石器	安山岩A	1	18.52	25.41	7.36	4.34	-	-	-	-	-		
第44図67c	6J-13-1017	剥片	安山岩B	3	28.01	21.61	9.56	4.86	2	98	I + III + V	H	-	44	
	6J-13-1018	剥片	安山岩B	3	30.38	23.79	8.28	4.87	2	126	III + V	H	-		
	6J-13-1019	剥片	安山岩B	3	12.72	13.15	7.69	0.65	2	88	III	0	-		
	6J-13-1020	剥片	安山岩A	1	23.15	29.93	8.47	2.65	C	120	I + II + III	0	-	R	
	6J-13-1021a	剥片	安山岩B	3	16.07	19.46	4.32	1.05	-	-	V	S	-	B	
第44図66b	6J-13-1021b	剥片	安山岩A	1	9.06	11.18	1.79	0.16	-	-	II + III + V	F	-	B	45
	6J-13-1022	剥片	玉髓	6	16.19	26.35	10.89	4.10	C	96	I + III	H	-		
	6J-13-1023	剥片	安山岩A	1	10.11	14.34	3.36	0.33	L	-	I + III	F	-		
第44図67a	6J-13-1024	剥片	安山岩B	3	40.55	37.45	20.09	18.35	1	130	I + III + V	H	-	44	
第43図54	6J-13-1025	楔形石器	安山岩A	1	22.03	20.34	10.07	4.90	-	-	-	-	-		
	6J-13-1026	剥片	安山岩B	3	17.95	14.35	6.21	1.08	2	112	I + V	H	-	L	
	6J-13-1027	礫	チャート	13	51.67	39.30	38.20	82.38	-	-	-	H	-		
	6J-13-1028	剥片	安山岩B	1	42.89	22.72	8.36	4.48	2	106	I + III + IV	0	-		
	6J-13-1029	剥片	安山岩A	1	12.22	13.59	4.78	0.52	C	98	III	F	-		
	6J-13-1030	剥片	安山岩A	1	9.17	13.30	2.43	0.24	-	-	II + III	H	-	B	
	6J-13-1031	剥片	安山岩A	1	14.16	14.72	3.23	0.61	1	114	I + V	-	-		
	6J-13-1032	剥片	チャート	11	22.98	19.82	5.72	2.07	C	92	I + III	F	-		
	6J-13-1034	礫	安山岩C	3	31.31	19.10	13.16	7.79	-	-	-	-	-		
	6J-13-1035	剥片	安山岩A	15	30.37	38.60	10.84	10.42	-	-	V	F	-	B	
	6J-13-1036	剥片	安山岩B	1	18.79	8.61	4.44	0.66	1	120	I	-	-	H	
第44図66d	6J-13-1037	楔形石器	安山岩A	1	26.55	43.91	7.69	10.07	-	-	-	-	-	45	
	6J-13-1038	石核	玉髓	6	25.57	41.45	30.54	29.93	-	102	-	-	-		
	6J-13-1039	剥片	安山岩A	1	34.09	38.88	18.58	12.47	4	98	III	H	-		ボジ面
第43図59	6J-13-1040	剥片	硬質頁岩	6	51.95	24.52	15.49	10.19	1	108	I + IV	F	N		
	6J-13-1041	剥片	安山岩A	1	6.58	8.36	1.88	0.10	L	-	I + III	H	-		
第44図66a	6J-13-1042	剥片	安山岩A	1	24.28	25.30	4.05	1.96	L	-	I + V	F	-	45	
	6J-13-1043	剥片	安山岩B	3	34.65	27.67	13.23	12.38	5	94	III + V	H	-		
	6J-13-1044	剥片	安山岩A	1	21.68	28.96	12.45	4.70	3(2)+C	106	I + III	H	-		
	6J-13-2001	剥片	安山岩B	3	6.01	5.36	2.78	0.11	-	-	II + V	H	-	B	
	6J-13-2002	剥片	安山岩B	3	18.73	16.93	4.23	0.85	L	-	I + V	H	-		
	6J-22-1001	剥片	頁岩	6	23.66	17.80	3.26	1.37	1	106	I + III + IV + V	0	-		
第44図64b	6J-22-1002	石核	硬質頁岩	7	20.59	33.37	26.20	14.81	-	74~82	-	-	-	47	
	6J-22-1003	剥片	頁岩	6	37.63	34.34	14.12	16.04	5(1)	130	I + III + V	0	-		
	6J-22-1004	剥片	珪質頁岩	11	20.48	10.00	7.25	1.03	-	-	I + IV	F	-	B	
	6J-22-1005	剥片	石英	1	7.30	6.02	2.66	0.13	-	-	-	-	-		
第43図62	6J-23-1001	石核	珪質頁岩	11	38.37	39.70	37.24	31.83	-	56~84	-	-	-		
第44図64a	6J-23-1002	二次加工剥片	硬質頁岩	7	24.87	23.51	8.85	4.53	11(7)	116	I + II + III + IV	F	-	47	調整角74~86
第43図61	6K-00-1001	石核	黒曜石	4	20.48	25.67	9.93	3.79	-	56~78	-	-	-		
	6K-10-1019	剥片	玉髓	6	17.55	10.46	7.15	1.03	1	106	I + II	S	-		

第51表 第10ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	6K-10-1001	剥片	安山岩B	5	9.42	8.63	3.53	0.23	1	128	I	F	-	R	
	6K-10-1002	剥片	安山岩B	1	8.59	5.00	1.16	0.04	-	-	I	F	-	B	
	6K-10-1003	剥片	安山岩B	1	13.73	25.24	9.94	1.33	1	90	III	O	-	-	
	6K-10-1004	剥片	安山岩B	1	5.59	4.66	2.14	0.04	-	-	I	F	-	B	
	6K-10-1005	剥片	安山岩B	1	24.79	32.44	4.69	1.97	1	120	I+III	F	-	-	
	6K-10-1006	剥片	安山岩B	1	8.19	8.24	2.74	0.13	1	92	I	F	-	-	
	6K-10-1007	剥片	安山岩B	1	6.79	6.80	2.05	0.08	-	-	I	F	-	B	
	6K-10-1008	剥片	黒曜石	5	21.88	14.91	7.60	1.59	-	-	I+II	F	-	B	
	6K-10-1009	剥片	安山岩B	1	46.50	39.76	9.60	6.45	2	122	I+II	H	-	-	
第46図71	6K-10-1010	楔形石器	硬質頁岩	10	23.71	29.25	9.46	6.45	-	-	-	-	-	-	
第46図69	6K-10-1011	二次加工剥片	黒曜石	5	23.87	24.88	5.43	2.45	2	122	I+III	F	-	-	調整角82
第47図78c	6K-10-1012	剥片	安山岩B	1	40.78	28.80	19.03	16.20	1	62	III+IV	S	-	R	48
	6K-10-1013	剥片	安山岩B	1	31.78	21.02	8.62	4.95	1	106	I	H	-	-	
	6K-10-1014	剥片	安山岩B	1	32.91	59.46	13.26	14.07	3	100	I+III+IV	F	-	-	
	6K-10-1015	剥片	硬質頁岩	11	13.74	15.11	3.07	0.50	1	-	I	H	-	-	
第46図73	6K-10-1016	剥片	硬質頁岩	2	27.10	28.30	4.55	2.34	2	104	I	F	N	-	
	6K-10-1020	剥片	安山岩B	6	7.07	4.70	2.55	0.08	P	-	I	S	-	-	
	6K-10-1021	剥片	安山岩B	1	27.75	25.38	3.88	2.08	1	98	I	F	-	-	
	6K-10-1022	剥片	安山岩B	1	28.64	35.48	12.50	7.55	-	-	III+V	O	-	B	
第46図70	6K-10-1023	二次加工剥片	安山岩B	1	11.51	15.92	3.22	0.71	-	-	I	F	-	B	調整角54~56
	6K-10-1024	剥片	安山岩B	1	30.29	22.30	9.82	4.66	L	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-10-1025	剥片	安山岩B	1	21.14	39.72	8.55	4.60	2	134	III+IV	F	-	-	
第47図78a	6K-10-1026	剥片	安山岩B	1	29.43	31.64	10.03	7.11	1	-	II+IV	-	-	L	48
	6K-10-1027	剥片	黒曜石	5	15.29	12.95	2.53	0.33	1	120	III+V	-	-	H	
第46図76b	6K-10-1028	剥片	安山岩B	1	34.11	23.36	10.87	6.40	3(1)	102	II+III	F	-	-	
	6K-10-1029	剥片	安山岩B	1	41.48	22.49	7.59	6.24	L	-	I+III+IV	-	-	H	49
	6K-10-1030	剥片	安山岩B	1	24.31	24.38	5.83	1.78	L	-	I+II+III	F	-	-	
	6K-10-1031	剥片	安山岩B	1	17.79	25.61	4.85	1.63	-	-	I+III	O	-	-	打面部ガジリ
	6K-10-1032	剥片	黒曜石	5	12.45	18.68	5.93	0.93	-	-	I+II+III	O	-	B	
第47図78b	6K-10-1034	剥片	安山岩B	1	30.50	25.09	13.27	6.14	1	62	-	S	-	L	48
第47図77a	6K-10-1035	剥片	安山岩B	1	40.84	19.27	12.49	5.45	1	110	I+II+III+IV	S	-	-	50 末端部ガジリ
	6K-10-1036	剥片	安山岩B	1	15.73	19.43	4.21	0.56	L	-	II+III	F	-	-	
	6K-10-1037	剥片	安山岩B	1	19.43	10.98	2.85	0.37	L	-	I+II	H	-	-	
	6K-10-1038	剥片	安山岩B	1	15.02	24.07	6.69	1.18	-	-	III+IV	S	-	B	
	6K-10-1039	剥片	安山岩B	1	24.68	11.91	6.07	1.59	1	116	I+V	S	-	-	
第46図68	6K-10-1040	ナイフ形石器	硬質頁岩	8	51.53	17.62	6.06	4.12	-	-	I	F	N	-	調整角66~94
	6K-10-1041	剥片	安山岩B	1	10.03	11.50	2.72	0.19	1	92	I+II	F	-	-	
第46図74	6K-10-1042	剥片	硬質頁岩	9	54.59	51.86	9.18	16.70	2	112	I+II+III	F	N	-	
	6K-10-1043	剥片	安山岩B	1	10.25	11.22	3.21	0.28	1	96	I+III	F	-	-	
	6K-10-1044	剥片	安山岩B	1	14.61	21.60	7.24	1.05	-	-	III	O	-	B	
	6K-10-1045	剥片	安山岩B	1	34.57	25.72	15.66	8.50	1	76	I+III+IV	F	-	-	
	6K-10-1046	剥片	安山岩B	1	46.54	21.43	6.88	3.36	-	-	I+III	F	-	B	
	6K-10-1047	剥片	安山岩B	1	22.71	17.09	6.32	1.79	L	-	I+II	H	-	-	
	6K-10-1048	剥片	安山岩B	3	4.99	8.21	1.15	0.05	-	-	I+II+III	F	-	-	打面部ガジリ
	6K-10-1049	剥片	安山岩B	1	14.82	7.74	4.15	0.36	-	-	I+III	S	-	B	
	6K-10-1050	剥片	安山岩B	1	22.48	18.82	6.32	1.61	1	-	I	H	-	R	
	6K-10-1051	剥片	安山岩B	1	47.37	20.32	9.09	5.60	4	114	I+III	S	-	-	
	6K-10-1052	剥片	安山岩B	1	17.10	15.24	4.93	1.28	-	-	I	S	-	B	
	6K-20-1002a	剥片	安山岩B	1	12.60	8.73	2.11	0.18	1	102	I	-	-	-	末端部ガジリ
	6K-20-1002b	剥片	安山岩B	1	11.34	5.54	1.70	0.07	1	114	I	-	-	-	末端部ガジリ
	6K-20-1002c	剥片	安山岩B	1	4.40	6.83	1.19	0.03	-	-	I	F	-	-	打面部ガジリ
	6K-20-1003	剥片	安山岩B	1	13.64	15.05	2.56	0.31	L	-	I	F	-	-	
	6K-20-1004	剥片	安山岩B	1	12.32	5.12	2.62	0.14	1	114	I+III	H	-	R	
	6K-20-1005	剥片	安山岩B	1	20.23	23.89	6.85	1.67	3	98	I+III	F	-	-	
	6K-20-1006	剥片	安山岩B	1	10.59	12.43	2.30	0.23	1	96	I+III	F	-	-	
第46図75	6K-20-1007	石核	安山岩B	1	31.78	27.48	18.92	17.28	-	74~82	-	-	-	-	
	6K-20-1008a	剥片	安山岩B	1	35.79	37.49	8.62	6.24	3	110	I+IV	S	-	-	
	6K-20-1008b	剥片	安山岩B	3	4.77	9.75	3.28	0.14	1	92	III	-	-	-	末端部ガジリ
	6K-20-1008c	剥片	安山岩A	1	9.39	9.44	2.33	0.16	1	98	I	F	-	-	
	6K-20-1009a	剥片	安山岩B	1	46.99	31.95	12.39	13.25	2	114	I+II+III	F	-	-	
	6K-20-1009b	剥片	安山岩B	3	12.17	9.02	2.39	0.18	1	132	I	F	-	L	
	6K-20-1009c	剥片	砂岩	14	40.14	54.02	9.80	13.63	L	-	V	H	-	-	
	6K-20-1010	剥片	安山岩B	1	17.83	25.79	4.61	1.76	-	-	I+IV	O	-	B	
	6K-20-1011	剥片	安山岩B	3	39.45	42.65	10.33	13.99	2	110	I+III	F	-	-	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第46図72	6K-20-1012	剥片	安山岩B	1	12.93	16.73	4.56	0.80	1	108	I	S	-	-	打面部ガジリ
	6K-20-1013	剥片	安山岩B	1	8.22	11.11	3.99	0.31	-	-	I+III	H	-	-	
	6K-20-1014	剥片	安山岩B	3	18.42	18.66	3.08	0.85	1	106	I	S	-	-	
	6K-20-1015	剥片	ホルンフェルス	12	11.14	19.79	4.77	1.04	-	-	V	H	-	B	
	6K-20-1016	礫	頁岩	7	9.77	7.55	6.49	0.39	-	-	-	-	H	-	
	6K-20-1017	剥片	安山岩B	4	9.75	8.83	2.81	0.17	1	102	I	S	-	-	
	6K-20-1019a	剥片	安山岩B	1	25.33	26.99	8.52	4.02	2	120	I+III+IV	H	-	-	
	6K-20-1019b	剥片	安山岩B	1	23.79	7.81	3.76	0.70	-	-	I+III	F	-	-	
	6K-20-1020	剥片	黒曜石	5	21.85	43.77	12.50	8.77	2+C	118	I+III+V	H	N	-	
	6K-20-1021	剥片	安山岩B	1	42.44	41.77	12.83	13.10	2	94	I+III	H	-	-	
	6K-20-1022	剥片	安山岩B	1	48.58	26.05	12.34	10.96	1	112	I+III	O	-	-	
	6K-20-1023	剥片	安山岩B	1	34.81	17.54	5.09	2.17	-	-	I+II	H	-	B	
	6K-20-1024	剥片	安山岩B	3	9.38	12.76	2.17	0.19	1	106	I+III	H	-	-	
	6K-20-1025a	剥片	安山岩B	1	32.36	20.23	4.88	1.58	1	96	I	F	-	-	
6K-20-1025b	剥片	安山岩B	3	8.55	10.14	2.35	0.20	L	-	I	S	-	-		
6K-20-1026a	剥片	安山岩B	3	19.07	9.92	5.31	0.79	-	-	I+III	H	-	B		
6K-20-1026b	剥片	ホルンフェルス	8	10.37	7.25	1.49	0.09	L	-	I+III	F	-	-		
6K-20-1027	剥片	安山岩B	3	12.02	12.11	5.84	0.76	1	126	I+III	S	-	-		
6K-20-1028	剥片	安山岩B	1	41.49	35.29	14.86	12.72	2(1)	120	I+II	F	-	-		
6K-20-1029	剥片	硬質頁岩	11	29.64	19.86	3.54	1.39	2	138	I+III+IV	F	-	-		
6K-20-1030	剥片	安山岩B	1	8.01	13.71	3.64	0.27	1	94	I+III	F	-	-		
6K-20-1031	剥片	安山岩B	1	16.38	14.66	4.85	0.60	1	94	I	F	-	R		
6K-20-1032	剥片	安山岩B	1	19.39	28.37	5.34	2.39	-	-	I+IV	S	-	B	49	
6K-20-1033	剥片	安山岩B	1	42.63	62.48	16.29	42.93	-	-	I+II+III	S	-	B		
6K-20-1034	剥片	安山岩B	1	29.14	17.63	3.56	1.17	-	-	I	S	-	B		
6K-20-1035	剥片	安山岩B	1	31.72	21.31	5.04	2.32	1	96	I+II	-	-	-	末端部ガジリ	
第47図77b	6K-20-1036	剥片	安山岩B	1	29.98	19.39	5.74	2.58	1	122	I+II+IV	F	-	-	50

第52表 第11ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第51図90	6J-33-1001	剥片	安山岩A	18	34.85	36.16	18.28	17.40	-	-	III+V	-	H	B	51
	6J-33-1002	剥片	頁岩	9	29.05	23.87	8.21	3.94	C	-	III+V	-	F	-	
	6J-33-1004	剥片	硬質頁岩	1	37.39	34.97	15.72	12.53	L	-	I+III	-	O	-	
	6J-33-1005	剥片	珪質頁岩	12	36.92	40.77	10.90	13.51	1	108	I+V	-	F	-	
	6J-33-1006	剥片	安山岩A	1	30.03	31.49	9.72	7.64	1	128	I+III+V	-	S	-	
	6J-33-1007	剥片	安山岩A	1	65.43	41.66	12.78	31.44	3(1)	100	I+V	-	F	-	
	6J-33-1008	剥片	玉髓	4	32.97	41.00	8.26	11.67	2	104	III+IV+V	-	H	-	
	6J-33-1009	剥片	安山岩A	1	34.18	29.94	8.42	7.23	1+C	126	I+III+V	-	S	-	
	6J-33-1010	剥片	玉髓	7	28.73	20.85	6.67	2.31	1	104	I+IV	-	S	-	
	6J-33-1011	剥片	珪質頁岩	14	28.77	18.63	4.30	1.67	7(3)	116	I+III	-	S	-	
	7J-02-1001	剥片	珪質頁岩	18	19.65	24.40	10.88	4.42	2	110	I+III+IV+V	-	O	-	
	7J-02-1002	剥片	珪質頁岩	14	24.52	23.65	5.28	1.99	1	122	I+V	-	H	-	
	7J-03-1001	剥片	安山岩A	3	38.54	19.36	4.32	1.79	2	106	I	-	S	-	
	7J-03-1002	石核	ホルンフェルス	4	24.78	41.88	13.65	12.23	-	74~76	-	-	-	-	
7J-03-1003	剥片	ホルンフェルス	4	28.79	15.65	6.48	1.87	1	90	I+II	-	F	-		
第51図94a	7J-03-1004	剥片	ホルンフェルス	4	25.96	24.15	8.99	4.39	2	132	I+III+IV	-	S	-	
7J-03-1005	剥片	ホルンフェルス	4	36.63	21.03	8.64	4.06	1	130	I+III	-	H	L		
7J-03-1006	剥片	ホルンフェルス	4	10.88	19.91	2.92	0.48	1	128	I	-	-	LH		
第51図94b	7J-03-1007	剥片	ホルンフェルス	4	20.29	38.37	9.29	5.36	3	128	I+III	-	-	H	51
7J-03-1008	剥片	ホルンフェルス	4	13.31	6.14	5.01	0.34	1	98	V	-	S	L		
7J-03-1009	剥片	安山岩B	8	33.63	25.99	13.46	11.68	1	124	I	-	H	-		
7J-03-1010	剥片	ホルンフェルス	4	30.91	36.09	10.25	11.00	C	-	V	-	S	-		
7J-03-1011	剥片	安山岩B	2	27.74	34.32	11.10	11.61	1	126	I+III	-	S	-		
第51図94c	7J-03-1012	剥片	ホルンフェルス	4	58.34	54.76	26.20	98.99	-	-	I+II+III	-	F	B	51
第50図83	7J-03-1013	楔形石器	流紋岩	9	40.05	57.95	27.69	57.55	-	-	-	-	-	-	
第50図89	7J-03-1014	石核	安山岩B	2	49.55	39.72	19.70	30.74	-	-	-	-	-	-	
7J-03-1015	剥片	ホルンフェルス	4	24.04	20.02	7.23	2.77	1	130	I+II	-	F	L		
7J-03-1016	剥片	ホルンフェルス	4	20.38	21.17	5.65	2.06	1	104	III	-	F	L		
7J-03-1017	剥片	ホルンフェルス	4	25.48	25.96	7.94	4.48	L	-	I+III	-	H	-		
7J-03-1018	剥片	安山岩A	1	28.54	17.11	4.37	1.31	1	124	I+III+V	-	-	H		
7J-03-1019	剥片	ホルンフェルス	4	32.04	26.10	6.16	3.80	1	102	I+III	-	F	-		
7J-03-1020	剥片	ホルンフェルス	4	47.64	45.78	25.86	36.45	5(3)	98	II+III	-	S	-		
7J-13-1001	剥片	安山岩A	7	15.66	7.86	2.82	0.26	-	-	I+II+III	-	-	B		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第52図97c	7J-13-1002	剥片	嶺岡頁岩	5	29.63	11.87	4.10	1.71	L	-	I + II	-	S	-	52
	7J-13-1003	剥片	安山岩B	2	14.26	9.37	6.12	0.67	-	-	II	-	H	LB	
	7J-13-1004	剥片	安山岩A	7	14.66	23.32	4.15	1.51	C	-	V	-	S	-	
	7J-13-1005	剥片	安山岩A	7	16.84	8.29	2.64	0.44	L	-	II	-	-	LH	
	7J-13-1006	石核	安山岩A	7	42.28	43.31	21.96	32.70	-	58~72	-	-	-	-	
第50図79	7J-13-1007	剥片	安山岩A	7	5.65	13.48	3.64	0.18	2	92	III	-	F	-	調整角56~60
	7J-13-1008	二次加工剥片	安山岩A	3	59.12	75.35	21.45	68.25	8(4)	128	I + II + III + V	-	S	-	
第50図87	7J-13-1009	石核	安山岩A	1	24.52	44.43	40.08	40.63	-	76~80	-	-	-	-	
第51図91	7J-13-1010	石核	頁岩	8	43.85	69.00	39.48	115.13	-	102	-	-	-	-	
第50図81	7J-13-1011	楔形石器	硬質頁岩	1	21.84	26.37	10.47	5.65	-	-	-	-	-	-	
第50図86	7J-13-1012	剥片	安山岩A	7	35.70	39.65	13.01	10.64	C	106	I + II + III	-	F	L	53
	7J-13-1013	剥片	安山岩A	7	46.21	21.72	13.07	10.80	C	114	I + II + III	-	O	L	
	7J-13-1015	剥片	安山岩A	1	38.20	10.09	6.59	2.16	1	106	I + III	-	F	L	
	7J-13-1016	剥片	安山岩A	7	22.28	24.05	5.48	2.40	1+C	132	III	-	S	-	
	7J-13-1017	剥片	硬質頁岩	1	23.58	19.98	6.20	1.08	-	-	I + III	-	F	B	
第52図98b	7J-13-1018	剥片	安山岩A	8	25.34	17.49	3.81	1.73	-	-	I + III + V	-	H	L	ブロック間接合
	7J-13-1019	剥片	ホルンフェルス	2	52.97	38.63	14.27	18.41	1	102	I + III + V	-	F	R	
第50図88	7J-13-1020	剥片	安山岩A	1	35.81	20.38	4.94	2.92	L	-	I + II + III + V	-	F	-	54
	7J-13-1021	石核	安山岩A	1	35.47	46.20	14.05	20.82	-	56~82	-	-	-	-	
第52図96a	7J-13-1022	剥片	安山岩A	8	38.18	40.15	18.80	28.94	1+C	130	I + II + III	-	F	-	54
	6K-20-1018	剥片	珪質頁岩	12	36.25	33.19	12.60	9.99	1	124	I + V	-	H	-	
	6K-30-1001a	剥片	安山岩A	1	18.97	18.77	5.44	1.44	-	-	I + V	-	F	B	
第52図96b	6K-30-1001b	剥片	安山岩A	1	7.20	16.25	3.36	0.31	-	-	I	-	-	B	54
	6K-30-1002	剥片	珪質頁岩	13	30.80	31.97	10.43	8.83	2	140	I + III + V	-	O	-	
第51図93b	6K-30-1003	石核	安山岩A	1	35.04	39.58	11.75	15.95	-	72~76	-	-	-	-	55
	6K-30-1004	剥片	安山岩A	7	11.65	16.27	2.74	0.34	L	-	I	-	F	-	
第51図93a	6K-30-1005a	楔形石器	安山岩A	20	38.48	31.80	12.48	15.28	-	-	-	-	-	-	55
	6K-30-1005b	剥片	安山岩A	1	11.80	13.98	3.70	0.50	L	-	I + II	-	S	-	
第50図84	6K-30-1006	剥片	安山岩A	20	26.95	13.78	4.98	1.61	2	96	I + V	-	H	L	55
第51図92	6K-30-1007	楔形石器	安山岩B	3	34.37	28.13	9.04	9.71	-	-	-	-	-	-	
	6K-30-1008	剥片	珪質頁岩	16	51.77	31.61	18.01	12.08	1	92	I + III + V	-	H	-	
	6K-30-1009	剥片	安山岩A	11	35.96	34.91	14.23	13.34	C	98	I + II + III	-	S	-	
	6K-30-1010	剥片	安山岩A	1	33.79	29.25	8.71	5.56	-	-	I + II + III	-	F	B	
	6K-30-1011	石核	珪質頁岩	15	29.50	34.55	37.60	31.15	-	50~86	-	-	-	-	
	6K-30-1012	剥片	珪質頁岩	17	44.96	26.53	9.68	8.54	2	112	I + III + V	-	H	-	
	6K-30-1013	剥片	珪質頁岩	13	38.96	36.88	13.06	13.81	1	96	I + V	-	H	-	
	6K-30-1014	剥片	安山岩A	19	35.88	30.74	14.39	7.98	1	112	I + II + III	-	S	-	
	6K-30-1015	剥片	安山岩A	7	40.72	25.12	5.73	4.48	-	-	I + III + V	-	F	-	
	6K-30-1016	剥片	安山岩A	1	31.08	18.93	6.83	3.56	L	-	I + V	-	F	-	
第52図95b	6K-30-1017	剥片	珪質頁岩	12	16.10	16.34	4.11	0.87	C	106	I	-	F	-	
	6K-30-1018	剥片	安山岩A	1	20.60	19.03	5.81	1.42	-	-	I	-	F	B	
	7K-00-1002	剥片	安山岩A	3	14.30	10.82	3.24	0.39	1	86	I	-	F	L	
	7K-00-1004	剥片	安山岩A	17	22.94	64.29	15.99	17.77	C	84	I + III	-	F	-	
	7K-00-1005	剥片	ホルンフェルス	4	23.01	13.63	6.77	2.09	1	120	I + II	-	S	L	
	7K-00-1006	剥片	ホルンフェルス	4	6.43	15.12	4.30	0.36	1	118	I	-	S	-	
	7K-00-1007	剥片	玉髓	4	14.40	14.31	3.45	0.57	1	122	I + III	-	H	-	
	7K-00-1008	剥片	ホルンフェルス	4	26.16	26.71	9.41	5.19	1	122	I + II + III	-	S	-	
	7K-00-1009	二次加工剥片	玉髓	4	22.64	16.89	5.06	1.88	1	130	I + III	-	F	-	
	7K-00-1010	剥片	安山岩A	1	24.61	13.26	6.32	1.63	1	132	I + V	-	H	R	
第52図95a	7K-00-1011	剥片	安山岩A	1	12.88	9.57	3.05	0.34	-	-	I + III	-	F	B	56
	7K-00-1012	剥片	ホルンフェルス	4	15.72	27.67	5.10	1.98	3	120	I + V	-	S	-	
	7K-00-1013	剥片	ホルンフェルス	8	31.60	32.45	10.57	7.00	1	116	I + III + IV + V	-	F	-	
	7K-00-1014	剥片	ホルンフェルス	8	15.77	5.95	4.52	0.39	L	-	V	-	S	-	
	7K-00-1015	剥片	ホルンフェルス	4	45.90	39.93	8.64	10.80	2	68	I + II + V	-	F	-	
	7K-00-1016	剥片	安山岩A	1	32.65	24.55	7.95	5.06	1	122	I + III	-	O	L	
	7K-10-1001	剥片	安山岩A	3	40.79	44.62	16.83	22.54	1	104	I + II + IV + V	-	O	-	
	7K-10-1003	剥片	砂岩	15	42.72	39.47	11.81	19.60	1	106	I + V	-	F	-	
	7K-10-1004	剥片	安山岩B	2	38.55	48.17	13.53	21.35	-	-	II + III	-	O	B	
	7K-10-1005	剥片	ホルンフェルス	8	28.14	17.42	6.65	2.81	-	-	IV + V	-	S	B	
第52図95a	7K-10-1006	剥片	安山岩B	7	25.82	39.45	10.09	5.30	-	-	I + II + V	-	F	B	56
	7K-10-1007	剥片	安山岩A	7	14.15	21.04	7.69	1.99	L	-	I + III	-	-	H	
	7K-10-1008	楔形石器	チャート	15	16.43	20.68	5.24	2.09	-	-	-	-	-	-	
	7K-10-1009	剥片	ホルンフェルス	8	17.29	11.24	4.04	0.64	-	-	I	-	S	LB	
	7K-10-1010	剥片	安山岩A	7	30.10	30.35	14.12	9.13	-	-	I	-	H	RB	
	7K-10-1011	剥片	安山岩A	7	17.98	23.18	4.70	1.81	-	-	I	-	S	B	
	7K-10-1012a	剥片	安山岩A	1	17.85	10.78	8.33	0.96	1	114	I + III	-	F	R	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第52図97a	7K-10-1012b	剥片	安山岩A	7	10.63	14.44	2.05	0.24	L	-	I + II	-	F	-	52	
	7K-10-1013	剥片	安山岩A	7	47.10	17.75	9.48	10.09	1	102	II + III + V	-	S	L		
	7K-10-1014	剥片	安山岩A	7	13.73	17.76	2.97	0.52	1	112	I + III	-	S	-		
	7K-10-1015	剥片	安山岩A	7	24.54	33.23	8.63	4.62	1	116	I + III + V	-	S	-		
	7K-10-1016	剥片	安山岩A	7	11.99	19.98	4.74	0.92	1	106	III	-	S	-		
	7K-10-1017	剥片	安山岩A	7	21.69	18.64	5.64	1.82	L	-	I	-	S	-		
	7K-10-1018	楔形石器	黒曜石	3	22.25	8.88	6.27	1.02	-	76	-	-	-	-		57
	7K-10-1019	楔形石器	黒曜石	3	21.48	13.62	7.80	1.84	-	-	-	-	-	-		57
	7K-10-1020	剥片	黒曜石	3	14.78	6.52	2.53	0.14	L	-	III	-	S	-		
	7K-10-1021	楔形石器	黒曜石	3	7.11	9.70	4.87	0.33	-	-	-	-	-	-		
第50図85	7K-10-1022	楔形石器	黒曜石	3	21.11	5.24	5.96	0.41	-	-	-	-	-	-		
	7K-10-1023	楔形石器	黒曜石	3	7.96	15.65	4.24	0.58	-	-	-	-	-	-		
第50図82	7K-10-1024	楔形石器	安山岩A	7	21.57	24.09	12.20	6.53	-	-	-	-	-	-		
	7K-10-1025	剥片	ホルンフェルス	4	24.98	13.95	5.51	1.17	-	-	I	-	F	B		
第52図97b	7K-10-1026	剥片	安山岩A	7	20.82	17.34	5.90	1.70	1	126	I	○	F	-		
	7K-10-1027	剥片	安山岩A	7	28.19	27.05	8.16	5.21	1	122	II + III + V	-	H	-	52	
	7K-10-1028	剥片	安山岩A	7	18.32	14.12	6.21	1.43	L	-	I + II + V	-	S	-		
	7K-20-1009	剥片	硬質頁岩	12	28.80	14.22	3.52	1.35	-	-	I	-	-	VM		

第53表 第12ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	遺存 部位	接合	備考	
第55図100	7K-01-1001	剥片	ホルンフェルス	13	25.53	49.67	7.34	7.95	1	132	I + V	S	-	使用痕N	
	7K-01-1002	剥片	頁岩	10	45.00	36.46	12.08	16.63	1	128	I + IV + V	H	-		
第55図104a	7K-02-1001	剥片	珪質頁岩	13	24.36	26.14	11.22	5.14	C	126	I + II + III	S	-	58	
	7K-02-1002	剥片	嶺岡頁岩	6	15.34	24.35	5.08	1.49	L	-	I	H	-		
	7K-02-1003	剥片	安山岩A	1	22.70	48.53	11.97	11.80	-	-	I + V	F	B		
	7K-02-1004a	剥片	珪質頁岩	19	16.76	26.92	7.83	2.97	8(3)	128	I + III	S	-		
第55図104b	7K-02-1004b	剥片	ホルンフェルス	13	10.70	15.10	3.74	0.57	1	104	I	-	-	58	
	7K-02-1005	石核	珪質頁岩	19	31.63	44.26	22.84	28.02	-	54	-	-	-	58	
第56図105a	7K-02-1006	剥片	安山岩A	1	34.49	23.73	10.60	7.11	1	132	III + V	H	-	59	
	7K-11-1002	剥片	安山岩A	21	32.72	46.91	15.62	20.70	1	114	I + II	0	-		ブロック間接合
第55図103a	7K-11-1003	剥片	安山岩A	21	55.79	67.23	26.51	84.61	1	136	I + III	S	-	60	
	7K-11-1004	剥片	安山岩A	21	61.34	58.04	22.04	72.04	1	98	I + V	S	L		
	7K-11-1005	剥片	安山岩A	21	25.55	17.09	11.79	3.82	C	78	V	-	RH		
	7K-11-1006	剥片	安山岩A	22	18.73	19.30	7.34	1.86	L	-	I	S	-		61
	7K-11-1007	剥片	安山岩A	22	33.76	25.22	11.46	7.64	1	102	I + V	H	-		
	7K-11-1008	剥片	ホルンフェルス	8	31.70	32.32	15.63	13.88	2	114	I + III	-	H		
	7K-11-1009	剥片	安山岩A	21	21.52	14.19	6.93	1.66	1	94	I	S	-		
	7K-11-1010	剥片	安山岩A	21	53.08	37.81	19.49	36.99	1	-	I + V	S	R		
	7K-11-1011	剥片	玉髄	8	20.87	22.53	7.49	2.46	L	-	I + V	S	-		
	7K-11-1012	剥片	安山岩A	21	23.43	27.73	15.35	6.49	1	-	V	-	RH		
第55図101	7K-11-1013	楔形石器	玉髄	8	26.31	24.01	15.69	10.87	-	-	-	-	-		
第55図103d	7K-11-1014	楔形石器	安山岩A	22	24.75	24.87	9.02	5.95	-	-	-	-	-	61	
	7K-11-1015	剥片	安山岩A	21	44.14	33.64	20.64	27.18	-	-	I + III + V	-	VM	62	
第55図103b	7K-11-1016	楔形石器	安山岩A	22	31.60	20.67	12.82	7.64	-	-	-	-	-	61	
	7K-11-1017	剥片	安山岩A	21	20.51	20.40	6.63	2.37	L	-	I + II + III + V	F	-		
	7K-11-1018	剥片	安山岩A	21	21.52	39.19	21.92	14.11	-	-	I + III	0	B		
	7K-11-1019	剥片	安山岩A	21	14.06	23.19	9.16	3.15	L	-	I	0	-		
	7K-11-1020	剥片	安山岩A	21	18.59	14.08	4.94	1.34	L	-	I	F	-		
	7K-11-1021	剥片	チャート	6	22.56	18.58	5.80	1.99	1	116	I + III	F	-		
	7K-11-1022	剥片	安山岩A	21	29.24	29.81	14.70	11.21	L	-	I	S	-		
	7K-11-1023	剥片	ホルンフェルス	8	42.92	20.31	10.43	4.98	1	138	I	H	L		
	第55図103c	7K-11-1024	剥片	安山岩A	22	33.17	22.08	12.20	8.33	L	-	I + II	S	L	61
		7K-11-1025	剥片	安山岩A	21	40.53	26.32	20.89	17.03	1	104	I + II	S	-	
第55図103e	7K-11-1026	剥片	安山岩A	21	16.08	12.88	7.88	1.26	L	-	I + III	H	-		
	7K-11-1027	剥片	安山岩A	23	39.18	20.67	10.42	7.56	L	-	II + III	0	-		
	7K-11-1028	剥片	安山岩A	21	25.10	13.95	8.39	2.46	L	-	I	S	-		
	7K-11-1029	剥片	安山岩A	21	32.57	36.83	12.06	13.27	1	96	I + II + III	S	-	60	
	7K-11-1030	剥片	安山岩A	21	32.50	29.63	10.81	7.69	L	-	I + III + V	0	-		
	7K-11-1031	剥片	チャート	6	12.79	17.98	6.73	1.10	1	90	I + II	S	-		
	7K-11-1032	剥片	チャート	6	20.67	19.98	12.28	3.01	1	118	I	S	-		
	7K-11-1033	剥片	安山岩A	21	19.62	18.48	8.82	3.26	1	98	I + III	S	-		
	7K-11-1034	剥片	チャート	6	26.35	26.68	4.47	2.63	1	96	I + IV	S	-		
	7K-11-1035	剥片	安山岩A	21	25.21	15.94	9.35	2.49	2	88	I + II + III + V	0	-		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第55図102	7K-11-1036	剥片	流紋岩	10	18.54	12.67	7.14	1.30	2	120	I + II	S	-	-			
	7K-11-1037	剥片	チャート	6	12.51	12.03	3.58	0.36	L	-	I	F	-	-			
	7K-11-1038	剥片	安山岩A	21	19.78	13.72	6.47	1.23	L	-	I + III	O	-	-			
	7K-11-1039	剥片	安山岩A	21	16.74	12.19	7.68	1.10	1	106	I + II + III	S	-	-			
	7K-11-1040	剥片	安山岩A	21	11.67	12.00	8.16	1.09	1	114	I + III	S	-	-			
	7K-11-1041	石核	ホルンフェルス	12	32.64	38.69	14.91	11.88	-	76~84	-	-	-	-	-		
	7K-11-1042	剥片	チャート	6	14.55	22.90	11.91	3.12	L	-	I + II + III + IV	S	-	-			
	7K-11-1043	剥片	安山岩A	21	22.61	22.36	8.87	3.79	-	-	I + V	S	B	-			
	7K-11-1044	剥片	安山岩A	23	21.66	14.18	4.96	1.19	C	98	I + III	S	-	-			
	7K-11-1045	剥片	安山岩A	23	18.72	14.43	9.26	2.46	-	-	I + II	F	B	-			
第55図99	7K-11-1046	剥片	安山岩A	21	20.66	16.67	4.75	1.39	L	-	I	S	-	-			
	7K-11-1047	剥片	安山岩A	21	46.28	53.28	29.37	59.06	-	-	I + III + V	S	B	62			
	7K-11-1048	剥片	安山岩A	21	25.32	18.33	10.91	3.55	L	-	I + III + V	S	-	-			
	7K-11-1049	剥片	チャート	6	30.29	29.03	9.15	5.04	-	-	III + V	F	B	-			
	7K-11-1050	剥片	安山岩A	21	12.10	5.84	3.18	0.17	P	-	I + III	S	-	-			
	7K-11-1051	局部磨製石斧	結晶片岩	1	50.30	48.10	13.79	31.69	-	-	-	-	-	-	-		刃部角78, 欠損
	7K-11-1052	剥片	安山岩A	21	52.99	40.57	13.64	28.02	-	-	II + V	S	B	62			
	7K-11-1053	剥片	チャート	6	10.67	15.04	2.53	0.38	-	-	I + III	S	B	-			
	7K-11-1054	剥片	安山岩A	21	32.66	23.02	13.63	8.47	-	-	I + III + V	S	B	62			
	7K-11-1055	剥片	安山岩A	21	28.37	18.13	14.58	3.72	2	94	I	-	-	-	-		末端部ガジリ
7K-11-1056	剥片	玉髓	8	12.10	14.48	3.77	0.53	1	100	I + V	F	-	-				
7K-11-1057	剥片	安山岩A	21	14.34	16.00	5.30	1.03	C	96	III	S	-	-				
7K-11-1058	剥片	安山岩A	21	21.90	26.04	6.20	3.43	C	114	I + III	H	-	-				
7K-11-1059	剥片	安山岩A	23	21.52	26.96	5.56	2.68	C	102	I + III	F	-	-				
7K-11-1060	剥片	安山岩A	21	21.73	17.14	11.38	3.17	-	-	I + III	H	B	-				

第54表 第13ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第61図128a	7K-03-1001	剥片	安山岩A	1	33.38	30.07	8.23	5.19	1	126	I + V	H	-	-			
	7K-03-1002	剥片	チャート	19	22.85	20.55	6.85	2.26	1	92	I + IV	H	-	-			
第61図128b	7K-03-1003	剥片	安山岩A	1	46.48	33.71	13.48	18.16	4(2)	126	I + III + V	F	-	-	63		
	7K-03-1004	石核	安山岩A	1	44.40	40.10	35.20	68.69	-	74~92	-	-	-	-			
第59図115	7K-03-2001	剥片	チャート	6	21.46	21.81	7.54	2.28	C	88	I + IV	F	-	-			
	7K-12-1001	楔形石器	流紋岩	11	20.59	24.24	10.22	4.06	-	-	-	-	-	-			
第59図110	7K-12-1002	二次加工剥片	チャート	16	47.78	48.86	11.91	22.33	14(8)	122	I + II + V	F	N	-		調整角42~52	
	7K-12-1003	剥片	チャート	6	21.75	33.66	7.76	3.74	C	92	I	F	-	-			
第59図111	7K-12-1004	剥片	安山岩B	9	12.57	20.10	6.01	1.27	L	-	I	F	-	-			
	7K-12-1005	剥片	安山岩A	1	13.59	17.09	2.86	0.60	-	-	II + III	F	-	B			
	7K-12-1006	剥片	安山岩A	1	29.05	19.24	3.57	1.18	L	-	I	F	-	-			
	7K-12-1007	剥片	硬質頁岩	13	25.35	30.36	11.90	6.13	3	102	I + III	H	-	-			
	7K-12-1008	剥片	安山岩A	1	22.09	22.14	3.80	1.24	1	-	-	I + III	F	-	-		
	7K-12-1009	剥片	安山岩A	1	12.66	22.08	4.26	1.01	-	-	-	I	F	-	B		
	7K-12-1010	剥片	安山岩A	1	29.30	20.39	12.99	3.76	2	96	-	I + III + V	H	-	-		
	7K-12-1011	剥片	安山岩A	1	31.33	35.69	6.11	4.52	1	118	-	I + V	F	-	-		
	第59図112	7K-12-1012	二次加工剥片	安山岩A	1	12.29	17.73	4.49	1.00	-	-	V	F	-	B		調整角82
		7K-12-1013	剥片	安山岩A	11	27.37	26.51	8.36	5.36	1	116	-	I	S	-	-	
第60図122	7K-12-1014	剥片	安山岩A	1	19.99	28.65	5.55	2.98	-	-	V	F	-	B			
	7K-12-1015	剥片	安山岩A	1	30.30	25.05	15.08	9.45	-	-	I + II + III + V	O	-	-			
	7K-12-1016	剥片	安山岩A	1	18.98	21.77	5.44	1.81	2(1)	126	V	S	-	R			
	7K-12-1017	剥片	安山岩A	1	30.99	16.01	7.59	3.74	2	130	-	I + III + V	F	-	R		
	7K-12-1018	剥片	安山岩A	1	35.57	29.36	9.99	6.30	C	80	-	I + III	F	-	-		
	7K-12-1019	剥片	安山岩A	1	38.95	45.77	17.02	20.48	-	88	-	-	-	-	-		
	7K-12-1020	剥片	安山岩A	1	19.86	17.53	4.21	1.22	-	-	-	I + V	F	-	B		
	7K-12-1021	剥片	安山岩A	1	29.73	42.07	10.79	9.24	2	114	-	I	S	-	-		
	7K-12-1022	剥片	ホルンフェルス	12	20.76	28.89	5.47	2.29	1	132	-	I + III	S	-	-		
	第59図112	7K-12-1023	剥片	安山岩A	1	25.33	31.44	13.12	8.08	2	118	-	I + III	S	-	-	
7K-12-1024		剥片	安山岩A	1	40.86	32.78	10.41	8.42	5(2)	122	-	I + III + V	F	-	-		
7K-12-1025		楔形石器	安山岩A	1	23.70	22.69	7.88	5.62	-	-	-	-	-	-			
7K-12-1027		剥片	チャート	6	40.78	35.04	12.64	10.45	2	122	-	V	S	-	HM		
7K-12-1028		剥片	チャート	6	11.47	14.01	4.90	0.61	L	-	-	I + III	F	-	R		
7K-12-1029		剥片	安山岩A	1	38.24	21.36	8.73	6.64	1	118	-	I + V	F	-	R		
7K-13-1023		剥片	玉髓	10	41.85	22.94	8.70	6.16	C	130	-	I + III	H	-	L		
7K-13-1024		剥片	安山岩A	1	14.02	18.93	4.61	0.91	2	102	-	I + III	H	-	-		

挿入番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 鋭角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	7K-13-1025	剥片	安山岩A	1	28.63	37.16	6.17	5.55	C	104	-	I+III	H	-	-	
	7K-13-1027	剥片	安山岩A	1	32.54	36.68	8.32	6.66	C	120	-	I+III	-	-	-	末端部ガジリ
	7K-13-1028	剥片	安山岩A	1	26.50	17.95	9.44	2.36	1	128	-	I+III	F	-	-	
	7K-22-1001	礫	頁岩	18	36.61	29.90	11.47	14.92	-	-	-	-	-	-	-	
	7K-22-1002	剥片	硬質頁岩	14	43.49	17.19	7.36	3.25	9(5)	100	+	I+V	H	-	-	
	7K-22-1003	剥片	安山岩A	1	10.76	15.91	3.54	0.44	L	-	-	I+III	F	-	-	
	7K-22-1004	剥片	チャート	17	40.39	35.30	9.36	6.75	5(2)	106	-	I+III	H	-	-	
	7K-22-1005	剥片	頁岩	9	23.07	14.56	4.33	1.11	1	98	-	I	F	-	-	
	7K-22-1006	剥片	ホルンフェルス	14	17.96	15.42	4.10	1.09	-	-	-	I	-	-	VM	
	7K-22-1007	剥片	安山岩A	1	17.08	9.95	4.76	0.49	L	-	-	III	O	-	-	
	7K-22-1008	剥片	安山岩A	1	5.29	8.95	2.60	0.08	-	-	-	I	S	-	B	
第60図123	7K-22-1009	石核	珪質頁岩	1	23.60	31.08	29.53	14.35	-	44~62	-	-	-	-	-	
	7K-22-1010	剥片	チャート	18	41.31	24.52	15.43	12.21	3	114	-	I+III+V	F	-	-	
	7K-22-1011	剥片	硬質頁岩	13	22.37	14.94	8.11	2.02	L	-	-	I+II+III+V	S	-	-	
第59図107	7K-22-1012	ナイフ形石器	頁岩	13	30.74	13.47	5.85	1.92	-	-	-	I+V	-	-	-	調整角66~92
第60図124a	7K-22-1013	剥片	安山岩A	1	23.70	23.28	9.19	5.08	L	-	-	I+II+V	F	-	-	64
第60図124b	7K-22-1014	楔形石器	安山岩A	1	24.55	34.60	8.92	6.48	-	-	-	-	-	-	-	64
第59図121	7K-22-1015	石核	安山岩A	1	36.18	33.79	19.65	18.73	-	64~104	-	-	-	-	-	
第60図126b	7K-22-1016	剥片	ホルンフェルス	14	28.99	34.23	13.94	12.99	5	100	-	I+III+V	O	N	-	65
	7K-22-1017	剥片	頁岩	11	21.87	15.08	4.18	1.39	1	82	-	I+III	H	-	-	
第60図126a	7K-22-1018	剥片	ホルンフェルス	14	43.38	31.69	19.07	15.56	1	106	-	I+III+V	O	-	-	65
第61図129a	7K-22-1019	剥片	頁岩	11	15.42	23.06	2.41	0.90	2	100	-	I+III	S	-	-	66
	7K-22-1020	剥片	黒曜石	5	7.80	5.08	2.37	0.08	1	114	-	I	-	-	-	末端部ガジリ
	7K-22-1021	剥片	頁岩	11	50.36	35.62	18.02	16.57	4	84	-	I+II+V	H	-	-	
	7K-22-1023	剥片	頁岩	11	10.28	16.66	2.98	0.32	L	-	-	I	F	-	-	
第59図116	7K-22-1024	剥片	頁岩	14	45.62	19.37	7.64	4.47	13(4)	106	+	I+V	F	N	-	
第59図117	7K-22-1027	剥片	ホルンフェルス	16	39.45	32.43	10.54	12.02	3	118	-	I+II+III	H	-	-	
	7K-22-1028	剥片	硬質頁岩	14	30.53	21.49	11.20	5.03	2	122	-	I+III+V	O	N	-	
	7K-22-1029	剥片	安山岩A	1	20.96	14.86	4.58	1.01	-	-	-	I+III	F	-	-	打面部ガジリ
	7K-22-1030	剥片	安山岩A	11	20.68	38.15	7.24	4.31	-	-	-	II+III	H	-	B	
	7K-22-1031	剥片	頁岩	11	25.42	17.96	2.87	1.00	1	114	-	I	F	-	-	
第59図119	7K-22-1032	剥片	安山岩A	1	25.39	23.91	1.98	0.76	-	-	-	I	F	-	-	打面部ガジリ
第61図127a	7K-22-1033	剥片	頁岩	11	29.51	16.30	11.76	5.87	-	-	-	I+III+V	F	-	B	
	7K-22-1034	剥片	頁岩	12	28.75	6.65	6.84	0.85	-	-	-	I+IV+V	F	-	B	67
	7K-22-1036	剥片	頁岩	11	32.16	13.13	4.47	1.54	1	104	-	I+III	H	-	-	
	7K-22-1037	剥片	頁岩	11	31.07	36.54	10.76	9.22	2	114	-	I+V	-	-	H	
	7K-22-1038	剥片	ホルンフェルス	14	16.90	14.84	4.45	0.85	-	-	-	III+IV+V	H	-	B	
	7K-22-1039	剥片	頁岩	11	40.73	27.51	9.11	8.31	5(2)	86	-	I	F	-	-	
第59図118	7K-22-1040	剥片	硬質頁岩	14	46.91	33.62	12.66	11.15	3	146	-	I+II+III	H	-	L	
	7K-22-1041	剥片	玉髓	9	41.05	38.62	9.37	9.85	C	100	-	I	H	N	-	
	7K-22-1042	剥片	安山岩A	1	6.56	10.43	2.13	0.14	-	-	-	III	F	-	B	
	7K-22-1043	剥片	玉髓	9	27.15	28.08	5.55	2.25	1	126	-	I	F	-	R	
	7K-22-1044	剥片	安山岩A	1	32.23	35.20	6.99	5.34	-	-	-	I	S	-	B	
	7K-22-1046	剥片	玉髓	1	17.31	6.77	5.87	0.58	-	-	-	I+III+V	O	-	B	
第59図113	7K-22-1047	剥片	頁岩	12	12.03	14.06	2.58	0.44	1	116	-	I	S	-	-	
第59図114	7K-22-1048	楔形石器	安山岩A	1	23.90	27.09	11.52	8.03	-	-	-	-	-	-	-	
	7K-22-1049a	楔形石器	安山岩A	1	27.51	35.53	6.93	4.67	-	-	-	-	-	-	-	
	7K-22-1049b	剥片	ホルンフェルス	15	6.40	6.07	2.31	0.09	-	-	-	-	-	-	-	片面ガジリ
	7K-22-1050	剥片	安山岩A	1	12.97	8.62	1.81	0.19	1	86	-	I	F	-	-	
	7K-22-1051	剥片	安山岩A	1	10.98	12.28	2.80	0.35	1	130	-	I	F	-	R	
	7K-22-1052	剥片	安山岩A	1	24.32	18.01	3.88	1.45	L	-	-	I+II	S	-	-	
	7K-22-1053	剥片	安山岩A	11	32.14	33.07	9.37	6.55	-	-	-	I+III+V	F	-	B	
第61図127b	7K-22-1054	剥片	頁岩	17	29.57	19.08	5.52	3.05	1	104	-	I	H	-	R	
第61図129c	7K-22-1055	石核	頁岩	12	32.05	16.62	32.48	18.92	-	-	-	-	-	-	-	67
	7K-22-1056	剥片	頁岩	11	18.37	14.43	3.79	1.13	-	-	-	I	S	-	B	66
	7K-22-1058	剥片	硬質頁岩	13	26.63	11.62	4.75	1.01	1	100	-	I+III	F	-	-	
第59図120	7K-22-1059	剥片	安山岩B	11	5.78	4.73	2.56	0.06	1	104	-	I	S	-	-	
第62図130	7K-22-1060	石核	硬質頁岩	7	32.25	35.27	15.33	13.83	-	60~82	-	-	-	-	-	
第60図125a	7K-22-1061	敲石	安山岩C	5	78.63	44.45	35.23	160.67	-	-	-	-	S, H	-	-	
	7K-22-1064	剥片	頁岩	11	55.23	32.57	14.50	19.90	7(3)	100	-	I+III+V	F	-	-	68
	7K-22-1067	剥片	ホルンフェルス	8	28.53	22.07	5.76	2.96	-	-	-	I	F	-	B	
第61図129b	7K-22-1068	剥片	安山岩A	1	29.57	46.41	10.32	10.57	1	102	-	I+III	F	-	-	
	7K-22-1069	剥片	頁岩	11	10.82	11.92	2.48	0.26	1	122	-	I+III	H	-	-	66
	7K-22-1071	剥片	頁岩	15	46.99	25.74	12.83	10.69	1	108	-	I+II	F	-	-	
第59図106	7K-22-1072	剥片	ホルンフェルス	12	14.06	21.23	4.15	0.91	-	-	-	I+II	S	-	B	
	7K-22-1073	ナイフ形石器	頁岩	11	30.05	14.11	5.01	2.58	1	106	-	I	-	-	-	調整角82~90

挿入番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第60図125b 第59図108 第59図109	7K-22-1075	剥片	ホルンフェルス	14	33.95	29.64	12.19	7.83	3	100	I	-	-	H	68	調整角80 調整角66~72
	7K-22-1076	剥片	ホルンフェルス	12	16.25	9.45	7.67	1.30	-	-	I	-	-	VM		
	7K-22-1078	剥片	頁岩	16	21.09	11.78	12.97	8.52	C	76	III+V	S	-	-		
	7K-22-1079	剥片	頁岩	11	34.82	18.73	3.83	2.07	2	96	I	F	-	-		
	7K-22-1080	二次加工剥片	頁岩	11	31.72	21.68	10.20	6.68	2	92	III+V	F	-	-		
	7K-22-1081	二次加工剥片	頁岩	9	28.90	17.31	8.76	3.18	9(5)	106	I+III	-	-	-		
	7K-32-1005	剥片	黒曜石	5	17.59	8.87	5.58	0.70	-	-	I	H	-	B		
	7K-32-1006	剥片	安山岩A	1	13.97	14.52	3.20	0.63	-	-	I	H	-	LB		
	7K-32-1008	剥片	安山岩A	1	23.05	12.59	5.12	0.80	-	-	I+II	F	-	RB		
7K-32-1009	剥片	安山岩B	10	8.89	8.14	3.42	0.20	-	-	III	S	-	B			

第55表 第14ブロック出土石器属性表

挿入番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第65図131	7K-13-1001	二次加工剥片	チャート	6	42.71	25.71	9.65	5.71	-	-	I+III+V	-	N	VM	調整角78~88	
	7K-13-1002	剥片	硬質頁岩	7	21.14	26.15	8.92	3.72	3	124	II+III	S	-	-		
第65図138	7K-13-1003	剥片	安山岩A	24	27.28	31.45	8.15	5.71	3	126	I+V	H	-	-		
	7K-13-1004	剥片	安山岩A	24	18.48	21.46	5.51	2.01	L	-	I+III+V	H	-	-		
	7K-13-1005	剥片	安山岩A	24	21.55	17.51	9.09	2.84	1	92	I+V	S	-	L		
	7K-13-1006	石核	安山岩A	24	24.46	31.81	42.52	24.41	-	66	-	-	-	-		
	7K-13-1007	剥片	安山岩A	24	29.27	23.58	6.25	3.42	C	112	I+V	F	-	-		
	7K-13-1008	剥片	玉髓	11	41.69	40.83	16.50	18.25	L	-	I+II+V	H	-	-		
	7K-13-1009	剥片	珪質頁岩	1	36.56	47.05	14.23	19.52	1	134	I+II+III+V	S	N	-	-	
	7K-13-1010	剥片	玉髓	11	26.49	15.43	6.93	1.51	1	126	I+III	F	-	-		
	7K-13-1011	剥片	安山岩A	21	25.43	23.45	9.36	4.07	1	104	III+V	F	-	-		
	7K-13-1012	剥片	安山岩A	24	42.87	17.71	9.32	5.70	1	-	I+II+III	F	-	L		
第56図105c	7K-13-1013	剥片	安山岩A	24	36.47	27.49	10.17	7.87	1	100	I	-	-	RH	69	
	7K-13-1014	剥片	安山岩A	24	21.93	27.30	10.48	3.31	1	88	I+V	F	-	-		
	7K-13-1015	剥片	チャート	6	21.41	32.27	8.92	4.53	1	80	II+III	F	-	-		
	7K-13-1016	石核	安山岩A	21	33.21	73.96	52.71	143.69	-	66	-	-	-	-	59	ブロック間接合
	7K-13-1017	剥片	硬質頁岩	7	27.77	33.16	7.51	4.44	L	-	I+III+IV	S	-	-		
	7K-13-1018	剥片	安山岩A	21	24.77	21.10	8.29	4.17	L	-	I+II+III	O	-	-		
	7K-13-1019	剥片	安山岩A	21	24.12	9.50	5.88	1.08	L	-	I+II+III	S	-	-		
	7K-13-1020	剥片	安山岩A	24	33.89	36.32	16.69	13.17	3(1)	86	I+V	H	-	-		
	7K-13-1021	石核	安山岩A	21	43.42	48.62	50.66	129.40	-	106	-	-	-	-		
	7K-13-1022	剥片	ホルンフェルス	17	65.73	62.36	17.25	56.53	1	122	I+III+V	S	-	-		
第65図134	7K-23-1001	剥片	ホルンフェルス	12	28.41	22.45	6.25	3.57	-	-	I+II+V	S	-	B		
	7K-23-1002	楔形石器	安山岩A	16	27.70	20.87	9.77	3.75	-	-	-	-	-	-		
第65図139	7K-23-1003	石核	ホルンフェルス	8	39.46	52.31	36.02	58.14	-	68~72	-	-	-	-		
	7K-23-1004	礫	砂岩	16	58.63	50.32	20.29	84.23	-	-	-	-	H	-		
	7K-23-1005	剥片	ホルンフェルス	18	21.32	16.95	11.47	2.63	1	72	I+II	F	-	-		
	7K-23-1006	礫	不明	1	32.44	24.17	10.53	8.62	-	-	-	-	H	-		
	7K-23-1007	石核	チャート	20	34.46	42.75	20.26	26.53	-	74	-	-	-	-		
第65図137	7K-23-1008	剥片	嶺岡頁岩	6	35.09	35.24	12.61	12.86	1	116	I+V	H	-	L		
	7L-20-1001	剥片	安山岩B	12	9.62	7.31	3.51	0.27	1	100	I	H	-	L		
	7L-20-1003	剥片	チャート	20	33.01	20.93	9.38	5.88	C	112	I+II	F	-	-		
	7L-20-1004	剥片	安山岩A	16	16.23	15.02	6.33	1.27	-	-	I+III+V	-	-	VM		
	7L-20-1005	剥片	安山岩B	12	6.68	4.69	2.30	0.07	P	-	I	S	-	-		
第66図141b	7L-20-1006	石核	安山岩A	16	39.03	52.02	22.18	40.28	-	58~88	-	-	-	-	70	
	7L-20-1007	剥片	ホルンフェルス	12	7.06	11.86	1.51	0.13	-	-	I+V	F	-	B		
	7L-20-1008	剥片	ホルンフェルス	12	11.87	18.06	3.12	0.63	1	80	I+II+III	F	-	-		
	7L-20-1009	剥片	ホルンフェルス	8	12.98	13.04	1.58	0.26	L	-	I	-	-	-	末端部ガジリ	
	7L-20-1010	剥片	ホルンフェルス	8	12.92	11.46	2.21	0.39	L	-	I+III	S	-	-		
	7L-20-1011	剥片	玉髓	12	9.27	6.68	1.98	0.12	-	-	I	S	-	B		
	7L-20-1012	剥片	ホルンフェルス	8	17.28	9.39	2.07	0.34	-	-	I	F	-	-	打面部ガジリ	
	7L-20-1013	楔形石器	安山岩A	16	21.94	23.04	6.22	2.56	-	-	-	-	-	-		
	7L-20-1014	剥片	安山岩A	16	19.27	15.40	2.87	0.77	L	-	I+III	S	-	-		
	7L-20-1016	剥片	安山岩A	16	11.69	15.01	20.82	2.07	1	112	II+III	H	-	L	70	
第65図133	7L-20-1017	剥片	ホルンフェルス	8	16.12	11.24	2.76	0.41	-	-	I	S	-	B		
	7L-20-1018	剥片	ホルンフェルス	8	12.97	26.79	5.93	2.03	-	-	I	H	-	B		
	7L-20-1019	剥片	安山岩A	16	17.74	22.47	8.48	3.12	1	-	I+III	S	-	-		
	7L-20-1020	楔形石器	安山岩A	16	29.52	9.02	7.75	2.31	-	-	-	-	-	-		
	7L-20-1021	剥片	ホルンフェルス	4	22.37	22.32	9.75	3.33	2	138	III	H	-	R	末端部ガジリ	
	7L-20-1022	剥片	安山岩A	16	15.08	7.54	3.75	0.42	-	-	I+III	-	-	B		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第65図132	7L-20-1023	楔形石器	安山岩A	16	33.62	15.99	12.45	4.80	-	-	-	-	-	-	
	7L-20-1024	剥片	安山岩A	16	12.67	22.38	10.44	2.35	-	-	I + III	S	-	B	
	7L-20-1025	剥片	玉髓	12	23.53	14.93	4.67	1.90	L	-	I	S	-	R	
	7L-20-1026	剥片	ホルンフェルス	3	26.45	23.57	4.66	2.37	-	-	I + V	F	-	B	
	7L-20-1027	剥片	チャート	21	20.73	16.84	9.21	2.91	L	-	I	S	-	-	
	7L-20-1028	剥片	チャート	21	9.22	13.86	2.85	0.33	1	128	I + III + IV	S	-	-	
第65図136	7L-20-1029	剥片	黒曜石	3	25.80	26.30	12.58	3.27	-	-	I	F	N	LB	

第56表 第15ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	欠損	接合	備考		
第70図163a	7J-22-1001	剥片	硬質頁岩	3	7.88	9.36	2.67	0.12	1	96	I	H	-	-	-			
	7J-22-1002	剥片	安山岩B	1	29.92	27.86	8.88	4.63	5(1)	122	I + III	F	-	-	-			
	7J-22-1003	剥片	安山岩A	20	12.67	10.63	3.69	0.37	-	-	I + II	H	-	B	-			
	7J-22-1004	礫	チャート	23	43.53	33.36	21.62	42.39	-	-	-	-	H	-	-			
	7J-22-1005	礫	ホルンフェルス	22	48.36	26.78	19.85	31.23	-	-	-	-	H	-	-			
第70図163b	7J-22-1006	剥片	頁岩	19	10.60	28.56	4.33	0.80	2	118	I + II	F	-	-	-	71	ボジ面	
	7J-22-1007	剥片	頁岩	20	25.07	13.60	5.89	1.75	2	114	I + III	O	-	-	-	71		
第70図158	7J-22-1008	石核	頁岩	19	60.70	52.24	10.97	42.10	-	-	-	-	-	-	-	71		
	7J-22-1009	剥片	頁岩	21	32.70	20.97	8.22	8.09	-	-	I	-	-	BM	-			
	7J-22-1010	剥片	安山岩B	1	7.70	13.07	2.73	0.21	1	106	I	F	-	-	-			
	7J-22-1011	礫	砂岩	17	44.72	40.84	24.53	62.22	-	-	-	-	H	-	-			
	7J-22-1012	剥片	ホルンフェルス	20	22.95	19.89	7.66	3.15	C	116	I + V	H	-	-	-			
	7J-22-1013	礫	ホルンフェルス	21	44.16	29.74	26.15	50.09	-	-	-	-	-	-	-			
	7J-22-1014	剥片	チャート	6	32.80	35.45	13.19	10.37	2	128	I + II + III	S	N	-	-			
	7J-22-1015	剥片	安山岩A	1	13.84	15.75	5.95	1.19	-	-	III + V	F	-	B	-			
	7J-22-1016	剥片	硬質頁岩	16	46.47	25.98	11.23	7.26	10(3)	102	I + II + III + V	F	-	-	-			
	7J-22-1017	礫	チャート	24	26.40	19.43	12.45	4.93	-	-	-	-	H	-	-			
第71図164a	7J-22-1018	剥片	硬質頁岩	19	28.96	32.87	10.21	7.62	3	136	I + III	H	-	-	-	72		
	7J-23-1001	剥片	ホルンフェルス	2	15.12	23.94	5.84	1.75	-	-	I + II + III	F	-	-	-	72		
第71図164b	7J-23-1002	剥片	安山岩A	1	47.53	62.43	11.33	21.13	4	118	I + V	F	-	-	-			
	7J-23-1003	剥片	安山岩A	11	14.01	30.69	5.12	2.15	-	-	I + II	H	-	B	-			
	7J-23-1004	剥片	安山岩A	1	9.39	13.52	3.41	0.28	-	-	I	S	-	B	-			
	7J-23-1005	剥片	硬質頁岩	3	37.76	15.02	8.01	1.99	-	-	I + II	F	-	B	-			
	7J-23-1006	剥片	嶺岡頁岩	8	33.13	26.62	9.96	6.21	1	132	I + III	H	-	L	-			
	7J-23-1007	剥片	流紋岩	12	38.16	43.49	16.68	25.86	-	-	I + II + III	S	-	B	-			
	7J-23-1008	剥片	ホルンフェルス	2	42.93	44.28	16.11	27.00	1	126	I + III + V	S	-	-	-	72		
	第52図98a	7J-23-1009	剥片	ホルンフェルス	2	40.25	17.01	12.05	6.86	1	102	I + III + V	F	-	L	-	53	ブロック間接合
	7J-23-1010	剥片	珪質頁岩	20	18.89	13.48	5.13	1.39	L	-	III	-	-	H	-			
	7J-23-1011	剥片	安山岩A	1	36.08	46.41	11.38	14.61	2	132	I + III + V	F	-	-	-			
第70図159	7J-23-1012	剥片	安山岩B	1	49.42	18.66	8.33	6.61	4(2)	106	I + III + IV	F	-	-	-			
第69図142	7J-23-1013	ナイフ形石器	硬質頁岩	3	32.83	13.41	4.65	1.82	-	-	I	H	-	-	-		調整角78~88	
第70図161	7J-23-1014	石核	硬質頁岩	20	25.24	29.77	11.09	6.08	-	86	-	-	-	-	-			
第69図143	7J-23-1015	ナイフ形石器	硬質頁岩	3	28.51	11.62	5.81	1.67	-	-	I	-	-	-	+		調整角66~94	
第69図145	7J-23-1016	ナイフ形石器	安山岩B	1	38.87	11.76	5.98	2.11	1	98	I	F	-	-	+		調整角70~104	
第69図156	7J-23-1017	剥片	硬質頁岩	16	24.48	25.11	7.06	3.83	9(2)	110	I	-	N	H	-			
	7J-23-1018	礫	流紋岩	13	40.46	23.93	16.68	16.43	-	-	-	-	H	-	-			
第70図160	7J-32-1001	剥片	ホルンフェルス	8	14.32	17.50	4.94	0.92	-	-	II + V	S	-	B	-			
	7J-32-1002	剥片	安山岩A	1	6.43	14.14	3.81	0.33	-	-	III	F	-	B	-			
	7J-32-1003	剥片	ホルンフェルス	8	23.36	24.69	4.97	2.91	L	-	I + III + V	S	-	-	-			
	7J-32-1004	剥片	ホルンフェルス	19	40.84	51.10	14.86	24.84	3(1)	114	I + V	F	-	-	-			
	7J-32-1005	石核	安山岩A	1	40.95	21.62	15.30	13.97	-	68	-	-	-	-	-			
	7J-32-1006	剥片	安山岩A	1	13.68	14.10	6.28	0.61	1	106	I	S	-	-	-			
	7J-32-1007	剥片	頁岩	20	30.12	30.77	10.48	5.73	3	120	I + IV	F	-	-	-			
	第70図157	7J-32-1009	剥片	硬質頁岩	17	51.28	28.99	4.06	2.87	7(4)	96	I	F	N	-	-		
	第69図144	7J-32-1010	ナイフ形石器	嶺岡頁岩	7	33.14	15.13	5.57	2.74	1	94	I	F	N	-	-		調整角78~88
		7J-32-1011	剥片	安山岩A	1	33.01	22.32	6.92	3.86	L	-	I + III	-	-	H	-		
7J-32-1012		剥片	チャート	6	10.80	15.62	5.88	0.46	L	-	I + III	O	-	-	-			
第69図149	7J-32-1013	剥片	ホルンフェルス	8	24.19	32.34	7.82	5.19	1	126	I + II + III	H	-	-	-			
	7J-33-1001	二次加工剥片	硬質頁岩	3	62.88	47.89	8.55	23.25	7(2)	100	I + III + IV	-	N	H	-		調整角58~64	
第69図147	7J-33-1002	剥片	硬質頁岩	15	15.66	19.82	4.14	1.26	C	124	I + II + III	O	-	-	-			
	7J-33-1003	ナイフ形石器	安山岩B	1	36.95	14.65	8.85	3.62	-	-	I	F	-	-	+		調整角76~98	
	7J-33-1004	楔形石器	黒曜石	5	10.15	20.37	7.57	0.99	-	-	-	-	-	-	+			
	7J-33-1005	剥片	安山岩A	1	28.98	24.12	8.24	4.67	2	114	II + III + V	F	-	-	-			
第69図155	7J-33-1006	剥片	硬質頁岩	8	28.32	34.79	6.80	4.55	1	126	I + II + V	F	N	-	-			

挿入番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第69図150	7J-33-1007	楔形石器	安山岩A	1	30.49	25.87	7.42	5.98	-	-	-	-	-	-	-	
	7J-33-1008	剥片	硬質頁岩	15	15.54	19.00	4.37	0.83	2	88	I+III+V	F	-	-	-	
	7J-33-1009	剥片	玉髓	13	19.17	14.19	11.79	1.84	1	122	I+V	S	-	-	-	
	7J-33-1010	剥片	安山岩A	1	20.69	20.87	5.12	1.48	L	-	I+II+III	S	-	-	-	
	7J-33-1011	剥片	安山岩B	1	28.91	26.21	10.19	5.05	1	110	I+II+IV	F	-	-	-	
第72図166	7J-33-1012	剥片	安山岩B	1	20.19	11.96	3.28	0.67	-	-	I	H	-	B	-	
	7J-33-1013	台石	チャート	22	90.15	62.42	39.89	262.92	-	-	-	-	S, H	-	-	
第70図162	7J-33-1014	石核	硬質頁岩	18	32.62	22.70	17.76	12.31	-	60~78	-	-	-	-	-	
	7J-33-1015	剥片	安山岩B	1	25.24	26.32	6.79	2.57	L	-	I+II	F	-	-	-	
第71図165d	7J-33-1016	剥片	安山岩A	11	15.15	17.14	5.85	1.03	1	104	I	S	-	-	-	
	7K-20-1002	剥片	珪質頁岩	11	17.30	17.86	4.92	0.97	L	-	I+II	F	-	-	-	73
	7K-20-1003	剥片	安山岩A	3	33.43	39.33	9.62	9.22	1	124	I+V	F	-	L	-	
第71図165c	7K-20-1004	剥片	黒曜石	5	19.00	8.07	3.77	0.42	1	106	I+II	-	-	H	-	
	7K-20-1005	楔形石器	珪質頁岩	11	25.83	21.53	14.49	7.17	-	-	-	-	-	-	-	73
第69図154	7K-20-1006	剥片	安山岩A	1	23.66	25.23	8.02	3.66	1	126	I+III	F	N	L	-	
第71図165a	7K-20-1007	剥片	珪質頁岩	11	23.65	10.92	4.89	1.02	-	-	I+II+III	H	-	B	-	73
	7K-30-1003	礫	砂岩	18	18.40	15.52	4.91	1.42	-	-	-	-	H	-	-	
第69図146	7K-30-1004	ナイフ形石器	安山岩B	1	34.71	17.80	7.74	4.27	-	-	I	-	-	-	+	調整角86
	7K-30-1005	剥片	安山岩A	20	26.04	32.93	9.68	6.61	1	126	I+II+V	F	-	-	-	
第69図152	7K-30-1006	剥片	安山岩A	20	21.45	22.49	4.79	1.84	L	-	I+II+III	H	-	-	-	
	7K-30-1007	楔形石器	玉髓	13	36.59	23.17	7.04	4.41	-	-	-	-	-	-	-	
第71図165b	7K-30-1008	楔形石器	珪質頁岩	11	21.78	24.48	4.32	2.05	-	-	-	-	-	-	-	73
第69図151	7K-30-1009	楔形石器	安山岩A	1	30.78	18.32	8.49	5.12	-	-	-	-	-	-	-	
	7K-30-1010	剥片	安山岩A	1	20.12	24.07	6.62	2.85	-	-	I+II+III	F	-	-	-	
第69図148	7K-30-1011	剥片	安山岩A	1	22.86	29.33	8.17	4.44	2	118	I	-	-	H	-	
	7K-30-1012a	二次加工剥片	珪質頁岩	21	19.55	13.48	5.26	0.93	1	86	I+II+V	F	-	-	-	調整角60
第69図153	7K-30-1012b	剥片	安山岩A	1	11.64	15.31	2.42	0.37	-	-	I	F	-	B	-	
	7K-30-1013	剥片	安山岩A	1	18.60	23.15	6.08	2.40	L	-	I	-	-	H	-	
	7K-30-1014	剥片	硬質頁岩	15	24.95	33.31	13.43	8.92	L	-	I+II+V	O	-	-	-	
	7K-30-1015	楔形石器	硬質頁岩	15	25.34	19.11	4.02	1.60	-	-	-	-	-	-	-	
	7K-30-1016	剥片	安山岩A	1	24.18	32.81	9.03	7.16	1	104	I+V	S	-	-	-	

第57表 第16ブロック出土石器属性表

挿入番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第75図168	7K-20-1001	剥片	ホルンフェルス	3	50.72	28.40	7.73	10.83	-	-	I+III+V	-	-	VM	
	7K-20-1008	剥片	安山岩A	1	34.57	28.58	6.07	6.90	L	-	II+V	F	-	-	
	7K-21-1004	剥片	頁岩	23	12.48	11.62	2.47	0.30	-	-	IV	F	-	B	
	7K-21-1005	剥片	チャート	17	16.60	12.85	3.34	0.61	1	116	I+II	-	-	RH	
	7K-21-1006	楔形石器	チャート	26	21.99	36.16	14.76	10.26	-	-	-	-	-	-	
第75図167	7K-30-1001	剥片	砂岩	7	15.91	14.42	4.11	0.99	L	-	III+V	F	-	-	
第76図173d	7K-30-1002	二次加工剥片	玉髓	1	18.66	28.11	6.87	2.96	1	-	I+III+V	S	-	-	調整角62
第75図171	7K-31-1020	剥片	頁岩	22	12.01	18.52	5.93	1.28	-	-	I	S	H	B	74
	7K-31-1021	剥片	玉髓	1	27.24	13.34	7.51	2.67	C	88	I+III	O	-	R	
第75図172b	7K-31-1022	剥片	砂岩	7	19.18	54.69	17.15	17.33	-	104	-	-	-	-	75
	7K-31-1023	剥片	ホルンフェルス	23	39.94	23.42	9.40	6.14	1	116	I+II+III	F	-	-	76
第75図169	7K-31-1025	剥片	珪質頁岩	2	25.90	51.47	7.53	9.41	4	126	I+III	H	N	-	
	7K-31-1026	剥片	嶺岡頁岩	9	24.72	21.24	7.77	2.77	1	110	I+III	H	-	-	
第75図172a	7K-31-1027	剥片	ホルンフェルス	23	56.10	37.75	12.49	20.94	C	94	I+II	O	-	R	76
第76図173e	7K-31-1028	剥片	頁岩	22	15.93	18.71	5.66	1.21	L	-	I+III	F	H	-	74
	7K-31-1029	剥片	ホルンフェルス	24	13.13	9.47	2.62	0.34	1	98	I	H	-	R	
第76図173c	7K-31-1030	剥片	頁岩	22	14.87	14.83	4.08	0.81	1	126	I	S	H	-	74
第76図173a	7K-31-1031	剥片	頁岩	22	21.75	34.13	13.26	8.12	1	78	I+II+III+V	S	H	R	74
第76図173f	7K-31-1032	石核	頁岩	22	28.51	38.47	30.15	36.54	-	54~62	-	-	H	-	74
	7K-31-1033	剥片	頁岩	22	9.60	9.27	5.18	0.26	1	102	-	F	-	R	
第76図173b	7K-31-1034a	剥片	嶺岡頁岩	6	46.51	51.15	14.24	24.77	1	128	I+II+III	S	-	-	77
	7K-31-1034b	剥片	嶺岡頁岩	6	7.84	15.73	3.51	0.29	1	130	I+II	F	-	-	77
	7K-31-1035	剥片	頁岩	22	21.30	16.81	7.89	2.53	-	-	II+V	S	H	L	74
	7K-31-1036	剥片	頁岩	22	19.51	16.42	4.75	1.28	1	102	I+III	H	-	-	
	7K-31-1037	剥片	頁岩	22	21.28	15.51	6.80	2.21	1	96	I+III+V	S	-	-	
	7K-31-1038	剥片	安山岩A	1	12.15	14.66	4.83	0.72	2	104	III+V	H	-	-	
	7K-31-1039	剥片	頁岩	23	11.44	13.63	3.75	0.54	1	102	III+IV	-	-	-	末端部ガジリ
	7K-31-1040	剥片	チャート	17	24.50	10.91	7.97	1.73	-	-	I+II+III	F	-	B	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第56図105b	7K-31-1041	剥片	チャート	27	25.53	13.80	6.18	1.44	-	II+III	F	-	B	59	ブロック間接合	
	7K-31-1042	剥片	チャート	28	17.72	16.11	6.59	1.35	C	90	H	-	L			
	7K-31-1044	剥片	頁岩	23	35.22	32.78	8.05	6.20	1	110	F	-	-			
	7K-31-1045	剥片	嶺岡頁岩	6	17.78	21.55	4.40	1.59	2	120	H	-	-			
	7K-31-1046	剥片	安山岩A	1	13.04	18.04	3.67	0.88	-	-	I+II+III	S	-			B
	7K-31-1047	剥片	安山岩A	1	25.68	29.09	4.86	2.52	C	92	II+III	F	-			-
	7K-31-1048	剥片	安山岩A	21	26.14	25.38	11.69	6.32	1	114	I+III	O	-			-
第75図170	7K-31-1049	剥片	安山岩A	1	35.41	32.71	9.67	12.19	-	-	I+III+V	S	-	B		
	7K-31-1050	剥片	安山岩A	1	16.95	10.04	2.71	0.41	2	110	I	S	-	-		
	7K-31-1051	剥片	安山岩A	1	20.08	12.35	5.14	1.09	1	126	I+III	F	-	R		
	7K-31-1052	石核	安山岩B	3	34.20	57.62	15.52	28.42	-	74~76	-	-	-	-		
	7K-31-1053	剥片	安山岩A	1	25.16	17.37	5.71	1.97	-	-	II+III+V	S	-	B		
	7K-31-1054	剥片	安山岩A	1	41.33	33.53	12.63	16.19	3(2)	130	I+III+V	H	-	-		
	7K-32-1016	剥片	安山岩A	1	13.00	18.47	5.35	1.22	-	-	I+III+V	F	-	-		
	7K-32-1017	剥片	チャート	25	40.43	52.68	10.30	18.26	C	110	I+II+IV+V	-	-	H	78	

第58表 第17ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剝離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第79図175	7K-32-1001	二次加工剥片	頁岩	24	29.13	10.31	4.60	1.27	-	I+V	-	-	M	調整角74	
	7K-32-1002	剥片	砂岩	20	22.12	13.35	6.36	1.54	1	80	H	H	L		
第79図176	7K-32-1003	剥片	チャート	29	45.75	34.75	11.28	18.85	1	108	I+III+V	F	-	-	
	7K-32-1004	楔形石器	黒曜石	6	16.19	14.95	6.47	1.37	-	-	-	-	-	-	
	7K-32-1007	剥片	チャート	25	50.55	32.41	8.64	16.40	3	124	III+V	H	-	-	
	7K-32-1011	剥片	砂岩	19	29.55	27.47	10.85	5.72	C	76	I	S	-	-	
	7K-32-1012a	剥片	黒曜石	6	8.52	6.23	5.13	0.24	-	-	I+III	O	-	B	
	7K-32-1012b	剥片	黒曜石	6	6.81	5.26	1.93	0.08	-	-	I+II	F	-	B	
	7K-32-1013	剥片	珪質頁岩	2	21.35	15.03	5.06	1.24	-	-	I	H	-	B	
第79図178	7K-32-1014	剥片	玉髓	4	52.00	31.74	9.00	7.69	C	106	I	F	N	-	
	7K-32-1015	石核	黒曜石	6	13.59	10.48	6.85	0.65	-	68	-	-	-	-	
	7K-33-1004	剥片	チャート	25	31.16	24.40	7.82	4.52	-	-	I+III+V	H	-	-	
第79図177	7K-33-1005	剥片	チャート	25	17.72	9.30	6.28	1.30	-	-	III+V	O	-	B	
	7K-33-1006	剥片	ホルンフェルス	4	25.55	17.06	5.95	2.12	-	-	I+II	F	-	B	
	7K-33-1007	剥片	チャート	25	24.95	10.62	8.66	1.60	-	-	I+III+IV	F	-	B	
	7K-33-1008	剥片	チャート	25	14.91	30.15	4.87	2.17	1	-	I+V	H	N	R	
	7K-33-1009	剥片	チャート	25	18.92	17.58	3.66	0.92	1	-	I	H	-	-	
	7K-33-1010	剥片	頁岩	12	17.57	19.31	4.64	1.38	1	98	I+V	-	-	H	
	7K-33-1011	剥片	チャート	29	21.64	30.67	10.31	4.02	-	-	I+II+III	F	-	B	
	7K-33-1012	剥片	チャート	29	37.63	29.45	11.76	7.43	-	-	I+III+IV	F	-	B	
	7K-33-1013	剥片	ホルンフェルス	4	51.35	18.45	16.84	9.63	1	104	I+II+III	O	-	-	
	7K-33-1014	剥片	チャート	25	39.15	44.22	17.10	18.51	-	-	III+V	O	-	B	78
第79図180	7K-33-1015	剥片	硬質頁岩	21	34.36	42.69	8.03	5.70	2	106	I+III	H	-	-	
	7K-33-1016	剥片	安山岩A	1	30.26	41.27	5.14	6.51	C	108	II+V	S	-	-	
	7K-33-1017	剥片	チャート	25	18.16	20.11	6.46	2.27	L	-	I+III	H	-	-	
	7K-33-1018	石核	チャート	25	26.50	37.59	12.83	10.88	-	84	-	-	-	-	
	7K-33-1019	剥片	チャート	25	12.21	8.52	1.98	0.18	-	-	I	-	-	M	
	7K-33-1020	剥片	頁岩	24	33.51	29.42	5.42	2.43	L	-	I+III+V	F	-	-	
	7K-33-1021	剥片	チャート	25	24.10	20.87	6.23	1.83	-	-	IV+V	-	-	LM	78
第79図174	7K-33-1023	削器	硬質頁岩	21	26.49	36.20	5.05	3.56	1+C	94	I+II+III	-	-	H	
	7K-33-1025	剥片	チャート	25	27.32	23.29	7.34	4.24	-	-	I	S	-	B	
	7K-33-2001	剥片	チャート	25	10.13	12.00	3.92	0.34	1	116	I+III	S	-	-	
第79図179	7K-33-2002	剥片	チャート	25	17.92	19.61	3.63	1.13	-	-	IV	-	-	M	78
	8K-02-1002	剥片	チャート	25	15.87	21.40	4.90	1.56	-	-	I+IV	F	-	B	
	8K-02-1003	剥片	玉髓	12	13.56	15.79	3.09	0.59	L	-	I	S	-	-	
	8K-03-1002	石核	安山岩B	1	20.48	33.11	21.64	11.84	-	78~84	-	-	-	-	
	8K-03-1003	剥片	珪質頁岩	22	39.88	17.53	9.56	4.25	-	-	I+V	F	-	B	
8K-03-1004	剥片	硬質頁岩	14	36.92	25.59	6.68	4.69	2	94	I+V	H	-	-		
8K-03-1005	剥片	玉髓	12	39.33	42.33	16.48	17.43	2	52	I	H	-	-		

第59表 第18ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第81図183	7K-33-1001a	二次加工剥片	頁岩	26	37.29	11.92	5.55	2.38	1	114	I	F	-	-	調整角66~76	
	7K-33-1001b	剥片	玉髓	12	68.19	57.76	22.05	55.37	2	106	I + II + III + V	H	-	R		79
	7K-33-1001c	剥片	玉髓	12	17.24	24.04	7.76	2.64	-	-	III	H	-	B		79
	7K-33-1001d	剥片	玉髓	12	5.65	5.81	8.64	0.22	1	-	IV	-	-	LH		
第81図181	7K-33-1002	剥片	硬質頁岩	8	34.25	38.53	13.53	16.20	1	126	I + II + III	H	-	-	調整角62~88	
	7K-33-1003	削器	硬質頁岩	23	72.72	31.48	11.91	20.84	-	-	I + III + V	H	-	-		
	7L-30-1001	楔形石器	ホルンフェルス	8	30.11	20.92	11.20	6.65	-	-	-	-	-	-		
	7L-30-1002	剥片	チャート	16	34.40	38.11	10.28	9.29	3(1)	100	I	S	-	-		
第81図189	7L-30-1003	剥片	安山岩A	1	38.90	40.69	12.10	17.84	-	-	III + V	S	-	B	調整角66 ブロック間接合	
	7L-30-1004	剥片	ホルンフェルス	8	24.40	19.52	5.91	2.40	1	96	I + III	F	-	-		
	7L-30-1005	敲石	頁岩	25	42.60	54.23	25.81	60.15	-	-	-	S	-	-		
	7L-30-1006	剥片	安山岩A	1	15.21	16.24	3.78	0.71	1	102	I	F	-	-		
第81図184	7L-30-1008	二次加工剥片	安山岩A	1	17.66	33.11	5.36	3.22	2	126	I + III	S	-	-	調整角66	
第40図52b	7L-30-1009	楔形石器	チャート	7	39.87	38.20	17.26	21.48	-	-	-	-	-	27	ブロック間接合	
	7L-30-1010	剥片	安山岩A	1	15.01	8.79	2.22	0.25	L	-	III	S	-	-		
第81図188a	7L-30-1011	剥片	チャート	16	29.80	39.76	9.49	9.80	C	128	I + III + V	F	-	-	80	
	7L-30-1012	剥片	チャート	16	10.19	18.27	5.55	0.84	C	60	III + V	H	-	-		
第81図188b	7L-30-1013	石核	チャート	16	24.73	24.54	9.62	6.16	-	-	-	-	-	80		
第81図186	7L-30-1014	石核	安山岩B	1	33.39	42.02	13.17	10.93	-	74	-	-	-	-		
第81図187	7L-30-1015	石核	硬質頁岩	22	26.38	33.48	12.69	10.03	-	54~66	-	-	H	-		
第81図182	7L-30-1016	削器	硬質頁岩	22	27.40	21.18	11.94	7.68	-	-	I	-	H	-	調整角58~98	
	7L-30-1017	剥片	安山岩A	1	29.31	13.92	4.46	1.35	-	-	I + V	O	-	B		
第81図185	7L-30-1019	剥片	安山岩A	1	38.63	34.97	11.69	11.70	C	104	I + III	F	-	-		
	7L-30-2001	石核	チャート	30	36.16	49.20	28.13	64.40	-	88	-	-	H	-		
	7L-30-2002	剥片	安山岩A	1	28.34	22.99	10.47	4.56	C	110	I	F	-	L		
	7L-30-2003	石核	チャート	31	37.68	35.88	20.06	36.18	-	94	-	-	-	-		

第60表 第19ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	ボジ 面	末端 形状	遺存 部位	欠損	備考
第83図190	7J-32-1014	搔器	安山岩A	12	27.45	26.30	13.08	9.01	-	-	I + II	-	-	-	調整角58~68
	8J-02-1035	剥片	安山岩A	1	12.55	17.26	7.80	1.26	-	-	III	-	H	B	
第83図196	8J-03-1004	剥片	嶺岡頁岩	13	19.93	14.58	5.07	1.06	1	118	I + III + IV	-	H	-	調整角62~68
	8J-03-1006	剥片	安山岩A	1	30.65	27.23	10.82	5.61	7(5)	104	I + III	-	F	-	
	8J-03-1007	剥片	嶺岡頁岩	12	19.23	15.76	4.53	0.82	1	-	I + II	-	F	-	
	8J-03-1008a	石核	安山岩A	7	55.65	43.54	19.85	37.10	-	58~78	-	-	-	-	
第83図191	8J-03-1008b	削器	安山岩A	1	31.09	41.49	7.01	9.23	-	-	III	-	-	VM	調整角62~68
	8J-03-1009	剥片	安山岩A	1	26.53	23.90	7.11	4.54	-	-	II + III + V	-	O	B	
第83図194	8J-03-1010	剥片	安山岩A	1	23.37	11.07	4.31	1.02	C	-	V	-	F	-	調整角94
	8J-03-1011	剥片	安山岩A	1	34.86	21.48	6.04	2.82	L	-	III	O	F	R	
	8J-03-1012	二次加工剥片	安山岩A	1	16.90	24.88	6.70	2.52	1	116	V	-	F	-	
	8J-03-1014	剥片	安山岩A	1	28.32	40.47	8.82	9.81	C	90	I + IV	-	H	-	
	8J-03-1015	剥片	安山岩A	1	10.24	16.21	2.47	0.30	3	104	I + II	-	H	-	
	8J-03-1017	剥片	安山岩A	1	23.84	25.02	7.04	4.24	L	-	I + II + III	-	H	-	
	8J-03-1024	剥片	安山岩A	1	10.28	11.91	2.77	0.30	2	118	III	-	H	-	
	8J-03-1026	剥片	安山岩A	1	7.91	15.92	5.12	0.53	-	-	III	-	O	B	
	8J-03-1032	剥片	安山岩A	1	7.88	7.65	2.49	0.17	1	-	I	-	S	R	
	8J-03-1035	剥片	安山岩B	14	5.76	5.64	3.05	0.12	1	76	I + IV	-	S	-	
	8J-03-1042	剥片	安山岩A	1	12.90	16.72	2.79	0.55	L	-	III + V	-	S	-	
	8J-03-1049	剥片	嶺岡頁岩	11	32.30	32.83	5.26	3.97	-	-	I + II + V	-	F	B	
第83図195	8J-03-1050	剥片	安山岩B	1	5.50	8.52	3.33	0.19	-	-	I	-	F	B	使用痕N
	8J-03-1051	剥片	嶺岡頁岩	10	39.12	28.02	6.66	4.95	2	120	I + III + V	-	H	-	
	8J-03-1052	剥片	頁岩	28	22.58	12.18	6.30	1.43	3	92	I	-	S	-	
	8J-03-1053	剥片	安山岩A	1	14.35	14.71	3.06	0.67	1	114	I + III	-	O	L	
第83図192	8J-03-1054	剥片	ホルンフェルス	2	48.13	28.85	9.33	8.57	3	-	I + III + V	-	S	-	末端部ガジリ
	8J-03-1055	剥片	安山岩B	13	9.09	10.77	3.88	0.37	1	122	I	-	H	-	
	8K-00-1001	楔形石器	安山岩A	1	28.66	44.06	10.18	13.24	-	-	-	-	-	-	
第83図193	8K-00-1002	剥片	安山岩B	1	32.47	18.23	5.64	2.44	1	96	I + III	-	-	-	末端部ガジリ
	8K-00-1006	剥片	頁岩	27	46.25	47.64	16.86	36.42	4	112	I + II + III + V	-	F	-	
	8K-00-1007	楔形石器	安山岩A	1	24.69	14.98	9.16	2.81	-	-	-	-	-	-	

第61表 第20ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第86図197	8J-13-1001	ナイフ形石器	珪質凝灰岩	1 49.80	19.55	9.18	5.71	1	110	I + III	-	-	-		調整角56~82, 欠損
	8J-13-1003	剥片	安山岩A	1 29.09	37.82	8.90	9.05	4(2)	100	I	S	-	-		
	8J-13-1004	剥片	安山岩A	1 23.36	24.25	6.42	2.49	1	116	I + II	F	-	R		
第86図200	8J-13-1005	二次加工剥片	硬質頁岩	24 22.66	21.91	7.40	2.62	-	-	I + II + III	F	N	B		調整角78
	8J-13-1006	剥片	安山岩A	6 16.61	12.82	3.58	0.63	1	120	I + II + III	F	-	-		
	8J-13-1008	剥片	安山岩A	25 31.54	31.00	9.15	9.89	L	-	II + III + V	F	-	-		
	8J-13-1009	剥片	安山岩A	1 42.59	43.19	11.12	13.91	3	126	I + III	H	-	-		
	8J-13-1010	剥片	安山岩A	3 22.93	17.08	4.75	1.67	1	104	I	S	-	-		
第86図202	8J-13-1011	楔形石器	安山岩A	6 23.57	29.00	6.96	5.14	-	-	-	-	-	-		
	8J-13-1012	剥片	安山岩A	1 18.78	47.60	6.71	5.00	-	-	V	H	-	B		
第86図198	8J-13-1013	ナイフ形石器	珪質凝灰岩	2 36.87	20.37	8.21	5.20	-	-	I	-	-	-		調整角76~94, 欠損
第86図204	8J-13-1014	剥片	頁岩	30 23.09	17.66	4.51	1.37	1	120	I + III + V	F	N	-	81	
	8J-13-1015	礫	砂岩	21 52.02	30.05	18.14	31.22	-	-	-	-	H	-		
	8J-13-1016	礫	頁岩	31 44.03	36.84	24.68	43.60	-	-	-	-	H	-		
第86図199	8J-13-1017	ナイフ形石器	ホルンフェルス	26 30.98	16.94	3.95	2.26	-	-	I + II + III	-	-	-		調整角56~80, 欠損
	8J-13-1018	礫	砂岩	22 45.67	39.81	21.94	34.90	-	-	-	-	H	-		
	8J-13-1019	礫	砂岩	23 24.89	24.51	17.10	8.15	-	-	-	-	H	-		
第87図209	8J-13-1020	石核	安山岩A	1 47.28	43.84	15.90	29.63	-	54	-	-	-	-		
	8J-23-1001	剥片	安山岩A	1 40.44	41.18	8.57	12.00	5(3)	130	I + III	F	-	-		
	8J-23-1002	剥片	安山岩A	1 15.89	14.96	3.72	0.65	1	106	I + III	H	-	-		
	8J-23-1003a	剥片	安山岩A	6 13.69	7.92	2.71	0.12	P	-	I + II	F	-	-		
	8J-23-1003b	剥片	安山岩A	6 5.13	10.15	3.10	0.14	1	92	III	F	-	-		
	8J-23-1004	剥片	安山岩A	1 22.54	46.95	8.80	8.32	5(3)	116	I + III + IV	S	-	-		
	8J-23-1005	剥片	硬質頁岩	1 28.42	22.42	6.80	2.29	4	102	I + II	-	-	H		
	8J-23-1006	剥片	安山岩A	6 13.17	9.51	5.11	0.55	-	-	III + V	S	-	B		
	第86図203	8J-23-1007	楔形石器	安山岩A	6 20.59	25.93	6.94	3.13	-	-	-	-	-	-	
		8J-23-1008	剥片	安山岩A	6 8.81	11.96	3.23	0.23	1	112	I	H	-	-	
8J-23-1009		剥片	安山岩A	1 24.46	20.66	7.07	2.11	C	96	I + III	H	-	-		
8J-23-1010		剥片	安山岩A	1 24.23	16.52	7.68	2.08	1	116	I + II	H	-	L		
第86図201	8J-23-1011	楔形石器	安山岩A	1 30.07	37.13	13.33	12.78	-	-	-	-	-	-		
	8J-23-1012	剥片	安山岩A	1 25.10	23.32	7.31	3.55	C	112	I + II + III	F	-	R		
第87図207	8J-23-1013	石核	安山岩A	1 36.68	38.83	24.38	24.29	-	68	-	-	-	-		
第86図206a	8J-23-1014	剥片	安山岩A	1 27.06	31.22	16.07	14.03	3	106	I + III + V	-	-	H	82	
	8J-23-1015	剥片	安山岩A	1 24.12	10.08	4.15	0.93	C	102	I + III	H	-	R		
	8J-23-1016	剥片	安山岩A	6 18.80	17.49	4.91	1.12	2	120	I + III	F	-	-		
	8J-23-1017	剥片	安山岩A	1 18.38	11.39	6.09	1.18	1	116	II + III	S	-	-		
	8J-23-1018	礫	頁岩	32 37.58	21.12	15.94	8.29	-	-	-	-	H	-		
	8J-23-1019	剥片	安山岩A	6 10.53	16.65	5.24	0.36	1	94	I	F	-	-		
	8J-23-1021	剥片	安山岩A	1 14.59	13.83	2.60	0.45	L	-	II + III	F	-	-		
	8J-23-1022	剥片	安山岩A	1 29.28	29.47	9.84	7.58	1	104	I + III	F	-	-		
	8J-23-1023	礫	流紋岩	14 42.28	41.48	13.81	24.41	-	-	-	-	H	-		
	8J-23-1024	礫	砂岩	21 45.98	31.93	9.24	9.17	-	-	-	-	H	-		
第86図206b	8J-23-1025	剥片	安山岩A	1 12.43	11.97	1.88	0.23	L	-	I	F	-	-		
	8J-23-1026	剥片	安山岩A	1 21.60	29.22	12.89	6.49	-	-	I + V	H	-	B	82	
	8J-23-1027	礫	チャート	33 32.61	19.93	12.88	7.70	-	-	-	-	H	-		
	8J-23-1028	礫	チャート	32 41.68	25.00	20.30	27.26	-	-	-	-	H	-		
	8J-23-1029	剥片	安山岩A	1 31.24	21.49	7.77	4.30	1	102	I + III + V	H	-	-		
	8J-23-1030	礫	砂岩	21 35.08	19.80	13.71	7.19	-	-	-	-	H	-		
	8K-10-1001	剥片	安山岩B	15 9.16	7.93	2.58	0.18	L	-	I + V	H	-	-		
	8K-10-1002	剥片	黒曜石	7 14.33	20.10	3.81	0.99	2	104	I	S	-	-		
	8K-10-1003	剥片	安山岩A	1 17.55	18.97	6.47	1.65	3	88	III + V	F	-	-		
	第86図206c	8K-10-1004	剥片	安山岩A	1 39.20	23.46	11.27	11.55	C	74	I + III + V	F	N		-
8K-20-1001		剥片	頁岩	29 12.84	10.45	2.74	0.28	1	-	V	F	-	R		
8K-20-1002		剥片	安山岩A	26 22.10	16.32	4.05	1.25	1	-	I + III	F	-	L		
8K-20-1003a		剥片	安山岩A	6 18.32	6.82	2.78	0.23	L	-	I + III	H	-	-		
8K-20-1003b	剥片	ホルンフェルス	25 13.52	9.94	1.33	0.18	L	-	I	F	-	-			
8K-20-1004	剥片	ホルンフェルス	25 25.94	31.37	6.63	3.92	L	-	I + III + IV + V	H	-	-			
8K-20-1005	剥片	安山岩A	1 9.62	15.86	2.20	0.33	2	118	I	S	-	-			
8K-20-1006	剥片	頁岩	29 20.62	17.91	4.00	1.62	1	94	III + V	F	-	L	83		
8K-20-1007	剥片	ホルンフェルス	25 34.46	44.96	14.87	15.75	1	118	I + V	S	-	-			
第87図208	8K-20-1008	石核	ホルンフェルス	25 51.80	65.01	24.77	89.21	-	66~88	-	-	-	-		
	8K-20-1009	剥片	安山岩B	1 18.64	15.88	6.24	1.27	1	124	I + III + V	F	-	-		
第86図205b	8K-20-1010	剥片	珪質頁岩	23 48.52	34.88	15.56	21.82	2	136	I + V	F	-	-		
	8K-20-1011	剥片	ホルンフェルス	25 24.27	13.22	6.37	2.02	1	134	I + III	H	-	R	84	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第86図205a	8K-20-1012	剥片	ホルンフェルス	25	17.66	12.22	4.12	0.78	1	132	III+V	H	-	L	84
	8K-20-1013	剥片	安山岩B	1	27.14	22.08	11.02	3.78	1	136	I+III	H	-	-	
	8K-20-1014	剥片	ホルンフェルス	25	23.95	19.98	6.06	2.29	1	134	I+III	H	-	L	
	8K-20-1015	礫	砂岩	24	29.73	18.73	11.71	6.27	-	-	-	-	-	-	
	8K-20-1016	剥片	安山岩A	27	24.85	7.30	2.42	0.43	-	-	I	-	-	B	

第62表 第21ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第27図2b	8K-11-1001	剥片	安山岩A	1	11.46	15.77	2.82	0.36	L	-	I+III+V	F	-	-	84
	8K-11-1002	剥片	頁岩	9	22.88	13.02	5.61	1.79	1	124	I	-	-	-	
	8K-11-1003	剥片	頁岩	34	43.28	25.35	15.88	12.45	1	110	I+V	H	-	-	
	8K-11-1004	剥片	玉髓	1	26.34	31.30	7.61	4.64	L	-	II+III+V	F	-	-	
	8K-11-1005	剥片	安山岩A	1	34.31	50.09	9.11	13.45	C	116	I+V	H	-	-	
	8K-11-1006	剥片	頁岩	9	33.56	28.51	10.37	7.89	1	120	I+V	F	-	-	
	8K-11-1007	礫	安山岩A	29	64.54	44.40	36.35	122.05	-	-	-	-	-	-	
	8K-13-1001	剥片	玉髓	14	32.55	31.25	11.59	6.33	3	118	I+III	F	-	-	
	8K-13-1002	剥片	玉髓	14	46.00	30.39	12.02	13.41	3(1)	110	I+V	H	-	-	
	8K-13-1004	剥片	安山岩A	1	14.89	18.72	4.22	0.54	1	128	III	-	-	R	
	8K-13-1005	剥片	流紋岩	1	25.62	22.21	7.33	2.39	1	142	III	S	-	-	
	8K-13-1006	剥片	頁岩	33	14.28	9.60	4.81	0.60	-	-	I+V	H	-	B	
	8K-13-1007	石核	玉髓	15	5.28	13.09	8.19	0.34	-	72	-	-	-	-	
	8K-13-1008	剥片	流紋岩	1	43.19	34.50	14.64	11.65	1	90	I+III+IV	O	-	-	
	8K-13-1009	剥片	流紋岩	1	17.13	17.30	8.18	1.54	-	-	I+IV	-	-	VM	
	8K-13-1010	剥片	流紋岩	1	8.09	10.94	5.68	0.29	1	104	I+II	F	-	-	
	8K-13-1011	剥片	硬質頁岩	25	16.30	19.19	9.81	1.72	8(6)	98	I+II	H	-	-	
8K-13-2001	楔形石器	黒曜石	5	8.58	5.53	2.26	0.11	-	-	-	-	-	-		
8K-21-1001a	楔形石器	砂岩	27	31.91	38.09	14.67	21.28	-	-	-	-	H	-		
8K-21-1001b	剥片	安山岩B	17	8.69	8.72	3.76	0.25	1	104	I+III	F	-	-		
8K-21-1002	楔形石器	安山岩A	1	23.90	21.33	7.82	3.27	-	-	-	-	-	-		
8K-21-1003	剥片	安山岩A	20	22.17	21.25	5.65	2.67	1	114	III+V	-	-	H		
8K-21-1004	礫	チャート	34	20.84	19.94	9.03	4.53	-	-	-	-	H	-		
8K-21-1005a	剥片	珪質頁岩	24	36.57	35.33	13.87	17.25	1	116	I+II+III	O	-	-		
8K-21-1005b	剥片	珪質頁岩	24	16.49	7.72	3.09	0.26	-	-	III+V	S	-	B		
8K-21-1006	剥片	安山岩A	1	27.61	23.76	8.72	5.12	2	118	I+V	F	-	R		
8K-21-1007	楔形石器	安山岩A	28	34.77	34.51	9.07	11.48	-	-	-	-	-	-		
8K-21-1008	礫	流紋岩	16	98.30	82.27	64.41	640.00	-	-	-	-	H	-		
8K-21-1009	剥片	安山岩A	1	25.82	17.89	7.50	3.02	-	-	III+V	S	-	B		
8K-21-1010	剥片	安山岩A	1	24.71	20.47	4.86	1.86	L	-	I+V	F	-	-		
8K-21-1011	楔形石器	珪質頁岩	11	21.33	24.41	10.28	4.34	-	-	-	-	-	-		
8K-22-1003	楔形石器	安山岩A	1	23.36	13.86	7.36	2.31	-	-	-	-	-	-		
8K-22-1004	剥片	安山岩A	20	33.95	27.91	7.60	6.08	L	-	V	F	-	-		
8K-22-1005	礫	ホルンフェルス	27	12.55	9.23	6.15	0.93	-	-	-	-	H	-		
8K-22-1006	剥片	流紋岩	15	24.27	38.10	12.10	8.07	-	-	V	H	-	B		
8K-22-1007	剥片	流紋岩	15	15.08	17.40	8.24	0.95	-	-	II+III	H	-	B		
8K-22-1011	剥片	安山岩B	1	20.55	21.79	3.84	1.19	L	-	I+II	S	-	-		
8K-22-1012	剥片	安山岩B	1	22.03	22.39	10.12	4.48	1	82	I+V	H	-	-		
8K-22-1013	剥片	砂岩	28	30.98	40.56	7.67	8.10	1	104	V	F	-	-		
8K-22-1015	剥片	安山岩A	1	25.59	17.98	7.10	3.15	1	126	I+II	F	-	L		
8K-22-1016	剥片	安山岩A	1	24.24	29.82	7.19	4.23	1	122	I+IV	S	-	-		
8K-23-1001	剥片	珪質頁岩	26	27.76	31.69	3.80	2.06	1	110	I+III	F	N	-		
8K-23-1002	剥片	珪質頁岩	16	42.71	18.14	8.08	2.96	-	-	I	F	N	B		
8K-31-1003	剥片	安山岩A	20	35.10	31.83	6.07	6.73	C	106	I+II+III	F	-	-		
8K-31-1004	剥片	玉髓	4	26.65	19.94	9.03	3.85	1	134	I+III	O	-	-		
8K-31-1005	剥片	頁岩	33	10.41	9.74	7.89	0.50	1	92	I+III+IV+V	O	-	-		
8K-31-1007	石核	安山岩A	28	59.75	50.57	17.19	35.71	-	68	-	-	N	-		
8K-31-1008	剥片	安山岩B	16	35.47	17.80	5.67	3.06	1	114	I	S	-	R		
8K-31-1009	楔形石器	ホルンフェルス	2	32.79	25.28	7.85	4.52	-	-	-	-	-	-		
8K-32-1002	剥片	砂岩	25	31.86	26.59	6.06	4.53	C	110	II+V	F	-	-		
8K-32-1004	二次加工剥片	玉髓	1	37.61	14.43	8.38	2.93	3	126	I+III+IV	F	-	R		
8K-32-1005	剥片	安山岩A	1	25.01	28.33	7.77	5.46	1(1)	126	I+V	F	-	-		
8K-32-1006	剥片	頁岩	9	34.69	28.85	12.79	9.77	2	82	I+II	F	-	-		
8K-32-1007	剥片	頁岩	9	33.34	20.70	7.88	3.18	P	-	I+II	F	-	L		
8K-32-1009	石核	安山岩A	20	34.93	43.74	19.66	33.91	-	74~88	-	-	-	-		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第90図210 第91図219	8K-32-1012	礫	砂岩	25	39.53	30.95	22.10	-	-	-	-	H	-		調整角68~86
	8K-33-1006	削器	硬質頁岩	26	76.43	36.24	14.72	32.80	1	108	I + II + III	0	N	-	
	8K-33-1007	石核	硬質頁岩	25	43.81	66.70	12.84	28.50	-	66	-	-	N	-	
第90図211	8L-10-1001	剥片	ホルンフェルス	2	32.10	49.54	16.45	18.10	-	-	I + III	-	-	VM	調整角76
	8L-10-1002	剥片	安山岩A	20	39.20	34.19	7.10	8.54	1	112	I + V	F	-	-	
	8L-10-1003	剥片	流紋岩	1	7.07	9.87	4.91	0.27	L	-	II + III	F	-	-	
	8L-20-1001	二次加工剥片	砂岩	26	67.92	40.36	24.40	49.67	2	106	I	F	-	-	
	8L-20-1002	礫	安山岩C	6	102.08	66.01	58.88	345.00	-	-	-	-	H	-	
第90図218 第91図223	8L-20-1003	剥片	安山岩A	20	46.70	41.43	12.60	19.72	2(1)	116	III + V	H	N	-	
	9K-02-1002	台石	珪質頁岩	25	74.76	63.42	40.10	220.32	-	-	-	-	S	-	

第63表 第22ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第93図225b	8J-33-1002	礫	砂岩	29	41.92	33.38	20.27	35.76	-	-	-	-	H		原位置不明
	8J-33-1004	剥片	安山岩A	30	51.05	33.09	10.89	9.88	1	114	I + II + III	0	-		
	8J-33-1005	剥片	安山岩B	18	11.97	11.08	3.20	0.42	L	-	I	S	-		
第93図225b	9J-02-1001	礫	砂岩	30	40.86	32.69	18.17	14.39	-	-	-	-	H		86
	9J-02-1002	礫	チャート	38	24.12	18.63	14.24	5.63	-	-	-	-	H		
第93図226b	9J-03-1001	剥片	チャート	35	19.68	16.94	3.91	1.16	L	-	I + III + V	F	-		87
	9J-03-1002	礫	砂岩	31	17.18	15.67	7.12	1.87	-	-	-	-	H		
第93図226c	9J-03-1003	剥片	頁岩	11	14.56	17.84	3.25	0.80	L	-	I + IV	H	-		87
	9J-03-1004	剥片	頁岩	11	28.12	20.48	5.88	2.58	2	120	I + III + V	F	-		
第93図226d	9J-03-1005	石核	頁岩	11	31.42	38.62	19.92	23.65	-	62~72	-	-	-		87
第93図225a	9J-03-1006	剥片	チャート	35	16.04	20.28	7.23	1.66	7(3)	106	I + III + V	H	-		86
第93図225c	9J-03-1007	剥片	チャート	35	40.79	30.79	9.27	10.96	1	132	I + V	H	N		86
	9J-03-1008	礫	チャート	37	35.55	16.46	11.79	8.22	-	-	-	-	H		
第93図225e	9J-03-1009	剥片	チャート	35	11.96	19.24	4.10	0.77	5(2)	130	I + V	H	-		86
	9J-03-1010	剥片	チャート	35	29.31	20.84	13.26	5.84	1	94	I + V	H	-		
第93図225f	9J-03-1012	石核	チャート	35	41.47	40.29	18.01	32.24	-	50~80	-	-	-		86
第93図226a	9J-03-1013	剥片	チャート	35	18.01	23.85	8.45	2.97	2	108	I + V	F	N		86
第93図227	9J-03-1014	剥片	頁岩	11	20.66	14.84	4.42	1.40	1	114	I + V	H	-		87
	9J-03-1015	剥片	頁岩	11	20.40	24.33	7.25	3.47	1	130	I + V	F	-		
第61図129d	9J-03-1016	敲石	ホルンフェルス	28	63.35	43.59	23.16	84.00	-	-	-	-	S		
第93図224	9J-03-2001	石核	頁岩	11	43.44	35.93	33.10	64.69	-	80	-	-	-		66 ブロック間接合
	9K-00-1002	礫	チャート	36	38.29	34.97	27.29	36.71	-	-	-	-	H		
	9K-00-1003	石核	黒曜石	8	13.61	25.47	12.00	2.61	-	52~58	-	-	-		

第64表 第23ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	調整角	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
第94図228	9K-01-1001	礫	安山岩C	7	45.15	28.98	24.86	-	-	-	-	-	H	-	
	9K-01-1003	剥片	安山岩A	31	37.22	25.83	10.52	8.53	-	I + III + V	S	-	-	B	
	9K-01-1004	礫	砂岩	32	114.32	80.08	61.68	575.00	-	-	-	-	-	H	-
	9K-02-1001	削器	硬質頁岩	27	33.68	40.63	12.65	13.72	P	I + III + V	F	54~68	-	-	

第65表 第24ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	遺存 部位	接合	備考
	15J-10-1001a	剥片	ホルンフェルス	29	65.78	44.76	13.77	46.18	C	120	I + IV + V	S	-	
	15J-10-1001b	剥片	玉髓	16	34.80	29.68	7.67	4.57	-	-	I + III	H	L	
	15J-21-1001	剥片	玉髓	16	43.02	28.10	10.51	5.02	L	-	I + III	-	H	88
	15J-21-1002	剥片	玉髓	16	29.10	47.86	17.22	12.53	-	-	I + II	H	B	
	15J-21-1003	剥片	玉髓	16	14.47	15.64	8.05	0.95	-	-	III	H	B	88
	15J-21-1004	剥片	玉髓	16	18.08	14.95	5.96	0.58	-	-	I + II + III	0	B	

第66表 第25ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
	16J-01-1001	剥片	黒曜石	9	18.01	15.48	5.11	1.13	-	-	I	-	-	VM
	16J-01-1002	剥片	黒曜石	9	23.25	16.03	6.82	2.01	16(12)	106	I	S	-	R

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
第95図229	16J-01-1003	剥片	玉髓	17	39.11	34.88	10.29	9.49	5	104	I + II	F	-	-
	16J-01-1004	二次加工剥片	珪質頁岩	27	21.62	6.59	3.77	0.49	-	-	I	-	N	VM
	16J-01-1005	剥片	玉髓	17	14.80	29.12	8.15	2.17	2	74	III + V	F	-	-
	16J-01-1006	剥片	黒曜石	9	35.14	33.83	14.51	17.62	7(5)	120	I + III + V	-	-	H
	16J-01-1007	剥片	黒曜石	9	29.17	25.14	9.14	6.19	-	-	I + V	F	-	B
	16J-01-1008	剥片	玉髓	18	21.01	13.75	4.71	1.03	-	-	I + V	F	-	B

第67表 第26ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第98図238	16I-33-1002	剥片	黒曜石	11	19.75	23.00	5.52	0.86	-	-	I + III	F	-	B	分布図に点無し 打面部末端部ガジリ	
	16I-33-1003	剥片	チャート	41	55.23	40.50	23.85	54.86	3	70	IV + V	F	-	-		
	17I-03-1001	石核	頁岩	39	43.60	43.94	23.55	43.90	-	56	-	-	-	-		
	17I-03-1003	剥片	頁岩	38	11.66	20.31	5.49	1.02	-	-	I + II + III	-	-	-		
	17I-03-1004	剥片	チャート	40	31.61	17.03	6.20	3.08	2	134	I + II + III	H	-	L		
	16J-12-1001	剥片	玉髓	16	26.91	37.54	14.85	5.90	1	100	I + III	H	-	-		
	16J-20-1002	剥片	黒曜石	10	12.12	14.98	2.31	0.37	L	-	II	F	-	-		
	16J-21-1001	剥片	流紋岩	18	20.96	18.83	8.05	1.65	4(2)	88	I + V	H	-	-		
第98図237b	16J-21-1002	剥片	頁岩	42	51.77	37.11	11.77	20.51	1	112	I + V	-	-	-	末端部ガジリ	
	16J-21-1003	礫	黒曜石	14	22.57	12.84	11.47	4.49	-	-	-	-	H	-		
	16J-21-1004	剥片	硬質頁岩	28	35.04	39.75	11.71	13.08	-	-	I + II + III + V	F	-	B	89	
	16J-30-1001	剥片	安山岩B	19	11.85	10.34	8.93	0.93	-	-	I	-	-	VM		
	16J-30-1002	剥片	黒曜石	12	8.69	7.82	1.84	0.09	-	-	I + V	-	-	VM		
	16J-30-1003	石核	黒曜石	12	14.41	10.31	5.23	0.67	-	92	-	-	-	-		
	16J-30-1004	礫	チャート	39	121.77	77.03	43.32	520.00	-	-	-	-	H	-	90	
	16J-30-1005	二次加工剥片	安山岩A	3	38.83	43.48	11.34	19.28	1	140	V	F	-	-	調整角58	
第98図231	16J-30-1006	礫	チャート	39	41.04	22.71	17.51	18.99	-	-	-	-	H	-	90	
	16J-30-1007	礫	チャート	39	32.68	15.73	9.18	3.66	-	-	-	-	H	-	90	
	16J-30-1008	剥片	頁岩	40	40.55	33.26	7.89	8.63	1	114	I	H	-	-		
	16J-30-1009	二次加工剥片	安山岩A	3	40.20	54.00	12.59	23.36	1	112	I + III + V	F	-	-	調整角64	
	第98図237a	16J-31-1001a	剥片	ホルンフェルス	2	35.89	33.41	11.70	12.06	2(1)	98	I + III + V	F	-	-	
		16J-31-1001b	剥片	頁岩	36	9.41	10.97	2.71	0.34	-	-	I + IV	S	-	B	
		16J-31-1002	剥片	硬質頁岩	28	25.50	23.04	11.07	6.16	2	130	I + III	-	-	H	89
		16J-31-1003	剥片	嶺岡頁岩	5	18.71	18.81	4.84	1.25	-	-	I + V	-	-	VM	
16J-31-1004		剥片	黒曜石	11	36.16	33.50	13.50	11.34	2+C	126	I + V	H	-	-		
16J-31-1005		剥片	硬質頁岩	28	25.30	27.55	11.26	4.46	5(2)	116	I	H	-	-		
16J-31-1006a		剥片	珪質頁岩	28	28.86	25.41	6.91	4.01	2	118	I + II	H	-	-	91	
16J-31-1006b		剥片	珪質頁岩	28	11.67	17.76	2.85	0.50	-	-	I	S	-	-	91	
第98図233	16J-31-1007	剥片	硬質頁岩	28	32.74	29.41	9.80	6.23	3(1)	134	III	H	-	-	打面部ガジリ	
	16J-31-1008	二次加工剥片	嶺岡頁岩	5	19.46	27.96	5.20	2.32	-	-	V	F	-	B	調整角68~70	
	16J-31-1009a	剥片	頁岩	37	25.90	25.96	6.25	2.88	1	120	I + III	H	-	-		
	16J-31-1009b	剥片	頁岩	37	10.23	17.84	3.45	0.48	-	-	I + III	S	-	B		
	16J-31-1010	剥片	頁岩	35	35.30	41.81	13.72	14.93	7(2)	138	I + II + III	F	-	-	92	
	16J-31-1011	楔形石器	チャート	40	24.64	13.93	12.32	4.97	-	-	-	-	-	-		
	16J-31-1012	剥片	硬質頁岩	28	26.52	41.08	11.93	7.26	4	94	I + II + V	H	-	-		
	16J-31-1013	剥片	黒曜石	10	22.91	14.46	10.02	1.63	-	-	I + II	S	-	B		
第99図239a	16J-31-1014	剥片	頁岩	35	24.23	19.68	8.38	2.29	2	106	I	S	-	-	92	
	16J-31-1015	剥片	頁岩	36	42.49	34.72	18.59	25.42	-	-	-	-	H	-		
	16J-31-1016	二次加工剥片	黒曜石	13	21.64	25.69	5.24	2.13	L	-	I + II + III	-	-	H	調整角48~52	
	16J-31-1017	楔形石器	黒曜石	9	33.53	28.80	20.27	11.70	-	-	-	-	-	-		
	16J-31-1018	剥片	頁岩	36	35.70	20.92	9.22	6.93	-	-	-	-	H	-		
	16J-31-1020	剥片	ホルンフェルス	31	28.47	29.40	10.41	7.56	-	-	V	F	-	B		
	16J-31-1021	剥片	頁岩	36	18.62	12.76	6.19	0.93	-	-	-	-	H	-		
	16J-31-1022	剥片	頁岩	36	15.44	6.48	5.74	0.57	-	-	-	-	H	-		
第99図239c	16J-31-1023	剥片	安山岩A	33	29.89	36.87	8.33	6.58	2	118	I	H	-	-		
	16J-32-1001	剥片	頁岩	43	10.95	13.78	2.05	0.23	L	-	I	S	-	-		
	16J-32-1002	剥片	珪質頁岩	29	35.04	48.45	13.85	14.47	6(3)	114	III + IV	S	-	-		
	16J-32-1003	石核	黒曜石	9	14.67	15.44	6.32	1.22	-	66	-	-	-	-		
	16J-32-1004	石核	頁岩	35	40.36	52.03	22.31	34.01	-	42~82	-	-	-	-	92	
	17J-00-1001	剥片	黒曜石	10	12.46	12.87	5.01	0.50	C	86	I	F	-	L		
	17J-00-1002	剥片	ホルンフェルス	2	32.70	42.62	7.67	11.07	1	116	I + III + V	F	N	-		
	17J-00-1003	剥片	ホルンフェルス	2	23.25	16.86	10.33	3.43	1	92	I + V	-	-	H		
第98図236	17J-00-1005	剥片	頁岩	38	22.25	21.28	5.60	2.06	1	114	I + II + V	-	-	H		
	17J-00-1006	剥片	ホルンフェルス	2	18.93	11.73	2.45	0.57	L	-	II + V	F	-	R		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第98図234	17J-00-1007	礫	流紋岩	17	20.60	13.60	10.73	1.31	-	-	-	H	-			
	17J-00-1008	剥片	黒曜石	11	27.52	26.43	11.41	8.53	4	102	I + III + V	H	-			
	17J-00-1009	礫	砂岩	34	52.23	35.02	20.66	50.80	-	-	-	H	-			
	17J-00-1010	剥片	安山岩A	32	15.66	11.07	3.33	0.42	-	-	I	F	-	B		
	17J-00-1011	礫	流紋岩	19	27.75	15.92	13.08	5.37	-	-	-	H	-			
	17J-00-1012	石核	嶺岡頁岩	8	23.16	29.75	12.38	5.07	-	50	-	-	-	-		
	17J-00-1013	礫	頁岩	41	54.90	30.88	20.31	41.88	-	-	-	H	-			
	17J-00-1014	楔形石器	チャート	42	22.76	16.22	5.14	1.85	-	-	-	-	-	-		
	17J-00-1015	剥片	安山岩A	32	18.25	20.27	6.20	2.10	1	114	I + III	S	-	-		
	17J-00-1017	剥片	黒曜石	10	13.92	19.10	5.38	1.22	-	-	I	S	-	B		
	17J-00-1018a	剥片	安山岩A	32	29.65	27.72	13.31	9.74	1	132	I + III + IV	O	-	R	93	
	17J-00-1018b	剥片	安山岩A	32	21.62	11.20	9.65	1.53	1	-	I + III	H	-	-	93	
	17J-00-1019	礫	流紋岩	17	21.48	10.52	5.21	0.62	-	-	-	-	H	-		
	17J-00-1020	礫	砂岩	35	59.70	34.67	16.12	40.37	-	-	-	-	H	-		
	17J-00-1022	剥片	黒曜石	11	7.01	11.63	5.67	0.28	-	-	I + V	O	-	B		
	17J-00-1023	剥片	砂岩	33	78.14	45.80	17.04	46.08	2	116	I + III + V	H	-	-		
	17J-00-1024	剥片	ホルンフェルス	30	42.51	30.37	9.34	11.21	-	-	I + III + V	F	-	B		
17J-10-1001	剥片	黒曜石	11	19.55	22.09	4.86	1.24	1	122	I + III	S	-	-			

第68表 第27ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第102図244	151-31-1002	剥片	ホルンフェルス	4	46.05	39.26	6.51	7.03	-	I + III	F	-	B			
	151-31-1003	剥片	安山岩A	35	14.04	18.94	8.71	1.22	L	I + V	S	-	-			
	151-31-1004	剥片	黒曜石	16	16.36	23.23	7.04	1.69	-	I + V	F	N	B			
第102図240	161-00-1001	剥片	安山岩A	36	16.18	26.76	11.74	3.66	C	82	I	S	-	-		
	161-00-1002	削器	安山岩A	36	27.26	46.19	13.91	15.94	-	-	I + V	-	-	B	調整角56~66	
第102図242	161-00-1003	剥片	安山岩B	2	63.30	47.35	18.84	46.63	2(1)	110	III + V	H	-	L		
	161-00-1004	剥片	嶺岡頁岩	16	41.03	54.07	18.53	27.47	1	118	I + III + IV + V	F	-	-		
	161-00-1005	剥片	安山岩A	35	13.05	14.08	3.06	0.38	1	116	I	F	-	-		
	161-00-1006	二次加工剥片	嶺岡頁岩	5	34.50	27.29	7.80	6.74	1	92	I + III	-	-	H	調整角66	
	161-00-1007	剥片	チャート	43	8.70	20.96	4.90	0.96	-	-	I + III + V	S	-	B		
	161-00-1008	剥片	嶺岡頁岩	15	36.02	47.37	14.59	27.28	L	-	V	-	-	H	94	
	161-00-1009	剥片	嶺岡頁岩	15	25.84	35.13	9.93	4.96	-	-	V	H	-	B	94	
	161-00-1010	剥片	嶺岡頁岩	14	37.74	29.51	11.76	10.93	3	86	I + III + IV + V	O	-	-		
	161-00-1011	剥片	安山岩A	31	9.66	9.67	1.93	0.16	L	-	I + III	H	-	-		
	161-00-1012	剥片	嶺岡頁岩	14	20.23	18.92	8.41	2.23	2	116	I + II	F	-	-		
第102図241	161-00-1013	剥片	安山岩A	34	24.80	15.47	3.64	1.45	P	-	I	H	-	L		
	161-00-1014	剥片	安山岩A	35	10.15	13.35	4.67	0.53	-	-	I + II	F	-	B		
第102図247	161-00-1015	二次加工剥片	砂岩	38	27.75	46.57	9.01	9.64	5(2)	92	I + III	H	-	-	調整角72	
	161-01-1001	剥片	安山岩A	35	25.08	26.57	11.55	6.19	3(1)	114	I + III	S	-	-		
	161-01-1002	石核	安山岩A	34	33.34	41.62	55.91	88.39	-	78	-	-	-	-		
	161-01-1003	剥片	嶺岡頁岩	14	26.77	17.95	9.07	2.86	C	86	I + III + IV	S	-	-		
	161-01-1004	剥片	黒曜石	11	18.56	18.88	5.61	1.46	-	-	II + IV	-	-	VM		
	161-01-1005	剥片	安山岩B	20	25.07	24.63	7.58	4.88	4	98	I + II	S	-	-		
	161-01-1006	剥片	安山岩B	20	24.74	27.80	9.00	3.95	1	102	II + III	H	-	-		
	161-01-1007	二次加工剥片	黒曜石	15	33.40	30.50	7.67	5.94	2	106	III	H	-	-	調整角48~54	
	第103図249	161-01-1008	石核	安山岩A	35	43.79	36.06	19.59	35.36	-	68~80	-	-	-	-	
		161-01-1009a	剥片	安山岩A	34	17.21	22.48	4.28	0.96	-	-	I + V	S	-	B	
第103図251b	161-01-1009b	剥片	安山岩A	34	15.47	16.98	4.29	0.36	-	-	I + II	F	-	B		
	161-01-1010	剥片	安山岩A	34	24.92	39.18	7.32	6.09	-	-	I + V	S	-	-	打面部ガジリ	
	161-01-1011	剥片	安山岩A	34	28.97	22.49	8.92	5.71	2	134	I + V	H	-	-		
	161-01-1012	剥片	黒曜石	11	7.22	9.16	1.37	0.08	-	-	I	-	-	VM		
	161-01-1013	剥片	頁岩	44	33.94	15.38	11.43	4.00	2	136	I + V	F	-	-		
	161-01-1014	剥片	砂岩	36	34.98	35.22	12.50	12.31	C	124	I + III + V	H	-	-	95	
	161-01-1015	剥片	砂岩	36	16.18	16.98	7.15	1.58	3	98	I	F	-	R		
	161-01-1016	剥片	安山岩B	20	18.79	20.00	7.91	1.66	2	112	III	H	-	-	96	
	161-01-1017	剥片	砂岩	36	21.88	32.42	9.63	5.55	1+C	106	I + III + V	H	-	-	95	
	第103図251a	161-01-1018	剥片	ホルンフェルス	32	26.50	56.15	14.81	12.45	C	92	I	S	-	-	
161-01-1019		剥片	安山岩B	20	43.84	38.34	11.44	14.73	1	136	I + III + IV + V	S	-	-		
161-01-1020		剥片	黒曜石	15	26.65	28.62	4.92	3.20	-	-	I + III + V	H	-	B		
161-01-1021		剥片	砂岩	36	14.07	7.01	6.38	0.54	1	94	III	S	-	-		
161-10-1001		剥片	ホルンフェルス	5	20.15	29.31	7.39	3.84	C	90	III + V	S	-	-		
161-10-1003		剥片	安山岩A	31	19.81	18.48	4.47	0.86	-	-	III	F	-	B		

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第103図250	161-10-1006	剥片	ホルンフェルス	32	35.93	52.05	12.24	23.70	1	140	III+V	-	-	H	97
	161-10-1007	石核	ホルンフェルス	5	55.60	54.56	18.49	41.46	-	50~72	-	-	-	-	98
	1010														
第102図245	161-10-1008	剥片	ホルンフェルス	4	11.39	12.82	5.11	0.48	1	120	I+III+V	F	-	-	
	161-10-1011	剥片	ホルンフェルス	32	29.22	45.31	8.15	9.17	-	-	V	F	-	B	97
第103図248	161-10-1012	剥片	嶺岡頁岩	17	34.47	31.25	10.36	10.72	2	124	I+III+V	H	N	-	
	161-11-1002	石核	安山岩B	20	22.93	49.69	18.53	16.98	-	64	-	-	-	-	
第103図252b	161-11-1003	剥片	安山岩B	20	11.95	11.68	1.93	0.19	L	-	II	S	-	-	
	161-11-1004	剥片	安山岩B	20	13.34	11.56	4.28	0.48	1	100	I+III+IV	S	-	R	96
第102図246	161-11-1005	石核	砂岩	37	37.29	57.46	43.55	106.13	-	76	-	-	-	-	
第103図252a	161-11-1006	剥片	安山岩B	20	15.34	19.86	8.37	1.91	-	-	I+III	S	-	B	96
	161-11-1007	剥片	安山岩B	20	21.76	25.23	7.78	3.60	2	98	I+III	S	-	-	
第103図252d	161-11-1008	剥片	ホルンフェルス	32	23.57	31.04	4.96	3.63	L	-	I+II+III	H	-	-	
	161-11-1009	石核	安山岩B	20	51.96	36.23	15.90	26.40	-	62~76	-	-	-	-	96

第69表 第28ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第106図255	161-21-1001	剥片	嶺岡頁岩	19	21.49	18.33	5.57	1.24	1	82	I+III	S	-	-		
	161-21-1002	礫	頁岩	46	16.27	13.03	7.34	1.15	-	-	-	H	-	-		
	161-21-1003	剥片	安山岩A	31	25.54	17.63	6.43	1.88	C	76	I+III	F	-	R		
	161-21-1004	剥片	黒曜石	17	25.37	22.95	9.51	3.52	3	134	I+III+V	F	N	-		
	161-21-1005	剥片	安山岩A	31	27.06	35.14	8.14	6.82	1	126	I	-	-	H		
第106図258d	161-21-1006	剥片	安山岩A	31	8.52	19.26	7.29	0.63	1	116	I+II+III	O	-	-		
	161-21-1007	剥片	珪質頁岩	30	16.57	31.92	8.22	3.50	1	134	I	H	-	-	99	
第106図258e	161-21-1008	石核	珪質頁岩	30	36.43	58.07	44.66	105.85	-	46	-	-	-	-	99	
第106図257	161-21-1009	剥片	ホルンフェルス	33	27.93	39.61	11.13	10.42	C	94	III	-	-	H	100	
	161-21-1010	剥片	ホルンフェルス	33	31.13	42.15	6.62	7.14	-	-	II+III	F	-	B	100	
	161-21-1011	剥片	チャート	47	24.86	15.55	11.63	4.26	3	92	I+II+III+IV	O	-	-		
	161-21-1012	剥片	黒曜石	17	8.78	12.62	2.21	0.22	-	-	I	H	-	B		
	161-21-1013	石核	ホルンフェルス	33	47.53	56.29	17.80	39.16	-	82~90	-	-	-	-	調整角62~72	
	第106図258a	161-22-1002	剥片	珪質頁岩	30	34.25	26.22	9.59	7.35	1	96	I+V	S	-	-	99
		161-22-1003	剥片	安山岩A	12	21.70	15.90	5.76	1.64	L	-	I+III+V	F	-	-	
	第106図254	161-22-1004	剥片	嶺岡頁岩	18	33.44	11.97	4.54	1.02	1	108	I	F	N	-	
	第106図258c	161-31-1001	剥片	珪質頁岩	30	19.86	15.38	7.33	1.40	1	120	I+V	F	-	R	99
	第106図258b	161-31-1002	剥片	珪質頁岩	30	31.03	33.27	8.40	6.50	1	118	I+II+V	F	-	L	99
第106図256	161-32-1001	剥片	チャート	44	44.94	73.44	13.57	45.43	C	106	V	F	N	-		
	161-32-1002	剥片	安山岩A	12	30.93	22.49	6.63	3.12	-	-	I+III	F	-	RB		
	161-32-1003	剥片	チャート	46	41.22	42.52	13.79	25.60	2+C	112	IV+V	S	-	-		
	161-32-1004	剥片	チャート	45	44.41	53.75	13.84	30.53	2	134	I+II+III+V	H	-	-		
	161-32-1005	剥片	安山岩A	33	30.25	34.43	11.17	10.20	C	106	I+III	F	-	-		
第106図253	161-33-1001	二次加工剥片	頁岩	45	29.00	34.14	9.49	8.45	-	-	I+IV	S	-	B	調整角52~62	
	171-03-1002	礫	珪質頁岩	31	22.50	16.90	11.06	3.61	-	-	-	H	-	-		

第70表 第29ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
第107図259	17H-00-1001	楔形石器	安山岩A	37	28.34	27.88	8.45	5.46	-	-	-	-	-	
	17H-00-1002	剥片	珪質頁岩	32	41.02	36.94	12.53	11.72	6(3)	114	I+III+V	F	-	-

第71表 第30ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
	17G-02-1002	剥片	黒曜石	18	23.12	24.64	8.65	3.96	3	130	I+III	S	-	-
	17G-12-1001	剥片	黒曜石	18	24.31	23.34	11.45	4.78	L	-	I+II+III	O	-	-
	17G-12-1002	剥片	安山岩A	38	33.98	39.69	14.33	15.71	2	102	I+II+V	S	-	-

第72表 第31ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
	17H-01-1001	礫	頁岩	1	37.22	30.41	17.93	24.97	-	-	-	H	-	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	備考
第109図1	17H-01-1003	剥片	安山岩A	2	24.77	21.77	4.21	1.92	1	I + V	F	-	-	分布図に点無し 分布図に点無し
	17H-01-1004	楔形石器	安山岩A	1	28.59	32.97	10.60	10.43	-	-	-	-	-	
第109図2	17H-01-1005	剥片	安山岩A	3	21.83	27.32	9.27	4.40	5(1)+C	I	F	-	-	
	17H-02-1001a	剥片	チャート	1	42.08	45.07	10.89	18.46	1	128	I + III + IV	H	N	
	17H-02-1001b	剥片	黒曜石	1	24.71	44.65	15.43	13.72	-	-	I + III	O	-	
	17H-02-1002	剥片	黒曜石	1	7.27	13.70	3.10	0.20	-	-	I + III	S	-	
	17H-02-1003	剥片	珪質頁岩	2	17.58	11.52	10.61	1.87	1	104	I + III + IV	O	-	
	17H-02-1004	剥片	安山岩B	1	15.18	11.55	4.41	0.68	1	128	I	S	-	
	17H-11-1001	剥片	珪質頁岩	1	23.64	19.13	6.16	2.46	1	138	I + III + IV	-	-	
	17H-12-1001	剥片	黒曜石	1	12.70	17.35	3.27	0.24	-	-	III	H	-	
	17H-12-1002	剥片	珪質頁岩	1	18.32	24.68	14.12	3.65	C	98	I + III	S	-	

第73表 第32ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第112図17	7J-32-1015	剥片	硬質頁岩	1	37.08	42.52	10.33	7.29	-	-	I + II + III + IV	O	-	B	調整角82~94、欠損 打面調整
	8J-02-1001	剥片	硬質頁岩	1	26.67	17.06	3.04	0.99	3	100	I + III	F	N	-	
第112図2	8J-02-1002	剥片	珪質頁岩	1	8.51	13.40	5.11	0.39	2	90	I + III	O	-	-	
	8J-02-1003	剥片	硬質頁岩	1	52.31	73.03	12.50	29.52	2	116	I + III	H	-	-	
第112図14	8J-02-1004	ナイフ形石器	硬質頁岩	1	42.44	13.06	6.42	2.84	-	-	I + III	-	-	-	
	8J-02-1005	剥片	硬質頁岩	1	55.23	25.83	5.26	6.46	6(2)	98	I + II + III	F	N	-	
	8J-02-1006	剥片	頁岩	1	20.03	22.23	5.60	2.46	6(3)	102	I + III + IV	S	-	-	
	8J-02-1007	剥片	硬質頁岩	1	15.89	9.49	4.24	0.22	1	110	I	H	-	-	
	8J-02-1008	剥片	硬質頁岩	1	21.69	19.53	3.37	1.15	-	-	I + II + III	H	-	-	
	8J-02-1009	剥片	硬質頁岩	1	18.20	17.99	4.93	0.99	1	104	I + III	-	-	H	
	8J-02-1010	剥片	硬質頁岩	1	8.27	9.54	2.37	0.11	-	-	III	O	-	B	
第113図24b	8J-02-1011	剥片	硬質頁岩	1	23.40	38.71	6.47	3.01	1	116	I	H	-	-	
	8J-02-1012	剥片	硬質頁岩	1	6.25	11.84	3.41	0.19	C	120	I + III + V	O	-	-	
第113図24b	8J-02-1013	剥片	黒曜石	1	10.37	7.96	4.24	0.18	2	98	I + V	F	-	-	
	8J-02-1014	剥片	硬質頁岩	1	12.81	12.37	2.58	0.27	1	114	I	F	-	-	
	8J-02-1015a	剥片	黒曜石	2	7.86	14.99	2.77	0.17	1	100	I + III	F	-	-	
	8J-02-1015b	剥片	黒曜石	2	5.66	13.47	2.82	0.23	1	124	I + II	H	-	-	
	8J-02-1016	剥片	硬質頁岩	1	10.25	11.86	5.58	0.32	1	130	III	O	-	-	
	8J-02-1017	剥片	硬質頁岩	1	14.86	10.91	3.01	0.41	1	98	I	S	-	-	
	8J-02-1018	剥片	硬質頁岩	1	11.68	13.06	3.08	0.29	L	-	I	F	-	-	
	8J-02-1019	剥片	硬質頁岩	1	15.10	22.69	3.82	0.74	L	-	I	-	-	H	
	8J-02-1020	剥片	硬質頁岩	1	20.15	18.64	2.84	0.58	-	-	I + III	H	-	-	
	8J-02-1021	剥片	硬質頁岩	1	7.06	8.29	2.38	0.11	-	-	I	-	-	LM	
	8J-02-1022	剥片	硬質頁岩	1	9.13	6.81	1.47	0.07	-	-	I	H	-	RB	
	8J-02-1023	剥片	硬質頁岩	1	18.77	14.38	2.88	0.55	-	-	I + III	-	-	VM	
	8J-02-1024	剥片	硬質頁岩	1	35.41	32.37	4.46	2.76	-	-	I + II + III	F	-	B	
第112図9	8J-02-1025	二次加工剥片	硬質頁岩	1	17.51	22.91	3.54	1.29	-	-	I + II + III	H	-	-	
	8J-02-1026	剥片	硬質頁岩	1	14.07	17.73	2.86	0.37	-	-	II	F	-	B	
第112図18	8J-02-1027	剥片	硬質頁岩	1	18.34	18.68	3.75	1.46	19(10)	104	I	-	-	H	
	8J-02-1028	剥片	硬質頁岩	1	35.33	22.32	7.03	2.19	1	106	I + III	H	N	-	
	8J-02-1029	剥片	硬質頁岩	1	11.70	19.45	2.92	0.66	-	-	I + III	O	-	B	
	8J-02-1030	剥片	硬質頁岩	1	18.74	16.40	2.55	0.54	2	118	I + II	F	-	-	
	8J-02-1031	剥片	硬質頁岩	1	12.02	18.87	6.29	0.45	-	-	II + III	O	-	B	
	8J-02-1032	剥片	黒曜石	1	24.99	20.43	7.21	1.90	-	-	I + III + V	O	-	B	
	8J-02-1033	剥片	硬質頁岩	1	12.61	19.30	2.21	0.44	-	-	I	H	-	B	
	8J-02-1034	剥片	硬質頁岩	1	18.66	16.00	3.01	0.32	-	-	I + II	F	-	B	
	8J-02-1036	剥片	頁岩	1	15.59	18.73	4.05	0.94	3(2)	92	II + III	-	-	H	
第112図15	8J-02-1037	剥片	硬質頁岩	1	14.57	20.57	2.90	0.55	2	104	I + II + III	H	N	-	
	8J-02-1038	剥片	硬質頁岩	1	7.62	15.59	2.11	0.17	-	-	I	S	-	B	
第112図12	8J-02-1039	二次加工剥片	硬質頁岩	1	9.83	17.45	4.40	0.54	L	-	I + III	F	-	-	
	8J-02-1040	剥片	硬質頁岩	1	11.73	12.09	3.31	0.25	-	-	I + III	F	-	B	
	8J-02-1041	剥片	硬質頁岩	1	13.24	7.47	1.39	0.11	L	-	I	F	-	-	
	8J-02-1042	剥片	硬質頁岩	1	11.48	9.92	2.56	0.20	2	126	I + III	F	-	-	
	8J-02-1043	剥片	硬質頁岩	1	11.98	14.16	2.76	0.35	2	98	I + III	-	-	H	
	8J-02-1045	剥片	硬質頁岩	1	24.96	22.72	5.09	2.30	7(5)	100	I	-	-	H	
	8J-02-1046	剥片	硬質頁岩	1	11.13	11.70	2.73	0.35	1	112	I + III	-	-	H	
	8J-02-1047	剥片	硬質頁岩	1	8.82	10.57	1.57	0.12	-	-	I	F	-	B	
	8J-02-1049	剥片	硬質頁岩	1	21.68	23.06	4.62	1.60	L	-	I + III	H	-	-	
第112図10	8J-02-1050	二次加工剥片	硬質頁岩	1	12.25	9.88	3.77	0.29	1	122	I + III	F	-	-	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考		
第112図7	8J-02-1051	二次加工剥片	硬質頁岩	1	19.23	30.03	5.46	2.41	2	122	I	F	-	-	調整角54~82		
	8J-02-1053	剥片	頁岩	1	13.96	10.73	1.81	0.23	1	106	I	F	-	-			
	8J-02-1054	剥片	砂岩	1	29.54	15.59	7.07	2.47	C	98	I+V	H	-	R			
	8J-02-1055	礫	チャート	2	41.05	35.19	23.00	31.44	-	-	-	H	-	-			
	8J-02-1056	剥片	安山岩B	1	23.93	27.04	7.43	3.59	1	104	I	-	-	H			
	8J-02-1057	剥片	頁岩	2	29.02	21.28	5.51	3.41	2	94	I+V	H	-	-			
	8J-02-1058a	剥片	硬質頁岩	1	10.64	7.61	3.34	0.23	-	-	I	-	-	VM			
	8J-02-1058b	剥片	硬質頁岩	1	8.81	11.06	2.23	0.17	L	-	I+III	F	-	-			
	8J-02-1059	礫	チャート	1	25.92	21.73	18.41	13.80	-	-	-	-	H	-			
	8J-02-1060	剥片	硬質頁岩	2	25.13	27.70	8.70	4.23	1	106	I+III	H	-	-			
第113図24c	8J-02-1061	剥片	硬質頁岩	1	36.12	21.56	6.19	4.99	17(13)	116	I	-	-	H	打面調整		
	8J-02-1062	剥片	硬質頁岩	1	17.13	18.47	4.70	1.44	-	-	I	S	-	B			
	8J-02-1063	剥片	黒曜石	1	31.73	14.92	9.70	3.67	-	-	I+V	-	-	VM			
	8J-02-1064	剥片	硬質頁岩	1	10.52	2.93	2.11	0.04	-	-	I	F	-	B			
	8J-02-1065	剥片	硬質頁岩	1	11.54	11.35	3.11	0.22	1	106	I+III	F	-	-			
	第113図24a	8J-02-1066	剥片	黒曜石	1	42.48	16.80	11.25	6.17	-	-	II+III+V	O	-		B	102
		8J-02-1067	二次加工剥片	硬質頁岩	1	36.57	37.28	9.58	10.19	14(8)	104	I	H	-		-	
	8J-02-1068	剥片	硬質頁岩	1	13.81	11.38	5.27	0.51	2	102	I+II	-	-	H			
	8J-02-1069	剥片	硬質頁岩	1	11.40	15.67	3.52	0.39	2	108	I+III	H	-	-			
	8J-02-1070	剥片	硬質頁岩	1	16.49	19.26	3.64	0.71	2	104	I+II+III	-	-	H			
8J-02-1071	剥片	硬質頁岩	1	19.29	16.93	3.70	0.77	L	-	I+III	H	-	-				
8J-02-1072	剥片	硬質頁岩	1	19.02	6.83	2.43	0.29	-	-	I+III	-	-	VM				
8J-02-1073	剥片	硬質頁岩	1	7.57	14.31	1.40	0.12	-	-	II+III	H	-	B				
第113図22	8J-02-1074	石核	硬質頁岩	1	38.17	41.13	22.98	38.12	-	80~88	-	-	-	-			
	8J-02-1075	剥片	硬質頁岩	1	32.41	46.11	10.40	9.27	-	-	I+III	S	-	B			
	8J-02-1076	剥片	黒曜石	1	26.12	49.35	12.56	13.83	-	-	II+III+V	H	-	B			
	8J-02-1077a	剥片	硬質頁岩	1	12.57	13.84	3.01	0.31	1	-	I+III	-	-	-			
	8J-02-1077b	剥片	硬質頁岩	1	9.02	11.69	1.45	0.12	-	-	I	F	-	-			
	第113図21	8J-02-1079	剥片	黒曜石	1	27.80	18.80	9.94	2.33	L	-	I+II+III	O	N	-		
		8J-02-1080	剥片	硬質頁岩	1	16.26	18.68	2.42	0.42	1	108	I+II	F	-	-		
		8J-02-1081	剥片	安山岩A	1	23.66	31.41	9.56	4.81	2	104	I+III+V	S	-	-		
		8J-02-1082	剥片	硬質頁岩	1	13.29	12.70	3.28	0.54	4(2)	94	I	-	-	RH		
		8J-02-1083	剥片	硬質頁岩	1	17.18	16.46	2.69	0.48	1	106	I+III	H	-	-		
8J-02-1084		剥片	頁岩	2	6.82	10.21	2.45	0.14	1	124	III	S	-	-			
8J-02-1085		剥片	硬質頁岩	1	9.61	9.68	1.12	0.08	L	-	I	H	-	-			
8J-02-1086		剥片	硬質頁岩	1	12.48	10.09	2.28	0.18	1	142	I+III	F	-	-			
8J-02-1087		剥片	硬質頁岩	1	16.55	15.53	2.93	0.66	1	126	I	H	-	-			
8J-02-1088		剥片	硬質頁岩	1	17.16	15.19	3.93	0.69	3	100	I+III	F	-	-			
8J-02-1089	剥片	硬質頁岩	1	8.70	9.54	1.19	0.07	1	96	I	H	-	-				
8J-02-1090	剥片	硬質頁岩	1	19.46	25.64	5.37	1.55	1	126	I+III	F	-	-				
8J-02-1091	剥片	硬質頁岩	1	24.60	14.23	4.97	0.69	-	-	I+II+III	F	-	B				
8J-02-1092	剥片	硬質頁岩	1	20.08	15.50	4.12	1.00	2	100	I+II+III	F	-	-				
8J-02-1093	剥片	安山岩B	1	37.80	40.32	14.00	11.47	L	-	I+II+III+V	O	-	-				
8J-02-1094	剥片	チャート	1	24.37	20.40	6.97	3.28	1	104	I+II	H	-	R				
8J-03-1001	剥片	安山岩B	1	25.62	12.71	4.11	0.67	L	-	I	-	-	-				
8J-03-1002	剥片	硬質頁岩	1	25.90	7.91	3.36	0.23	L	-	I+II+III	F	-	-				
第112図11	8J-03-1003	二次加工剥片	頁岩	4	39.99	17.57	8.86	4.85	2	98	I+II+III	O	-	-	調整角78		
	8J-03-1005	剥片	硬質頁岩	3	22.52	17.75	3.79	1.52	2	98	III	H	-	-			
	8J-03-1013	剥片	玉髓	2	7.89	14.65	4.81	0.36	9(5)	82	III+IV	H	-	-			
	8J-03-1016	剥片	頁岩	3	45.46	29.05	13.31	10.89	1	98	I+III	F	-	-			
	8J-03-1018	剥片	頁岩	5	21.48	25.79	7.29	3.78	-	-	II+III+IV+V	O	-	B			
	8J-03-1019	剥片	硬質頁岩	1	6.13	6.32	2.47	0.09	3	114	III	-	-	H			
	8J-03-1020	剥片	玉髓	2	27.40	18.80	4.49	1.93	1	90	I+III	H	-	-			
	第112図8	8J-03-1021	二次加工剥片	玉髓	1	18.26	22.82	5.33	1.54	2	110	I+III	H	-		-	調整角62~70
		8J-03-1022	剥片	安山岩A	1	17.92	16.08	6.55	1.29	-	-	I+III	H	-		LB	
	第112図16	8J-03-1023	剥片	硬質頁岩	1	5.71	10.65	2.29	0.12	L	-	I+II	F	N		-	
第113図23a	8J-03-1025	剥片	珪質頁岩	1	10.50	20.90	6.51	1.03	3	62	III	S	-	-	103		
	8J-03-1027	剥片	硬質頁岩	2	69.85	24.75	9.79	5.85	1	94	I+III	H	-	-			
第113図23b	8J-03-1028	石核	珪質頁岩	1	39.14	36.20	24.16	31.84	-	74~78	-	-	-	103			
第113図20	8J-03-1030	剥片	黒曜石	1	54.92	17.48	11.80	10.41	22(11)	118	I+III	H	-	-	打面調整		
第113図24e	8J-03-1031	剥片	黒曜石	1	17.76	11.61	20.71	5.26	-	-	I+II	-	-	VM			
第113図24d	8J-03-1033	剥片	黒曜石	1	20.71	14.33	14.98	4.67	-	-	I+II+V	-	-	VM	102		
	8J-03-1034	剥片	安山岩B	2	19.75	18.74	8.06	2.31	L	-	III	H	-	R			
8J-03-1036	剥片	頁岩	6	16.04	12.05	6.04	0.87	L	-	I+III	O	-	-				
第112図3	8J-03-1037	ナイフ形石器	黒曜石	2	35.75	17.08	7.67	2.70	-	-	I+III	F	N	-	調整角72~84		
第112図19	8J-03-1038	剥片	硬質頁岩	1	20.24	27.14	8.04	2.34	-	-	I+III	F	N	B			

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第112図5	8J-03-1039	削器	硬質頁岩	1 23.30	22.95	7.16	3.52	12(7)	120	I	-	-	H		打面調整 調整角72~84
第112図4	8J-03-1040	二次加工剥片	硬質頁岩	1 42.92	27.91	7.42	4.53	-	-	I + III	F	-	-		調整角62~82, 欠損
第112図1	8J-03-1041	ナイフ形石器	硬質頁岩	5 46.19	14.19	6.18	3.38	-	-	I	-	-	-		調整角60~86, 欠損
	8J-03-1043	剥片	玉髓	1 11.31	17.46	6.71	0.77	C	74	I + II	F	-	-		
	8J-03-1045	剥片	硬質頁岩	1 16.16	13.33	4.12	0.77	1	-	I	-	-	H		
	8J-03-1046	剥片	硬質頁岩	1 6.95	10.28	3.08	0.24	L	-	I + II + V	0	-	-		
第113図24f	8J-03-1047	剥片	黒曜石	1 10.13	9.22	15.92	1.18	C	-	II + V	-	-	H	102	
	8J-03-1048	剥片	硬質頁岩	1 77.12	30.96	12.52	16.08	16(11)	126	I + II + III + V	H	-	-		打面調整
	8J-13-1007	剥片	硬質頁岩	1 39.81	19.96	5.31	3.09	7(3)	118	I	H	-	-		
	8K-00-1003	剥片	硬質頁岩	4 18.09	12.45	2.30	0.42	1	98	I	-	-	H		
	8K-00-1004	剥片	硬質頁岩	3 8.11	12.91	2.61	0.18	-	-	I	H	-	B		
	8K-00-1005	剥片	硬質頁岩	4 27.26	10.87	5.78	0.64	2	114	I	-	-	-		
第112図13	8K-00-1008	楔形石器	硬質頁岩	6 17.55	16.09	6.45	2.07	-	-	-	-	-	-		

第74表 第33ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	打面 調整	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第114図26	17G-23-1002	石核	黒曜石	3 31.23	24.50	13.66	5.97	-	58	-	-	-	-	-		
	17G-23-1003	剥片	黒曜石	4 23.57	26.51	5.96	2.62	8(2)	114	-	I + III	H	-	-		
	17G-23-1004	剥片	嶺岡頁岩	1 43.05	17.65	17.14	6.14	2	94	-	I	F	-	-		
第114図25	17G-23-1005	剥片	硬質頁岩	1 38.85	8.95	9.36	3.13	13(8)	128	+	I + III	H	-	-		

第75表 第34ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	7K-21-1002	礫	頁岩	20.81	16.31	9.94	2.44	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1001	礫	頁岩	47.17	30.99	17.92	24.20	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1002	礫	チャート	58.13	50.29	35.87	124.69	-	-	-	-	H	-		
	7K-31-1003	礫	頁岩	48.63	34.07	23.18	31.05	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1004	礫	流紋岩	47.30	31.56	24.72	46.06	-	-	-	-	H	-	105	
	7K-31-1005	礫	チャート	26.24	14.12	13.45	5.76	-	-	-	-	-	-		
	7K-31-1006	礫	ホルンフェルス	84.02	54.79	37.13	201.40	-	-	-	-	H	-		
	7K-31-1007	礫	頁岩	74.57	53.59	27.97	117.68	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1008	礫	流紋岩	38.41	34.95	24.95	39.64	-	-	-	-	H	-	105	
	7K-31-1009	礫	頁岩	49.46	42.46	23.62	43.72	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1010	礫	頁岩	69.46	48.75	25.61	85.68	-	-	-	-	H	-	104	
第117図1	7K-31-1011	敲石	砂岩	1 63.50	53.82	40.44	161.37	-	-	-	-	S	-		
	7K-31-1012	礫	頁岩	28.35	22.27	10.26	6.21	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1013	礫	頁岩	19.34	14.17	10.32	2.50	-	-	-	-	H	-	104	
	7K-31-1014	礫	ホルンフェルス	61.86	31.02	27.77	54.49	-	-	-	-	H	-	106	
	7K-31-1015	剥片	嶺岡頁岩	1 31.90	32.73	14.13	9.01	1	110	I + III	0	-	L		
	7K-31-1016	礫	ホルンフェルス	51.18	42.86	31.64	49.27	-	-	-	-	H	-	106	
	7K-31-1017	礫	流紋岩	50.28	36.91	28.65	69.37	-	-	-	-	H	-	105	
	7K-31-1019	礫	頁岩	39.50	29.55	12.99	11.39	-	-	-	-	H	-		

第76表 第35ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
	19J-68-1001	礫	砂岩	49.10	40.69	27.91	46.74	-	-	-	-	H	-	107	
	19J-69-1001a	礫	砂岩	38.82	29.43	26.90	32.24	-	-	-	-	H	-		
	19J-69-1001b	剥片	黒曜石	1 17.35	15.09	3.41	0.55	1	92	I + III	F	-	-		
	19J-69-1002	礫	ホルンフェルス	16.97	11.46	5.01	1.08	-	-	-	-	H	-		
	19K-60-1001a	礫	砂岩	78.97	51.97	37.71	142.95	-	-	-	-	H	-	108	
	19K-60-1001b	礫	流紋岩	62.51	40.55	26.29	53.03	-	-	-	-	H	-		
	19K-60-1001c	礫	砂岩	58.90	36.65	20.15	36.26	-	-	-	-	H	-	109	
	19K-60-1001d	礫	礫岩	54.15	24.46	9.59	12.43	-	-	-	-	H	-		
	19K-60-1001e	礫	チャート	41.96	29.30	21.02	25.93	-	-	-	-	H	-		
	19K-60-1001f	礫	砂岩	41.93	33.01	29.41	26.91	-	-	-	-	H	-	110	
	19K-60-1001g	礫	砂岩	31.90	20.40	10.84	5.61	-	-	-	-	H	-	110	
	19K-60-1001h	礫	チャート	31.55	19.67	17.68	9.88	-	-	-	-	H	-		
	19K-60-1001i	礫	砂岩	29.51	23.20	17.49	9.58	-	-	-	-	H	-		
第119図2a	19K-60-1001j	剥片	黒曜石	1 31.48	32.94	10.64	7.94	1	128	I + II + III	F	-	L	111	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考	
第119図2b	19K-60-1002	礫	安山岩C	64.45	52.63	41.79	112.32	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1003	礫	砂岩	44.11	34.58	25.58	30.06	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1004	礫	砂岩	69.31	41.28	27.94	101.66	-	-	-	-	H	-	112		
	19K-60-1005	礫	ホルンフェルス	105.19	62.67	16.54	101.33	-	-	-	-	-	-			
	19K-60-1006	礫	砂岩	31.93	27.70	23.54	13.56	-	-	-	-	H	-	109		
	19K-60-1008	礫	砂岩	49.25	26.59	18.95	24.99	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1009	礫	砂岩	42.38	39.39	24.27	36.41	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1010	礫	砂岩	49.04	40.07	26.64	42.30	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1011	礫	砂岩	84.87	44.06	37.31	107.50	-	-	-	-	H	-	113		
	19K-60-1012	礫	砂岩	65.55	48.93	20.29	56.60	-	-	-	-	H	-	113		
	19K-60-1013	礫	砂岩	34.87	26.61	14.87	9.99	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1014	剥片	黒曜石	1	34.29	29.35	9.86	6.63	1	128	I + II	F	-	R	111	
	19K-60-1015	礫	砂岩	64.03	35.22	29.78	71.60	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1016	礫	砂岩	36.10	24.84	18.69	24.55	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1017	礫	砂岩	51.74	44.87	17.46	38.82	-	-	-	-	H	-	114		
	19K-60-1018	礫	砂岩	68.17	43.59	33.27	83.01	-	-	-	-	H	-	112		
	19K-60-1019	礫	砂岩	28.74	25.12	19.72	12.82	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1021	礫	砂岩	38.07	26.81	17.66	15.95	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1022	礫	砂岩	20.13	14.54	11.71	3.32	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1023	礫	砂岩	21.40	16.28	13.73	4.60	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1024	礫	珪岩	48.41	36.78	25.48	35.12	-	-	-	-	H	-	115		
	19K-60-1025	礫	砂岩	40.34	25.86	19.54	22.03	-	-	-	-	H	-	114		
	19K-60-1026	礫	砂岩	46.08	36.68	26.88	32.58	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1027	礫	チャート	59.58	40.82	35.63	75.89	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1028	礫	砂岩	47.70	36.79	21.83	29.63	-	-	-	-	H	-	114		
	19K-60-1029	礫	砂岩	55.34	30.27	24.90	27.63	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1030	礫	砂岩	58.11	33.44	16.62	25.23	-	-	-	-	H	-	116		
	19K-60-1031	礫	砂岩	51.73	41.78	37.33	84.21	-	-	-	-	H	-	108		
	19K-60-1032	礫	珪岩	41.07	39.72	30.50	48.88	-	-	-	-	H	-	115		
	19K-60-1033	礫	砂岩	43.47	35.67	18.77	25.04	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1034	礫	砂岩	53.07	36.22	24.61	35.60	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-60-1035	礫	砂岩	37.06	34.73	21.37	25.08	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1036	礫	砂岩	20.77	11.09	8.40	1.71	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1037	礫	砂岩	11.13	8.53	3.57	0.27	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1038	礫	砂岩	61.09	37.25	26.67	58.07	-	-	-	-	H	-			
	19K-60-1039	礫	砂岩	60.98	49.19	37.28	119.57	-	-	-	-	H	-	114		
	19K-60-1040	礫	砂岩	47.86	34.30	25.05	28.75	-	-	-	-	H	-	108		
	19K-60-1041	礫	砂岩	36.71	27.20	19.61	13.51	-	-	-	-	H	-			
	19K-61-1002	礫	頁岩	29.26	23.08	17.95	14.90	-	-	-	-	H	-			
	19K-70-1002	礫	砂岩	40.12	24.39	19.07	16.18	-	-	-	-	H	-			
	19K-70-1003	礫	珪岩	28.33	18.29	15.67	7.21	-	-	-	-	H	-	115		
	19K-70-1004	礫	砂岩	54.84	39.10	21.06	37.14	-	-	-	-	H	-	110		
	19K-70-1005	礫	砂岩	64.80	38.71	24.16	54.74	-	-	-	-	H	-	116		
	19K-70-1006	礫	砂岩	44.62	38.56	18.64	33.52	-	-	-	-	H	-	116		
	19K-70-1007	礫	砂岩	23.75	17.42	9.80	3.89	-	-	-	-	H	-	108		
	19K-70-1008a	礫	砂岩	19.28	15.75	10.10	2.63	-	-	-	-	H	-			
	19K-70-1008b	礫	砂岩	16.50	11.37	9.82	1.57	-	-	-	-	H	-			
19K-70-1009	剥片	黒曜石	2	13.44	16.99	12.62	2.54	1	90	I + III	F	-	-			
19K-70-1010	礫	砂岩	39.24	25.52	20.12	14.15	-	-	-	-	H	-				
19K-70-1011	礫	砂岩	59.42	54.94	34.89	79.88	-	-	-	-	H	-	108			
19K-70-1012	礫	ホルンフェルス	103.68	59.50	14.73	107.53	-	-	-	-	H	-				
19K-70-1013	礫	珪岩	30.76	23.62	15.79	11.19	-	-	-	-	H	-	115			
19K-70-1014	礫	珪岩	35.91	29.90	27.97	24.79	-	-	-	-	H	-	115			

第77表 第36ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	接合	備考
第122図3	19K-70-1001	二次加工剥片	黒曜石	1	34.42	49.17	11.76	13.32	1	130	I + II	H	N	調整角58~72
	19K-71-1001	剥片	黒曜石	1	38.50	27.20	16.83	12.32	1	142	I + III	H	-	
	19K-80-1001	礫	砂岩		56.37	48.62	18.90	48.51	-	-	-	-	H	
	19K-80-1002	礫	砂岩		40.67	21.92	20.24	17.94	-	-	-	-	H	
	19K-80-1003	礫	砂岩		33.02	18.94	17.23	9.06	-	-	-	-	H	
	19K-80-1004	礫	砂岩		28.94	23.43	10.72	6.37	-	-	-	-	H	
	19K-80-1005	礫	砂岩		18.23	14.18	13.31	3.09	-	-	-	-	H	

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	使用痕 被熱痕	接合	備考
第122図6	19K-80-1006a	礫	砂岩	60.16	37.41	25.11	63.06	-	-	-	-	H		
	19K-80-1006b	礫	安山岩C	47.25	31.95	15.69	24.25	-	-	-	-	H		
	19K-80-1007	礫	砂岩	65.08	36.82	33.05	69.45	-	-	-	-	H		
	19K-80-1008	礫	安山岩C	28.62	17.80	15.86	6.07	-	-	-	-	H		
	19K-80-1009	礫	砂岩	44.71	30.09	17.58	18.40	-	-	-	-	H		107
	19K-80-1010	礫	砂岩	35.57	23.08	17.93	13.65	-	-	-	-	H		
	19K-80-1011	礫	砂岩	71.34	51.75	24.72	74.46	-	-	-	-	H		
	19K-80-1012	礫	砂岩	28.67	23.63	12.89	6.22	-	-	-	-	H		117
	19K-80-1013	石核	安山岩B	1 57.43	47.65	31.65	98.19	-	58~66	-	-	H		
	19K-80-1014	礫	砂岩	25.96	18.19	17.84	6.46	-	-	-	-	H		118
第122図5	19K-80-1015a	礫	砂岩	44.71	35.48	13.45	16.09	-	-	-	-	H		
	19K-80-1015b	礫	チャート	41.40	19.02	5.64	6.20	-	-	-	-	H		
	19K-81-1001	礫	砂岩	52.78	44.07	27.99	44.69	-	-	-	-	H		
第122図4	19K-81-1002	石核	黒曜石	1 30.44	42.62	19.59	17.41	-	52~60	-	-	-		
	19K-81-1003	礫	砂岩	45.66	24.06	19.20	19.89	-	-	-	-	H		117
	19K-81-1004	礫	安山岩C	35.20	28.61	12.72	11.27	-	-	-	-	H		
第122図5	19K-81-1005	石核	黒曜石	2 27.23	30.29	15.81	11.47	-	82~88	-	-	-		
	19K-81-1006	剥片	黒曜石	1 9.70	4.65	2.90	0.06	L	-	I+III	0	-		
	19K-90-1001	礫	流紋岩	33.17	29.14	15.01	19.00	-	-	-	-	H		
	19K-90-1002	礫	ホルンフェルス	51.26	47.18	16.77	47.56	-	-	-	-	H		
	19K-90-1003	礫	砂岩	37.51	23.23	21.81	19.83	-	-	-	-	H		119
	19K-90-1004	礫	チャート	36.91	23.25	20.63	16.66	-	-	-	-	H		
	19K-90-1005	礫	安山岩C	35.81	31.73	22.78	26.42	-	-	-	-	H		
	19K-90-1006	礫	砂岩	39.54	22.87	21.11	19.55	-	-	-	-	H		119
	19K-90-1007	礫	砂岩	44.31	40.07	30.39	33.14	-	-	-	-	H		118
	19K-91-1001	礫	頁岩	36.77	22.89	12.09	15.72	-	-	-	-	H		
第122図5	19K-91-1002	礫	砂岩	19.90	16.83	11.23	3.20	-	-	-	-	H		
	19K-91-1003	礫	砂岩	44.50	41.06	30.83	53.05	-	-	-	-	H		119
	20K-01-1001	礫	砂岩	69.32	57.32	42.29	186.71	-	-	-	-	H		
第122図5	20K-01-1002	礫	流紋岩	46.88	27.62	12.43	20.49	-	-	-	-	H		
	20K-11-1001	礫	砂岩	80.16	52.59	30.48	123.65	-	-	-	-	H		

第78表 第37ブロック出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種名	母岩名	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	背面構成	末端 形状	調整角	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第123図1	6K-22-1001	尖頭器	安山岩A	1 71.24	37.36	12.21	32.18	-	-	-	-	-	-	-	
第123図2	6K-22-1002	二次加工剥片	安山岩A	1 44.80	54.59	10.32	17.59	L	I+III+V	0	-	-	-	-	調整角44~64

第79表 グリッド及び上層出土石器属性表

挿図番号	遺物番号	器種	石材	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	調整角	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第127図26b	7I-30-1001	剥片	硬質頁岩	26.04	16.30	4.64	1.16	1	118	I	F	-	-	-	-	溝7-A
	8I-02-1001a	剥片	硬質頁岩	25.32	18.53	3.60	0.81	C	106	I+II	H	-	-	-	120	N011内
第127図26a	8I-02-1001b	剥片	硬質頁岩	9.46	15.54	2.96	0.33	C	106	I	H	-	-	-	120	N011内
	6J-32-1002	剥片	安山岩B	34.19	38.28	9.78	6.39	2	120	I+III+V	F	-	-	-	-	
第125図10	8J-12-1001	剥片	珪岩	16.21	16.52	6.07	1.50	C	74	III+V	S	-	H	-	-	
	9J-11-1001	二次加工剥片	凝灰岩	18.69	25.00	8.81	2.98	1+C	110	I	-	58~76	-	-	-	原位置不明
	7K-21-1001	礫	安山岩C	56.12	47.24	29.30	114.88	-	-	-	-	-	H	-	-	
	7K-32-1010	剥片	ホルンフェルス	39.02	36.54	15.14	13.76	-	-	II+III+IV+V	S	-	-	B	-	
	8K-02-1004	剥片	安山岩B	31.99	23.36	7.81	4.94	1	104	I+II	S	-	-	R	-	
	8K-1001	礫	安山岩C	83.83	64.12	30.48	165.49	-	-	-	-	-	H	-	-	
	9K-03-1001	礫	砂岩	68.31	58.80	46.06	220.72	-	-	-	-	-	H	-	-	
	9K-03-2001	剥片	玉髓	50.36	42.28	10.08	16.65	1	116	I+V	H	-	-	-	-	
	8L-30-1001	剥片	玉髓	57.52	56.74	28.32	62.07	-	-	I+III+V	0	-	-	B	-	
	第126図17	8L-30-1002	剥片	硬質頁岩	50.32	25.75	12.49	10.65	5(4)	112	I+II	F	-	N	-	-
第125図9	17G-02-1001	礫	チャート	37.59	28.43	16.29	14.85	-	-	-	-	-	H	-	-	
	18H-21-1001a	二次加工剥片	黒曜石	23.58	23.90	5.10	1.96	P	-	III	-	56	-	-	-	分布図無し
第125図5	18H-21-1001b	剥片	黒曜石	11.87	10.40	2.01	0.17	-	-	I	F	-	-	B	-	分布図無し
	15I-33-1001	彫器	嶺岡頁岩	34.66	20.05	4.68	2.96	1	104	I+IV	-	66~82	-	H	-	
	16I-23-1001	剥片	チャート	30.17	38.45	11.50	8.33	-	-	I+II+III	0	-	-	B	-	分布図無し
	16I-23-1003	剥片	砂岩	27.64	23.61	7.99	3.20	2	104	V	F	-	-	R	-	分布図無し
	16I-23-1004	剥片	チャート	35.49	24.73	11.29	8.78	1	136	I+II+III	0	-	-	-	-	分布図無し
14J-20-1002	剥片	ホルンフェルス	71.63	35.17	9.30	14.03	-	-	I+III	F	-	-	B	-	分布図無し	

挿図番号	遺物番号	器種	石材	最大長 mm	最大幅 mm	最大厚 mm	重量 g	打面 形状	打角 剥離角	背面構成	末端 形状	調整角	使用痕 被熱痕	遺存 部位	接合	備考
第125図13	14J-22-1001	二次加工剥片	嶺岡頁岩	16.85	15.00	4.15	1.04	-	-	I + III	-	64	-	H		
	14J-22-1002	剥片	安山岩B	13.38	14.72	2.00	0.30	1	110	I	H	-	-	-		
	14J-22-1003	剥片	嶺岡頁岩	35.09	41.57	9.32	9.17	1	122	I + III + V	F	-	-	-		
第125図11	15J-03-1001	二次加工剥片	硬質頁岩	20.48	18.84	6.68	1.99	-	-	I	-	52	-	LM		
第127図27	17J-01-1001a	敲石	砂岩	64.34	59.22	41.11	216.61	-	-	-	-	-	S, H	-		一括
	17J-01-1001b	礫	チャート	66.18	38.72	19.59	50.14	-	-	-	-	-	H	-		一括
	17J-01-1001c	礫	チャート	39.10	34.27	22.46	23.82	-	-	-	-	-	H	-		一括
第126図18	18J-21-1001	剥片	安山岩A	17.05	19.54	3.36	1.05	-	-	I + II + V	-	-	-	VM		
	14K-00-1001	剥片	嶺岡頁岩	49.82	31.09	11.71	14.34	1	128	I + V	F	-	N	-		分布図無し
	14K-21-1001	剥片	嶺岡頁岩	15.12	22.95	5.43	1.36	6	68	I + III	H	-	-	-		分布図無し
第126図15	14K-30-1001	剥片	安山岩A	16.56	31.94	8.08	3.84	2	96	I + III + V	S	-	-	-		
第126図22	15K-01-1001	剥片	黒曜石	26.46	19.74	4.84	2.35	1	120	I	-	-	N	H		分布図無し
第127図25	16K-01-1001	石核	砂岩	52.10	113.90	92.70	455.00	-	66	-	-	-	-	-		
	13L-01-1001	礫	珪質頁岩	50.17	26.47	13.30	17.99	-	-	-	-	-	H	-		
	溝16-1001	石核	玉髓	51.21	42.15	20.25	32.04	-	56~74	-	-	-	-	-		
第125図2	083-1001a	尖頭器	ホルンフェルス	63.36	33.51	11.64	21.37	-	-	-	-	54~68	-	-		ボジ面
第125図1	083-1001b	尖頭器	安山岩A	48.10	32.19	13.32	18.60	-	-	-	-	52~82	-	-		
第126図14	545-1001	楔形石器	珪質頁岩	33.30	17.88	11.52	4.98	-	-	-	-	-	-	-		
	548-1002	剥片	嶺岡頁岩	55.78	26.05	11.33	11.85	7(3)	120	I + II + III	H	-	-	-		
第125図4	574-1001a	ナイフ形石器	硬質頁岩	34.56	18.10	6.85	2.88	-	-	I + IV	-	74~86	-	-		欠損
第126図19	574-1001b	剥片	嶺岡頁岩	18.50	22.28	3.87	0.98	C	104	I	-	-	N	H		
第126図20	574-1001c	剥片	嶺岡頁岩	17.47	17.15	3.15	0.63	3	102	I	F	-	N	-		
	574-1001d	剥片	嶺岡頁岩	11.43	17.04	3.32	0.49	-	-	I	H	-	-	B		
第127図24	576-1001	石核	嶺岡頁岩	39.97	36.97	15.31	20.67	-	58~80	-	-	-	H	-		
第125図7	3号墳-1066	搔器	黒曜石	35.30	29.83	13.19	10.92	1	140	I + III + V	-	68~82	-	-		
	5号墳-1019	剥片	嶺岡頁岩	13.20	18.97	5.17	0.86	1	124	I	H	-	-	-		
第125図6	5号墳-1049	剥片	硬質頁岩	21.03	23.47	3.74	1.75	-	-	I + IV	F	-	-	B		
	6号墳-1159	局部磨製石斧	蛇灰岩	91.64	58.54	17.92	133.65	-	-	-	-	-	-	-		刃部角70
第127図23	8号墳-1043	石核	頁岩	43.65	44.61	25.79	44.94	-	74~88	-	-	-	-	-		
第125図3	遺跡一括-1002a	ナイフ形石器	黒曜石	43.59	12.94	12.54	5.16	-	-	I + III + V	-	70~104	-	-		
第126図16	遺跡一括-1002b	剥片	黒曜石	37.69	21.90	6.56	3.27	4(3)	118	I + II	H	N	-	-		
第126図21	6J~9K-1001	石核	安山岩A	23.96	41.76	32.12	37.90	-	62~76	-	-	-	-	-		
	6J~9K-1002	剥片	ホルンフェルス	28.51	34.52	10.05	7.75	1	106	I + III + V	H	-	-	-		
	6J~9K-1003	剥片	頁岩	34.09	24.12	13.60	8.92	3	136	I + II + V	0	-	-	-		
第125図8	6J~9K-1004	搔器	玉髓	26.18	25.22	10.79	8.11	L	-	I + V	-	70~86	-	-		
	6J~9K-1005	剥片	安山岩B	40.47	11.38	6.86	2.07	-	-	I + II	S	-	-	R		打面部ガジリ
第125図12	6J~9K-1006	二次加工剥片	硬質頁岩	14.15	15.08	7.17	1.10	C	78	III + V	0	64~78	-	-		
	6J~9K-1007	剥片	安山岩A	18.22	8.77	3.92	0.68	-	-	I + II + III	F	-	-	B		
	試掘-1001	礫	チャート	99.21	64.01	42.80	302.81	-	-	-	-	-	H	-		
	試掘-1002	礫	チャート	52.97	42.31	24.75	71.50	-	-	-	-	-	H	-		

写真図版



有吉北貝塚

上赤塚

有吉南

有吉城跡

馬ノ回

有吉南貝塚

城ノ台

推名崎

木戸作

伯父名台

推名神社

推名崎古墳群A

推名崎古墳群B

小金沢貝塚

刈田子台

今台

小金沢古墳群

推名崎古墳群C

神明社裏遺跡

御塚台

春日台

富岡古墳群



7I03土層断面



第6ブロック



第7ブロック



第8ブロック



第11ブロック



第13ブロック



第14ブロック



第17ブロック



第18ブロック



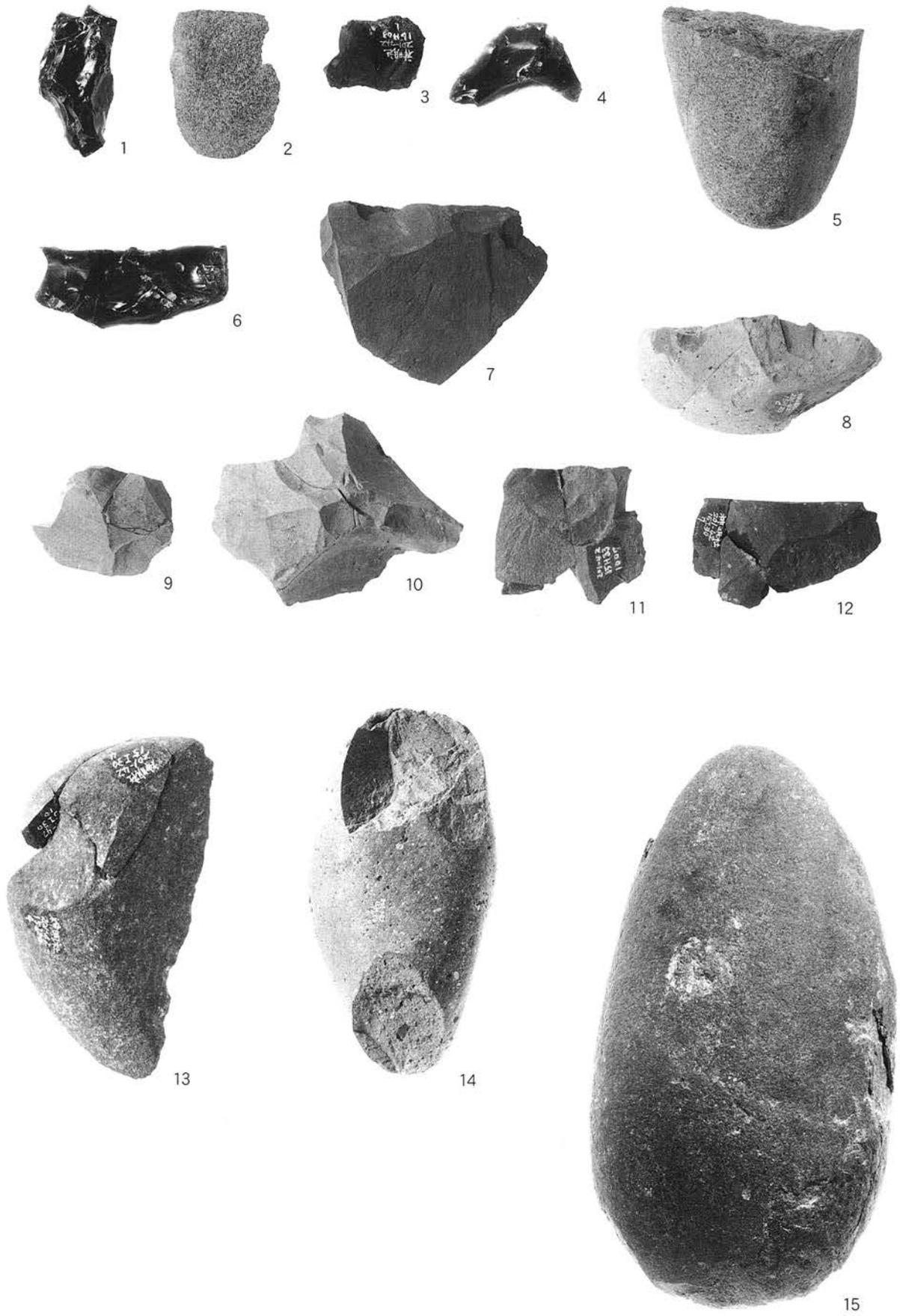
第19ブロック



第21ブロック

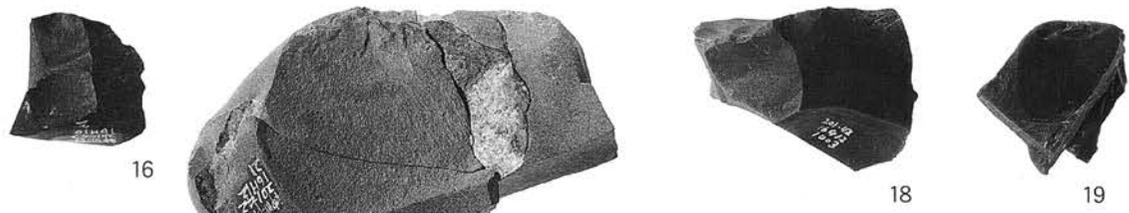


第22ブロック

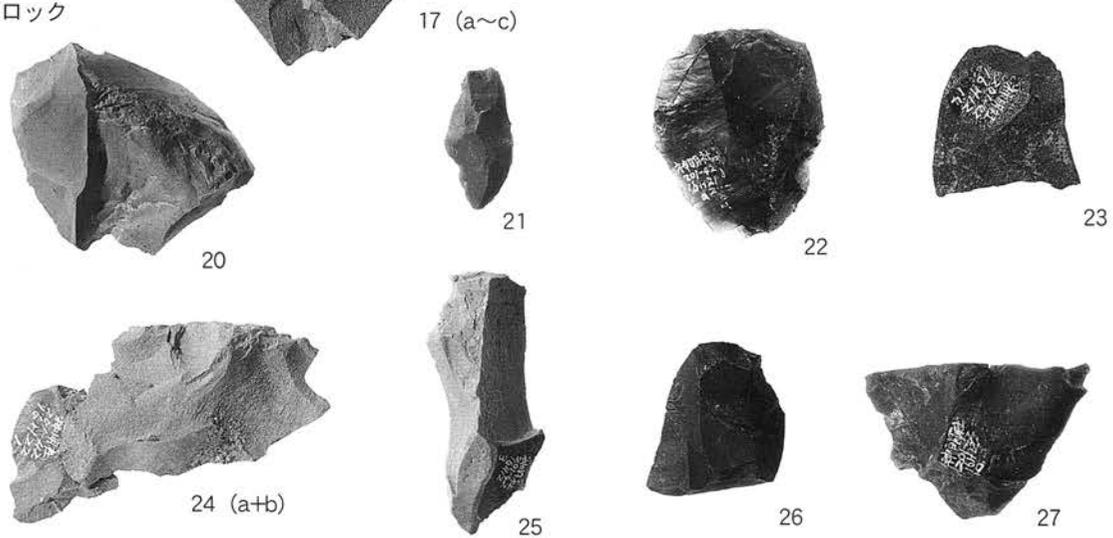


第1文化層第1ブロック出土石器

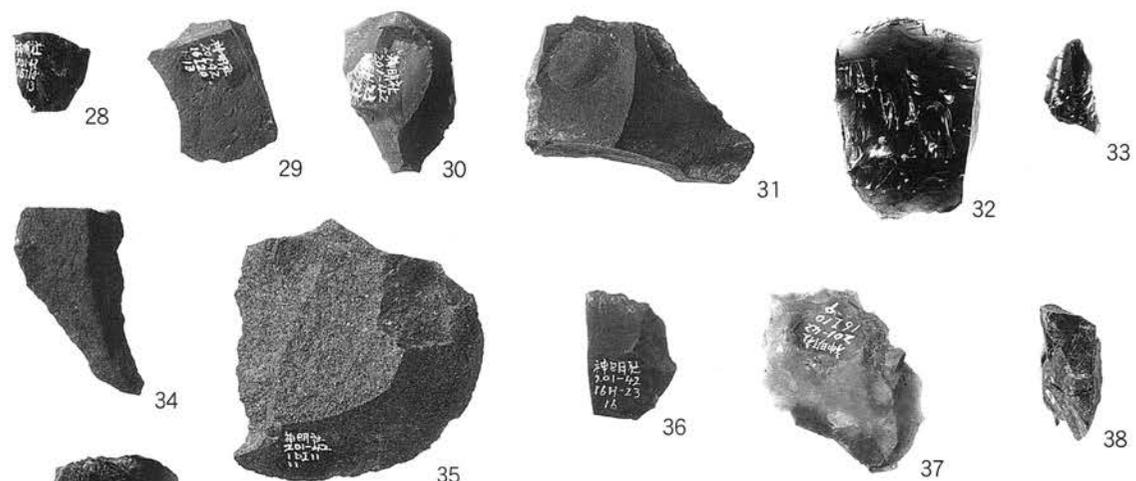
第2ブロック



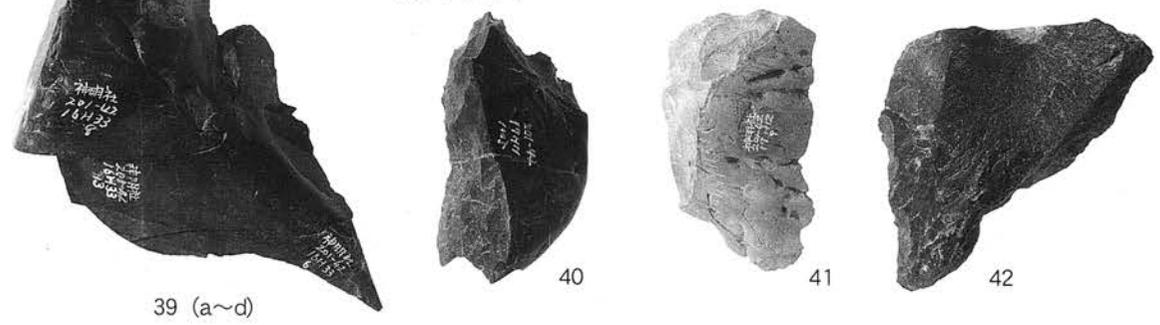
第3ブロック



第4ブロック



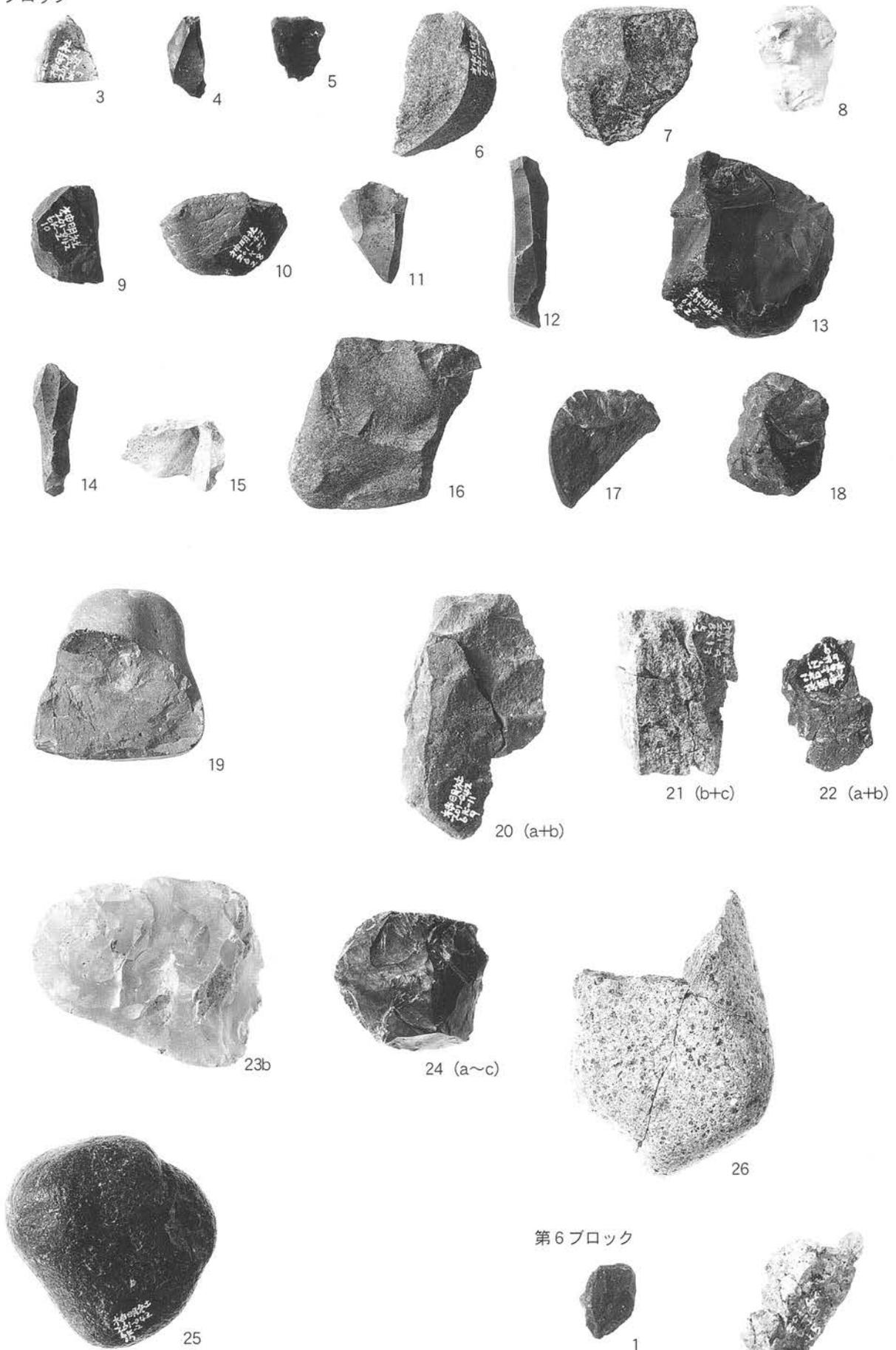
第5ブロック



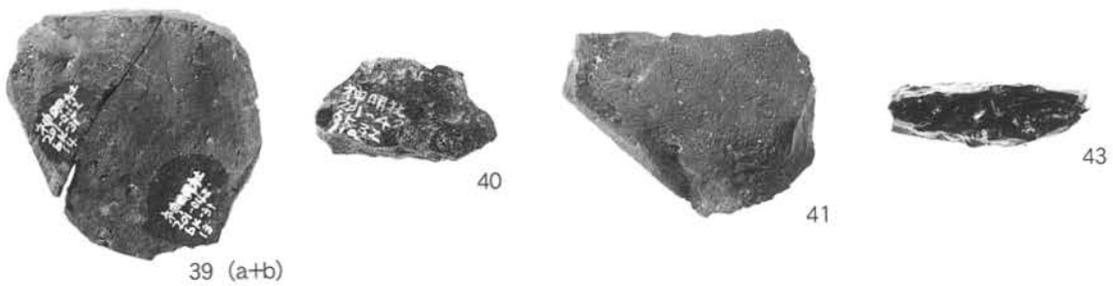
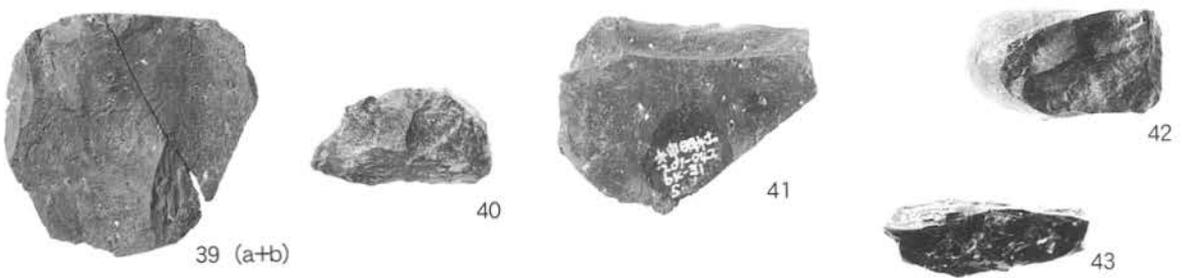
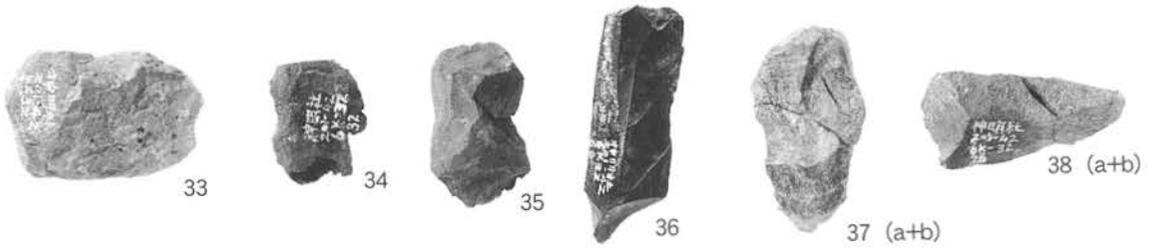
第2文化層第2～5ブロック出土石器

図版 8

第7ブロック



第2文化層第6・7ブロック出土石器



第2文化層第8ブロック出土石器

図版10

第8ブロック



44



45 (a+b)



46 (a+b)



47 (a~c)



48 (a+b)



49 (a+b)



50 (a~c)



51 (a~c)



52 (a+b)



52a



52b

第9ブロック



53



55



56



57



58



59



54



60



61



62



63



64 (a+b)



65 (a~c)

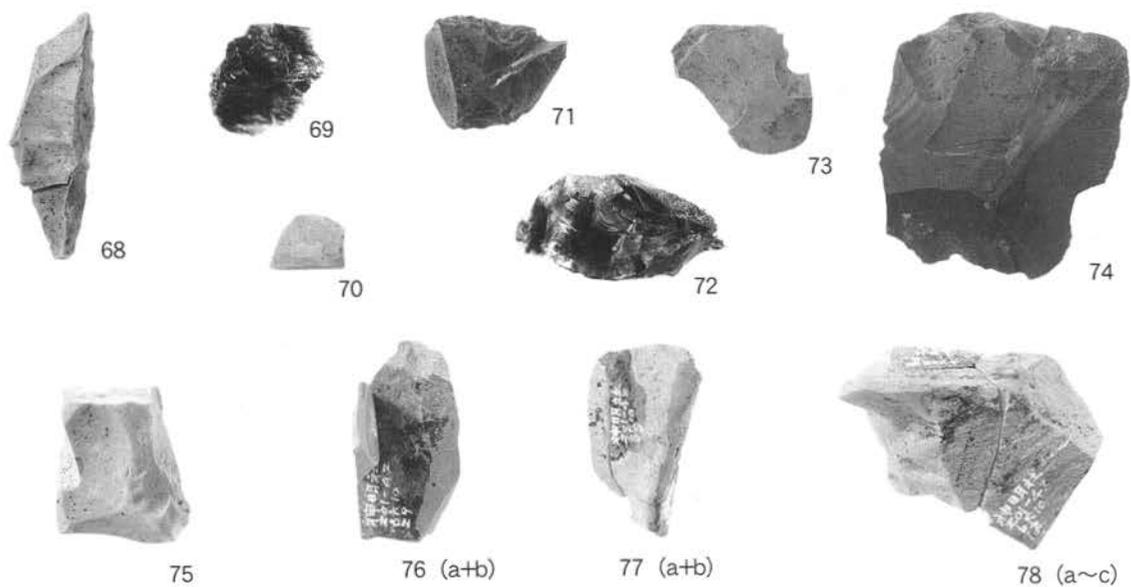


66 (a~d)

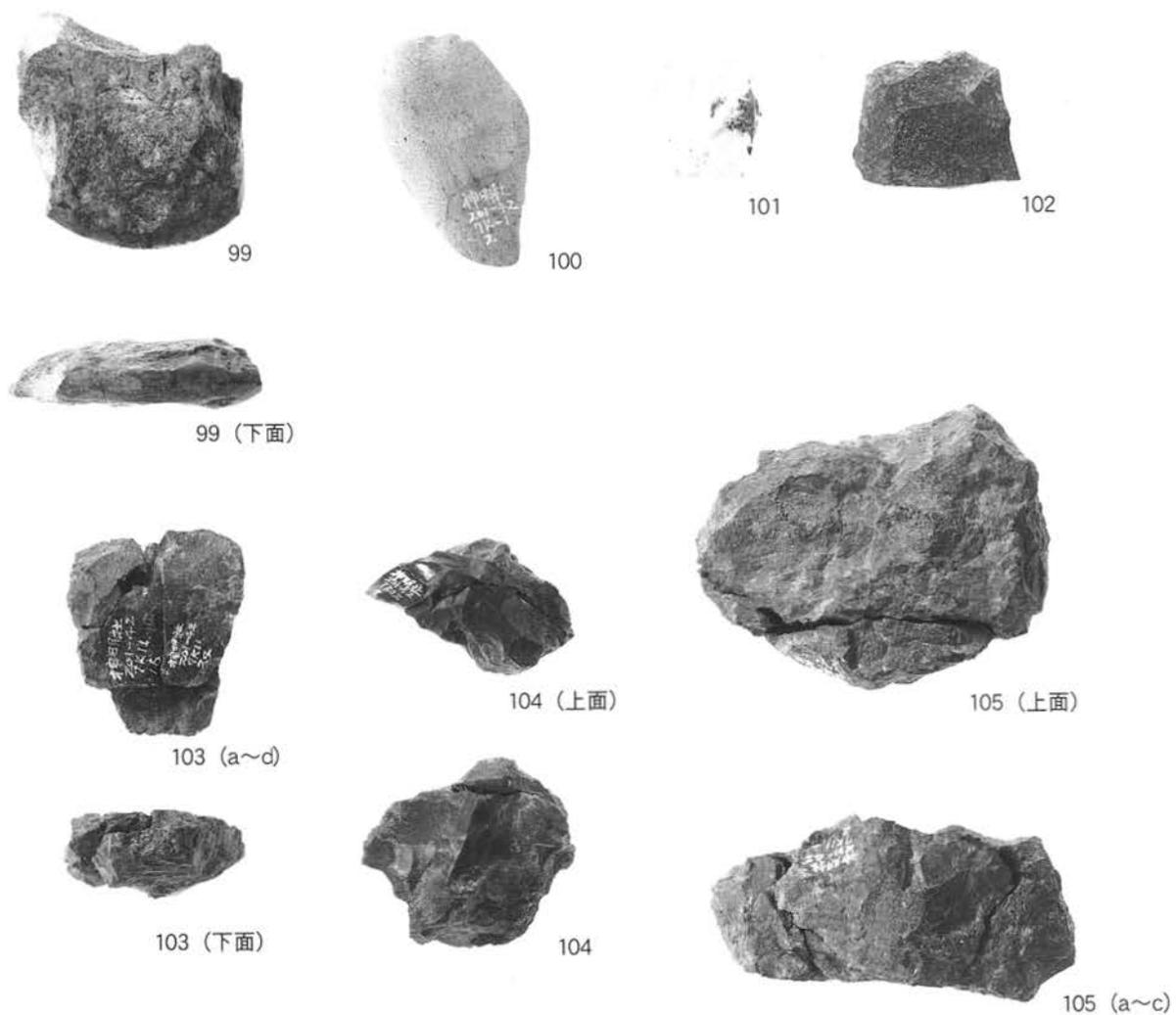


67 (a~c)

第10ブロック



第12ブロック



第2文化層第10・12ブロック出土石器



79



86



81



82



83



84



85



80



87



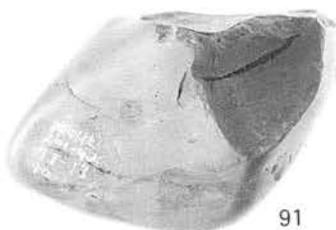
88



89



90



91



92



93 (a+b)



94 (a~c)



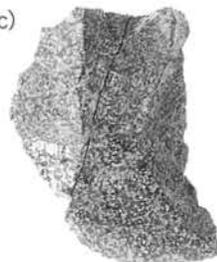
95 (a+b)



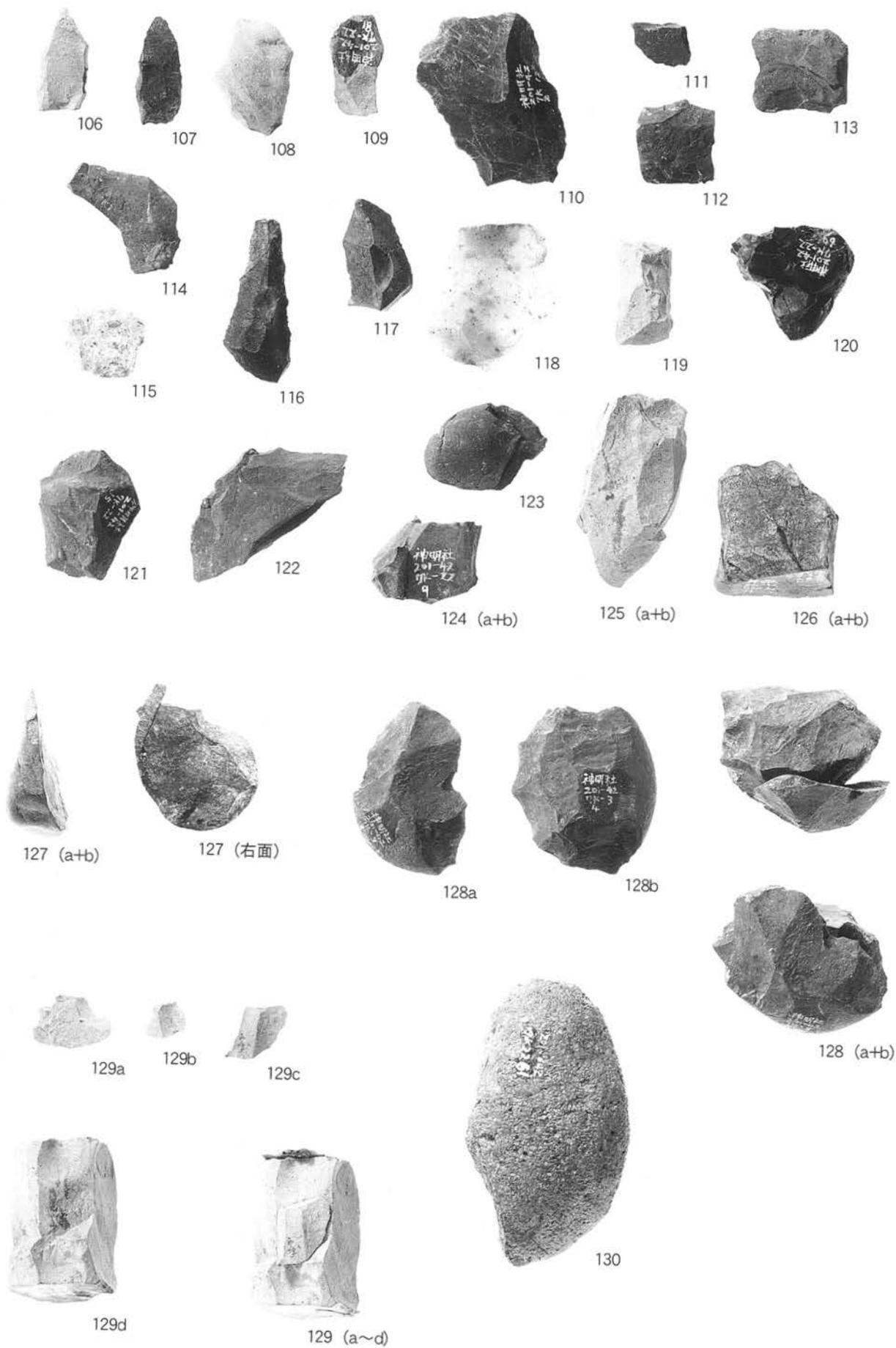
97 (a~c)



96 (a+b)



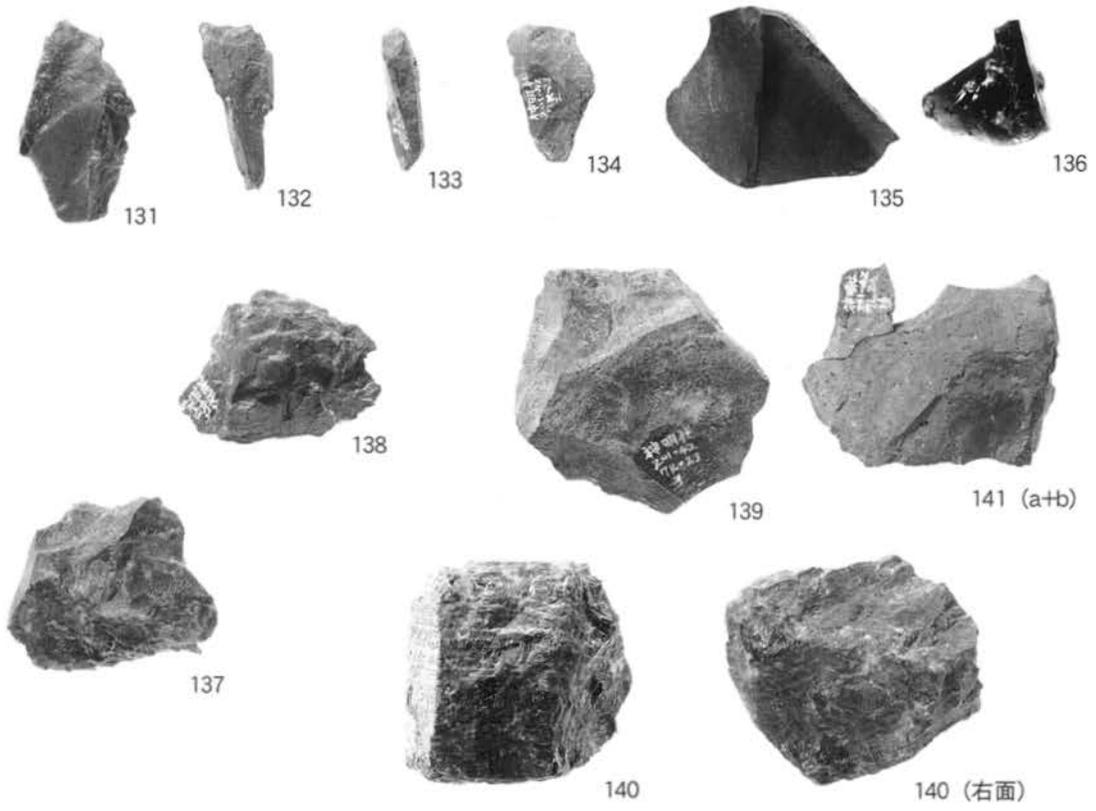
98 (a+b)



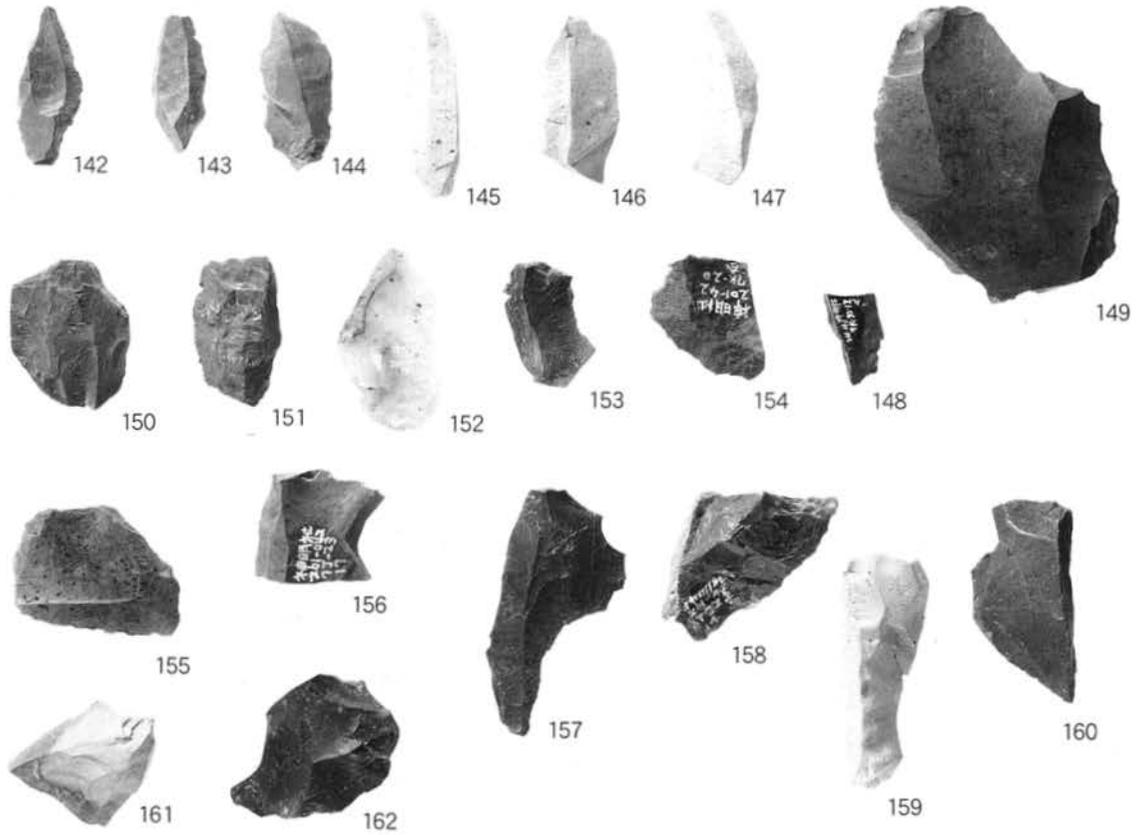
第2文化層第13ブロック出土石器

図版14

第14ブロック

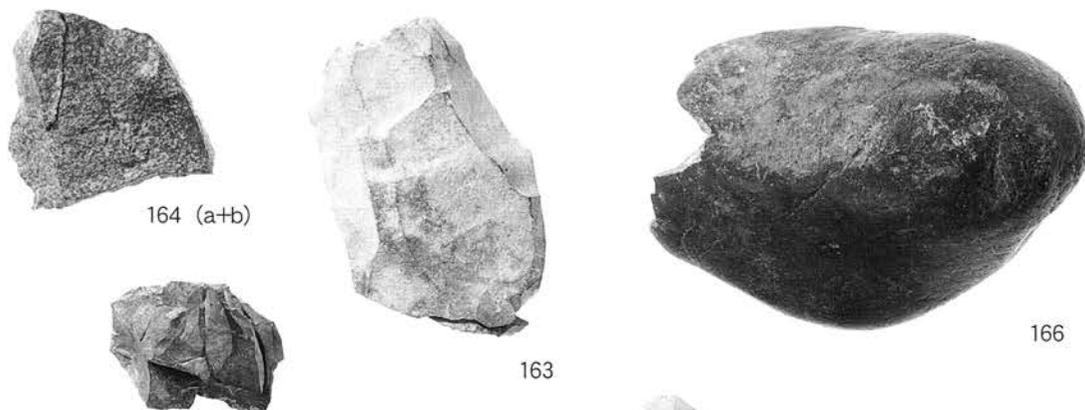


第15ブロック

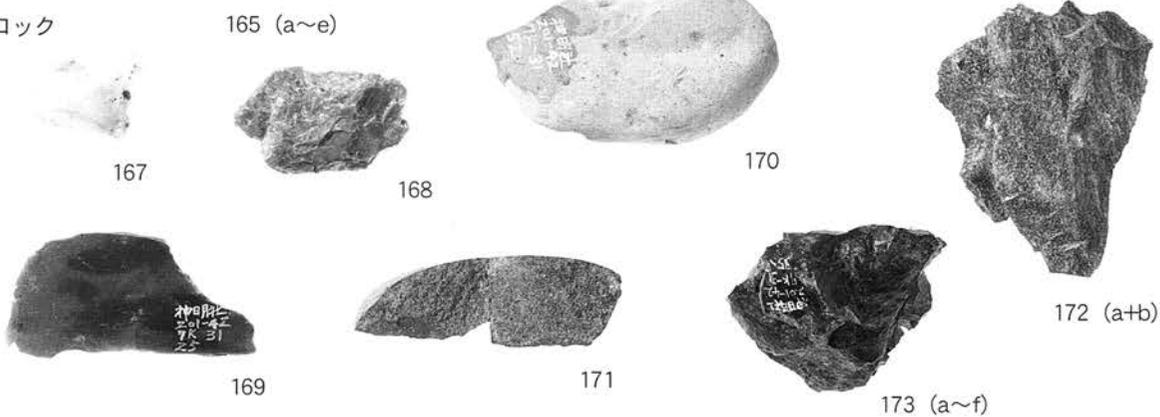


第2文化層第14・15ブロック出土石器

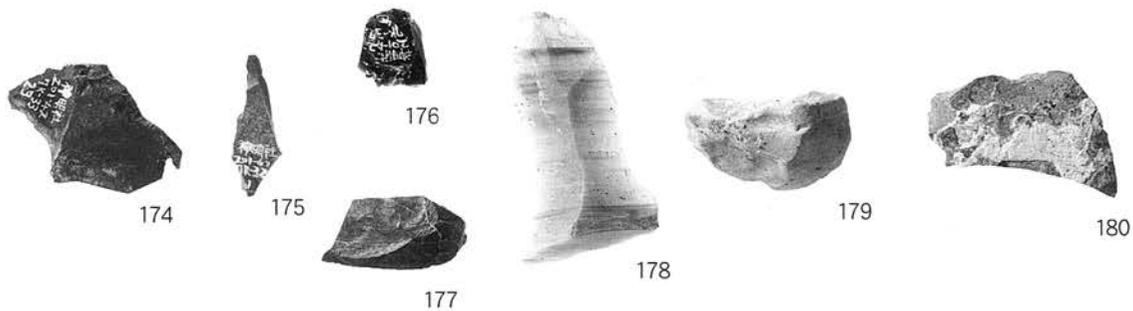
第15ブロック



第16ブロック



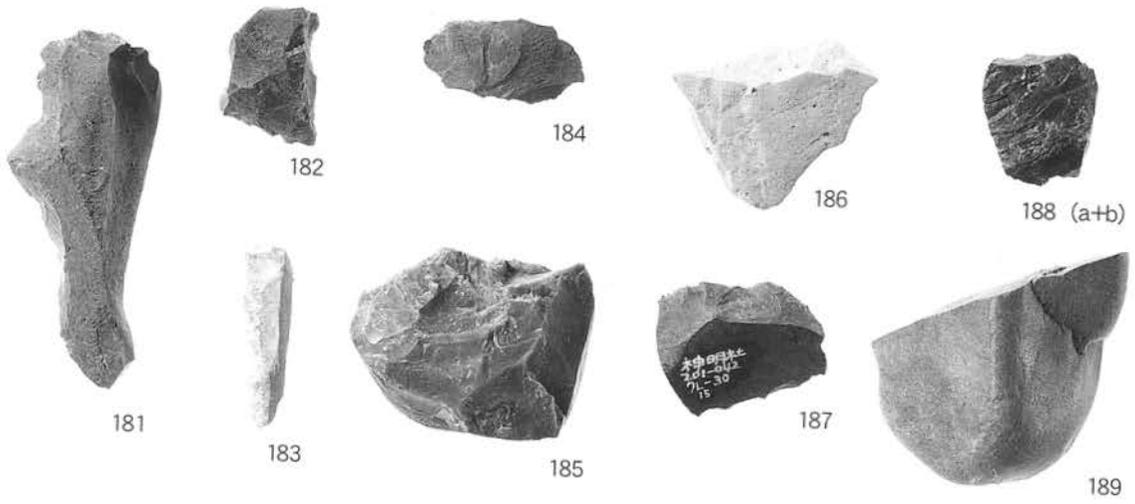
第17ブロック



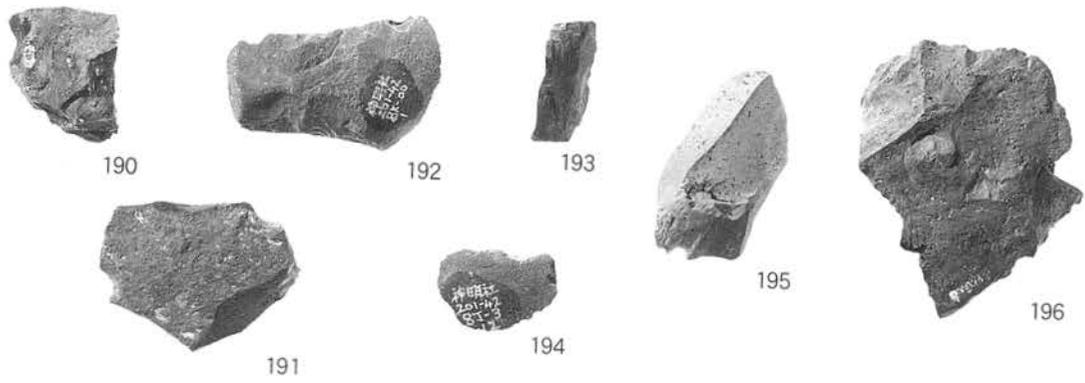
第2文化層第15～第17ブロック出土石器

図版16

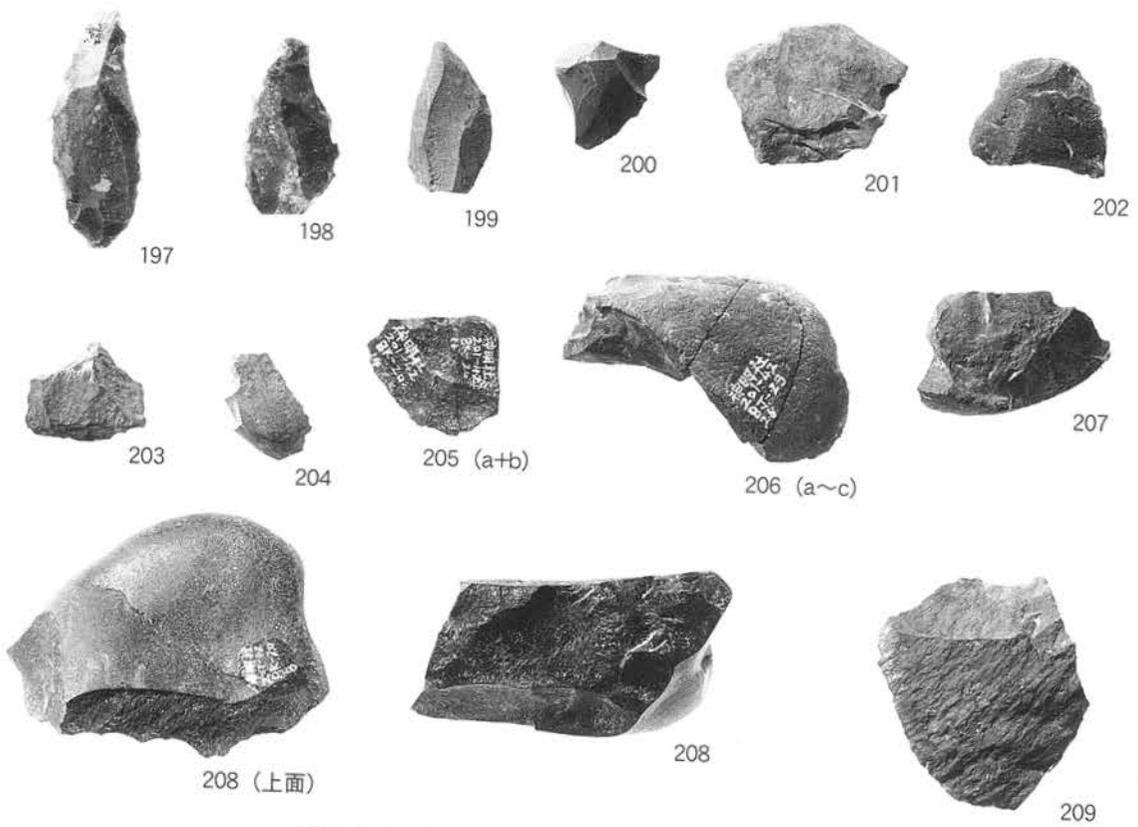
第18ブロック



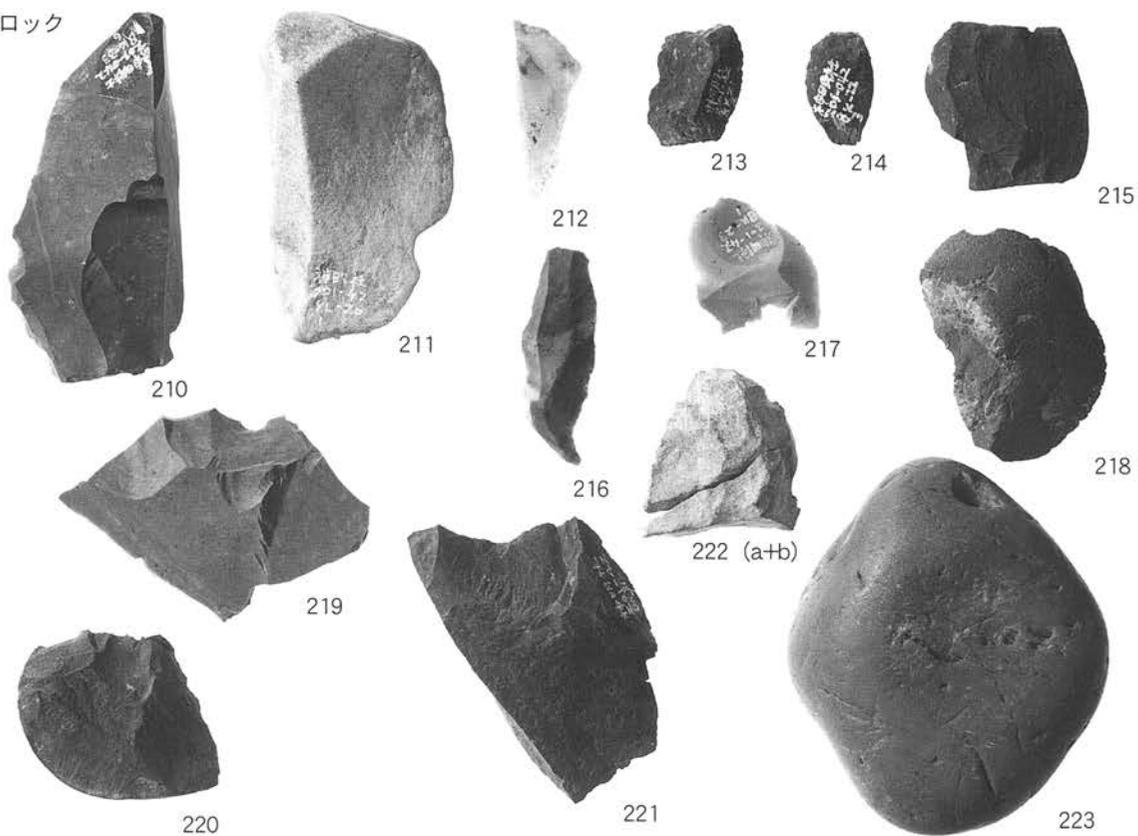
第19ブロック



第20ブロック



第21ブロック



第22ブロック



第23ブロック



第25ブロック



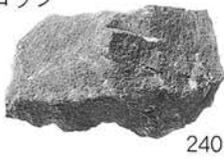
第26ブロック



第2文化層第21・22・23・25・26ブロック出土石器

図版18

第27ブロック



240



241



242



243



244



245



246



247



248



249



250

第28ブロック



251 (a+b)



252 (a~d)



253



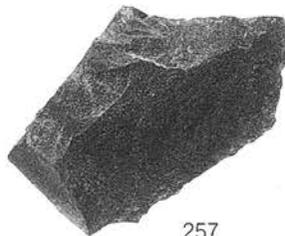
254



255



256



257



258



258a



258 (b+c)



258d

第29ブロック

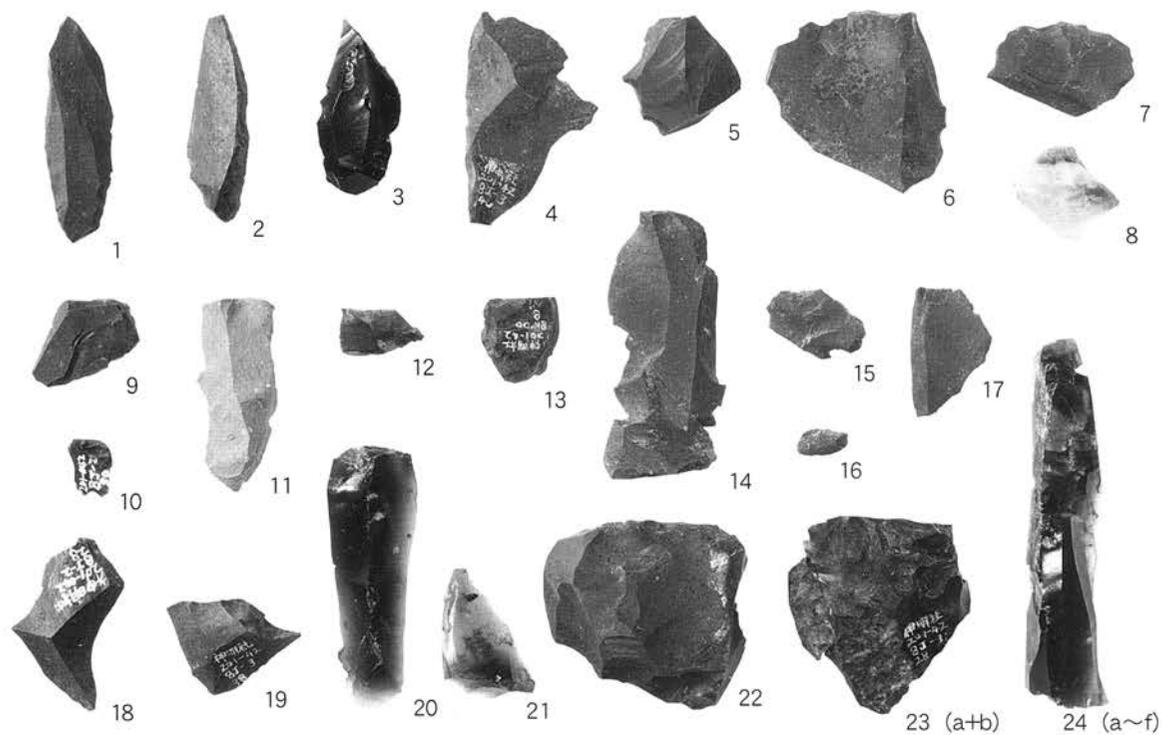


258e

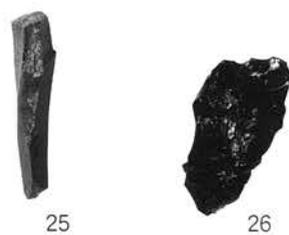


259

第4文化層 第32ブロック



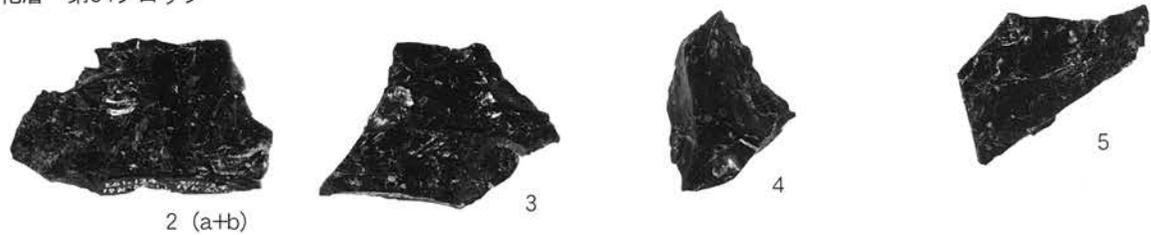
第33ブロック



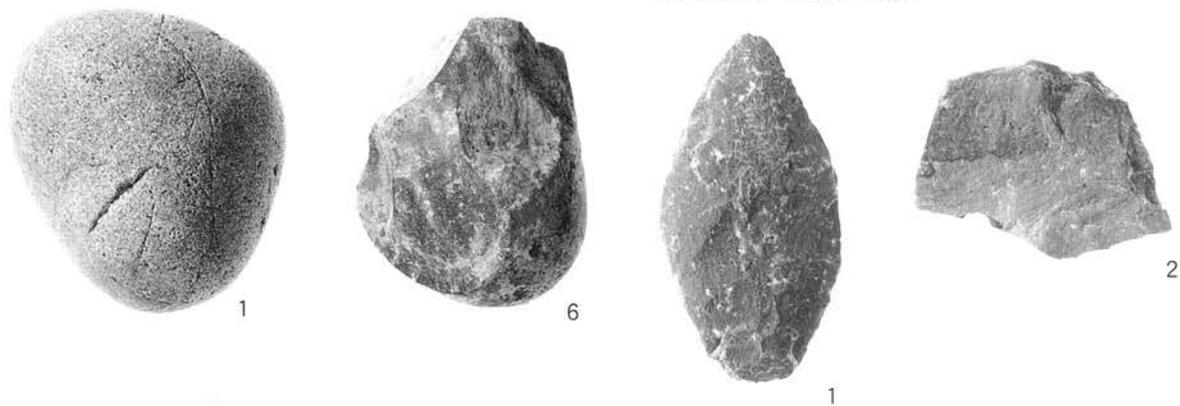
第3文化層 第31ブロック



第5文化層 第34ブロック



第6文化層 第37ブロック





グリッド及び上層出土石器

報告書抄録

ふりがな	ちばとうなんぶにゅーたうん							
書名	千葉東南部ニュータウン							
副書名	千葉市神明社裏遺跡1(旧石器時代)							
巻次	36							
シリーズ名	千葉県教育振興財団調査報告							
シリーズ番号	第560集							
編著者名	関口達彦							
編集機関	財団法人 千葉県教育振興財団 文化財センター							
所在地	〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡809番地の2 TEL. 043-424-4848							
発行年月日	西暦 2006年12月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
神明社裏遺跡	千葉県千葉市緑区お ゆみ野南3丁目39番 地他	201	042 124	35度 33分 08秒	140度 09分 42秒	19830618～ 19840330	36,000㎡	千葉東南部地 区上地区画整 理事業に伴う 事前調査
						19840402～ 19850330		
						19850401～ 19851210		
						19971217～ 19980130		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
神明社裏遺跡	包蔵地	旧石器時代	37ブロック	ナイフ形石器, 削器, 楔 形石器, 搔器, 尖頭器, 局部磨製石斧, 敲石, 台 石, 石核, 剥片, 礫	Ⅲ層からⅧ(X)層にかけての 層位から37ブロック, 計1,808 点の石器類が出土した。これ らの石器類は6つの文化層に 区分できた。			

千葉県教育振興財団調査報告第560集

千葉東南部ニュータウン36

—千葉市神明社裏遺跡1(旧石器時代)—

平成18年12月25日発行

編 集	財団法人 千葉県教育振興財団 文化財センター
発 行	独立行政法人都市再生機構千葉地域支社 千葉県美浜区中瀬1-3
	財団法人 千葉県教育振興財団 四街道市鹿渡809番地の2
印 刷	三陽工業株式会社 市原市五井5510-1
